紙のプロレス RADICAL

桜庭和志いよいよ
待望の「グレイシー狩り」へ出陣!!

望 大爆発!
アレクサンダー大塚
「ヘンゾをボコボコにする!」

10・11! こんなプロレスが見たかった!!
破壊王を返り討ち! 世紀末の"大魔王"降臨
またもや目を覚まさせる独占インタビュー!!
小川直也

「何の因果の素手ゴロ稼業」
『小川vs橋本戦』、『PRIDE』、『UFC』
そして『オープントーナメント』に咆吼!
前田日明

「今度こそ死ぬまで闘うよ!」
M・ケアー戦へ照準OKヨ!
エンセン井上

修斗から「世界のプロレス」まで
マット界を隅から隅まで大網羅
広さは深さだ宣言号

LLPWを電撃退団した
爆弾娘を某所で極秘キャッチ!
独占スクープ!! 八木淳子

本誌初登場! cuteな悪の華
C-MAX CIMA

FMWが「プロレス初」のことをやるなら
本誌も「プロレス雑誌初」のことをやります!
11・23横浜に向けて大噴射!!
冬木弘道のお小水プレゼント!!

全日本、本格掲載への道START!

死ぬまで暴飲暴食! 2000年はこの男!
モハメド・ヨネ

破竹の元気さで揃って登場!
リカルド・フィエート
ギルバート・アイブル

11・14UFC-J爆勝宣言!
山本喧一vs高瀬大樹

おい!おい!おい!おい!おい!
本誌初登場なん邪〜!
邪道の魂は紙プロ読者に突き刺さるか?
大仁田厚

快挙! オーちゃん
"ドームプロレス"破壊!!

ギガ好評!
"S多重アリバイ"
鶴見五郎

本誌独占スクープ!
サスケ死す!

プロレス転向
直前インタビュー
平直行

21
1999

紙のプロレス RADICAL No.21 桜庭、アレクのグレイシー狩りへ!!
発行元：(株)ダブルクロス 〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷3-11-3-702 電話／03-3403-5188

（大観衆がビックリするくらいの音量で）

元気ですかーッ!!

（ふた呼吸くらい置いて）

人は歩みを止め
闘いを忘れた時に
老いてゆく

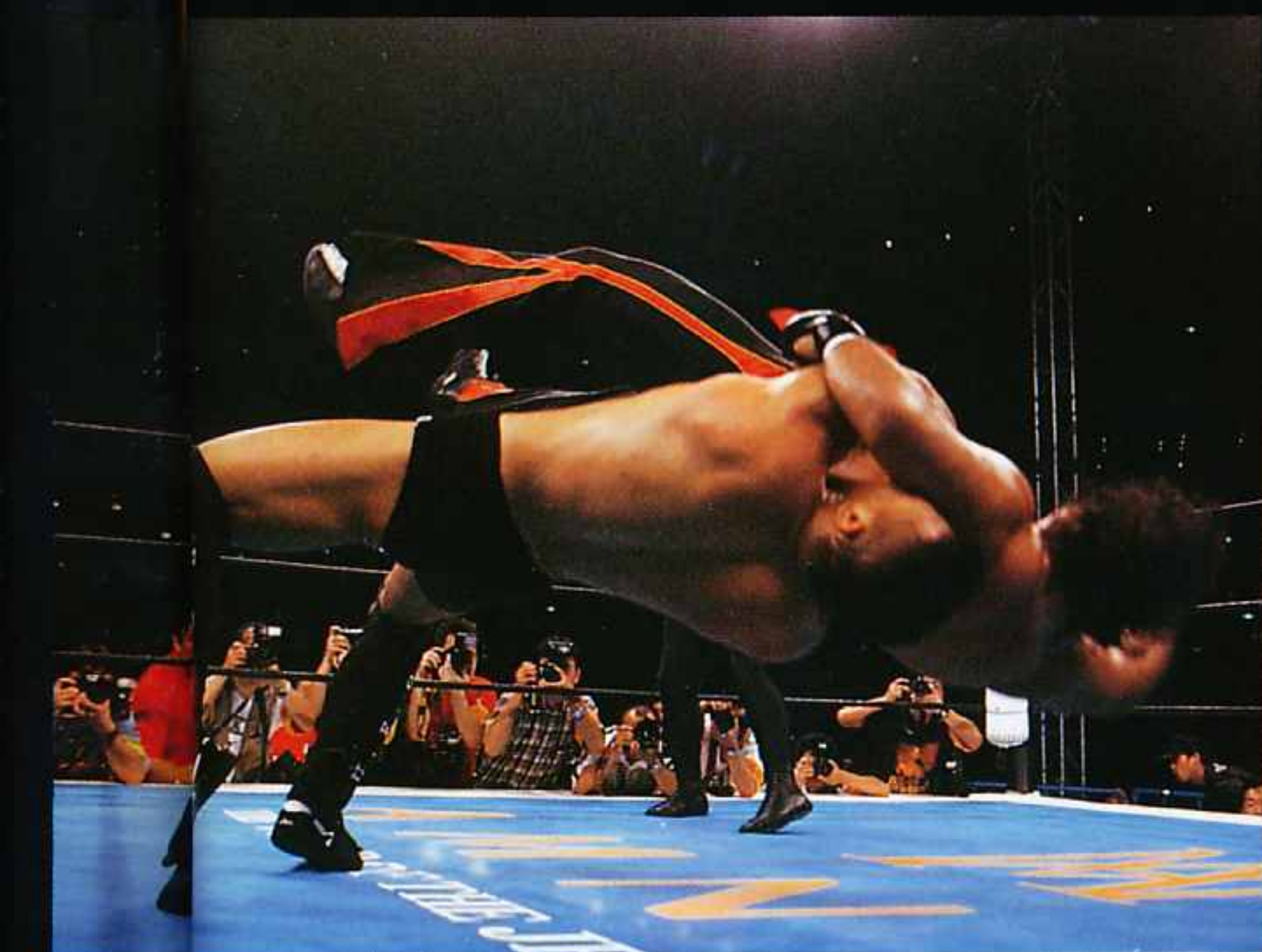
いまこそッ!!

格闘ロマンを突き進めッ

オガワーッ!!

【10・11メインで猪木総帥がオーちゃんを呼びこんだときのセリフより】

レス大魔王

恐怖のプロレ

1999年の「10・11」に舞い降りた

快挙！　オーちゃんが〝ドーム・プロレス〟を破壊した！
〝ドーム・プロレス〟というのは、もちろんドームで行うプロレスを指すのではない。
レジャー・プロレス。
わかりやすいプロレス。
順番にみんながベビーフェイスになっていくプロレス。
陰のないプロレス。
発散するためだけのプロレス。
会場を出たら語られることのないプロレス。
後を引かないプロレス。
迫力はあるが、何かが欠けてるプロレス。
こういうプロレスを〝ドーム・プロレス〟という。

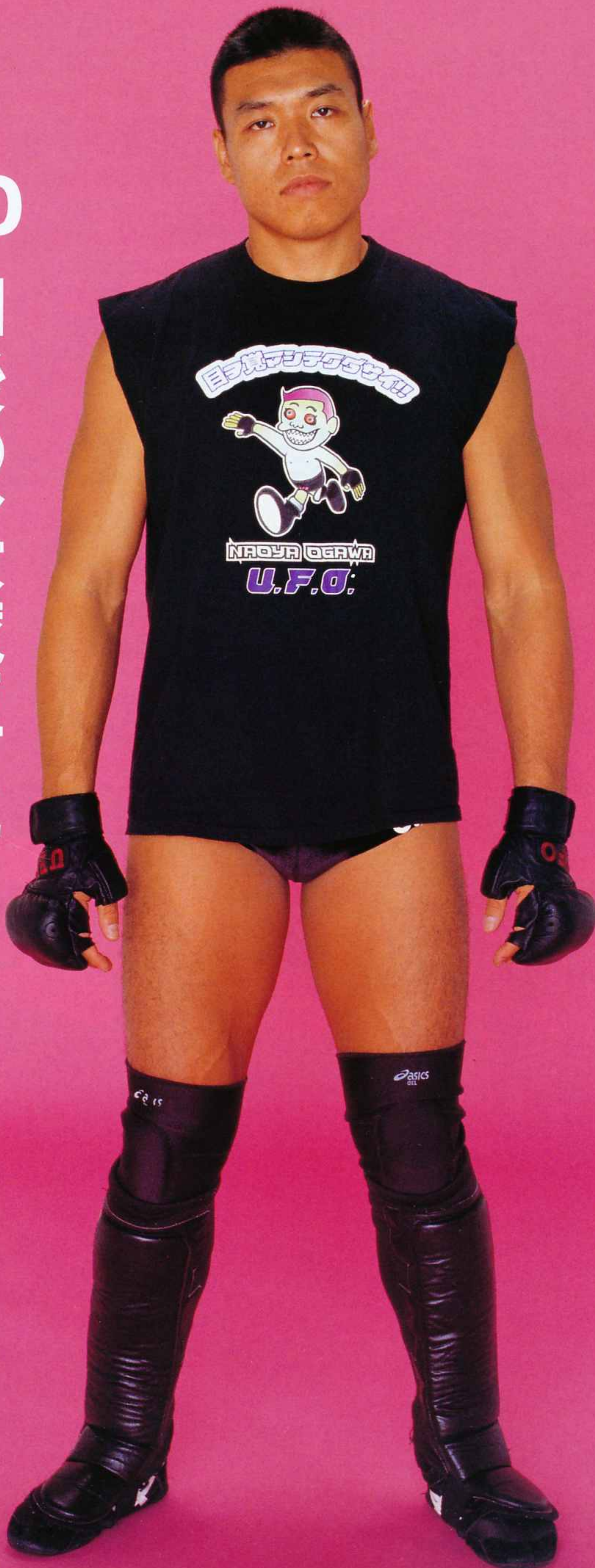
これに対して、絶滅しかけているプロレスがある。
〝自然〟がたくさんあるプロレス。
いくつも〝「？」マーク〟が浮かぶプロレス。
〝ベビーフェイス〟と〝ヒール〟の対称の妙が人生を浮き彫りにするプロレス。
光と陰があるプロレス。
脳味噌を使って見るプロレス。
会場を出ても語り合いたいプロレス。
後に引くプロレス。
〝怖い〟プロレス。
背負っているものが見えるプロレス。
優しさと残酷さを併せ持つプロレス。
この絶滅しかけのプロレスを〝イノキ・プロレス〟という。

昨年と一昨年の「10・11」は、高田延彦とヒクソン・グレイシーが、原石としての〝イノキ・プロレス〟を展開し、我々の細胞を叩き起こしてくれた。
そして今年の10・11――。
小川は蹴りまくって殴りまくって投げまくった。
破壊王は立ち上がって立ち上がって立ち上がりまくった。
バーリ・トゥードでも異種格闘技戦でもない「プロレス」のフィールドで緊張感ある闘いが展開されたのだ。
この闘いは、業界的には掟破り、ファン的には大歓迎の1・4のブリ返しになっても意味がなかったのである。
ズバリ言ってノー問題！

かいてかいて恥掻いて
裸になったら見えてきた
本当の自分の姿

プロレスはここ数年、恥を掻きまくってきた。
それでもなぜか、直接は恥を掻かない〝ドーム・プロレス〟が肩で風を切って闊歩していた。
UFOから舞い降りたオーちゃんは、その〝ドーム・プロレス〟を見事に破壊した。
いま、「プロレス」の逆襲が始まった。

小川直也

10・11後の〝大魔王〟に独占ロング・インタビュー！

聞き手／山口日昇
interview by Noboru Yamaguchi

撮影／森鷹博
photographs by Takahiro Mori

試合写真／平工幸雄
photographs by Yukio Hiraku

DIRTY HEROISM宣言2000

オーちゃんがまたやってくれた！　1・4のリベンジ劇に挑んだ破壊王を完膚なきまで叩き潰したのだ。この一戦から立ち昇ったのは、1・4の再現ではなく数々の格闘ロマンだった。UFOの往く道。ドン底まで落ちたはずの破壊王の猪木イズム再伝承——プロレスにしか出せない謎と緊張感と感動と残酷さを醸し出した10・11決戦を終えたオーちゃんに話を聞いた。

——いま、身体の状態はどうなんですか？

小川　いま、腰だけダメです。

——橋本（真也）戦でやったんですか？

小川　いや、アメリカのサーキットはズッと移動だったじゃないですか？　それでちょっとギックリ腰っぽくなっちゃってね。それで調子崩して、そのときのが響いちゃって。軽いギックリ腰でよかったけど、10・11でさらにぶり返したようなところがあってね。

——そういう体調で臨んで、あれだけ強さを見せられるわけですか！　ところで小川さん、いま『動物占い』が流行ってるの知ってますか？

小川　へ？　いや、知らない。

——文庫本なんか日の出の勢いで売れてるみたいですね。ちなみに、小川さんのも占ってみましたよ〜。

小川　俺は、な、なんの動物なんですか？

——発表します！「象」です。

小川　ゾ、象？　あちゃ〜。

——象はお気に召しませんか？

小川　いや、まあ、なんでもいいんですけどね。

——ズコッ！　ちなみに「象」の人は「有言実行」な人らしいですね。「言ってしまったがために後に引けないという意地もあったりして。頑張り通して、その道のプロになれます」となってます。

小川　カァーッ。言ってしまったがために後に引けない意地？　まさに俺じゃないですか（笑）。小川直也、意地だけですからね（笑）。あとなんでしたっけ？

——「頑張り通して、その道のプロになれます」と書いてあります。

小川　ガハハハ。よし、頑張ってプロになろう。いい目標ができた（笑）。

——「地道」とか「堅実」っていう単語も見当たりますね。これはどうかなぁ？？

小川　俺は地道で堅実ですよ。

——「協調の精神があります」だって。これもどうかなぁ？？

小川　おいおいおいおい、冗談じゃねえよぉ、何を言ってるんですか、協調精神バッチリですよ！　『紙プロ』さん、目を覚ましてくださ〜い。

——ダハハハ。これはどうですか？「純粋、無欲で根気よくコツコツと努力を重ねるタイプ。それなのに『努力』という言葉は嫌い。人から努力家と言われるとムッとします。さりげなく頑張って大きな目標に到達したい」。

小川　あ、それはそうですね。前も言ったとは思うけど、「血が滲むまで練習した」ってアピールするよりも、「血が滲むのなんか当たり前じゃん」って思っちゃうタイプですからね。柔道時代から。

——あと「見かけと違って心配性」とか「悠然とした大きな外見とは違い、不安を抱えている」っていうのもあるんですけどね（笑）。

小川　心配性は心配性だけどね。でも、人間、誰でも不安はあるでしょう。それは、それを書いとけば、みんな当たりますよ（笑）。その不安を取り除くために、何かに打ち込むんじゃないですか。

——凄い！「だからこそ、なにかに打ち込んで安心したいのかもしれません」。ズバリとそう書いてありますよ。凄いな、動物占い（笑）。それから、「一言がキツい」って書いてあります（笑）。

小川　いやぁ、キツくはないでしょ。キツイといったら、最近引退した某団体の社長のほうが、よっぽどキツイですよ（笑）。

——『象』の人の言葉には威厳があります。だから、キレたときには人を打ちのめすキツ〜い一言を発してしまう」。そういうところはありますか？

小川　う〜ん……あります！

——動物占いは12キャラあるんですけど、象は「キレたときは一番怖い」そうです。

小川　俺はキレるまでが長いんですよ。なかなかキレない。

——「ボタンは、まず押してみる」んだそうです。「なんだかわからないボタンやスイッチがあれば、とりあえず押してみる」。

小川　そうですね、とりあえず押しますね。「押してみればわかるさ」の精神ですから。

——「考えるより先にまず行動を起こす」。

小川　まず行動を起こして、「失敗したな」っていうことが多いね（笑）。

——いままで失敗したことってあります？

小川　多いですよ、けっこう。

——そういうときはどうやって立ち直るんですか？

小川　自分でやったから悔いはないんですよ。失敗って自分に返ってくるだけでしょ？　他人にやられたんじゃないから。

——その辺は強いですね。最後に「その積極性が大きな成功をもたらすカギになるでしょう」って書いてあります。小川直也が消極的になったらダメだっていう暗示だと思いますけどね（笑）。

小川　消極的になれないっていうのは、厳しいなぁ。

——ガハハハ！　で、積極的に行った結果、破壊王を再び破壊してしまったわけなんですけど、いま10月11日を振り返ってどうですか。

小川　ちょっとね、今回の場合は、あまりにも……なんて言うのかなぁ、あんまり試合のこと覚えてないんですよ。ハッキリ言って会長（猪木）に殴られたときにフッと我に返ったんですよ。

——かなり試合に入り込んでたんですね。

小川　入り込むなんてもんじゃないよね。

——入場とリングインしたときの顔がメチャメチャ怖かったですよね。「あ、また目ェ飛んどるやん」っていう感じで。

小川　そうですか？　ただ単に痩せてるだけって話もあるけどね。

——ガハハハ、なんで自分でそうやって落とすんですか！　で、この一戦は9月9日に突如発表されましたよね。最初は小川さんも気乗りしてなかったようにも見えたんですけど。

小川　まぁ、それを言ったら前回もそうだしね。もっと長期的に考えてほしいというのはありますよね。俺と橋本さんが試合しなくてもいいんじゃないの？って気持ちでいましたからね。ただ、藤波（辰爾）社長になってから、けっこう前向きな感じで、藤波さんが「橋本選手を男にしてやりたい」っていうのがあったから。たぶん、この試合に反対した人もいるんじゃないですか？　そんなに切羽詰まった発表をするっていうのは。

——当然、反対はあったでしょうね。

小川　最後は藤波さんの決断って感じになったんですけど、今回は本当にね、藤波さんがいないと全てがこうならなかった

Naoya Ogawa

ことですから。社長が変わってから、方針がガラッと変わりましたから。それは間違いなく、そうでしょう。

——藤波社長は、やるときはやるって感じですかね。

小川　じゃないの？　電流爆破もなくなったし（笑）。

——10・11決戦前には、アメリカ・サーキットに出たわけですけど、そこで！　1週間後に取り戻すとはいえ、NWA王座から転落するという実にショッキングな事件が起きました。

小川　（ベルトを手放すのが）早かった！　スッゴい早かったね。でも、よかったですよ。荷物運ぶのラクで。

——ズコッ！　ベルトの分軽くなったってことですね（笑）。

小川　けっこうベルトって重いから（笑）。タイトル取られた日は、新聞記者の方から電話かかってきて、「小川選手、なにしてんの？」って。「迎えに来るはずなんですけど、来ないんですよね」なんて言ってたら、「エ～ッ？」ってなってね。

——第9試合のはずだったのが、第6試合に変更になってたらしいですね。

小川　何も聞いてなかったからね。

——アメリカはそういうトラブル多そうですよね。

小川　っていうか、「あ、ゴメン」で済みますから。飛行機もそうだし。「飛ばなくてゴメン」って（笑）。今回も行きからつまずきましたからね。ポートランドで足止め食いましたよ。「どうすんだろ？」って思ってたら、強制的に空港の近くに泊まらせられて。な～んにもすることないし、空港はシャットアウトだしね。

——9月25日の試合は『トライアングルバウト』って言うんですか？　3ウェイダンス的に3人で闘うルールだったらしいですけど、ほとんどハンディキャップマッチだったらしいですね。一方の選手をフォールしたものの、後ろからゲーリー・スティールに高速カウントでフォールされてしまった。

小川　カウント早かった～。通常ならカウント2入っただけなんだけど、3になってやがって。「ワン、ツー、スリー」なのにさ、「ワ・ッ・ス」だったね、数え方が。手首のスナップ効かせてましたよ、あれは。

——効かせ過ぎだって話がありますけどね（笑）。

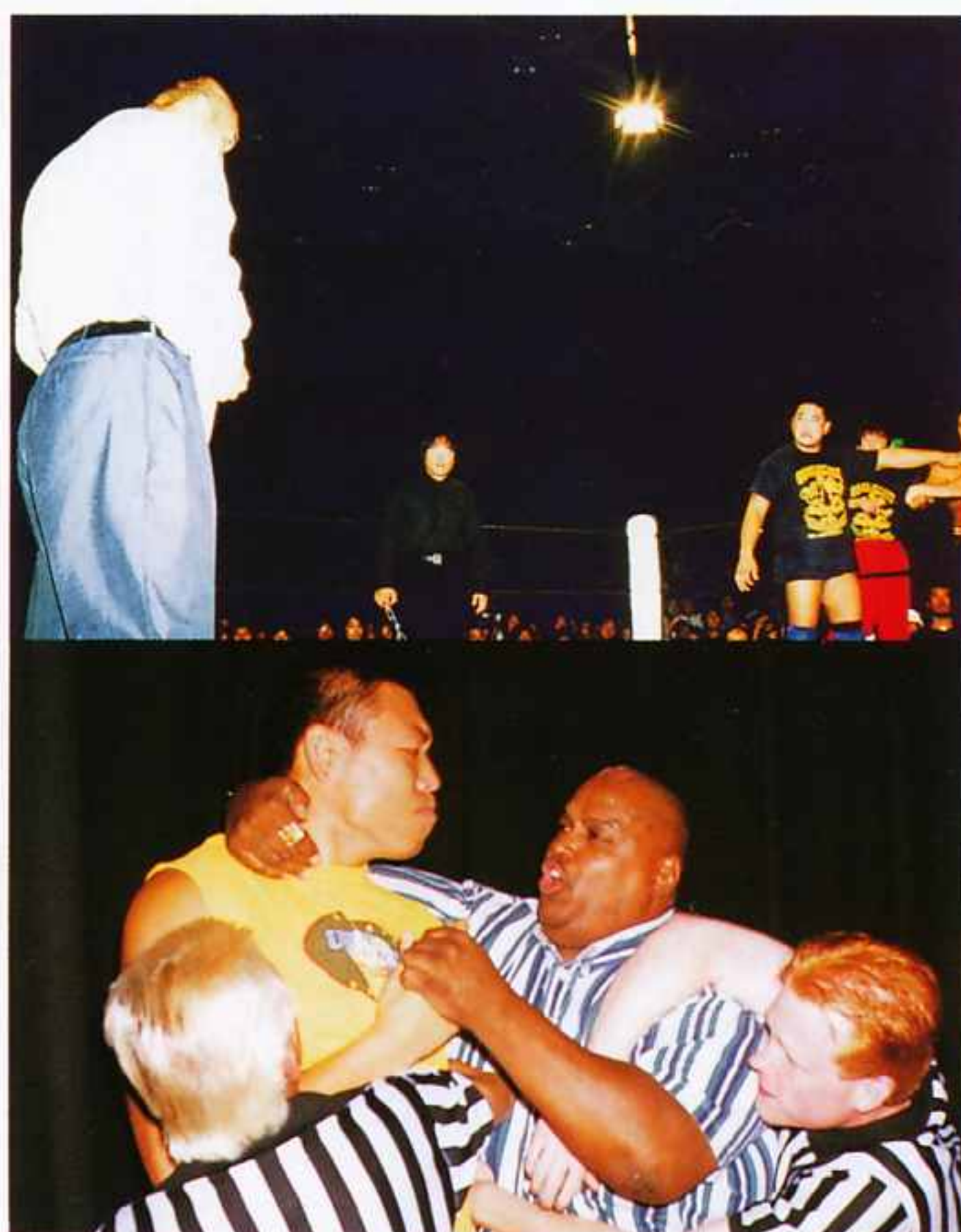
小川　お客さんはブーイングしてましたけどね。

——小川コールもかなり起こったって聞きました。

小川　日本人が来てましたからね。

——そもそも『トライアングルバウト』のルールは把握してたんですか？

小川　してませんでした！

ロスでの襲撃事件は、革靴でミゾオチにいいのをもらっちゃいました

【写真上】9・14新潟の上越大会を襲撃したアントン＆オーちゃんのＵＦＯパワーズ（仮）。破壊王は「俺も男だーッ」とリング上で叫び、控室では「血ヘドを吐かせてやる」と吠えまくった。ここからロス襲撃、ビンタ調印式へと「10・11」は転がっていく。【写真下】9月下旬から10月上旬にかけての米サーキットで一旦はNWA王座をゲーリー・スティールに奪われるという失態を演じたオーちゃん（10・2に奪還）。このサーキットでは、新日本のブッチャーと対戦する前に、本物のブッチャーと乱闘を展開した

——ガハハハ！　やっぱり。

小川　（アブドーラ・ザ・）ブッチャーに絡まれて、それどころじゃなかったです。ブッチャーがうるせえ、うるせえ。

——あ、小川さんとブッチャーが絡んだっていうのは衝撃的でしたね。

小川　「オレを思いっきり殴れ！　いいから殴れ！」とかわけわからないこと言いやがって。そしたら横の通訳の人に「本気でやったらダメだよ」って言われてね。

——ガハハハ！　なんだかよくわからない状態。ブッチャーはサンドバックになりたかったんですかね？

小川　軽くポーンとジャブ飛ばしたら、焦った顔してましたよ（笑）。一番イヤだったのは、俺は試合が終わってシャワー浴びてくつろいでたんですよ。ブッチャーは俺の1試合後に出てた。そしたら、流血したまんま俺んとこ来やがってさ。まいりました、あれは。

——ガハハハ。どこまで追いかけてくるんだ、ブッチャー！

小川　もう1回シャワー浴びなきゃいけなくなった。「血ィ飛ばすなよ、そんなに！」と思って（笑）。

——返り血浴びましたか。

小川　はい！　返り血浴びました！「もう1回シャワー浴びなきゃいけないじゃねぇかよ」と思ってね。

——いつ何時でも乱闘。それもある種のプロレスの奥の深さでしょうかね（笑）。

小川　いや～、やられましたよ。

——乱闘といえば、9月28日にはロスのLAボクシングジムで、いつもは襲撃する側の小川さんが、橋本選手に襲撃されるという事件もありましたね。

小川　橋本選手がうしろから来てそのまま蹴られて。蹴りがね、革靴じゃないですか。ミゾオチにいいのもらっちゃって。あれ、マジで痛かったですよ。マウスピースが取れちゃってね。

——つま先ですか？

小川　つま先入りました！　最悪でした！　でも一番ビックリしたのは、ジムのお兄さんたちだと思うよ。橋本さんを見て「あいつはクレイジーだ！」って言ってましたから。ジムのお兄さんたちはみんな発狂してましたね（笑）。

——「コノヤロー！」って気になったんですか？

小川　なりましたよ！　だってホントに痛かったもん。

——「痛かったもん」って、そんなにカワイイ言い方しなくても（笑）。

小川　「コノヤロー」よりも「マジで痛てぇなぁ」「なんだよ、これ」って思いましたよ。でも、あれで、あとになって考えると、橋本選手も並々ならぬ決意だったんだな、というのはわかりましたけどね。よく考えてあげればね（笑）。

——10月8日の調印式では橋本選手にテーブルをひっくり返されましたね。

DIRTY HEROISM宣言2000

小川　ビックリしました！「オーッ、テーブルが飛んでくるよ」と思って。でも、藤波さんが一番焦ってた（笑）。「オーッ、張り手やってるよ」って。あれはホントにね、「どうなっちゃうんだろう？」って感じで、俺もボーッとしてましたね。「どうすりゃいいんだよ？」と思ってね。「俺はなにすればいいんだ？」って。

――「鳩が豆鉄砲喰らった」ってよく言いますけど、「虎が甘納豆喰らった」ような顔してましたね（笑）。

小川　どうなっちゃうかと思って。なにがなんだかわかんなくなっちゃって「もう、いいや」と思ってね。「おいおい、そんなことするか？」みたいなね。やられる側の気持ちになりましたね。いつもやってる側だったから、今回、傍若無人なことをやられる側っていうのは対応できないもんなんだな～って、あらためて思いましたね。

――ガハハハ！　やられる立場に立ってみて、初めてわかると。

小川　そういう意味では、「橋本さん、ありがとうございました！」と。勉強させてもらいましたね。

――ガハハハ！　いよいよ10・11当日です。実に不謹慎な考えですけど、小川選手がドタキャンしたら面白いと思ってたんですけどね（笑）。

小川　腰痛いですからね。半分は考えましたけどね（笑）。

――あ、やっぱ考えたんですか（笑）。

小川　でも、それやったら橋本さんに「逃げやがって」とか、言いたい放題言われるからイヤだなっていうのはありましたよ。ま、それは冗談として、まさかドタキャンは考えてないですよ。前に言ったでしょ、「俺はドタキャンしないよ」って（笑）。

――言ってましたね。誰かさんへの当てつけで。

小川　というより、やっぱり選手としては、ドームでやれることの喜びの方が大きいですよ。NWAの防衛サーキットではさ、ボロボロの会場でやってたから。

――入場前の猪木さんのリングアナウンスというか、呼び込みは聞こえてました？

小川　聞こえたんですけどね、テーマ曲の前奏がなくっていきなり入っちゃったから、「あ、行かなきゃ」って。出たときに銀紙みたいなのに巻き付かれちゃって首が締まっちゃって、えれぇ苦しかった（笑）。そのまま1回転しちゃいましたよ。たぶん、ビデオに映ってると思うんだけど。あの銀紙は俺の敵が飾り付けたやつだよ。

――全国1千万の読者の皆さま、小川選手の入場シーンをチェックしてくださ～い（笑）。ボクは猪木さんのリングアナぶりにはビックリしましたね。いきなり真っ暗になってピンスポットが当たると猪木さんがいる（笑）。

小川「いつ侵入したんだ！」って（笑）。

――しかも、いきなりデカイ声で「元気ですかーッ！」とくるもんだから。人をビックリさせることしか考えてないんですよ、猪木さんは（笑）。

小川「こんにちは」のかわりに「元気ですかーッ！」だから。話ではね、会長（猪木）は、タオルを顔に被って変装してたらしいですよ。

――ガハハハ！　コソ泥じゃないんですから。そのマイクアピールに誘導されて入場してきくるときは厳しい表情してましたけど、何を考えてたんですか？

Naoya Ogawa

8月下旬から9月上旬にかけてのモンゴル遠征で記念写真の図。世界のコスプレ王も間近だ（ズコッ!）

立ち上がってくるからやるだけ！
やらなきゃやられるんだから!!

小川　腰が持ってくれるかな～っていうのがね。矯正してもらって、状態よくなってはいたんですよ。だからこのまま「とにかく腰だけ持ってくれ」と、それだけでしたね。

――『PRIDE．7』の（ゲーリー・）グッドリッジ戦の前は首の痺れがありましたからね。

小川　肩と首がね。必ずデカい大会の前に怪我があってね。キツいですよね、いま考えると。

――それを跳ねのけるのが凄いですよ。

小川　跳ねのけるっていうより、それが、なぜかいい方向に跳ね返ってますよね。

――それだけ偶然を呼び起こす力があるんですよ。

小川　花道を歩いてるときは、声援に助けられてるっていうのはありますよね。あぁいう声援によって勇気づけられるっていうのかな？　それは感覚的に非常にありますね。

――柔道時代にあまり歓声を浴びなかった者としては、歓声がなにより（笑）。当日は、敵地に乗り込むって感覚はあったんですか？

小川　いつ何時でも、敵地に乗り込むって思ってますけどね。

――いつ何時でも敵地！

小川　UFOの興行って年に4回ぐらいでしょ？

――今年はまだ2回ですね（笑）。

小川　あ、そっか（笑）。それ以外は全部敵地ですから。敵地の方がいいんですよ。待遇よくしてくれますから。控え室がデカいし。

――ガハハハ。自分のとこの興行だと、いろいろ心配事もあるし。

小川　他人様を大事にしなきゃならないしね（笑）。

――実に身勝手ですね（笑）。で、試合のことなんですが、『PRIDE』とかの格闘技イベントとはまた違う「プロレス」独特の懐かしい緊張感がありましたね。

小川　俺は今回、腰のことだけを考えてたから、内容はよく覚えてないんですよ。途中から会長に殴られるまで、ほとんど覚えてない！　会長に殴られてスイッチが切れた状態になってね。でも、あれにはビックリしましたよね、頭突きには。思いっきり入りましたよね。

――橋本選手がコーナーからなかなか出てこなかったときですね。

小川　苛立ったよね！　張り手喰らわしても来ないし。やられたときは「しまった！」と思いましたけどね。

――ちょうど小川さんが藤波レフェリーを突き飛ばした隙を突いて喰らわせてきましたね。

小川　藤波さんにも張り手喰らわせられたしね（笑）。俺は意味わかんないんだけど、社長だからガーッて行くのはやめとこうかなって（笑）。

――なぜだ（笑）。橋本選手がコーナーからなかなか出てこない場面では1・4がフラッシュバックしましたね。「また掟破りか、小川」という「?」マークがドーム中に浮かびましたよ。で、グラウンドでアームロックやってるときは、グッドリッジ戦もダブってみえたし。

小川　極めにいこうかなと思ったんだけど、ロープブレイクがあるからね。『PRIDE』だとないんだけど。1・4のときはね、橋本さんを軽く極めれたんですよ。でも今回はさすがに研究してましたよね。前回で「ヤバい」と思ったんじゃないですか？

――橋本選手はマウント取られただけでロープブレイクしてましたよね。

小川　マウントの状態は危ないですからね。あれは素直な行動でしょ。

――それだけ恐怖心があったと思うんですけどね。

小川　俺も、（1・4のように）あれだけ喰らっちゃえば恐怖心は出てきますよ、絶対。でも、あれだけやられて、また試合する気になるってこと自体が立派というかね。

――出てくる自体が凄いですよね。猪木さんが小川さんを呼び込む前に「人は歩みを止め、闘いを忘れたときに老いていく」と言ったときには、猪木さんの引退興行がダブりましたしね。だから、試合前に昨年の4・4があり、試合が始まってからは1・4があり、7・4もあり、4づくめだったんですよ、あの試合は。UFOの歴史が凝縮された試合というか。

Naoya Ogawa

小川　なんかね、最初はメイン前だったけど、メインまで張らさせてもらってね。そういう面では感謝してますよ。

――でも普通はあれがメインじゃなかったらおかしいですよ。

小川　俺はそこまで言えない！（笑）。（テレコに向かって）新日本プロレスの皆さま、いまのは山口さんが言ったんですよ～。

――「レフェリー・藤波」っていうのは試合に影響はありましたか？　レフェリングは、橋本選手寄りでしたよね。

小川　十分でしょう！「止めろよ」って願ってるのに止めないし。藤波さんには悪いけどね、「勘弁してよ」って感じだね。あのね、気持ちはわかるんだけど、俺は人殺しにはなりたくないって!!

――「もっと早く止めてくれよ」と。

小川　藤波さんの気持ちになれば、こうやって機会作って橋本選手に頑張ってほしいって思うのはわかるんだけど、それとこれとは違うじゃないですか。俺だってハッキリ言って、立ち上がってくるからやるだけでね。やらなきゃやられるから!!　勝負は、あるポイントで止めなきゃいけないじゃないですか。俺自身は前回同様、顔面に蹴りを入れてケリつけたかったから!!　で、〝沈んだ〟と思った瞬間でも、まだ立ち上がってきたんだけど、そのときの橋本さんの顔は終わってましたよね。見ててわかるじゃないですか？　ボクシングでいえば、立っててもヒザが笑ってる状態。顔見たら、目の焦点が定まってなかったしね。

――橋本さんの〝顔が笑ってた〟んですか？

小川　顔が笑ってたら、俺も笑っちゃうじゃない。「なに笑ってるんだ、コノヤロー！」って。

――いや、〝ヒザが笑う〟っていうのと同じ意味で〝顔が笑う〟って言っただけです。

小川　ああ（笑）。でも、俺もイヤだよ、あんだけ立ち上がってこられたら。

――小川さんは試合後に「立ち上がってくる橋本選手が怖かった」というコメントを残してましたね。

小川　俺ができないことをやるから怖かったよね。俺はイヤだもん、あんなに投げられるのは。俺だったらマイッタするよ、マイッタ。

――ガハハハ！　小川選手をあそこまで投げる人、いないですよ。

小川　イヤだよ～！　だって、しっかり頭から落としてたもん。

――手応えバッチリですか。

小川　手応えバッチリなのに、それでも立たれたらね。
――あの投げの連発地獄は、見てるこっちも気が遠くなりかけましたね（笑）。
小川　俺、投げてててイヤだったもん。頭バンバン打ってたでしょ。
――やったのは小川さんですよ！（笑）。
小川「殴り殺せ」って言われても、さすがに怖くてできねぇしな。だって、藤波社長見てるんだけなんだもん。「止めてくれよ！」って。
――写真を見てると、藤波さんはこの試合中、呆然としっぱなしですよ。
小川　社長もお客さんになっちゃったんですかね？
――そうなんですかね（笑）。それで小川さんが上になってるときブレイクかけて離そうとしてる写真があるんだけど、そのときに小川さんの腕をアームロックしてますからね、藤波さん（笑）。
小川　クッソー。俺、2vs1でやったみたいじゃないですか！　でも、社長直々にレフェリーなんてね、光栄というかなんというか。メジャー団体新日本で（笑）。
――あ、小川さん、動物占いの「象」の項目には「長いものに巻かれる」とも出てましたよ（笑）。
小川　いや、俺は巻かれるんだけど、巻かれきれない！
――何度も立ち上がってくる橋本選手が恐ろしかったっていうのは、殺しかねない自分が怖いっていう部分だったんですか？
小川　これ以上止めなかったらイヤだよって。トドメ刺さなきゃいけないってことじゃん、最後の最後になったら。そんなこと繰り返したら、殴り殺しって言い方は悪いけど、トドメ刺しちゃったら後遺症が絶対残るでしょ。いつかはやらなきゃいけないけど、いつかになる前に止めろよと思いましたよ。ヤバいな、ヤバいなって思ってるうちに、セコンドが乱入したと思ったら会長だった（笑）。
――いやぁ、凄い試合だったんですねぇ。
小川　でも一番ビックリしたのは会長の乱入！　殴っても蹴っても立ち上がってきて、「誰も止めないのか？」って思ってるときに、また張られたでしょ。「またセコンドだよ！」と思って、我に返って「誰だ？」と思って見たら、会長がいるんだからね。
――ガハハハ！　驚きますよね。
小川　熱くなったセコンドにまたやられたのかと思ったんですよ。1・4の再来かと思ってたら「あれ？　なんで会長がいるんだろう」「なにやってんだろう、会長だよ」って（笑）。

一番ビックリしたのは会長（猪木）の乱入!!
新日のセコンドかと思った

――そっちの方が怖いですよね（笑）。
小川　はい、怖かったです！「お前、殺す気か！」って言われた瞬間、「いや、俺は殺す気はないよ」と思って。
――あのときも小川選手は「虎が甘納豆食喰らった」みたいな顔してましたよね（笑）。
小川　みんなビックリしてたよ！　村上（一成）が一番ビックリしてた。誰か入ったから「しまった！」と思ったらしいよ。「俺はセコンドなのに遅れをとって」と思ったら、会長だったという（笑）。
――新日本のセコンドと思ったんですね。
小川　誰もが新日本だと思うでしょう。暴漢だと思われてもおかしくないでしょ、あんなの。タキシード着てるし（笑）。
――ああいうときの猪木さんは、ホントに「脱兎の如く」早いですからね（笑）。
小川　村上はあとで、「セコンド不行き届き」の言い訳してましたけどね。
――ガハハ！　セコンド不行き届き。
小川　村上選手のセコンドはいい味出してるんですよ。1・4では自分で出てくるし、7・4では「左腕が弱点ですよ」なんて言ってたのに、実はグッドリッジは右が弱点だったという（笑）。
――ガハハ。始末書ものですね（笑）。
小川　いや、いい味ですよ。リングサイドに幟が出てたらしいですよ。「村上一成」って。お前、試合に出んのかよって（笑）。ファンは期待してるんですね。セコンド同士の乱闘を。村上は乱闘支持率ナンバーワンだから。
――「行ってくれ、村上！」（笑）。
小川「オマエしかいない！」って（笑）。
――橋本選手のセコンドは飯塚（高史）選手でしたね。これもマニアにとってはたまらないというか（笑）。
小川　マニアの前で2人が闘えるように煽りましょうよ。俺的には煽ってるんですけどね。
――なかなかマッチメイクしてくれないですね。村上選手も試合後に「次回はリングに上がってください」ってコメントしてましたけど。
小川　もっと吠えればいいんですけどね。
――もっと吠えろ！（笑）。そういえば、橋本選手が試合後に「猪木さん、ありがとうございました」と絶叫しましたね。
小川　急展開ですねぇ。
――解説してどうするんですか！（笑）。
小川　読めないなぁ。そこんところは、よく覚えてないんですよ。よくわかんないですね。

DIRTY HEROISM宣言2000

——最初っから最後まで、全て劇的じゃないですか。で、試合後の猪木さんのコメントで、「お客さんが不満があるんだったら、俺は腹を切る。橋本はよくやったと思うし、それで十分だと思う。俺自身は10万円を払ってでも見に行く。10万円は高くない」と言ってましたね。

小川　高くないですか?

——全然高くないですよ。ボクは10万円持ってないですけど(笑)。

小川　プレスパスでごまかそうと(笑)。いいですよね、プレスは。好きなときに好きな試合だけ一番間近で見れる。見たくない試合は見なくていいし。

——ちなみにウチは新日本は出入り禁止ですから(笑)。

小川　ガハハハ。そうなんですか。

——猪木さんは、「久しぶりに感動というか、勝ち負けを超えて何かを伝えてくれたと思う」とも言ってますね。

小川　そうですね。もともと勝ち負けだけにこだわってやってるわけじゃないから。「勝負」という言葉に対しては「勝ち負け」があるけど、「闘い」ということに関しては、UFOのひとつのテーマである「格闘芸術」というものを見せるっていうね。見ようによっては、今回の試合は、「惨すぎる」とか「芸術性がねぇ」という見方もあるかもしれないけど、あれは、やらなきゃやられる状態ですから仕方がない。

——芸術作品は、作家の狂気性が立ち昇ったときに芸術になることって多いですよね。

小川　だから、人の命のこと考えれば「やり過ぎじゃないの?」となるけど、俺はやらなきゃやられちゃうんだから。最後はああいう形になっちゃったけどね。

——「力だけの闘いを超えて、魂の闘いというか、彼らがそういう領域に達したんじゃないか」と猪木さんはコメントしてますね。

小川　別にこの試合は、どっちが勝った負けたっていう次元じゃないでしょ。

——でも小川さんには負けてほしくなかったですけどね、個人的には。

小川　最初から負けることを考えるバカはいないわけで、今回は結果が出たからいいんじゃないですか。でもこれからもね、やる機会があっても、絶対負けたくないっていう相手です。

——橋本選手は「もう1回やらしてくれ」と言ってますね。

小川　でも、ここからどうやって自分を磨いてくるかでしょうね。俺は俺自身で新たなものを作っていかなきゃならないしね。

Naoya Ogawa

——猪木さんのコメントで、もうひとつ実に興味深いものがあって、「日本的なプロレスというのは、世界にないもので、俺たちが作り上げてきたものだ」というものなんです。「闘いがあった」とも猪木さんは表現してますけど、こういうエンターテインメント・プロレスにはない「精神性」みたいなものには、なにか考えはあるんですか?

小川　民族性の問題であって、アフリカ行くと、プロレスっていうもんは一切ない!　日本の場合って、「島国イコール、ジャパン」っていう部分があってね。戦争もそうだけど、昔からの教育っていうのが片道切符?　特攻隊みたいなものもそうだけど、そういったド根性がズッとありますからね。島国としての伝統的なもの。外様は打ちのめされて。だから自分のところは自分でしっかり守る。決して外に出ない。やっぱり闘いっていうのもそうですよね。

——小川さんは外に出っぱなしですけどね。敵地に乗り込んでばかりというね(笑)。

小川　そういうのもありでしょう。

——あと、もうひとつ興味深いコメントがあって、長州力監督が「いま一番シンドイのは誰だかわかる?　小川だよ」って言ったらしいんですよ。

小川　凄いよねぇ。よく俺の腰痛がわかったなぁ(笑)。

——ガハハハ!　腰痛の問題じゃないです!

小川　違うの?　腰痛のことかと思ったよ。

——もうちょっと深い意味があると思うんですけどね(笑)。

小川　なんだ、腰痛の心配してくれてるのかと思って「ありがとう」って思ってたのに。

——出た(笑)。

小川　なに、「出た」って?

——小川選手らしい言葉だなぁと思って(笑)。

小川　『紙プロ』的に言っておこうかなって。違う雑誌だったら「どんな意味なんですかねぇ?」って言うけどね。でもホント、一番シンドイのは俺だよ~。ギックリ腰でさぁ。でもさすが長州さんだね、見抜くなんてね(笑)。

——でも確かにドン底まで落ちた橋本選手は這い上がっていくだけだけど、小川選手はこれからさらにグレードを上げていかなきゃいけない。こっちの方がシンドイとは思いますよね。

小川　いや、もともとズッとシンドかったからね。「なに考えてるかわかんない」とか「アホか」とか言われ続けてきましたから。

――「チキン」とか（笑）。

小川　そう！　誰かさんにはチキンとまで言われちゃったからね。「俺がチキンだってことがよくわかったな～」って感じでさ、「バラすんじゃねぇよ！」って思っちゃったよ。ダーッハッハッハ。

――ダーッハッハッハ。でもこれから、グレードの高い次元で、真のトップになるための闘いが待ってますね。

小川　なんかね、それ狙ってできることじゃないし、自分に正直に生きればいいんじゃないですか？　シンドくなるもなにもさ、自分がシンドイと思えばシンドイし、逆に言えばひとつの夢に向かっていくことは楽しいしね。

――小川さんは自分で設定してるハードルが高いんでしょうね。

小川　もともと会長と一緒に掲げたのが、「日本発世界」だからね。そういった意味ではいい雰囲気だし。

――追い風ですよね。

小川　ねえ。よく会長に言われるのは、先導動物に早くなれっていうことですね。ライオンに狙われるんだけど、いち早く危機を察知して逃げようとする先導動物が、大きな群の中には絶対いる。そいつがバーッて逃げたらみんながついてくる。俺がいる群れの先導動物っていうのは会長だから。

――小川さんは、ある意味、閉塞した時代から思いっきり先頭切って逃げてますからね。

小川　カッコいいんじゃなくって、ただ逃げ足が早いだけなんだけどね（笑）。

――これからも、「強い小川」という側面ばかり期待されますよね。「強い」というイメージ。でも、そういったイメージを、小川さんが、いい意味でどう裏切ってくれるのか、それも楽しみなんですよ。

小川　ズッとそんなイメージなかったんですけどね。俺は“なにがなんだかわかんない”っていうイメージだったんですよ。そういうイメージを見せてたんですよ、ズッと。

――あ、見せてたんですか？（笑）。

小川　そういうこと言っちゃいけないけど、そういう時代もあったのよ（笑）。

――デビューしてからしばらくの間ですね。あ、いま連絡が入りました。今日、橋本選手が記者会見やったらしいんですけど、次期シリーズは欠場らしいですね。

小川　いや、あれで欠場しなかったら凄いことですよ。

――心身ともに相当ダメージはあったんでしょうね。

小川　しょうがないよね、勝負だから。だけど、その分怖いですよね。負けた方が絶対強いですからね。「負けるが勝ち」っていう言葉が好きじゃないですか、日本人って。

入場ゲートには「闘魂伝承」のガウンを来て現れた破壊王。この負けによってドン底を見た破壊王の往く道は、かえってこの日から輝きはじめたともいえる

『PRIDE.』からの生還を果たしたオーちゃんは、“オーちゃんスタイル”ともいうべき戦闘スタイルで、破壊王にダメージを与えていく。このまま格闘ロマンを突き進めッ！

――ある意味、負けを知った人が強くなれるという部分はありますよね。

小川　俺なんか負ける方が多かったからね。柔道もここ一番で負けること多かったし（笑）。

――自分で言ってどうするんですか（笑）。

小川　オリンピックもそうだったし。「勝てるんじゃねえかな？」って思うと負けてたからね（笑）。その頃はよく、人に「負けるが勝ちだからな」って励まされました（笑）。

――今日の記者会見で橋本選手は「小川は強いです」とも言ってたらしいですね。

小川　そう言われちゃうと怖いね、次が。認めたときっていうのは、人間、恐ろしいんですよ。一度認めちゃうと、俺っていう目標ができちゃう。「アイツは弱い」って言ってるうちは、まだ自分に過信があって、絶対に上達しないんですよ。「あいつは絶対強いぞ、あいつには負けないぞ」ってなると、やる気が起きてくるじゃないですか。

――小川さんの強さって、そういうとこでしょうね。小川さんは「負けは負け」ということに向き合わなきゃいけない場面がいままでいっぱいあったわけじゃないですか。それも世界レベルの舞台で。それを踏み越えたときに見えてくるものがあるんでしょうね。

小川　負けたって認めれば、自分の足りないものって見えてくるじゃないですか、自ずと。そこを克服すればいいから、簡単なこと。負けに向き合えば次が見えてくるんですよ。

――負けを負けとして認めない人って、けっこう多いですからね。

小川　そうすると自分が上達しない。

――話は変わりますけど、リングスの山本宜久戦の話はどうなったんですか？

小川　終わりました！（キッパリ）。寿司でもそうだけど、新鮮なうちが一番美味しいんだから。酢漬けじゃないんだよ。

――酢漬け！　いい表現しますね。

小川　一番感動するのが船盛りでね、「オーッ生きてるよ～！」っていう状態が一番美味しいじゃない。その試合は、もう魚が死んでカビが生えてますよ。

――やっぱり動物占いは当たってますよ。「一言がキツい」（笑）。

小川　キツくはないよ。これはただ単に、ものの例え。

――その例えがキツいんですよ（笑）。でも前田日明さんが、「UFO側が12月に延期って言ったから、こっちは用意して待ってるだけ」と言ってました。

小川　俺は言わない！　いい加減にしろ！　選手を無駄に使うな！　言うんだったら復活して、自分でやれって。それ、面白

いじゃない。むしろファンが見たいのはそっちじゃない？

――ぐぐぐぐぐ。

小川　プロレス界全体で考えると、凄い面白くないですか？

――いや、それができれば面白くないわけがないですよ。

小川　内容はともかく、いきさつも十分満載だし。ここはひとつ、その人が復帰するのを願いましょう。で、復帰したときに、いままでしゃべったことをそのまましゃべってくれって。それが一番面白いんじゃないですか？　だからリングスについては、あれこれ言ってる本人が復活してくるのを待ちましょうってことでどうでしょうか？（笑）。

――「どうでしょうか？」って聞かれても、ズバリ言って困ります（笑）。でも山本選手は小川さんと選手として純粋にまだやりたいみたいですよ。

小川　そういうんじゃなくて、俺の答えはひとつ！　前田選手復活！　どうでしょうか？　もう言った言わないの話は次元が低いから。水に流すから。「そうオーちゃんが言ってた」って前田"選手"に言っといてください。それこそ盛り上がるでしょう。そこは『紙プロ』さんで強力にプッシュして……。

――どうプッシュするんですか！

小川　いいじゃないですか。殴られれば。タコ殴りにあえば。

――いや、そんなこと本気で勧めたら、「負けを負け」として認めるとか言う暇なく、殺されますよ（笑）。

小川　それができるのは『紙プロ』さんしかないですから。

DIRTY HEROISM宣言2000

リングス問題に関しての俺の答えはひとつ！　前田選手復活！

「実現したのは『紙プロ』さんのお陰です」って言いますから（笑）。

――かー。汚いですねぇ。あ、そうだ。今日、『ＰＲＩＤＥ』の記者会見もあったんですよ。

小川　え？　『ＰＲＩＤＥ』もねぇ。

――出場予定選手として小川さんの名前もありましたけど。

小川　やることやってくんなきゃ出ねぇよ！

――「やることやってくれない」っていうのは？

小川　３試合契約とかなんとか言ってたけど、それもね、ないから。俺の口からそんなこと言うことはない。ただ、条件としては、高田（延彦）選手かヒクソン（・グレイシー）選手とやるっていう目標で『ＰＲＩＤＥ』に出たわけですよ。で、『ＰＲＩＤＥ』側が「キミはそんな器じゃない。己を知りなさい。まず、これをやりなさい」って言って、暴走タイフーンだっけ？　ゲーリー・グッドリッジとの試合組まれてね。で、「この人とやったら次はやらせてくれるんですよね？」って言ったら「違うんです」って言われてね。相手の顔色見たら、「オメー、勝ってから言えよ！」って顔してましたからね。で、グッドリッジに勝って「これでどうだ。さあ、やらしてくれよ！」って言ったら、「それはできねぇ」とかヌカしやがってね。あ、スイマセン。ちょっと言葉が汚くなってしまいました。

――小川さんから言わせると話が違うと。じゃあ、11月の『ＰＲＩＤＥ』出場はないということですか？

Naoya Ogawa

小川　他の選手との試合は考えたくないです。高田選手かヒクソンとしかやらない！　その２試合やった後に『ＰＲＩＤＥ』側の条件は飲みますよ。それは道義上の問題ですから。道着は着ないけどね。

――ガハハハ！　だから、なにも言ってないうちから自分で落とすのやめてください（笑）。

小川　あんまり真面目な話になっちゃうと、『紙プロ』じゃなくなっちゃうじゃないですか。途中まで真面目に言って、一気に落とさないと。

――そういう雑誌だったんですか、ウチは？　初めて知りました（笑）。

小川　真実満載じゃないですか（笑）。でもこういうこと言うと、また「売名行為」だとかなんだとか、そうなっちゃうと怖いからなぁ。

――なにチキンぶってるんですか（笑）。小川さんは、７・４と10・11、このふたつを乗り切ったことによって、名前にさらに深みが出ましたよね。

小川　この先、そうじゃなくなるでしょう。「こんなヤツだったのか！」って言われるような、またヒートをガンガン買うようなことでもやりますよ。イイコぶっててもしょーがないですからね。ダーッハッハッハ。

【10月14日・六本木アートセンター０ＳＴにて収録】

かつて、こんなNWA世界ヘビー級選手権試合があっただろうか。小川vs橋本戦には見事なくらいに「格闘ロマン」が立ち昇った。橋本は「復活」をかけ、小川は「常勝」を強いられ、お互いに引けない闘いは、プロレスにしかない「リアリティ」と「ドラマ」と「ハプニング」を呼び込んだ

ＵＦＯ北朝鮮襲撃は来年４月に延期になったが、10・11のあとも、ＵＦＯ周辺にはビックリする話題が尽きない。

そういえば、詩集を出版する予定もある猪木さんは、10・11のあと、ドン底まで落ちた破壊王にこんな詩を送ったらしい。

「かいて　かいて　恥かいて　裸になったら見えてきた　自分の姿」

そして猪木さんは、その後も橋本にエールを送り続け、ロスで共にバーリ・トゥード特訓を行うかもしれないとも伝えられている。

プロレスにしか醸し出せない「闘い」を通過した橋本は、小川直也へのリベンジへ向け、これからどう立ち上がっていくのか？　そしてオーちゃん自身の闘いの矛先はどこに向くかわからないまま、藤田和之が１・４の対戦相手に名乗りを上げた。

オランダ遠征、ロスでのＵＦＯ・ＵＳＡの旗揚げ、『ＰＲＩＤＥ』への再出陣。「オーちゃん発新世界」は、とてつもなく大きなスケールで発進されつつある。

オーちゃんを取り巻く格闘ロマンは急展開を見せ始めているのだ。

人は歩みを止めたときに老いてゆく。

いまこそ、格闘ロマンを突き進め、オガワーッ!!

大仁田厚

本誌初登場記念ロングインタビュー

U系って破壊されてるじゃん そんなの載せても売れねえゾ!!

オイオイオイオイオイ！　『紙プロ』の読者さんよ！
遂に、あの男が『紙のプロレスRADICAL』に初登場じゃ！　じつは、『紙プロ』本誌の頃にちょっとしたトラブルがあり、それ以降大仁田は『紙プロ』を忌み嫌っているという噂が編集部に飛び込んできた。そんなこともあり、なかなか本誌に登場しなかった世紀末のカリスマが、満を持して乗り込んできた！
さあ、思う存分語ってもらおうじゃありませんか！　『紙プロ』のこと、新日のこと、そして本誌上で散々大仁田バッシングをしてきた前田日明や高田延彦のことまでも！
オマエラはぁぁぁ、大仁田のインタビューが読みたいかぁぁ!?
オマエラが読み続ける限り、紙プロも大仁田も永遠に不滅じゃ！

聞き手／チョロ
interview by Choro

撮影／森鷹博
photographs by Takahiro Mori

大仁田 厚
紙のプロレスRADICAL
初登場じゃあ!!

『紙プロ』さんよぉ
待たせたな！

DIRTY HEROISM宣言 2000

取材拒否？ あぁ、そうなの？ 忘れてたよ。『紙のプロレス』読まないし

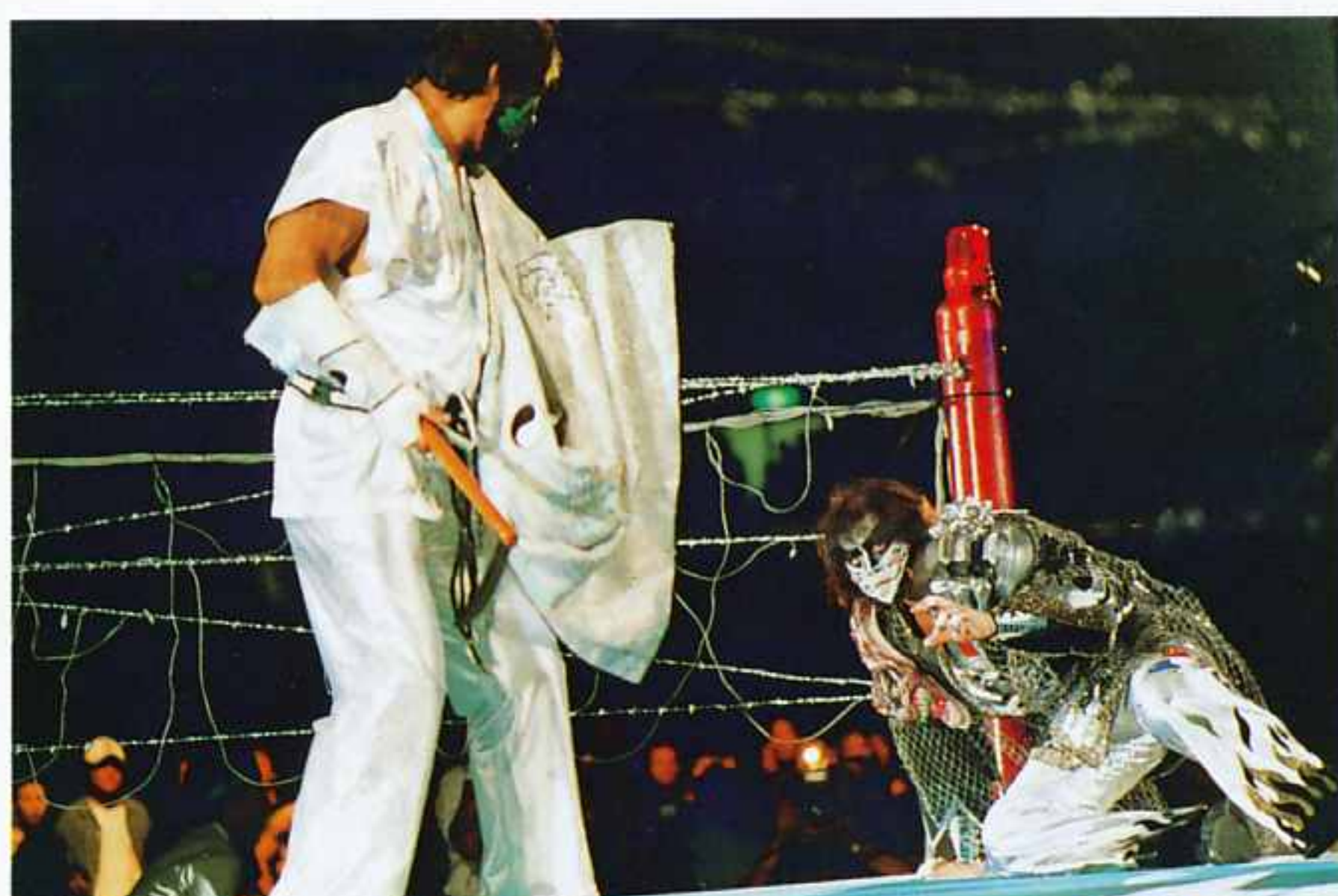
——大仁田さんには、小さい頃の『紙プロ』（9号）には出てもらったことがあるんですけど、そのときに原稿チェックを怠って、高田（延彦）さんへの辛口な発言をそのまま掲載しちゃったらしいんですよ。

大仁田　あぁ、そうなの？

——ボクはその頃はいなかったんでわからないんですが、まあそういうのが原因で、それ以降、取材拒否だったみたいなんですけど。覚えてないんですか？

大仁田　俺は過去のことは忘れることにしてるんだよ。

——（安心して）忘れてくれたんですか。

大仁田　いいことは覚えてるけど、悪いことをさぁ、今更さぁ「『紙のプロレス』は嫌だ！」とか言ってもしょうがないよ。

——『紙のプロレスRADICAL』になってからも、何回か取材をお願いしたことがあるんですけど、あまり快い返事は頂けなかったんですよ。

大仁田　それは『紙のプロレス』が、俺のスタッフに嫌われてるだけだよ！　だって、俺のとこまでそんな話は入ってこないもん（笑）。

——ガクッ！　大仁田さんの耳に入ってなかったんですか。それじゃ『紙のプロレス』ってどんな印象があります？

大仁田　『紙のプロレス』？　全然読まないなぁ。（持参した『紙プロR』NO20をペラペラめくりながら）ホントに読まないな。だいたい『紙のプロレス』って、大仁田厚に冷たいじゃない？

煽りに煽りまくって、遂に8・27新日本プロレス神宮大会で実現した「ムタvsニタ」対決。しかし、電流爆破の規模や設備に問題があり、観客席からは大ブーイング&ゴミが飛び交った。しかし、転んでもタダでは起きないのが邪道流。グレート・ニタの追悼シリーズを組んで、後楽園ホールを埋めてしまった

——そんなことないですよ。メチャメチャ熱いですよ！（『紙プロR』NO20のハガキ劇場の扉を見せる）ボクはグレート・ニタのメイクとかよくしてますから（笑）。

大仁田　バカなことやってんなぁ（笑）。

——（嬉しそうに）はい（笑）。

大仁田　（『紙プロR』NO20をペラペラめくりながら）高田延彦、アレクサンダー大塚？　これ載せたって売れないよ。客入んねぇよ。客入るのってあるんだよ！　客が入るってのは、大仁田と長州力だよ！

——いきなり直球勝負ですね（笑）。

大仁田　だけどォ、俺はいつもニュートラルなスタンスでいるのに、そんなもんポリシーとか言ってたらキリがないよ。俺は新日本だって全部否定してるわけじゃないからな。武藤（敬司）も否定してないし、猪木さんのストロング（スタイル）って言うのも素晴らしいもんだし否定はしてないよ。だけど、時代の流れっていうのがあるんだから。新日本も「ストロングだ、ストロングだ」って言って猪木さんの流れがずっと根付いてたら、武藤、蝶野（正洋）の存在はなかった。ましてやnWoなんてないよ。それがなんで爆発的人気を得たかと言うと、ファンが新しいものを要求してるわけよ。それをまた戻そうとしたってさ、わけわからん方向性になっちまうだけだよ。

——出だしから、いきなり熱いですけど、（ここでマネージャーから仕事の電話が何本も掛かる）メチャメチャハードスケジュールみたいですね？

大仁田　メチャメチャハードだよ！　明日も朝イチからドラマを撮らなきゃいけないんだ。もう3ヶ月も休んでないよ。（緊張するチョロを見て）バンバン聞いてよ。俺は聞いてないようなふりして聞いてるから。タバコも吸っていいし、普通にやって。（大仁田に合わせて、ライダースを着ていったチョロに向かって）別にいいじゃねえか、ライダース着ててもなぁ？

——はい。いいと思います。

大仁田　「夏でもライダースを着ててもいけねえのか！」ってあるわけじゃない。こうしなきゃいけないっていう定義はあるのかなぁ。だってライダーが夏はライダースを着てオートバイを乗ってたっていいわけじゃない。でも、それを否定する大人がいる！「新日本はそんなに大人なのか！」って俺は逆に言いたいよ。藤波さんだって子供作ってんじゃあねえかって、ヤってんだろって！「私はまともです」って顔してさ、ちゃんとやることはやってんだろ！「大仁田というアレは頭にない」とかさ、頭になくたっていいよ！　新日本プロレスのレスラーはみんな使ってんじゃねえか！「あんたは周りをよく見てみなさい、使ってるヤツはたくさんいますよ。全員使わなくなってから俺に言って下さい」って思うよ。

——藤波社長は、結構堅いとこがあるみたいですからね。

大仁田　堅いっていうか、頭悪いんじゃないか？　鉄柱かなんかで頭を打ったんじゃねえか。

DIRTY HEROISM宣言2000

——ヒャハハハハ！　何回も打ってるでしょうけど（笑）。

大仁田　打ち所が悪かったのかなぁ（苦笑）。（たまたま開いた『紙プロR　NO20』前田日明のページを見て）前田さんって面白い？

——前田さんは面白いですね。大仁田さんと同じで自分の言葉をちゃんと持ってますし。

大仁田　あ、そう。でも引用が多いよな。なに言ってるかわかりづらいし。それにビジュアル的じゃない。テレビ的じゃないよな。ちゃんと喋んなきゃダメだよ。

——カツゼツよくですね（笑）。それで、ウチの読者は、割とU系と言われるファンが多いんですよ。U系のファンっていうのは、頭ごなしに、インディー系は、拒絶しちゃう人が多いんですよ。大仁田厚は大嫌いって言う人もたくさんいますからね。

大仁田　支持しなきゃいいじゃん。ボクは読者の皆様に支持を受けようとは思ってません（キッパリ）。ただ、ひとつ言っとくよ。世の中はそんなに甘くはねぇぞ！　自分だけの考えが正しいと思ったら大間違い！　人の意見も聞くことだって。でも好きなヤツもいるからな。

——やっぱり大仁田さんに対しては、好きか、嫌いか、両極端じゃないですか？

大仁田　きっと、そのうち嫌いな奴も好きになるよ。

——必ず振り向かせてみせると。

大仁田　（自信満々の表情で）なるよ！　そんなのわかるよ。なんで？　ならないと思う？　だけど、UWF系って言っても破壊してるじゃん！

——破壊してますか（笑）U系を含め他の団体が総じて元気がないんで、大仁田さんのパワーだけが突出して目立ってるってとこがありますよね。

大仁田　ところで、みんなは俺と真鍋（アナウンサー）の対決は面白がってるの？

——当然じゃないですか！　試合は見なくても大仁田劇場だけは見るっていうファンって大勢いますよ。ウチの編集長もそうですけど（笑）。

大仁田　アレをさぁ、タレントが見てるんだよなぁ。リサ・スティッグマイヤーまで見てるんだよ（笑）。あんま見そうにないじゃない。アレは面白いと思うよ。飯島愛も見てたな。

——結構モノマネする人もいますしね。そういう意味では世間に十分に届いてますよ。あれが終わるとチャンネル変えるって人も結構いますから。

大仁田　同じような試合を流したってしょうがねえじゃん。

——この間の神宮（8・28）のニタvsムタは、大仁田さん的にも、ムタさんにとってもマッチメーク的には不本意だったと思うんですけど。満足していますか？

大仁田　満足なんかないよ！　いつも満足しないから、明日いい試合にしようと思ってやってるだけだよ。ただひとつ言わせてもらえば、ニタ対ムタってああいう試合なんだから、それを受け入れられるぐらいの器がないとな。そういう意味じゃ、たいしたことねえなって。プロレスっていうのは、感性、感覚で見るもんだから。背景とかいろんなものを全部頭の中に置き換えて、自分の中でインプットされた資料を垣間見ながら、ワクワクしながら見るのがプロレスだから。いまのファンはリサーチ不足だよ。表面上の試合だけで物事を語っちゃいけない。「ムタは知ってるけど、ニタは知らない」みたいな拒否反応を起こすんだったら来なきゃいい。

——その神宮大会をキャンセルした高田延彦選手にはどのような印象をもってますか？

大仁田　俺はよくわかんないけど、俺はどっちもどっちだと思うけど、キャンセルした高田（延彦）選手も新日本プロレスもそうだけど、どっちもどっちだと思うけどな。ただのキャンセルした人だよ。キャンセルっていうあまり許されない行為だから。納得がいかなければ決裂すればいいわけだよな。ある程度リアクションはあったから発表したわけだし。まあ、俺もよく知らねえから多く語ったってしょうがないよ。今回のドーム（10・11）の小川vs橋本戦なんかは、その前にプロセスかなんかがあれば別だけど、何にもなくて、ポ～ンッと決まったじゃない。

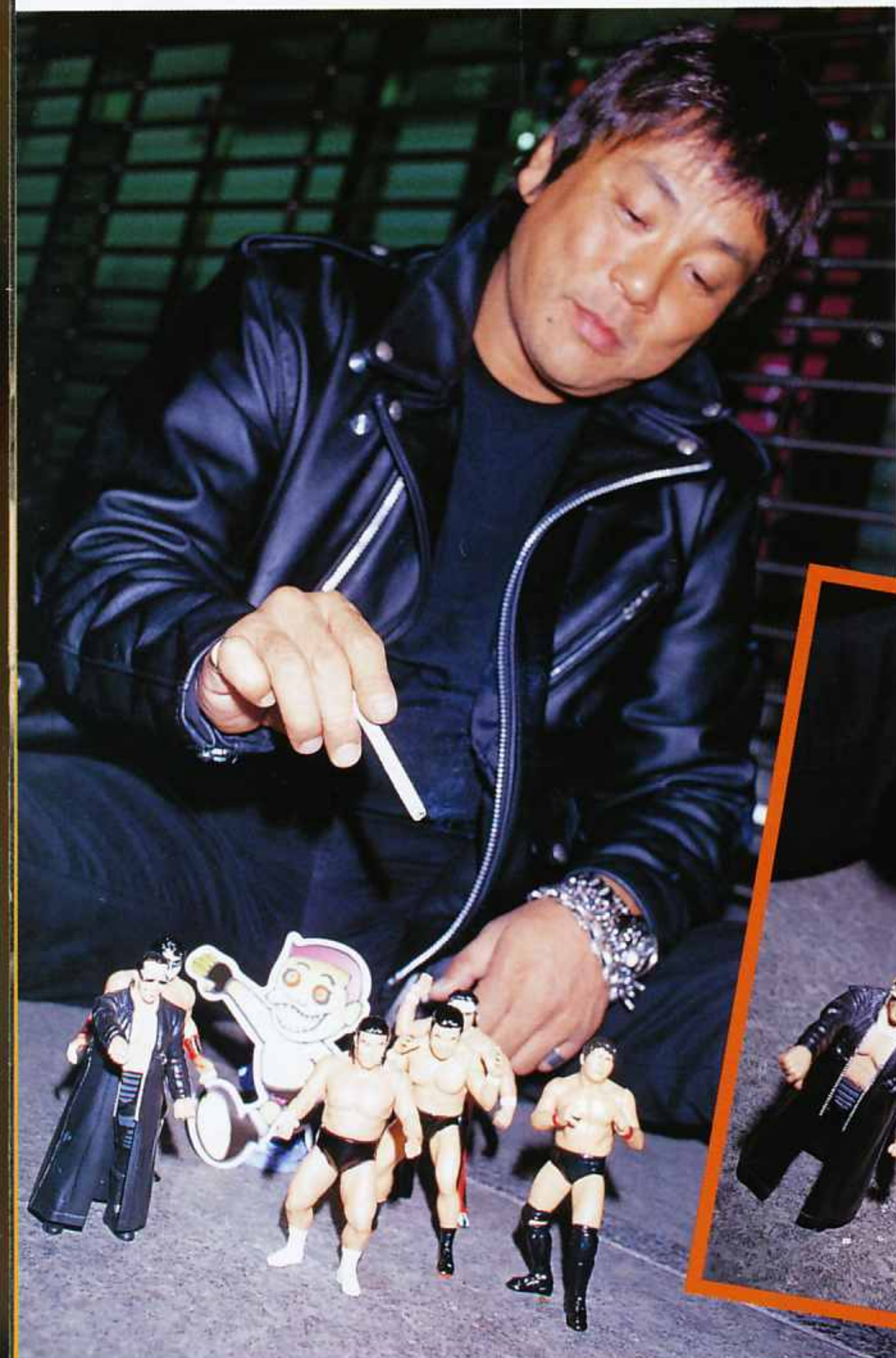
——「大阪南港より、ニタ復活！」ってダーンッと出てきた方がインパクトはありましたからね（笑）。

大仁田　よくわかんなかったけどな（苦笑）。（突然険しい顔になって）おいっ、アレは笑っただろ？

——ん、いや笑いはしなかったですけど、インパクトはありましたよ。

大仁田　笑えなかった？　アレは笑ってナンボだよ。

——すいません。笑ったって言ったら怒られると思って。ホントは大爆笑しました（笑）。

大仁田　おい、おい、素直になれよ（笑）。まじめに一生懸命やるのが俺らの仕事だから。ニタはニタで別人格だからさ、キャパシティーがあるプロレスファンなら理解出来る試合だったよ。それを新日本のファン

が理解できなかったのは、よくわからないな。

――それで、新日本プロレス出身の前田さんに、この間の『ワールドプロレス』のニタの登場シーンを見せたんですけど「頭が悪いなりによく考えたな、大変だよコイツ」みたいな感想だったんですよ。「ああいうのをやるのはわかるけど、俺がやった方が面白いよ」と。

大仁田　（即座に）絶対無理だよ。前田さんには絶対できない。勝手に言わせておけば。

――でも、U系というか、総合格闘技系と、WWFを筆頭にまあ大仁田さんがやっていることとか、対極の形であるじゃないですか。どっちかに振っちゃうしかないと思うんですけど、大仁田さんのやろうとしてることはWWF路線ですよね。

大仁田　いや、WWF路線じゃなくて。あああいうアメリカンプロレスにジャパニーズテイストを加えてさ。そういう生き方しかないと思う。純粋にプロレスでいっても、いまは全日本も面白くないもん。つまんないでしょ？

――大仁田さんは「最初に新日本に上がるときに両天秤の意味で全日本の名前を挙げたけど、ハナから上がる気はなかった」って書いてましたよね。

大仁田　上がる気なかったって、馬場さんは、上げないだろうし、馬場さんと話したけど「ダメだよ！」とは言ってたから。三沢選手の頭じゃ、上げるだけのキャパシティーがないじゃん。使いようがないじゃん。だって、前田さんもそう言ってるかもしれないけど、前田さんはできないよ、グレート・ニタもグレート・ムタも。グレート・マエダなんて絶対出来ないよ。

――ヒャハハハハ！　「グレート・マエダ」。本人は「そういうことをやらせても俺の方が凄い」って言ってるんですけど。

大仁田　無理だよ！　あの天才と言われる武藤だって火を投げれないんだから。

――大仁田さんも1・4が火を投げるの初めてでしたけど。

大仁田　火の練習なんてしたことないもん、初めてでだよ。プロレスは感性だから。

「オイオイオイ、長州さんよぉ！　俺と闘ったらなあ……」とフィギュアで仮想対決して、一人で悦に入る大仁田。新日本が、長州が、いまのプロレス界をつまらなくしている原因だ、というところから大仁田のレジスタンスはスタートしている

――新日本のファン気質について言えば、この間の神宮が一番「こいつら見方がわかってないな」ということを感じたりしたわけですか？　やっぱり最初の1・4のドームが一番熱があったというか、ファンのパワーもあったと思うんですけど。

大仁田　そうだね。もう最終戦争に来てるから。ここで長州が上がるか上がらないかで、あのオッサンの力量が問われるな。

――長州力にはそういうキャパシティーがあると感じたわけですか？

大仁田　目標のターゲットとしては長州力以外にないじゃん。インディーズをあれだけコキ下ろしてて。長州力は、大仁田憎しっていうなんかあるわけじゃない、因縁めいた赤い糸っていうのが。

――長州さんはインディー嫌いとして、過去にいろいろと発言もありましたし。

大仁田　俺の中にそういうのが溜まってるわけよ。「いつかアイツと当たったら」と思ってて。結果なんか二の次だよ！　俺ら結果論は望んでねぇだろ！　しょうがねぇだろ！　さしあたって意地でぶつかって、のし上がっていくしかないんだから。うしろを振り返ったってしょうがない！　面倒くせぇよ！　そっちも振り返る？　そういう性格ですか？

――いや、ボクは前進あるのみです（笑）。

大仁田　だから、「いいな」と思った女と一夜明けて、ヤった女が「さよなら」って言ったらさ、そりゃあもう一回ヤりたいと思うけどさ（笑）。

――思いますねぇ（笑）。

大仁田　「さよなら」って言ったらしょうがねぇじゃん。

――来る者は拒まず、去る者は追わず。

大仁田　そ〜う。もう一回ヤりたきゃ、電話してしつこくしてもいいけど（笑）。だけど、そいつらが俺の人生に文句を付けるなよって。人のことをとやかく言ったってしょうがないよ。でもさぁ、俺は高田の悪口なんかは言ってねぇよ。ただ「こういうとこは悪いよ」っていう……。

――アドバイスをしただけと（笑）。高田さんは大仁田さんのことを同業者と認めていないみたいですけど。

大仁田　俺が芸能人だと思ってんだろ？

――まあ、最近は高田さんもCMたくさん出てるんですけどね（笑）。

大仁田　あいつは芸能人とは思わないけどねぇ。あまりにもショッパ過ぎるよ。そう思わない？

――芸能人としてですか？

大仁田　高田に限らず、みんな出たくてしょうがないんだよ、ホントは。

――みんな芸能人になりたい病（笑）。

大仁田　なりたいだろぉ。だったら三沢も出ねぇだろぉ。

――全日本も頑張って、最近はバラエティーに結構出てますからね。

大仁田　わかんねぇなぁ。「お前らポリシーも何にもねぇだろ！」って。俺は最初からずっとやってるわけじゃない

――全日に関しては「スタイル的にも5年古い」って言ってますけど。

大仁田　だって寝過ぎだろうよ。だってずっと寝てるじゃあねぇか！　あんなんだったら俺だって49分出来るよ。

――ヒャハハハハ！　49分（笑）。

大仁田　ず〜っと、寝てりゃいいんだから。この49分って言うのがいいなっ（笑）。別にさぁ、いい子でいようと思っちゃいね

（急に険しい顔になって）ニタ復活は笑っただろう？
アレは笑ってナンボだよ

DIRTY
HEROISM宣言
2000

身を捨ててこそ
浮かぶ瀬もあり

えもん。（可愛く）悪い子だっていいよぉ。だけどさぁ、いくら暴走族だってよぉ、別にさぁ、いつかは更生したときにいい人になるんだからよぉ。俺はただ駆けめぐってるだけなんだから、自分の信じる道を。否定するヤツはさぁ、新日本のケロ（田中リングアナ）とかに言われて物を投げなくなったヤツ、それこそお前ら「バカ！」って言いたいよ。何言ってんだ！　それでも大仁田にペットボトルを投げるヤツを俺はナンボか信じるよ。一生懸命に罵声を浴びせるヤツの方が、ナンボかそいつの方が人間味があって最高だよ。でも、面白いじゃん、己の人生を自分でメイク出来るんだから。メイキング人生だよ（笑）。

──たまにはニタとして違う意味でのメイキングをしてみたり（笑）。

大仁田　それは、ちょっと笑いに走り過ぎたかな（笑）。ちょっと、おい。オチてねえぞ、みたいな。

──（ガックリきて）すんまそん。

DIRTY HEROISM宣言 2000

大仁田vs長州は一年を通しての大河ドラマ 小川vs橋本はワンクールのトレンディドラマだよ

大仁田　まあでも、それもあるよな。やっぱりなにもないとこを自分で好きなように開拓して行くって楽しいだろ？

──それは楽しいでしょうね。今は全体的にプロレスが落ちてるのは、何が原因だと思いますか？

大仁田　やっぱり、面白くないもんね。だって小川vs橋本戦は盛り上がってる？

──まぁ、一部の盛り上がりになっちゃってるんですかね？

大仁田　全体的には盛り上がってないよ。地方の大仁田興行の方が盛り上がってるよ。大仁田vs佐々木健介戦の方が盛り上がってたよ。やっぱ遅いよね。やったのが遅いよね、旬の時にやらないと。寝かしていいのは、ワインだけだからね。

──でも、大仁田さんの長州戦へ向けてのアピールは寝かし過ぎではないんですか？（笑）。

大仁田　あれは大河ドラマだよ。一年を通しての大河ドラマだよ。だけど小川vs橋本戦は大河ドラマであってはいけないんだよ。

──ワンクールのトレンディードラマって感じですかね？

大仁田　そうそうそうそう、いい表現だよ。それパクリだよ。俺の言葉にしておいて。

──ヒャハハハ！　どうぞ！

大仁田　だって、大仁田と完全に対立する生き方が、いま接するか接しないかわかんねえ。俺だってわかんないよ。長州が出てくるかなんて。あいつの決断ひとつだから。それを外堀から埋めてってて。藤波さんなんて通過点にしか過ぎねえから。ファンは見たいか？

──試合形式は、そんなに重要じゃないですよ。大仁田さんと長州さんがリング上で向かい合うだけでいいと思いますよ。

大仁田　そうだよな。試合形式はあまり関係ないよ。完璧にインディーの雄と、新日本プロレスを代表する男が上がって来たっていう1年2ヶ月を費やす大河ドラマだよ。これはハッキリ言って、決まってやってるもんじゃないからね。

──長州戦以外に、今後のマット界を盛り上げる起爆剤は何かありますか？

大仁田　ん？　いまは長州力戦に向かって頭がいっぱいだから、それが終わったら考える。長州戦が決まったら10P開けておいてよ。いいこと教えてあげるから。

──ありがとうございます。10P開けて待ってますから、『週プロ』や『ゴング』に載らないようなことを教えて下さい。

大仁田　まあ、ウチのスタッフに嫌われないようにな（笑）。でもよぉ、長州力がホントに出てきたら俺は神様になるよな。だって、あの新日本が負けたってことになるわけだからな。

──神様になっちゃいますか？　それじゃあ、大仁田vs長州戦が実現するよう祈ってます。アーメン!!

大仁田　あばよ!!

【99年10月5日／都内某ホテルにて収録】

『大仁田厚のこれが邪道プロレスじゃ〜！』は、大仁田の歯に着ぬ着せぬ物言いがすべて詰まっている毒舌、毒舌、毒舌三昧なん邪！　真鍋ぇ〜、お前はこの本が読みたいかぁ？」「よ、読みたいです！」「そうかぁ〜!!（バチン）」というわけで、双葉社から絶賛発売中なん邪！

大仁田厚〝邪道〟伝承プレゼント！「邪道」サイン入り革ジャンじゃあ!!

オイオイオイオイオイオイ！　よく聞け、オマエら！
大仁田厚からのプレゼント邪！
皮ジャンに『邪道』と俺のサインを入れたん邪！
1名様邪！（サイズ36）これが欲しいヤツはハガキを出すん邪！
応募方法はP158を参照するん邪！

10・17みちバト合同興行でサスケ社長にフォール勝ち！アレクの振り子は遂に〝グレイシー〟へ!!

ボクにはVTの技術がない。

元気ですか――ッ!!　本年度ベスト興行の呼び声もある、10・17みち・バト合同興行。そのメインでサスケ&石川の〝チームOVNI〟と対戦したアレクが、人生との驚愕の連係技「眉山」を爆発させ、見事サスケ社長からフォールを奪った。オメデトー――ッ!!

この勢いは止まらず、11月は「アレク月間」となる。11・5製圏道で初代タイガー戦、11・9後楽園で松永戦、11・13地元徳島で〝幻の覆面パコ〟シューキム日本初披露。そして11・21『PRIDE.8』では衝撃のヘンゾ・グレイシー戦が決定した。かつて〝格闘パーマン〟と呼ばれた男が遂に〝グレイシー〟と名の付く男と相まみえるときが来たのだ。そこで本誌は10・17横浜大会のメイン終了後、アレクに〝ほぼ月間なりの〟緊急インタビューを試みた。そこでアレクの口から出た言葉は「キラー・アレク宣言」だった。んむはぁ。◆

――「バーリトゥード（以下VT）を普段のプロレスと平行して、楽しくやっていければいいと考えるようになった」と（『PRIDE.8』の）記者会見で話されていたんですけど、マルコ戦の直後は「VTはもうやらなくていい」という考えだったアレク選手に、どんな心境の変化があったんですか？

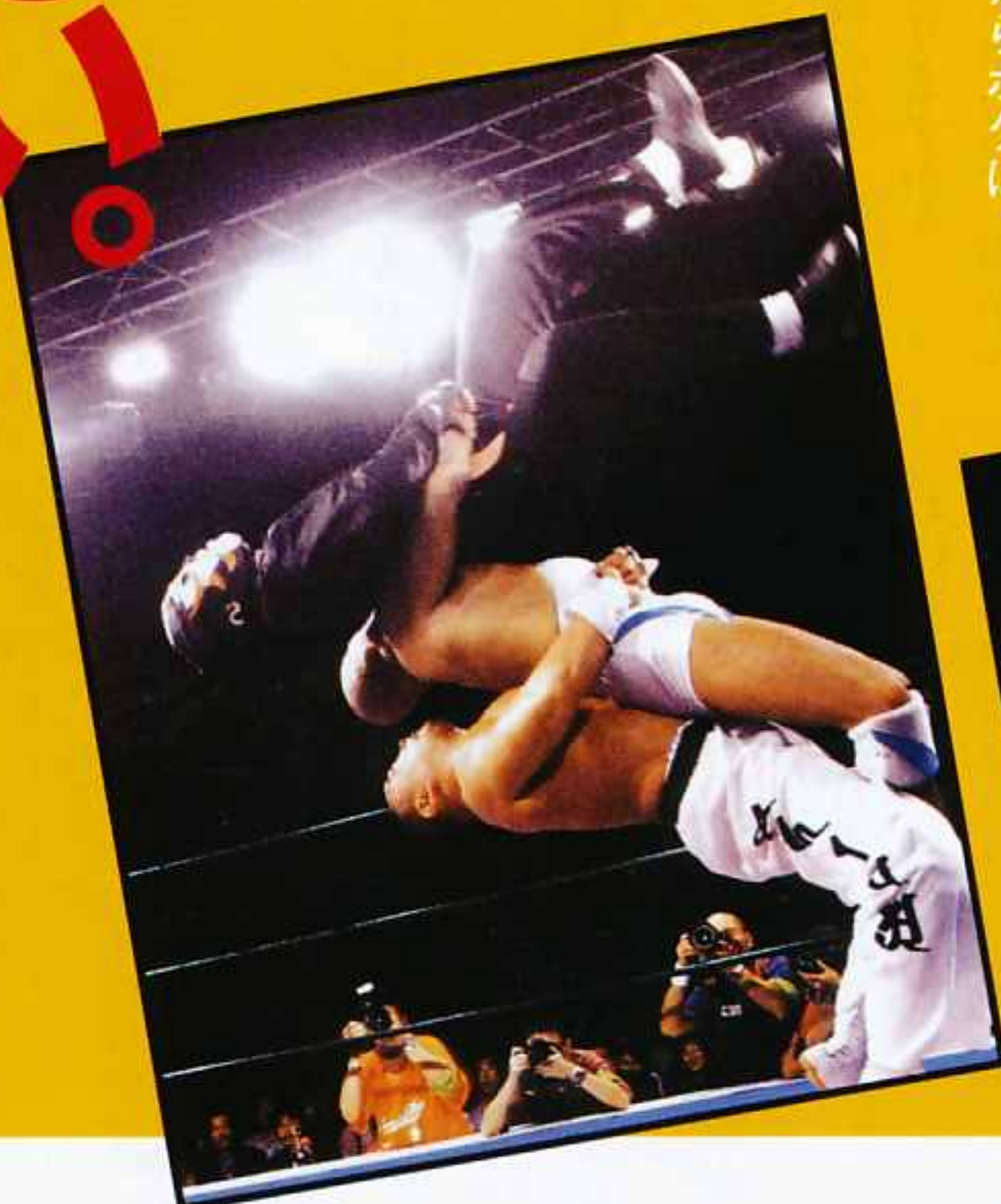
アレク　第一に、ファンの声とか聞くと、ファンにとってもヒクソン、ホイスという存在はネックになってるのかなぁと思って。それならヒクソン、ホイスとだったらVTをやってもいいという気持ちに変わってきました。2人の名前をボクが出すのはおこがましいかもしれないけど、あくまでボクはマルコ・ファスという相手を倒した実績を踏まえて言ってるまでなんで。

――十分な実績ですよ。

アレク　でも、あるときフッと考えたら、「VTだからこそなんでもできるや」って思ったんですよ。そのときに高田さんとやれる話をいただだいて、高田さんとやって色々なことを闘いの中で〝会話〟していたら、別にヒクソン、ホイスにこだわらなくても、プロレスの中にああいう闘いも含まれている。プロレスの中のひとつだって思ったんです。そういう風に考えたら、ボクはまだまだ4年選手ですし、これから先もっともっと前進していくために、そういう経験をしていけば自分の実になるし。あと一番大きな部分は最初に言ったプロレスとVT、ふたつのスタイルを平行している選手って誰もいないんで、そういう選手の第一号になって、ホントにファンの期待に応えられる選手になれればいいんじゃないかなって思います。振り幅こそ自分の生命線だと思ってますから、だから、今回『PRIDE』さんからヘンゾ戦のオファーが来たときに全然オッケーという答えが出ました。

――以前はプロレスとVTは完全に別物と考えていたわけですか？

アレク　いや、別物とは思ってないです。ただ闘う相手によってですね。あと、名前あげて申し訳ないんですけど、（ターザン）山本さんが、ボクが高田さんとやったあとに「あれは『PRIDE』のリングでやるもんじゃない。『PRIDE』のリングの本質的な考え方に当てはまってない」というようなことを書いていたんです。でもボクの中では高田戦はホントに大きな意味がある試合だったし、ボクは対戦相手次第で見せるべき試合は違うと思うんです。だからボクは次のヘンゾ戦では『PRIDE』の本質的なものを突く試合をするつもりです。

――以前ウチのインタビューで「ヒクソンとやったらボコボコに殴りに行く」と言っていたんですけど、今回は

©遠藤政文

見てみ、この技！　これがツープラトンの概念を覆す人生との驚愕連係「眉山」である。この技を生み出したような自由な発想も、アレクの大きな武器だ。

プロレスラーになったときからの夢である、新崎人生とのタッグを実現させたアレク。今度はファンのもう一方の夢である“グレイシー狩り”を実現する番だ。

聞き手／堀江ガンツ
interview Gunts Horie

だからヘンゾをボコボコに殴ります！

“グレイシー狩り”出陣決定！　緊急インタビュー

キラー・アレク宣言!!

ヒクソンじゃなくてヘンゾですけど、どんな闘いをするつもりですか？

アレク　ヒクソンと同じです！　だからプロレスラー以外とああいう闘いをするに時には、あの『PRIDE.4』の時みたいな闘い方をします。ファンもそれを望んでるだろうし。あと自分を自分で分析してみると、ファンの目から見たらやっぱり、ボクは普段は温和なイメージがあると思うんですよ。だからあえてその逆をいって自分の“怖い”部分を見せようと。

――キラー・アレクですか!?

アレク　そういう部分を見せればファンも、いろんな大塚が見れて面白いんじゃないかなと思います。

――闘いのシュミレーションとかはしてるんですか？

アレク　まぁ、ボクの理想としてはマルコ戦みたいにヘンゾをボコボコにして血だらけにしたいです!!

――ヘンゾ選手は時間切れや判定勝ちを狙ってくるかもしれませんけど、その時はどうしますか？

アレク　でも逆に下になって守ってきたら、ボクは顔面を殴るだけなんで。願ったり叶ったりですよ。

――たのもしいですね。ヘンゾ戦は85キロ契約なんですよね。減量の方はどうですか？

アレク　もう、ちょこっと始めてるんですけど、身体を絞ると技を受けたとき大変ですね。今日も2人の技くらってこうなっちゃいましたから。（社長コンビのスーパーパワーボムで脇腹を痛めたらしい）

――記者会見で、「桜庭さんに技を伝授してほしい」って言ってましたけど、高田道場に出向いて一緒にスパーリングをしようとか、そういう考えはありますか？

アレク　時間があえばゼヒ。前から一度はやってみたいと思ってましたから。

――あと、せっかくですから高田選手とも、ゼヒ。

アレク　んむはぁ。そうですね、ボクと高田さんは「ノブ兄さん」「ゴリさん」と呼び合う仲ですから(笑)。

――“グレイシー狩り”に出陣するアレク選手が、ヒクソンと2度闘って次はホイス戦が噂されている高田選手と一緒に練習するとなると、前回の『PRIDE.7』の闘いの意味も広がると思うんですよ。

アレク　そうですね。時間が合えばゼヒお願いしたいですね。

――最後にもう一つ！　アレク選手がマルコに勝ったときヒクソンが「オオツカは技術がない」みたいなことを言っていて、一部のマスコミやファン、いわゆる「K通文化」の人達の中でもそういう声があるようなんですけど、それについてはどう思いますか？

アレク　VTの技術でいったら、ボクは自分でもそう思ってます。自分でわかってるからこそ桜庭さんともスパーリングをやりたいと思ってますから。でも、そんなボクがマルコに勝ったことで価値観も変わってきてますし、しかも普段は今日のようなスタイルの試合をしていて、リングも組んでる。ボクにとってはそういうことが空想的な部分を現実にして、みんなに夢を与えてると思ってますから。

――ヘンゾ戦当日もリング作りはするんですか？

アレク　「PRIDE.7」の時みたいに前日に組むんだったら無理ですけど、当日組むんだったらやらせてもらいたいですね。

――リング作りと、グレイシー狩りを同日にやったら、快挙にもほどがありますよ！　では、ヘンゾ戦頑張って下さい！

アレク　ハイ！　闘いの本質的なものと、夢のある闘い、その両輪を転がしていきますよ。ぜひ、ヘンゾに勝って、またミックスドマッチを今年中にやりたいですね（笑）。んむはぁ。

◆

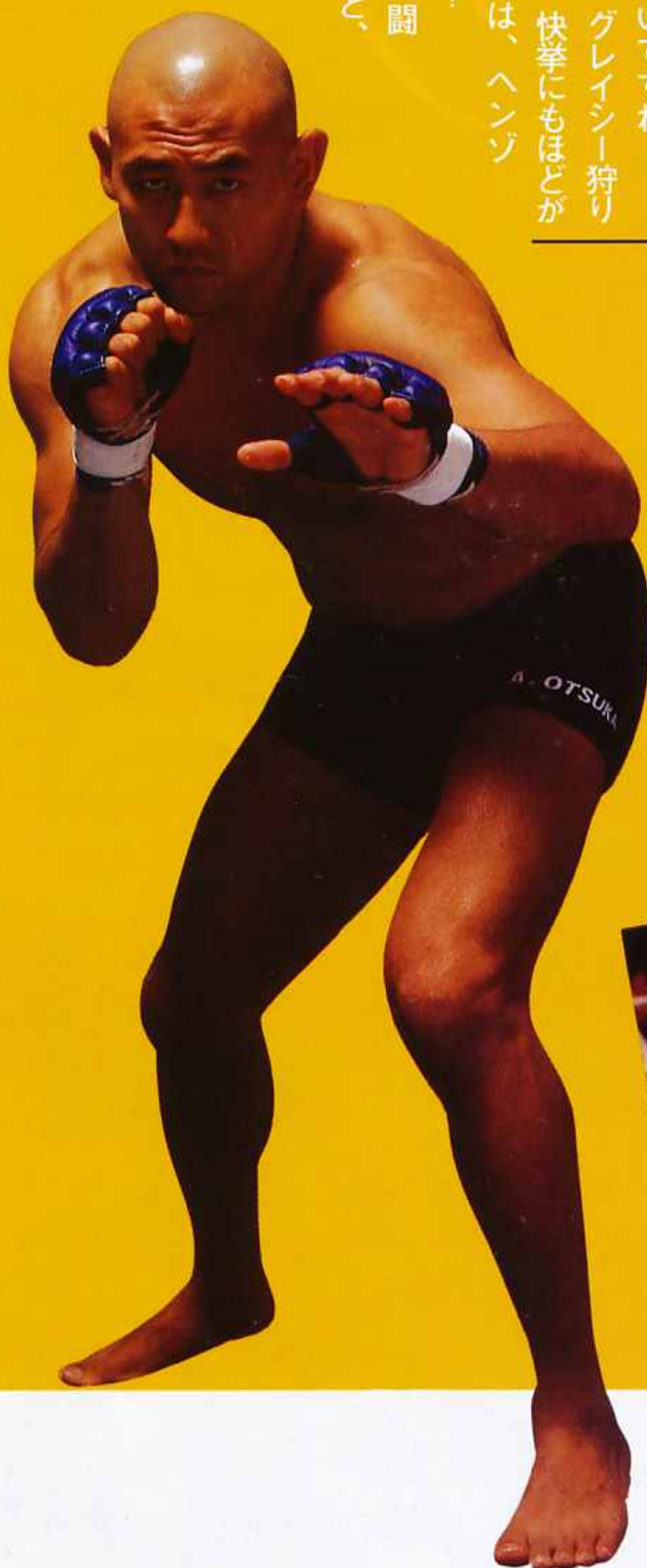
マルコ・ファスを倒して以来、ウォリアーズ戦、海外遠征、ミックスドマッチと夢のある闘いに突き進んできたアレクが、高田戦を経て再びその振り子の玉をバーリトゥードに向け、プロレスとバーリトゥードの両輪を転がそうとしている。この闘いに勝てば「日本人レスラー初のグレイシー狩り成功」と称えられるだろう。しかし敗れれば、その振り幅の大きささえも否定されかねない、リスクの高い一戦でもある。それでも一歩踏み出す決意をしたアレクに、贈る言葉と言えばこれしかないだろう。

人は歩みを止め、闘いを忘れたときに老いていく。いまこそッ！　格闘ロマンの道を突き進め!!

アレク――ッ!!

♪日も当たりもしなぁいぃ〜、ジメついたあぁ街ぃでぇ〜……（以下は各自歌うこと）

©松永源さん

98・10・11マルコ戦では、スタミナが切れたマルコをボコボコにしたが、今度の相手は無尽蔵のスタミナを誇るヘンゾである。アレクはどう攻略するか？

11・21『PRIDE.8』で、桜庭vsホイラー、アレクvsヘンゾ実現!! “グレイシー狩り”本格化!!

ゆけ、潰せ、桜庭!! アレク!!

プロレスの「落とし前」ロード、リスタート！

ホイラー・グレイシー 65年12月6日、ブラジル、リオ・デ・ジャネイロ生まれ。173cm、69kg。その柔術テクは兄のヒクソンにもっとも近いとも、それ以上とも言われる。昨年、柔術の試合でマリオ・スペーヒーに敗れたが、いまでも重量級の柔術の選手でさえ彼との対戦を避ける者は多い。日本初ファイトの96年『VTJ』では修斗の朝日昇を一蹴し、98年の『PRIDE.2』では約30kgも重い佐野友飛（現なおき）に完勝したのは記憶に新しい。

桜庭和志 VS ホイラー・グレイシー

相手がミスするのを待って待って仕留める“クモの巣”殺法と柔術のスキルは、兄弟の中でヒクソンにもっとも近いホイラー。15分2Rという特別ルールがクセモノだが、サクには難なく突破するシーンを期待したい

いよいよ、本当にいよいよ、“グレイシー”と名のつく者と対戦するサク。ドキドキものの一戦だ。昨年の『2』では、高田道場の佐野なおきがホイラーに敗れているだけに、リベンジ劇も絡んでくる。頼んだゾ、サク！ 『サクin青空プロレス道場』はP49へ

『1』で小路と引き分け、『2』では50分を超える闘いの末に現パンクラスの菊田早苗を破ったものの、実力の底がまだ見えてないのが不気味なヘンゾ。ヒクソンとは別派とはいえ、“グレイシー”を倒せばアレクは一歩抜けられる！ ボコボコにしろ、アレク！

ヘンゾ・グレイシー 67年3月11日、ブラジル、リオ・デ・ジャネイロ生まれ。178cm、81kg。ヒクソン、ホイスとは兄弟ではないが、彼らの父エリオの兄・カルロスの孫である。ヒクソンやホイスに比べると安定感に欠けるきらいはあるが、グラウンドテクだけでなく、スタンドの打撃にも定評があるのが怖い。VTでは過去にオレック・タクタロフを秒殺し、『PRIDE』では小路晃（引き分け）、菊田早苗（一本勝ち）と対戦した実績がある。

ヘンゾ・グレイシー VS アレクサンダー大塚

『7』では、高田延彦をプロレスに呼び戻すという難テーマに挑み敗れたアレク。マルコ・ファスを破り、「ヒクソンが強いという迷信を信じてるファンの目を覚まさせたい」とまで豪語したアレクの底力が、再び『PRIDE.』のリングで炸裂することを願おう

90年代最後の超ド級カードが続々決定！ PRIDE.8

11・21（日） 有明コロシアム
開場15:00 試合開始17:00

マーク・コールマンvsヒカルド・モラエス

【アメリカ／ハンマーハウス】 【ブラジル／ブラジリアン柔術】

ロシア版アルティメットのアブソリュート第2回大会決勝で、イリューヒン・ミーシャを絞め落とし優勝。96年8月のリングス有明大会で山本宜久を秒殺KOした、あの205cmの“怪獣”モラエスが『PRIDE.』初上陸。相手はコールマンという引迫力対決にコロシアムが震撼する

アラン・ゴエスvsカール・マレンコ

【ブラジル／カーウソン・グレイシーチーム】 【アメリカ／格闘探偵団バトラーツ】

桜庭を苦しめたゴエスが再び登場！ エンセンの兄貴・イーゲンを破り一躍表舞台に飛び出したカール・マレンコと対戦する。『7』では柔術家のV・シウバに封印されてしまったバトの刺客・カールだが、“神様”K・ゴッチの流れを汲むサブミッション・ファイターの意地でVTのセオリーの壁を突破できるか。要注目の一戦だ

松井大二郎vsヴァンダレイ・シウバ

【日本／高田道場】 【ブラジル／シュート・ボクセ・アカデミー】

前回の『7』では、ボブ・シュライバー相手に怒りのエネルギーをぶつけた“闘将”松井が、K・マレンコを完封した猛者に挑む。『PRIDE.』初勝利となった前回は不本意な反則勝ち。今回こそ完璧な勝利を実力者・シウバからもぎ取るよう、怒涛の攻めを見せろ、松井！

エンセン井上 VS マーク・ケアー

【日本／PUREBREDシューティングジム大宮】 【アメリカ／ハンマーハウス】

4・29『PRIDE.5』で組まれていた幻のカードが遂に実現！ と思った矢先、9・12の『7』でケアーがボブチャンチン相手にミソを付けてしまった。しかし、両者にとってはVTヘビー級世界最強の座に近づくためには避けて通れないビッグマッチ。90年代の掉尾を飾るド迫力対決だ〈エンセンのインタビューはP81に〉

これまで日本人格闘家は“グレイシー”から白星を挙げていない。ヒクソンに敗れた高田延彦、山本宜久。ホイラーに敗れた朝日昇、佐野なおき。ヘンゾに敗れた菊田早苗。

そして遂に2人の日本人プロレスラーがその歴史に終止符を打つべく、“グレイシー狩り”に立ち上がった。

桜庭和志！ アレクサンダー大塚！

この2人なら勝てる！ そう断言してしまいたいが、そこはグレイシー一族。しっかり“特別ルール”という罠を仕掛けてきた。サクには判定なしのルールで“時間切れドロー”という落とし穴を掘り、アレクには85kg契約を突きつけ8キロの減量を要求。まさに「グレイシーはずるいんや！（日明兄さん調）」であるが、サク、アレク両選手とも「相手の要求をすべてのんだ上で勝つ！」と宣言しており、必ずや期待に応えてくれるはずである。『PRIDE』に蘇った最大のテーマ“グレイシー狩り”。今こそ！ 落とし前を付ける時は来た!! マット界の歴史をもう一度塗りかえる大一番。行け、サク！ 潰せ、アレク！

ずいぶん遅れてしまいましたが、それでもやらねば!!

PRIDE.7 これだけは言わせろ!! 座談会 スペシャル

『PRIDE』は新・プロレス団体か!?

"場"か? それとも"団体"か? PRIDE.よどこへ行く!

えっ!?『PRIDE.7』にガッカリ!?

ヒールよ、出て来い!!

霊長類最強の男が撃沈した波紋とは?

DIRTY HEROISM 宣言 2000

VT勢、格闘技ファンにプロレスの〝凄み〟をスパーンと見せてほしかった(山口)

♪PRIDE~、PRIDE~、ガンバってだ~よ、い~つも~信じてる~♪と、エンセンのテーマ曲風に、いつも『PRIDE』の面白さを信じてきた本誌だが、9・12横浜アリーナで行われた『PRIDE.7』には、シリーズ初の「?」マークが点灯した。

〝ほぼ月刊〟というグレーゾーンの発行ペースの本誌だけに、遅きに失してしまった感は多々あるが、「やっぱりここは、言いたいことは言っておきましょう」という、ズバリ言って非常に立派な姿勢(自画自賛)で座談会を敢行したわけである。

座談会といえば、山口日昇と吉田豪以外の面子が、姑息な自己主張と誰も喜ばない小ネタに走るという毎度毎度の傾向があったのだが、今回はそれを抑えるために、ある対策を講じた。

飲酒である。飲むと横にいる人間を無意味に殴り、極端に無駄な波紋を広げる坂井ノブと、酔うと男の乳首でもナメまくる〝乳首フェチ〟のチョロに勢いをつけさせるために、『飲酒OK』のルールを設定したのだ。

このルール設定のお陰で、いつもより無駄口は少なくなり、問題提起も多く含んだ珠玉の座談会となった(自画自賛&自暴自棄)。

それでは、かなり時間は経ってしまったが、『PRIDE.8』を気持ちよく見るためにも、言いたいことは言っておこうじゃねぇかとズバリと斬り込む『PRIDE.7』大総括をお送りします。

(三方を指さし)ジャッジ? ジャッジ? ジャッジ? レディーゴー!!

【文中敬称略】

元リングス・オランダのディック・フライとハンス・ナイマンが来場。今後、『PRIDE』に上がる可能性があるらしい

ノブ え~、またまたやってまいりました恒例の座談会。今回は『PRIDE.7』について語り合いたいと思います。

山口 もう、1ヶ月以上前の話じゃねえかよ!

ノブ どうしても言っておかなければならないことを語り合おうかと……。

山口 「エー、勝手にしゃべっちゃっていいですか?」(『PRIDE.7』の高田延彦のマイク調で)。

豪 まずかったら後で削りましょう(笑)。会長は、『PRIDE.7』のパンフでメインの〝高田vsアレク(サンダー大塚)〟の見どころについて書いてますよね。

山口 激筆だね(笑)。

豪 なんで会長に原稿が回ってきたんですか?

山口 ん? ま、ボクの実力アンド、頼んできた奴が言うには「みんなやりたがらない」からだって(笑)。

一同 ガハハハハ!

豪 みんなに断られて会長のところに来たと(笑)。

山口 ホントかウソか知らないけどね(笑)。それだけ試合のテーマが見えづらかったってことかな?

豪 この試合に至る由来が高田vs(マーク・)ケアーの時とは違うわけですからね。『PRIDE.6』はみんなが書けたのに、敢えて会長が書いた。そして、今回は会長しか書けないというところで、会長が書いた。

山口 オレは偉いな(笑)。

豪 でも、途中で「書けねえよ!」ってボヤいてましたよね?(笑)。

ノブ で、その原稿には「リアルな〝ヒト〟と〝ヒト〟との鮮烈なるせめぎ合いが、『プロレスラー同士』の闘いから匂い立ったときこそ、新しい『プロレス』がリングから立ち昇るはずである」と書いてありますね。

山口 なになに? ああ、思い出した。自分で自分の書いたものを読むのは恥ずかしいけど、いま言った締めの部分の前をちょっと読んでみようか。えー、「バーリ・トゥードのセオリーを熟知していないふたりは、バーリ・トゥードのリング上で、『人間力』と『底力』と『意地』を競うことになるわけだ」。あ、ここで中略ね。「僕には、決して爽やかな闘いだけでは終わってほしくない、という思いが強い。爽やかなだけの『スポーツ芸術』だったら、従来のプロレスの文脈にいくつもあったし、あまたの格闘技の文脈にもいくつもあった」。エー……。

豪 まだ読む気っスか!(笑)。

山口 待て待て待て待てコノヤローッ!「〝ヒト〟の欲望、闘争心、執着心、エゴ、見栄、向上心、心の奥底にあるマグマのような部分。汚い部分も醜い部分も、こっからが肝心なんだよ(笑)。リング上でそのすべてをさらけ出すからこそ、最後はリング上で〝美しい光〟を放つ——それがプロレスラーにしかできない『格闘芸術』の核の部分のはずだ」。どうよ、実にいいこと書いてるね(笑)。ボクは高田vsアレクにそういう期待をしてたんだよ。そう望んだね。

豪 もちろん、みんなそれを望んでたんですけど、見事なぐらい、いま言ったようなことは立ち昇らなかったですよね。

ブチ 単純に凄い「プロレス」を見せてくれるもんだと思ってたんですけどねぇ。

豪 まあ、それをやって当たり前って思ってたもんね。

ブチ それがね、ジャイアント・スイングを出すとかそういうもんじゃなく、ボクは「プロレス」としての質が凄く高いものを見せてくれるもんだと思ってましたけどね。

豪 バーリ・トゥードの試合の中で、「プロレスはこれだけレベルが高いんだぞ」っていうのを提示すればいいんだけど、あれだと「バーリ・トゥードの方がいいんじゃない?」という結論にしか至らないよね。それなのに『PRIDE.7』はあまりにも他の雑誌とかが褒めてるから、ウチの雑誌ぐらいは楔を打っておきたいな、と。

山口 バーリ・トゥード勢、そして格闘技ファンに、プロレスの〝凄み〟をもっとスパーンと見せてほしかったね。

豪 それをやったのは桜庭(和志)だけでしたね。

山口 まあ桜庭は、今回に限らないけ

座談会出席者プロフィール

山口日昇■本誌鬼畜編集長。最近は動物占いに夢中、本人は「ひつじ」。占いによると約束は絶対守るらしい(ハズれてる)

吉田豪■本誌スーパーバイザー。最近、他誌で取材した前田日明に「吉田君ってマジメやね」と見抜かれた金髪鬼

坂井ノブ■本誌ダメ編集者。この座談会後、死んでしまったデブちん野郎。

松澤チョロ■本誌エロ編集者。今号ではヤギジュンのマウントで昇天寸前だった

大西タマリン(仮)■本誌新人編集者。ライオンタマリンに似ているから命名。本チャンのホーリーネーム募集中

中村カタブツ君(36歳)■フリーライター。最近は空手本の編集で大忙し。怪しく痩せ細ったスケべじじい

PLAYBACK PRIDE.7 BOUTS

8 高田延彦vsアレクサンダー大塚

高田は入場時から、オーラを発散させながら入場。対するアレクも新Tシャツを着て堂々の入場! 高田のローキック連発は、vsケアー戦を彷彿とさせた。アレクはいきなりのドロップ・キックで試合前から宣言していたように「プロレス」にこだわった闘い方を展開していく

アレクはコブラを狙ったり、ブレーンバスターを成功させたりと、自分の闘い方を貫く!

DIRTY HEROISM宣言 2000

どね。いままで、質の高いものを見せ続けてきてくれてるから。

豪　今回は特にわかりやすく見せましたよね。これまでは「桜庭はプロレスラーじゃない」と一部で言われ続けてきたけど、今回はここぞとばかりに「プロレスラーだよ」ってことを見せた。

ノブ　試合前から「ダブルアームスープレックスやります」って宣言してましたからね。

豪　まあ、試合では出してないけどね。

ノブ　でも、一部であの試合は評判が悪いじゃないですか？

豪　いや、会場はあれで完全に空気が変わったし、現場での評判はいいよ。

山口　ノブの言う評判が悪いっていうのは、どっから掴んだ情報なの？

ノブ　インターネットとかを見る限りですけどね。

山口　やっぱネット・サーファーたちか。あいつら、大方がつまんないよ（笑）。

豪　いまどきネット・サーファーなんて言いませんよ（笑）。

山口　ガハハハ。いや、オレもそれは見たけど、それがすべてじゃないでしょ。

豪　「やりすぎ」っていう意見はあるけど、それは「あのレベルの相手にあそこまでやるのはどうか？」っていうことでしょ。

ブチ　そうだよねぇ。オレも、最後の方は「もうそろそろ極めてやれよ」っていう気に一瞬なったもん。

山口　実際、1Rと2Rのインターバルに、セコンドからも「いいかげんにしろよ、お前」って言われてたね（笑）。

ブチ　1Rは十分楽しめたけど。

豪　2Rは完全に極めに行ってたよ。キーロックをね（笑）。

山口　勝負に出てキーロックを狙う（笑）。ズバリ言って桜庭は素晴らしい！「あのレベルの相手」とはいっても、格闘技ファンが幻想を抱いたUFC出場経験者でしょ。その相手にあれだけ〝遊べる〟というのは、どんなに忙しい締め切り間近でも〝遊べる〟のと一緒だから（笑）。それは能力と体力がズバ抜けてる証拠だよ。な、締め切りのかなり前でも、締め切り過ぎても、いつもあっぷあっぷなノブ君（笑）。

ノブ　……はい（しょんぼり）。

チョロ　『PRIDE』をずっと見て思うんスけどぉ、桜庭にはなりたいなって思ひますれ。

山口　は？　お前、酒を飲んでるからって何でもかんでも発言すればいいと思ってんだろ（笑）。

豪　もうロレツが回んなくなってるよ。何？　なりたいの？

チョロ　桜庭になれたら気持ちいいなと思いますよ。マイク・アピールも言いたい放題じゃないですか。

豪　言いたい放題か？

チョロ　桜庭の性格もありますけど、とりあえず何を言ってもいいし。

豪　何を言っても許される状態になりたいってこと？　バカだねぇ（笑）。

山口　レベルはともかく、一応〝やる側〟チックに見がちなブチは、正直なところ桜庭の試合をどう思ったの？

ブチ　そんなに言うことのほどはないんですけど一瞬、失礼だなと思った程度です。

山口　は？　何で失礼なの？　それがよくわからない。相手に対して失礼なの？　客に対して失礼なの？

ブチ　……対戦相手がかわいそうですよね。

山口　というか、ブチの中には、「もっとまじめにやれ」「もっと真剣に見せろよ」っていうカタイ思いがあるんじゃないの？

ブチ　それはぁ……ない……なぁ。

豪　ブチはプロレス技を出したとき、「ウォ〜ッ！」って盛り上がったの？

ブチ　うん。でも、最終的にはちょっと引きましたね。

豪　あのマッチメイクで組まれた以上、ああやるしかなかったでしょ？　確かにあれは「もうちょっと強い相手と闘いたい」って言った男に用意する対戦相手じゃないんだけどさ。

山口　ブチの中では「血と汗流せ、涙を拭くな」っていうスポ根的格闘技観がブスブスと燃えカスとして残ってるんだよ。

ブチ　あ〜、それはありますね。

山口　でも、桜庭は実に気持ちよくそれをひっくり返したよね。

チョロ　それは高田もですね。「スポ根野郎じゃあるまいし」って（笑）。

山口　ガハハハハ！……お前は弱火ギャグを挟むなよ、せっかく盛り上げようと思ってるのに。

チョロ　スンマソン（笑）。

山口　だからやめろっつってんだよ！　読者に1ミリたりともわからないこと言うのは。でも、〝仕事〟と〝遊び〟を地続きにするというか、あれだけ勝負の中で〝遊べる〟余裕を持つ桜庭は、やっぱ真のプロだし、実力者ですよ。

豪　仕事の中で帳尻合わせして、上手く遊んでますからね。

山口　オレは一生懸命さだけを売りにしてやり合うのは嫌いだからね。

ブチ　ボクは結構好きですよ。

山口　いや、オレも実は好きなんだけど、それだけを声高に主張するのはイヤだということ。それはアマチュアのやることだよ。

豪　「ウチは一生懸命やってるし、真剣勝負ですよ」っていうのを全面に出すみたいなもんですね。

山口　どこ？　またオレに某Pの悪口を言わせようとしてる？　もう言わないよ、オレは（笑）。でもオレはね、一生懸命やるのが悪いって言ってるわけじゃないよ。闘った両者を、おしなべて〝ベビーフェイス〟にしていくアマチュア的な世界が嫌って言ってるだけ。アマチュアの世界は闘った両者が勝っても負けても〝ベビーフェイス〟なの。スポーツ的な一生懸命さはあるけど、それは一面的なものでしょ。プロのリングでそんな綺麗なものばかり見たくない。もっと深くて多面的な「一生懸命」や「勝ち負け」を浮き彫りにしながら、ドラマに仕立てていくのがプロでしょ。だからやっぱり、オレとブチでは格闘技観というか、プロ観が全然違うんだよね。

ブチ　桜庭の試合なんか、「もう極めてやれ」って思ったもんなあ。ホントにかわいそうだったよ。レイプしすぎてる感じ？……デヘヘヘ（自分で言った下ネタに反応するスケベ親父は36歳！）。

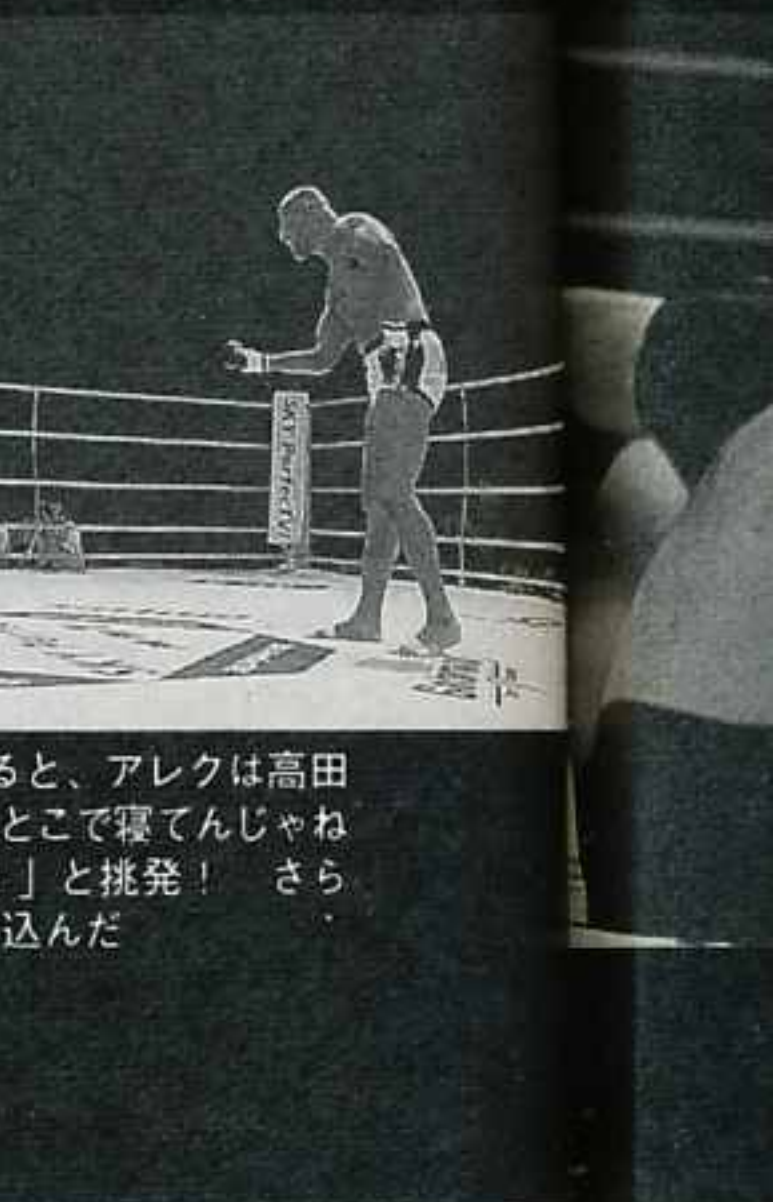
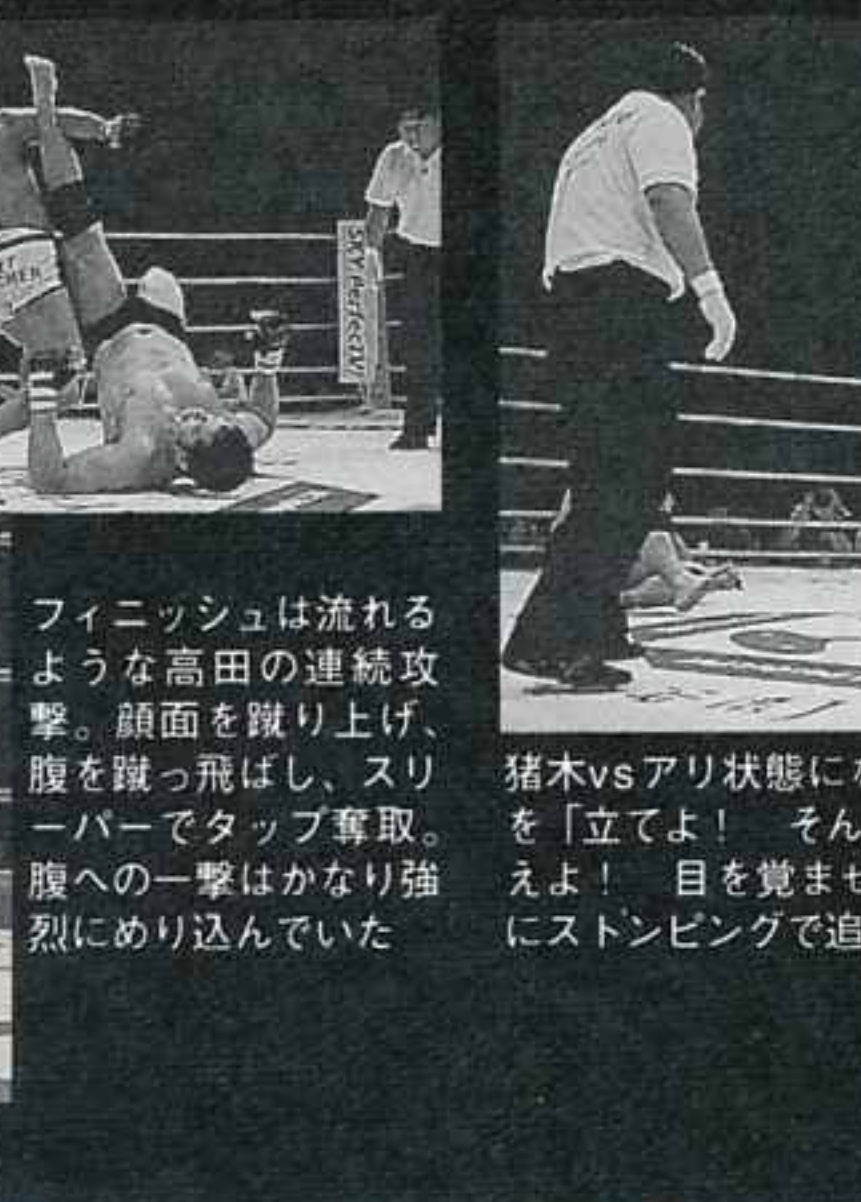
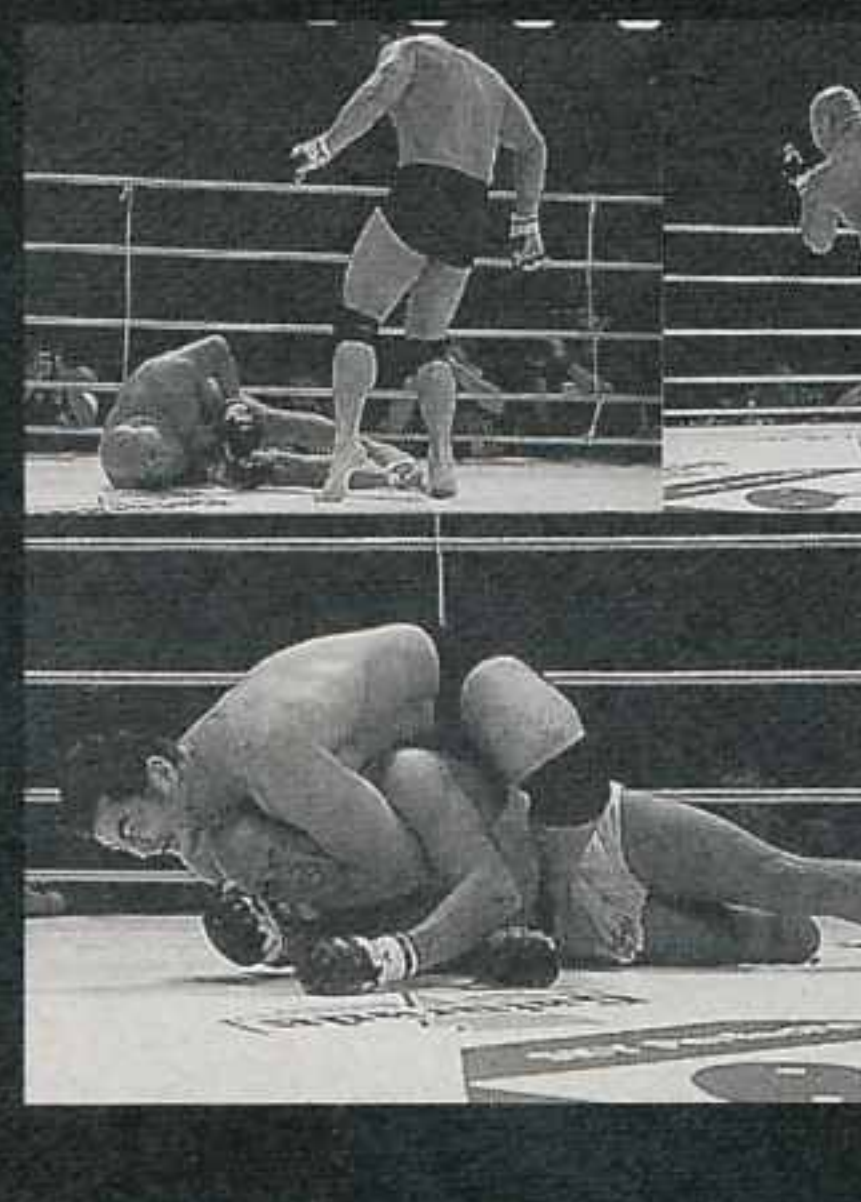
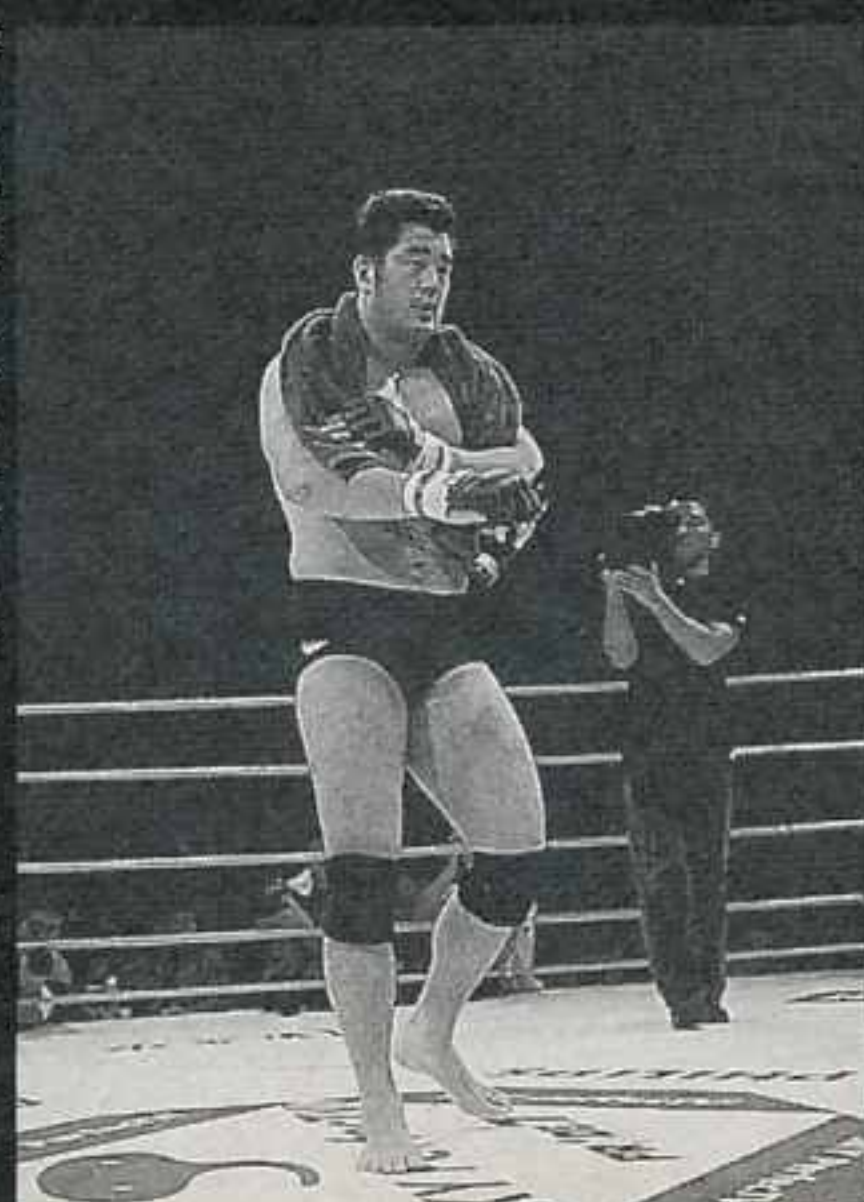
豪　でも、あの試合がなければ会場は死んだままだったよ。あれでフィニッシュがキーロックで極まってたら、もっと良かったと思うけど。

山口　「めんどくさいから、もういいや」って、腕を伸ばして十字で極めたらしいけどね（笑）。そこがまた桜庭らしいんだけど。

新日本の神宮大会で着用するはずだった虎のガウンで高田はリングに向かった。今大会は会場アンケートの結果、この高田vsアレクがダントツで好評だったという

試合結果

○高田延彦
2R1分32秒
裸絞め
●アレクサンダー大塚

試合後のマイク「え〜、勝手にしゃべっちゃっていいですか？　今日はみなさん、熱い応援ありがとうございました！　いろいろ巷では悪者にされて、え〜、本人、全然気にしてないんで（キッパリ）。え〜、これからもドリーム・ステージ……『PRIDE』が日本、世界のマット界をリードするように邁進していきます！（以下略）」

フィニッシュは流れるような高田の連続攻撃。顔面を蹴り上げ、腹を蹴っ飛ばし、スリーパーでタップ奪取。腹への一撃はかなり強烈にめり込んでいた

猪木vsアリ状態になると、アレクは高田を「立てよ！　そんなとこで寝てんじゃねえよ！　目を覚ませ！」と挑発！　さらにストンピングで追い込んだ

ノブ でも、会場では中村さん（ブチ）みたいなことを言う格闘技ファンは多かったですよ。「早く極めろよ」って野次も飛んで。

山口 そんなに言うほど多くはないよ。

豪 そもそもあの日の会場に「格闘技ファン」はほとんどいなかったから（笑）。プロレスファンとしては、まだ次のラウンドも見たいと思ったけどね。

山口 桜庭はとにかく〝広い〟！ いまの桜庭は何を言ってもやってもいい（笑）。

ブチ 多分、桜庭と闘った（アンソニー・）マシアスは、エンセンと闘った（トゥリー・）クリハーパイぐらいの実力差があったと思うんですよ。でも、ボクは、エンセンの試合はまったく面白くなかったなぁ〜。

山口 なんで？

ノブ 道衣で絞めてるとこなんて、かなり斬新だったじゃないですか。

ブチ あれはボクの位置からは見えなかったんですよぉ。

ノブ あの道衣でトンガ人の首を絞めようしたとき、会場中がどよめきましたよね。「なにやってんだ？ エンセン！」って。

山口 「それもありなの？」ってことだよね（笑）。

豪 帯で猪木さんの首を絞めたウイリアム・ルスカを思い出させましたよね（笑）。

山口 オレは、エンセンは面白かったなあ。入場から退場まで込みでね。

豪 パッケージで見る試合ですよね。

山口 見事にエンセン・ワールドだったよ。あれを第3試合に持ってこれるっていうのは贅沢だなあと思うね。あのトンガ人にもうちょっと怪しさがあれば、より楽しめたと思うけど（笑）。

豪 あれがプリンス・トンガ（ミング）だったら最高だったんだけどね（笑）。

ノブ 「エンセンはいいプロモーションをした」って『SRS・DX』（発売＝扶桑社・10／3号）には書いてありましたね。

山口 入場で今度出たニュー・テーマ曲を丸々1曲聞かせて、道着を脱いだら大和魂Tシャツ。CDとTシャツのプロモーションは完璧でしょ。『SRS・DX』でターザン山本が「エンセンは大和魂じゃなくて商人魂にしろ」とか言ってたけど、ここでズバリ言っておきます！ その失礼な発言以外のターザンが言ってたことは、ぜ〜んぶ『PRIDE．7』当日の夜に電話でオレが言ったことです（笑）。

チョロ （棒読みで）ええっ、そうなんですか？

山口 わざとらしいよ、お前！ みんな横で聞いてたろ。ま、ウチの発行ペースが遅いから仕方ないんだけどね（笑）。でも、ターザンは、最初は「『PRIDE．7』は面白かったよぉ」って言ってたんだから（笑）。で。オレが全然逆のこと言ったら、それを全部パクられましたよ！ あのパクリ多売王（笑）。

豪 でも、パクリ方が甘いからノー問題なんですけどね（笑）。それでエンセンは、試合後のマイク・アピールで、パチンコ屋のプロモーションもして（笑）。

山口 「エンセンの心の中に土足で踏み込むな」という自己主張もした。

豪 でもエンセンは以前から、試合で勝った時にはプロモーションをやってたんですよね。

ノブ 六本木のストリップの宣伝とかをしてましたよね（笑）。

豪 凄い試合の後に、そういうことをやったから活きてたけど、『PRIDE．7』の試合でそれをやると物足りない気がするんだよね。

山口 でも、メインじゃないから、あれは贅沢なプロモーションだったよ、いい意味で。ただエンセンは、ここのところ運が落ち気味だね。

豪 エンセンvsケアー戦のプロモーションになるはずが、ああなっちゃった。

山口 相手が相手だから、ある程度予想はできたとはいえ、（イゴール・）ボブチャチンがケアーに完璧に勝っちゃうんだもんなあ。まあ、裁定は結局ノーコンテストになったんだけど。

ノブ 実質的には大ダメージですよね。

豪 いろいろ叩かれてるけど、レフェリーだった島田（裕二）さんのジャッジは断じて正しいと思いますよ。

山口 あの試合をボブチャンチンの勝ちにしたのは正しいですよ、ノー問題。あれをひっくり返した、あと出しの裁定の方が解せないね。

豪 あの裁定で、興行の一番の盛り上がりをDSE（ドリーム・ステージ・エンターテインメント）は否定したわけですよ。

ノブ でも、あれでケアーが負けてたら、次のエンセン戦に繋がらないじゃないですか。でも、これでエンセンvsケアーは面白くなりますよ。

山口 は？ 何が？ 『PRIDE．8』への繋ぎだとしても、あんまり面白い展開じゃないよ、あれは。

豪 ケアーの失神がなければもっと見たかったわけでしょ？ かなり興味が落ちたでしょう？

ノブ そんなことはないです！（ムキになって）。

豪 全然落ちてないの？ ちっとも？ ケアーもエンセンなら崩せるなっていうのが、もう見えたでしょ。

チョロ いや、『PRIDE』で一番期待してるのはアップセット（大番狂わせ）が見たいわけだから。ボブチャンチンが勝って大喜びですよ。面白けりゃいいんですよ。

豪 負けたことで初めてケアーがファンに注目されたような気がするんですよね。

山口 いいこと言うねぇ。さすが金髪の爆撃機！（笑）。確かに、ケアーはいままで勝っても下馬評通りには注目されなかったもんね。

豪 恋人と当日にケンカして落ち込んでいたっていうのはいい話だったよ。やっと人間らしさが見えましたよ。これまでは、あれだけ売り出してきたのに、誰も応援しなかったわけでしょ？ あの試合で多少は変わると思うよ。

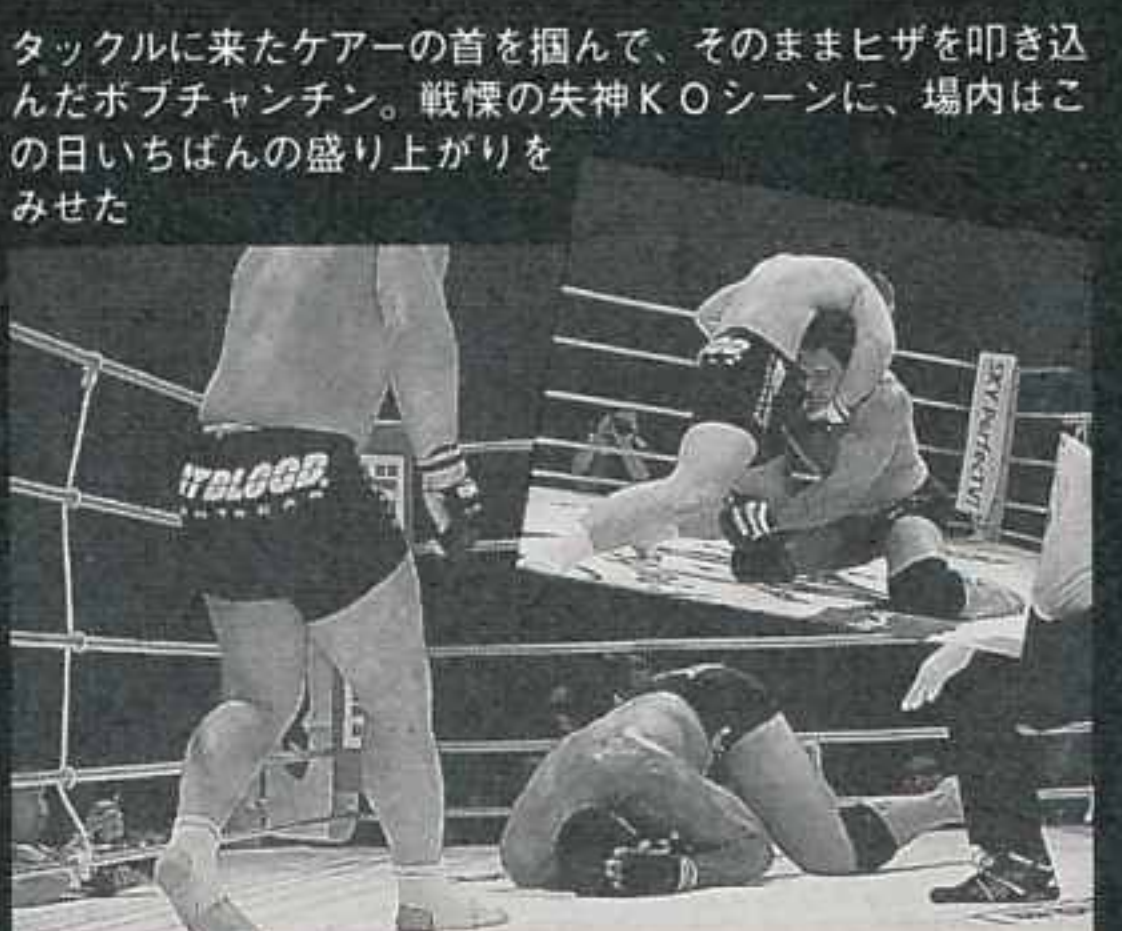
山口 だからケアーが「プロレスラー」か「プロレスラー」じゃないかっていうのはこれからハッキリするよ。この負けを活かすかどうか。一流の「プロレスラー」は負けても光れる。負けても存在感が出せなきゃ。この場合、「プロ格闘家」という言い方でもノー問題だけどね。

チョロ それにしても試合後にケアーが大クレーム入れたっていうのはいただけないですよね。

試合後の高田はアレクのドロップキックで「ちょっと目覚めた」と発言。そして、10月30日にWWFとの交渉に臨むという。対するアレクは次回、ヘンゾ・グレイシーとの対決が決まった。行け！ アレク！ GO！ 高田！

7 マーク・ケアー vs イゴール・ボブチャンチン

いきなりボブチャンチンの右ストレートにガクッときたケアー。以後、ケアーはいつもの豪快さとテクニックは発揮できず、豪腕パンチを食らいまくる

テイクダウンしても上に乗るだけで決め手に欠けたこの日のケアー

タックルに来たケアーの首を掴んで、そのままヒザを叩き込んだボブチャンチン。戦慄の失神KOシーンに、場内はこの日いちばんの盛り上がりをみせた

全試合終了後、森下DSE社長から判定の変更が発表された

試合結果

△マーク・ケアー
2R4分45秒
ノーコンテスト
△イゴール・ボブチャンチン

DIRTY HEROISM宣言2000

『PRIDE．1』以降の高田は「叩かれても前に出ていく！」という〝ヒール〟な色気があった（山口）

山口　いや、それも含めて「ケアーってこういうやつだったのか」っていう人間性が出てくれれば、それでファンの見る目も変わるでしょ。

チョロ　でも、初めて失神KOされてケアーに注目が集まったとき、その一発目のアクションが猛抗議ですからねえ。セコさを感じましたよ。

山口　君も十分セコいけどね（笑）。

豪　ケアーが、エンセンとやる気があるなら必要な行動なんだろうけどね。

山口　ケアーはチョロの言うセコさが見えただけでも良かったんだよ。負けてエンセン戦の注目度が薄れた部分もあるけど、プロとしてこれからリングに上がり続けるんなら、逆にファンの心に深く入り込むチャンスだよな。それと最近、運が落ち気味のエンセンも、この逆風をどう弾き返すか？　今度ケアーをブッ倒して、さらにグレードアップできるかどうか。その運を呼び込む力があるかどうかを見るのが楽しみだね。それができたら、エンセンは一気にイケるかもしれない。「ルーザーリーブ『紙プロ』マッチ」（P128参照）でジャイ子に圧勝した大西ちゃんから見て、エンセンの試合はどうだった？　エンセン好きから見たあの試合は。

大西　う〜ん、せ、セコい！

山口　ケアーに続いてエンセンもセコい（笑）。

チョロ　格闘技セコイー決定戦（笑）。

山口　また弱火ギャグか（笑）。誰も言わないことと、誰も喜ばないことに挑戦するのがおかしいギャグか前のロマンか（笑）。

ノブ　セコいってどういうところ？

大西　強い相手とやってエンセンの価値が上がってきたのに、ランディー・クートァー戦（98・10・25）以降、強い相手とやってるのを見たことがない。

ノブ　4月にケアー戦が組まれたけれど流れたっていう事情があるけどね。

大西　そ、そんなの関係ないじゃないですか！

豪　西田（操一）戦（4・29）もダメだった？

大西　対戦相手的にはダメです。テレビで見る分にはいいんですけど、お金を払って見に行くほどのことではないかな。

山口　言うね、どうも（笑）。

豪　西田は最高なんだけどなぁ。あの日、「『紙プロ』の方ですよね？　ボクは今日、勝ちますから！」って宣言してくれたし（笑）。

ブチ　（話を聞かず、ぼんやりと横を見つめながら）デへへへェ、大西ちゃんってかわいいねぇ。

大西　イヤァァ（赤面&爆笑）。

山口　ガハハハ。赤くなってる。ジャイ子とは大違いだね（笑）。

豪　だから、マッチメイクに全て問題がありますよね。桜庭の試合も、小路、エンセンの試合も、メインもマッチメイクが非常に悪い！　今回の大会は金を払って見たくなるようなマッチメイクじゃなかったから。

チョロ　ここにきて『PRIDE』に出るプロレスラーも、高田道場勢か、バトラーツの選手に固定化してるじゃないですか。他の団体からも出てくれないとドリームがないですよ。

豪　全然ドリーム・ステージじゃなかったからね（笑）。新日本との交渉がうまくいってれば、夢が膨らんだんだろうけど。

山口　藤田（和之）や中西（学）、ドン・フライが上がったりね。ドン・フライvs桜庭とか、オレも見たいよ（笑）。『PRIDE』のリングでドン・フライvs（ジェラルド・）ゴルドーとか。ドン・フライvsエンセンとか、因縁のドン・フライvs小川直也も見てみたいしね。

豪　いままでと全然変わらない試合内容だったりして（笑）。

チョロ　この間でも、ヘタすればドン・フライ対ディック・フライのDフライ対決も見れたわけですよ。

豪　開催時期が決まってたこととか考えると同情はできるけども、テーマも何もないんだったら、「やるな！」っていうことになりますよね。

山口　2ケ月に1回やらなきゃいけないっていう事情があるのかないのか知らないけど、結果的に狭い方向に行っちゃったっていうのはあるね。

ノブ　それが顕著に表れたのがメインですね。

山口　オレはマッチメイクが悪いっていうよりも、DSEになって、プロレスが何の落とし前も付けずに〝ベビーフェイス〟になったのがイヤなんだよね。KRS時代の方が批判はあったにせよスリルがあった。ホント、メインの試合後の高田のマイクを聞いて、いつの間にかプロレスが〝ベビーフェイス〟になってたことには違和感を感じたね。

豪　高田自体は〝ヒール〟なんですけどね。

山口　でもあの反応見てる限りでは、完全な〝ヒール〟ではないよ。プロレスの面白さは〝ヒール〟を許容出来る世界でしょ。だから〝広い〟んだよ。太陽があったら月がある。光があったら影がある。正義があったら悪がある。ズバリ言って、〝ベビーフェイス〟をより際立たせるために〝ヒール〟は必要なんです。その逆もそう。そういう人間社会の本質的な部分をさ、闘いを通して表現するのがプロレスでしょ。『PRIDE．1』（97・10・11）で初めてプロレスラーが敵地に乗り込んでいって、世間や格闘技マニアから『プロレスラーはホントに強いの？』とか、「高田はホントに強いの？」とかいう好奇の目に晒されながら乗り込んだときは、完全にプロレスが〝ヒール〟だった。その〝ヒール〟がいたから〝ベビーフェイス〟のヒクソンが光ったっていうさ。高田がいなきゃ『PRIDE』はない、っていうのはそういう意味も含んでのものだから。今回の高田にその色気は感じなかった。

チョロ　だからでしょうけど、いま『PRIDE．1』のビデオを見ると、当時セコンドをやってたヤマケンも、高田が入場ゲートに登るシーンで「高田さん、階段です！」とか、〝若い衆〟みたいにやってて、見る方もやる方も力が入ってましたよね（笑）。

山口　それ以降の高田はプロレス的な

2人揃って会見に臨んだエンセンとケアー。エンセンは英語で「先にボブチャンチンと闘ってからでもいいぞ」と、険しい表情で進言。だが、ケアーもエンセン戦を希望した

6 桜庭和志vsアンソニー・マシアス

この試合前、作家の百瀬博教氏とアラン・ゴエスと共にA・猪木がリングサイドへ！　凄ェ3ショットだ！

桜庭は変幻自在にサクラバード・キックを繰り出していく。特に圧巻だったのは、飛ぶと思わせて滑り込んだスライディング・キック！　キレイに相手のアゴに突き刺さっている。まさに必殺技だ!!

『ゲームセンターあらし』からヒントを得て開発した「炎のコマ」は、相手をクルクル回して背中を摩擦熱で攻める桜庭殺法の真骨頂!!

「高田をプロレスに戻す」って新日にブッキングされかかった人間に対してのテーマじゃない（豪）

“ヒール”っていう意味じゃなくて、もっと本質的な意味での“ヒール”だった。叩かれても叩かれても前に出ていくというかさ、それを見せ続けてきたから高田は鈍く光ってたわけでしょ。だから、オレらも気持ち良く乗れたわけじゃない。でもキツイことを言うと、高田はヒクソンに負けたままだしね。『PRIDE．6』の爆発っていうのは、小川とか桜庭が結果を出してくれたから、プロレスファンの抑圧されたものが一気に爆発したわけだよ。だけど、グレイシーっていうボスキャラがいるんだから、それを倒してようやくプロレスが『PRIDE』を塗り潰したことになる。それを成し遂げたらプロレスが“ベビーフェイス”になってもノー問題。でも、それがないままプロレスが“ベビーフェイス”になってるから気分が落ち着かないんだよ、どうも。

豪　オーちゃんだったらわかるんだけども、『PRIDE．6』でケアーに負けたばっかりの高田がなんで“ベビーフェイス”になってるんだってことですよね。アレクも、高田に目を覚ましてほしかったんだったら、徹底的に“ヒール”になるべきだったんだよ。

山口　オレは、あのメインは、アレクの「高田をプロレスの世界に引き戻したい」という思いはわかるし、「目を覚ませ！」って叫んだシーンもビビッときたんだけど、逆に、アレクが高田にバーリ・トゥードを叩き込む展開の方が面白かったと思う。それで高田がプロレス技を出したら凄い（笑）。

豪　「オレをプロレスに戻せよ」って（笑）。

山口　高田が「アレク、これがプロレスだよ。まだまだ青いよ」って叫んだりして（笑）。そうしたら高田が“ヒール”で、アレクが“ベビーフェイス”という図式がクッキリ立ち昇ったと思う。

豪　しまいには石川社長がリングに入ってきて高田にハイキックしたりね（笑）。

山口　まあ、今回の高田vsアレク戦は、おしなべて“ベビーフェイス”にしていく世界、そういう釈然としない流れを感じたね。それと興行全体を見ても“ヒール”がいなかった。それは対立概念がないってことだから、“敵”が見えないってことと一緒なんだよ。外敵がいないってことは、「団体内」で行われてる闘いと一緒だから、他の団体と差別化できなくなってくる。『PRIDE』の色が見えづらかったというのはたぶんそこだね。“ベビーフェイス”と“ヒール”の図式がナチュラルに出来てたから、広い“場”っていう意味で、「『PRIDE』もプロレスだ」って言ってた部分もあるでしょ。おしなべて“ベビーフェイス”に仕立て上げていく世界を「プロレス」だと言われたら、「ちょっと待ってください」って言いたくなるよ（笑）。そんなに狭くねえです、プロレスは。

ノブ　マッチメーク以外だと、あと何が悪かったんですかね？

山口　アレクの設定したテーマはわかるけど、あの試合には必然性がなさ過ぎた。例えば、バトラーツが初めて日本武道館に進出して、そのスペシャルマッチで高田のテーマ曲が流れたら震えるぐらい面白いと思うけどなぁ（笑）。高田が威風堂々と出てきて、アレクを睨み付けたら「まだまだマルコ・ファスに勝ったアレクでも高田にはかなわないいんだなあ。格がちがうんだなあ」って、いい意味で“格”が作用したと思うよ。

豪　（98・11・23）両国でのロード・ウォリアーズみたいな感覚ですよね。

山口　それだったらオレはノー問題だった。プロレスをメジャーに押し上げたいという考えの高田がローカルなリングに上がることは考えられないけど、みちのくプロレスに、もし高田が上がってきても、テーマ曲が鳴っただけで震えてると思うよ（笑）。そこでサスケが高田に「高田さん、プロレスラーは芸人なんだよ」って言えるかどうかとか想像するとドキドキしちゃう（笑）。さっきから黙ってるけど、ブチはメインをどう思ったの？

ブチ　もの凄いガッカリしっちゃった。あれは会長がずっと言ってた「プロレス」ってもののレベルじゃなかった。

今年の話題をブッチギリでかっさらっていった小川vs橋本。10・11の両者の対決も壮絶な試合展開となった。次回の『PRIDE』に果たして、小川は参戦するのか？　それとも新日本で橋本との再戦に臨むのか？　こちらの動きも『PRIDE』とともに目が離せない！

山口　試合内容的にってことね。オレはアレクに関してはバトラーツでやってる試合の方が全然凄いと思う。そういう意味ではアレクが気後れしてたのかな。一発ストンピングをブチこんだのはド肝抜かれたけど、勝ち負けはともかく先輩後輩の壁を超えられなかったなあっていうのはある。さっき言ったように、バトラーツのリングで高田の格の方が全然上だっていうのが見えたら、それはそれで面白いんだけどね。

豪　「それを『PRIDE』でやるな」ってことですよ。

山口　いや、やるにしても、プロレスの“凄み”をもっと出し切ってほしいっていうかさ。生真面目なだけの格闘技ファンの目を覚まさせるような「プロレス」は高田とアレクなら出来たはずだよね。

ノブ　アレクがジャイアント・スイングで回そうとしてましたけど、あの試合でそれが成功してても、同じだったと思うんですよね。

山口　セミ前の桜庭の試合で「バーリ・トゥードでプロレス技を出す」っていうテーマが終わっちゃってたからね。

ブチ　アレクは「バーリ・トゥードという場だからこそなんでも出来る」って発言してましたよね。

山口　いや、でも、考えようによっては、ホントにそうなんだよ！　プロレスの“凄み”を見せるんだったら、トップロープからマウント・パンチをやってほしかったね（笑）。

豪　どうやってやるんですか（笑）。

山口　マウント・パンチじゃなくてロケット・パンチか（笑）。パーマンが飛ぶポーズでブン殴る（笑）。それでバーリ・トゥードの試合よりも全然悲惨なくらい高田の顔面が腫れ上がる。それで高田は1Rで戦意喪失。「マルコの二の舞か」って思ったら、高田は立ち上がってくる。そして必死に立ち上がってきた高田がアレクを倒す。そういう展開も妄想してたんだけどな。オレはあの2人に期待してるからハードルを非常に高く設定

4　モーリス・スミス vs ブランコ・シカティック

K－1で活躍した両者の因縁対決。だが、UFCでも絶賛活躍中のモーリスの総合力には“伝説の拳”もかなわなかった。ブランコは払い腰でスミスを投げただけだった

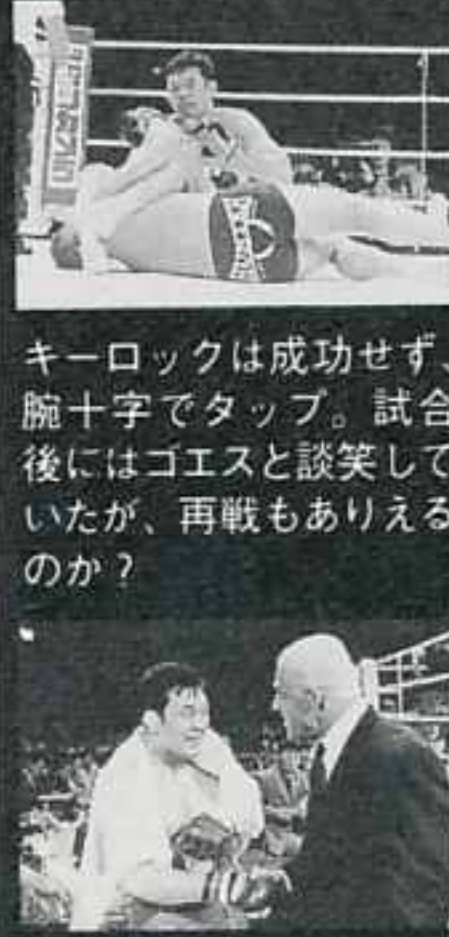
試合結果

○小路晃
延長判定
3－0
●ラリー・パーカー

5　小路晃 vs ラリー・パーカー

キングダム参戦経験もあるパーカーは、体格もよい実力者。小路は突貫魂を発揮しきれず、延長戦までもつれて判定勝利をもぎ取った。不完全燃焼だった

試合結果

○桜庭和志
2R2分30秒
腕ひしぎ十字固め
●アンソニー・マシアス

キーロックは成功せず、腕十字でタップ。試合後にはゴエスと談笑していたが、再戦もありえるのか？

ダブルアームは出なかったが、フロントスープレックスは成功させた。軽量とはいえ、マシアスはUFC大会経験者だ。おそるべし桜庭

DIRTY HEROISM宣言2000

してたの。でも、ズバリ言って、オレが想像してるよりも内容が全然低かった。

チョロ　試合が終わるまでどう見たらいいかわかんないままでしたよね。結局、あの試合でのテーマらしきものは、「高田をプロレスに戻す戻さない」っていう、それだけだったでしょ。

豪　新日に一度ブッキングされかかった人間に対してのテーマじゃないよ。

山口　いま考えると、「WWFに上がりたい」って言ってる高田に対して、「目を覚ませ」っていうのも変な話だね。

豪　それで、例の高田のマイクアピールですよ、あの満足そうな（笑）。

山口　（高田のモノマネで）「エー、勝手にしゃべっちゃっていいですか？」。

一同　ガハハハハ！

山口　『PRIDE』の取った試合後のアンケートでは、高田vsアレクが面白かったという声が多かったらしいし、通常の試合なら十分合格点上げられる試合だったんだけど、（高田のモノマネで）「世界をリードする『PRIDE』をよろしくお願いします！」。あれはズッコけた（笑）。

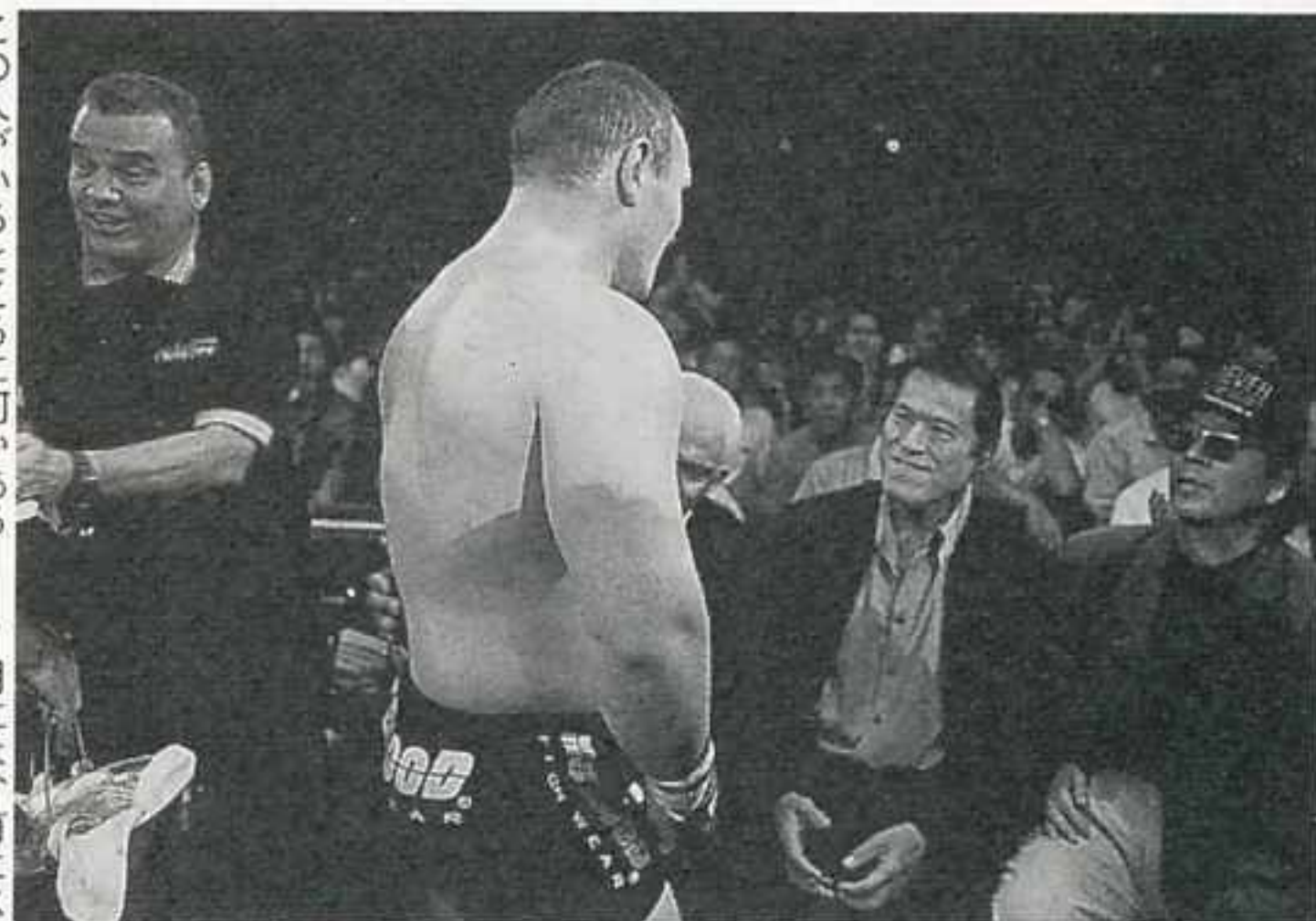
豪　すっかりエース気分ですね（笑）。

山口　あれを聞いて、今回は第2次『PRIDE』の旗揚げ戦っていうイメージを持っちゃった（笑）。

豪　いわばPインターというかね。

山口　うまいね、どーも（笑）。

ノブ　『PRIDE.8』はどうなるんですかね？

山口　オレはこのままシレッとした顔してプロレスが〝ベビーフェイス〟になっていくのは嫌だから、まずは「グレイシー狩り」というテーマをプロレスラーに成し遂げてほしいよね。

ノブ　もしくはWWFをパッケージで呼ぶとか。

山口　は？　お前はWWFと『PRIDE.8』を一緒に見たいの？

豪　ホントに面白いと思う？　今まで『1』とか『4』（98・10・11）とかのああいう流れを見た上で、それよりも面白くなると思うのかよ。どう考えたってWWFが単体で興行やる方が面白いに決まってるだろ、ボケッ！

チョロ　FMWにショーン・マイケルズを呼ぶのと訳が違うよ。

豪　プロレスに愛がないよ、お前は！「プロレスに愛のない人は出ていって下さい！」（笑）。

ノブ　出ていきませんよ！　出ていくくらいなら死にますよ！（ビールをガブ飲みしているためか、非常に気が大きい）。

山口　じゃあ、いますぐ死になさい。

ノブ　………。『8』の話に戻します。『7』を見る限りでは団体化しそうな流れですよね？

豪　何の始まりでもないよね。なんの予告でもなく、旗揚げ戦でもなく。旗は揚がってないもん（笑）。

ノブ　でも、『PRIDE.7』に関しては、メイン以外はポイント、ポイントでよかったと思うんですよ。オレの中ではそれをメインで大爆発させられなかったのが残念でしたよ。

山口　でも、高田が今後の『PRIDE』で、格闘家を相手にああいう試合をやってくれたら最高だよ。たとえばホイスを相手に入場で威風堂々と入ってきて、メンチ切って、ローリングソバット出してくれりゃ最高なんだけどなあ（笑）。

チョロ　でも、『PRIDE.8』は直前に『UFC―J』（11・14NKホール）が入ってますから、きっとあおり食らいますよ。

豪　10・11の小川vs橋本も影響がでかいでしょうね。

ノブ　でも、『PRIDE.8』は噂されてる桜庭vsホイラー（・グレイシー）、アレクvsヘンゾ（・グレイシー）というカードが実現すれば期待できそうですけどね（※10・14の記者会見で正式発表）。テーマがある闘いができそうじゃないですか。メインのエンセンvsケアー戦はエンセンに思い切り肩入れできるし、「グレイシー狩り」というテーマもありますよね。

山口　エンセンとケアーは、どっちが〝ヒト〟として凄いかを見てみたいし、桜庭、アレクでスカッといきたいね。

豪　でも、『PRIDE.7』で気持ちを完全に鎮火された状態から火を付けるのは難しいですよ。

山口　今後『PRIDE』ってどうしたいのっていうラインが見えてないからね。今後の高田のテーマも見えずらいし。

豪　見えるじゃないですか、高田の団体なんですよ、きっと（笑）。でも、次回大会に高田が出ないのであれば、高田を中心に「団体化」する流れよりも、「グレイシー狩り」をファンが支持する可能性はありますからね。

ブチ　やっぱ次はオーちゃんでしょう。

山口　でもオーちゃんは、『PRIDE』に出るんだったらヒクソンかホイス。それ以外は出る必要ないでしょう。

豪　新日出場とのバランスを取るために『PRIDE』に出るべきなんでしょうね。

チョロ　新日でガチンコやって、『PRIDE』でプロレスやったり（笑）。

豪　『PRIDE』で敢えてレベルの高いプロレスをやるっていうね。『PRIDE』でスリーウェイダンスをやるのもいいよね（笑）。

山口　そういうかき回しかたは面白いかもな（笑）。

ノブ　会長的にはこのままプロレスvs格闘技の場になって、誰でも来れる場になればいいと思うわけですか？

山口　プロレスvs格闘技っていうだけじゃなくて、〝ベビーフェイス〟だけでなくて、〝ヒール〟もいる。ただバランスを取るだけじゃなくて、その中から突き抜けた存在が出てこれる可能性を持った〝場〟として機能してほしいんだよ。

豪　それだったら、次回もパンフに原稿を書いてやるぞと（笑）。

山口　みんながみんな〝ベビーフェイス〟になったり、みんながみんな〝ヒール〟になったら、突出した存在なんて出てこないよ。誰が〝ベビーフェイス〟で、誰が〝ヒール〟になるのかはわからないけど、リング上で起こった偶然の劇を演出できるのが一流の「プロレスラー」だし、偶然起こった出来事をドラマチックに次に繋げていくのが一流の「プロレス」だからね。とにかく「プロレスをナメるな！」と言っておきたい。誰に言ってるんだかわからないけど（笑）。

チョロ　オレは乳首をナメます。ウヒャヒャヒャ。

山口　（無視して）あ！　そういえばパンフの原稿料をもらってねえな。原稿料はキャバクラ連れてってもらう約束なんだけど（笑）。

一同　ズコッ!!

【9月27日ダブルクロスにて収録】

この人がいるところに何かある！　7月には、ゴエスとスパーリングをして心をガッチリと掴んだ模様。UFOが次に襲撃するのは『PRIDE』のリングなのか？

試合結果
○モーリス・スミス
1R7分33秒
ギロチンチョーク
●ブランコ・シカティック

3
エンセン井上vsトゥリー・クリハーパイ

エンセンが段違いの実力差で勝利！　胴着での絞めは柔術で認められているのだ。試合後は絶叫マイク！　バッシングにも負けてない！

試合結果
○エンセン井上
1R1分15秒
腕ひしぎ十字固め
●トゥリー・クリハーパイ

2
カール・マレンコvsヴァンダレイ・シウバ

シウバは打撃も寝技も凄い!!　カールは1Rでヒザ関節が抜けた模様

試合結果
○ヴァンダレイ・シウバ
判定
3—0
●カール・マレンコ

1
松井大二郎vsボブ・シュライバー

ボブの反則により不完全決着。松井は怒りを爆発させた！

試合結果
○松井大二郎
1R
反則勝ち
●ボブ・シュライバー

紙のプロレスRADICAL Back Number Information

その壱 大西タマリン

「紙プロ記者列伝」

寝ている間も取材ノートとペンを離さない見上げた記者魂を持つ女

※「紙のプロレスRADICAL」創刊号からNo.4、No.6は完売しました。

No.20 ★人間UFO吠えまくる！ 小川直也

独占!! 公開インタビュー**前田日明**／**アレクサンダー大塚**
高田延彦爆炎記者会見／**佐山聡とは何か？**
『語ろう藤波辰爾』／**バス・ルッテン**
『S多重アリバイ』第10弾**ドン荒川**
滑川康仁／**カール・マレンコ**／**高阪剛**／**山本宜久**
成瀬昌由／**小路晃＆宇野薫**／**ケビン・ヤマザキ**
内藤恒仁／**ティト・オーティズ**
敗者『紙プロ』追放試合！ジャイ子vsトイレの大西さん（仮）

No.5 ★打倒ヒクソン！「最初の刺客」

高田延彦ロングインタビュー
猪木、Puffyほか有名人33人が
高田vsヒクソンを大予想
伏せ字だらけの超過激対談パート2
ドン荒川vs藤原喜明
前田日明の『人生は語らず』
世界格闘技連盟を語りたおす！
佐山聡（タイガーキング）
長井満也／**柳澤龍志**／**ディック東郷**
愚乱・浪花／**ザ・グレート・サスケ**／**長与千種**
ライオネス飛鳥／**ビクター・クルーガー**
パンクラス旧合宿所誌上大公開！

No.7 ★特集「反骨の剣」

田村潔司ロングインタビュー
読者もシビレまくり！
黒いパンツの心意気·激白**木村健悟**
酒、煙草、男、三禁なんてクソ食らえな
大型不良新人！**中原奈々**（現在失踪中）
「凶器しか使わないプロレスをしたい！」
みちプロ経営危機の真実を
ザ・グレート・サスケが独占告白！
……ああ、好評すぎて怖い。寸止めなしの
殺戮連載！**前田日明**の「人生は語らず」
冨宅飛駈／**垣原賢人**／**モハメド・ヨネ**／**冬木弘道**／**MEN'Sテイオー**／**タンク・アボット**

No.8 ★特集「格闘技世界大戦前夜!!」

戦闘スマイル全開**桜庭和志**ロングインタビュー
アントニオ猪木「元気」と「気づき」の
ロングインタビュー
ヒクソンとの再戦が決定！**高田延彦**の
意気込みを聞け！
「プロレスラーはホントは強いんです記念」
格闘家から見たプロレス
エンセン井上／**村浜武洋**インタビュー
波動砲！**前田日明**の人生相談『人生は語らず』
必読！黒いパンツの心意気PART2
木村健悟が猪木、坂口から八百長論まで大いに語る！
吉田豪の書評の星座PART2

No.9 ★「アントニオ猪木・闘魂連鎖！無礼講大特集!!」

前田日明／**ザ・グレート・サスケ**
高田文夫／**春一番**／**ターザン山本**／**石川雄規**
衝撃のさらばプロレスマスコミ宣言
業界病を吹き飛ばせ!!
見てみぃ、この面ッ!!
高阪剛ロングインタビュー
前田日明ラス前ロングインタビュー＆
炸裂人生相談
日プロＯＢ**吉村道明＆ユセフトルコ＆遠藤幸吉＆駿河海**
大反響!!『格闘家からみたプロレス！』
朝日昇★谷津嘉章／**佐野友飛**／**ラスカチョ**

No.10 ★特集「灼熱の地殻変動'98」

大和魂は連鎖する!!
前田日明vsエンセン井上スクープ対談！
とにかく元気！**高田延彦**ロングインタビュー
またもや大爆発！
谷津嘉章インタビュー第２弾！
社長＆会長対談
ザ・グレート・サスケVS松永高司全女会長
『紙のプレイボーイ』発進!!
ダイアナ＆宮内美穂
ターザン山本のプロレスマスコミ表紙批評!!
『紙プロ』スーパースター列伝／**北沢幹之**
冬木弘道（金村ゆきひろ＆伊藤豪）ロングインタビュー

No.11 ★特集「格闘Viagra'98」

高田延彦vsエンセン井上
エネルギーエクスチェンジ烈談!!
前田日明ラストマッチ後·初インタビュー
ターザン山本のプロレスマスコミ表紙批評！
「格闘か？芸術か？それとも格闘芸術か!?」
佐山聡／**スーパー宇宙パワー（木村浩一郎）**／**福田雅一**
★ザ・グレート・カブキ／**ダンプ松本**
★バト両国進出記念
石川雄規／**トンパチ・マシンガンズ**
★とうとう語られるSWSの真実
『S多重アリバイ』**アポロ菅原**

No.12 ★特集「格闘TEPODON!!'98」

ヒクソン戦直前！**高田延彦**ロングインタビュー
「プロレスファンよ踊れ！祭り囃子を鳴らせ!!」
浅草キッド登場
人気大炸裂！
『S多重アリバイ』第2弾**アポロ菅原**
★桜庭和志／**アレクサンダー大塚**／**山本健一**／**神取＆北尾**／**八木淳子**／**ダンプ松本**
猪木イズム世界一決定戦**石川雄規＆ザ・グレート・サスケ**
格闘王から相談王へ**前田日明**人生相談
「人生は語らず」
話題騒然!! What is プロ格闘家？
菊田早苗＆郷野聡寛

No.13 ★特集「四角いジャングルRADICAL」

実写版『1·2の三四郎』降臨！
アレクサンダー大塚インタビュー
『10·11 PRIDE.4』とは何か？
ザマアミロ雑談会!!
高田延彦がヒクソン戦後の心中を語った!!
前田日明・エンセン井上が語る
『高田VSヒクソン戦』
谷津嘉章·島田裕二·浅草キッドが見た
『10.11 PRIDE.4』
大反響！『S多重アリバイ』
第3弾**ケンドー・ナガサキ**
★ボブ・バックランド／**松永光弘**
リッキー・フジ／**堀辺正史**

No.14 ★特集「格闘DREAM CAST」

前田日明独占ロングインタビュー
これが**カレリン**の発した言葉だ!!
池田美憂・山本聖子vs父·親子ゲンカ!?対談
連勝街道爆進中！**金原弘光**
RADICAL版　ゆく年くる年座談会
谷津嘉章のマット界、目ぇつぶって30秒!!
『高田道場1999!』
高田延彦／**桜庭和志**／**佐野友飛**
松井駿介（現・大二郎）／**豊永稔**
『S多重トンパチ』第4弾　**折原昌夫**
★『虎の尾を踏む男たち '99』
小路晃／**4代目タイガーマスク**
村上一成／**宇野薫**

No.15 ★特集1「格闘MARS ATTACKS!」

橋本戦の核心を語る
小川直也with.S.Sインタビュー
佐山聡／**4代目タイガーマスク**
ＵＦＯ襲来緊急座談会
★特集２**「格闘ＬＡＳＴ ＶＯＹＡＧＥ」**
前田日明ＵＳＡ特訓を直撃！
アレキサンダー・カレリン／**浅草キッド**
アニマル浜口親子　**★ジャイアント馬場**
追悼特集／本誌初登場！**ＳＡＳＵＫＥ**
『語ろう**マサ・サイトー！**』
『S多重アリバイ』２連発！
佐野友飛＆**Ｍｒ.Ｗ**

No.16 ★特集1「格闘ノストラダムス'99」

修斗ヘビー級王者
エンセン井上ロングインタビュー
田村潔司／**坂田亘**／**高阪剛**／**山本喧一**
村上一成／**マーク・コールマン**
石川雄規／**ザ・グレート・サスケ**
★特集2**「それぞれの旅立ち '99」**
アントニオ猪木ロングインタビュー
前田日明引退後初の独占ロングインタビュー！
大好評！「語ろう」シリーズ第2弾！
『語ろう**ジャンボ鶴田**』
大反響！SWSを再検証せよ！
『S多重アリバイ』第7弾**石川孝志**

No.17 ★特集1「格闘MAKE JUNGLE」

UFO襲撃三昧
小川直也インタビュー／**桜庭和志**
高田延彦／**アントニオ猪木**／**豊永稔**
マグナムTOKYO／**池田大輔**／**宮戸優光**
★特集2**「新生リングスBone＆Blood」**
前田日明／**山本宜久**
成瀬昌由／**R・クートゥアー**
★タイガー戸口／**矢口壹琅**
『怪物通信』
「ターザン山本さん、目を覚ましてください!!」
イベント炎上鎮火ドキュメント!!

No.18 ★特集「格闘STAR WARS」

カーウソン·グレイシー一派を壊滅!!
桜庭和志VIVAVIVAロングインタビュー
小川直也e-mailインタビュー
高田延彦／**エンセン井上**／**イーゲン井上**
小路晃＆宇野薫
格闘STAR WARS座談会
★『S多重アリバイ』第8弾**将軍KYワカマツ**
「外人さん、いらっしゃ〜い」
F·シャムロック／**G·グッドリッジ**／**R·グレイシー**
『怪物通信』**G·アイブル**
『闘魂猪木塾とは何か？』

No.19 ★いま一度高田延彦を注視せよ！

マーク·ケアー戦直前**高田延彦**インタビュー
リングス、パンクラスにも咆吼三昧!!
小川直也
マット界の今後を**前田日明CEO**が激白！
『紙プロスーパースター列伝』**ドン荒川**
押忍（敬礼）掣圏道、急速発進!!**佐山聡**
エンセン井上／**成瀬昌由**
TARUwith AYAKA／**宇野薫**／**A大塚**
『怪物通信』4連発！
M·ケアー＆**G·グッドリッジ**＆**E·F·ブラガ**＆**G·メッツアー**／**上田馬之助**
井上貴子／**川口健次**

【バックナンバー申し込み方法】

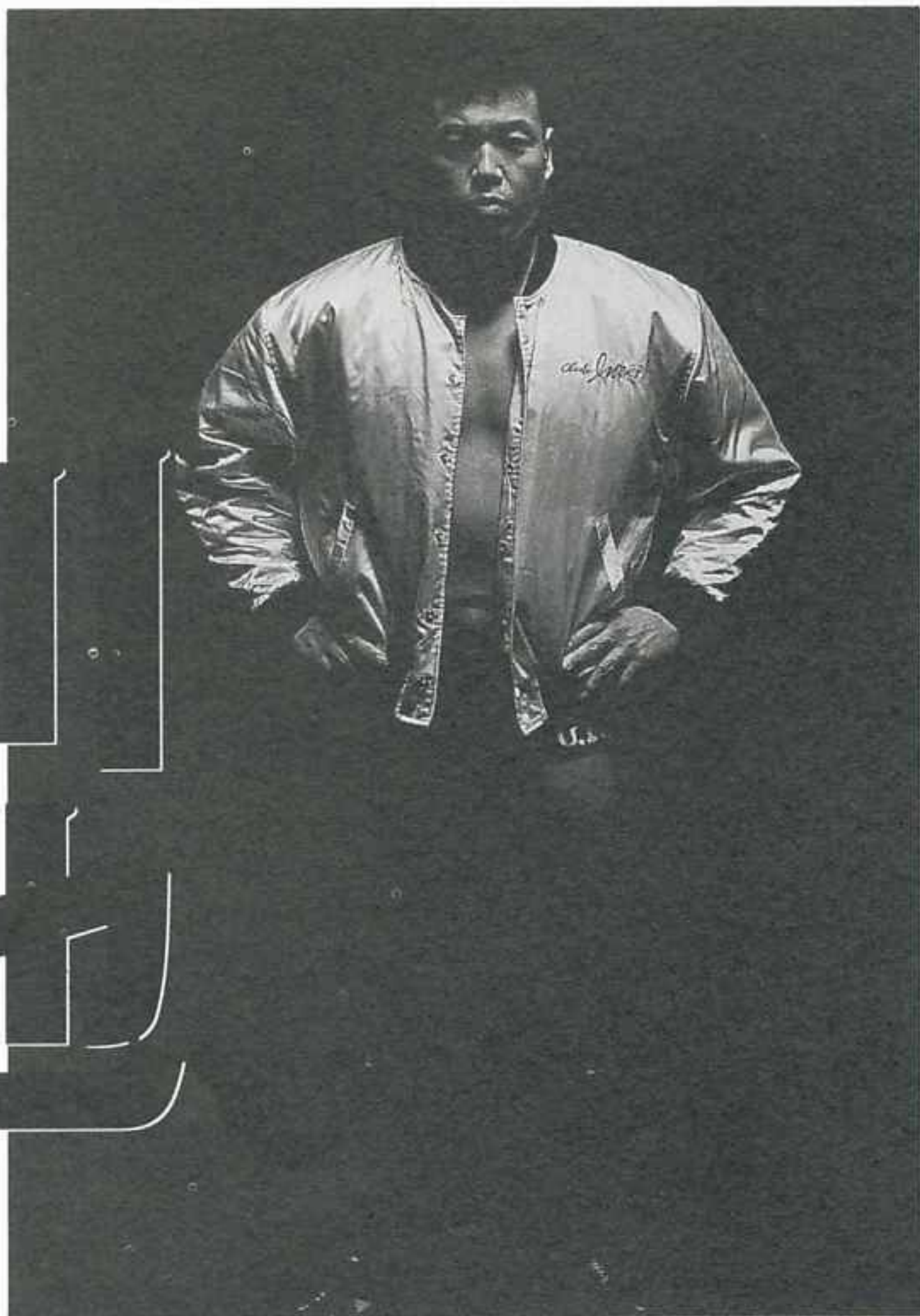
●お申し込み方法は現金書留と郵便振替の２種類があります（バックナンバーは通販でしか取り扱っていません。書店では買えません）
●現金書留の場合は希望号数を書いた紙を同封し、
〒151－0051　東京都渋谷区千駄ヶ谷３－11－３－702（株）ダブルクロス『ＲＡＤＩＣＡＬ通販』係まで送って下さい。
●郵便振替の場合は用紙裏面の通信欄に希望号数を明記し、
００１３０－３－７６９１５４（株）ダブルクロスまで。
代金はＮＯ.５〜ＮＯ.10＝680円　ＮＯ.11〜ＮＯ.19＝780円　ＮＯ.20＝880円　送料１冊＝310円　２冊＝340円　３冊〜４冊＝450円　５冊＝520円　６冊以上＝700円
●『紙のプロレスＲＡＤＩＣＡＬ』バックナンバー常備のえらい店
・アイドール新宿店・新宿ファイター・大山アメリカン・プロレスマニア館・チャンピオン東京・チャンピオン大阪・リングパレス・バディスラム・タコシェ・レッスル渋谷店・レッスル池袋店・書泉ブックマート・書泉ブックタワー・書泉グランデ・ヘラクレス和歌山駅前店・横浜"AO"CORNER・下北沢バンバンビガロ・ワールドスポーツプラザKINGS（池袋店・渋谷WEST店・新宿アルタ店・名古屋店・大阪店・札幌店・福岡店）

No.21 Main-Event

DIRTY HEROISM宣言2000

破壊王をまたもや破壊!!
独占インタビュー

小川直也

NAOYA OGAWA UFO

紙のプロレス RADICAL

1999 No.21 CONTENTS

『追悼・サスケ社長』はP145です。入れ忘れました。……(byジャイ子)

Art Director
出田さん●San Ideta

Design
Two Three
ヒサくん●Kun Hisa
マツ●Matsu
村松さん●San Muramatsu
セッキー●Sekky
グッチー●Gutty

Saotome no jimusho
トメオ●Tomeo
ハナエ●Hanae

Cover Model
「小川直也●Naoya Ogawa

Cover Illustration
井上きびだんご●Kibidango Inoue
(ひとりでミルクレープオフィス)

Cover Photo
平工幸雄●Yukio Hiraku

Styling
Naoya Ogawa

Hair & Make
Naoya Ogawa

※「RADICALとは何か?」何だと思いますか?「根源的」、「根本的」って意味なんです。でも、それはそう思うから「根源的」って意味なんであって、そう思わなかったら違う意味になるんですよ! わかりますか?

猪木ワールドの臨界点

10・11の衝撃!!

ダーティーヒロイズム座談会

DIRTY HEROISM宣言 2000

1・4の再来!? 小川がまたもや

圧勝!!

世紀のリベンジ・マッチとなった10・11小川vs橋本戦。その模様は当日の『ニュースステーション』や『トゥナイト2』で速報されるなど、プロレス業界にとどまらず、世間から広く関心を集めた。本誌編集部もお忙氏だったチョロ&大西タマリン（仮）を除いて、全員総出でこの世紀の一戦を目撃&観察&熱狂しに東京ドームに足を運んだ！　そして、予想を遥かに上回った、衝撃的かつアバンギャルドなこの一戦を本誌編集部＋本誌のレアキャラが思いっきりブッた斬る！　いつもよりキレ味50%増でお届けするプレミアム座談会をいますぐ読め！

負けて覚える
プロレスとは？

しかし、橋本が浮かび上がった!!

この闘いから何が見える!?

座談会出席者

山口日昇■本誌鬼畜編集長。椎名林檎とアントニオ猪木をこよなく愛する。モノマネと占いが三度のメシより大好き。最近は社員にポエムを贈るのを生きがいとしている。

吉田豪■本誌スーパーバイザー兼金髪鬼。ほとんど生観戦はしないのだが、今回ばかりはさすがに生観戦。得意技は『言葉の鋭角エルボー』。『垂直落下式揚げ足取り』

原タコヤキ君■『紙プロ』本誌の前ダミー編集長。現在は関西在住のカリスマ司会者。大阪弁と愛嬌と笑顔がトレードマークの紙プロ史上最大の人気者。

蒲田君■『紙プロ』本誌15号に一度だけ登場したフリーデザイナー。某インディー団体で宣伝カーを回していたこともある。

ファンA■東京ドームで『紙プロ』の人間を見かけるなり、「スイマセン！　オレに今日のことを語らせてください」と直訴してきた26歳のフォーク・ソング好き。下駄を愛用。

山口　元気ですかーッ!!　……人は、歩みを止め、闘いを忘れたときに老いていく。いまこそーッ!!　カリスマ司会者の道を突き進めっ！　タコーッ！

タコ　まいどぉ～っ！　カリスマ司会者でおま。

吉田　ベタ過ぎですよ（笑）。

山口　「おま」はないだろ、「おま」は（笑）。いやぁ～、今日の大会はホントに面白かったな！　タコ、ガンガン話を進めろよ！

タコ　わかっとりまんがな。でも、あんな緊張感のある試合は久々だったもんなあ。

吉田　メインのとき、客席の各所でケンカがあったらしいですよ。連れ出されたやつもいたらしいって。第1試合から見てた蒲田くんはどうですか？　やっぱりいちばん緊張感があったのはメインですか？

蒲田　あ、い、いや、最後の3試合は違うものを3種類見た……って感じで、どれがっていうのはないですね……え。

タコ　すごい！　なんやプロレス観戦の達人みたいやな（笑）

吉田　ファンの鑑ですね（笑）。今日も第1試合から観てましたからねえ。

山口　藤田（和之）とか永田（裕二）の試合は手短かに言うとどうだった？

蒲田　……（ボソッと）残念。

山口　ガハハハ、短すぎるよ。漢字にすると2文字（笑）。

タコ　まあ、武藤（敬司）は良かったですねえ。

山口　武藤はうまい！　天才の名に恥じないね！

吉田　どのへんが？

山口　まずかっこいい。投げキッスだね。立ち居振る舞いがかっこよすぎる。あんな大人になりたい（笑）。

タコ　メインの話をしましょう（笑）。じゃあ、メインに対する期待感は、みなさんどうやったんですか？

山口　俺は半々だったなあ。期待は大きいんだけど、今回はいまいちかなぁとも思ってた。俺の個人的な妄想だと、試合開始3分ぐらいでオーちゃんがサーベルでもなんでもいいから思い切り凶器でド突いて、破壊王に何もさせずに反則負け。で、花道を飛行機ポーズで帰っていって、暴動になるのが夢だった（笑）。それぐらいやれば、プロレスファンも格闘技ファンも文句は言えねえだろうと思ってさ。

タコ　でも、実際の試合はそれ以上でしたよね？

山口　いや、妄想以上におもしろかった！

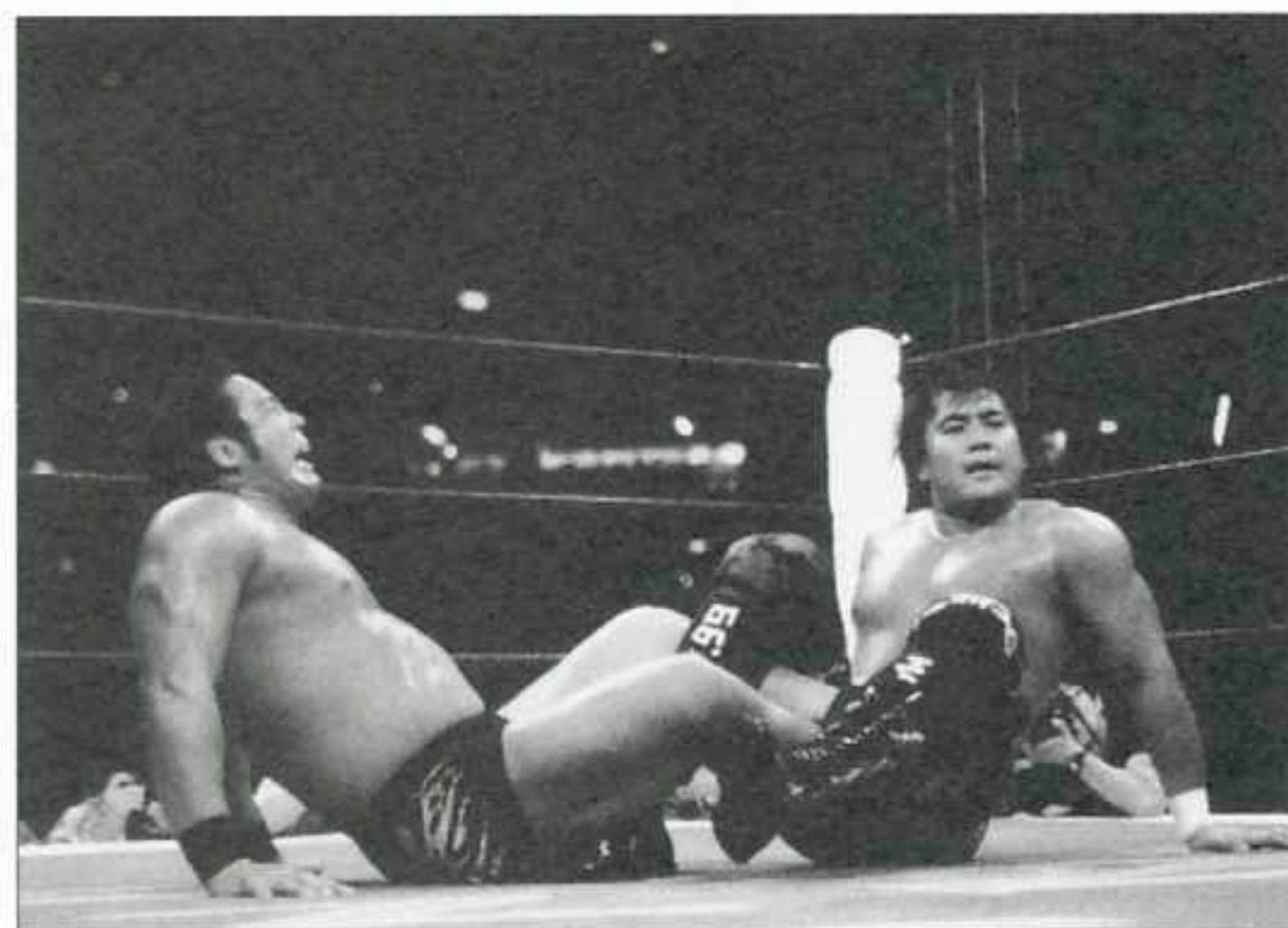
吉田　想像を越えてましたもんね。

タコ　大会前は「僕は留守番キャラだから」とか言って、留守番をきめこもうとしてた吉田さんはどうですか？

吉田　行って良かった、ほんとに。あの試合だけでも十分だね。10万円は払わないけど（笑）。

タコ　でも、最初は留守番しようとしてたってことは期待してなかったっちゅうことやね。

吉田　最初はあったんだけど、順調に下がっていったんだよ。LAジムの橋本襲撃事件があったからさ。

タコ　あれは、吉田さんだけじゃなくて、他の人も引いたからなあ。

当初はメインとして発表されたものの、結局セミで行われたIWGP選手権。武藤は「なんでIWGPがNWAより下なんだよ！」と嫌悪感を表すも、「俺こそがプロレス」という武藤チックな展開で、中西の挑戦を退けた

吉田　ただ、すれっからしのマニアだけ「これぞ新日！」とか言ってたみたいだけど。

タコ　では、蒲田さん、どうぞ！

蒲田　……な、何が？

一同　ガハハハ！

タコ　いや何がやなくて（笑）。なんかこう、試合前日のワクワク感なんかはなかったんですか？

蒲田　あったあった（投げやりに）。

タコ　蒲田さんは、試合前に橋本vs小川戦はどうなると思ってました？

蒲田　試合中に橋本のケガでドクターストップがかかって、中途半端に終わるんじゃないかなって思ったね。で、その後は暴動……。

吉田　みんな暴動なんだ（笑）。でも、泣かせましたねえ。

タコ　そこで、水道橋で捕獲したファンAさん。

山口　こいつ、『紙プロ』の連中を見つけて、持ってたギターケースを投げ出して「僕にも今日の試合をゼヒ語らせてください」って直訴してきたんだよ。なんでキミはギターケースなんか持ってたの？

ファンA　いや、ちょっと、フォーク好きなもんで……。

タコ　で、今日はどう？

ファンA　試合前の報道で、イヤーな予感を抱えつつ会場に行きましたよ。

吉田　試合直前まで盛り上がらなかったよね。それで、調印式の模様が映ってからドカーンっていったんだよ。

タコ　それで「あれ？　ケロちゃんガタイ良くなったなあ」って思ってたら、「あれ猪木さんが立ってる」やんって（笑）。

山口　あそこからは完全に〝猪木ワールド〟だよ。それまでの試合とは全然別ものだもん。それで、唐突に「元気ですかーっ！」だもん。いきなり何を始めるんだと思ったよ（笑）

吉田　さらにその続きは、ほとんど（'98・4・4の引退のときの挨拶でしたね。

山口　オレは、全部言えるからね（笑）。「人は歩みを止め、闘いを忘れたときに、老いていく……いまこそーッ　格闘ロマンの道を突き進め！　オガワァー！」ですね。あれで掴まれたね、グッと（笑）。

タコ　イントネーションというか、勢いが違いましたよね。

山口　猪木さんは人をビックリさせることに関しては、誰が何と言おうと天下一品！

吉田　あの瞬間、完全に藤波（辰爾）の存在が消えましたもんね。

タコ　それで、さらにボルテージが上がったのはオーちゃんの顔がアップになってからですよね。

山口　「あれ？　また目ェ飛んどるやん」って感じだったよね（笑）。

タコ　っていうのを見たときに、ひとつめの「？」が出てきましたね。

吉田　橋本も今回は強気でガンガン行くぞっていう雰囲気は見えましたよね。まだ。

タコ　蒲田くんは橋本と小川がアップで映ったときにどう思いました？

蒲田　いや、橋本を応援しましたよ。

山口　なんで？　1・4であんなになっちゃったから？

プロレスの試合で、あんな緊張感のある試合は久々やったもんなぁ、ホンマ（カリスマ司会者）

この試合には4・4があり、1・4があり7・4が詰まっていた（山口）

蒲田　いやあ、そういうつもりもないっスねえ。

山口　ガハハハハ！　じゃあどういうつもりなんだよ。ファンAは、なんか言いたいことがあってここに来たんでしょ。ガンガン言えよ。

ファンA　もう、橋本に釘付けでしたよ。新日のトップレスラーが、あそこまで辱められていいのかって。

吉田　1・4が、一説では制裁マッチって言われてるけど、制裁って意味では今回のほうが強烈ですよね。完全にイジメでしたよ。それで、ジャイ子がそこに異常に反応してたんですよ。「だめえ、もう見てらんなーい」とか言って（笑）。

山口　自己投影しちゃったんだろうねえ（笑）。まあ確かに表面的にはイジメっ子vsイジメられっ子と見えなくもないもんね。マウントとられただけでエスケープしちゃうんだもんな（笑）。

ファンA　1・4だったらまだフォローのしようがあるけど、今回みたいな形だと、フォローのしようがないですよね。あの橋本の苦しそうな顔のアップになったときなんてね……。

山口　橋本に感情移入できたの？

ファンA　僕はかなりしましたね。

タコ　いまの流れ的には、僕らは絶対「オーちゃん、がんばれ！」って感じなんやろうけど、「橋本をボコボコにしたれ」っていうのも、逆になかったですね。

山口　だから、オーちゃんに対する期待と、橋本に対する期待の質が違うんだよね。極端なこと言うと、オーちゃんには「俺たちの想像を超えることをやってくれ」っていう期待だけど、橋本には単純に「このまま埋もれないでくれ」っていう気持ちなんだよなあ。

タコ　それでまあ、試合がはじまったと。みんな見てるだろうし、全部流れを追う必要はないと思うんで、重要なポイントを振り返りましょう。まず橋本がコーナーに引き下がってノンノンポーズしてたなあ。

吉田　「あれ？　おかしいぞ」と思ったよね。

タコ　あそこが2番目の「？」やね。

吉田　いちばんでっかい「？」でしょう。最初は実際、橋本が押してるムードだったでしょ。ローキック入ってクワガタタックルも多少上達してって。小川も足を押さえてるみたいな。

タコ　その直後から「おや？」っていうね。

山口　あんときは俺も「あれ？　またか？」って思ったよ。けっこう長かったでしょ。橋本のあのコーナーに引っ込んでたのは。

吉田　また〝1・4〟なのか？　みたいな雰囲気でしたよね。今回はみんなそれがいちばん気にしてたことでしょ。それが試合中もずっと続いてた。

タコ　〝1・4〟になるのか〝ベタベタ〟になるのかっていうことですね。

吉田　誰がリードしてるのかまったくわからないまま、最低限の何かを守りつつ、異常にアドリブ度の高いものをやってた気がするんですよね。

山口　そうなんだよ。あの試合は、小川がリードしてたわけじゃない、かといって橋本でもない、ましてやレフェリーの藤波社長がリードしてたわけでもないし（笑）。

吉田　ダウンカウントを数えたわけじゃない、試合を止めたわけでもない、橋本のマイクを止めただけ（笑）。

吉田　ほんと誰が試合をリードしてるのかわからなかったですよ。

山口　格闘技だろうがプロレスだろうが、必ず試合を引っ張っていく人はいるからね。プロレスの場合はたまにレフェリーが引っ張ったりするんだけどさ（笑）。

吉田　良いレフェリーは良い試合になるっていうのはそういうことですね。

山口　で、パッとオーロラヴィジョンを見たら、橋本が頭突きかましてるじゃん。それでまた「？」って思ったな（笑）。

タコ　ただ、その後にも、戻そうとする意志は両方にありましたよね。橋本もオーちゃんもバックドロップとかしてたから、流れは戻るのかなっていう感触を持ちましたよね。

蒲田　で、でも、ボク的にはその後に、小川が格闘技戦対策用に練習したローキックとか出してて、また「？」がついたんです……けど。ダメですか？

タコ　何がやねん（笑）。局面がどんどん

新日vsＬＡジム対抗戦と銘打たれた、永田vsキモ、藤田vsＳ・マッコリー。危なげなく秒殺した藤田とは対照的に、永田は完敗。ジョー・サンがいない分多少スケールダウンしたが、キモはしっかり十字架も背負ってきた

読んでますかーッ!!　全試合終了後の猪木コメント再録!!

【リングに乱入したのは、どういう理由か？】
見たらわかるだろう。死ぬだろう、あそこまでやらせたら。あそこまでやらせるべきじゃない。結局、選手の身の安全を守るために、選手はトコトンいくだろうけどね。でも誰が見たって勝負は見えてるというか。それ以上はやらせられない。俺たちは、その責任があるから。お客さんとは同じ気持ちではいられない。もし、お客さんがそれに対してに不満があるなら俺は腹を括る。まあ、ズバリ言って橋本もよくやったと思うんで、それで十分だと思う。

【イメージしてた試合展開になったか？】
そうですね、イメージというか、お互いが力を振り絞れた。闘いを新日本リングに戻してくれれば、それはそれとして流れの中に。今までやってきたことがどうこうではなくて、これからの時代がちょうど変わり目に差しかかってますから。しかし、闘いは闘いでもどっかに歯止めはかけなけ

DIRTY HEROISM宣言2000

変わっていくんですよね。

山口　この試合に関しては、マニアが「な～んだ」って分かった気になるようなシーンはなかったよね。それが気持ちいいね。会場行く前に浅草キッドと仕事で一緒だったんだよ。キッドにこの試合に何を期待してるのかって聞いたら「藤波の困った顔が見たい」だって（笑）。

吉田　ダハハハハ！　でも、気持ちはわかりますよ。社長ですら予期できないことが起こるんじゃないかっていうことですよね。

山口　これは『PRIDE』なんかとは全然違う緊張感なんだよね。その違いが猪木ワールドの真骨頂ですよ。

吉田　橋本が場外出てグローブ外したじゃないですか。あそこもまた「?」だったよね。

タコ　普通はあっこからまた局面が変わるはずやんか。

吉田　でもなにも変わらなかった（笑）。なんの謎かけでもない謎かけっていうか。

タコ　まあそこから、小川が一方的に攻勢に出るねんけど、小川も橋本も藤波も観客も、みんな「?」マークが頭に浮かんでる風やったなぁ。

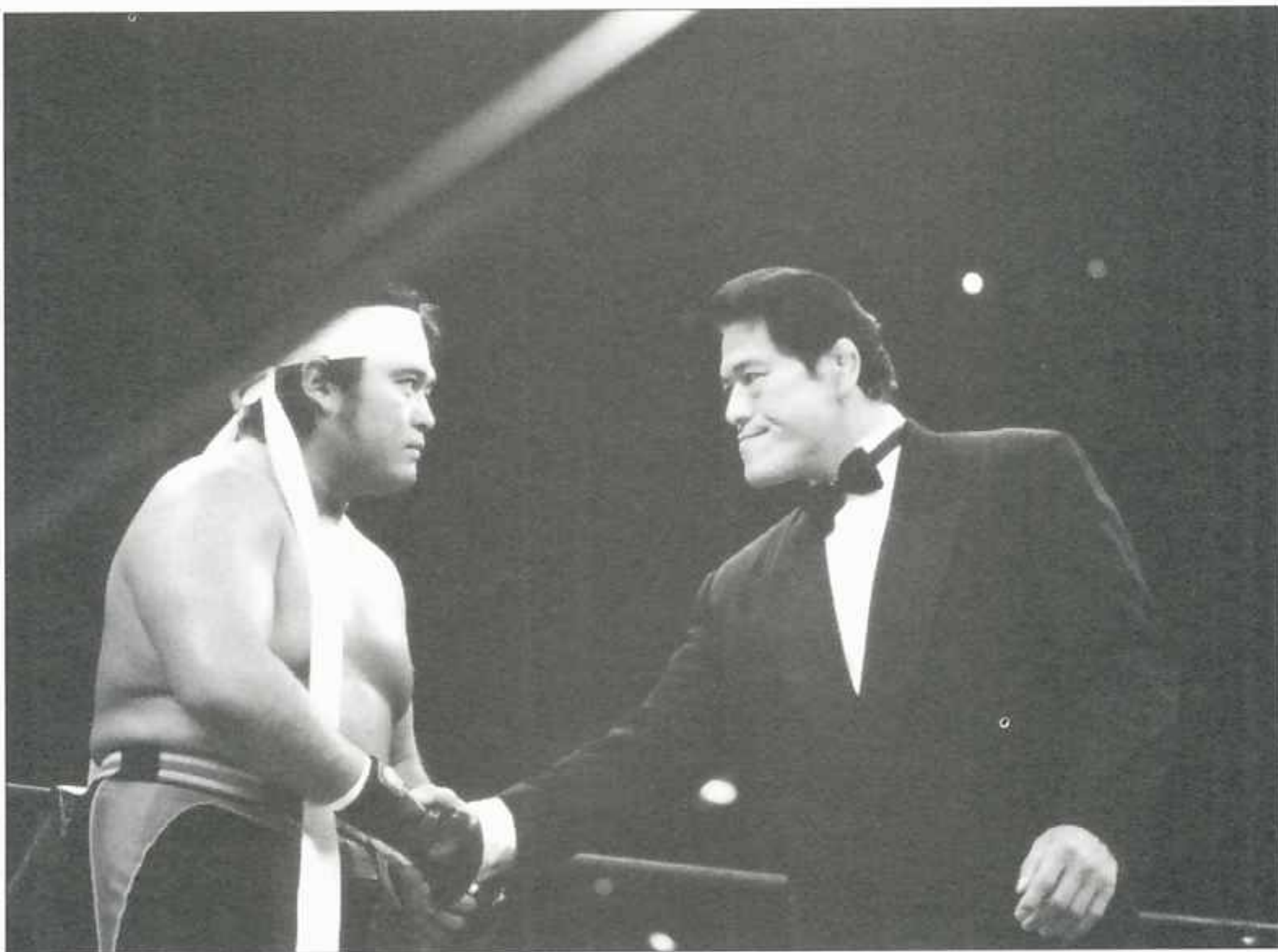
山口　誰もこの試合経過を予想できなかったもんね。まあスレっからしに言わせれば予想どおりって言うのかもしれないけど（笑）。でも、橋本がコーナーに引っ込んだときとかは、ヴィジョンで見てるからよく見えないんだよね。あのカメの状態になったときに、どれくらいパンチが当たってるかとか。

吉田　でもドン・フライ的なパンチには見えましたけど。

タコ　ただ、あのシーンで1・4を連想させましたよね。

山口　そうそう。試合前には4・4の猪木さんの呼び込みがあり、猪木さんの引退試合があって、1・4があって、グラウンドで腕がらみやる7・4があってってていう。

タコ　それは……「4日にはずれなし」ってことですか。

山口　そういうことだよね！

「ハシモトーーッ！」とのA猪木リングアナのコールとともに久々の闘魂伝承ガウンで入場の破壊王。試合前に猪木と握手をかわすなど、1・4直後は「許さない」と言っていた猪木への気持ちの変化が見られた

タコ　ほんまかいな（笑）。

山口　やっぱりキーワードは「4」ですよ（笑）。まあそれはいいとして、今回の試合は、これまでのオーちゃんの、っていうかUFOの流れが全部つまってたよね。

吉田　それもいいところだけね。

山口　あの投げの連発なんて柔道の稽古だよね。プロの柔道の稽古（笑）。

吉田　「かわいがり」ってやつですよね。たぶん、篠原が金メダル取ったから、それに対するメッセージじゃないの。「俺も柔道出身だ」っていう。

タコ　ほんまかあ？（笑）。その小川もひたすら投げるだけ、橋本もただ投げられるだけっていう状態で、会場全体が「これ、どうすんの？」って状態になったとき……猪木さんの登場ですよ。それでオーちゃんにビンタでしょ。

蒲田　あ、あの、あれってカメラ追いきれてなかったですよね。

吉田　すごい勢いで来たから、最初誰だかわかんなかったよ。

タコ　なんか黒い人影が……って思ってたらねえ。

吉田　ブラックキャットか？って（笑）。

タコ　違うっちゅうの（笑）。観客的には猪木さんが入ってきたことで収束に向かうんだろうなって思わせましたよね。あそこでゴング鳴ったじゃないですか。それでまた「えー、ノーコンテストかよ」って思いましたよ。オーちゃんのTKO勝ちだったから、一応納得しましたけど。

山口　ただあの後、猪木さんもオーちゃんもマイクなしで帰ったでしょう。あそこでも奇妙な「?」が残ったんだよなあ。

吉田　退場時には橋本も泣いてましたよね。やっぱり蒲田くん的にあそこはツボでしょ。

蒲田　いやあ「あれを受け入れるかあ?」って思ったねぇ。

吉田　全然達人でもファンの鏡でもねえじゃん（笑）。スレっからしじゃん。

一同　ガハハハ！

吉田　最後に抱き合ったときに、猪木さんも泣いてましたよね。あれは、後は俺が引き受けるって感じですかね。

山口　猪木さんならそこまで考えてると思

れば、とんでもないことに。そういう意味では橋本の勇気というか、結果はともかく、それを評価したい。

【最後は橋本選手と抱き合って何か言葉を交わしたのか？】

それは複雑な思いというか、俺もこの歳になって彼らも今、みんな悩んでいることはよく分かるんで。その中で、今日の闘いに出てきたという彼の思いは、闘魂伝承というか、何かのメッセージだろと思いますけどね。一つは涙が出てきました。久しぶりに感動というか、勝ち負けを越えて何かを伝えてくれたというか。俺自身は10万円を払っても見に行きますよと言ったんですけど、10万円は高くないと思いますね。

【勝ち負けを越えて何かを伝えるということがストロングスタイル？】

やはり勝たなきゃいかんでしょう。そこは勝負ですから。やはりプロレスには他のジャンルと違う部分で、猪木流と言う部分ではそういう領域まで入ってしまいますけども。命を粗末にしちゃいけないけども、やっぱり全力投球というか、その一戦一戦が全てだよと、ただそれが俺の場合は明日に続いてきましたから。それで終わらなかったから。力道山という源流が一つの社会という。そこで「時代が変わったから、俺たちの時代が」とみんなが言っていたといろいろ情報をもらうことがありますけど。それはあくまでも個人の問題でね。やはり日本的プロレスというのは、世界にないもので俺たちが作ってきたもの。基本的には力道山から始まり、色々なカラーがあっていいと思う。それを誰が引き継いでいくか。いろんなカラーがあってもいいと思いますんで、時代が変わってますからね。今日の試合の中でも、10試合の中にそれぞれの色があったと思います。ただやっぱり強烈な色はこの闘いというね。いいでしょうか。

あそこまで落ちたんだから橋本はいままでと違う破壊王をつくれ（山口）

うよ。ただこれから作るっていうのは、相当しんどい作業なのは確かですよ。そこはやっぱり猪木さん流の突き放しかたっていうかね。

タコ　あの試合には闘いがあったって言ってましたよね。いままで新日の試合にさんざん闘いがないって言ってた猪木さんが。

吉田　ああいう闘いならいいってことですよね。

山口「ファンというのは、いちばん残酷でね。俺が止めないと、歯止めが効かない」とも試合後に言ってたよね。

吉田　いいこと言いますよねえ。

山口　でもさ、破壊王があそこまで屈辱を味わってかわいそうっていう意見は、全然ピンと来ないね。プロレスラーとしたら、どう見てもチャンスじゃん。猪木さんがよく「こだわりがあるのは強いって見られがちですけど、こだわりがありすぎると弱ぇんです！」って言うでしょ。橋本はやっぱり、いまのポジションに対して「まんざらでもなかった」というこだわりと、ファンの目に対してこだわりがあったんだよ。それを猪木さんが断ち切ってくれたんじゃん。さあ、ここからなんのこだわりもなく、自分の好きなように作っていけ！　っていうね。あとは橋本の力量でしょう。すごいチャンスをもらったと思うよ。もし橋本がそれをわかって涙したんだったら、よりスケールの大きいレスラーになって帰ってくるよ。ただ、このチャンスを活かせなかったら橋本に先はないけどね。むしろ苦しくなったのは小川でしょう。

タコ　もう橋本と闘うメリットもないし。

吉田　だから、高田（延彦）と再戦するヒクソンみたいなもんでしょう。またやんなきゃいけないっていう。

山口　だから、猪木さんは、オーちゃんも橋本も追い込んだんですよ。格闘プロデューサーとして。やっぱり人間追い込まれなきゃ『闘い』の本質は見えねえですよ。まあ追い込んでも全然わからない人間もいるけどね、ウチのノブみたいに（笑）。

吉田　結局、猪木さんとオーちゃんがからむ興行は面白いってことです。

山口　面白ぇんです！（笑）。

吉田　結局、猪木さんは橋本の体格だけがダメだったんでしょう。やせたからもうオッケーなんですよ。

一同　ガハハハハ！

山口　今度1・4に再戦があるんだったら、オーちゃんはほんと苦しいよなあ。橋本は、あそこまで落ちたんだから、逆にいままでの破壊王と違う破壊王をつくり上げるチャンスでしょ。いままでの破壊王を取り戻すっていうんじゃ「そこまで」だけど。

吉田　後は上がるだけですからね。

山口　小川は絶対下がれないし、上がるにしても次に誰とやりゃあいいんだって話だもん。

タコ　オーちゃんはリング内外含めて「プロレスって怖えな」っていう思いがすごく強くなったんじゃないですか。

吉田　ただ勝ちゃあいい世界じゃないですからね。

山口　試合後のファンの反応ってどうだったの？

吉田　ウチの若い衆が『青空プロレス道場』に小川が登場するっていうビラ配りしたときも喜んで受け取る人と、睨み付ける人の2通りでしたよ。

山口　試合中は橋本がヒールになってたよね。でも試合が終わるとオーちゃんがヒールになった……のか？

吉田　両方じゃないですか。

山口　オーちゃんはプロレスの難しさというか、奥深さをすごい感じたと思うよ。感じてほしいね。

吉田　あげくの果てには猪木さんに叩かれて（笑）。

山口　この前も「最近テングになってる」って言われてたね（笑）。

タコ　ほんとヤな上司やなあ（笑）。

山口　でも、なんか『ニュースステーション』でも放映したこととかも含めて、プロレスの逆襲がはじまってるような気がするんだよなぁ。

吉田　対世間に向けてですよね。

山口　それと対格闘技ね。

吉田　でも会長が指してるのはメインだけですよね。

山口　うん。そのメインが俺の好きなプロレスだからさ。でも、やっぱり新日本は広いし深いよ。

タコ　ほんとになんでもありですよね。キモが十字架背負ってきたら格闘技の大会だったらメインでしょ。それが前座扱いなんだもん。

吉田　よく考えたらプロレスの逆襲じゃなくて、猪木の逆襲でしかないんですよね。プロレス全体でなにかをしたわけじゃないですからね。

山口　俺にとって高級なプロレスは猪木さんだからいいんだけど、そうじゃない人もたくさんいるわけだからね。

タコ　今日の試合はカタルシスみたいなもんはないですもん。すごくおもしろかったんだけど、なんかドヨドヨしたもんが残るっちゅうね。

吉田　でもプロレスとしてはベストでしょ。最近は考えさせるプロレスってないから。

山口　結局猪木さんの手のひらの上でみんな踊らされてるって感じだもんなあ。ただ、今回の問題があるとしたら、この試合で小川の顔が見えたかどうかなんだよな。

吉田　猪木さんの顔は見えたんですけどね（笑）。でも実際に見えたのは小川よりも橋本でしたよね。

山口　そうだね。そういう意味では橋本には、まだ救いがあるよね。人間性が見えればその善し悪しに関わらず乗っかる人は出てくるから。

吉田　人間性って、痛い目にあわないとでないもんなんですか？

山口　本質的なもんは絶対出ないんじゃない？　そこのフォーク野郎はオーちゃんは、

破壊王が破壊に出た！　1・4とは逆に橋本がマウントをとり小川ににパンチを浴びせるシーンも。この他にも隙をついてパチキを入れるなど、リベンジへなりふりかまわぬ破壊王の姿があった

DIRTY HEROISM 宣言 2000

どうなの？
ファンA　なんか、オーちゃんは、誰かにこうやれって言われてやってるようにしか見えないんですよ。自分の意志があんまり感じられないというか。
タコ　僕が唯一オーちゃんに感情移入したのは、7・4のvsG・グッドリッジ戦なんですよね。「小川ってほんとは弱いんじゃないか」っていう話もあったじゃないですか。だから、あのときは素直に「小川ぁー！」って思いましたけど。
山口　小川の課題は、猪木さんがいないときにどれだけの闘いが見せられるかってことでしょ。で、7・4にはそれが見えたんだよね。それをプロレスの土壌で見せられるかってとこだよね。
タコ　「劣勢にまわる小川」が見たいってことですか？
山口　それはいまの段階では格闘技戦でしか見れないよね。純プロレスでは見れないですよ。そこにプロレスの抱える問題があるんじゃないかなあ（笑）。
タコ　ただ、オーちゃんみたいな格闘技の世界ですごい実績を残した人に特有の、プロレスをナメた感じはまだ残ってますよね。
山口　まだ完全には払拭できてはないよね。長州、馳を代表とする一派ね。鶴田も輪島もそうだしね。ナメてるというか、「プロレスはプロレス」と思ってる人たち。
吉田　そういう意味では馬場さんもそうですよね。
タコ　でも、オーちゃんは大きいし強いからなあ（笑）。
山口　でもたしかに、小川が「かなわない」と思うぐらいの人材はいると思うんだけど、それが活かされないシステムは辛いよねえ。
蒲田　ただねえ、オーちゃんも昔はいわゆる「プロレス」をやったでしょ。でも、あんまりおもしろくなかったような気がする……。いまの路線に変わってからでしょ。おもしろくなったのは。ダメですか？
タコ　だから何がやねん（笑）。
吉田　じゃあWWFぐらい振り切った世界でやればいいんじゃないですか。柔道であれだけの実績残してるから、向こうも使いやすいだろうし。
山口　「柔道王・小川」と「空手王・佐竹」がWWFに乗り込んだらおもしろいだろうな。思いっきり妄想だけど。
タコ　まあ小川の出口が見えないように、この座談会の出口もまったく見えないんですけども（笑）。
山口　あれだけおもしろかった試合なんだけどなあ。考えちゃうね。これ言っちゃうと身もフタもないけど、やっぱり「猪木はすごい」っていう結論になっちゃうなあ。
吉田　でもオーちゃんは猪木じゃないじゃないですか。猪木イズム云々って言っても闘い方からなにから全然違いますからね。
タコ　ただオーちゃんはスタートから猪木さんがついたってことで、僕らにも応援しやすかったですよね。
吉田　そりゃそうだよ。もしビッグ・サカについてたらねえ（笑）。
一同　ガハハハハ！
山口　それは妄想したくない（笑）。
タコ　でも猪木さんの元にいる以上はプロレスをナメることなんてできないですよね。それは猪木さんは強さの部分と、いわゆる武藤的というか、人を乗せる部分との両方に説得力がありましたからね。
山口　常に二つというか両極の部分を同時にもってたからね。
タコ　だから、武藤なんかがオーちゃんに対して「プロレスをナメるなよ」って言うことは、半分ではできるんですよね。でも強さっていう部分では、いまはオーちゃんの方に説得力があるわけやからなあ。やっぱりオーちゃんが痛い目にあってないからかなあ。
山口　俺はやっぱりオーちゃんが興行論っていうものをしっかり頭に入れることが、よりグレードを高くすると思うんだよ。オーちゃんはUFOの世界に人を巻き込んでいく辛さを体験すれば変わるかもしれない。いまは外に出ていってるだけだから。
吉田　UFOの社長にしちゃえばいいんじゃないですか？
山口　絶対やりたくないって言ってるらしいよ（笑）。
一同　ガハハハハ！
タコ　でも前田（日明）なんかもそうだけど、団体を背負った男の凄みってあるじゃないですか。社員食わせなきゃいけねえとか、現実論みたいなもんが。そこで見える覚悟っていうのもありますよね。
吉田　高田なんかもそうだよね。
山口　でも、オーちゃんだけじゃなくて、いまの人たちには背負うって感覚はまったくないでしょう。桜庭なんかもそうだし。
タコ　そういうフットワークの軽さは新しいんやけど、感情移入はしずらいんですよねえ。
吉田　僕らだってそういうのはイヤですからね（笑）。単純にそういう人を見ると面倒くさそうだって思うからじゃないですか？
タコ　そやなあ。やっぱり会長（山口日昇のアダ名）の背中を見て育ってきた人間としてはなあ（笑）。
山口　お前帰れ！（笑）。お前にそういうこと言われると気分悪い！（笑）。
タコ　あかん、逆効果やった（笑）。でも桜庭ってそういうのがなくてもオッケーですよね。
山口　そういう話だと、やっぱり欲深さの質の話になっていっちゃう。
タコ　オーちゃんはインタビューとかすると、そのへんはどうなんですか？
山口　同じ世代の他の人間と比べたら、やっぱり欲深いとは思うよ。でもまだ完全には背負いきってるからね。猪木イズムが入れてないよね。あのね、プロレスラーには2種類しかないの！
タコ　ほう！　聞きましょう。
山口　「プロレスラー」か「サラリーマン」か。「つくる」か「つくらされるか」か、その2種類しかない。
タコ　なるほどぉ。
山口　そういう意味で、やっぱり興行論を持ってるのが一流のプロレスラーなんだよ。
吉田　そういうプロレスラーは何人いるんですか？
山口　たとえば（獣神サンダー・）ライガーは持ってる。（ザ・グレート・）サスケも持ってるよねえ。オーちゃんもあるんだけど、まだ外に出ていくだけなんだよな。UFOの自主興行も6月以来やってないし。ありきたりの言葉だけど、まだリスクを背負ってないというかね。自分でも気付かない火事場のバカ力を出すには、結局自分の家を燃やすしかないっていうかね。それをやってきたのが猪木さんだから。

「この試合は俺にしか裁けない」と言っていた割には、ボー然としかしてなかった藤波であるが、ブレイクを命じても聞かない小川にはアームロックを極めて割って入るなど、毅然たる態度をみせた

プロレスラーには2種類しかない！「プロレスラー」か「サラリーマン」か（山口）

タコ　猪木イズム伝承者っていうキャラクターっていう部分でも、もう少し背負ってほしいみたいなところもありますよね。

吉田　闘魂伝承ね。闘魂なんだから、お前が会社やれって（笑）。

一同　ガハハハハ！

山口　闘魂伝承するんだったらそこまで背負ってほしいっていう目でファンは見るよね。逆に桜庭なんかはそういうところ見たくないよね。

吉田　30、40になっても気楽なままっていうのもすごいよね（笑）。

タコ　万年課長みたいやな（笑）。

山口　いまオーちゃんに臨んでいる話は、かなりグレードを高く設定してる話なんだけど、仮に「そこまでシンドいことはやんなくても大丈夫」って思わせたとしたら、そう思わせるマット界の構造に問題がある。蒲田くんとしてはオーちゃんにはどうなってほしい？

蒲田　WWF、っていうか、海外とかにもガンガン出ていってほしいとは思いますよ。やっぱり殺伐としすぎてるから、もっと子どもに受けると……か。

山口　あー、長州も言ってたもんな。雪の東北のサーキットとかに出かけたときに、バスの窓から、子どもがウキウキした顔で走ってついてくる姿を見ると、プロレスやっててよかったなあってしみじみ思うって。

吉田　やっぱり両輪なきゃだめなんですよね。

蒲田　せっかく強いんだから緊張感でプラスアルファが欲しいです……ね。

山口　「せっかく強いんだから」っていうのはいいキーワードだね。

吉田　緊張と弛緩ですよね。

山口　「緊張と弛緩ふたつ我にあり」だね（笑）。それをふたつ持ってたのが猪木さんだって話になるんだよなあ。

吉田　武藤みたいに格闘技戦で弛緩させるんですよ（笑）。

タコ　ガハハハハ！　それはニュータイプやな。

吉田　みちプロなんかに出ればなんかスッキリするんじゃないですか？　子どもとかお年寄りの前でやったりすれば。

山口　だから、せっかく強いんだからそういう方向性でもやってほしいんだけどね。

タコ　まあ小川の話は同じ話の繰り返しになってきたから、ちょっと橋本の話でもしましょうか。って言っても会長が最初のほうに言ってた、あのリングに上がる勇気ってことに尽きるんでしょうけど。

山口　リングからこぼれ落ちた破壊王は非常に素敵なんだけどね。

吉田　確かに昔インタヴューしたときに永島（勝司）さんの悪口言ったりしてたしてねえ。

小川戦の３日後、記者会見の場に姿を見せた橋本は「小川は強いッスよ」と敗戦の弁を述べたあと、「社長、すいません！」の言葉を残し会見場をあとにした。次のシリーズ欠場が決まった破壊王の明日はどっちだ？

タコ　あのときはほんと素敵やったなあ。

吉田　それと、闘魂伝承なんかから背負おうとしてましたよね。でも背負わせてくれなかったんですよね。

山口　背負いきれなかったっていうことも言えるけどね。

タコ　橋本自身は今回の試合を「格闘技対プロレス」っていう方向で引っ張ろうとしてたわけじゃないですか。三沢なんかがもっとがんばれって言ってるのも、橋本がプロレスラーだからでしょう。

山口　それを最後まで背負おうとする橋本がいいよね。だから1・4以降ああいうふうになったのはちょっとガックリきちゃったけどね。

タコ　ということでファンAくん。キミは橋本に感情移入して見てたっていってたけど、どうですか？

ファンA　やっぱりあれだけスター選手がやられたっていうのはプロレス界はじまって以来のことじゃないですか。

山口　それさっきも言ってたよ（笑）。

タコ　言いたいことがたくさんあってきたのとちゃうんかい（笑）。

吉田　ひとつだけじゃねえか（笑）。

ファンA　す、すいません、もうちょっと時間をください！

山口　アドリブ効かねえフォーク野郎だなあ（笑）。早く髪を肩まで伸ばして結婚でもしやがれ！（笑）。話を戻すと、やっぱり力が入るような試合じゃないと、プロレスっておもしろくないじゃない。そういう意味では橋本に乗ってた人は力入ったろうね。

蒲田　プロレスを守るっていうことだったら、最初にどんな手を使ってもカチ喰らわせればよかったんですよ。

山口　「プロレスは常に掟やぶり」byアポロ菅原だね。闘魂伝承ならそうあってほしいよね。

タコ　でも橋本ってそういうことをやらない美学みたいなんもあるんじゃないですか？

吉田　でも最初の小川戦って、2回目の大阪興行のときに橋本が一線越えて顔面蹴りしたって言われてたわけだから。それ考えるとけっこう伏線張られてますよね。

山口　〝ドームプロレス〟って基本的には単発だよね。見て終わり。あとに引かないでしょ。でも猪木さんがやってきたプロレスって、同じ相手と何度も闘うものだったじゃない。実際の人生みたいなもんで、同じ相手が姿を変えたり、成長したりして何度もぶつかる。それを体現してるのがプロレスだと猪木さんは言ってたけど、そういう意味では小川vs橋本の再戦はあってもい

破壊王に完勝した小川だが、飛行機ポーズもマイクアピールもせずにリングを降り、控室では橋本に対し「怖かった」と感想を述べた。プロレスの恐怖を味わったことにより、小川にとってもこの一戦は転機となるか？

い。

吉田 名勝負数え唄ですね。

山口 両方とも姿を変えたりしてさ。

タコ マスクマンになったり（笑）？

吉田 太ったり痩せたり（笑）？ 破壊王がビッグバンベイダーUFOの中身になったりして（笑）。

山口 ビッグバンベイダー・ニュージャパンとかね（笑）。

吉田 でも、不器用だけど、これまでの橋本の試合は悪くなかったですよね。なにが悪いのかなあ。

ファンA あの、橋本だけ別の場所に置いていかれちゃった感じってあったじゃないですか。新日がエンターテインメント路線を進むなかで、『格闘技駐屯地』みたいなところに置いておかれちゃって、そんな駐屯地みたいなところにいままでの歴史を全部置いて来ちゃったのは間違いですよね。

山口 いいこと言うね！ フォーク野郎。ストロングスタイルって、一丸となってみんなでやるもんだもんな。ひとりでできるもんじゃないからね。……でもなー、やっぱり猪木さんが舌を出してる姿しか想像できないんだよな。まずいなあ（笑）。まあ、なんにせよ、概念としての〝ドームプロレス〟を壊してくれたのは嬉しいよ。『ジャングルを守るだけじゃジャングルは守れない。ジャングルを作りゃあいいじゃねぇか』byアントンですよ。

吉田 新日的にはドン・フライとかキモを入れていくってことは、一丸となってストロングスタイルを守ろうしてるんじゃないですか？

タコ あかんやん！ 全部借り物やん（笑）。自分とこでやらな。

吉田 無理によそからの借り物でストロングスタイルに戻さなくてもいいのかなあ……あっ、わかった。『PRIDE』だ！『PRIDE』が新日的なことをやって、新日が『PRIDE』的なことをやればいいんですよ。

山口 あ〜、それはおもしろい！ 新日は人材揃ってるもんなあ。

タコ で、ファンAくん、今日は志願の参戦だったけど、どうでしたか？

ファンA いや〜、やっぱりあれだけスター選手がやられたっていうのはプロレス界はじまって以来のことじゃないですか……。

山口 だから、さっきから同じこと言ってんじゃねえっつってんだよ！ 顔を洗って出直してこい！『みなさん、ありがとうございました』って破壊王調に言うとかアドリブ効かせろよ（笑）。

タコ それでは、次号までサヨウナラ〜。

【オーちゃん劇勝の当日（10・11蒲田君の部屋で収録）】

賞金総額50万ペソ！
ワールド・メガバトル・オープン座談会
開催決定＆挑戦者募集!!

『紙プロ』といえば座談会。それぐらい、おなじみの恒例企画となっている、この編集部座談会。お陰様で、読者の皆様からはご好評をいただいている。というわけで、座談会に参加してみたいという読者の方を募集します！ テーマは何でも構いません。

【応募方法】
封筒に住所、指名、年齢、電話番号、編集部の誰（複数可）と話したいか、語りあいたいテーマを書いて、参加者全員の写真を同封の上、
〒151―0051
東京都渋谷区千駄ヶ谷3―11―3―702
（株）ダブルクロス
「お金のいらない人は来て下さい！」係まで応募して下さい。
締切:99年11月20日必着です

消えた大物ルーキーを某所で発見!!

DIRTY HEROISM宣言2000

聞き手／坂井ノブ
interview by Nobu Sakai
撮影／NAHOMIX
photographs by NAHOMIX
酔客／チョロ
drunker by Choro

本誌独占スクープ!

LLPWを電撃退団した八木淳子は

バーリ・トゥード出撃宣言!!

うふ♥でも結婚もした〜い!!

バーリ・トゥードもやってみたぁ〜い!!

LLPWは辞めました!!

ここにいるぞ!!

衝撃!! パチンコ屋からガチンコ界へ殴り込み!?

自分、過去は振り返らないタチなんで！
プロレスではヘッポコですから（ニコニコ）

Junko Yagi

ＬＬＰＷに鳴り物入りで入団した超大物新人・八木淳子が謎の電撃退団！

このニュースを聞いたとき、素っ頓狂な声を上げて驚いてしまった。だが、こうなることも、ある程度は予想していた。

八木の試合を生で見たことがある人は、その素材を認めつつも、だいたいの人が口を揃えて「八木、ヘタだね～」という。

八木はまるで、プロデビュー当時の小川直也のような、何とも言えないもどかしさを感じさせてくれるプロレスラーだった。

そう、八木淳子は女・小川直也なのである！

柔道というつながりだけでなく、ハイスパート・プロレスになじめない体質や、その「ケタ外れな強さ」の部分が不思議と共通しているのだ。今回の退団だって、小川が坂口社長（当時）を殴ったようなものだと考えられなくもない。まあ、風間ルミ社長を殴ってはいないのだが。

八木の物語をここで完結させるのはもったいない。「to be continued」が最も見たいプロレスラーが八木なのである。八木をこのままで終わらせてはいけない！　八木にも、それこそ小川にとっての『1・4』や『ＰＲＩＤＥ．6』のような試合をしてもらいたいと心の底から思うのだ。

人は歩みを止め、
闘いを忘れたとき、
年老いていくものだと思います
いまこそっ！
格闘ロマンを突き進め!!
ヤギーッ！
女・小川直也になれーっ！

●

というわけで、今号の企画会議で「八木を捜せ！」という企画がチョロから出て、ボクは八木を探し始めた。

まず某会場でＬＬＰＷの広報・鈴木氏にお会いしたときに、さりげなく行方を尋ねてみた。だが、非常に困った様子で「どこにいるのか、わからないんですよ。次期エースだったのに」とのことだった。

そんな矢先、前号の『山川竜司を囲む会』に参加した『Ｌｉａｒ』氏からタレ込みＥメールが届いた。

「●●●●のパチンコ屋で働いている八木淳子を発見！」

早速、現場に急行！　すると八木は驚くほどアッサリと景品交換所に立っていた。大勢の中でも決して埋もれないガッチリとした体格なのですぐにわかる。ご丁寧に「八木」と書かれたネームプレートまでつけていた。

「あの～、『紙プロ』という雑誌の者なんですけど、八木さんですよね？」

恐る恐る声をかけると、「はい！」という元気な返事が返ってきた。

「ＬＬＰＷを辞めた理由や今後のことでお話しをうかがいたいんですけど」

「いいですよ。いつにしますか？」

非常にアッサリとアポも取れた。仕事が終わった後がいいというので、深夜12時からの取材ということで決定。

一旦、会社に戻りアポが取れたことを告げると、チョロは狂喜して、「オレも行っていいっスか！　ヤギジュンに会いたい!!」となぜかやる気マンマン！（だが、他の仕事で途中から参戦）。

取材は八木行き付けの居酒屋で酒を飲みながら行うことになった。話にくいことも聞けるかなと思っていたら、それどころの騒ぎではなかった。まるで、どこにでもいそうな大学生ノリで、ガンガンとプロレスのこと、今後のこと、そして身の上話まで、ノンストップでしゃべり始めてしまった！

プロレスマスコミ各位様

いつもお世話になっております。

LLPW 所属選手、八木淳子は平成 11 年 7 月 20 日付けをもって退団致しました。

平成 11 年 9 月 2 日
株式会社　レディース　レジェンド　プロレスリング

お忙しい中大変恐縮ですが、ご確認の上、告知掲載宜しくお願い致します。
発表が遅くなりまして申し訳ございませんでした。

LLPW

八木の退団は９月に入ってようやく発表されたが、実際に行方をくらませたのは７月20日だった。特に退団の理由も明らかにはされていなかったので、様々な憶測が飛び交った

――まずはお仕事、お疲れさまでした。

八木　カンパ～イ（と、生ビールをゴクゴク飲む）。ぷは～、一昨日もこの店で飲んだばっかりなんですよ。最近、飲んでばっかりですね（笑）。

――相変わらずガタイはいいですね。

八木　でも、ＬＬＰＷ（以下、ＬＬ）を辞めてから体重が10キロ落ちたんですよ。全然練習もしてないし。重いドル箱を運んでるだけですよ（笑）。

――それはもったいないですね！

八木　でも、ＬＬは辞めて良かったと思ってます。

■ここで、八木がＬＬを退団するに至る細かい経緯を聞いたのだが、「もう終わったことですから」という八木の希望もあり、掲載は控えます。

――まあ、そんなことだろうと思いましたけど……。

八木　でも、もう忘れちゃいました（ニコニコ）。最近は記憶力がダメで。昨日のことも忘れそうなんですよ。

――アハハハハ！

八木　いいんです。自分、過去は振り返らないタチなんで。あっ、いまのセリフ、名言だ（笑）。

――アハハハ、最高ですね！　辞めたのは7月20日でしたっけ？

八木　契約切れの日に勝手に辞めて、そそくさと逃げました。辞めたばかりの頃は「他のプロレス団体にいこうかな」とも思ったんですけど。でも、「もういいや」って思っちゃいましたね（ニコニコ）。

――八木さんがパチンコ屋にいるってことを知る前に、広報の方とお話ししたんですよ。まあ、かなり困ってましたけど。

八木　しょうがないですね。自分の気持ちがダメだったんで。自分、プロレスではヘッポコですから（ニコニコ）。

――ヘッポコ（笑）。まあ、ズバリ言って、ヘタでしたよね。

98年10月10日に行われた「Ｌ-１」のvsフロアー・ホルマン戦が、八木の選ぶベストバウトだった。この試合で、八木の秘めた実力の一端が垣間見えた

TVで『PRIDE』を見てて、こういう試合に出たいなあと思っていたんですよ!!

八木　そう、プロレスは苦手なんですよぉ（笑）。

——どんなプロレスラーですか（笑）。

八木　（ビールをグビグビと飲み干して）自慢じゃないけどホンッット、ヘタですよ（笑）。寝技のスパーリングだったら、自信あるんですけどね。

——その言葉が聞きたかったんですよ。まあ、一言で言うとプロレスに馴染めなかったということですかね。

八木　そうですねえ。

——プロレスに馴染めない八木さんが悪いのか、八木さんのような強い人が馴染めないプロレスが悪いのか……。でも、八木さんは強いですもんね！　ここで終わる人じゃないですよ！

八木　「もったいないなあ」って自分でも思うんですけどね。

——ボク的には全女の伊藤薫選手とやった、柔道ジャケットマッチ（※1）みたいな強さが垣間見れる試合が、最高に面白かったですけどね。

八木　（店員に）すいませ～ん、生ビール、追加！　やっぱり自分の方が柔道の現役に近いですからね。伊藤さんは10年ぐらいブランクがあるわけですよね。それは負けられないですよ。

——自分ではどの試合が、いちばん良かったと思ってるんですか？

八木　やっぱり『L—1』ですね（※2）。勝った瞬間に飛び上がって喜んじゃいましたから（笑）。相手は顔がかわいかったのにボコボコにしちゃったんですよ、ウフフフ。

——「ウフフ」って（笑）。でも、『L—1』直後のインタビューで「日本人プロレスラーの先輩とバーリ・トゥードで闘ってみたいです」って八木さんは発言してたんですよ。

八木　あの頃はそう思ってましたよ。

——自分の中に溜まったものをバーリ・トゥードで先輩にぶつけようと思ってたわけですか？

八木　違いますよぉ！　そのときは「自分はプロレスラー」っていう意識だったんでキャリアを積もうと思って。でも、いまはもう関係ないです。

——ボクらも基本的にLLを辞めた理由はどうでもいいんです。もう、戻らないわけですよね？

八木　そうですね。

——でも、八木さんは表舞台で活躍するべきですよ！

■ここで料理が到着！

店員　麻婆豆腐、お待ちどうさまです！　熱いのでお気をつけください。

八木　辛そうですね。

——辛いのダメなんですか？

八木　キムチとかはいいんですけど、肉と辛いのがまざると……。

——そのぶん飲んでください（笑）。で、いきなりなんですけど、『PRIDE』のブッカーに八木さんを発見したって冗談交じりに話したら、興味を持ってましたよ。そのうち話がいくかもしれないですね（笑）。

八木　（タバコに火をつけながら）ホントですか!?　自分、『PRIDE』を見てて、出たいなあと思ってたんですよ！　そういう話が来ないかなぁって、待ってたんですよ！

——あっ、そうでしたか!?

八木　もう年ですからね、早いうちに出ないと（笑）。

——いいですね！　もったいないですから、撃って出ましょうよ。あの『L—1』に出てたベッキー・リーバイとかグンダレンコ（・スベトラーナ）と闘ったら面白いんじゃないですか？

八木　ベッキーさんって、デッカい人（183センチ、95キロ）ですよね、覚えてますよ。あの人は強そうだなって、秘かにチェックしてたんです。格闘家としてね（笑）。

——いいですねえ！　闘ってみましょうよ。

八木　でも、練習して身体を作らないと。何しろ2ヶ月間、仕事してお酒飲んでただけですから（笑）。

——毎日、重いドル箱を持ってコンディションは保っていたわけですけどね（笑）。

八木　でも、本格的に身体を作り直すから4ヶ月は時間をください。自分でも何かやろうと思ってたんですけど、東京だとどこにジムがあるかわかんないんですよ。

——いくらでも紹介しますよ！

八木　やっぱり打撃も教えてくれる、総合格闘技の道場がいいですね。ただ、仕事が夜なんで、通えるところを紹介してくださ～い（笑）。やっぱりプロレスって、格闘技とは違う体力の使い方するから、格闘技用の身体にしないとダメなんですよね。

——プロレスだったら、スタミナはつくんでしょうけど。

八木　忍耐力もつきますよぉ（笑）。

——ちなみに『PRIDE』で強いと思う選手はいますか？

八木　桜庭（和志）さん！　あとは小川（直也）さんですね。

——他にはいませんか？

八木　あとは……あんまり男子プロレスのことは、わかんないですよ（笑）。

■ここで松澤チョロ記者が登場

チョロ　初めまして！　あっ、ちっと、いきなり失礼ですけど、昔からタバコ吸ってるんですか？

八木　ええ。タバコを吸わないと弱いんですよぉ（笑）。

——アハハハ！　LLって三禁がなかったですからね。

八木　でも、初めのうちは、遠慮して誰もいないところで隠れて吸ってたんですけどね。安田さん（＝紅夜叉・引退）に「堂々と吸っていいんだよ」って言っていただいて……でも、やっぱり先輩の前では吸いづらいですよね。

——八木さん、『PRIDE』に出たいみたいだよ。

チョロ　ホントっスか？　いくらでもいいジム紹介しますよ！　柔道つながりで慧舟會なんかいいんじゃないかな？　ところで、

（※1）'99・3・10ＬＬＰＷ＆全女合同興行で行われたこの一戦で、柔道ジャケットを着用して、ＫＯ＆ギブアップ＆３カウントもありで行われた謎の試合。怖ろしいキレ味の技で伊藤を投げ飛ばした八木だったが、５分過ぎに伊藤がジャケットを脱ぎ捨てると途端にプロレスの試合に様変わり。３分後、八木はダブルフットスタンプで撃沈！
（※2）女のＶＴ『Ｌ—１』第２回大会にキャリア２ヶ月で出場した八木は、あのジェラルド・ゴルドーの弟子フロアー・ホルマンと対戦。寝技で上に乗った八木はパンチと頭突きで相手の顔面を打ち続け、最後は力強いギロチンチョークでタップを奪って、底力を見せつけた。

いきなりですけど、ボクは八木さんのことがメチャクチャ好きなんですよ！

八木　いいですね、なかなかそういうことを言ってくれる人がいなくて（笑）。もう、誰か何とかしてくれって感じですよ（笑）。

――結婚は考えてないんですか？

八木　いいですねぇ、したいんですよ。

チョロ　（がっつくように）八木さん的にはどんな男がタイプなんですか？

八木　キャイーンの天野さんとか、極楽とんぼの山本さんとか。自分、ブス専なんで（笑）。

一同　ワハハハハハ！

八木　ホッペがプニュッとしてる人じゃないとダメですね。かっこいい人は受け付けないんです！

――八木さんもガタイはいいから。

八木　あと、ドラえもんみたいな丸っこい厚い手の人がいいです。理想はドラえもんですよ～♥

チョロ　ウヒャヒャヒャ！

■このあたりから酔ったヤギジュンの勢いに押されて、凄いスピードでビールが進んでいく。質問も、ストレートでエグい（エロい？）ものになっていく。

チョロ　八木さんは年上好きらしいって噂も聞いたんですけど。相当ブイブイ言わせてたって（笑）。

八木　（大声で）もう大好き！　50歳までOKですから！

――50歳！　ブス専でフケ専（笑）。

八木　（店員に）すいませ～ん、生ビールくださ～い！　結婚はしたいんですけどねえ。でも、何かやるんだったらしない！（キッパリ）

DIRTY HEROISM宣言2000

次の試合は踊りながら入場？ ドラえもんの着ぐるみ？ それとも裸にしましょうか？

やぎ・じゅんこ■昭和50年8月9日、愛媛県松山市出身。あのＹＡＷＡＲＡちゃんと同期で帝京大学柔道部で活躍。卒業後はＬＬＰＷに入団するが、プロレスになじめず、今年７月20日の興行を最後に退団。約１ヶ月の放浪の後、『フロムＡ』で見つけたパチンコ屋で勤務中。飲みっぷりと、ノリの良さと、柔道は天下一品！　将来のダンナを現在募集中。

――「何か」って格闘技ですよね（笑）。

チョロ　（勝手にヘコみ）ということは、もう相手はいるんですかぁ（泣）。

八木　それがまだなんですよぉ。どこかにドラえもんみたいな人、いないですかね？　もう最近は寂しいですよ。家に帰って、ひとりでビール飲みながら『ぷよぷよ』をやって、ＴＶに向かって「テメェー、この野郎！」とか言ってますから（笑）。

――ゲームも好きなんですか？

八木　もう大好き！　今度、『ダンスダンスレボリューション』を買おうと思ってるんですよ。でも、重いからドスドスいって下の階に住んでる人が大変そう、ウフフフ。

――夜中に家の中でひとりで踊ってたら寂しすぎますね（笑）。

チョロ　以前、インタビューで車の免許が欲しいって言ってましたよね。

八木　そうなんですよぉ。車の免許も欲しいんですよ！（ビールをグビグビ飲み干して）もう、酒飲んで爆走したいんですよ！

――アハハハハ！　捕まりますよ！　でも、強くて、ゲームと酒好きで、さらに飲むと暴れるって、桜庭さんみたいですね（笑）。

チョロ　八木さんは男プロ（＝男子プロレス）には興味ないんですよね？

八木　そんなことないですよ、あそこは気になります。あの……闘龍門！

――女子プロの選手には大人気ですね。闘龍門の会場に行くと、女子プロの方が誰かしら見に来てる。

八木　自分、マグナムＴＯＫＹＯさんがいちばん好きですね（ポッ）。

チョロ　「入場のシーンでお金入れてみた～い♥」とか思います？

八木　いいですね、ウフフフフ。

チョロ　まさに『ダンスダンスレボリューション』ですね（笑）。

――それで試合は格闘スタイルで（笑）。メチャクチャ見たいな、それ！

チョロ　そしたら柔道着を来て入場するつもりなんですか？　それともマグナムみたいに踊りながらにしますか？

八木　そうですね……裸で入場しましょうか？

チョロ　ウヒャヒャヒャ、それ最高！

八木　それかドラえもんの着ぐるみで入場した～い♥

――いいなあ（笑）。では、そろそろ時間も遅いので……八木さんのこれからの格闘人生に、カンパ～イ!!

一同　カンパ～イ!!

■八木は全然元気だった。酒を飲んでいることもあり、異常にノリノリである。ＬＬを退団してヘコむどころか、以前より破壊力が増している！

こんな破壊的な豪快さを活かす場がプロレス界にはないのか!?　それが現在のプロレス界にないのなら、バーリ・トゥード方面に踏み出せばいい！　山本聖子が柔術大会で優勝したり、女子の総合格闘技界にも新たな動きが生まれつつある。八木のこの一歩が、新たな流れとなるか、どうか？　今後の八木の動きから目が離せない！

【99年10月2日、某つぼっぱにて収録】

Junko Yagi

その食いっぷり＆飲みっぷりの良さは最高！　約１時間半の間に10杯もジョッキを空けてしまった。その勢いで路上で本誌記者相手に大暴れ！　『Ｌ-１』の再現で、マウント頭突きが炸裂！　この女には“豪快娘”の称号がふさわしい

R ESENT'S

ロレス道場

スを 10倍楽しく見る方法～

私達ジャナイヨオ～

休んでるんじゃねえんだよ！

この日のゲストは「これまでいろいろな女子プロレスラーを取材してきたけど、この二人は抜群に面白い！」と吉田豪も大プッシュするW井上こと井上京子、井上貴子の両先生。

話の面白さでは定評があるお二人をお迎えしたことで今回の講座の成功は約束されたようなものであったが、当日になって「青空プロレス道場」史上、前代未聞の大きな問題が発生してしまった。

なんと講座のホスト役である本誌編集長・山口日昇（モノマネ王）がよりによって失踪。後日、山口は「ドタキャンではなく交渉決裂です」だの「紙のプロレスという国と、W井上という国の国境線をまたがないため」などと高田調の言い訳をしていたが、突然の事態に編集部は大混乱。急遽、吉田豪と坂井ノブという見るからに息の合わなそうなコンビが司会を務めることとなった。

案の定チグハグとして盛り上がりに欠けた前説の後、W井上が登場。京子先生が開口一番「ゴメン、今日二日酔いでさぁ、朝6時まで飲んでたの～」と三禁を宇宙の彼方に葬り去る一言で、会場のムードをガラリと変えてくれた。さすがである。

W井上と言えば、小さい判型の頃の紙プロで『毒舌人生相談』を連載していたことでも分かるように、歯に衣着せぬ毒舌が売り物。「もう丸くなって毒舌じゃなくなった」と言い張る二人であるが「悪口なんて言わないよ、『○○は人間が出来てない』なんて言えない（笑）」（京子）「そうだよ！　全女のトップだかチョップだかの人の悪口なんて言えない（笑）」（貴子）と、こんな調子である。

次に新人イジメに話が及ぶと、貴子先生が「イジメなんかしないよ。ただ府川はバスから突き落としたけど（笑）」と愛のムチの一例を紹介すると、京子先生も「私たちどうしても新人をかわいがっちゃうのよね」と相撲用語の「かわいがり」でしかないことを言い放つ。

その後もH田選手、Y田選手の話を中心に毒舌全開。絶妙のコンビネーションで話を転がしていくことになる。

このように息がピッタリの二人であるが、やはり昨年末から今年の5月まで続いた遺恨の話題も避けては通れまい。貴子が「2度と話をすることはないと思った」「まさか試合で失神させられるとは思わなかった」と語るとおり、遺恨の根は予想以上に深かったようだが、京子が「それも今は昔。私はずっと仲が良かったみたいに感じる！」と言うのだから、まったくノー問題！　W井上は遺恨の根より深いところで繋がっていたのだ。

さて、講座も後半に入ると「夜の街は私のもの」と豪語する京子先生の独壇場。その豪快なエピソードを少し紹介しよう。「五反田は私の庭だから、

こんなに、山口日昇がいないと違うのか！　と誰もがダークになった前説後、2人の可憐？　な花が登場するやいなや空気も一変し終始笑いが絶えなくなった。しかし、ちょっとは喋れよ、坂井ノブ!!　まぁ、死んじゃった人のことを言うのも忍びないか（合掌）。

この日の貴子先生は、ルイ・ヴィトン＆プラダのバックを持ち颯爽と会場入り。さすが、おしゃれにもお金がかかってます。だが仕事以外は、ほとんど外出せず『1日1000円もあれば暮らせる』と庶民派なところも持ち合わせている一面もあるのだ。

井上京子先生

構成／タマリン&ガンツ
text by Tamarin&Gantsu

REPORT W井上PR E

青空プロレ

チョロはファン時代貴子のオッパイをさわったことをカミングアウト。

かってに私のオッパイさわるんじゃねーよ!!

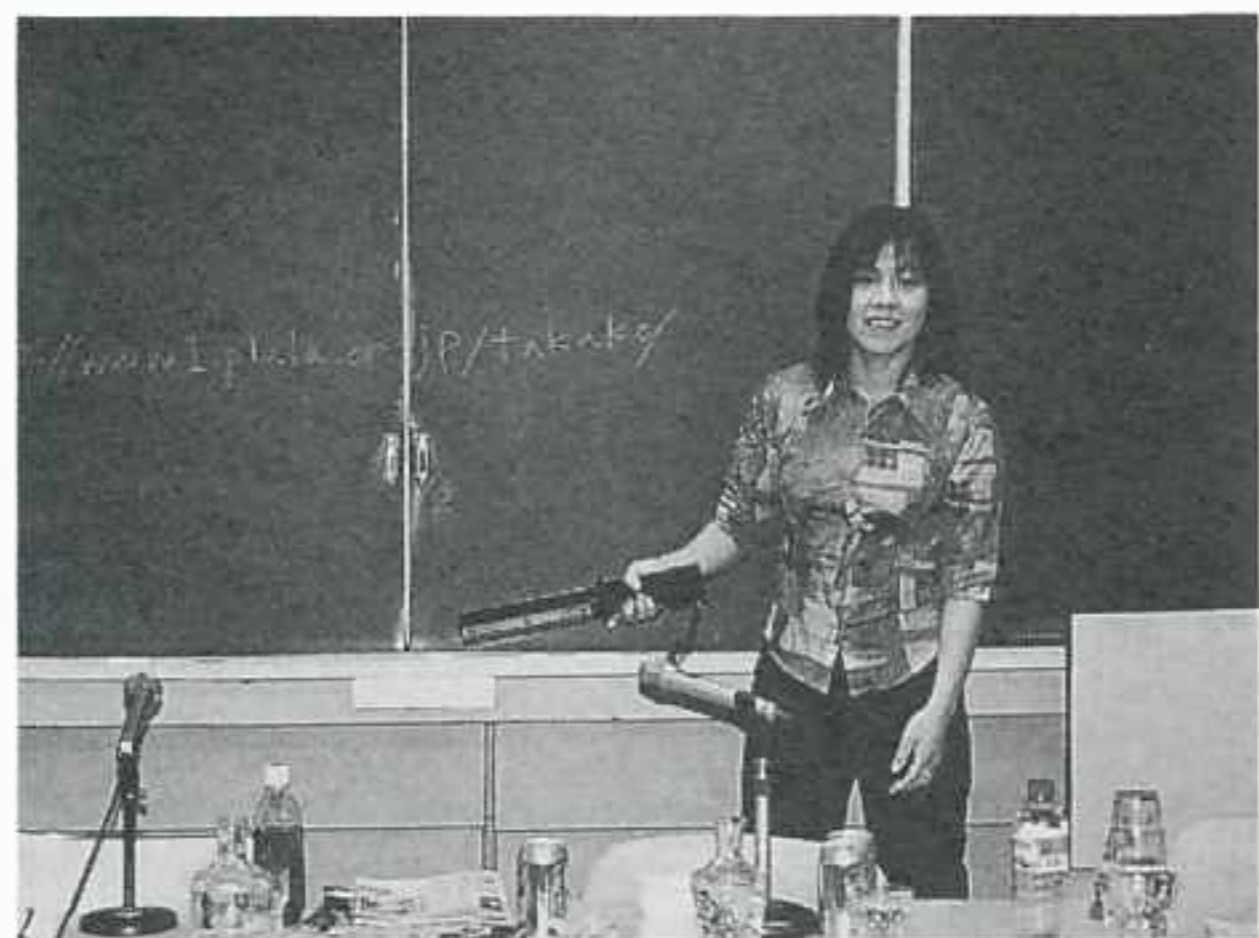
〜超毒舌!!女子プロレスを 10

飲むときは私に断ってからにしろ！ って後輩にはキツく言ってるの」「酔っぱらうと六本木の路上とかで受け身取っちゃうんだよね」「この間、男の人をぶっとばしちゃったらしいのよ。覚えてないけど（笑）」「後輩連れていくと財布の中身全部使うまでおごっちゃう」……実に見事な男っぷりである。昭和のプロレスラー幻想がこんなところで生きていたのだ。ビバ、京子！ これを受けて吉田豪が「是非、天龍さんと一緒に飲んで欲しいですよ！ 天龍さんはアイスペールにウイスキーや焼酎と流し込んで飲むんですよ」と話を振ると「私もそれ大好き!!」と言いだし、しまいには「パンクラスの選手たちと飲んだんだけど、みんなつぶしちゃった〜（笑）」と言い出す始末。もうプロレスラーの鏡としか言いようがないのである。

そして勢いが増しブレーキが完全に壊れた京子先生、今度は下ネタを連発。さらに自分のことだけでは飽きたらず、お父さんの活字にできるわけもないエピソードも次々と大公開するに至るのである。サービス精神が過剰に旺盛なところもやはり、昭和のレスラーなのだ。

ほおっておいたらどこまでもいってしまいそうな京子先生を静止したのはやはり貴子先生。「あんたね、もう30なんだから、いいかげんちゃんとしなよ！」これには京子先生も「すんましぇん」貴子先生が「昔から試合では私が怒られて私生活では私が京子を怒ってた」と言うように、やはり二人はお互いの足りないところをカバーし合う名コンビであると再確認できた有意義な今回の講座であった。

さて、蛇足だが今回はじめて司会をつとめた坂井ノブは結局ほとんど喋らなかったのだが、講座終了後「なんで喋らなかったの？」と聞いてみると「貴子の隣に座ったらブラウスの隙間からずっとブラジャーが見えててさ、もう目が釘付けで全然話し聞いてなかったんだよ」……だめだこりゃ。

とにかく豪快なエピソードを披露しまくってくれた京子先生。『私は、プロレスと食欲と性欲しかないから』とキッパリ。その男前っぷりには、男子道場生徒もタジタジ。だが、この京子スマイルを見れば、こちらまで幸せ気分にさせてくれる。まさに、京子マジック！

『今日もチャットしてきちゃった』という貴子先生のホームページアドレスは、「http://www1.plala.jp/takako/」ここにアクセスすれば、運が良ければ貴子先生とメール交換ができるかもしれないぞ!

井上貴子先生

ワールド メガ バトル
オープントーナメント

WORLD MEGA-BATTLE OPEN TOURNAMENT

KING of KINGS

世界最強の男はリングスが決める!

賞金総額50万ドル、優勝賞金総額22万ドル!
32名参加のオープントーナメント開催!!

試合	選手	選手
1	ラバザノフ・アフメッド (リングス・ロシア)	リー・ハスデル (リングス・イギリス)
2	レナート・ババル (ブラジル)	グロム・ザザ (リングス・グルジア)
3	コーチキン・ユーリー (リングス・ロシア)	ギルバート・アイブル (リングス・オランダ)
4	アントニオ・ノゲイラ (ブラジル)	ヴァレンタイン・オーフレイム (リングス・オランダ)
5	ジェレミー・ホーン (アメリカ)	金原 弘光 (リングス・ジャパン)
6	ダン・ヘンダーソン (アメリカ)	ゴギテゼ・バクーリ (リングス・グルジア)
7	ジャスティン・マッコリー (アメリカ)	イリューヒン・ミーシャ (リングス・ロシア)
8	ブラッド・コーラー (アメリカ)	山本 宜久 (リングス・ジャパン)

RISE 6th

予選Aブロック 1回戦 2回戦
国立代々木第二体育館
10月28日(木) OPEN 18:00 START 19:00

入場料金

ロイヤルリングサイド ¥20,000/アリーナリングサイド ¥15,000
リングサイド ¥10,000/スタンドS ¥7,000/スタンドA ¥5,000
スタンドB ¥3,000/学生特別優待席A ¥2,000
学生特別優待席B ¥1,000
※学生特別優待席はチケットぴあのみでの販売となります。
なお、高校生以下に限らせていただき、ご購入の際、学生証の提示が必要となります。

発売場所

チケットぴあ ☎03-5237-9999
CNプレイガイド ☎03-5802-9999
ローソンチケット☎03-3569-9900 (Lコード 39788)
後楽園ホール ☎03-5800-9999
レッスル渋谷店 ☎03-3464-0078
レッスル池袋店 ☎03-3989-0056
書泉ブックマート☎03-3294-0011
大山アメリカン ☎03-3962-6443
ビデオショップ・チャンピオン☎03-3221-6237
フィットネスショップ水道橋店☎03-3265-4646
ファイター 新宿店☎03-3354-1903

●お問い合わせ オデッセー…☎03-3796-9999

チケット絶賛発売中!

RISE 7th

予選Bブロック 1回戦 2回戦
大阪府立体育会館
12月22日(水) OPEN 17:30 START 18:30

入場料金

ロイヤルリングサイド ¥20,000/アリーナリングサイド ¥15,000
リングサイド ¥10,000/アリーナSS ¥6,000/スタンドS ¥7,000
スタンドA ¥5,000/スタンドB ¥3,000/学生特別優待席A ¥2,000
学生特別優待席B ¥1,000
※学生特別優待席はチケットぴあのみでの販売となります。
なお、高校生以下に限らせていただき、ご購入の際、学生証の提示が必要となります。

発売場所

チケットぴあ ☎06-6363-9999
ローソンチケット☎06-6369-6633 (Lコード 57049)
ビデオショップ・チャンピオン☎06-6645-5186
プロレスショップ・バディスラム☎06-6645-1378
リングソウル ☎078-351-1550
リングス大阪インフォメーション☎06-6364-9115

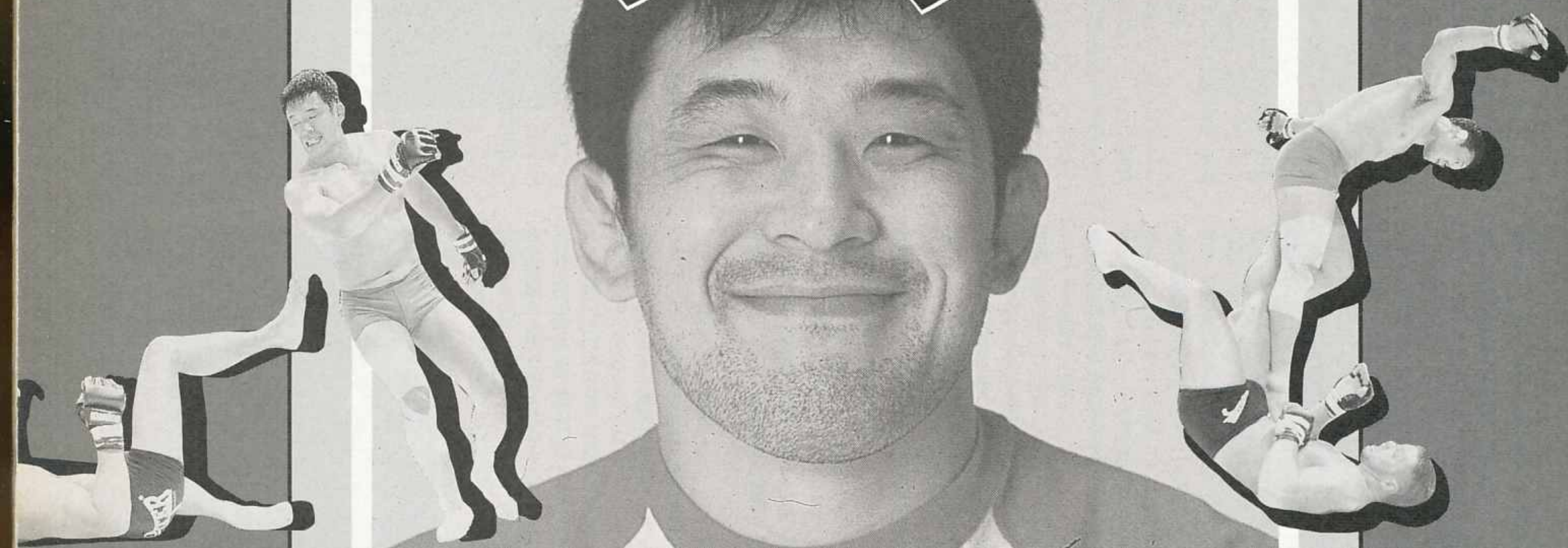
●お問い合わせ●
リングス大阪インフォメーション 06-6364-9115
WOWOW情報ダイヤル(24時間テープ案内) 045-683-8009

チケット11月7日(日)午前10時より発売開始!!
【WOWOW先行予約】
11月3日(水)午前9時~午後8時まで 045-683-8031

グランドファイナル決定!2000年2月26日(土)日本武道館!!

FIGHTING NETWORK RINGS

主催
BS-5ch WOWOW
FIGHTING NETWORK RINGS

やっちゃってくれ、サク!

11・21 熱狂のホイラー・グレイシー戦が決定した

桜庭和志

in 青空プロレス道場

ホイラーの兄　ヒクソン・グレイシー氏からの『桜庭vsホイラー戦』へのコメント

「ホイラーは兄弟の中でもっとも近い関係にあるし、チームメイトとしても、もっとも重要な存在である。ホイラーには私の技術、魂（スピリット）そのものが宿っている。今回ホイラーは我々を代表して桜庭と闘うが、そういう意味ではこれは私と桜庭の闘いでもある。ホイラーが負けたらどうするかって？　その質問に私からの答えはない。なぜならホイラーは絶対負けないからだ」

遂に、いよいよ、とうとう――ついつい同じような意味の言葉を並べてみたくなるほど「待望」の〝グレイシー討伐〟にサクが出陣することになった!

10・14の記者会見で正式発表されたサクの相手の名はホイラー・グレイシー。

98・3・15の『PRIDE.2』では、30kg以上の体重差をものともせず、高田道場の佐野友飛（現・なおき）の顔面を血に染め、最後はキレイに十字で斬って落としたヒクソンの実弟である。

兄のヒクソンはこの試合の後に、「今日は非常にいい柔術のデモンストレーションができた」と満足げに語っていたものだ。

桜庭にとって、いや日本マット界にとって、11・21は満を持した〝リベンジ劇〟の舞台ということになる。

当人の桜庭は先の記者会見で、ホイラー戦についてこう語っている。

「初めに聞いたときは違う選手で決まってたんですけど、ホイラー選手がどうしてもやりたいということで。ボクは体重が合わないのがちょっと気になったんですけど、柔術での凄いテクニックがあると聞きまして、まあ、一度も肌を合わせたことがないので、やってみようかなと思いました。……という感じなんですけど、まだ実際にやるっていう実感がないのでどう答えたらいいかわかりません。ホイラー選手に勝つことができたらお兄さんもいることですし、やっても面白いかなと思いますんで。あと、ルールの面で向こうがなんかいろいろ言ってきて、ちょっとそのへんは少し腹立つんですけど、向こうは向こうのルールでしか出来ないようなんで、それに合わせてあげて、少～し聞いてあげて、ボコボコにして勝ちますんで、応援よろしくお願いします（ニコニコ）」

どーですか、お客さん! 世界で一番頼りなさそうで一番頼りになる男のこの余裕! そして静かなる怒りと情念! もうホイラー戦に関しては、この言葉だけで十分です!

実際に先方は、いろいろルールについて要求しているようで、この試合はPRIDE特別ルールとして、15分2Rで行われることになった模様だ（通常は10分2R）。

このことで思い起こされるのは、ブラジル勢の粘って粘って相手のミスを突く〝クモの巣戦法〟か、粘って粘って判定勝ちを狙う〝アマチュア戦法〟に、日本勢はこれまで苦杯を舐めてきたことである。

確かにその戦法を使いこなせる技術は賞賛するに値するが、「プロ」と名の付くリングに上がれば、観ている者の細胞を叩き起こす闘いをしてくれなければ嘘である。

そして、そういう闘いを何度も見せてくれてきたプロフェッショナル・ファイター桜庭和志が、痛快に〝グレイシー幻想〟を粉々に打ち砕く姿を、ズバリ言って非常に見たい!

そういうわけで、そのサクを気持ちよく応援するために、「桜庭和志とは何者か?」ということを、〝もうちょっと〟知ってもらおうと思い、時間は経ってしまいましたが、9・22に行われた『桜庭和志in青空プロレス道場』の模様をお送りします。

※文中に出てくる「豪ちゃん」とは、この日壇上に上がっていた、本誌の金髪鬼・吉田豪のことです。

もうちょっと大きい活字でお送りしたかったんですが我慢してください。

▲10・14に行われた『PRIDE.8』記者会見。一緒に“グレイシー討伐”に出るアレク、強豪V・シウバに挑む後輩・松井との3ショット!

●「いま、シーマン飼ってるんで」

〈壇上（といっても学校の教室のようなところなので平らなのだが）ではなく、一旦は客席の後方に座るというボケをかましつつ、テーマ曲が流れる中、桜庭が入場〉

桜庭 ………。【山口をジーッと見つめる】

紙プロ・山口（以下KP） 桜庭さん、今日は記念すべき日ですよ。

KP いや、『バイオハザード3』の発売日っていうだけですけど（笑）。予約しました?

桜庭 あ～、してないです。いまシーマン飼ってるので。

KP シーマン以外何やってるんですか?

桜庭 ……。

KP もしもし?（笑）。

桜庭 あ、特にやってないです。あの～、来るとき、車の中で雑誌読んでたら、ちょっと、よ、酔っちゃって。

KP ガハハハ。何読んでたんですか?

桜庭 『格通』を。

〈この後、来た人だけが得をする『格通』話に〉

KP ゲームがシーマンだけということは、じゃあ、毎日練習漬けですか?

桜庭 いや、試合終わってから酒漬け（笑）。

KP 酒漬け!（笑）。じゃ、高田（延彦）さんとかとも飲みに行くんですか?

桜庭 はい（微笑）。

KP 怖そうっスねぇ～（微笑）。

桜庭 怖いっスよ～（微笑）。イッキの数が異常に多いんですよ。

KP 多いっスねぇ～。ボクも飲まされたことあるんですけど、異常に続きますよね（笑）。

桜庭 自分のペースだったら大丈夫なんですけど、高田さんのペースだから（ニコニコ）。

KP 高田さんは、酒は強いですよね～。高田さんが吐いたこと見たことあります?

桜庭 ないですねぇ（しみじみ）。

KP 本当にねぇ。朝方まで続くんだよ。高田さんの元で、あれだけ飲まされたら鍛えられますよね。豊永（稔）選手もイッキだらけじゃないですか。

桜庭 はい。やばいですねぇ、彼は。酔っぱらって人の試合を語るんで。ボクの試合も語られました。【場内爆笑】

KP あ、桜庭さんの試合まで語りますか（笑）。例えばどの試合を?

桜庭 えー、（アラン・）ゴエスとやった試合（98・10・11）のことを、「ボクだったらこうします」とか言う（笑）。

KP ガハハハ、言うね。そういうとき、桜庭さんはどうするんですか?

桜庭 髪の毛ワシ掴みにして。

KP ワシ掴み（笑）。

桜庭 彼は彼で、それで喜んでいるみたいですけど（笑）。で、「お前の夢はなんなんだよ」とか聞くと、「ボクはタイソンにも負けない有名な格闘家になりたいです」とか。

KP 実に夢がデカイですね。

桜庭 ムリムリ。【場内爆笑】

KP またヒドイことを!（笑）。もうそろそろ皆さん、『桜庭マジック』にかかってますよ～。というわけで、今日はよろしくお願いします。

桜庭 あ、よろしくお願いします。

――で、今日は『桜庭和志とは何者か?』という大雑把なテーマのもと、いろんな話を聞きたいなと思ってるんですが、豪ちゃんは、桜庭選手に興味を持ったのはいつ頃から?

豪 やっぱり折原（昌夫）さんとの試合（96・9・11）ですよね。

KP Uインターと新日本の抗争が終わったころ。目のつけどころが違うね、金髪鬼は（笑）。なんか、桜庭さんに注目し始めたのがUFC―J（97・12・21）に優勝してからとか、やたらと遅いのが多いじゃない。マスコミの中でも。

豪 きっかけは、佐山（聡）さんがUインターに「凄く強くて若いアマレス出身の選手がいま～す」って言ってたからでもあるんですけどね。

KP ああ、言ってた言ってた。佐山聡さんがズーッと言ってましたよ!「Uインターにはメチャメチャ強いヤツがいま～す」って。

桜庭 ああ、そうですか（アッサリ）。

KP いや、「ああ、そうですか」って、あなたのことですよ（笑）。

桜庭 知らなかった（ボソリ）。

KP で、やっぱり、桜庭さんがプロレスのリングというか、新日本のリングというか、その辺でやってた試合をいま見ると、意味深くて実に面白いですね。

豪 プロレスの枠内で凄い幅広いことをやってますよね。

●「幼稚園のときにウ●コ垂れました」

〈この後、プロレスのリングに上がっていた桜庭のビデオを本人の解説付きで見ていった＝下段の囲み参照。その豪華なシチュエーションをたっぷり堪能したあとは、9・12『PRIDE.7』の話に。第2試合でカール・マレン

▲10・17横浜。カレーマン相手にIW.Jr王座防衛を果たした佐野。セコンドに着いたサクは、「佐野さんの仇を討ってきます」とホイラー撃沈を宣言した

本人と一緒に見たゴージャスな一夜 “プロレスラー・サクの軌跡”

95・10・9 東京ドーム【新日本プロレス】永田裕志&石沢常光 vs 金原弘光&桜庭和志

Uインターと新日本の全面対抗戦の中でも、マニアからある意味メイン以上に注目されたのがこの第1試合。裸足にトランクスで登場して蹴り一辺倒で攻めた金原に対し永田が「あいつはキックボクサーですか!」と激怒し（このビデオを見たサクは「多分そうでしょう」と呑気に返答。最高だ。）ゴング前からヒートアップ。試合は打撃のUインター、レスリングの新日本という、完全に色分けされた展開となる。そんな中、桜庭がビクトーに決めたときと同じフォームで石沢に低空の片足タックルに入るシーンは見逃せない。試合後猪木が「ズバリ言って、闘いと呼べるのは第1試合だけというか」と発言するに至る名勝負であった。「永田さんは凄いうまいなと思いました。石沢さんはちょっと堅いですね」（サク談）

95・10・11 大阪府立体育会館【UWFインター】金原弘光&桜庭和志 vs 石沢常光&安田忠夫

高田負傷欠場（欠場挨拶中ヤジった客に向かい「うるさいんだよ! お前ら!!」と発言。ビバ、高田!）によるカード大幅変更により、急遽実現してしまったUWF対大相撲の超異色対決。最近、安田は「桜庭はオレとやったとき何もできなかった」と発言しているが、ビデオで見る限り何もできなかったのは明らかに安田の方。講座の中で桜庭が「タックル取ったとき、目があせってました」と語ってくれたとおり、グランドになったときの安田の表情がタマラナイ。目が泳いどるやん。

しかし安田もタダでは終わらない。相撲殺法全開後、桜庭にジャイアントスイング! この衝撃シーンについて当時の桜庭は試合後「お客さんが（回転した）数を数え始めたらどうしようかと思いました」と相変わらず呑気なコメントを残したのだった。

コを破ったヴァンダレイ・シウバを「ゴリラーマン」とお得意のアダ名を付けながらも、「あの試合は面白かった。シウバとは機会があったらやってみたい」という話。第1試合のかけに松井大二郎vsボブ・シュライバーの話をきっかけに松井大二郎の話。新弟子が逃げ出した話へと流れていった〉

KP あ、ビールがきたんで、車酔いを覚ますためにビールでもゼヒ。ビールの宣伝に出てたよしみで（意味不明）。

桜庭 はい。

一同 カンパーイ。【壇上の一同だけ乾杯】

KP さて、桜庭和志が何者かということを探るために、とっかかりとして、桜庭さんの幼少時代の話を聞いてみたいんですけども。

桜庭 べーーーーー！　幼少時代ですか？……幼稚園の時にウ●コ垂れました。

KP ガハハハハハハハハ！

【場内大大大爆笑】

桜庭 集団で帰るじゃないですか、並んで。その時にウ●コしたかったんですけど、もうとりあえず家まで我慢しようと思ったら家までもちませんでした（笑）。

KP ゲッ。道端でしたんですか？

桜庭 うん。長靴履いてズボン履いて、ボクは友達と歩きながら、知らないふりしながら垂れ流してた。長靴の中に入ってました。【場内大爆笑】

KP うわぁ～、それ、けっこう伝説になるでしょ（笑）。

桜庭 ボク、妹がいるんですけど、妹には散々言われますよね（ニコニコ）。

豪 友達にはバレなかったんですか？

桜庭 バレてないです。【場内大爆笑】

KP じゃ助かったんですね？

▲サク・スマイルが本誌プロデュースの『青空プロレス道場』でもサク駆！　まったく普段と変わらない"呑気が一番"トークは道場生のツボに入りまくった

桜庭 ウ●コしながら普通の顔して。【場内大爆笑】

KP その頃からポーカーフェイス（笑）。じゃ、それによってイジメられたとかはない？

桜庭 それはないですね。

KP そもそもイジメっ子だったんですか？　イジメられっ子だったんですか？

桜庭 どっちにもいかないような……。

KP はぁー。小学生の時とかは、クラスではどういうポジションだったんですか？

桜庭 うーん……左。

KP へ？【かすかに場内笑】例えばクラスでリーダーシップを取るタイプではない？

桜庭 それはないですね。

KP 教室の隅で薄笑いを浮かべてるタイプ？

桜庭 その中間くらいですね。

KP 運動神経は元々いいほうなんですか？

桜庭 いや、そんな良くないですね。中学校の時は懸垂が1回もできなかったですから。

KP ゲ！　桜庭和志が懸垂1回もできなかった！　中学の時はなに部だったんですか？

桜庭 えー、バスケット。

KP あ、でも（アレキサンダー・）カレリンも14歳まで懸垂が1回もできなかったんですよ。レスリングの強い人は中学校まで懸垂ができない（笑）。例えばリレーとかのクラス代表に選ばれたりとかは？

桜庭 いえ。短距離凄く遅いんです。

KP へぇー。勉強は出来る子だった？

桜庭 まぁまぁじゃないですか。中の上くらい。全然目立たなかったんじゃないですかね。でも、ヘンな意味で目立ってましたよね。身体がクネクネしてるから。【場内爆笑】

KP ウ●コ垂らしたりとか身体クネクネさせたりだとか大変ですね（笑）。

▲山口日昇（左）と吉田豪のトークの合間に、ビールをクイッ。この男が頼りになる男だとは、高田道場の近くで眠る力道山先生でさえご存知ないだろう

桜庭 あと、欽ちゃんの『良い子悪い子ふつうの子』の「ふつうの子」に似てるって。

KP あ、フツオでしたっけ？

桜庭 オッくんっているじゃないですか？　あの人に似てるって有名でしたよ（ニコニコ）。

KP イタズラ好き？

桜庭 イタズラ好きでしたねぇ。

KP イタズラ好きそうですもんねぇ～。道場でもいつもやってますもんねぇ～。

桜庭 性格上、あんまり人の前に立ちたくもないし、かといってズーッとおとなしくしてるのもイヤなんで……中途半端な。

KP 言い方変えるとメチャクチャわがままなんですね（笑）。

桜庭 （山口をジーッと見つめる）

KP 桜庭さんって、いまの性格というか芯にある部分は、小学校の頃からほとんど変わってないんですか？

桜庭 変わってないんじゃないですかね。まぁ初めての人にはそんな話せないですし、だんだん仲良くなってきて、バーンと（笑）。

KP バーンとって、とてもリングで緻密な試合する人とは思えないですね。「バーン」とか擬音が多いですよね、会話に（笑）。基本的に肉体言語の人なんですよね。

桜庭 はい（ニコニコ）。

KP でもなんかねぇ、いまさら言うことじゃないけど、桜庭さんの会話って、なんかワザと、スカしまくってんじゃないかなぁと思うんですよ。桜庭さんって、感覚言語だから、ただの照れ屋さんとかじゃなくて、しゃべってなくても、しゃべってますよね。それをわからない人はスカされたまま（笑）。

桜庭 まぁ、半分くらいはそうですね（笑）。

KP グワハハハ。やっぱり！　こう、なんか茶化されているようなね。

桜庭 まぁ、誰と話していても半分くらいはスカしますよね（ニコニコ）。

KP あの『SRS・DX』のShowとのインタビューなんか半分やる気ないですもんね、桜庭さん（笑）。

▶もういっちょビールをクイッと飲み干すサク。マイクを片手にビールを飲むなど並の男にできるはずがない（なんじゃそりゃ）

桜庭 あのー、試合のとき流してたやつ？

KP は？　いや、『SRS・DX』のShowのインタビューの方。

桜庭 ヴァーっ、本の方。

KP 完全にかわしてかわしてスカしまくってますよね（笑）。

豪 「ゴキブリゴロシ」（笑）。

KP あー、「サクラバカズシ、ゴキブリゴロシ……あ、『シ』しか合ってないや」ってやつね（『SRS・DX』10／3号参照）。

桜庭 （勢いよく）あ、あれ、わけわかんないですよね。【場内爆笑】

KP ガハハハハハハ。わけわかんないですよ、Showのツボは。

桜庭 インタビューとかは、なんかイヤな質問とかされたら適当に目を閉じて。

KP 目を閉じて（笑）。今日はあとで会場のみなさんからイヤな質問も来ると思いますけど、みなさん3500円も払って雨の中来てますんで、思い切りスカしてください（笑）。

桜庭 はい（ニコニコ）。

●「（グラウンドで）殴りがなければ、別に下の人が勝とうと思わなくても脇締めとけば負けない」

〈ここから、ボーナス・トラックとして、奥さんである美和さんとの心暖まる馴れ初めの話。そしてなぜか、高田道場見学を力道山の墓参りとパックで観光コースに入れたら面白いという話へと流れていった〉

KP 桜庭さんの練習は面白いのでゼニ取れますからね。高田道場も見学させればいいのに、お金取って（笑）。

桜庭 ボクらの練習をですか？

KP そうそう。

桜庭 こっ恥ずかしいからいいですよぉ。

KP ガラス越しにみんな見てる。

桜庭 それならいいですよ。あの～、こっちから見えない、マジックミラーにしてもらって。そしたら何でもやりますよ！　見えると、なんかこう……何て言うのかな？　本当の〝素〟の部分が出てこないんですよ。練習してても。

KP 逆に言うと、見られてなければ〝素〟が出てくる。じゃあリング上はどうなるんですか!?

桜庭 リング上もホントの〝素〟は隠れてます。

KP ホント、桜庭和志の面白いところっていうのは、〝底〟を見せない見せ方っていうか。

桜庭 底ですか？　はい。試合中はもっとしゃ

95・10・28 代々木第一体育館【UWFインター】

桜庭和志 VS 金本浩二

東京ドームの全面対抗戦では試合が組まれず、この日満を持して対抗戦初登場となった当時IWGPとUWAのジュニア二冠王の金本。ビデオの中で金本は試合前「桜庭って誰ですか？」と王者らしくクールに余裕のコメントを残していたが、試合後は「性格的にガーッと来る子じゃないと思ってたけど…」と語ってしまい、講座で桜庭に「誰ですかって言う割には、ボクの性格まで知ってるじゃないですか」と突っ込まれてしまう。

その桜庭はグランドで有利に試合を進めながら、最後は例によってあっさり逆転負け。試合後の映像で桜庭は「けっこう（グランド）知ってましたね」と敗者とは思えないコメントを残しており、金本よりもよっぽど失礼なのであった（笑）。「でも、金本さんはやっててけっこう面白かったですよ」（サク談）

95・10・29 マリンメッセ福岡【新日本プロレス】

桜庭和志 VS 飯塚高史

10・9ドームでの高山戦ではファンから「この日のワーストマッチ」と呼ばれてしまう低調な試合の挙げ句いいとこなく敗北。高山には「サンボ留学なんて格通の読者だってやってる」と後のゴールデンカップス、ノーフィアーを予感させるようなナイスなコメントを残され、汚名返上に燃える「新日本プロレス道場の道場長」飯塚高史。

〝サブミッション〟という共通言語で好勝負が期待されたこの一戦だが、流れるような〝線〟のグランドレスリングを展開する桜庭に対し、飯塚は〝点〟のそれであり、期待に反して噛み合わない試合となる。汚名挽回に燃えると思われた飯塚だが、やはり飯塚らしくその炎は弱火なのであった。

「（ボソッと）やってて全然面白くなかったですね。技術の競争ができない」（サク談）

べりたいんですけどね。 **KP** しゃべりたい! 何しに行ってるんですか、試合に!(笑)。

桜庭 しゃべりたいけども、自分のセコンドっていうのは、どこにいるかわかんないんですよ。試合やってるときって。

KP ああ、方角が。

桜庭 ええ。だからマットに向かって聞こえてくる声に対して、マットに向かってしゃべったりしてるんですよ、返事として。こないだの試合(9・12アンソニー・マシアス戦)なんかは、松井が「桜庭さん早く極めてください!」って言うから、「ヤダ」とか言ったりして。【場内笑】

KP ワハハハハ。子供みたいですね。「ヤダ」って。あ、遅くなりましたが、マシアス戦、快勝おめでとうございます。

桜庭 どうもありがとうございます。

KP マシアス戦は自分で振り返ると何点ぐらいですか、出来としては。

桜庭 70点位じゃないですか。はい。

KP マシアスはどうでしたか、当たってみて。

桜庭 なんかよくしゃべる人だなぁ〜、と思いました。【場内笑】

KP ガハハハハ。試合中に桜庭さんの動きに、いちいち「GOOD!」とか「うまい!」とか言ってたらしいですね(笑)。

桜庭 けっこうしゃべってましたね。何言ってるのかわかんないですけど。「GOOD!」しか知らないから。【場内笑】

KP 組んだ瞬間に、これはイケルっていう感触は掴めました?

桜庭 組んだ瞬間ではないですけど、グラウンドになってサイドポジションをとってから。

KP じゃ、そこからちょっと遊んでやろうと思った。

桜庭 まぁ、最初から遊ぶ予定でしたけど。

KP ガハハハハ! 遊ぶ予定って仮にもバーリ・トゥードですよ、桜庭さん! 凄いな(笑)。【場内爆笑】

桜庭 体重がボクよりちょっと軽めぐらいなんで、力的にはムリヤリ面白い技やってもかかるかなぁと思ったんで。

KP いやぁ〜、でもあの試合は面白かったですねぇ。それまでちょっと興行自体が沈滞気味だった空気を思いっきり変えましたよね。豪ちゃんは、桜庭和志のバーリ・トゥードを現場で、ビクトー(・ベウフォート)戦(4・29)、ブラガ戦(7・4)、マシアス戦と3つ見てるよね。一番面白かった試合って何?

豪 やっぱりブラガ戦ですかね。

KP ボクは断然ビクトー戦なんですよ!

桜庭 ボクはこの間の試合なんですよ。【場内爆笑】

KP ガハハハハ。やってる方としてはこの間の試合。あの試合は肉体的ダメージってあったんですか?

桜庭 まったくないです(キッパリ)。心のダメージはありましたけど。ダブルアームスープレックスかけれなかったから。あと、最後キーロックできなかったから(ニコニコ)。

KP ズコッ! ホントかなぁ(笑)。いまダブルアームとかフロント・スープレックスとかって騒がれてますけど、キングダム時代にオーランド・ウィットーとやった時には(97・7・29代々木)、ジャーマンで何発か投げてますよね。5発くらいかけてませんでしたか?

桜庭 は……あ……??

KP いや、オーランド・ウィットーってアルティメットに出た小さいやついるじゃないですか?

桜庭 あー、ローランド・ボックと間違えてました(笑)。〝オレやってねぇーよ!〟と思ってぇ。【場内爆笑】

KP なぜだ!(笑)。桜庭和志vsローランド・ボックって夢のカードですよ! メチャメチャ見たいなぁー。

桜庭 ヒャハハハ。

KP だから、いまになってことさら騒ぐことでもないんですよね。桜庭さんがプロレス技を繰り出すっていうのは。

桜庭 はい(微笑)。

KP キングダムでグローブ付けてても、ポンポンやってましたから。「プロレス」と「格闘技」っていう区分けばっかりに目を奪われて、桜庭さんの強さとか面白さを見逃してた『K通』っていうのは節穴だなぁ、と思ってましたね。【場内笑】

桜庭 う〜(困った顔)。

KP あ、これはボクの発言ですからノー問題です(ニコニコ)。

豪 リングスの(オープン・)トーナメントとかは興味あります?

桜庭 いやぁ〜、もう『PRIDE』のトーナメントの方がいいです、とか言って(ニコニコ)。

KP でも賞金50万ドルですよ!

桜庭 50万ドルって……?

KP 5000万円以上ですよ、たぶん(笑)。

桜庭 ふ〜ん(興味がなさそうに)。

KP で、優勝賞金22万ドル!

桜庭 どんなルールなんですか?

KP かいつまんで言うと、オープンフィンガーグローブを付けたらスタンドでは顔面あり、グローブ付けなかったらパンチはダメ。で、グラウンドの打撃は一切禁止。

桜庭 ふ〜ん、つまんないじゃないですか。【場内大爆笑】

KP またズバリと言ってくれますね(笑)。

桜庭 ボクはいま『PRIDE』でやっているんで、やっぱり自分のところが一番いいと思うんですけども。こっちの方から見るとグラウンドで打撃があっても膠着状態って続く場合があるのに、グラウンドで打撃がないと、もっとそれ以上に膠着が続くじゃないですか。それで勝ちたい人もいますよね。でも負けたくない人もたまにいる。打撃がないと負けたくない人ってけっこう強いんですね。

KP 打撃がないと、負けたくない人はけっこう強い。

桜庭 脇締めとけばいいだけですから。だけど、攻める方としては、けっこう崩すのって難しいんですよ。

KP じゃあ、負けないことはある意味で簡単なんですね。

桜庭 はい。これ言っちゃっていいことかはわからないですけど、金原(弘光)さんの最近の試合で、金原さんは勝ちに行こうとしてるんだけど、なかなか崩せないっていう試合があったんですよ。あれで殴りがあれば絶対、脇が開いてるんですけど。

KP 極めるチャンスが増えるということですね。打撃があれば。

桜庭 ええ、殴りがなければ、別に下の人が勝とうと思わなくても脇締めとけば負けないので、結果としては引き分けになる。そういう試合はしたくないんですよ。

KP 守る人に有利になる場面が出ちゃうルールではやりたくない。

桜庭 はい。

KP でも今度はグラウンドの打撃がないとはいえ、賞金トーナメントだから、守ってもしょうがないですよ。みんな勝ちにくるかもしれないし。

桜庭 それと、こないだのオランダ人(ボブ・シュライバー)と松井の試合を見て、あまりオランダ人とは絡みたくないなぁと。ああいうことやるんだったら、ボクは金属バット持っていきますよ(怒)。

KP ガハハハハ。金属バット! そうとう頭きてるみたいですね(笑)。

桜庭 そうとう頭きてます!(怒)。

KP 余計見たくなりましたね(笑)。やっぱこうオランダ勢の危険な匂いというか……。

桜庭 (すかさず)危険な匂いというか、あれじゃただのバカじゃないですか!【場内大爆笑】1Rの終わりのゴングが「聞こえてない」とか言って、「1R始めのゴングは聞こえるだろ」って感じですよぉ。

KP でも松井選手は、やっぱり熱くなると個性が出ますね。ああいう松井選手は好きですね。

▲9・12『PRIDE.7』でのアンソニー・マシアス戦。Wアーム・スープレックスは出せなかったが、フロントからの投げで館内を大いに湧かせた(下につづく)

▲練習通りWアームの体勢に入るサクだが、惜しくも不発。しかし「炎のコマ」「スライディング・キック」が炸裂! まさに桜庭オン・ステージ!(下につづく)

▶予告したWアーム不発へのお詫びに、試合後、四方に頭を下げたサク。代わりに松井をWアーム! ゼイ沢なオマケだった!

96・1・4 東京ドーム【新日本プロレス】
金原弘光&桜庭和志&山本健一(現・喧一)vs永田裕志&大谷晋二郎&石沢常光

対抗戦がスタートして3ヶ月、当初は「Uインターの若手」という形でひと括りにされていた金原、桜庭、ヤマケンも各自が独自の個性を新日本のリングで見せはじめていた。金原は新日本の若手キラーとなり、ヤマケンはゴールデンカップスとして金髪に変身。桜庭は「テクニックは認めるが、自己主張不足で目立たない」という、サクラらしいスタンスの評価に甘んじていた。

その3人にとっては初めてとなる6人タッグマッチ。往年の維新軍(維震軍でも可)ばりの流れるような連携を披露する新日勢に対し、Uインター勢はえげつない打撃を出すも単発に終わってしまう。オレがオレがの試合では、予想通り埋没する桜庭なのであった。

「でも6人タッグも普通のタッグと変わりませんよ。休憩時間が増えるだけで」(サク談) 休憩時間…。

96・3・23 宮城県スポーツセンター【UWFインター】
桜庭和志vs田村潔司

3・1武道館(Uインターvs平成維震軍全面対抗戦という、今思えば夢のような興行)。その第1試合で組まれ、UWFの理想郷とまで呼ばれた試合のリマッチ。当時新日本との対抗戦を拒み、K-1でのバーリトゥード戦に打って出るなどしてU信者から絶大な支持を受けていた田村を相手に、桜庭はこの日もその実力を十分に発揮。スリーパーで田村をあわや秒殺というところまで追い込むなど、結局は敗れたものの田村相手に互角以上の攻防を見せ、「桜庭強し」をまたしても強烈に印象づけた。田村との3連戦は結局3連敗ながら、桜庭の実力がトップレベルにあることを証明することとなり、桜庭メジャー化の第一歩を記した記念碑的な試合であった。

「田村さんスリーパーで落ちそうになったんですよ。落としときゃ良かったですね。エヘヘ」(サク談)

桜庭　（ボソッと）ボクも好きですよ。でも、相手がそういう攻撃をしてくるんだったら、ボクも目に指突っ込みますし、ケツに指突っ込みますし、チ●コの毛も掴みます。【場内笑】ああいう、人として許せないことをやるのはムカツキますね。

KP　〝キラー・サク〟（笑）。でもまぁ、見てるほうとしては、格闘の原点のような感じもあるんですよね、喧嘩ですから。

桜庭　でも、結局あのルールで勝てないから反則をするわけじゃないですか。自分が勝てないと思うから、松井がレフェリーにグローブ直してもらってるときに殴ったり。どう見てもあれはタイムかかってる！　そこで殴って〝ここで倒れてしまえばラッキーかな〟って、そういう考え方の人とは試合やりたくないです（キッパリ）。

KP　桜庭さんがよく言う〝試合の中での会話〟ができないということですね。

●「ヒクソンにモンゴリアンチョップ決めたいです」

KP　この際だから、この先、桜庭和志がバーリ・トゥードの世界で何を目指すのか聞いときたいですね。今度の11・21（『PRIDE8』有明コロシアム）はヘンゾ・グレイシーとかホイラー・グレイシーとか噂にのぼってますけど、この先はヒクソン（・グレイシー）とホイス（・グレイシー）にゼヒ行ってもらいたいですけどね、桜庭さんにも。

桜庭　行けたらいきたいですけどね。

KP　もうそろそろチャンスは巡ってくるんじゃないかと思うんですけどね。

桜庭　ヒクソンにモンゴリアンチョップ決めたいです。【場内大爆笑&大拍手】

KP　ダーッハハハハ。ヒクソンに決めたら気持ちいいですよ！　ヒクソン、ホイスにゼヒ決めてほしいもんですよ。ダブルアームでもバックドロップでも（笑）。

桜庭　あと、脳天唐竹割り。【場内大爆笑&大拍手】

KP　それ、スタンドですか？

桜庭　スタンドで（ニコニコ）。

KP　やられたら、メチャメチャ屈辱でしょうね、向こうにとっては（笑）。でも、そのプロレス技についてですけど、この間のマシアス戦でも、ごくごく一部ではあるけど、インターネットや媒体によっては批判の声が上がってますよ、実際のところ。

桜庭　どんな批判ですか？

KP　ちょっと読みますね（『G格P』の記事を読み出す）。『（かつてのビクトー戦などは）緊張感ある競った勝負の中で繰り出したジャンピングフットスタンプ、バックキック、側転パスガードだからこそ衝撃的だったわけだ。すぐに決められる相手にプロレス技で遊んであげてもそれがどれほど価値ある試合なのであろうか？』『試合中に桜庭にマシアスが話しかけてきたという。空手でも柔道でもボクシングでもいいが、他の格闘技では信じられない光景だ』『桜庭の魅力に気づいている格闘ファンの目を白けさせるようなことがあっては罪となろう』って書いてありますね。

桜庭　それ、その人の意見ですからね。【場内笑】

KP　また身も蓋もないことを（笑）。じゃあ別にこういう批判は全然気にならない。

桜庭　だ～って、あの試合が30秒とか1分で終わってもつまらないと思います。そういう試合しても次の大会にお客さんが足を運んでくれるとは限らないですよね？

豪　あのマッチメイクの中でベストを尽くしたということですよね。

桜庭　はい。

KP　やっぱり、プロフェッショナル観が違うんでしょうね。格闘技マスコミって、ヘンにアマチュアリズムに拘るところありますから。

桜庭　でもボクはプロですから！（キッパリ）。

KP　素敵です！　そこら辺が桜庭さんの芯の強さですよね。そんな顔して（笑）。

桜庭　ヒャハハハ。こういう悪いことを書く人って、名前を書かないですよね。

KP　「W」って書いてありますよ（笑）。

桜庭　ダブリュウってねぇ（笑）。

KP　ワハハハ。せっかくだから、これからの目標とか言ってくださいよ。やっぱりプロとして、「相手は誰でもいい、いい試合だけしたい」って言ってるだけじゃマンネリ化していくんで、そろそろ「トーナメントでヒクソンの首でも刈ってやるぜ！」とか。まぁ、桜庭さんは「やるぜ！」なんて言い方しないですけどね（笑）。

桜庭　……ヒクソンはボクと体重も身長も同じくらいじゃないですかね。

KP　そうですね。やっぱ、ヒクソンですよ！　行ってもらいたいですね。

桜庭　行きます（ボソボソと小声で）。

KP　どこへ行くんですか？

桜庭　モンゴリアン・チョップ！（意味不明）。

KP　は？

桜庭　まぁ、ヒクソンに「炎のコマ」をやってみたいですけどね。【場内笑&拍手】

KP　へ？　あれ実際に火傷するんですか？

桜庭　しますよ！　マシアスさんなんて次の日病院に行ってましたよォ！　なんか背中が痛いんだよなぁ～って。【場内大爆笑】

KP　マ、マジですか？

桜庭　笑ってるけど、ホントに！　病院行ったんですよォ！

KP　別の技で行ったんじゃない？

桜庭　いや、皮は剥けてないですけど、軽い火傷だって言われたみたいですよ。

KP　うわぁ～。恐るべし、「炎のコマ」！

桜庭　いやっ、ホントに！

KP　あれはやられた人にしかわかんないでしょ、その恐怖は。

桜庭　「アチチィ～！」とか言ってくれればいいんですかね？

KP　郷ひろみじゃないんですから。【場内大爆笑】

桜庭　ヒャハハハ。でも、〝グレイシー〟っていうのは別に意識してないです。

KP　いまでも？

桜庭　ええ。柔術っていうのは意識してるけど、グレイシーっていうのは意識してないです。

KP　そんなこと言って内心メラメラとくるものがあるんじゃないですか？（笑）。

桜庭　いや、本当に〝グレイシー〟っていう肩書きよりもゴエスとかの方が燃えますし。

KP　そのゴエス戦にしてもビクトー戦にしても、何気にプロレスというものを背負っているじゃないですか。自分はそういうのとは関係ないって言いながらも、気迫のこもった闘いぶりで、いつのまにかジャンルを背負っている男、桜庭和志って感じですよ。ここは、もうひと荷物背負ってもらってヒクソン、ホイスにGOとなると、見る方としては思いきり気持ちよく乗れるんですけどね。

桜庭　あまり背負いたくはないので、あれですけど……（困った顔）。

豪　プロレスもやってほしいですよね。

KP　そういう声は多いですね。

桜庭　ボクもやってみたいです。

豪　やるとしたら、やっぱりUインタースタイルですか？

桜庭　基本的にはそうでしょうね。

KP　飛んでみたりとか、「プロレスの中でプロレス技をやってやるぜ！」っていう当たり前のことを思ったりはしないんですか？

桜庭　たまに思いますけどね。ボクには飛ぶのは無理だと思うんで。

KP　そんなことないでしょう。それこそ、飛ぼうと思ったらいくらでも飛べるんじゃないですか？

豪　フットスタンプやってますからね（笑）。

桜庭　……怖いッスよ。飛ぶの。

KP　その受け答えの方がよっぽど怖いッスよ（笑）。

桜庭　ケガしてしまったらあれなんで。

KP　アレクサンダー大塚選手が桜庭さんとやってみたいって発言してますけど、アレク選手なんて（相手として）どうですか？

桜庭　まぁ、できたらやってみたいとは思いますけど。気持ちが中途半端なんですよね。ヒクソンとかホイスでも、すっごいやりたいという

◀凜々しいバージョン・マスク。広いマット界を見渡してみても、この男の頼りになるっぷりは他の追随を許さないのだ

◀「新弟子を怒るときにはどうなるのか？」という問いかけに、「スリーパーで落とす」と答えた素敵なサク！

◀黒板を使って「マット界観」の話をする。この頃には車酔いもすっかり治り、饒舌になっていったのだった

96・4・19　大阪府立体育会館【UWFインター】
桜庭和志vs石沢常光

当時のUインターはターザン失脚の直接の原因となった新日本、WARと歩調を合わせての週プロ絶賛取材拒否中。そんな新日本との対抗戦も終焉ムードが漂う中この試合は行われた。石沢はこの春のヤングライオン杯に初優勝。影の実力者が初めて表舞台に出てきたことによって、田村戦でブレイクした桜庭との一戦はマニア必見の好カードとなった。試合は（Uインターのリングなのに）新日本ルールで行われたため、ポイントにこそならないものの、桜庭は石沢からダウン1、エスケープ2を奪い、自身はエスケープ0。当時得意としていたサソリ固めで追い込むなど試合を有利に進めた。最後は石沢のビクトル式ヒザ十字に敗れてしまったが、試合後は当時として珍しく石沢から握手を求め健闘をたたえあった。

「でも石沢選手とはなんか合わないんですよね」（サク談）

96・6・7　札幌中島体育センター【UWFインター】
桜庭和志vs北原好騎

Uインター旗揚げ5周年興行と銘打たれた今大会。そのメインが高田VS嵐（高木功）というのだからとんでもない。団体が順調に迷走する中、桜庭は先の5・27武道館で田村のUインターラストマッチの相手をつとめ、田村にジャイアントスイングを試みるなど、当時からマイペースに桜庭ワールドを築いていた。この日は元シューティングのインストラクターの肩書きを持つ北原との一戦。桜庭は抜群のグラウンドコントロールで、関節を次々と決めていく。試合はほぼ一方的な展開となるが、最後は例によってあっさり逆転負け。これが当時のファンにとっては歯がゆいところだったが、桜庭はやはりニコニコしながら握手を求めるのであった。

「抑え込まれて、肉圧で苦しくなるとは思いませんでした」（サク談）

のではなくて、できたら、チャンスがあればやりたいっていう……。

KP 小学生のときと一緒ですね。あんまり目立ってもイヤだし、あんまり目立たなくてもイヤだしっていう（笑）。

桜庭 はい（ニコニコ）。

KP でも、逆に言えば、そういう曖昧なところをハッキリ打ち出すっていうのは新しいですよね。じゃあ桜庭和志の今後は、ヒクソン、ホイスを当面の目標にしていくっていうんじゃないわけですね？

桜庭 いや、あれは目標じゃないです（キッパリ）。

KP じゃあ何があるんですか？

桜庭 目標ですか？ 目標は、相手ではなくて、自分がひとつひとつの試合を大事にして勝っていくってことですかね。試合数が少ないですから。その途中でヒクソンとかホイスとかいてもいいですけど。あ、彼らはボクの400戦無敗までの途中の道のりです（ニコニコ）。

KP あ、そうきますか！ お見事です（笑）。じゃあ、暫定的な目標としては400戦無敗を目指すと（笑）。

桜庭 はい（ニコニコ）。

KP その中に決まり手として「炎のコマ」とかあったら面白いですね（笑）。で、ここら辺で質問受け付けてみたいんですよ。

桜庭 はい。

KP じゃあ、そこの人どうぞ。

質問者 桜庭さんが考えている理想のプロの興行としてのルールってどんなものなんですか？ そのルールで田村選手と闘ってたらどんな試合になると思われますか？

桜庭 う〜ん、基本は『PRIDE』のルールですね。『PRIDE』のルールにもうちょっと細かいのをなくしたような。こないだのマーク・ケアーと（イゴール・）ボブチャンチンは、あういう細かいルールがあるとわけわからなくなってくるので、そういうのをなくして、例えば、ヒジが有るか無いかどっちでもいいんですけど、無しだったら無し、有りだったら有り。ハッキリしてたほうがいいですね。

KP なんか、ホント頼もしいですよね。

桜庭 ……（照）。

KP もしもし？（笑）。で、田村選手の件ですが。

桜庭 まぁ、前にやった試合とは変わらないとは思いますけど、田村さんの顔面が血だらけになってるんじゃないですかね？ そういうことをやっていいルールなんで。【会場が一瞬息を飲む】

KP うーん。船木（誠勝）選手は桜庭さんと同い年じゃなかったでしたっけ？ 桜庭さんの方が1コ上でしたっけ？

桜庭 学年はボクの方が1コ下なんじゃないですかね？

KP なんか桜庭さんと船木選手が同い年っていう感じがしないんですよ。なんであんな年寄り臭くなっちゃったのかなぁって思うんですよね。あ、これボクの発言ですから（笑）。桜庭さんみたく楽しく闘わないと老けこんじゃうんじゃないですかね？ これ悪口じゃなくて、やっぱりパンクラスのような、なんか息苦しい闘い方してると老けこむの早いんじゃないですかね。【場内大爆笑】

桜庭 上の人が、〝もう歳だからダメだ〟って言っちゃうと、（全体が）そういうイメージになっちゃうじゃないですか。

KP あぁ〜、そうですね。船木選手ってその系統の発言多いですからね、鈴木（みのる）選手とかもね。桜庭さんなんて、闘いに対して、いい意味で無邪気だから、「これから！」って気がしますもんね（笑）。

桜庭 ボクはもう、40〜50歳ぐらいまでやりたいと思いますから。

KP わぁ〜お！ そういえば50歳までバーリ・トゥードをやりたいって言ってましたね！ どんな50歳だ、それ（笑）。ゼヒ実現してほしいなぁ〜。マサ斉藤より凄いことになりますよ。【場内爆笑】

〈このあと、意義ある雑談（自画自賛）、「K−1」「WWF」「VT」「従来のプロレス」は点線で区切られていて、その点線の隙間を縫って行き来できるという、桜庭の『マット界観』の話、そして再び質問をいくつか受ける〉

KP 次、最後の質問。はい、じゃあ、あなた。アフガンゲリラみたいな人。【場内爆笑】

アフガンゲリラ あの〜高田道場は、高田さんが表向きボスだと思うんですけど……。

KP 表向きってヒドイ言い方しますね（笑）。正真正銘のボスですよ！

アフガンゲリラ あ、あの、Uインターからいろいろ別れたときに、なぜ高田さんのところへついていったんですか？

KP どこに惚れたかってことですかね。

桜庭 （ボソッと）たまたま。【場内大爆笑】

KP ガハハハハ！ また身も蓋もないことを（笑）。

桜庭 いや、これは高田さんにも言ったんですけど、川に例えれば、水が流れてる方向に乗って流れて行っただけなんで、別に誰々について行ったとか、誰々を尊敬するからそっちの方に行きたいとかは、ボクにはないので。たまたまそっちの方に行っただけで、たまたまいま、『PRIDE』に出てるだけです。

KP 確かに高田さんが動く方向には「水が流れて」ますよね。でも、桜庭さんの場合、それだけやっぱり自分に自信があるっていうことですよね。基準が自分の中にあるっていうことは。

桜庭 はい。自分が、本当にイヤだったら辞めますし、別にイヤじゃないのでやってます（キッパリ）。

KP （高田に）一晩中飲まされてもイヤじゃないと。

桜庭 まぁ、その時はイヤですけど（笑）。

KP ということでよろしいですか？

アフガンゲリラ はい。

KP もう時間が押してるんで、今日はここまでにしたいと思います。あ、桜庭さん、何か言いたいことがあったら立って、ゼヒ〝生マイク〟で言ってください。みなさん、最後に桜庭先生が締めてくださいます！【場内拍手】

桜庭 （立ち上がって）今日は長い間どうもありがとうございます。有明はちょっと場所が悪いので（観にくるのは大変だと思いますが）、見てて面白い試合にしたいと思いますので観にきてください。今日はどうもありがとうございました。【場内大拍手！】

〈9月22日・池袋コミュニティ・カレッジにて収録〉

　そういうわけで、サクは「vsグレイシー」への気負いはない。試合が正式決定してからも、ない。誰がなんといっても、ない。

　風の便りに聞いたところによると本当にサクは脳天唐竹割り or 空手チョップの練習に打ち込んでいるという。

　柔軟な脳味噌と柔軟な肉体、激しさと静けさ、怒りと落ち着き、先天的底力と後天的技術——いつ何時でも両輪を転がしまくるサクは、ボクらの期待にきっと応えてくれるはずである。しかし敵もさるもの。簡単には勝たせてくれないだろう。だが、サクはやってくれるはずだ。やっちゃってくれ、サク！

　11・21。サクの素敵な勝利のマイクが響きわたるであろう、有明に集え！ ウシッ!!

▲最前列の道場生が質問する、の図。熱心に聞き入るサクと対照的に、本誌鬼畜編集長はビールをグイ飲み。どこまでも読者を大切にしない男である

▶最後に、立ち上がってシメの言葉を言うサク。11・21にもゼヒ、試合後にサク・スマイルを見せてほしいものだ

▶ビートたけし氏のご子息で桜庭ファンの篤クンも来場（いや、これホント）。一番左でアガってるのは、たけしファンの本誌クズ編集長

11.14 髙田道場で マーク・ケアーの VTセミナー開催!

11月14日（日）午後2時より、あのマーク・ケアーが高田道場（東京都池上4・27・13＝東急池上線池上駅下車、徒歩2分）でバーリ・トゥードの極意を公開するセミナーを開催！"霊長類最強の男"とキミも触れ合うチャンス！ 定員は100名。料金の問い合わせ、申し込みは高田道場まで（03・3755・1444）引き続き、会員も募集中だよん

96・7・21 両国国技館【WAR】太刀光修&平井伸和 VS 桜庭和志&佐野友飛

　ターッチーチー、タッチー！ と郷ひろみ化してもしょうがないが、こんなカードが存在していていいんでしょうか？ 桜庭VSタッチーこと太刀光である。1週間前に怪人キモとVTで闘っていた男が、この日は第1試合でひっそりとVSタッチー戦。その振り幅の広さには感心するやら呆れるやらである。試合は桜庭と佐野がキックと関節技で攻める展開が大半を占めるが、問題のシーンは開始5分後におこる。なんと桜庭がコーナーに両足を固定され、動けないところにタッチーが相撲のテッポウよろしく突っ張りの雨あられ。サク、キューブマン状態である。この衝撃映像、ぜひビデオでどうぞ。「（大刀光は）ボクがよく行くイタリア料理屋で働いてる人にソックリなんで、悪い人じゃないと思います」（サク談）

96・9・11 神宮球場【UWFインター】桜庭和志 VS 折原昌夫

　当初この日の桜庭の相手はライガーであった。しかしライガーは脳に腫瘍ができ手術が必要となったため欠場。その穴を埋めるために名乗りを上げたのが、当時「勉強になるから」との理由で全日本、WARと明らかにお呼びでない団体の会場に姿を現し、トンパチぶりをいかんなく発揮していた折原昌夫。この試合はUインター公式ルールが採用されたが、折原は自分のスタイルを強引に貫き通す。パイルドライバー2連発でダウンを奪い、トップロープからのニードロップ、そしてトドメは金的蹴り（「折原選手、減点3」のアナウンス付き）。対する桜庭はえげつない打撃で次々とダウンを奪い、関節を極め、スープレックスポイントを奪うUスタイルで対抗。ハチャメチャながら試合はなぜか噛み合う好勝負となった。「折原さんはプロレスがウマかったですね」（サク談）

世界初のプロレス専門店

レッスル®

営業時間　月～土 AM11:00～PM7:00　日祝祭 AM10:00～PM6:00
年中無休

"トーナメントZION'99"ビデオ化！
大向の、ARS&ZION 2連覇を見よ！

1999 BREAKTHROUGH TOUR
パンクラス9/18東京ベイNKホール大会　140分5,040円

'99年9/18東京ベイNKホール。お待たせしました！パンクラスビデオ久々の登場！今回は9/18NKホール大会を完全ノーカット収録。注目はやはりメインのキングオブパンクラスタイトルマッチ近藤vs國奥とセミのパンクラチオンマッチ船木vsペテーラ。両試合とも壮絶な打撃戦で2試合あわせても110秒という秒殺。近藤の飛び膝蹴り、船木の左フックを御覧あれ！この日は他にも柳澤vsプライド男小路晃、菊田vsミリスのパンクラチオンマッチ。大道塾との交流戦窪田vs山崎進。ランキング戦シュルトvs美濃輪、高橋vs渋谷と豪華ラインナップ！プラス特別収録として、'99年3/9後楽園大会から近藤vs國奥、'99年4/16横浜大会から船木vsブラガ、12月復帰戦についての鈴木みのるインタビュー、ヒクソン戦への思いを語った船木誠勝インタビューが入ってこの価格！

ヒストリーオブJ'd～魂のプロレス3年間の軌跡～
女子プロレスオールスターウォーズBest50　120分6,930円

久々に出ましたJ'dビデオ！それもJ'dの旗揚げ戦から現在までの節目になる名勝負を綴った3年間のヒストリーを収録。それもBest50とあるように何と50試合も入ってます。そして、この50試合の中には女子プロの激動の3年間を示すように他団体の様々な選手との対抗戦が入っています。全女の豊田、中西、納見、脇澤、FMWの工藤、ネオの京子、JWPの関西、美咲、そして小杉との抗争のシャーク土屋と豪華メンバー。中でも、女子プロ史上名勝負中の名勝負飛鳥vs京子（'98年4/26）や小杉vs土屋は注目。ともかく、この内容とボリュームは必見！

収録内容　●95年12/25.大阪ベイサイドジェニー　・白鳥 vs 李・バイソン vs Ｃｏｏｇａ●96年4/4.ベルファーレ　・バイソン vs 豊田・ジャガー vs 飛鳥●97年1/15.後楽園・飛鳥 vs Ｃｏｏｇａ●97年1/16.大阪・バイソン vs 工藤●97年4/3.新潟・小杉 vs 裁恐軍●97年4/20.後楽園・坂井 vs 薮下めぐみデビュー戦・バイソン vs 飛鳥●97年10/22.後楽園・ジャガー vs 飛鳥・京子＆坂井vs白鳥＆大向●97年12/28.後楽園・飛鳥＆龍羅vs京子＆坂井・ジャガー＆小杉vsＣｏｏｇａ＆Ｌｅｏｇａ●98年3/8.横浜文体・坂井＆中西 vs 小杉＆本谷・下田＆三田＆遠藤＆白鳥vs飛鳥＆土屋＆ザ・ブラディー＆龍羅●98年4/26.後楽園・飛鳥 vs 京子●98年7/5.後楽園・矢樹 vs 坂井●98年8/2.後楽園・白鳥＆李vs小杉＆阿部●98年11/10.後楽園・小杉＆坂井 vs納見＆脇澤・おばっち飯塚 vs 元川●99年1/24.後楽園・小杉 vs 土屋・飛鳥 vs 京子●99年3/19.後楽園・小杉 vs 元川●99年4/29.後楽園・小杉 vs 土屋・飛鳥＆森松vs 関西＆美咲・Ｃｏｏｇａ＆坂井vsザ・ブラディー＆ファング他、全50試合を収録

CAZAI［キャッズアイ］　22分3,980円

何と！ミュージックビデオまで出てしまいましたアルシオン！キャンディー＆文子＆AKINO&藤田のキャッズアイ、その姿がこのビデオで明らかにされます！勿論、「CORLEONE」「奇跡」「LONELY DAY BY DAY」のミュージックビデオは勿論、オフショットやメーキングの場面も面白いよ！遊園地ではしゃいでいるシーン、セクシーな衣装でのメーキングシーン、トレーニング中のシーン、などキャッズアイ4人の素顔が満載！

NEWグッズ
（価格は送料込です）

商品	価格
●前田・大仁田フィギュア（各種）	各￥2,000
●リングス紺地に赤文字Tシャツ	￥3,400
●FMWネックピース	￥1,300
●FMWガイドブック1999 vol.3	￥1,500
●H Tシャツ	￥3,400
●ハヤブサファイナルシャツ	￥3,400
●パンクラス長袖Tシャツ（各種）	各￥4,900
●'99ネオブラッドTシャツ	￥3,400
●高田道場TD Tシャツ各種	各￥3,860
●カーロス浪人Tシャツ（S,M,L）	￥4,400
●ブルース・リーTシャツ（S,M,L）	￥4,400
●サスケバンジーストラップ（各種）	各￥1,300
●ケロの爆笑プロレス問題	￥1,700
●U-FILE CAMP Tシャツ	￥3,400
（デザインは変わりませんが、値上げになりました）	
●中山・元川テレカ	￥1,300
●H テレカ	￥1,300
●FMW 99.8.25札幌テレカ	￥1,300
●大仁田携帯ストラップ（2種）	各￥1,200
●全女カレンダー	￥2,000
●GAEA 3WAYストラップ	￥2,300
●Don't be Tシャツ（白）	￥2,900
●チーム・ノストラダムスTシャツ	￥2,900
●GAEA Revenge Tシャツ	￥3,400
●新日カレンダー	￥1,760
●パワーDXフィギア	￥2,500
●ムタDXフィギア	￥2,500
〈闘龍門グッズ〉	
●C-MAX Tシャツ（黒・白）	各￥3,400
●GYM Tシャツ	￥3,400
●NEWC-MAX Tシャツ（黒・グレー）	各￥4,400
●TARU Tシャツ	￥3,400
●C-MAXチョーカー	￥5,300
●マグナムマスク	￥5,500
●マグナム Tシャツ（各種）	各￥3,400

実録！ハヤブサ最期の日
～後楽園2DAYS&最期の札幌中島～　120分￥9,500

遂にこの日がやってきた！ハヤブサがマスクを脱ぐ…ハヤブサ最期の日が。
8/25.プロレス最終興行となった札幌中島体育センターがハヤブサの墓場となった。そしてTV未使用の映像が満載された8月の後楽園2DAYSの3大会を完全ビデオ化！

収録内容

●8/20.後楽園.さよならハヤブサ後楽園ファイナル～プロローグ～『お化け屋敷』
●邪道vsフライングキッド市原●中山＆元川vsタニー・マウス＆仲村●荒井with荒井薫子vsリッキー・フジ●ダークサイド・ハヤブサ＆黒田＆大矢＆大矢vs中川＆金村＆非道●雁之助vs田中
●8/23.後楽園.さよならハヤブサ後楽園ファイナル～エピローグ～『ハヤブサ卒業式』●雁之助＆邪道vsフライング・キッド＆山崎●中山vs元川●ジャイアント・スチールvs佐々木●冬木＆荒井vs田中＆リッキー・フジ●中川＆外道vs黒田＆大矢●金村vsハヤブサ
●8/25.札幌中島体育センター.サヨナラハヤブサ ラストマッチ～さよなら札幌中島体育センタープロレス最終興行～
●邪道vsフライングキッド・市原●冬木＆中川＆外道vs黒田＆大矢＆佐々木●田中vs金村●ハヤブサ ラストマッチ「世界ブラスナックル選手権試合」 ハヤブサvs雁之助
その他、控え室インタビュー、記者会見など。またボーナス・トラック、8/27、旭川市大成市民センター：衝撃の『H』初登場！

バトラーツ1999年上半期名勝負集
Let's！モーレツ！バトラーツ
120分6,930円

お待たせしました今プロレス界を席巻している話題の最強の人材派遣会社格闘探偵団バトラーツ。新日本、全日本、FMW、リングス、プライド、大日本、みちのく、そしてJWPまでもあらゆる団体に参戦そして主役の座を奪っています。今回は営業中だった土方以外の全選手にインタビューを敢行！ともかく、このビデオを見ればバトラーツがわかります。

収録試合

●石川＆大塚vs池田＆モハメド・ヨネ（1/12.後楽園）●臼田＆モハメド・ヨネvs黒田＆佐々木●石川＆田中vs池田＆大塚（2/14.福岡）●石川vsカール・グレコvs大塚＆モハメド・ヨネ（3/12.TOKYO FMホール）●石川＆大塚vs松永＆臼田●モハメド・ヨネvs山川（3/20.名古屋）●関西＆モハメド・ヨネ＆橋本vs大塚＆日向＆福岡●田中 vs 望月（3/21.舞島）●サスケ vs 田中・池田vs 大塚（4/26.後楽園）●土方vs 佐々木●カール・グレコ vs マッハ・タイガー＆日高vs浪花＆望月●折原＆小野vs臼田vs山川●田中 vs 佐野●大塚vsハヤブサ●モハメド・ヨネvs黒田●バックランド vs 池田●石川vs 松永（5/14.札幌）●佐野 vs 臼田・石川＆池田vsジョー・マレンコ＆カール・マレンコ（6/9.後楽園）

桜庭和志PRIDEの軌跡
～強さの秘密を徹底検証～　60分6,930円

PRIDEシリーズ無敗の男、日本格闘技界のエース、中量級最強の男、桜庭和志のビデオがついに出ました！それも、桜庭のプライドでの試合が全試合（プライド2～6）入って見応え十二分なのに桜庭本人が全試合解説までしています。この5試合の中でも、柔のカーロスニュートンと剛のエベンゼールフォンデスブラガの試合は何度みても素晴らしい！見ていて美しいニュートンとのグラウンドでの攻防、立っても寝ても襲いかかってくるブラガの打撃を防ぎ初めてタップさせた桜庭のグラウンドテクニック。試合の他にも桜庭和志スーパーテク面白技解説や佐野なおきとのスパーリング、子供の頃から振り返る桜庭歴史（勿論、可愛い桜庭が見れます。）「強さ」「バーリトゥード」そして「ヒクソン」についての超貴重インタビューも入ってます！

桜庭和志名勝負ビデオ　PRIDE以外でも桜庭の素晴らしい試合が見れます！

- ●桜庭vs金原弘光～「キングダム実力NO1決定戦」　9,870円
- ●桜庭vs田村潔司～「高田延彦vs越中詩郎」「激突！UWFvs平成維震軍」「撃破！UWF包囲網」　各9,990円
- ●桜庭和志テクニックビデオ～「凄技」　5,000円

1999 G1 CLIMAX　PART1&2
各160分各10,200円

'99年8/10&11大阪府立体育会館＆8/13～15両国。今年も燃えに燃えた真夏の決戦G1クライマックスのビデオが発売！今回もA、B両ブロックの全31試合を2巻に分けて収録。復活した橋本、G1男蝶野、IWGP王者武藤、社長藤波、永田＆天山＆中西の第三世代と注目選手が盛り沢山。

収録試合　PART 1 ●中西vs山崎●橋本vs天山●越中vs蝶野●永田vs小島●佐々木vs安田●藤波●武藤vs永田（8/10大阪）●佐々木vs小島●藤波vs安田●天山vs山崎●中西vs越中●蝶野vs橋本●天山vs山崎●中西vs越中●蝶野vs橋本（8/11.大阪）●天山vs越中●天山vs越中●蝶野vs中西●橋本vs山崎●小島vs安田（8/13.両国）　PART 2 ●永田vs藤波●武藤vs佐々木（8/13.両国）●武藤vs安田●藤波vs小島●永田vs佐々木●中西vs天山●蝶野vs山崎●越中vs橋本（8/14.両国）●永田vs安田●佐々木vs藤波●天山vs蝶野●武藤vs小島●中西vs橋本●武藤vs永田●中西vs武藤（8/15.両国）

アルシオン ZION'99トーナメント
120分6,930円

'99年8/6大田区体育館＆8/22ZEPP TOKYO。アルス、スカイと話題のトーナメント続出のアルシオン！今回のシオン'99はその中でも特に注目されたトーナメントです。クィーンオブアルシオンのアジャ、アルス'99覇者大向、前ツインスターオブアルシオン玉田＆矢樹、プロレス職人二上、アルス'99敢闘賞の府川（敢闘賞を受賞した選手は次のトーナメントを優勝するジンクスがあります。）、そして今回の台風の目、猛武闘賊下田と誰が優勝してもアリの面子。一回戦の注目カードは府川vs下田！7月のタマフカvs猛武闘賊で下田にフォールをとられた府川はこの一戦にアルシオンでやってきた全てを賭ける。グラウンドで圧倒する府川の勇姿を見よ！準決勝では毎回試合が組まれる度にレベルがドンドン上がって行く大向vs二上が最高！今回もバチバチのプロレスを見せてくれます。そして、決勝では誰もこの組み合わせと予測できなかったカード、大向vs下田が実現。このカードも大向にとっては8/6の大田での大向＆二上vs猛武闘賊で下田からフォールをとられたという復讐マッチ。そして、アルシオンにとっては負けるようなことは団体として許されない試合。ローリングソバット、グーパンチ、踵落としそしてフィニッシュは必殺のB3ボム。勝ち誇る大向、悔しさ満面の下田、そして王者でありながら決勝にも上がれなかったアジャと試合後も見逃せない！他にもCAZAI東京初見参となったセミの8人タッグも収録。そして、アルシオン8月のもう一つのビッグマッチ、8/6大田区大会からは話題の大向＆二上vs猛武闘賊とクィーンオブアルシオンタイトルマッチ史上最高の試合となった吉田vsアジャを収録。意地のぶつかりあいになった激闘2試合も堪能して下さい！

収録試合

8/22大向vs下田、大向vs二上、アジャvs下田、二上vs玉田、府川vs下田、アジャvs矢樹、大向vs玉田、奥津＆AKINO&浜田＆藤田vsASARI&マリー＆リンダ＆スヘイ、8/6吉田vsアジャ、大向＆二上vs猛武闘賊

アルシオントーナメントSKY　120分6,930円

6/30&7/25後楽園ホール大会。アノ超話題、超満員になった7/25後楽園大会が何とビデオで登場！メインは勿論トーナメントSKY！ツインスターオブアルシオン王者、秋野＆浜田、ビジュアルクィーン藤田、必殺の目つきが冴え渡るガミメタル、久々の登場女虎戦士タイガードリーム、天才ルチャドーラマリーアパッチェ、天空旋風チャパリータASARI、未知のルチャドーラリンダスターと豪華8人が揃った！勿論、秋野＆浜田の華麗な空中殺法も凄いが今回はアルシオン初登場のASARIが藤田、秋野、マリーといったアルシオン精鋭とどんなファイトを見せるかがポイント！他にも業師ガミメタルと秋野との攻防やマリーアパッチェ大爆発にも注目！他にもこの日行われたクィーンオブアルシオン前哨戦吉田＆矢樹vsアジャ＆大向の激闘も収録。6/30後楽園大会からはアジャコングREPRODUCE7アジャvs府川とクィーンオブアルシオンタイトルマッチ、王者玉田＆矢樹vs秋野＆浜田を収録。秋野＆浜田の喜びの初栄冠をとくとご覧じろ！勿論その後の秋野の一言から始まったまさかの猛武闘賊の電撃参戦の模様もしっかり入ってます。リング上＆控室での怒りの府川の表情は鬼気迫るものがあります。そして、7/25第0試合タマフカvsラスカチョの試合もノーカット収録。ビデオでタマフカvsラスカチョの試合が何であったのか確認してください！大向節も必見！

収録試合

アジャvs府川、玉田＆矢樹vs秋野＆浜田、玉田＆府川vs下田＆三田、2000vsプリンセサ、タイガーvs浜田、ガミvs秋野、マリーvsリンダ、ASARIvs藤田、浜田vsマリー、秋野vsASARI、吉田＆矢樹vsアジャ＆大向、ASARIvsマリー

アルシオンARS'99トーナメント　120分￥6,930

'99年5/4後楽園ホール。アルシオン最強トーナメント、アルス'99を完全ノーカットで登場！出場メンバーは前年度優勝者キャンディー、アルシオン王者吉田、AAAW王者アジャ、アルシオンタッグ王者玉田＆矢樹、二上、大向、府川の8人。今回は玉田、大向、府川の3人がアルシオンでの1年間の成長を見せ、勝ち上がれるかが見所。特に大向はトーナメント前からアジャから檄を飛ばされ、試合からも意地と自信が感じられる。一回戦バチバチの打撃戦となった二上戦、準決勝長谷川咲恵伝授の裏投げからのローリングソバットで秒殺した奥津戦、そして難敵関節技の矢樹に新必殺技3Bボムで勝利した決勝とどれも劇的な試合。そして、試合後の表彰式もコーチの長谷川咲恵広報と喜びを分かち合うシーンは涙を誘います。しかし、この日のベストバウトとなったのが一回戦の府川vs吉田。今回の試合は二人のベストバウトで有り、アルシオンのベストバウトとなった。試合後の涙のインタビューも収録。ARS'99がアルシオン史上ベストのトーナメントです。

GINGU CLIMAX BATTLE OF LAST SUMMER　PART1&2　各10,200円

'99年8/28神宮球場。橋本、蝶野、ムタ、ライガー、中西、永田、カシンら新日本人気選手総登場。
●PART1　ムタvsニタ、天山＆小島vs藤波＆越中、IWGPJrヘビー級選手権金本vsカシン、藤田vsジョンストン
●PART2　蝶野vs橋本、フライvsノートン、IWGPタッグ選手権中西＆永田vs小原＆後藤、IIWGPJrタッグ選手権大谷＆高岩vsライガー＆サムライ

全日本'99サマーアクションシリーズⅡ
最終戦5大シングルマッチ　47分￥5,040

'99年9/4日本武道館。シングル5試合を当日ファン投票によって試合順を決めるという画期的試み、プラス川田欠場により三沢が一日2試合敢行！メインは秋山vs大森！ファンの気持ちに答えた素晴らしい試合。勿論、三沢vs高山も三沢vsベイダーもグッド！（特に高山に注目！）小橋vsグラジ、馳と見所満点！特別収録として8/25広島での世界タッグ＆アジアタッグ選手権大森＆高山vs三沢＆小川、他、馳vsベイダーも収録！

★表示価格はすべて税込です。送料はビデオは1本につき￥500、2本以上サービス、グッズは表示に送料が含まれています。

1,000円お買い上げごとにスタンプを一つプレゼント。30個でTシャツ、50個でトレーナー、100個でビデオがもらえる！（店頭・通販共）

【通信販売お申し込み方法】
住所・氏名・TEL・希望商品名を明記のうえ現金書留か郵便振込でお申し込み下さい。ビデオ送料は1タイトルにつき500円、2タイトル以上はサービスです。

●郵便振込口座番号　00180－8－65236　レッスル通販
通販部　TEL 03-3464-1780
レッスル渋谷店
〒150-0043東京都渋谷区道玄坂1-17-2 第2野々ビル TEL 03-3464-0078
レッスル池袋店
〒170-0013東京都豊島区東池袋1-36-3 池袋陽光ハイツ306 TEL 03-3989-0056

★最新グッズ情報満載レッスルレターをご希望の方は80円切手をお送りください。

●ハミダシ情報……　噂のアルシオン"ＣＡＺＡＩ"CD「COLRE ONE」税・送料込￥2,000 発売中!!

『ワールドメガバトル・オープントーナメント

多重アリバイ

マット界を渡り歩いた一匹狼から見たSWSとは？

STRAIGHT AND STRONG
SWS
multiple ALIBI-"S"

第11回 鶴見五郎

国際、全日、そして海外マットを長く渡り歩き現在ではインディーの裏首領として鶴見青果市場に君臨する鶴見五郎。今回の『S多重アリバイ』は、そんな鶴見の歴戦のツワモノぶりを感じさせるような話を聞きつつ、Sのことを振り返ってもらった。さすがに、様々な舞台を踏んでいるだけに、その言葉には含蓄がありまくりで思わず頷いてしまう話ばかり。「プロとは何か？」を考える意味で、非常にタメになること間違いなし！

聞き手／吉田豪
Interview by Go Yoshida
撮影／坂井ノブ
Photographs by Nobu Sakai

ビル・ロビンソンとカール・ゴッチ!!この2人と練習をずっとやってたのは新日本にもいないよ!!

—今日は鶴見選手のプロレスラー人生を振り返りながら、SWSの話もおうかがいしたいんですけど、鶴見さんといえばやっぱり、アマレスですよね!

鶴見　今は元アマレスの選手はいっぱいいるけど、オレが入った頃なんかはサンダー杉山さんとか、マサ・サイトーぐらいしかいなかったんだ。ジャンボ（鶴田）や長州（力）はその後だし。

—当時は珍しかったわけですよね。

鶴見　昔はプロレスラーに転向するのは、相撲取りがいちばん多かったからな。オレなんかは実績はなかったけど、サンダー杉山さんの知り合いのツテで紹介してもらって、国際プロレスに入ったんだよ。

—社長の吉原（功）さんもアマレス出身でしたからね。プロレスをやりたいってアマレス時代から考えてたんですか?

鶴見　そうだね。でも、オレが通っていた東海大にはアマレス部がなかったんだよ。

—あっ、そうなんですか?

鶴見　同好会しかなかった。同好会だと試合には出れないからさ。その頃、法政大学のアマレス部の監督が、アマレス普及のためにレッスン教室をやったりしてたんだよ。そこに行ったりして、揉まれたさ。世界選手権2位の人とかも来てたからレベルは高かった。体重は全然オレの方があったけどね。

—当然、スパーリングはそんな強豪ともやられてたんですよね?

鶴見　やったよ。でも、最初の一週間ぐらいは取られまくったけどさ。まあ、相手は小さい人たちばっかりだったから体力が違うし、こっちも色々覚えてくるから、しだいにタックルを切れるようになったけどね。でもあそこじゃあすごく揉まれたよ。いまはコンバットレスリングやってる木口（宣昭・木口道場会長）さんなんかも来てたね。あの人も強かったぞ（しみじみ）。

—いろいろつながりますねえ（笑）。

鶴見　あの人は乱暴なレスリングが好きだったな（笑）。ほら、あの人もプロレス好きだから。アマレスの試合なのに入場用の豪華なガウンみたいなヤツを作ってさ（笑）。ジャック・ブリスコみたいなヤツ（笑）。

—木口さんはリック・フレアーとも親交があるみたいですからね（笑）。先日もフレアー絡みで、ちびっこレスリング大会のセコンドのためにわざわざ秋田まで来てたぐらいだし。

鶴見　あの人は洋服屋だから自分で作れるんだよ。金糸まで使ってたよ（笑）。まあそんなところで揉まれて、相手の強さがわかるようになったな。

—アマレス五輪代表のサンダー杉山さんとかはどうだったんですか?

鶴見　最初に国際に入って他の選手とスパーリングやっても、オレはハッキリ言って負けなかったよ!

—おおっ、凄いですね!

鶴見　まあ、アマレス・スタイルだけどね。結局、勝てもしないんだけどさ。それを社長が見てたんだろうな。杉山さんとスパーリングやることになったんだよ。でも、全然かなわないんだ。当時、オレは100キロだったんだけど、杉山さんは30キロ以上重かったから。もう、あの人と練習やるのが苦痛でね（笑）。

—そこでも揉まれてたわけですね。

鶴見　そういえば、正式に入団する直前に『ワールド・シリーズ』っていうのがあったんだよ。カール・ゴッチとかビル・ロビンソンなんかが来てな。それで休みの日に彼らが道場に練習に来たらさあ、カール・ゴッチとビル・ロビンソンがリングに上がって関節の取り合いをやってるんだよ。

—夢の顔合わせですね!

鶴見　まあ、お互いに実力は知ってるから本気でやらないんだけどさ。その時に実験台にされてさあ、えらい痛かったよ。イヤだったねえ（しみじみ）。

—夢の実験台ですね（笑）。

鶴見　そのうちに、ふたりとも頑固だから、技のかけ方でぶつかるんだよ。まあ本気でやったら大変な死闘になるから、そういうふうにはならないんだけど。ゴッチが「オレはアマレス出身だからちゃんとしたブリッヂができる」なんて自慢するんだよ。ロビンソンも普通のブリッヂはできるんだけど、アマレス流のひっくり返ったり、回ったりするブリッヂはできないもんだから、それを悔しがってさ。それでロビンソンがどうやって仕返しするのかと思ったら、「オレはドロップキックができる」って言い出すんだよ（笑）。

—ダハハハ、ゴッチさんはドロップキックができないらしいですからね（笑）。

鶴見　そうなんだよ（笑）。渋々やってるんだけど、片足でおりちゃうっていう、いちばん格好悪いヤツでさ（笑）。そういうくだらないケンカやってたな。でも、お陰でいい勉強になったよ。

—それは強くなりますよ。

鶴見　でもオレさ、ロビンソンの実験台になってるときに逃げたんだよ。そしたらなんか怒っちゃってさあ。

—「なぜ逃げた?」と（笑）。

鶴見　その日の彼らの練習が終わってシャワー浴び終わった後にバッタリ会っちゃったんだよ。「イヤな予感がするな」って思ってたら、ロビンソンに「ちょっとリングに上がれ」って言われてさ。そこでイヤってほどやられたよ。

—「ナメんなよ」ってことですね。

鶴見　「まいった」って言っても離さないから、腕の筋伸ばされちゃってさ。社長にもらったノルマもこなさないといけないんで大変だったよ。

—でも、ゴッチとかロビンソンとそんなことしてたら、底力はつきますよね。

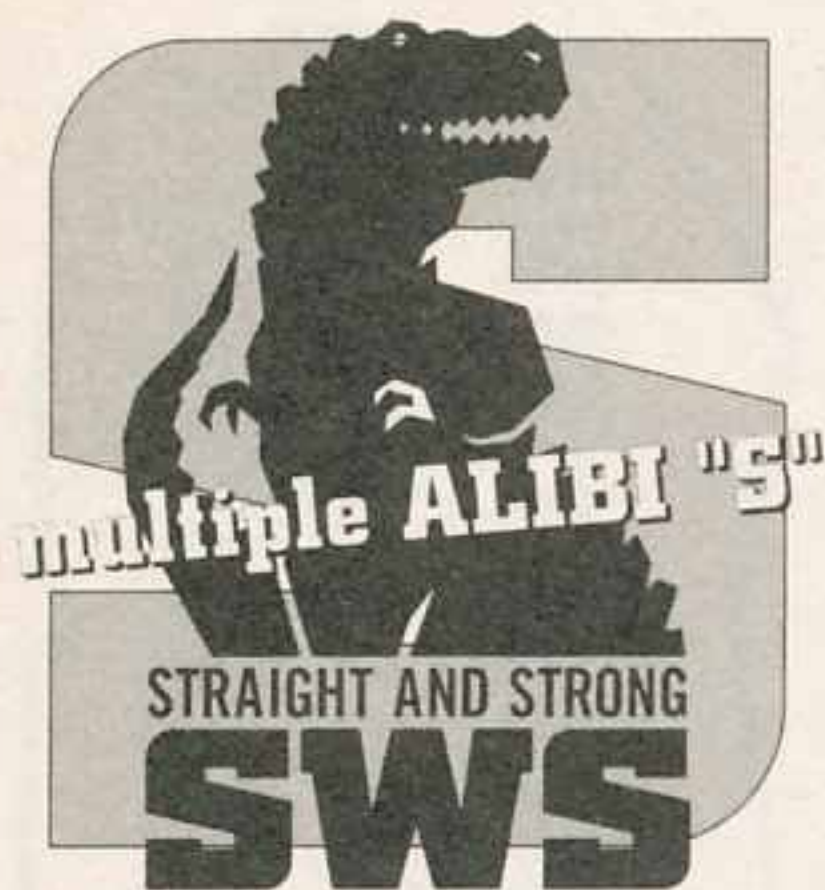
鶴見　あの2人と練習したのは、新日本にもいないでしょ。国際でも、そのときは、みんなイヤがって練習来なかったもん（笑）。上の連中もその時間帯避けて来たりさ。

—ダハハハ!　その、いわゆる『ゴッチ道場』って、自主参加じゃなかったんですか。

鶴見　自主参加。だから来ない人もいたんだよ。（アニマル）浜口さんなんかは、社長命令でゴッチさんの付き人やってたから、ゴッチさんから何でも吸収しようとしてたけどね。

新日、全日と共に、昭和という時代に狂い咲いた日本インディープロレスの祖・国際プロレス。社長である吉原功氏（故人・写真左）は独創的な発想で、強力なメジャー2団体と渡り合った。その人柄と情熱で、プロレス界に多くの功績を残した

STRAIGHT AND STRONG
SWS

『ワールドメガバトル・オープントーナメント

——ちなみに国際の道場ってどういう感じだったんですか？　サンボとかアマレスをベースにしたトレーニングもしていたという話は聞いてるんですけど。

鶴見　それは後期の話だよ。最初の頃はボクシングもやってたよ。社長が「みんな顔の厳しさが足りない。殴られて顔の厳しさを出せ」って言ってたね。あれは厳しかった（しみじみ）。

——殴られて顔の厳しさを出すってどういうことですか？

鶴見　とにかく殴られるんだよ。

——はあ（笑）。ボクシングは誰がいちばん強かったんですか？

鶴見　やっぱり（グレート）草津さんかな。体が大きかったからさ。

——吉原社長は厳しいですねえ。

鶴見　テレビ中継のときの解説やってたんだけど、辛口の批評をするんだよね。全日本でも馬場さんがたまにやってたけど、あれよりもっと辛口！　試合してる選手を「練習が足らないね。ちょっと遊びすぎだな」とか、「あんな技は効かないね」って言っちゃうんだから（笑）。

——ダハハハ、それが全国放送で流れるわけですね（笑）。

鶴見　そうなんだよ。何もTVで言うことじゃないよ（笑）。

multiple ALIBI "S"
STRAIGHT AND STRONG
SWS

——口でも練習でも厳しかったんですね（笑）。

鶴見　そりゃそうだよ。それで、オレがヨーロッパに行ってる間に、道場が埼玉の大宮に移って、サンボも練習に取り入れるようになったんだ。

——先見の明がありましたよね。

鶴見　あの頃は事務所が高田馬場にあったんだよ。その近所のスポーツ会館で、社長の同級生にアマレス協会の会長とかがいて、アマレスのリングもあったから、社長もそこで汗を流してたんだよね。そんな流れから、ビクトル古賀と知り合ったのかな？　彼がサンボをやってたから、練習に参加させようかって感じでオレと浜口さんがそこに通い始めたのがキッカケだね。

——サンボ流のアキレス腱のとり方をプロレスに取り入れたのは国際がいちばん早かったって話ですけど。

鶴見　そうかもね。あの古賀スペシャルって技を受けたのは、プロレス界ではオレがいちばん最初だったんだよ。古賀さんがロシアの試合で開発したらしいんだけど、「そのとき相手のアキレス腱を切ったんだよ」って自慢してたな（笑）。

——ダハハハ！　そういう環境で揉まれてるからでしょうけど、国際出身の選手はレスリングの基礎の力がしっかりしてる人が多いですね。

鶴見　そうだね。全日と新日と国際って全然違うんだよ。全日はプロレス主体の練習で、新日はもうアマレスの基礎をみっちりやるんだよ。みんな一緒に練習やったりしてさ。国際はみんながそれぞれ自主的に勝手にやる。みんなそれぞれ職人的に、自分のやり方で練習してたな。

——アマレスとプロレスで、いちばん違うと思ったのはどこですか？

鶴見　やっぱり技を大きく見せるっていうことかなあ。アマレスの試合みたいなのをチョコチョコやったって、客はあんまりわからないよ。それは外国行ってからわかったね。向こうのプロモーターはシビアだから、「おもしろくないレスラーはいらない」「強い弱いは二の次」「派手な技ができるほうがいい」っていうね。「客なんて関係ないよ」って感じでやってると、すぐに干されるんだよ。だから、新日のレスラーはけっこう嫌われてたよ。ガチガチのレスリングしすぎるからね。「つまらない」ってクビになっちゃってたよ。

——ゴッチさんもそうだったわけですからね。

鶴見　そうだよ。オレも新日のレスラーとドイツで一緒にやったこともあるけど、ウケないんだよ。試合内容が地味だから。なにがなんでも新日スタイルを通そうとするからね。逆に、全日の選手はパッと向こうのスタイルに変えちゃうんだ。あのへんの考え方は、馬場さんの影響なんだろうね。

——「郷に入ったら、郷に従え」ということですね。新日の選手は猪木さんの影響が大きいんでしょうけど。

鶴見　国際はその中間だった。

——新日の選手で海外に行ってちゃんとスターになった人は、かなり少ないですもんね。

鶴見　そうだね。オレがカナダに行ってたとき、パッとテレビを付けたら、長州力が試合に出てたんだよ。「アッ」と思って見てたら、長州がハッピ着て塩まいてたよ（笑）。

——ダハハハハハ！　田吾作スタイルで（笑）。

鶴見　あれもプロモーターに言われたんだろうな。「おー、ちゃんとやってるじゃない」って思ったよ。いくらアマレスが強いって言ったって「日本人はスモウとカラテ」って時代だよね。

——鶴見さん的には、どこの国のリングが肌に合いましたか？

鶴見　まあ、国によっていろんなスタイルがあるからなあ……。イギリスは、ランカシャースタイルの技の取り合いが好きで、まあUWFみたいな感じだな。ドイツっていうのはもっとバッチンバッチンぶつかるような、まあ国際スタイルみたいなのが好きなんだよ。ドイツ人は「イギリス人のスタイルは軽すぎる」って言うんだよ。「蹴ったり殴るならバチッといけ！　関節取るならガキッ取れ！」っていうね。

——お国柄が出てますね（笑）。

鶴見　フランスは、オレらが行ったときは軽業みたいなプロレスをやってたよ。

——へ？　軽業ですか？

鶴見　ルチャみたいな感じだね。リング横にトランポリンが置いてあって、そこからポーンと中に入るわけだよ。

——ダハハハハハ！

鶴見　そのスプリングがきつすぎて、頭から落ちて、首の骨を折ったヤツもいたよ。

——シャレになんないですね（笑）。じゃあ、国際スタイルのドイツがベストって感じですか？

鶴見　ドイツは好きだったな。そういえば、2回目にヨーロッパに行ったときに木村健吾とホテルが一緒だったんだよ。練習の後に2人で昼間からビール飲んだりしたよ。

——もしかしたら、さっき鶴見さんがおっしゃってた「向こうで新日スタイルを貫いてたプロレスラー」っ

ジム内には、世界中で闘ってきた鶴見の歴史を物語るように、ビッグ・ネームたちとの2ショット写真が飾られている。（右上）上田馬之助、（右下）ハーリー・レイス、（左上）ラシアンズ、（左下）マスカラス、他にも多数ある。

（SWSで）荒川のマッチメイクがメチャクチャなんだよ!! 天龍が第2試合とかな

て木村さんのことですか？

鶴見　まあ、彼は新日のスタイルを通したからさ。「猪木さんのプライドがあるから」なんて言ってたよ。

――猪木イズムですね（笑）。鶴見さんは海外では、控え室でモメたりしたことってありました？

鶴見　ああ、そういうことするのもやっぱり新日の選手だな。大城大五郎（引退）ってヤツがいたんだよ。もうガチガチのやつでさ、そいつは新日を辞めたのに、なぜか新日スタイルを通そうとするんだよ。

――義理堅いですね（笑）。

鶴見　でも、向こうのプロレスラーはそんなスタイルの試合はやりたくないって言って、試合中にモメるんだよ。ポリシーとポリシーの違いがぶつかるから試合になんない。

――アポロ菅原vs鈴木みのる戦（'91・4・1）みたいになるわけですか。

鶴見　そうそう（笑）。あのときの相手は大城の頭をヘッドロックで掴んで離さなかったよ。離すと殴られるからさ。でも大城は無理矢理殴ろうとして、試合になんないわけよ。オレもそれ見ててさ「何やってんだよ？」と思った。大城は控え室でも怒ってたから「お前が悪いよ」って言ってやったんだよ。そしたら「なんでオレが悪いんだよ！」なんて言うからさ、「その土地土地でのスタイルがあるんだから、そのスタイルをやらなきゃダメなんだよ！なにが新日本のスタイルだ！」って言ったら「でも、あれは猪木さんのスタイルだから」だって。そんなの新日本に帰ってやりゃあいいじゃねえか。

――ここでやるな、と（笑）。いやあ、鶴見さんはプロ意識が非常に強いですね。

鶴見　当ったり前だよ！客入れてナンボだよ（キッパリ）！自分の試合で客が入れば、次からギャラ上がるじゃない。その積み重ねだもん。一朝一夕じゃ、ギャラは上がらないよ。

――スタイルの違いぐらいで、いちいちおかしな試合にはならないということですね。

鶴見　当ったり前だよ！オレはプロだもん。そんな試合は道場でやればいいんだよ。お客さんが楽しめる試合をやらないとダメ!!そうしないとギャラも上がんないしさ。向こうだと直接クビって言われないんだよな。「ノーティス」って控え室に張り紙が張ってあるんだよ。「1週間以内に出ていけ」ってさ（笑）。どうすんだよ？なあ？向こうクビんなってさ、行くところがなくなったら。

――厳しいですよね。そういったプロ意識みたいなものを完全に学んでから、鶴見さんは国際に帰ってきたんですよね。

鶴見　そうだね。でも、日本のスタイルっていうのはまた違うんだよなあ。その日本のスタイルに戻すのが難しくてねえ。それで出足でつまづいちゃうから、なかなか……難しいよ、うん。

――凱旋帰国したとき、最初にバーっていけないとダメですからね。

鶴見　そうそう。やっぱり出だしで善し悪しが決まっちゃうからね。最初の2、3シリーズは様子を見てくれるけど、それから上がっていかなきゃ使われなくなるよ。そういう意味では、厳しさは日本も海外も一緒だよ。

――鶴見さんはどうだったんですか？

鶴見　いや、それはだからもう八木（＝剛竜馬）とか、次の若手がドンドンいたからなあ。国際は1人を前に出して売り出していくスタイルだから、難しかったよ。それで、社長とは少しモメたんだけど、「まあお前らはそういうほうが向いてるだろう」って言ってくれて、大位山勝三と独立愚連隊を結成したわけよ。

――それで、国際がなくなると全日に移るわけですね。

鶴見　まだ国際があった頃かな？全日と交流戦をやったときに、馬場さんとタッグマッチで当たったんだよ。「何でオレなのかな？」って思ってたんだけど、「馬場の指名だよ」って言われてさあ。それは評価されたってことでしょう。ホントに嬉しかったよ。全日に入った後も、メインイベントでちょいちょい使ってもらって、あれはすごく勉強になったよ。ブロディとかハンセンとかとゴディとやったりしたから。

――どんなスタイルでも合わせられるところが評価されたんでしょうね。全日の居心地はどうでした？

鶴見　良かったねえ。全日の上の連中はジェラシーを感じてたらしいけどな。オレは週契約の外人扱いだったから、ギャラもドルで計算だった。あの頃はドルの方が強かったからな。

――それは嫉妬されるでしょうねえ。

鶴見　最初は誰も知らなかったんだけど、どっかから漏れちゃったんだな。そのうちにバッシングされてちょっと下げられちゃったんだけどね。まあドルも下がってきたからさ（笑）。でも、あの時は馬場さんてほんとに太っ腹だなって思ったよ。国際では考えられない額だったからな。

――そんなに居心地の良かった全日を抜けたのはなぜなんですか？

鶴見　相手がいなくなったからな。天龍とかがSWSに行っちゃったじゃん。それでもう居場所なくなっちゃって。

――ダハハハハ！

鶴見　「しばらくしたらクビになるのかな？このまま終わるのもいやだなあ」って思ってて。それで、ちょうど新聞にSWSのことが載ってて、それを見て若松さんに直接電話したんだよ。向こうから来たわけじゃない。

――あっ、そうなんですか！

鶴見　他はみんな結構、金をもらったんじゃないの？まあオレは自分から行ったから、しょうがないけど。もう一花咲かせたくてな。上のクラスの連中はみんなすごい契約金もらってた。なんか中途半端な連中でも、凄い待遇だったよ。

――そのへんの話は噂が噂を呼んでましたもんね。入る直前ぐらいの頃には、どんな選手が入ってくるかわからなかったんですか？

鶴見　わかんなかったなあ。あとからいろんなのが来たもんな。「ああ、あんなのが来たんだ」とかって思ってたな。だいたい見れば、どのつながりで来たかわかるからさ。

――まとまらないだろうって思って

90・9・30のSWSプレ旗揚げ戦で、変身を遂げたNEW鶴見五郎（オープンフィンガーグローブ着用）。裏拳の連発で徹底的にジョージ高野を追い詰めたベストバウト。「ヒールとして一花咲かせる」という鶴見の決意が爆発した形となった

『ワールドメガバトル・オープントーナメント

聞き手／山口日昇

ましたか？

鶴見　まとまらないとは思わんけど、誰が舵を取るんだろうって、誰がブッカーをやるんだろうと思ってたな。寄せ合わせの集団なんだから、誰かギュッと締めなきゃいけないんだよ。

——田中八郎社長（現・会長）にそれをまかせるわけにはいかないですからねえ。

鶴見　田中社長は、プロレスがわかんなかったから、結局全日サイドにまかせたんだよ。で、マッチメイカーが（ザ・グレート・）カブキさんになったんだけど、できなかったんだよ。やろうとしたんだけどな。やればやるほど天龍側から睨まれるんだよ。まあ公平な目で見たらバランス取ってやってるんだけど、やっかみの目で見てたら、そんなの関係なくなるからな。それでまあ、終わり頃になってから、オレと（ドン）荒川とカブキさんを頭にしてマッチメイクしていこうってなったんだけど、荒川のマッチメイクがメチャクチャなんだよ。

——ダハハハハ、それはメチャクチャ面白そうですね（笑）。

鶴見　そこでもやっぱり、自分を曲げないっていう新日のスタイルなんだよ。「なんだこれ、ふざけてるんじゃねえか」って思ったもん。

multiple ALIBI "S"
STRAIGHT AND STRONG
SWS

——まあ、きっとふざけてるんでしょうけどね（笑）。

鶴見　ガハハハハ。それでまあオレ達は、実績を見てバランス良くやってたんだけどな。そうすると、どうしても全日寄りになっちゃうんだ。

——まあ、荒川さんのマッチメイクはジョージ（高野）さんをトップに据えようっていう思惑もあったんでしょうね。

鶴見　ジョージだけじゃないよ。天龍が2試合目とか、なんだから。

——さすがだ（笑）！

鶴見　だからサイコロでやったんじゃねえかっていうのも多かったよ。ただ、そういうのは通らないな。カブキさんも怒りながらそのマッチメイク表を受け取ってたよ（笑）。

——試合のスタイルがバラバラだったSWSで、鶴見さん自身はいろいろなスタイルの選手と合わせられるから鶴見さん的に良かったんじゃないですか？

鶴見　とにかく「やらなきゃいけない」って思って頑張ったよ。いちばん最初に福井でプレ旗揚げ戦をやったとき、オレはジョージとシングルをやったんだよ。あの日の試合では、「オレとジョージの試合がいちばんの試合だ」って雑誌に書かれてさ。SWSサイドとしては天龍を押したいから、認めたくないわけだよ。もうオレの頭の中ではどんなスタイルでいくか決まってたからな。それでその後2～3シリーズは良かったんだけど、結局は窓際に追いやられたよ……（しみじみ）。

——裏拳連発ファイトで、思いっきりスタイルを変えたんですよね。いい試合だったとは書いてあるんですけど、当時の週刊誌を見てもスペースを割いてないんですよ。

鶴見　まあ、その頃が花だったんだよ。最初の頃はオレも勢いがあったしな。結局、田中社長がカブキさんなんかに全権を渡したんだろうな。このままじゃいけないって思って。

——鶴見さんが光ったのは、そもそもSWSがUWFのライバル団体にしようとして最初は格闘技スタイルを志向してたからなんでしょうね。

鶴見　もともとはそういうスタイルがやりたかったんだろうな。

——前田さんと天龍さんを闘わせたいという夢があったわけですからね。

鶴見　怒られるかもしれないけど、田中社長はいろんなジャンルのオモチャを掻き集めて、悪い言い方をすると、そのオモチャで遊んでるんだよ。路線の違いっていうのはあるんだから。なんでそれをかけ合わせようとする？　できっこないのに。

——でも当時のファンにしてみたら、それはできそうなことだったんですけどね。

鶴見　だから、最初はUWFの藤原（喜明）とやる話があったからな。でも、いきなりそれは無理だろう。さっきも言ったけど、高い金出して買い集めたオモチャで遊びたかったんだよな。それで予備知識もないもんだから、人に言われたら「ああそうか」って、そういうカードを組みたがるんだよ。

——やっぱりUWFの選手とは、すぐに試合できないものなんですか？

鶴見　いまみたいに開かれてない時代だったからさ。アポロvs鈴木戦みたいに、相手もこっちも警戒したら試合になんないもん。違うもの同士が試合やると、ガチガチに守り合っちゃうからさ。堂々と胸を出せなくなっちゃうんだよ。

——最低限の信頼関係がないところで、プロレスは出来ないわけですね。

鶴見　そうじゃないと目に指を入れるじゃないかとか、試合中にすごい疑心暗鬼になっちゃうんだよ。

——いまはファンの目も肥えてきて、「UWFもプロレスだ」っていう考え方になってますけど、当時のUWFには真剣勝負幻想が根強くありましたからね。

鶴見　それもあるけどね。結局は上のヤツらの責任だよ。下のヤツのせいじゃないんだから。最初にネコに鈴付けとけば良かったんだけど、誰も付けようとしなかったんだから。それをやらないんだから。

——そういうボタンの掛け違えが、アポロvs鈴木戦みたいな結果になったわけですね？

鶴見　まあアポロにしたら、そこまでやるつもりはなかったんでしょう。アポロの「ビジネスとしてのプロレス」と鈴木の「ビジネスとしてのプロレス」が違うんだから、そこまでやる必要はないということになったんでしょ。まあ、いまのバーリ・トゥードみたいに何百万も出るんだったらやるだろうけど、1試合何万円かの試合でそんなことをやる必要はないんだよ。そんなギャラもらえるんだったら負けたっていいしさ。でも普通のギャラじゃやんないよ。そんなアホらしいこと（笑）。

——気持ちはわかりますね（笑）。

鶴見　オレはあの試合のとき、試合が終わった後、「ノーサイドだ」って握手させたんだよ。でも、鈴木は泣いてるって話だし、アポロは怒ってるし。船木サイドもいろいろ文句を言ってくるんだもん。でも、あの試合に関しては、鈴木が合わせるべきだったと思うけどな。鈴木はプロレスも、UWFも、両方やってるわけだからさ。

——そう言われてみれば、確かにそうですね。

鶴見　でもそれをやってしまうと、「オレがUWFでやったことは意味がなくなってしまう」って鈴木は思うわけだよ。でも、さっきの海外での話に合わせると、お客を喜ばせるような試合をしない鈴木が悪いってことになるんだよ。でも、プロモーターであり、オーナーなのは田中社長だから、「どっちもどっちだ」ってことになるんだけど。まあ、オレはあ

SWS崩壊後、NOWに参加した鶴見。しかし、鶴見の胸にはなぜか「SOS」の文字が!?鶴見といえば胸のドクロマークがトレード・マークだったので、この衝撃は大きかった。ヒールの鶴見がこんなシャレをかまさなければならないほど、Sの崩壊は所属レスラーの人生を左右する大事件だったのだ

まあ、オレは鈴木（みのる）vsアポロ（菅原）みたいな試合は否定しないよ。オレだってやられたらヤリ返す!!

あいう試合は否定はしないよ。オレだってやられたらやり返す気持ちはあるよ（キッパリ）。

――おおっ！

鶴見 あの頃はオレも元気だったから。首つかんで離さないでそのままいけばいいんだよ。ロープブレイク取られても離さなけりゃいいんだから。だから橋本vs小川戦みたいなもんだよ。

――プロレスファンとしては正直言って、そういうふうに試合が崩れた瞬間が抜群に面白いんですけどね。

鶴見 いまだったらいいよな。いろんな格闘技団体がでてきてるしさ。小川vs橋本みたいな試合は売りになるよ。オレだったら、あれをメインイベントにするもん。

――プロモーターとしては、それが正解ですよね。SWSの話に戻ると、事実上のプロモーターだったのは田中社長だったわけですけど。

鶴見 そうだよ。全権握ってるもん。

――それが途中で、天龍さんに社長が代わることになりますよね。

鶴見 そこはわかんないんだよ。天龍がほんとに全権握った社長だったのかっていうところがさ。まあ後ろのほうでツルの一声はあったと思うしな。ただレボリューション・サイドでは、自分たちだけで会議とかいろいろやってたんだろうな。

――鶴見さんは、毎日道場に行かれてたんですか？

鶴見 ああ、オレはコーチやってたから、毎日行ってたよ。あとは桜田さん（ケンドー・ナガサキ）ぐらいじゃないかな。上の連中は、ときたましか道場に来ないからね。あとは毎日来てたのは……荒川ぐらいだな。

――ダハハハハ、元気ですねえ（笑）。

鶴見 走りに来てたみたいだよ。だから、あんまり道場内にはいなかったけどな。オレが帰るときにランニングから戻ってきたりしてさ。

――ただ走ってるだけなんですか。

鶴見 さあ？ どっかで寝てるんじゃないの（笑）。

――ダハハハハ！ SWSの道場にも、けっこう興味深いものがあるんですよ。アマレスのマットを導入したり、〝蛇の穴〟（イギリスにあったビリー・ライレー・ジムの通称。ゴッチやロビンソンはここでシュート・ファイトのトレーニングを積んだという、伝説の道場）からコーチを呼んだりしてましたからね。

鶴見 午前の部はオレが若手にアマレスのグランド技術のコーチとか、基礎トレさせたりね。それで、午後の部は桜田さんがプロレスの練習させてたよ。オレはもともとアマレスやってたけど、他のやつらは、折原（昌夫）ぐらいしかアマレスの基礎がないからな。だから、ランカシャーレスリングとアマレスを基本でやるんだよ。

――『道場・激』（道場長は将軍KYワカマツ）と仲が良かったのはどの道場だったんですか？

鶴見 練習中はみんな仲良かったよ。上の選手がイガミあってたけど、下の方はそんなの関係なかったからね。でも、レボリューションの連中とはあわなかったな。というか、向こうが、壁を作ってしまうから、どうにもならないんだよ。

――そういった内部の関係が危うくなってきたのは、田中社長も知っていたんですよね？

鶴見 だんだん田中社長も目が肥えてきて、何かの打ち上げの席とかで、けっこう苦言を呈するようになってきた。それに対して、反論とか意見を言うと煙たがれるんだよ。あとは、「ワカマツさんがそれほどの人物じゃない」っていうのがわかってきたんだろうな。そのときに、オレはワカマツさんから「オレは辞めるけど、君を『道場・激』の責任者にする」っていう話をされたんだよ。それをまた何かの打ち上げの席で「鶴見を私の後釜に……」って話をしはじめて、それで田中社長とえらい、モメたんだよ。「誰がそんなこと決めたんですか？」ってな。それで一応、谷津が責任者ってことになったんだけど。まあ、谷津もあんまり道場に来ないからなあ。

――それでも、結局は谷津さんが道場長になったんですよね。

鶴見 そう。その後、谷津が辞めた後に、オレが代理になってさ。でも状況がうやむやで、誰がなったのかわからない状態なんだけどな。「あれ？ いままでオレじゃなかったのかな？」とか思ったけどな（笑）。

――谷津さんが辞めることに何か感じることはありましたか？

鶴見 全然感じない！ こっちは、だって残り番させられてたんだから。それで、みんなでリングの上で手つないでバンザイさせられて（SWS崩壊直前の'92・5・19富山大会で、反天龍派と言われた選手だけで10人タッグマッチが組まれ、その試合後、団結をアピールするために輪になって万歳を繰り返した）、なんで残されたオレらが関係ないのにそんなことしなきゃいけないんだよ。いつの間にか仲間にされるのは困っちゃうんだよ。

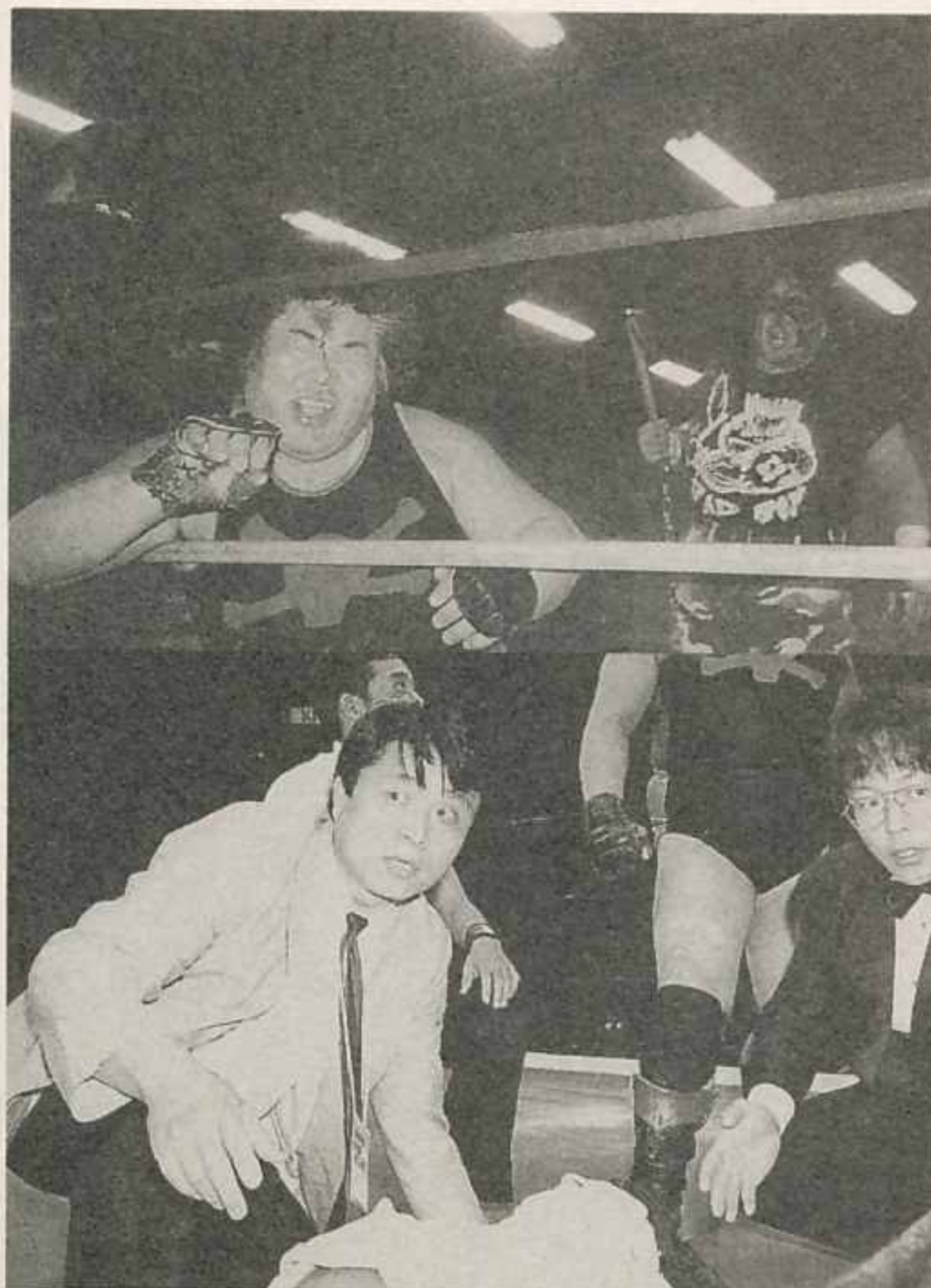
――いい迷惑ですね（笑）。

鶴見 たぶんオレの考えでは、（田中社長が）プロレスをやってみたものの、それほど儲からない、もしそうだとしたらほんとにやりたいのはUWFみたいな格闘技みたいなスタイルでしょ。だから、仕掛けをしたんだな。1回Sを潰して建て直そうということにして、谷津と仲野を誰かがそそのかして、Sを潰した。でも、そこで新しい団体を作るっていう約束を反古にして、「あんたたち全員辞表出しなさい」って言った、と。まあ、仲野と谷津の件で潰す大義名分ができたからな。

STRAIGHT AND STRONG
SWS

（下）'96年6月30日『力道山メモリアル』大会の鶴見vsマミーの一戦で、マミーがダイビング・ヘッドバッドを失敗&失神！ これを見た長州が激怒！ インディー批判をした。（上）インディー批判も何のその、鶴見青果市場を中心に活動する国際プロレスで、インディーの火を守り続けている

『ワールドメガバトル・オープントーナメント

聞き手/山口日昇

——でも、退職金は出たんですよね？

鶴見 出ないよ（キッパリ）。だから「自分は辞めます」っていうのを全員に一筆書かせるのよ。それ提出したら、こっちも裁判起こせないからさ。ただ、「みんなそれぞれやりなさい」ってことで、1年分のギャラをもらったんだよ。でもそれは、個人の金じゃなくて、レヴォリューションならレヴォリューションで、そこに所属している全員の運営資金なんだよ。だからそれは、天龍の金でもカブキの金でもないんだよ。そういう金をまあ、向こうは数億受け取ってな。オレも参加したNOWは少ないよ。オレと維新力と桜田さんの分だからウン千万だな。それで1年間やったら、あとは自分たちで自活しろってさ。

——じゃあ、道場にそれぞれいくらかのお金が入って、選手個人に行き届いたわけではないんですね。

鶴見 で、NOWはその金で自分の理想のプロレスを運営していったんだけど、そこまでする必要はなかったんだよな。外人を何人も呼んだり、高い金払って道場借りたりする必要なんかなかったんだよ。田中社長に「これだけのことやらなきゃダメだよ」って言われてたのかもしれないけど、興行も月1回後楽園ホールでやるぐらいで良かったんだよな。だから、上の連中は一銭ももらってないよ、2年間！

——その落差はでかいですね！

鶴見 「どうして？」って感じだよ。だからすぐ抜けたよ。だけど残った連中は大変だよ。人は減るわ、ギャラは払えないわ、外人は呼べないわ、でさ。それでもその金がなくなる直前に上田（馬之助）さんが入ってきたんだけど、またそこでモメちゃってね（しんみり）。結局終わり。あの頃にナガサキさんとしてはFMWとの対抗戦をやっていこうと思ってたけど、タイガー・ジェット・シンが掟破りなことをやって、大仁田が「ウチのリングを土足で踏みにじられた」って怒って、結局は対抗戦もなくなったんだよ。

——そういうことを含めて考えると、SWS時代は幸せだったんですね。

鶴見 そりゃそうだよ。だからいい迷惑だね。全日辞めて来たのにさあ。あのSの崩壊からずっと低迷が続いてるよ（しんみり）。だから、もう自分で興行やりたいと思ったよ。もう人に使われるのはイヤだね。

——それで結局、鶴見さんとしては何がS崩壊の原因だと思いますか？

鶴見 結局、天龍派が全権を握ったからじゃないかな？

——早いうちから、『レボリューション』『道場・檄』『パライストラ』のトロイカ体制を作ってれば、ちょっとは違いましたかね？

鶴見 それはそれでまとまらないだろうね。だからホントの根っこの部分での原因は、メガネスーパー自体の業績悪化だよね。メガネの負債をどうするってことになったときに、業績の伸びない部署を切ったってことだよ。オレが経営者ならやっぱり切るもんな。

——田中社長は、それで社内でも突き上げくらってたらしいですもんね。

鶴見 そうそう。そこで情報収集に荒川を使ったんじゃないのかな？

——ダハハハハ、やっぱり荒川さんが、暗躍してましたか！

鶴見 そういえば、荒川は何が解散の原因だって言ってたの？

——「潰れたのは選手の嫉妬ですよ」と言ってましたね。

鶴見 う〜ん……嫉妬のせいもあるけどな。でも、誰のせいかって言ったら、あくまでオレの推理だけど、田中社長が画策して、それに乗った谷津と乗せた荒川。で、静かにしてたのにいきなり呼び出されて「辞めてくれ」って言われたオレらね。いちばん迷惑なのはオレらだよ（しんみり）。あと2年ぐらい契約が残ってたのにさあ。

ジム経営も、ビデオ販売も、興行もすべて自分で切り盛りする鶴見。徹底的にコストを削減する経営者の鏡である。ちなみに販売しているビデオには、たまにボーナス・トラックとして超貴重映像が入っていることもあるそうだ。チェックしてみよう！

——当時は谷津さんと仲野さんのクーデターが原因だとか言われてましたけどね。

鶴見 不満を持ってる谷津をターゲットにしたらいいんじゃないかって考えたんじゃないの？ 谷津ならインパクトも大きいしさ。

——鶴見さんは、谷津さんと全日時代から一緒だったわけですよね。

鶴見 その頃から、欲みたいなものはあったんじゃないの？ 自分がトップに立ちたいけど、どうにもならない。そういうときに誘いが来て、乗っかったんだよ。

——その裏にいたのが荒川さん、と（笑）。北尾さんがジョン・テンタと不思議な試合（'91・4・1）になったのは、荒川さんが後ろで北尾さんに「あんなのやっちゃわなきゃダメだよ」とか言ったりして、いろいろ吹き込んでたっていう話があるんですけど（笑）。

鶴見 いやあ、オレが考えるに逆じゃないかって思うんだけどね。ジョン・テンタを焚き付けたヤツがいたんじゃないかな？ そうじゃなきゃ、ジョン・テンタもプロなんだから、あんなに固くなるはずがないよ。最初からテンタもやる気だったもん。普通だったら、そういう状態になったら修正するものだけど、テンタにも修正する気がなかったでしょ。北尾には、まだそんな実力なかったもん。いっくら横綱でもね。あの試合があった頃は、テンタがいちばん良かった時期でしょ。その後に来たときは、身体がスカスカだったけど、あの頃は全然違うもん。もうパンパンに張ってた時期だから。

——谷津さんとアマレスの特訓してたときも、かなり強かったらしいですね。

鶴見 強い強い！ だから、テンタがまあUWFスタイルみたいな感じで仕掛けてきたときに、懐の狭い北尾は対応できないわけ。オレらだったら途中で対応できるんだけどな。守りに入るしかできないんだよ。そこで踏み込んでいければ、試合になるんだけど、踏み込んでいけない北尾は……、悲しいな。

——踏み込めなかったのに、「この八百長野郎」っていう言葉がでてきちゃったんですね（笑）。それはやっぱり根っこのキャリアの違いですか？

鶴見 だって、北尾からいってないもん。オレがあの試合を見てたときは、「あっ、これはテンタが仕掛けたな」って思ったよ。だって、そこまでなんで北尾がする必要があるの？ さっきも言ったけど、テンタが最高の時期なんだから仕掛けること自体できないよ。

——相撲界の実績だけで仕掛けていけるようなものじゃないと。

鶴見 そりゃそうだよ。それだって確実に勝てる要素にはならないんだからさ。確実に勝てるっていう確信が少しでもないと、なかなか仕掛けられないよ。だから、アポロvs鈴木戦だって、そうだったじゃん。いく気はあってもなかなかいけないんだよ。実力がある程度あるもん同士だと。だからどこまでいってもいけないなら、やめちゃおうっていう発想になるよ。

——でも、ファンには北尾幻想ってあるんですけどねえ。

鶴見 いや、それはさあ……（笑）。

——アポロさんも絶賛してましたよ！

鶴見 いやいや、だって新日にいた

SWS末期に（ドン）荒川が「今日はガチでいくから」って言ってきたから「ああ、いいよ」って答えたんだ

ときも、ベイダーにやられてたんじゃん。けっこうハート小さいんじゃないの?

—ハートが小さいのと、プロレスが不器用なのは知ってるんですけど（笑）。鶴見さん自身は、SWSでそういう物騒な試合になりそうになったことはなかったんですか?

鶴見 オレはないねえ。そういえば佐野と畠中（浩旭＝グレート・センセイ）が、やりかけたことがあったな。「あの人はプロレスの試合をしない!」って畠中が怒ってたもん。

—SWS末期はそうなる可能性が常にあったって感じですか?

鶴見 そうだねえ。まあ佐野しても、それこそ荒川にけしかけられたんじゃないのかな。

—ダハハハハ! その可能性は非常に高そうですねえ。

鶴見 それこそそうだよ。オレと荒川がシングルでやるときも、あいつは「今日はガチでいくからな」って言ってきたことがあるんだよ。そこで「いや、勘弁してくれよ」なんて言ったらまた図に乗るからさ（笑）。「ああ、いいよ」って言ったんだよ。そしたら何もなかったよ。

つるみ・ごろう■本名・田中隆雄。昭和23年11月12日、神奈川県横浜市出身。東海大学理学部物理学科卒という、プロレス界では見たこともない経歴の持ち主。アマレスの実績を引っ提げて昭和46年7月12日、札幌中島体育センターのvs大磯武戦でデビュー。国際崩壊後は、全日本、SWSと渡り歩く。元祖・インディー団体出身の魂からか、その後はメジャーとは接触せずインディーを転々とした後、現在は国際プロレスで活動中。次々登場するチープな怪奇派レスラーは一度見たら記憶から消えない不思議な魔力を持つ。

—ダハハハハ、それでまたリングではひょうきんプロレスをやると（笑）。

鶴見 そうそう（笑）。ただちょっとキツい張り手ぐらいは来るから、こっちも返したりしてな。そこでレスラーは一歩引いちゃダメなんだよ。でも、逆に行き過ぎたらダメだよ。そしたら意地の張り合いになっちゃうから。

—合わせていくと。でもそういうのがあるから面白いんですよね。

鶴見 そうそう。それができないとダメなんだよ。新日の奴らは多かったよ。相手が弱いと見ると、トコトンいくってヤツらがな。

—新日といえば力道山メモリアル（96・6・30）で興行やったときに、長州さんが批判されてましたよね。

鶴見 ああ、あれはでもしょうがないよ試合中のアクシデントで、マミーがのびただけだもん。結局、新日は自信があるからだよな。自分のリングに上げちゃえば化けの皮を剥がせるって思ってるんだろ?

—場外乱闘禁止っていう、インディーには過酷なルールでしたしね。その長州さんのインディー批判に乗ったのが、大日本だけだった、と。

鶴見 大日本もいい商売したよ（笑）。

—鶴見さんは、それに乗る気はなかったんですか?

鶴見 いやあ、ウチらにはそういう話は来なかったしね。そりゃ乗っていったらメリットはあったかもしれないけど、大勢で行くと儲けは分散しちゃうからね。だから、大日本のやり方は経営者としては正しいよ。

—Sの田中社長も、経営者としては正しかったと思いますか?

鶴見 ああ、正しいよ（キッパリ）。田中社長は「儲ける気はない」って言ってたけど、でも他の部分も悪化してきちゃったから切らざるを得ないよね。選手のギャラから、かかった経費から大変な額だよ。外人選手なんて、「よくそんな額で呼ぶなあ」って感じだったもん。

—相当、振っかけられたって噂ですよね。

鶴見 そんなもん、東京ドームで興行を打たないと儲からないよ。横浜アリーナでも満杯にならないとダメだし。だから、いまの新日と同じよ。小さな会場で儲けようとしても、追いつかないんだよ。

—SWSはテレビ番組も自社提供でしたからね。あと、これは長年の疑問だったんですけど、鶴見さんは以前NOW時代に胸のドクロマークが、「SOS」になってましたよね。あれは何だったんですか?

鶴見 あ〜、あれはシャレだよ。

—シャレだったんですか（笑）。

鶴見 「助けて下さい!」って。

—それは誰に対してメッセージを出してたんですか?

鶴見 もちろん、お客さんだよ。でも、そのシャレを桜田さんとかがわかんなくて、「そんなみっともねえことすんな」って感じになっちゃったんだけど。でも、あれは「お客さん、来てくれ」ってことだからね。NOWに客が入らなきゃしょうがないんだから。マトモなのはメジャーがやってるんだから。だからメジャーはメジャーの、インディーはインディーのスタイルを作らないと。だから他にないものをウチは提供してるわけだよ。

—それで、国際には、続々とチープな怪奇派レスラーが登場するわけですね。

鶴見 ウチは徹底的にコストを削減してるから。もうこれ以上ないっていうぐらいのところまで来てるよ。

—ポスターも、チケットも手書きで、コピーしてるみたいですね。

鶴見 もう、後は選手をリストラするぐらいしかないね。ただでさえ、安いギャラの選手まで削らなきゃいけなくなっちゃう。やっぱり、そこまでは出来ないでしょ? まあ、頑張りますよ。

【99年7月25日、神奈川・鶴見五郎スポーツジムにて収録】

『ワールドメガバトル・オープントーナメント
King of Kings』
いよいよ開始!!

聞き手／山口日昇
interview by Noboru Yamaguchi
撮影／モーリー
photographs by Mory

毎度毎度の永久保存版INTERVIEW

前田日明 総帥

賞金総額50万ドル！
来るものは拒まず！
「世界最強の男は
リングスが決める」

「俺はオッパイと葉巻きしか吸わない」（今号の名言1）

「真のトンパチは頭がいい！」（今号の名言2）

遂に眠れる獅子・リングスが動き出した。故・大山倍達極真総裁を凌駕する勢いの、実にパワフルな企画、「オープントーナメント」をブッ放すのだ。賞金総額50万ドルやで、50万ドル！オープンやで、オープン！すべて一本勝負やぞ、一本勝負！「お金が欲しい人は来てください。欲しくない人は来ないでいいです」と、前田日明総帥は、トーナメント開催記者会見でそう言った。

早くも、この号の発売翌日の10・28にはAブロックの1回戦＆2回戦が行われ、さらには、12月のBブロック1回戦＆2回戦にはメガトン級の選手が参加するという嬉しい噂もある。

シンプル・イズ・ベストなこのトーナメントは、マット界にどんなショックを与えることができるのか、要注目だ！

前田　（スタッフに）誰か灰皿取って、灰皿！

――ガハハハ！　葉巻ですか。そういえば、前田さんが葉巻吸うとこは、生で初めて見るなぁ。

前田　俺はオッパイと葉巻しか吸わない！

――ガハハハ！　いきなり名言！

前田　葉巻はタバコと違って肺に入れないから、いいんですよ。

――でも、葉巻って凝り出したらキリがないらしいじゃないですか。

前田　キリがないんだけど、1本何万円もするヤツ吸うつもりないから。手頃なヤツを、いかにいい状態にして吸うかっていうのがポイントなんだよね、研究の結果。葉巻ってだんだんね、ワインと同じで、湿度だとか温度を一定に管理してると、どんどんどんどんよくなってくるねん。

――愛（め）でてあげるわけですね（笑）。

前田　そう、愛でてあげる。植物だからね。

――ま、葉巻は勝手に吸ってもらって（笑）、（9・24に）本場のUFCを初めて視察したわけですけど、率直に言ってどうだったんですか？

前田　正直言って、タレント不足ですね。ほんでね、競技自体が完全に固まってない。ティト（・オーティズ）とか、いい選手がいるのは確か。ティト、良かったねぇ。あれはね、とんでもないことになるよ。

――大化けしますか？

前田　アイツは大化けする！　いいよ、アレ。瞬間瞬間に、やらなきゃいけないことっていうのがグラウンドではいっぱいあるんだよ。そういうのをボンボンって対処できるし。

――つまり、頭がいいんですか？

前田　格闘技はね、頭が悪い奴は強くなれない！

――僕も見ててそう思いますよ。

前田　わかるでしょ？　ホントのアホはね、なにやってもダメ。「アホな奴は格闘技向きだ」なんて言うけど大きな間違いでさ、アホはなにやってもダメなんだよ。

――やっぱり「トンパチ」と呼ばれていても頭が回ってないとダメですか（笑）。

前田　真のトンパチは頭がいい！

――真のトンパチは頭がいい！　早くも本日の名言2が出ましたね（笑）。ホント、格闘技は脳ミソの回転の良さを見るっていう部分もありますよ。

前田　あのね、頭っていうよりもね、状況をパッと認識できるように、やね。

――対応力と認識力ですか。

前田　そう、対応力と認識力。

――なるほど。じゃあ、UFC自体の全体像っていうのは、まだまだ過渡期ですか？

前田　観客もいろいろわかってきたんかな～って思うけど、どっちかっていうと喧嘩を見て騒いでるっていうのもあるでしょ。技を見て「オーッ！」とか、そういうんじゃないよね。その状態をどうやって持っていくんかっていうとこやね。可哀想なのは、日本みたいにそれを知らしめるもんがないじゃない。

――ウチのように非常に優れた媒体がないということですね（笑）。でも技術的にはUFCができたときよりは、全然上がってきてますよね。

前田　ルールを整備してきたから技術が見えやすくなったっていうのはあるね。上がってきたっていうよりも。

――その分キャラクターが見えにくくなってるかっていうと、ティトみたいな選手も突如出てくるし。世界は広いって感じしませんか。

前田　そうじゃなくて、技術が見えやすくなってくると同時に、キャラクターが見えやすくなってくる。逆ですよ。

――ああ、なるほど。そうですね。

前田　君はまだまだ甘い！　フッフッフ。なんでも「フリー」にしちゃうと、いろんなものに隠れちゃってわかんなくなる。制限するから見えてくることってあるんだよ。

――ああ、仕事でもそうですよね。ウチの

日明 兄さん ハマキングへの道

ウルトラボンクラ社員なんか「自由にやっていいよ」って言っても、なにもできやしないですからね。そう言ってできる奴は相当な実力者だってことがようやく最近わかってきましたね（笑）。

前田　それができる奴は自分で会社やってるよ（笑）。

―ガハハハ。そりゃごもっともです（笑）。ティトって面白い奴なんですよ。パンクラスに出てたガイ・メッツァーっていう選手と対戦したときなんか、「ゲイ・メッツァー」っていうTシャツをわざわざ作って着て、オクタゴンの中で挑発するんですよ。しかも勝ったあとで（笑）。

前田　へぇ～。いいねぇ。そういうの大好きやね。パッと生で見て「あ、いいな」って思ったね。俺が女だったらすぐやらせてるね（笑）。

―ガハハハ！　まただ。何人やらせればいいんですか！（笑）。

前田　来世にヤリ●ンになったら嫌だから、気を付けないといけない（笑）。

―ああいう日本人選手、出てこないですかね？

前田　どうだろうね。いまの日本人選手はカッコつけて女々しいだけや！

―ガハハハ！　出た。「女々しい」！

前田　寂しいオカマみたいなさ。歳とってブサイクになって誰にも相手にされない、友だちもいない、寂しいオカマ。

―いま話に出たティトはオープントーナメントに参加する可能性はないんですか？

前田　アプローチ中なんだけど、UFC―Jだっけ？　他にもいろいろあるからわかんないね。

―そういえば、その（11・14の）UFC―JにTK（高阪剛）が出るっていう噂もたってますけど、どうなんですか？

前田　わかんない！　UFC―J自体ができるのか、できないのか。それもあるしね。UFC―JとアメリカのUFCの間で揉めてる揉めてないっていう話もあるしね。ハッキリ言って、旗揚げ興行の記者会見やって、その第1回目を飛ばすっていうのは（UFC―Jは当初10・2に大会開催をする予定だった、結局11・14に延期になった）、最悪最低の話。そういう興行団体っていうのは、「二度あることは三度ある」っていうけど、一度あることは百度あるよ！

―一度あることは百度ある！　今日は名言が飛び出っぱなしですね。じゃあ、TKの出場は現段階ではわからないと。

前田　ニュートラルな状態だね。でも、高阪がUFC―Jに出るって言っても、その前に条件があってさ、「日本での試合においてはUFCの試合には出ない。リングスを優先する」って入ってるからね。俺が「イエス」と言わないとできないんだよ。

―はしょって言えば、一にも二にも前田さんが許可をしないと出れないということですね。TK本人は出たいんですかね？

前田　ヘビー級のチャンピオンシップだったら出るだろうけどね。それだったらね、UFCとキチンと話して、ウチでそういうのをやってしまえば簡単な話なんだよ。UFCルールはウチでだってできるんだからさ。でしょ？　面倒くさいからUFCと提携して、UFCの試合を1試合だけやってもいいかな、ってね。

―ガハハハ！　ホント、〝面倒くさいことギライ〟ですねぇ（笑）。

前田　この業界にね、わけのわからん奴、これ以上入れたくないのよ。

―その「わけわかんない」っていう基準はどこにあるんですか？

前田　ウソをつかないことね。ウソついてごまかしたりする奴はダメですよ、ダメ。

―ウソ・大げさ・まぎらわしい表現はJAROに訴えられますからね（笑）。

前田　大げさな表現は別にええんやけどね。広い意味でエンターテインメントの世界だから。

―ロスで猪木さんと会ったらしいですね。

前田　会った！　ロスアンジェルスアスレチッククラブっていうとこで会った。また、「キューバのカストロからもらった島から宝物が出るんだよ」とか、「水素を水から分解する方法があって、水素は未来のクリーンエネルギーだから、そこから電磁派を使った新しいエネルギープラントがある」っていう話になってね。「お前も一枚かましてやるから心配すんな」とか言ってたね（笑）。

―ガハハハ！　心配してたんですか？。

前田　なんで俺がそんな心配しなきゃあかんねん。

―猪木さんとは他に収穫ある話はなかったんですか？

前田　なにもない。

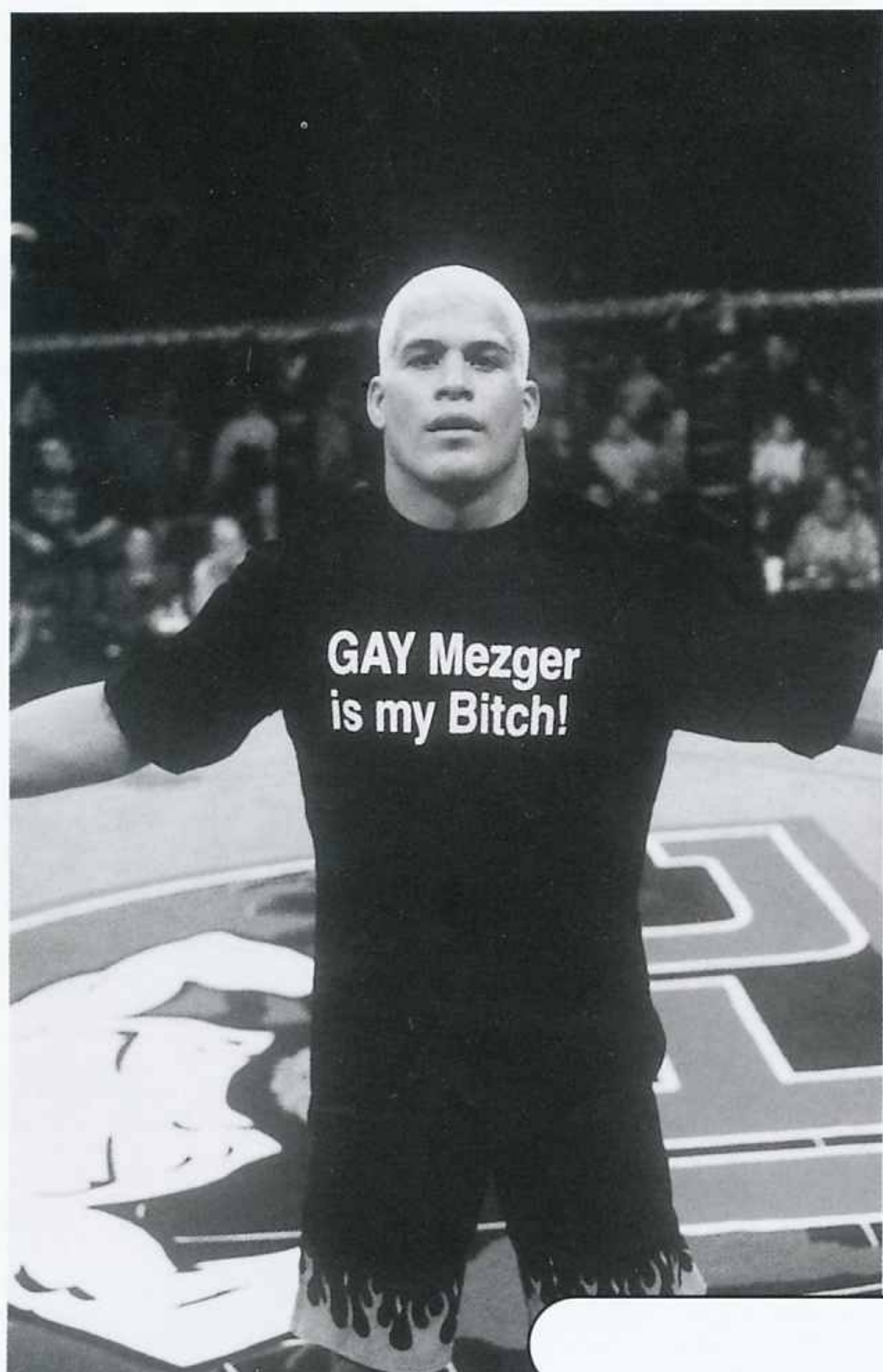
―ゲ！　なにもなし。小川（直也）vs山本（宜久）戦問題は話したんですよね。

前田　話したっていうよりも、その前に猪木さんの娘の亭主と話したんだけど、誰も小川にホントのこと言えないんだよ、ハッキリ言って。猪木さんの娘婿だってけっこう上の立場の人間じゃない。それがなにを言ったかっていうと、「なんでやんなかったんですか？」って。俺が反対に聞かれたからね。

―12月に延期された小川vs山本戦はどうなるんですか？

前田　山本を10月（のトーナメント）に入れたのは、なぜかっていうと、そのへんのことがあったんですよ。12月に小川とシングルマッチができるように。いま打診させてるんですけど、向こうが「やる」って言ったんだから、待ってるだけですよ。こっちは全部用意して、準備万端！　あとはUFO次第じゃないですか？

―うーん。あ、それからあっちこっちで聞かれてるとは思うんですが、佐竹雅昭のK―1離脱騒動に関して、どんな感想を抱きましたか？

前田　佐竹にとってはよくないと思うよ。なんか拗ねてるようにしか見えないからさ。佐竹は佐竹で長年いろんなことを我慢したりとか、あると思うんだよね。それはよくわ

日明兄さんが「あいつはとんでもなく大化けする」と太鼓判を押す"UFCの悪童"ティト・オーティズ。この「強くて、悪くて、面白い」男がトーナメントに参戦したら、日本でも人気爆発間違いなしであろう。

毎年これをやって、どんどんいろんな選手が来れるようにしますよ

かるんだけど、グッと堪えてやるべきでしょう、もうしばらく。せっかくシアトルに何回も通って、戦闘態勢がようやくできつつあるのに、まだ完全にできてないときに、もったいないよね。でも、ひとつ言えることは、佐竹はK―1の功労者ですよ！ 佐竹がいなかったら、石井さんはいまでも大阪の、いち空手道場主ですよ。

――そういう見方もできますか。そのシアトル繋がりというか、ケビンさん繋がりで、リングスに上がる可能性もあるというのは、マスコミにとっても、しやすい憶測だと思うんですよ。

前田 本人が望むならともかく、中途半端に出したらダメですよ。ほんでね、ちゃんとそういうつもりでトレーニングをして、準備期間があればいいんだけど、なにもわかんない奴をパッと連れてきて出してっていうのはダメやね。そういうのは佐竹という人間のキャリアに対して申し訳ないし、失礼でしょ。

――K―1離脱云々っていう問題を抜きにすると、選手として、佐竹さんは総合には向いてるんですかね？

前田 わかんないね。半年みっちり教えれば全然大丈夫だと思うけどね。

――モーリス・スミスの例もありますからね。キックボクサーだったモーリスが寝技でもあれだけになったっていう。

前田 モーリスには、本人にも言ってるんだよ。「3ヵ月ちゃんと教えたら、究極のサブミッション・ファイターになれるで」って。

――なにも関西弁で言わなくても（笑）。前田さんがモーリスに教えたらってことですか？

前田 そう。凄い自信あるよ。

――でもモーリスって、ホント面白いらしいですね、TKの話によると。

前田 モーリスはね、石田国松みたい。石田国松か『おれは鉄平』みたい。あんな感じだよ（笑）。

――ガハハハ。どっちにしてもマンガの主人公（笑）。さて、今回の『ワールドメガバトル・オープントーナメント・King of Kings』なんですが、この発想はどこから出てきたんですか？

前田 「世界最強の人間はリングスが決める」！ そういうことです。ルールで顔面打撃がないから云々っていう話があるんだけど、グラウンドでの顔面ありがベストかっていうと、まだわかんない。でもいま総合格闘技系っていうのは、いろんな意味で過渡期の時期なんだよね。実際はね、顔面打撃はUFCでもある程度対応ができてきて、顔面連打っていうのはほとんどなくなってきてるんだよね。ハッキリ言って。顔面打撃が入ってしまうと、顔面打撃を防ぐ、顔面を殴るってことだけにこだわってしまう。あれはグラウンドで押さえる技術さえあったらできることだから、簡単すぎちゃうんだよ。奥行きがなくなっちゃう。そういうもん見せても面白くないでしょ？ 極端なこと言えば、顔面殴って強いんであればさ、ヘビー級ボクサーに押さえる技術をみっちり教えて、タックル教えて、「さぁ、やってみなさい」ってやったら勝てますよ。でしょ？ そういう話になるんだよ。

――奥行きっていうのは、大きな問題な気がしますね。

前田 だから、その組織において何を重視して、ファンに対して何をプレゼンするかなんだよ。それが、年度、年度によって変遷があってもいいしね。ウチらもね、あるときは顔面禁止、あるときは顔面やる。ルールにある程度範囲を持たせてもいいと思うんですよ。

――TKも「UFCよりも全然リングスルールの方が難しい」って言いますよね。ただ現状として、「バーリ・トゥードじゃなきゃやらない」っていう外国人選手って、けっこう多いじゃないですか。

前田 って言うんだけど、簡単な話で、今回もブラジルから現役の柔術チャンピオンがふたり来ますよ。アントニオ・ノゲイラっていうるでしょ。こいつは柔術のノースアメリカン・チャンピオン。

――レナート・ババルもブラジルのバーリ・トゥードで勝ってる"未知の強豪"ですね。

前田 なぜこういうことになったかって言ったら、金をいっぱいくれるんだったら、ルールなんてどうだっていいんですよ。

――要は金！（笑）。

前田 ハッキリ言って、そう。じゃあ、外人のギャラがバブルになるのを問題視してた人間が、金で選手を呼んできて、話が違うじゃないかってなるかもしれない。でもね、ハッキリ言うけど、外人のギャラに関しては、参加者は3000ドル！ それだけですよ。

――え～と、30万ちょいぐらいですか。

前田 勝ち上がってギャラがプラスされて、優勝したらトータルで22万ドルになる！ そういうこと。勝ったらいっぱいもらえま

9・15後楽園ホール。普段は堀米審議委員長が務める開会の挨拶に前田CEOが登場。オープントーナメント開催を発表すると大歓声に包まれた。混迷するマット界の"キーマン"であるリングスが遂に動き始めた！

す。勝てないならもらえません。それが当たり前の話でしょ。

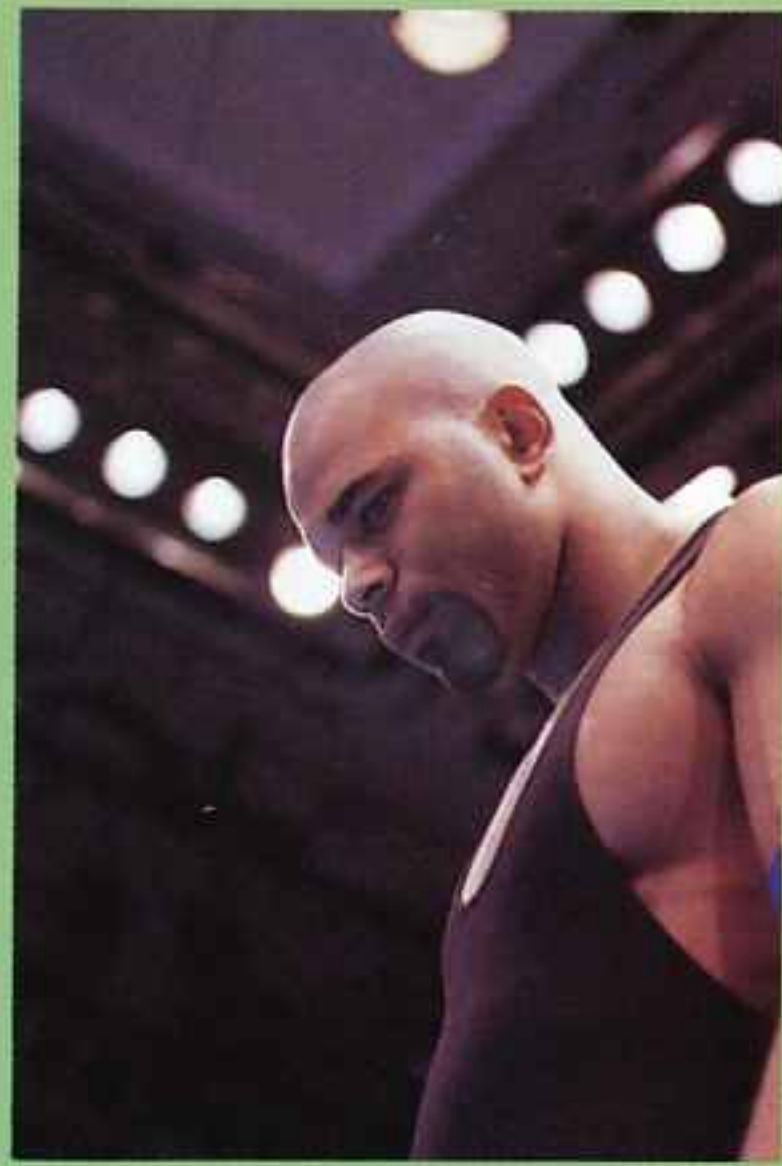
――シンプル・イズ・ベストですね（笑）。

前田　シンプル・イズ・ベスト！　一番大切な部分でしょ。勝てるのか勝てないのか、強いのか弱いのかわかんないヤツに大金払うからおかしくなるんだよ。

――それはその通りです。幻想が幻想を呼んで、ギャラの額まで幻想になってるって感じですよね（笑）。

前田　だから総合格闘技って、簡単に言ったら、なんでもあり。これを毎年やって、どんどんいろんな選手が来れるようにしますよ。K―1とかそういうのも含めて。現役のキックボクサーやムエタイのランカーとかね。そのためのオープンフィンガー・グローブだし。

――プロレスラーはどうなんですか？

〝TKを破った男〟アイブルと〝田村を破った男〟オーフレイム。両者ともリングスオランダ新時代のエース同士ながら、「あいつはキタナイ奴」「女を取られてひがんでる」と言い合う犬猿の仲。この2人の対戦がAブロック1回戦を共に勝ち抜いた場合に実現（10・28）。打撃を得意とする両者が、私怨をこめてオープンフィンガーグローブで殴り合う！

前田　勝てるんだったらいいんだよ。どんどん出れば。UFCだって、ふだんプロレスに出ながらやってる奴がいるんですよ。だからね、重なってるとこにいっぱい人材がいる。その重なってる奴をプロレスラーと言うのか、そうでない奴しかプロレスラーって呼んじゃいけないのかっていう問題はあるでしょ。わかんないよね。でも言えるのは、ある程度なんらかの実績だとか、現在のポテンシャルのない奴は出れない。出しちゃダメだし、それはファンに対しても侮辱ですよ。

――名前だけじゃダメってことですね。プロレスに出てたとか、柔術出身とかいうバックボーンも、現在のポテンシャルが高くなきゃ活きないですからね。逆にポテンシャルが高ければ、例えばプロレスに出てたこととか、合気道出身とかでも活きてくるんですよね。でも、このトーナメントで一番面白いと思うのは、体重制限がないっていうことですよ。

前田　ない！　体重なんか関係ないですよ。

――小は大を制すなのか、やっぱり大きい者が勝つのか、そういう基本的な部分も、いまの時代だからこそ興味ありますね。

前田　格闘技はもともと自由なもんで、柔道でも空手でもなんでも、全部総合格闘技だったんですよ。柔道は柔道、空手は空手で制限しちゃうから、小は大を制せられなくなってくる。総合格闘技だったのが、一番特徴的な技を最大限に全面に押し出して、他を全部排除したからダメになっちゃった。衰弱しちゃったんですよ。

――痩せ細っていっちゃったと。

前田　そうそうそう。

――全面に出すってことでいえば、田村（潔司）選手は「リングススタイルを守りたい」という発言をズッと訴えてますよね。グローブありのトーナメントに対しては、反対はしてないんですか？

前田　いまのところは、なんにも言ってこないから大丈夫でしょう。あんまり続くようだったら、「ええ加減にせえよ」って言うだろうけどね。

――田村さんは、トーナメントに出るんですよね？

前田　出る。俺のね、ルールに関しての考え方は、車のレースで考えればわかりやすい。レース場とかそのフィールドの違いはあっても、結局は、どっちが早いかの話なんだよ。エンジンが何cc、全長がナンボ、重量がナンボだとか決めるわけでしょ。格闘技も一緒でいい。レギュレーション1から、レギュレーション10ぐらいまであってもいいと思うね。

――つまりカテゴリー制ですね。

前田　そう。カテゴリー1はバーリ・トゥード、カテゴリー2は顔面なしとかね。カテゴリー0は、体育館に2人入って出てきたほうが勝ちとかね。体重制限もカテゴリー20ぐらいに入れたらええやん。それだけの話！　カテゴリー100ぐらいには、男対女の対戦で、神取忍対誰々とかやってもええやん。そのかわり体重は女が上で、とかね。

――カテゴリー200ぐらいにディベートとかないですかね。前田日明 vs アントニオ猪木！（笑）。

前田　俺が勝つに決まってるやんけ！

――ガハハハ！　決まってますか！

前田　現在、ディベート最強ですよ、俺。

――お言葉ですが、感情的になって、ディベートだと不利なような気がするんですけどね、前田さんは（笑）。

前田　なに言ってんねん！　俺はね、いま論理学とか勉強してますよ。

――それはともかく、いろんな意味で闘いの質っていうのが問われ……。

前田　（まったく話を聞かず）ヴィトゲンシュタイン全集読破！

――（あきらめて）ヴィトゲンシュタイン！　名前は知ってます（笑）。

前田　凄いんだよ、「20世紀最大の知性」と言われる人なんだけど、神の存在証明やったりするんだよ。

――ゲ、神の存在を証明したんですか？

前田　証明した。論理学的にね。

――簡単に言うとどういうことですか？

前田　簡単に言えないから凄いんやんけ！

――失礼しました（笑）。

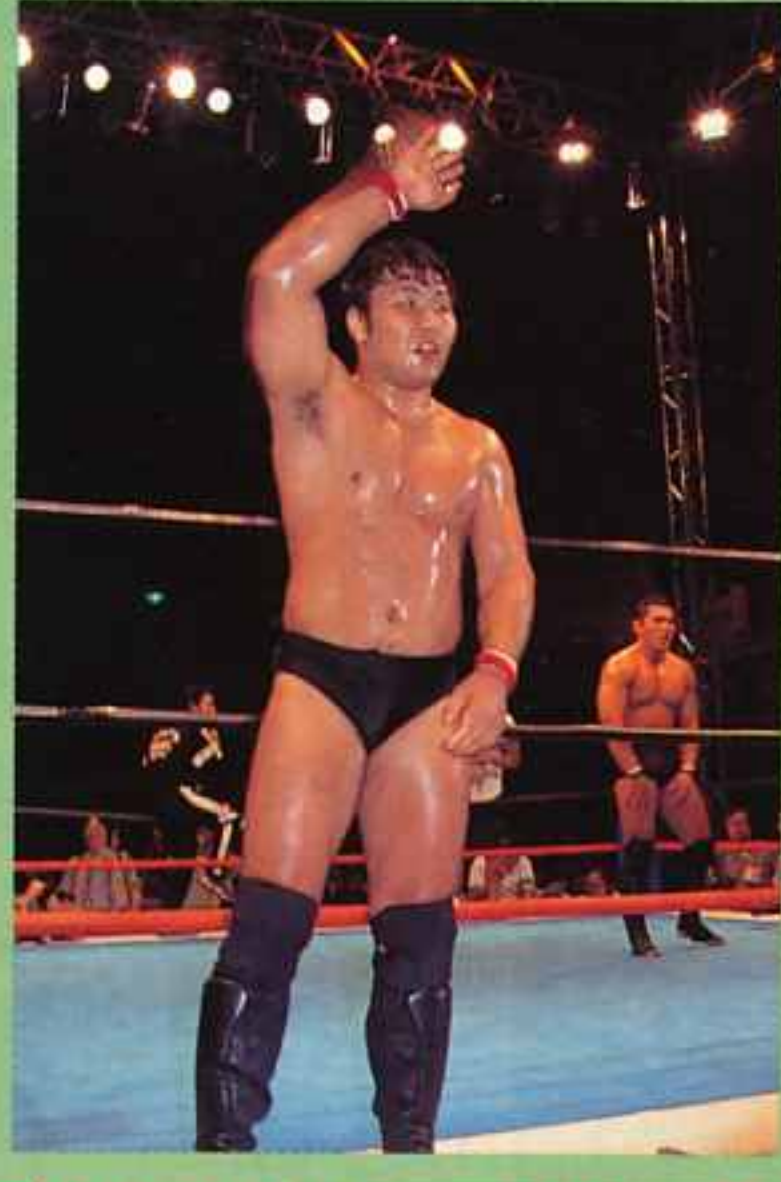
前田　凄いで。三流か四流の哲学者と思ったら、とんでもない！　晩年のアインシュタインがそいつと会って話したときに、最大の知的好奇心を持ったと言ってた奴なんだよ。最後は精神病院で死んじゃったんだけどね。

――やっぱり（笑）。

前田　たぶんね、山口君も好きになると思うよ。奥さんはキャバレーの踊り子！

――バツグンです！（笑）。

前田　好きでしょ、こういうの？

――メチャメチャ好きですよ。それで思い出したけど、井上陽水さんが「なんでステージでサングラスを外さないんですか？」って質問されたときに、「例えば、いかがわしいところで、人間の道を極めるため」っ

「12月に小川戦をやらせるためにAブロックに入れた」（日明兄さん談）というヤマヨシは、10月に再びシアトル特訓に入りさらなるパワーアップを図る。ヤマヨシ、いっていって、カモン！キングダムで顔面パンチ有りのルールを経験している金原は、「とりあえず1・2回戦勝って5000ドルいただきます」と自信満々。遂に金原大ブレイクか？

（小川VS橋本戦は）ガッカリ！ 橋本はなんのために長い間やってきたんだろうなぁ

て言ったんですよ。「凄ェな、この人」と思って（笑）。なんか、その凄いと思ったゾーンの遥か上にいる人なんでしょうね。その、ビ、ヴィト……。

前田　ヴィトゲンシュタイン！　俺はね、こう思ったんだよ。俺が色メガネで見られてるんだったら、反対に「色メガネで見てやれ」と思った。「目には目を」でね。

——ガハハハ！「歯には歯を」ですか。

前田　ほんでね、ヴィトゲンシュタインは、わけのわからん現代美術みたいのが大好きで、それ以外に好きなものは何かって言ったら、ディズニー映画！　とりわけ『白雪姫』が大好きなんだって。

——ガハハハ！　いいですねぇ、幼稚で（笑）。幼稚というか好奇心を素直に持てる人じゃないと格闘技でもダメですよね。

前田　いま、立ち技とグラウンドの間にわかれてるでしょ。立ち技とグラウンドの間にね、もう一個の攻防の世界があるんだよね。でね、昔の武道家っていうのは、そういうのをよくわかってたんだよ。だから寝た時点でグラウンドに入って仕留めるっていうのは最終手段で、一番いいのは立ち技でパーンと仕留めるということ。その次の段階が立ち技からグラウンドに入る中間地点で仕留めたら、力もいらないし、相手もバランス崩してるから力入らないからコントロールできる。いい環境なんだよね。その部分でどうするかっていうのがあったんだけど、いまのただ投げるだけとか、倒すだけとかさ、そういうのの中間に技術があったんだよね。

——流れの中に技術があったということですね。いま、佐山さんが始めた掣圏道でも、マウントに行く前のニープレス……。

前田　そんな誰でもやってるやんけ！　いまさらなに言ってんの？　そんなの、百万年前のピテカントロプス！　ジャワ原人でもやってたよ。

——ジャワ原人（笑）。マウント取っちゃうと、うしろからバットで殴られたりする。ニープレスだと相手の腹にヒザを置いて周りを見渡せる。1対多数の市街地戦を想定してるのが掣圏道なんですよ。

前田　じゃあ、佐山聡は、バット持ったような奴と喧嘩したことあるんか？　アホなこと言うな！って。ニープレスで押さえるって言うけど、相手の両手両足は自由なわけでしょ？　じゃあいろんなことできるやんけ。相手の両手両足が自由なのに片足を腹に乗せただけで制せるっていうのは条件があって、それは相手が弱いということっちゃ。その条件に立った上での技術だから、それじゃダメですよ。掣圏道は弱い者イジメの技術ですよ。

——いや、「弱き者を助ける武道」って言ってますよ、佐山さんは。「佐山格闘技は愛です」とも、こないだ有明コロシアムで言ってました。

前田　……愛ね。

——「弱き者を助ける」と。

前田　あの人は自分が助けてほしいだけだよ。

——ガハハハ！　もういいです。これ以上聞くとこっちが怖くなってきますよ（笑）。その掣圏道に長井（満也）選手が入りましたね。知ってましたか？

前田　（「へぇ〜」という表情で）知らない。

——「SAプロレス」というプロレス部門に入ったんですよ。

前田　いや〜、あいつ、根本的に問題があってね、精神的なもんだよね。それを本人が気がつかないと、なにやってもダメですよ。なにやっても自分で責任取れないんだよ、あいつ。人のせいにするんだよ。自分がないの、自分が。自分がやるべき役割とかもわかんない。センサーの欠如ですね。

——いままでの話だと、掣圏道は視野に入ってないわけですか？

前田　いや、無視するとかじゃなくって、何やってるかわかんないんだよ。まだ水面下に隠れてんだか、なんなんだかわかんないけど。

——しかし、前田さんは〝無視しない人〟ですよね。

前田　しない！　せっかくこの世に生まれてきたんだから、いろんなもんと関わるのが面白いんやんけ。死ぬときは楽しく、やね。

——死ぬときは楽しく、ですか!?

前田　生まれてきたときっていうのは人間、無意識でしょ？　逆に死ぬときっていうのは長い人生の間で自分のセンサーを磨いて磨いて磨いて、その頂点で死ぬわけじゃない。無意識から意識に生まれてくるのが誕生。意識から無意識に帰っていくのが死。そう考えていくと、死ぬときって面白いんだろうなと思うね。

——ゲ！　死ぬときって面白いんですか？

前田　死ぬって、どういうことなんだろう？って考えるよ、俺は。船木（誠勝）なんかは「死ぬのは怖くない」とかバカなこと言ってたけど、もともと死ぬのは怖いことなんかじゃないんだよ。俺はこの世界に入ったとき、「試合の上で死ぬこともあるだろうな。それはしょうがないだろうな」っ

ワールドメガバトル・オープントーナメント King of Kings Aブロックトーナメント表

Bブロックと併せ計8名が、2000年2月26日に行われるGRAND-FINALに進出

- 山本宜久（リングス・ジャパン）
- ブラッド・コーラー（アメリカ）
- イリューヒン・ミーシャ（リングス・ロシア）
- ジャスティン・マッコーリー（アメリカ）
- ヴァレンタイン・オーフレイム（リングス・オランダ）
- アントニオ・ノゲイラ（ブラジル）
- ギルバート・アイブル（リングス・オランダ）
- コーチキン・ユーリー（リングス・ロシア）
- グロム・ザザ（リングス・グルジア）
- レナート・ババル（ブラジル）
- リー・ハスデル（リングス・イギリス）
- ラバザノフ・アフメッド（リングス・ロシア）
- ゴギテゼ・バクーリ（リングス・グルジア）
- ダン・ヘンダーソン（アメリカ）
- 金原弘光（リングス・ジャパン）
- ジェレミー・ホーン（アメリカ）

「読者にやさしく」がモットーの本誌が概要をおさらいしておこう。まず10・28代々木では、Aブロック1・2回戦が行われる（つまり勝者は1日2試合）。続く12・22大阪のBブロックでは大物参戦が噂されており、万が一山本vs小川が再延期でも、豪華メンバーが予想される。そして年明け2・26武道館でABブロック1・2回戦を勝ち上がった8名によるワンナイト・トーナメントで優勝が決まる。

さて、今回のルールは以下の通り

○オープンフィンガーグローブ着用での顔面パンチあり（グラウンドでのパンチはなし）。

○ロープエスケープ、ダウンカウントなし。

はたしてタリエルの顔面パンチは見れるか!?　これぞリングス活性化！　行って、行って、カモン!!

ていう覚悟をした。それは怖いんじゃなくて、あり得ることだから覚悟したんだよ。死んでいくのに、カッコいいとかカッコ悪いとかはない。「死ぬのが怖くない」とか言ってカッコつけてると、イザ、死ぬときにジタバタしちゃうんだよ。

ーはぁ〜、深いですね。

前田　死ぬのは一番気持ちいいときにね。「死ぬぅ〜」とか「イッちゃぅ〜」って言うでしょ。

ーわかりました。もうけっこうです。トーナメントの話に戻ります（笑）。

前田　はい（笑）。

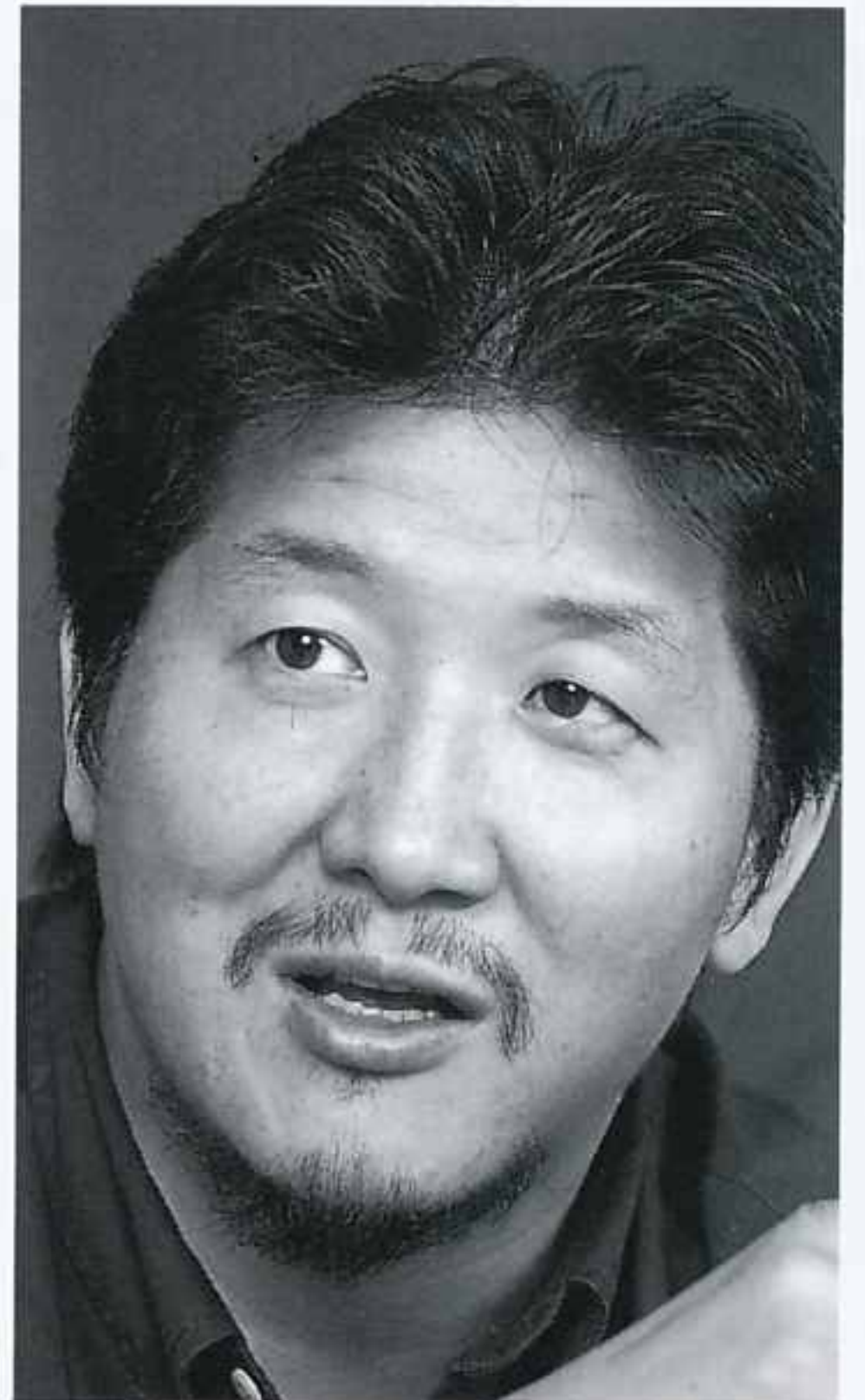
ーオープントーナメント開催といい、ここ一連の流れを見ていると、変な言い方ですけど、格闘技というものに前田さんの好奇心が戻ってきてるような気がするんですよね。格闘技を通じて世の中のあらゆるものとアクセスしていこうというね。

前田　武道精神を持って、やね。いまいろんな奴に喧嘩売ってるからね（笑）。あと来年アマチュアの方もやっていきますよ。なにが必要なのかとか、どういうセオリーでやっていくのが一番いいんかなってズッと考えてると、自分なりに「これはダメだな」とか、いろいろわかるんですよね。UFCだなんだかんだって言っても、世界のトップレベルの争いじゃないんですよ。ウチはハッキリ言って全員トップなんですよ。トップなり、トップを経験した奴。12月（22日＝トーナメントBブロック1&2回戦）は凄いことになるよ。凄いことになる。高阪も田村も出る。で、だいたい1ヶ月前にカード発表やりますよ。

ーそれは非常にありがたいです（笑）。トーナメントのルールについて文句をつけてくる選手はいないんですか？

前田　皆無！（キッパリ）。

ー12月は他団体からの日本人選手の参加っていうのはあり得ますか？

前田　打診はしてるんですけどね。意気地がないのかなんなのか。まあでも、団体の経営っていうのもあるから、そう考えるとそんなにいいカードだったらウチでやれば客が来るのにって考えるだろうからね。それぞれの団体も選手を食わしていかなきゃいけない、組織を運営させなきゃいけないっていう部分で、気軽に「ゴー」とは言えないと思うんですよ。でも、みんな勘違いしてるけど、ウチは「団体」っていうんじゃないんですよ。運営上、団体に見えるようなこともしてきたけど、それは維持していくためにはしょうがないことであってね。基本に立ち返ると、「世界最強の男はリングスで決める」。そういうことですよ。

ーリングスという"場"であるということですか。

前田　俺がやってきたことを、いろんなヤツがパクるからね。K−1とKRS！

ーガハハハ！　奇しくも両方、Kがつきますね。

前田　「ハレ」と「ケ」のKですよ。汚れてるんですよ。

ーガハハ！　怖い（笑）。前田さんと話してるとホントに怖い。でも面白い。ところで、いま『PRIDE』というのは、いま前田さんから見てどうなんですか？

前田　何がやりたいのか、わかんないんだよ。いまWWFとどうのこうのって言ってるんでしょ？　単純にビジネスと思ってしかやってないね。それがいいか悪いかっていうのは俺にはわかんないんだけど、まだ日本の格闘技業界っていうのはそこまで行ってないから、周りが注意してやんないと、KRSみたいに、せっかくいろんな人間が苦労してここまで立ち上げてきたものを、全部壊しちゃうことになりかねないからね。

ーいろんな意味で過渡期ですね。ところで10・11の小川vs橋本戦の感想を聞かせてください。

前田　（力を込めて）ガッカリ！　橋本はなんのためにこんな長い間、いろんなことやってきたんだろうなぁ。それで記者会見で暴れたんだろうけどさ。もし、それも含んでのアングルだったら腐ってるね。みんなアングルっていうことを勘違いしてるんですよ！　昔さ、世代闘争とかいって、わけのわからんことやってたでしょ。

ーわけのわからんこと（笑）。前田さんや長州さんが、猪木さんや坂口（征二）さんに噛みついて、世代闘争してたときですよね。

前田　「みんなそれぞれしゃべってくれ」って前もって言われててさ、「前田はこう言え」とかね。でも俺は、リングに上がった瞬間にアホらしくなってさ、キレただけだよ。ついつい「誰が一番強いか決めたらええんや！」って言ってしまった（87年6月12日両国）。

ーガハハハ！　ついつい（笑）。

前田　それがアングルですよ！　それがホントのアングル！　わかってないんだよ、みんな。アングルを単なる予定調和だと思ってるんだよ、みんな。でも予定調和って言ってもね、人間が最初から決めたこととか、最初から思ってる調和だったら、全然人間を引っ張れないですよ。人間が思わなかったような調和の頂点をパッと提示しないと。

ー人間が思わなかったような調和の頂点！　今日はホントにボンポンと名言が飛び出しますね。『週刊プレイボーイ』で糸井（重里）さんが広末涼子にインタビューしてたんですけど、その中で「10のうち3まではちゃんと計算できるけど、あとの7は運。その偶然性を呼べる人が強いんだ」みたいなことをしゃべってたんですよ。その前田さんの「誰が一番強いか決めたらええんや！」って

いうのもそうで、偶然そう叫んだら、それがもの凄い勢いで波紋を呼んで、マット界が転がり始めましたよね（笑）。たぶん、前田さんが言う、ホントのアングルってそういうことなんじゃないですかね。

前田　ダンディーになんないとダメ！　ダンディーはね、人にショックを与えます。ダンディズムについて書いた本、貸してやろうか？　それ読んだらね、山口君が言ってる「プロレス的」とか「プロレスラー的」っていうのがもっとよくわかってくるよ。いま感覚的な部分で言ってるでしょ？　もっとよくわかるよ。

――よくわかりたいですね、そのへんは。小川選手っていうのも、いまのマット界の中では、ショックを与えられる存在だと思うんですけど、ダンディズムは持ってないですか？

前田　小川っていうのは、よくわかんないけど、ひとつ言えるのは不真面目だよ。グズってんだか、ゴネてんだかわかんないけど、不真面目だよ、不真面目！

――小川 vs 橋本戦は、ボクは凄く面白かったんですけどね。最近のプロレスにはない偶然性と必然性を感じましたね。

前田　猪木さんが出てきて「橋本よくやったな」って？　アホか！

――「猪木さん、ありがとうございました」って橋本選手は試合後に叫んでましたね。

前田　なんか、ゲイのラブロマンスみたいやな。ああいうのをゲイ能人っていうんだよ。

――ガハハハ。うまいですね。

前田　ラブロマンスに感動はないですよ。なんでかかっていうとね、感激がないから。

――感覚が激するものがない。

前田　理屈じゃないんですよ、理屈じゃ。

――それにしても最近のマット界って、プロレスだとか格闘技とか関係なく、さっきの糸井さんが言ってたような意味での〝偶然〞が少ないですよねぇ。

前田　上にいる人間が価値観にはまり過ぎちゃってるから面白くないんだよ。

――偶然が偶然を呼び込んで渦になっていくことって、あんまりないじゃないですか。試合の中での大番狂わせとか、そういうレベルではありますけど。さっきの前田さんの「誰が一番強いか決めればええんや」って言った瞬間に、新日本プロレスを拠点としても の凄いことになっていったわけですからね。そこから第二次UWFは生まれたとも言えるし。

前田　あれ言った瞬間、周りの視線を見て、「どうやってここでカッコつけたらええのか」って思ったからね（笑）。みんなは「コイツ、あと出しジャンケンしやがって」っていう目で見てたよ。俺も、「あ～、あと出しジャンケンしてしまった。でも俺の勝ちや！」ってね。

――クックック。しかも、あのとき噛みながら言ってましたからね（笑）。マット界全体に渦を起こすようなムーブメントが、このトーナメントをきっかけに起きないかなぁと思いますね。

前田　気をつけなきゃいけないのは、ダウンとか判定を繊細にシビアにしないと、なにが公正なのか、よくわからなくなってくるからね。

――よく格闘家の人が「格闘家っていうのは負けたら全てが終わりだから、とにかく絶対負けたくない。負けたら社会的にも死ぬことになる。絶対負けられないと思うと消極的になる」って言いますよね。

前田　って言うんだけど、現代の格闘技っていうのは、本当の意味での負けはないんですよ。本当に身体が壊れそうになって、その競技ができなくならない限りはね。生きてる限りはリベンジできる！　で、強烈なリベンジの印象を周りに与えていけばいい。それがプロですよ。

――ショックを与えていくのがプロ。人にショックを与えられない人間は勝っても負けてもダメってことですね。

前田　そう。ショックを与えられない奴は、いくら勝とうが負けようが、関係ないですよ。負けてもショックを与えられる奴はいるじゃないですか。結果に支配されずに、自分が与えたショックで時間を超越する。これですよ。

――なるほど。感覚が激するショックを受けるようなトーナメントになることを期待してます。

【10月13日・葉巻の香りが充満するリングス事務所応接室にて収録】

“ブラック・サイクロン”

ギルバート・アイブル

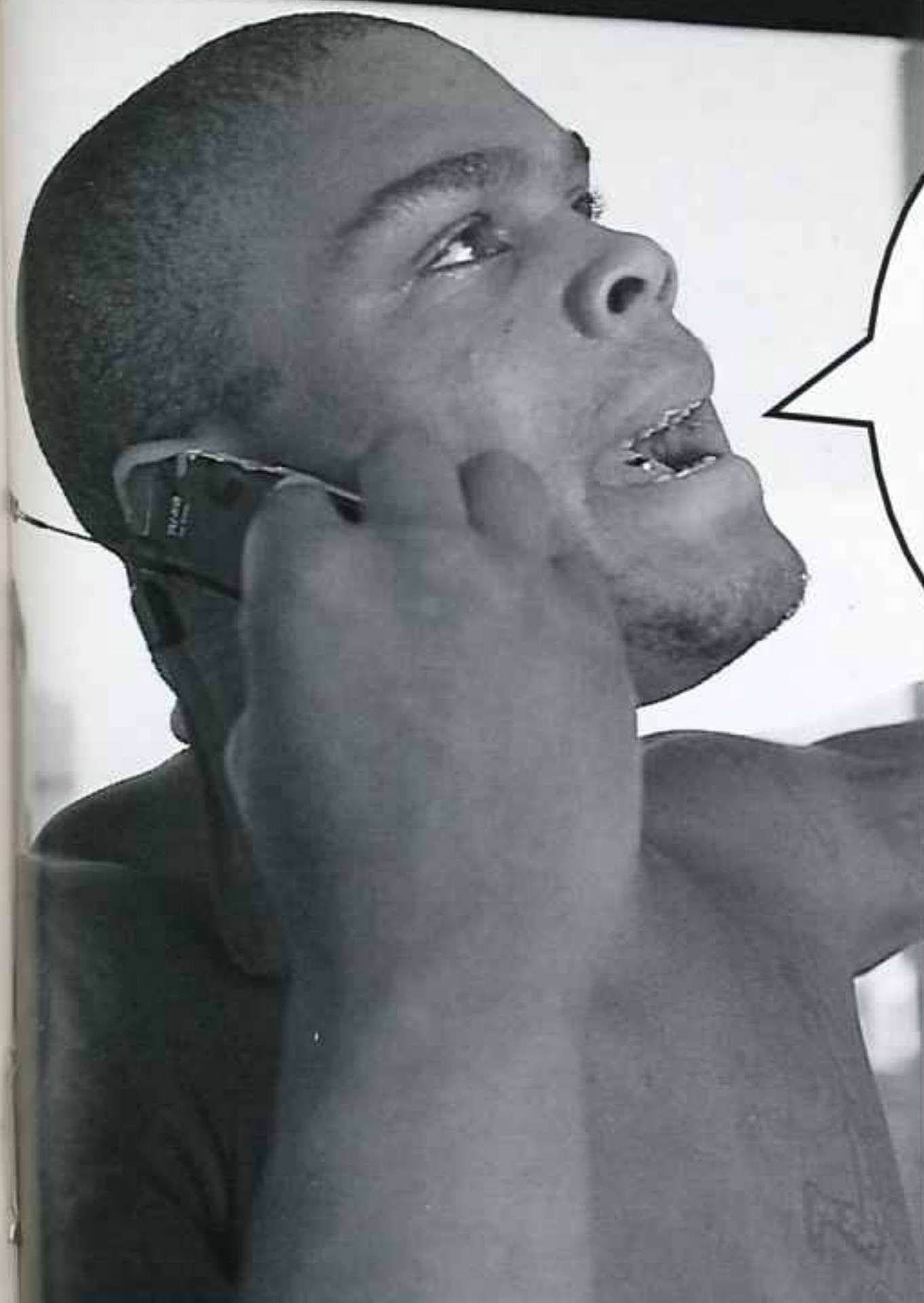
GILBERT YVEL

リングス、パンクラス、UFC、K―1、全てのチャンピオンになりたい！

聞き手／チョロ
interview by Choro

助っ人／ガンツ
helper by Gantsu

撮影／黒田史夫
photographs by Fumio Kuroda

リングスオランダといえば、泣く子も黙るケンカ屋集団とのイメージが強い。もちろんこのアイブルも正真正銘のケンカ屋である。しかし、この男をただの荒くれ者と思ったら大間違い。アイブルはバカがつくほど陽気な男なのだ。TK、オーフレイム、シュルトらを破り実績も申し分なし。調子にノッたらこれほど怖い男はいない。“バカ強いケンカ屋”ギルバート・アイブル。強烈なヒザ爆弾をひっさげ、オープントーナメント優勝宣言！

モシモシ〜 モシモシ〜

（待ち合わせ場所として指定された某ホテルの一室に入ると、アイブルはご機嫌な様子で何事か呟きながら接近してきた）

アイブル （日本語で）「モシモシ〜、モシモシ〜、スンマソ〜ン！」。ガハハハ！

――ご機嫌ですねぇ、アイブルさん（笑）。さっきから「もしもし」連発してますけど、いったい誰に教わったんですか？

アイブル 日本人はみんな言ってるよ。「モシモシ〜、スンマソ〜ン！ モシモシ〜、ドイタシマシテ」って。ガハハハ！

――ヒャハハハ！ アイブルさんは日本にはどういった印象があるんですか？

アイブル （即座に）ビルが多い！ みんな働きすぎ！ あまり笑わない！ みんなマジメな顔でワーキング、ワーキング！ いつも「ハタライテル」（笑）。

――ヒャハハハ。ホント日本語好きですね。でもやっぱりアイブルさんにとって、母国のオランダが一番なんですね。

アイブル （楽しそうに）イエ〜ス！ 特にアムス（テルダム）には、キミたちが欲しいモノがすべて揃ってるんだ（笑）。なんでもあるよ！

――それは行ってみたいですねぇ（笑）。例えばどんなモノがあるんですか？

アイブル （さらに楽しそうに）いいかい？ まずダッチガールは最高だろ（笑）。それにドラッグもあるし（笑）、ピストルもあるから。「バン、バーン!!」って！

――まさにセックス＆ドラック＆ロックンロールの世界ですね（笑）。

アイブル ＯＨ〜イエ〜イ！ アムスでは何をやってもオッケーなんだ。例えば、裸で街を歩いても、ちょっと変な顔をされるだけで特に問題ない（笑）。それがアムスのいいところ。ガハハハハ！

――ジャパニーズガールもかわいい娘はいると思うんですけど、やっぱりダッチガールはズバ抜けてるわけなんですか？

アイブル オランダの女性は何をしたいか、されたいかってことを子供の頃から全部分かってるんだ。ジャパニーズガールも綺麗なんだけど、ちょっと小さすぎるからな（笑）。その点、ダッチガールは（嬉しそうに）みんなナ〜イスバディ!!

――ヒャハハハ！ そういえばナイスバディ好きの前田社長が言ってましたけど、アイブルさんの舌ピアスは女の子を喜ばせるために付けてるらしいですね（笑）。

アイブル ガハハハハ!! ミスターマエダが言ってたのか。（舌をベロ〜ンと出し）これを付けてるのは第1にファッション。

――1にファッション！

アイブル 次に女の子が見てキスしたいと思うようにね（笑）。

――2にアクション！

アムスにはキミたちが欲しいモノがすべて揃ってるんだ（笑）

アイブル 3番目は（舌を激しく上下させ）想像にまかせる！ ガハハハハ！

――ヒャハハハ！ 実用的なんですね（笑）。アイブルさん最高！ さて、本題に入らせてもらいます。アイブルさんのファイトというと、高阪（剛）選手との2試合が印象深いんですけど、まあこの間（8・19横浜文化体育館）は不本意な結果だったでしょうが、高阪選手にはどのような印象を持ってるんでしょうか？

アイブル 最初の試合（4・23大阪府立体育館）はコーサカが常にグラウンドで闘おうとするからちょっと時間がかかったけど、立って闘えばそんなに時間はかからなかったと思うよ。この間の試合はアクシデントだからしょうがないけど。

――最初の対戦で、ロープを掴んで蹴ったのを、高阪選手は「アレは反則ですわ」って言ってましたけど。

アイブル コーサカは「ファイト」ってものをよく知らないんじゃないか？ オランダでもムエタイでもキックボクシングでもロープを掴んで蹴ってもいいわけだし、ジャンピングキックはロープを掴まなきゃ自分が倒れてしまうからな（笑）。この間の試合もそうだけど、その辺のルールはもう少し考えてもいいんじゃないか。ガハハハ！

――アイブルさん、そこは笑うとこじゃないです（笑）。アイブルさんの考えるベストなルールってどんなルールなんですか？

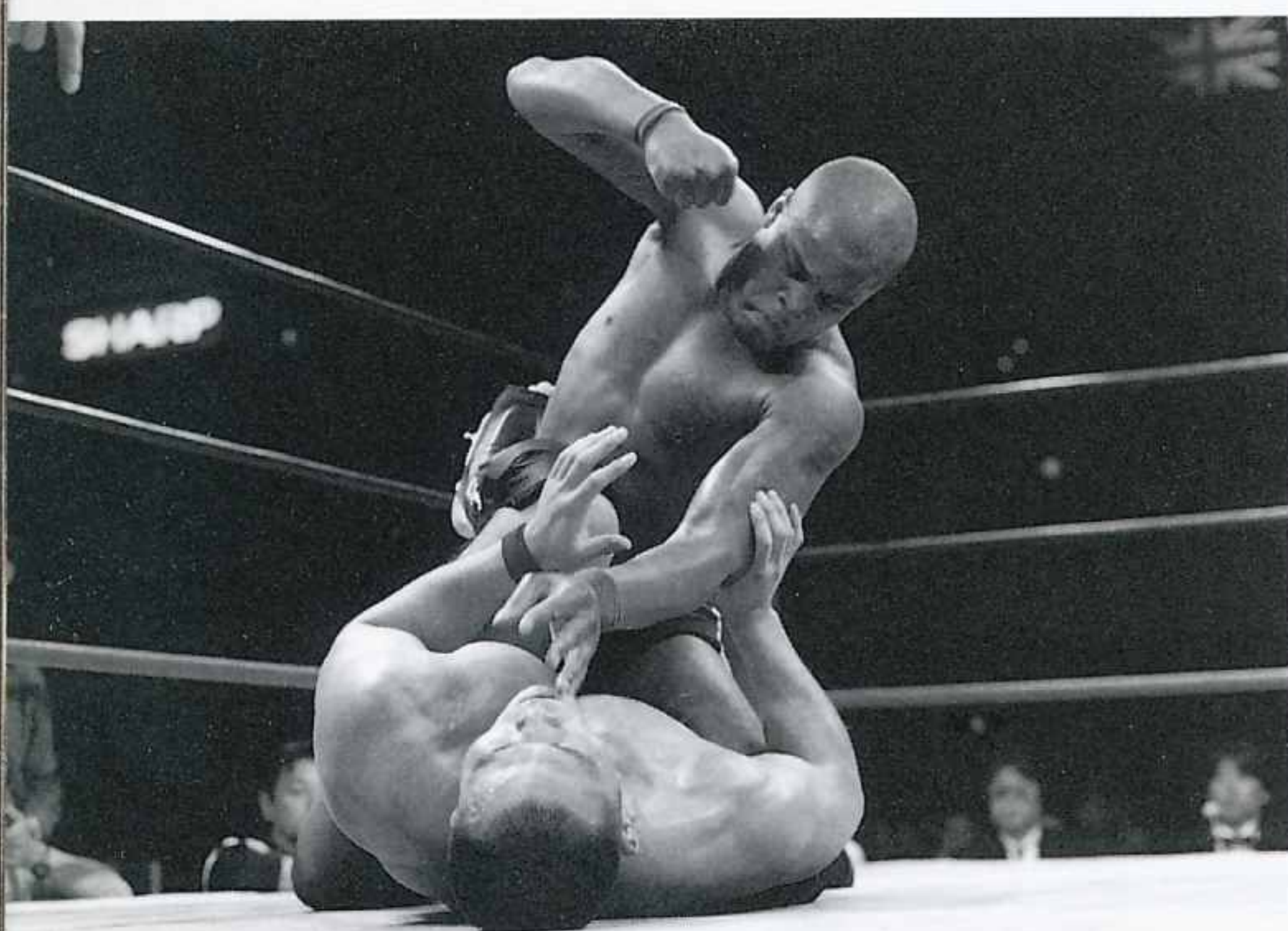
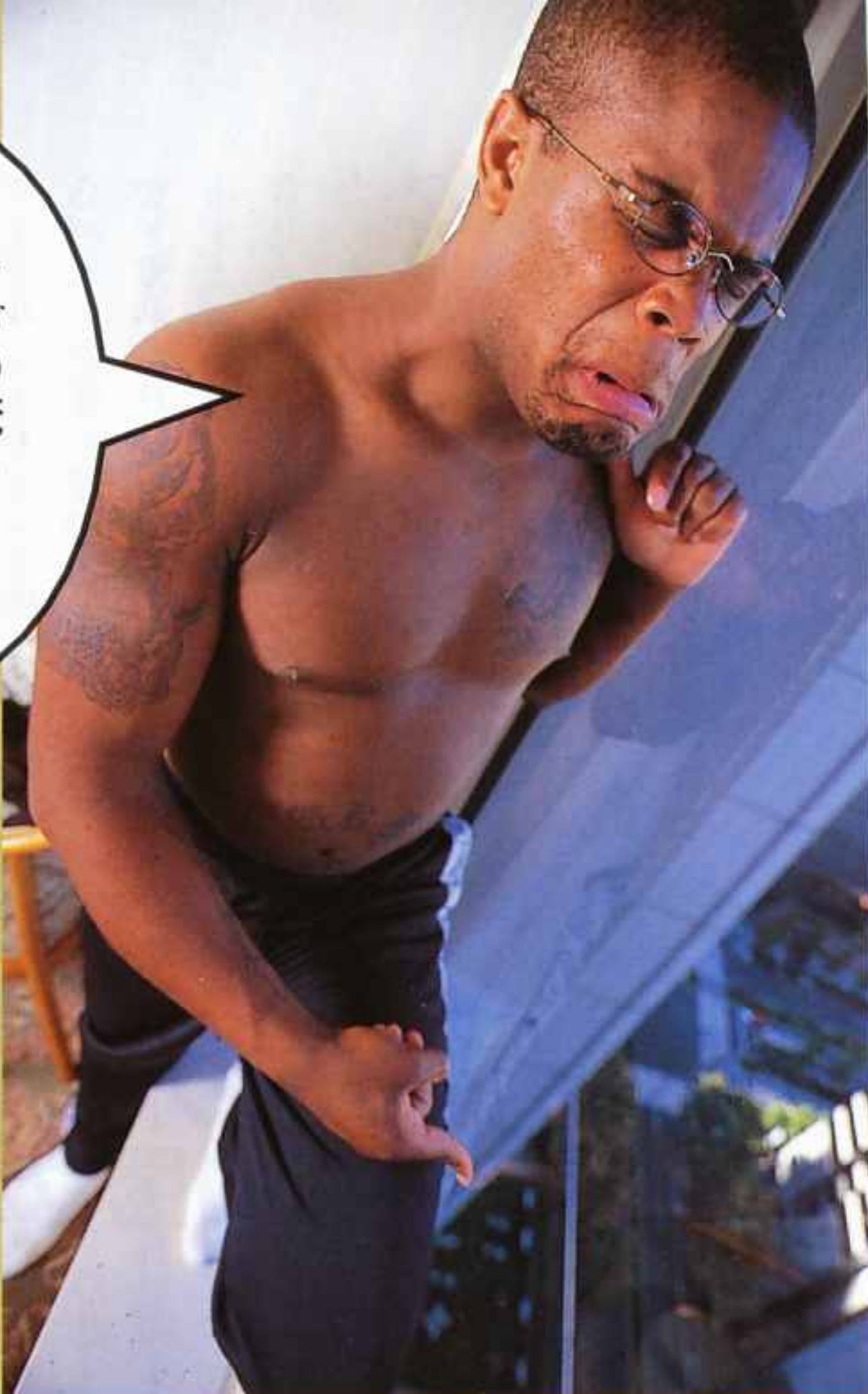
アイブル いろんなルールがある中で、なぜ俺がリングスルールを選んだかというと、このルールはケガが少ないからなんだ。好きなルールって言ったらバーリ・トゥードだけど、今までバーリ・トゥードを3回やってみて、やっぱりケガをしちゃったからね。それを考えるとバーリ・トゥードが好きだからバーリ・トゥードがやりたいとは一概には言えないな。

――アイブルさんとしてはやっぱり制限の少ないルールの方がいいわけですね。でもリングスルールっていっても日本とオランダではルールが違いますけど、どちらがベターだと思いますか？

アイブル 日本では自分のヒザがマットに

8・19横浜文化体育館。開始早々から、わがままなヒザ小僧でTKに襲いかかっていったアイブルだったが、TKのロープ際での投げとともに両者はリング下に転落。その際、TKは両手首と右足首を負傷し試合続行不可能に。試合は、その時点でのポイント差でTKの判定勝ち。アイブルは不本意な形で日本マット初黒星を喫してしまった。

ストリートファイトは5歳の頃にデビューしてるから、400勝なんて楽にいってるよ!

付いた状態じゃないと相手を殴ってはいけないだろ？　オランダでは顔面以外ならどんな体勢からも殴っていいんだ。それにレガースやニーパットもしなくていい。そこがオランダのいいところ。
——さすがはオランダ、望むものはなんでもあるわけですね（笑）。話は変わりますけど、やっぱりアイブルさんは、小さい頃からケンカばっかりしてたんですか？
アイブル　イエ～イ（笑）。（嬉しそうに）ちっちゃな頃からメチャクチャ悪かった。
——ちっちゃな頃から悪ガキで（笑）。
アイブル　（更に嬉しそうに）8歳で不良と呼ばれたよ（笑）。
——チェッカーズも真っ青ですね（笑）。
アイブル　（意味もわからず）ガハハハハ！　その頃からマウントを覚えて「ドゥーユーギブアップ？」って聞きながら「バン！　バン！　バン！」って殴りまくってたよ。楽しかったなぁ～（笑）。
——ヒッドイ男ですね（笑）。でもそれじゃマウント歴も相当長いですね。
アイブル　そういうこと（笑）。それで10歳になったら今度は石ころやビンを使って殴ることを覚えたんだ。ガハハハ！
——年とともにだんだんとエスカレートしていくわけですね（笑）。
アイブル　（エンジン全開）中学生になったらバットを使って殴るようになっちゃってな。ガハハハハハ！
——「ガハハハハハ！」って、笑ってる場合じゃないですよ！　もうオランダは行きたくないなぁ（笑）。
アイブル　ガハハハハ！　でもホント、も～う手が付けられないくらい悪かったよ。すっごい悪ガキ！
——さすがオランダの暴れん坊！
アイブル　ケンカしないヤツはフライドチキンみたいに太っちまうんだよ。
——チキンなヤツはチキンになっちゃうと（笑）。それじゃあ、ヒクソン（・グレイシー）選手どころの騒ぎじゃないですね？
アイブル　ガハハハ！　そうだなぁ、5歳の頃にデビューしてるから、そこから数えたら400勝は楽にいってるよな？
——それは間違いないですね（笑）。ちなみに前田社長は2000戦全勝って言ってるんですけどね。
アイブル　OH～！（笑）。でも一発「バンッ!!」って殴り倒したのも1勝って言うんだったら俺も一晩で10人倒したりしてるからなぁ。もう、400勝どころか、1000勝はしてるだろ。
——頼もしいなぁ（笑）。さすが（クリス・）ドールマンさんが、「アイブルはこれからのリングスオランダを引っ張っていく男だ！」って言ってるだけありますね。
アイブル　（たまたま傍らにいたフィエートに気付き）それはあんまり大きな声で言うな。今はそうかもしれないけど、将来は分からないよ。なんつったってフィエートがいるからね。ガハハハ！
——それでですね、（ヴァレンタイン・）オーフレイム選手のことを……。
アイブル　（きたか、という感じで）ガハハハハ！　「ハイ、ナンデスカ？」。
——もう何回も聞かれてると思うんですけど、アイブルさんとオーフレイム選手は危なくて一緒に来日させられないっていう話も聞いたことあるんですけど、そんなに仲が悪いんですか？
アイブル　危ないって言うんだったら、それはヴァレンタインが俺のことを危ないって思ってるだけで、俺にとっては別にどうでもいいことだよ。
——アイブルさんは必要以上に陽気で、オーフレイム選手は真面目なタイプ。それでお互いファイトスタイルはアグレッシブで、そのうえ仲も悪い（笑）。となれば期待するのは二人の対決なんですけど、どうですかアイブルさん？
アイブル　俺自身はヴァレンタインと闘うことに、なんの問題もないよ。ノー問題！　（鼻歌を歌いながら）怖さなんて全然ないし、リングスルールでもバーリ・トゥードでもなんだっていいよ。
——アイブルさんはあまり意識してないのかもしれないですけど、オーフレイム選手は相当嫌ってるみたいですよ？
アイブル　面倒臭えなぁ。アイツが俺についてとやかく言うのはぶっちゃけた話、女のことが原因なんだよ（笑）。
——ヒャハハハハ！　原因は女なんですか！　わかりやすくていいなぁ（笑）。
アイブル　俺と仲のいい娘が以前ヴァレンタインと付き合ってたとかなんとかで、あだこうだ言ってくるんだよ。
——「アイブルに彼女を取られた」って言って怒ってるんですかね？
アイブル　その娘はヴァレンタインとはなんでもないって言ってるんだけど、アイツはそのことで俺にジェラシーを感じてんじゃないか（笑）。それと、もう一つ考えられるのは、アイツは日本でもオランダでも希望の星とか呼ばれてたのに、今は俺がそう呼ばれてるだろ（笑）。それに嫉妬してるんだろうけどな。ガハハハハ！
——今度のオープントーナメントで白黒ハッキリつけてもらうしかないですね。
アイブル　ノー問題、ノー問題！
——好き嫌いはともかくオーフレイム選手とは、いいライバルになりそうですね。
アイブル　いや、アイツのことはライバルとは思ってないから。ライバルっていえる相手はリング上でもプライベートでもいないよ。
誰かいる？
——う～ん、1回勝ってますけど、セーム・シュルト選手も手応えはあまり感じなかったわけですか？
アイブル　シュルトと試合をしたときは、団体も違うから情報も何も知らなかったんだよ。デカくて大変だったけど、俺が勝ったから彼に対しても特別ライバル意識はないね。やっぱり他団体の選手と闘う場合は勝った者が全てだよ。
——そうかぁ。それとア

4・23大阪府立体育館。とにかくヒザ、ヒザ、パンチ、ヒザ、ヒザと徹底的に攻めまくったアイブルが、大方の予想を覆し高阪剛を血まみれＴＫＯで下した。この結果、アイブルはランク外から一気にランキング1位まで昇りつめ、一夜にしてリングストップ外人の座を手中に収めた。

さすがの俺も
高い所と女にゃ弱い。
トホホホ。

イブルさんと言えば、オイル疑惑がありますね。高阪選手もオーフレイム選手も、「アイブルはオイルを塗ってるんじゃないか?」って言ってますけど、真相はどうなんでしょう?

アイブル　俺はキックボクシングでもフリーファイトでもオイルを塗ったことはないよ。ただひとつだけハッキリ言えるのは、俺は汗っかきなんだ（ニッコリ）。

——オイル疑惑の真相はただ単に汗っかきってことだったんですね（笑）。

アイブル　♪ピンポ〜ン（笑）。たぶん俺に負けたヤツが言い訳として、オイルを塗ってるとか言ってんだろ（笑）。

——やっぱりリングスマットでの最終目標は、無差別級チャンピオンベルトを奪取することになるんですよね?

アイブル　まあチャンピオンと闘えと言われれば喜んで闘うけど、あんまりチャンピオンに挑戦するっていうのは好きじゃないな。挑戦する前に「ブッ殺してやる!」「必ず勝ってやる!」とか、アピールするのが俺は好きじゃないんだ。

——不言実行タイプなんですかね。

アイブル　どっちかっていえばそうだな。でもやっぱりベルトは欲しいよ。ベルトを獲ったらベルトを巻いたまま町を歩くんだ。人が来たらコートを広げて「ジャジャ〜ン」って見せびらかすのさ（笑）。

——ヒャハハハ！　それはただの危ない人ですよ（笑）。現在リングスの無差別級チャンピオンの田村（潔司）選手には、どういった印象をお持ちですか?

アイブル　タムラ?　タムラはプリティーボーイ（笑）。

——プリティーボーイですか（笑）。

アイブル　身体もいいし、マスクもいいしグッドファイターだと思うよ。グラウンドもウマイし、右のキックもいいしな。でもタムラの目付きにちょっと傲慢さが見えるけどね。でもベルトもいいけど俺はトロフィーの方がいいなぁ。オランダではいつもトロフィーが出るんだけど、リングスではあまりトロフィーを出さないだろ?　俺はベルトとトロフィーが欲しい（笑）。

——実に欲張りでいいですね。タイトルマッチが決まったら、ウチがシュルト級のデカいトロフィーを用意します（笑）。

アイブル　（満面の笑みを浮かべ）ＯＨ〜、セ〜ンキュー！　ガハハハハ！

——あと、山本（宜久）選手が、「アイブルと王座挑戦権を賭けて闘いたい」と言ってるんですけど、山本選手の印象はいかがですか?

アイブル　ヤマモト?　う〜ん、ヤマモトはキックやパンチが特別いいとは思わないし、グラウンドがズバ抜けてウマイとも思わないし。でも結果としてはそんなに悪くないだろ。たぶんハートやガッツが強いんだと思うんだけどな。

——山本選手は、アイブルさんと「脳味噌が弾けるくらいの激しい殴り合いをしたい」って言ってますけど。

アイブル　望むところだよ。ただ、どうせやるなら掌底で殴るジャパニーズスタイルじゃなくて、拳で殴るオランダスタイルがいいな。これは言っておくけど、掌底じゃ誰も俺を倒せないって！　みんな俺の顔面を殴りたいって言ってるらしいけど、殴れるもんなら殴ってみろって！　それより速く「パンパンパン！」って俺が殴ってやるから。ガハハハハ！

俺はムービースターになりたいんだ。なりたいじゃなくてなるんだ!

——最後に、アイブルさんのマット界での最終目標を聞かせて欲しいんですけど?

アイブル　そうだな、まずあと3〜4年はトップで闘いたいな。俺はどこにいっても常にトップに立ちたいんだ。リングスのチャンピオン、パンクラスのチャンピオン、Ｋ−１でもチャンピオンになりたい。そして全てにおいてトップになったら、力が落ちる前にキッパリやめる！

——えっ！　もしかして、キッパリやめた後は政治家にでもなるんですか?

アイブル　その後はムービースターになりたい。なりたいじゃなくてなるんだ！

——アイブルさんもムービースター志望なんですか！　強い男たちはみんなそう言いますね。ちなみに憧れのムービースターは誰なんですか?

アイブル　ジャッキー・チェンみたいなのもいいし、ウィル・スミス、スティーブン・セガールもいいね。あとは、エディ・マーフィーもいいな（笑）。

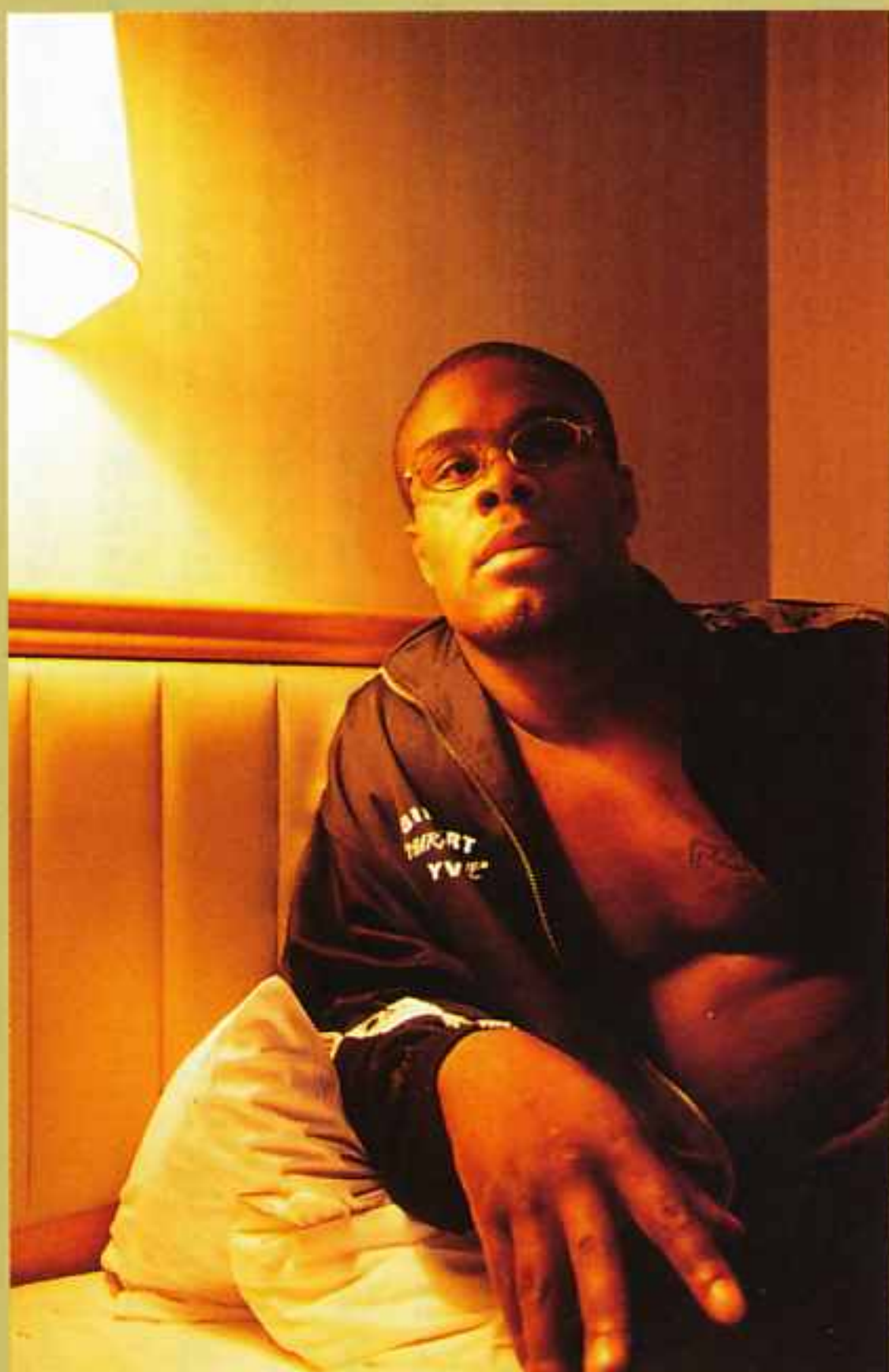
——アイブルさんならシリアス路線もコメディ路線も両方イケますよ！

アイブル　「ドモ、アリガトゴザイマス、ドイタシマシテ。モシモシ〜、モシモシ〜」。グッバイ！

【9月13日都内某ホテルにて収録】

ぎるばーと・あいぶる■1976年6月30日、オランダ・アムステルダム出身。187cm、95kg。アメリカ空手から始まったアイブルの格闘人生は、キックボクシング、ムエタイ、極真カラテと続き、97年にはヨーロッパ・フルコンタクト空手重量級チャンピオンにも輝いている。と同時に、若干23歳にしてストリートファイトでは400勝をゆうに越える戦績を残し、現在はその強力すぎる打撃に加え、初期リングスファンには懐かしのＦ・オーストロンからグラウンド技術も教わり、完全無欠のトータルファイターへの道を驀進中の陽気な男である。

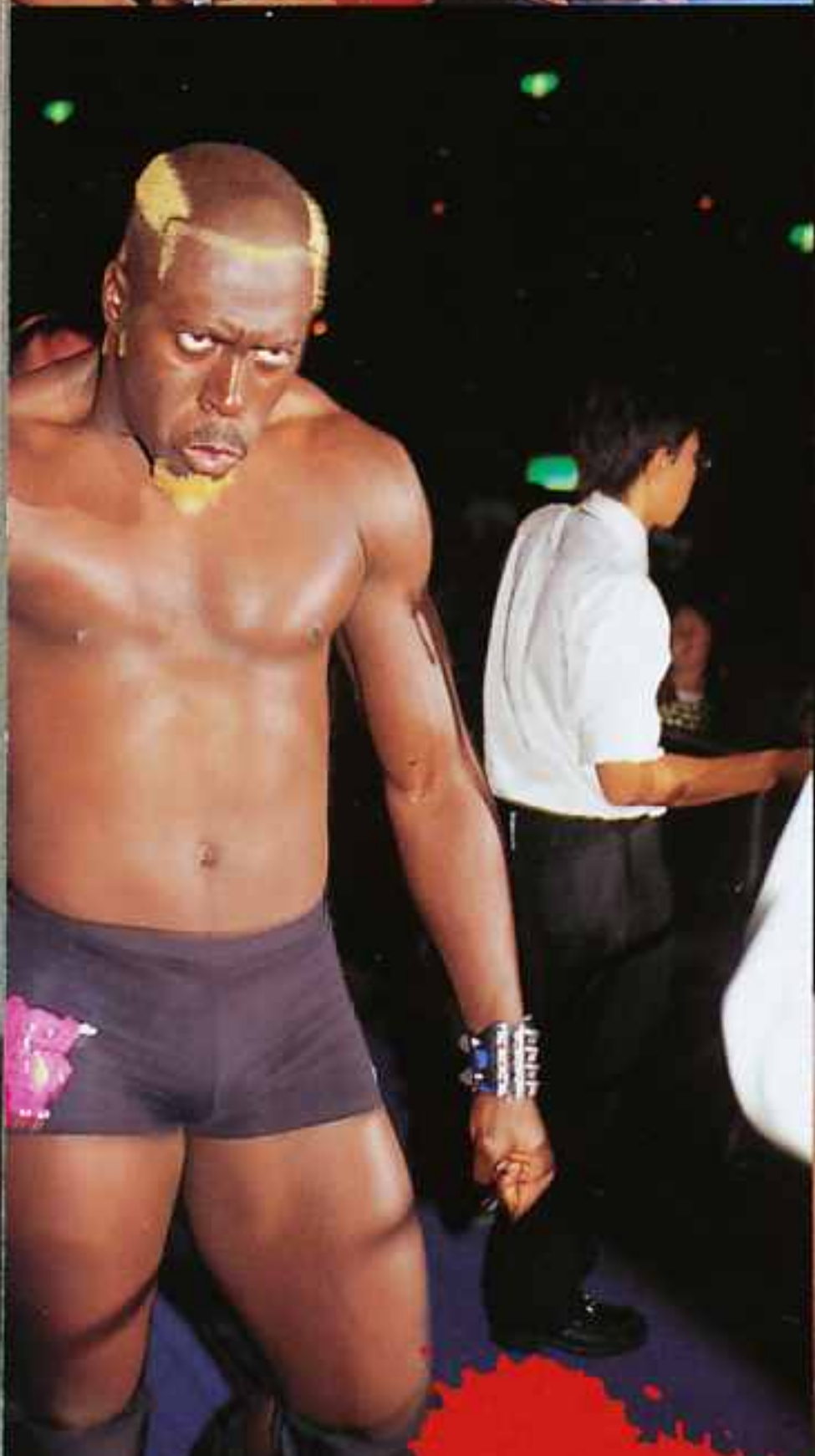
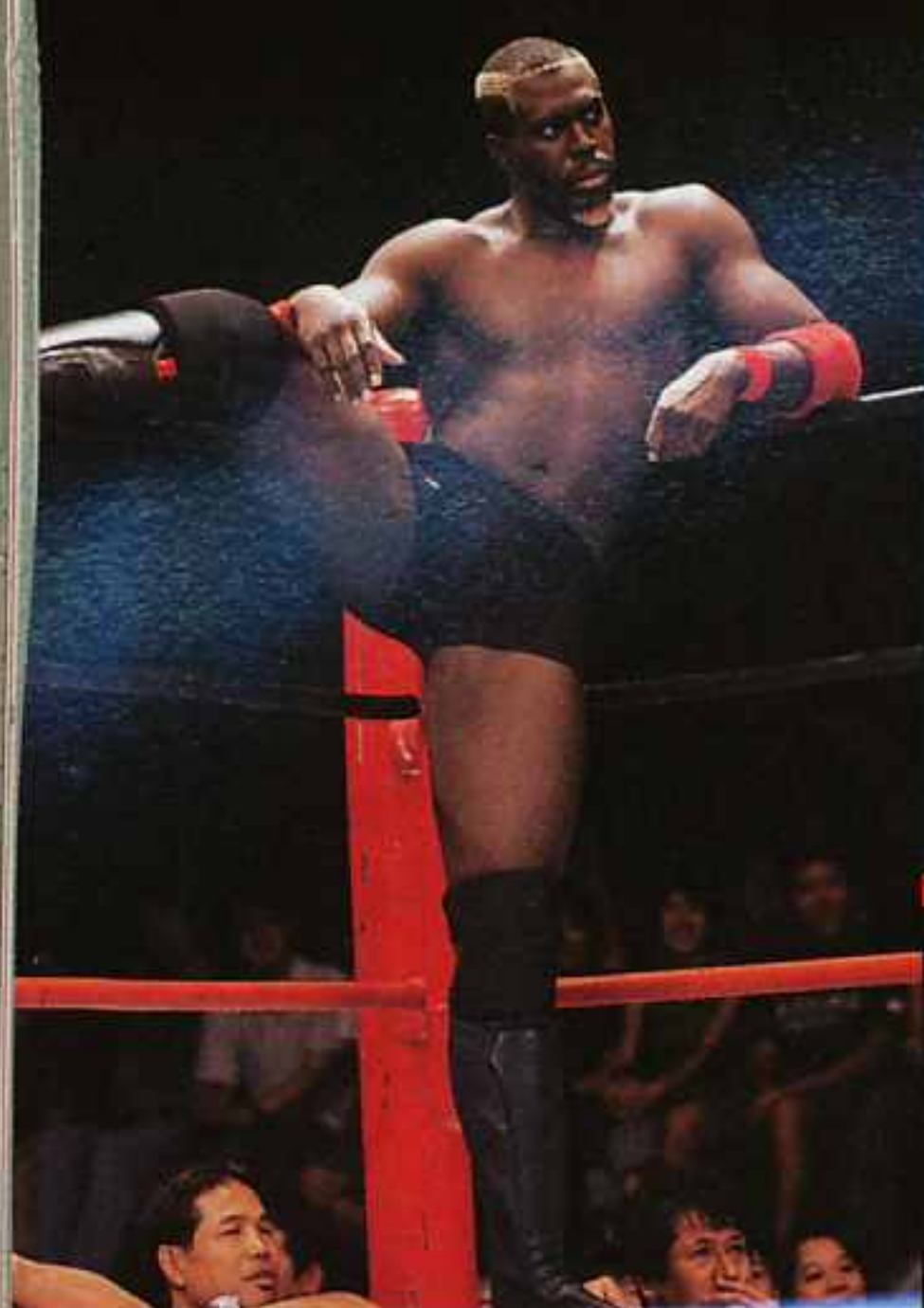
※10・14、WOWOW会議室にて、RINGSオープントーナメント『KING of KINGS』大会記者会見が行われ、Aブロックの全対戦カードが発表された。アイブルの一回戦の相手は、R・モラエスと引き分けたこともあるコーチキン・ユーリー。極真ではタリエルを上回る実績があるユーリー。さすがのアイブルでも一筋縄ではいかない相手だが、ここさえクリアすれば二回戦でアイブルvsオーフレイム戦という因縁の一戦が一気に現実味を帯びてくるのだ。突っ走れG・アイブル!

GILBERT YVEL

リングスの凶悪外人 本誌初襲来!!

RICARDO FYEET
リカルド・フィエート

見てみ！　このツラ！　この髪型！
どれをとっても申し分なし!!
久しぶりに現れたバケモノ外人、
リカルド・フィエート。
これからリングス・マットを
ドえらく面白くしてくれそうなこの男は、
見かけ以上に不思議な男であったのだ。

聞き手／中村カタブツ君（36歳）
interview by Nakamura Katabutsukun

撮影／黒田史夫
photographs by Fumio Kuroda

竹でヌンチャクを作りましたけど、あれはとても危険です。

ともかく、この男は驚きの塊！　こんな極悪そうなツラをしてるくせに話してみると実に礼儀正しくて人懐っこい。だが、よく話を聞いてみるとやっぱり変。前田日明CEOのフィエート評は「なんかこう体育会系の先輩・後輩の関係みたいなバカ礼儀正しさがあるね」とのことだが、ぶっちゃけたところ、計算してるのか、無邪気なのか、弱気なのか、強気なのか、非常につかみかねて、かなり混乱させられる。凶暴な風貌と、妙にソフトな発言とのギャップからは尋常じゃない不思議な魅力が漂ってくることは間違いなしだ。

――いやぁ、凄まじい髪型ですね（笑）。オランダの時はドクロ・カットだったんですけど、なんで髪型を変えたんですか。

フィエート　別に意味はないんです（笑）。

――は？　だけど、自分で変えたんですよね？

フィエート　いえ。床屋でやってきたんです。

――え？　いや、そうじゃなくて自分の意志で変えたんでしょ？　どうして変えたんですか？

フィエート　気の向くままです。試合の度に気分で変えるんです。どういう試合になるのかも分からないし、人々が私をどう見るのかも分からない。だから試合の度に変えているんです。気にしないでください。

――はぁ～、なぁんかイメージが違うなぁ。

フィエート　リング上とは違って、普段の私は怖くはないですよ（笑）。

――ズバリ言って礼儀正しいし、実に人懐っこいです（笑）。フィエート選手は自分のことをどういう風に見られたいんですか？

フィエート　リング上の私はブラック・ヒーローのつもりです。黒人の英雄です（ニッコリ）。

――う～ん……。とにかく日本ではあなたのことを野獣系の選手として報道されています。

フィエート　それならそれでいいです。どんな風に呼んでいただいても構いません。パニッシャーなんてどうですか？（笑）。

――な～んか脱力するなぁ（苦笑）。まあ、日本ではビーストのような闘いをすると認識されています。

フィエート　ビーストと呼んでくれてもいいですよ（笑）。

――え～と……昔は喧嘩とかはしたんでしょうか。非常に逸話が多そうな気がするんですが？

フィエート　喧嘩は子供の頃しかしたことないですよ（笑）。

――ホントですか。

フィエート　本当です。

――ホ～ントにホントですか？

フィエート　子供の時だけですよ。

――うぅぅ……。じゃあ、なんで試合中はあんなに怖そうで失礼な態度なんですか？

フィエート　怒りが湧くことを思い出すようにしてるからです。

――ズバリ言って〝怒りのエネルギー〟というやつッスね！

フィエート　私は幸せな家庭には育たなかったんです。

――どんな家庭環境だったんスか！

フィエート　……言いたくありません。

――嫌な思い出があるんスか！

フィエート　……子供時代、私は両親にどこにも連れていってもらえなかったんです。

――はぁ？　あのぉ、家族旅行に連れていってもらえなかったことが怒りの原因なんですか（笑）。

フィエート　（寂しそうに）私はいつも家にいたんです。家から一歩も外に出してはもらえなかったんです。

――なぜなんですか？

フィエート　4歳の時に喧嘩をして、石で人を傷つけてからは両親は家から出してくれなくなってしまったんです。

――ほぉ～、石で人を。

フィエート　家族は旅行に行くけど私は行けなかったんですよ……。

――それは寂しいですね。家では何をしてたんですか？

フィエート　ずっと一人でした。そして14歳の時に石を拾ってきて自分でトレーニング器具を作って、身体を鍛え始めたんです。

――また石ですか（笑）。

フィエート　そうです。カンフーの動きも取り入れたりして徹底的に鍛えたんです。

――なんか暗闇を抱えてますね。そういう人は大好きです（笑）。で、ちなみにカンフーの動きはブルース・リーかなんかの影響なんですか？

フィエート　その通りです（ニッコリ）。ブルース・リーです。リーは静から動への動きが素晴らしくて、自分もそうなりたいと思ってるんです。静かな中で突然素早い攻撃をする、あれをやりたいんです（笑）。

――それは僕もリングスマットで見たいです（笑）。

フィエート　キミがお望みなら、次回の試合でお見せしましょう（笑）。

――是非お願いします（笑）。ブルース・リーの映画は全部見ましたか？

フィエート　全部かどうかは分からないですけど、アムステルダムに来た映画は全部見ましたよ（笑）。

――好きなシーンとかセリフはありますか？

フィエート　（ヌンチャクのポーズをしながら）やっぱり、これです（笑）。

――ヌンチャクとかを作ったりはしませんでした？

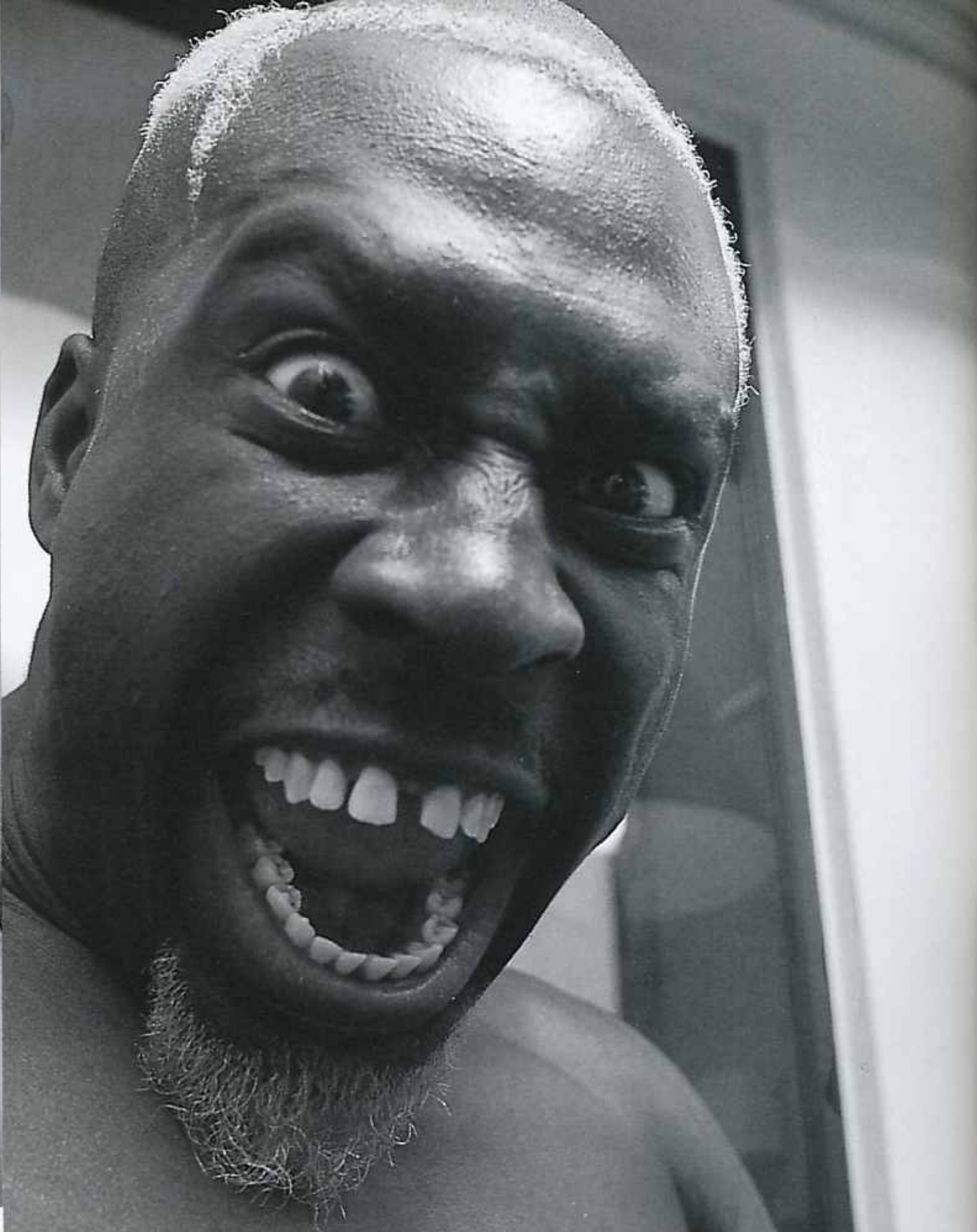
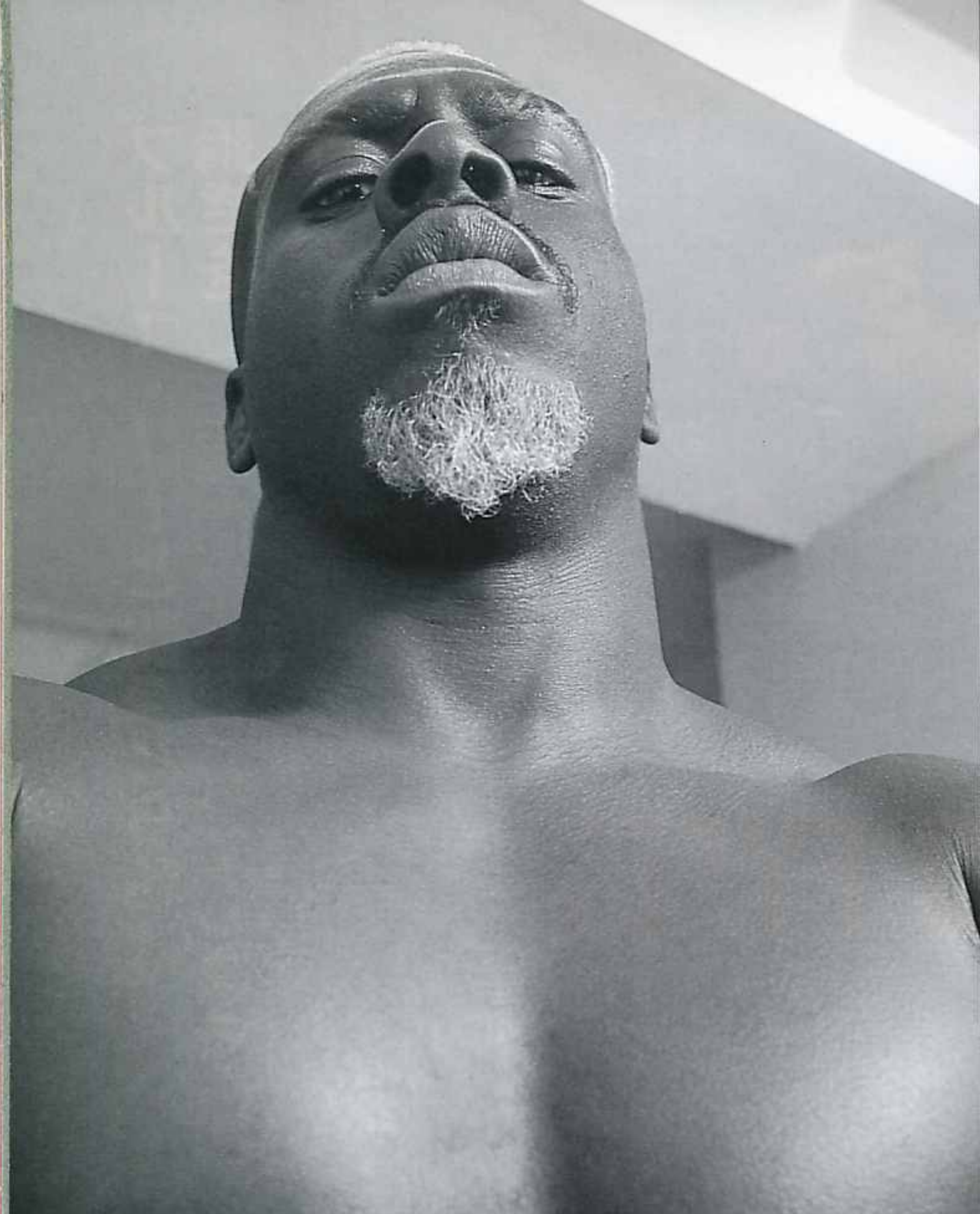
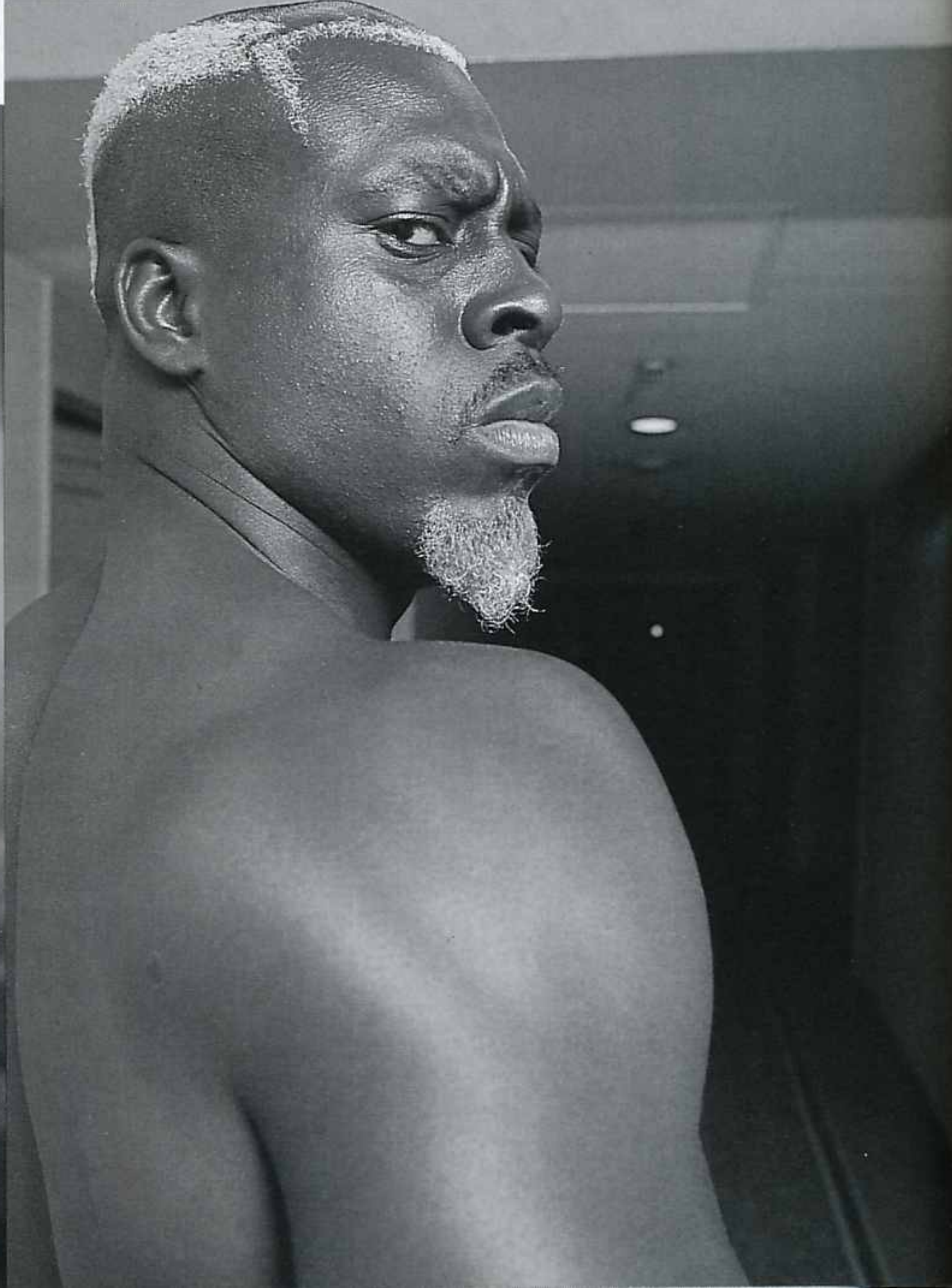
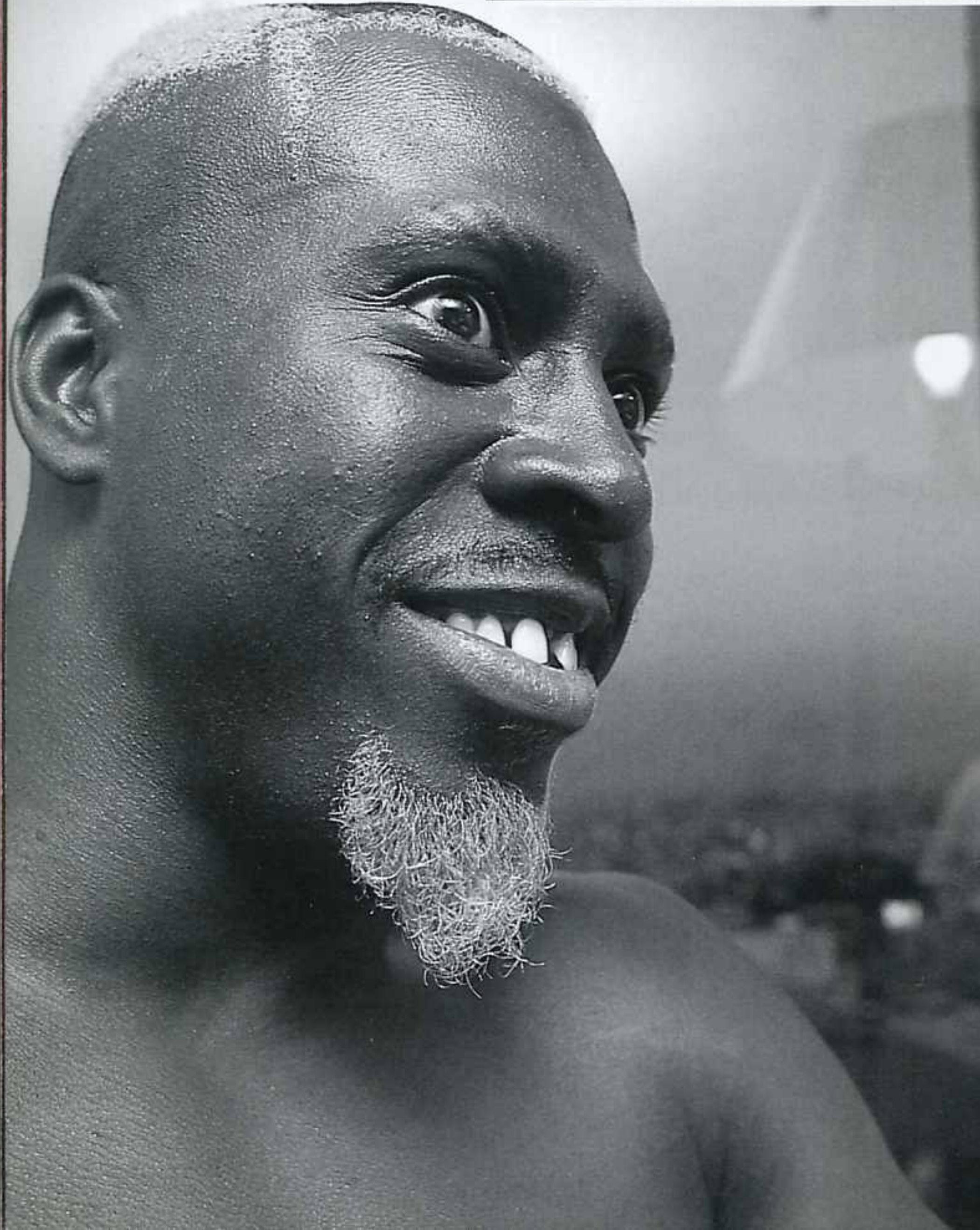
フィエート　もちろん（笑）。竹でヌンチャクを作りましたけど、あれはとても危険です（キッパリ）。

――ブルース・リーは映画の中で哲学的な話とかをするじゃないですか？「考えるな！　感じろ！」とか。ああいうのは好きなんじゃないんですか？

フィエート　（満面の笑みで）「ドント・シンク！　フィ～ル!!」。ハハハハハ！大好きですよ（笑）。試合の時、私は動きながら考えてしまうんですけど、理想としては目隠しをしたような状態の中で自然に身体が動くようにしたいんです。考えて考えて考え抜いた上でリングに上がり、感じるままに動く。それが私の哲学なんです（笑）。

――考えるのは試合前だけで、試合では感じたままに動きたい？

フィエート　リングに上がるときは誰でも怖れを感じるんです。その怖れを小さい頃の辛かったり、寂しかったことを思い出す

1976年９月24日スリナム・パラマリボ生まれ。185センチ、93.8キロ。キックボクシングの戦績は6戦6勝とリングスのパンフには書いてあったが、インタビューの時は9戦9勝。どちらが正しいかはたぶん本人もわかんないんだろうけど、無敗ということは間違いなしだ。今年6月20日リングス・オランダ大会に出場して、その独特の風貌で注目され、8・19のリングス横浜文体大会で初来日。凶悪なツラとファイトスタイルで一気にブレークし、翌月の9・15リングス後楽園大会では絶大な声援を受ける強豪外人。

RICARDO FYEET

ブルース・リーと闘ったら私は瞬きをした瞬間に殴られてしまう

ことによって打ち消して恐怖を感じなくする。そしてリング上では頭で考えずに動く。それが私のやり方なんです。

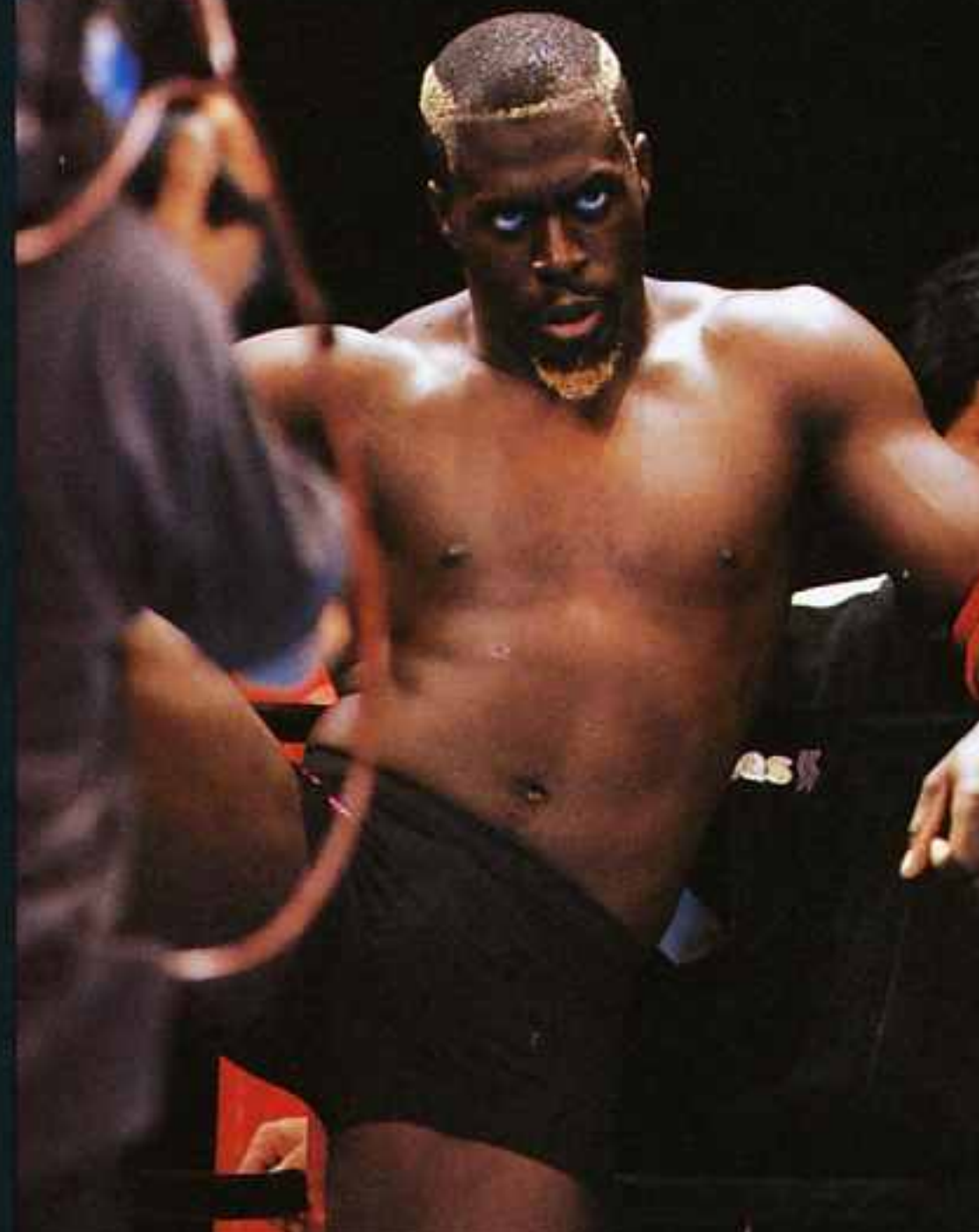
―試合をしてない時と試合中とどちらが本当の自分だと思っていますか?

フィエート よくわからないですが、試合中は気持ちがいいです。

―なんとなくですけど、わかるような気がします。では、格闘技歴について教えてください。

フィエート 格闘技は17歳の時にタイボクシング(キックボクシング)を始めたのが最初です。

―なんでタイボクシングを始めたんですか?

フィエート 本当はカンフーをやりたかったんですよ。でも、タイボクシングをやってる友達がいて、ジムに連れていってもらって試しにスパーリングをしてみたら4、5人倒してしまったんです。それからタイボクシングを始めて、やり始めたら自分に合っていることがわかりました。

9・15後楽園ホール、試合前からフィエートは抜群。コーナーロープに足をかけ、相手のミック・クータジャーを見下した態度で射すくめる。その傍若無人ぶりに観客は異常に盛りり、そして最後は3分30秒フィエートの壮絶なKO勝ちで決まった

RICARDO FYEET

―なんの練習もしないで4、5人倒してしまったんですか? 凄いですよ!

フィエート ひとりずつ順番にですけどね(笑)。

―いやいや、凄いですよ。

フィエート 私の動きが早かったのと筋力が強かったためだと思います。基礎体力は14歳の頃からしっかりつけていましたから(笑)。

―キックの試合はいつ頃から出ているんですか?

フィエート 昨年8月のリングスの試合に出場する前にアマチュアで9戦しただけです。

―何勝何敗だったんですか。

フィエート 全勝です(笑)。

―素晴らしい(笑)。リングスマットにはどういうきっかけで上がるようになったんですか?

フィエート キックの相手を探してる時に(クリス・)ドールマンがリングススタイルの場を用意してくれたんです。そして試合をしてみたら、アッという間に勝ってしまったんです(笑)。1ラウンドに相手が目の上を切ってしまって結果としてはノーコンテストということなんですが、私の勝ちだと思ってます。来年の2月にもリングス・オランダの試合がありますから、その時にはキッチリ勝ちます(笑)。

―いや～、聞いていると負けたことないみたいですね。

フィエート ないですよ(キッパリ)。

―あれ? だけど、8・19のリングスでリーはリーでもリー・ハスデルに負けてますよね。

フィエート あの試合は私がマウントを取っているんで私の勝ちのようなものです。次にはキッチリとカタをつけますよ(笑)。

―言い張りますね(笑)。公式試合で2回も負けたことがあるヒクソン・グレイシーがあくまでも無敗を主張するような、いい意味でプロ格闘家の物腰を感じられます(笑)。

フィエート ハハハハ! ヒクソンとは闘ってみたいですね(笑)。

―やはり、キックよりリングススタイルの方が好きですか?

フィエート フリーファイトが好きですね。あらゆるテクニックが必要なところが魅力なんです。立ち技もある、寝技もあるというのがいいです。そういう闘いの中で立ち技で闘うのが好きなんです。なぜなら人間は二本足で立っているわけです。だから立って闘うのが普通なんです。

―リングス・スタイルの中で立ち技で倒したいと。やはりブルース・リー世代っていうのは立ち技にこだわりますね(笑)。

フィエート そうです(笑)。ブルース・リーは普通の人間が持っていないものを持っているような気がするんです。限られた人間しか持てないものがあるんです。私がブルース・リーと闘ったら、瞬きをした瞬間に殴られてしまう。素早く動くことが生活で一番重要なんです。

―尊敬してるんですね(笑)。では最後に日本のファンに一言お願いします。

フィエート 日本に来ることができて非常に嬉しいです。そして、日本のファンに私の闘いを見て欲しい。雑誌で読んだり、聞いたりするのではなくて、実際に見て欲しい。きっと満足してくれると思っています。

―期待してます。ありがとうございました。

【9月13日都内某ホテルにて取材】

(インタビュー後記

インタビューが短くて非常に申し訳ない。風貌と発言のギャップがあまりにもデカすぎて、僕自身かなり固まってしまったことが、その原因。ただ、あんなツラでありながら、子供時代のことを語る時は本気で辛そうにするし、ブルース・リーのことを話す時はスキっ歯ムキ出しで笑うバカまる出しぶりは抜群であった。リング上でも反則したらバカ丁寧に謝るけど、すぐに無茶な攻撃を開始したりと、わけがわからない。だが、そのギャップが観客の心を鷲掴みにして来日二度目で完全にブレークしたのだ。いい意味で間違いなく頭のネジが外れてる男リカルド・フィエートはリングス・マットを確実に面白くしていく掘り出しモノなのである。

「次の試合は死ぬまで闘うヨ!!」

エンセン井上が衝撃告白!!
「選手を辞めようかと思ったヨ」

DIRTY HEROISM宣言2000

聞き手/坂井ノブ
interview by Nobu Sakai
撮影/森鷹博
photographs by Takahiro Mori

11·21有明コロシアム vsケアー戦に殺気満タン!!

エンセン井上

『PRIDE.8』を目前に控えて、エンセンの口から衝撃の告白が飛び出した!
「この前、辞めようと思ったネ」
え〜っっ!! どうしたんだ、エンセン!? 何があったんだ?“霊長類最強の男”との闘いを目前にして、大丈夫なのか?
たしかに『PRIDE.5』での拳骨折、修斗ヘビー級のベルト返上、『PRIDE.7』でのケアーの失神KOと、とにかく不運なことの連続でエンセンが落ち込むのもわかるが……。
「もう大丈夫! 冷たく強い心になった!」
えっ? もう大丈夫なの? どうなってるんだ? さあ、いますぐ急いでページをめくれ! エンセンの気持ちの爆発を受けとめろ!

大和魂

『PRIDE.7』が終わって1週間くらい心が壊れて選手を辞めようと思ったヨ……

――今日はいろんなことを聞こうと思ってきたんですけど、今のスパーリング（下の写真を参照）見たら……もはや言葉が出ないですね（笑）。他のジムでもあんなことやってないですよね。

エンセン　やってないと思うヨ。ほかのジムもスパーリングやってるけど、たぶん試合用パンチの練習は怖がって思いっきりやらないと思うヨ。

――寸止めのスパーリングですね。

エンセン　そうそう。でもみんなわかってないのは、殴る方も練習必要だし、殴られる方も練習必要。形だけだと、両方とも練習にならないヨ。

――殴られる方も練習が必要ですか。

エンセン　本当のプロだったら、試合用のパンチでも、あんまり当たらないヨ。当るんだったらディフェンスを勉強しないとネ。ワタシの殴る練習にもなる。たまに練習でケガもあるけど、実際は試合みたいな練習が一番ネ。

――それは絶対強くなりますね。

エンセン　そう。試合のような気持ちを作りたい。形だけのスパーリングだと、体は作れても気持ちが作れないヨ。どんなにハードなトレーニングをしても、試合のときの気持ちのワクワクとか、みんなが見てる緊張とか、会場の歓声とかは練習できないヨ。だったら、一番試合に近い形にしないと。

――じゃあ、いまのような激しいスパーリングをやってまだまだ試合にはほど遠いわけですね。

エンセン　そうだネ。試合の雰囲気は試合のときしか作れないヨ。

――いや、いまのトレーニングを見てたら、拳のケガも完治してるみたいですね。

エンセン　もう大丈夫ヨ。

――まだ2ヶ月ありますから、試合の当日に完璧にしてくださいよ。

エンセン　いま、作ってるところだから100%のシェイプしてない。でも、明日（マーク・）ケアーと戦ってもいい勝負ができると思うヨ。心の準備もできたから。

――もう準備出来たんですか？

エンセン　そう、心が一番難しいことろだけど、もうOK！　今回は「死ぬまで闘う」の気持ち。死んでもいい！　いまからちっちゃいケガがあっても、試合出る！　なんとかするヨ。

9・12横浜アリーナで行われた『PRIDE.7』。エンセンは拳のケガの回復が不十分なため、ケアーとの闘いは回避。打撃なしの「PRIDEコンテンダーズルール」で、"トンガの怪人"トゥリー・クリハーバイと対戦。相手はスパッツ、エンセンは道衣を着用して、さながらハンディキャップ・マッチの様相を呈した。それでも実力差は歴然としており、エンセンは1R1分15秒、腕ひしぎ十字固めで完勝！

――心ができていれば大丈夫と。でもね、ここ最近のエンセンさんを見て、「運が落ちてるんじゃないか？」という人たちがいるんですよ。

エンセン　たしかに、運は落ちてるヨ。

――やっぱり自分でも、そう思いますか？

エンセン　でも、自分ではもっと「最低のところ」も考えられるから。ワタシ、もっと最低に落ちれるヨ（笑）。最近そういうことが1週間ぐらいあったネ。

――ええっ、そうなんですか？

エンセン　『PRIDE.7』が終わった日から1週間ぐらい……試合をどうやって続けていいか、わかんなくなった。いろんなアンラッキーが合わせてバンバン来たから。一番最初に始まってるのが、ワタシの手のケガ。vsケアー戦が出来なくて、他にもトラブルがあったネ。

■今度の『PRIDE.8』には「路上なら警察ざた」というコピーがついているが、まさに「会場で裁判ざた？」というトラブルが8月のリングス横浜大会の会場で起こった。エンセンが某マスコミとトラブルを起こしたのだ。

ゲッ、エンセンが刑務所へ⁉

……などということがあったわけでもなく、裁判ざたにもならなかった。結局、その相手とは示談が成立した模様だ。そしてエンセンはケジメとして修斗ヘビー級返上＆選手ライセンス無期限停止の処分を受けた。これはすでにいくつかの媒体で紹介されているので、ご存知の読者も多いことだろう。

もし、エンセンが本気で暴力をしたら、一般人がタダで済むはずはない。マスコミが少し書くだけで大事件のような印象を与えてしまう。それではあまりに一方的過ぎるのでエンセンの言いぶんを聞かせてもら

えっ!! こんな危険なことするの⁉ スパーリング地獄絵巻

スパーリング・パートナーはエンセンのPUREBREDグアムのジョン・ガルボ。初めはガルボが上になって、エンセン攻略を狙ったが……

しかし、エンセンは肩の骨が出っ張っている部分にヒジを落とす。ほとんど試合と同じ全開パワーだ！　ゴツゴツという骨がぶつかり合う音が響き渡る。やがて、エンセンが体勢を入れ替えると……

った。

だが、その話は諸般の事情により掲載不可能となってしまった。まあ、エンセンは反省こそしているが、決してアグレッシブな姿勢を失ってしまったわけではない。試合同様、「叩かれても、叩かれても前に出る！」という大和魂を失っていなかった、というのがその話を直接エンセンから聞いたボクの感想だ。そんなエンセンの姿勢を本誌は支持＆応援したいと思う。

——某マスコミともトラブって……。

エンセン　でも、すごく大きかったのはその後。友達の（山本）美憂ちゃんのお母さんが亡くなったこと。家族ぐるみで友達だったのに。それが『PRIDE．7』の次の日ネ。

——妹の（山本）聖子さんがアマレスの世界選手権で優勝した翌日ですね。

エンセン　そうそう、聖子ちゃんが優勝して、お母さんがビデオと新聞を見た何時間か後、息が出来なくなった。だから、あと8時間ぐらい待っていれば、最後に会えたのに。でも、素晴らしいのは山本ノリコさん！　あのお母さんは白血病と闘っている間に1回もタップしなかった。自分が生きたいと言ってるの。負けてないヨ、病気に。

——聖子さんが世界一になったのを見届けて息を引き取ったんですね。

エンセン　それだけ見たかったんだと思う。その闘いは凄かったヨ。それがあってから、すごいダウンになったネ。「もう、闘えない」と思った……大事な友達の涙とか悩みを見てたら何もできなくて、耐えられそうになかった。

——それが1週間続いたんですか。

エンセン　ワタシの罪もあったネ。病気のお母さんのためにワタシとマネージャーの酒井さんで、励ますためのチャリティー興行を考えてたヨ。

——ああ、そういう話もありましたね。

エンセン　会場も探している途中だった。急いだネ。で、リングスの金原（弘光）選手や元・シューティングでパンクラスの山田（学）選手や朝日（昇）さんとか、小路（晃）クン、（ザ・グレート・）サスケさんもタイガーマスクも「手伝う」って言ってくれたヨ。

——すごいメンツだったんですね！

エンセン　そうだヨ。でも、間に合わなかった。もうガンガン、ナイフが飛んできた感じ。最初は避けるよう頑張ったけど、最後の方どうでもいいと、ポンポン刺されたヨ。だから心壊れちゃった……。

——でも、立ち上がれるきっかけがあったんですよね？

エンセン　ずっと我慢してたけど、完全に1人になったときがあった。もう涙が止められなかった。そういうことも久しぶりで気持ちよかったネ。それで完全に涙出して辞めるつもりだった。

——えっ、現役を辞めようと？

エンセン　うん。そういう話をした。そのとき自分の母さんがいなくなったのに、聖子ちゃんがワタシに話してくれたヨ。「お母さんは最後まで闘って、強さを見せたのに、エンセンはあきらめるの？」って。

——逆に励まされてしまったと。

エンセン　ワタシがいつも言ってる「大和魂」を説明するとき、「元気なときに『頑張る』って言うより、出来なくなるとき『頑張る』って言葉が必要」って言ってる。ワタシが辞めるって言いだしたとき、美憂ちゃんに「いまこそ大和魂出さないと」って。最後は美憂の弟のノリちゃん、何も言ってくれなかったけど、彼は大学のレスリング部の団体戦の大会で優勝して、最高の試合して、MVPになったヨ。お通夜の日に「減量あるから」「練習するから」って言ってる。ワタシは出来ないと思うヨ。もう、彼は凄い！

——山本家の人は心が強いですねえ。

エンセン　それ見たら、ワタシ、あきらめられないと思った！　その家族の付き合いの中で闘いを辞める気持ちになったのに、その家族との力で大きい大和魂が戻ってきたヨ（笑）。いまは心がもっと強くなって、vsケアー戦も100％行けるようになった。だから、もう死ぬまで闘える！

——エンセンさんにとって、その家族全員が大きな励みや支えになってる。

試合後、「オレの心に踏み込んで来たヤツは踏み潰して（アクションつき）、蹴っ飛ばして、すっ飛ばしてやる！　オレには絶対、他人には奪えないものがある！」と絶叫。ベルトは奪われても、オレは心のチャンピオンだということなのだろう。が、理不尽なことには黙っていられないエンセンの感情の爆発はステキ過ぎる

ENSON INOUE

上になったエンセンが徹底的にガルボの顔を殴る！　殴る！　殴る！　試合と同じじゃないか!?　ボコッ、ガツッという音だけが誰もいないジムに響き渡った。エンセンは5発10発とガードの隙間からパンチをめりこませていく。みるみるうちにガルボの顔が変形＆変色していく。エンセンの目には怖ろしいまでの殺気が宿っていた

「カモン！」とガルボを促すエンセンの顔がヤバい！　ガルボが動けなくなったところで、スパーリングはストップした。約10分間だったが、噂に違わぬ地獄ぶりであった。これを週に3～4日やるのだ。体重が近い加藤鉄史選手も参加するという。。試合さながらの実戦スパーリングで強くならないはずがない。ここまでやる師弟関係も他にはないだろう。それだけに結びつきは強いのだ

いまは強くて冷たい格闘技の心になった!! 前より3倍強いヨ!! 次は死ぬまで闘える!!

エンセン　そうネ。お陰で、もっと強く、冷たくなった。そういう心が格闘技には必要ネ。心が前より3倍強くなった。

―3倍（笑）。それにしても、エンセンさんと山本家の人たちは、いい関係ですよね。

エンセン　いい人たちだヨ。その家族とは大事な付き合い。ココロの強さ作ったし。

―次の試合で、この不運をどうエンセンさんが跳ね返すのか見たいですね。

エンセン　ケアーに勝つのが一番いい。次は勝っても負けても、気持ちが勝てば、この悪い運も、もしかしたらすべていいことになるかもしれないヨ。命懸けで最高の幸せを掴むために、辛いこともないとネ（笑）。

―そのケアーですが〝霊長類最強〟のイメージは崩れました。

エンセン　まあ、ずっと前から言ってるのは、バーリ・トゥードの世界には20人のトップ選手がいる。お互いに勝てる日もあれば、調子の悪い日もある。今度ケアーとボブチャンチンが闘ったら、ケアーがボコボコにするかもしれない。ただ、ワタシが最初にケアーを倒したかった。それは残念ヨ。でも、次の試合でケアーは「そんなに弱くないよ」って、みんなに見せたいはず。だから、今度の試合でいままで以上の気迫を出してくると思う。ワタシはそのケアーと闘いたい。

―たしかにボブチャンチンも強かったわけですけどね。

エンセン　ボブチャンチンもいい試合したネ。でも、ケアーはいつもより全然硬かったヨ。いつもならパスガードして、殴ってるはずだヨ。

―『PRIDE.7』の全試合終了後には、「ケアーが最初にボブチャンチンにリベンジしたいんだったら、やってもいいよ」って言ってましたね。

エンセン　やっぱり100％のケアーと闘いたかったたから。どうしてもボブチャンチンのことが頭に残ってるんだったら、まずキレイにした方がいいじゃない？　だから、ワタシはその間に「ホイス（・グレイシー）とやらせてください」って『PRIDE』にお願いした（笑）。

―前へ出まくりますね（笑）。

エンセン　それで、ホイスとエンセン、ボブチャンチンとケアーの勝った方同士、負けた方同士がやる。面白いでしょ（笑）。ネ？

―それは最高のトーナメントですね（笑）。先につながる闘いをしたいわけですね。

ENSON INOUE

えんせん・いのうえ■本名はエンセン・正二・井上。1967年4月15日、ハワイ出身。すでに、その戦歴は説明するまでもないだろうが、前・修斗ヘビー級チャンピオン。昨年10月に当時のＵＦＣチャンピオンだったランディー・クートゥアーからタップを奪った。今年、４月にマーク・ケアーと闘うはずだったが、ケアーのケガやエンセン自身のケガで延期になっていた。その闘いは柔術６年、キック・ボクシング４年だけあって、激しく巧いファイトである。

エンセン　そうネ。

―聞くところによると彼女がどこか行っちゃって、ケアーは心が弱ってたらしいんですよね。

エンセン　でも、プロなんだから、しっかりしてください の感じ。それで負けてもらいたくない。

―vsケアー戦は、打撃で行こうと考えているんですか？

エンセン　打撃の方が倒れるか倒されるか、きれいに勝負が決まるでしょ。ケアーはレスリングのトップ選手、タックルはなかなか決まらないと思うヨ。でも、試合はやってみないと、わからないネ。

―ケアーに勝てば、きっと何か変わるはずですよ。で、最後に、いまの段階で『PRIDE.8』以後のことってあんまり考えてないと思うんですけど、少し聞かせてください。『PRIDE』が来年ヒクソンへの挑戦権をかけたトーナメントをやるっていう噂もあるんですけど。

エンセン　でも、その中に桜庭さん、小路クンもいるんでしょ？　その中で当たったら、ワタシは降ります。2人とも友達。殺す気持ちで闘えないネ。

―リングスでもオープン・トーナメントが開催されますけど、それも……。

エンセン　それはルールが難しい。グランドでの顔面パンチがないのは……。あと、金原（光弘）や高坂（剛）さんと闘うんだったら、ダメ。ワタシが彼らの団体に行って、「試合に出ないでください」なんて言えないでしょ。それは失礼だヨ。

―前田さんは「お金が欲しい人は来てください」ってコメントしてましたよ。優勝賞金は22万ドルですから。心は動きませんか？

エンセン　う～ん、ワタシもお金欲しいけど、お金より友達だヨ。友達お金で買えないもん。金原も高坂も心の友達だから。

―じゃあ、まずはとにかく『PRIDE.8』でケアーを倒すことですね。

エンセン　そうネ。リングの中で死ぬまで暴れる。リングの外では法律的に失敗しないように気をつけるけどネ（笑）。

【9月29日シューティング大宮ジムにて収録】

今度の試合で勝ったら爆弾発言しますから楽しみにしといてください

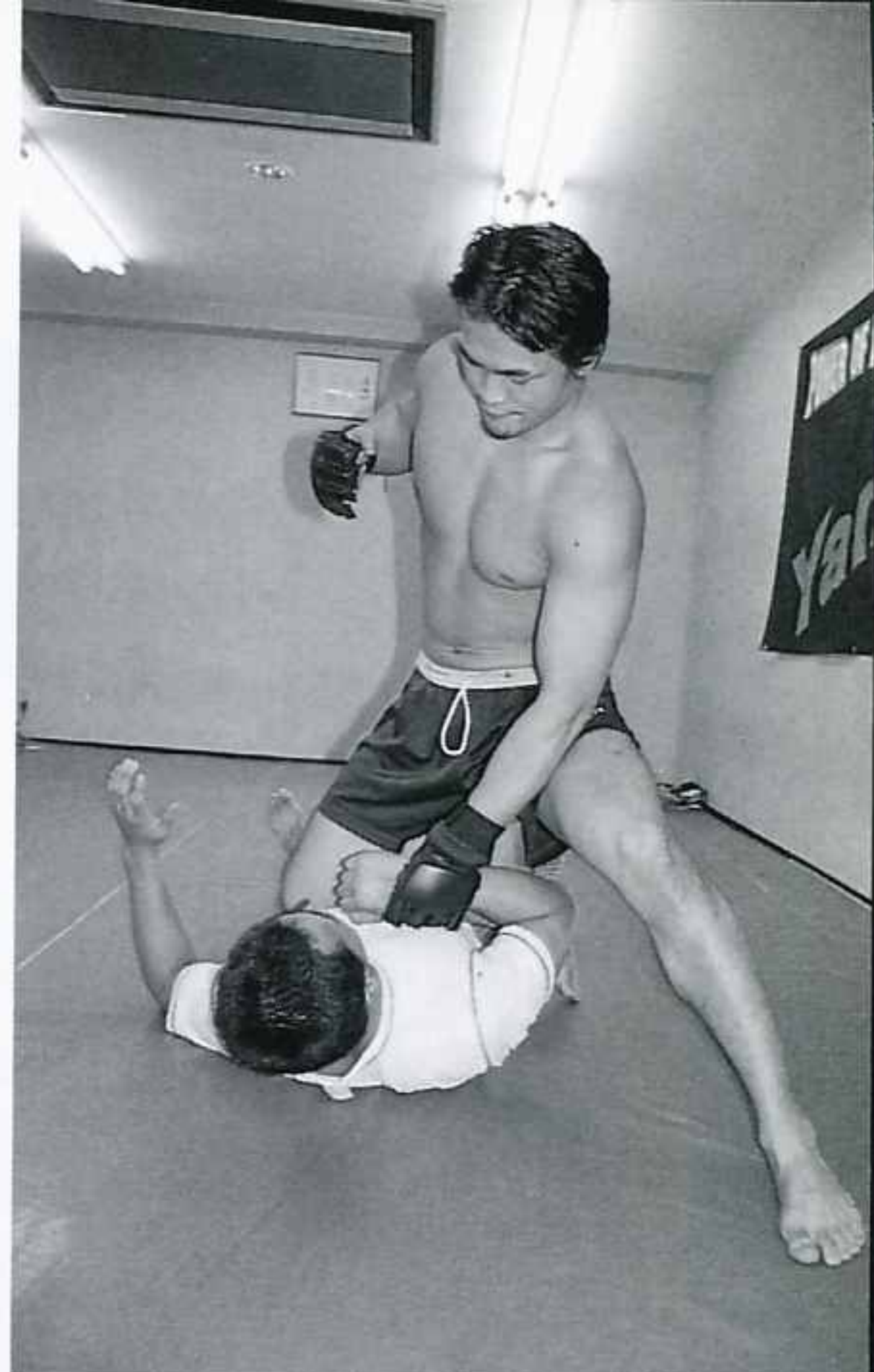
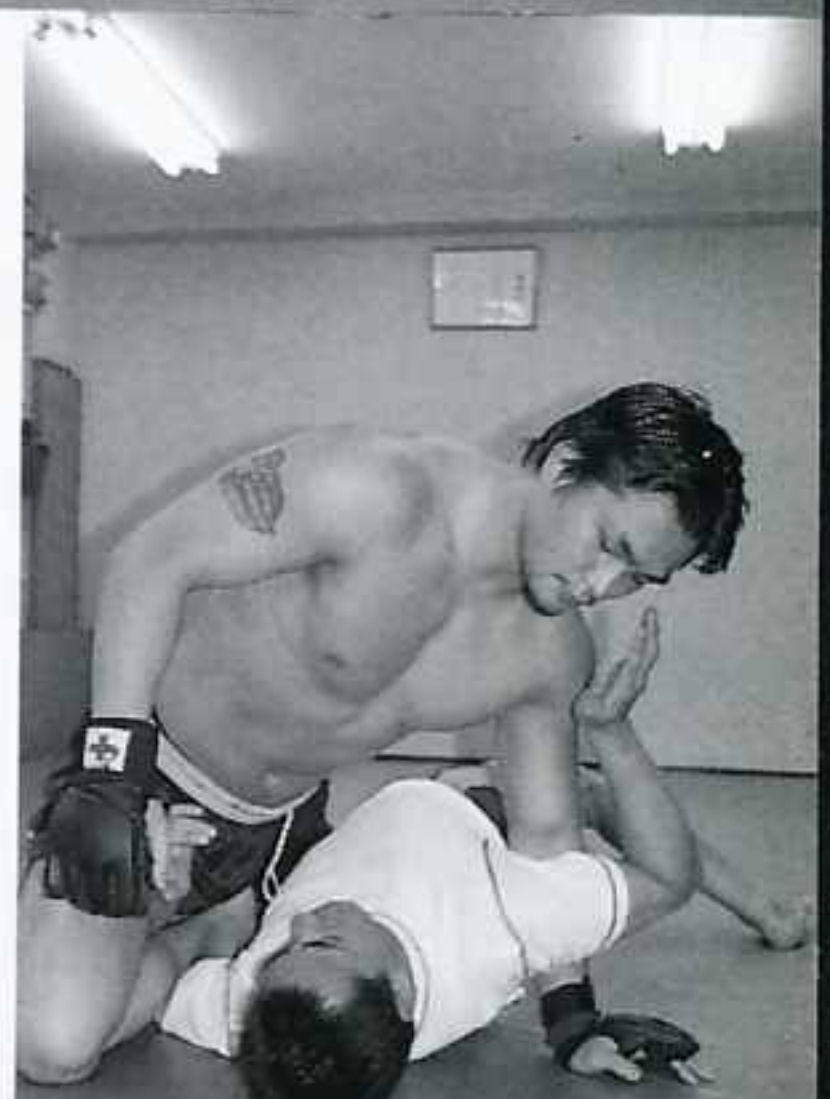
DIRTY HEROISM宣言2000

今年1月、リングス武道館大会でのW・ピーターース戦後、「ユイズ・デッド」等の過激な言葉を残しヤマケンはリングスマットを後にした。ヤマケンの発言に対し「結果も出してないクセに」といったバッシングが一部ファンから上がっていたが、ヤマケンは、その間約10ヶ月、地下に潜りスキルアップに励んでいた。男子三日会わざれば刮目して見よ！　11・14UFC－Jにて新生・山本喧一発進!!

約10カ月の沈黙を破り、ヤマケンがオクタゴンへ足を踏み入れる

11・14「UFC-J」日本人トーナメントへ出陣!!

山本喧一

聞き手&撮影／チョロ
interview & photographs by Choro

――リングスファンとかインターネット上で、「ヤマケンは言うだけ番長」とか、結構厳しいバッシングが起こってるんですけど、知ってます？

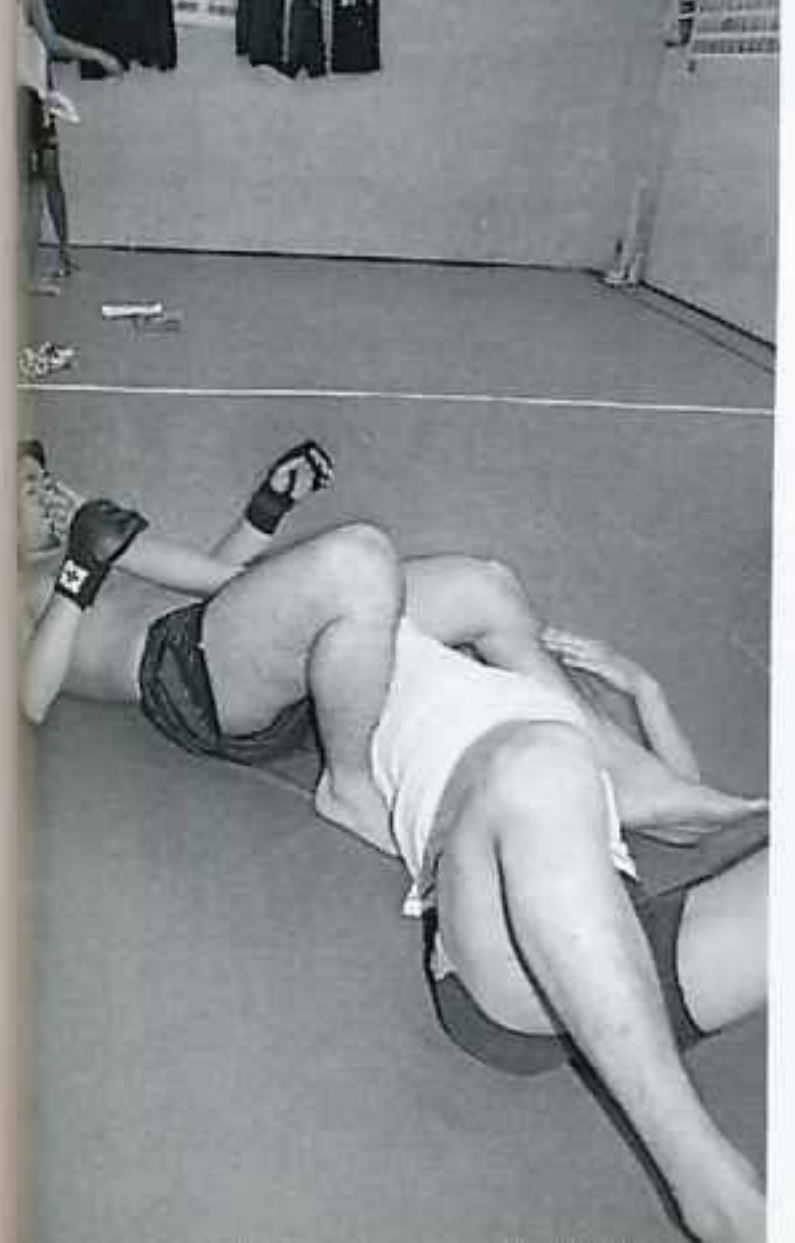
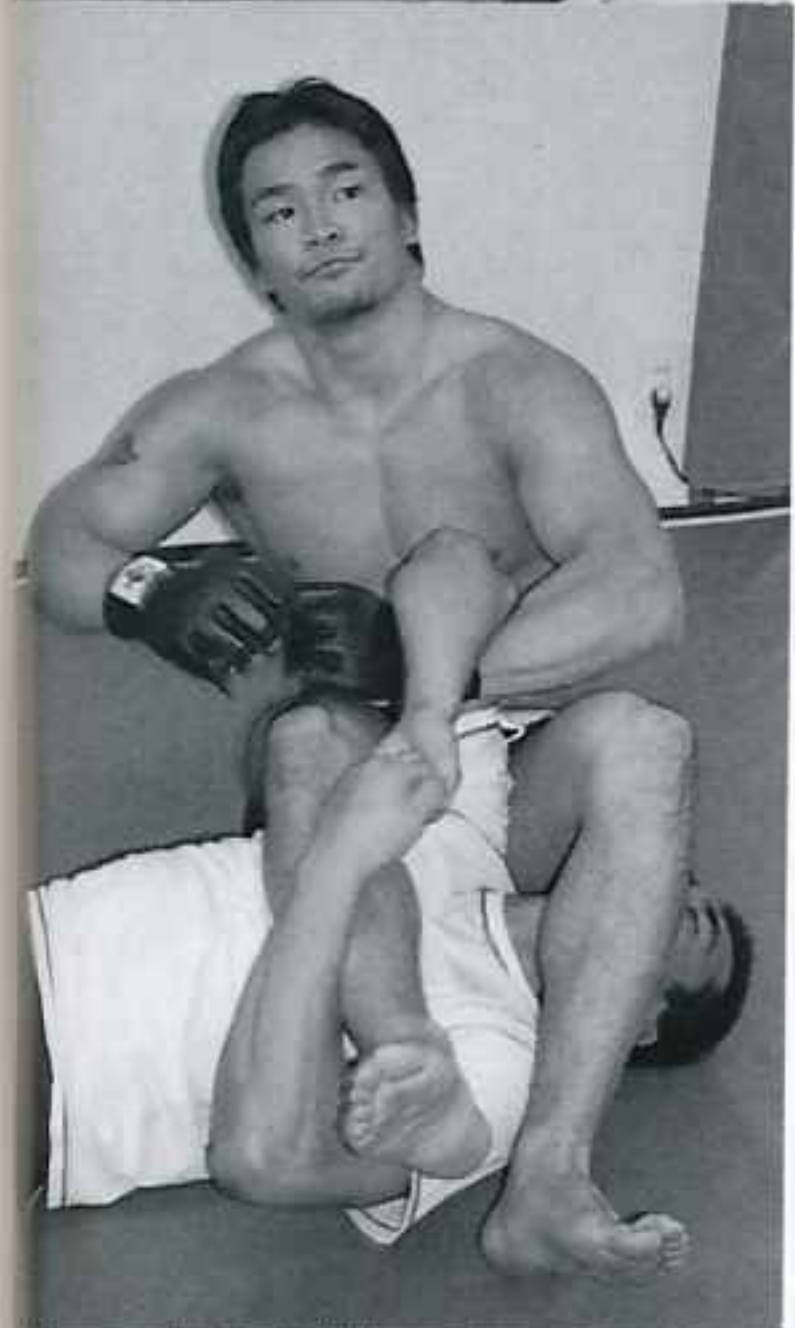
ヤマケン　あい～や（笑）。でも、そうみたいだね。やっぱり「リングスに何しに来たんだ！」っていうのがあったと思うんだよ。でも、確かにリングスでは1年生だったかもしれないけど、オレはその時点でこの業界に6年いるわけだから、そういう意味では自分なりのいろんな考えがあるしね。リングス1年生の自分がリングスの中を良くしていこうとしたって、リングスは組織としてずっとやってきてるわけだし、その組織の中のシステムを変えていくのは前田（日明）さんだったらできるかもしれないけど、オレの力だけでは無理なところもあるわけよ。

――でも、ヤマケンさんの「ロープブレイクはもういらない」だの「Uイズ・デッド」といった発言が拍車を掛けたのかはわかりませんけど、パンクラスは来年からロープエスケープがなくなってグローブ着用になりますし、リングスのオープントーナメントも同じようなルールになってきましたよね。

ヤマケン　でしょ？　だから考えてみてくださいよ。キングダムのルールに凄く近くなってるでしょ？　キングダムがいかに時代を先取りをしてたかわかりますよね。会社さえしっかりしてれば、あのルールをもうちょい修正して、1年後ぐらいにはエスケープなしでやってたと思うんですよ。グローブももうちょっと改良して。アルティメットだってそうでしょ？　だんだんキングダム化してるでしょ？

――確かにアルティメットも、大会を重ねる度に、スポーツチックになってきてるみたいですね。

ヤマケン　だから、格闘技であり、スポーツでありの一番面白いものを追求しようと思って作ったのがキングダムルールなんだよ。その時アルティメットが出てきて、K-1が盛り上がってた。それじゃアルティメットとK-1のいいところに、UWFが最初から持ってたサブミッションのいいとことドッキングさせたわけですよ。

――時代を先取りしすぎましたかね（笑）。

ヤマケン　リングスのルールみたいに「ブレイク、スタンダップ！」ってすぐ立たせてばっかりいたら、倒す技術持ってても意味ないじゃないですか。倒す技術持ってる選手もみんなバテちゃいますよ。あのルールだとロープに守られるわけだから、練習してなくても身体デカいヤツが有利に決まってるんですよ。

――リングスの外国人勢と比べると、それほど体の大きくないヤマケンさんにとって、当時のリングスルールはやっぱり不利なルールだったわけですか。

ヤマケン　ハッキリ言って、オレらにとっては割に合わないルールだから、オレは「そういう土壌ではやりたくねぇよ！」っていうことです。キングダムの時にオレが上昇していったのは、オレらのやってるスキルを存分に発揮できたルールだからですよ。そういう意味では、今回のUFC-Jもキングダムルールに非常に近い。オレの中ではキングダムの時に、そういうルールではオレは通用するっていう自信はあったから。

――スキルの部分で言うと、パワーオブドリームには安生（洋二）さんも練習しに来てるということなんですけど、安生さん以外で、ヤマケンさんと同じレベルの力量を持ったスパーリングパートナーっているのかなっていう、余計な心配しちゃうんですけど？

ヤマケン　あぁ、それはみんな勘違いしてるとこがあると思うから、これだけは言っときたいんだけど、ハッキリ言ってオレらっていうのは出稽古はずっと前からやってきてるわけだよ。そういう意味で、Uインター、キングダムっていうのはブラジルから柔術の先生を呼んだりして、先取りして練習はいっぱいしてたわけだから。だから、みんなある程度強くなるんです。でもホントに強くなるために、オレらの経験上、一番いいのは後輩を入れることなんですよ。なんでだと思う？

――やっぱり力の差がある相手だと、スパーリングするにしても自分のイメージ通りの動きができるからですかね？

ヤマケン　まあ、それもあるし、同じレベルで、同じぐらいの体格の人間とばっかりやっててもマンネリになるんですわ。そういう人間とずっとやってても、例えばこっちで新しい技術を磨いても吸収されるわけ。だから、横一線からバッと抜け出ることがないわけですよ。キングダムの試合見ててわかったと思うんですけど、みんな横一線になってきたでしょ？

――最後の方は特にそんな感じでしたよね。

ヤマケン　安生さんが最初引っ張ってたけど、結局は横一線になって来たよね。あれは常に同じメンツと練習してるからですよ。やっぱり選手同士だとお互い気を使って実験台にしようと思ってもできないわけです。そういう意味でも練習生が必要なんだよ。結局、実験台がいないと自分のスキルアップにも繋がらない。オレの後輩っていうのは、ずっと入んなくて、3年経って松井（大二郎）がやっと育ってきたぐらいでね。ホントだったら1年に1人のペースで育ってなきゃいけなかったんだよ。いままでの根性論だと、まず恐怖を植え付けるところから始

DIRTY HEROISM宣言2000

KENICHI YAMAMOTO

次の試合に勝ったら、ホンマにU系を終わらせる作業をしたいね

めるから、いまの時代の若いヤッらは怖くてついてこれないわけですよ。

——いまは、新弟子として団体に所属するより、シューティングの各ジムや、それこそパワーオブドリームのように、通いで、練習したい時に練習するっていう環境を選択する人が多いわけですよね。

ヤマケン　やっぱり一番大事なのは、下を育てていくってことだから。自分が強くなるだけじゃなくて、他の人間も強くしていかないと。自分だけが強くなればいいんだったら、そいつのレベルはあるところで止まってしまいます。それがいまのU系の選手のほとんどだよね。

——そういう意味では、パワーオブドリームの主宰者として、ジム全体の底上げをしながら、逆に内弟子とか道場生から教わることも多いわけですね。

ヤマケン　モノ凄く多いですよ。実際いろんなタイプと肌合わせてみて、「こういうタイプは極まらへんな」とか、「こういうタイプはこれは通用するけど、これは通用しないな」とか、細かい範囲でわかるようになってきたからね。まあでも、やっぱり基本は喧嘩だから！　喧嘩で役に立つ技術しかオレは教えたくないから。

——押忍！（敬礼）。やっぱり実戦ですか。佐山（聡）さんの掣圏道も、市街地での実戦を想定した格闘技ということですけど。

ヤマケン　まあ自分も掣圏道と考え方は似てると思うんですよ。でもオレはあそこまで露骨にはできない。もうちょっと若い子が興味持つ方向を考えてるから。

——佐山さんは10年先を読んでますからね（笑）。やっぱり「押忍！」の世界は、若い子には届きにくいんですかね（笑）。

ヤマケン　そうかもしれない（笑）。まあでも、ジムを作ってからオレのスキルっていうのはモノ凄いスピードで上がってるから。いままで後輩がいなかったから試したくても試せないことが多くて、なんとなく頭ではわかってるけど説明できなかったことが全て説明できるようになって、自分の中でパズルがしっかり組み合わさったっていう状況だよね。それじゃあ今度はそのパズルをもっと大きくしていこうっていう段階なんだよ。

——ということは、リングス退団時の「いまはまだ力が及ばないところもあるんで、一回アンダーグラウンドに戻って実力をつけてから表舞台に戻りたい」という発言に、ある程度自分なりの解答が出せたという実感があるわけですか？

ヤマケン　スキルの部分に関して言えば、リングスに入った時に、すでに完成しつつあったんだよ。ただオレは体調も不十分だったし、実際リングスはオレのスキルを試せる場ではなかったから。だからずっと会社にぶつかって意見を言ってきたけど、それが一切通らなかったからね。

——だけど、ヤマケンさんのそういう発言に対して、熱狂的なリングスファンからの「結果も出してないのにデカいこと言うな」っていう声もあるんですよ。

ヤマケン　でもオレのやり方では、リングスにそのままいても結果はずっと出せなかったと思う。だから、オレはそういう状況でいつまでも自分の気持ちを偽って試合するのはこりごりだったから。それはリングスだけじゃなくて、いままでずっとそういう風に我慢してやってきたものが、たまたまリングスで爆発してしまったっていうところはあるよね。

——ヤマケンさんの発言の矛先が、リングスに向いていると思ってるファンも多いですけど、リングスを含んだU系と呼ばれている団体に言ってるわけですよね。

ヤマケン　やっぱり自分は、U系団体で、やりたいことができないんだったら、外に出て実力を遺憾なく発揮できるところで闘いたいっていうのがあったから。

——でも、今回不運だったのは、UFC-J自体が、一度延期になったり、現時点（取材日10月4日）でカード発表されてないってこともあって、イマイチ盛り上がりに欠けてるっていう部分はありますよね。

ヤマケン　う〜ん、でもUFC本隊の協力があって凄くいいカードを持ってくるって話も聞いてるし、それは別に心配してないよ。今回は、オレを応援してくれてるファンは寂しい思いしてるから、そのファンに対して「ヤマケン健在」っていうものを見せられれば、オレはそれで満足。まあ一応ベルトも懸かってるわけだし、ベルトでも巻いたら、またオレの発言権っていうのが出てくるでしょ？

——ベルトを獲って発言権を持ったら、「謙虚イズ・ベスト」から一転して、ヤマケンらしく吠えまくるわけですね。

ヤマケン　「Uイズ・デッド」とこないだ言ったけれども、ホンマにU系を終わらせる作業をしたいね。ホントに1回リセットしないと、新しい時代っていうのは来ないから。やっぱり、みんなが何を求めているかっていうと、本物を求めているわけですよ。21世紀に向けて、これから闘っていかなきゃいけないオレらが、ひたすら本物を追求してやっていけば、何年後かわからないけど間違い

ヤマケン流 これがバーリ・トゥードでも使えるプロレス技（&キン肉マン技？）だ！

VTでのプロレス技というとサクの専売特許になりつつあるが、Gカップスとしてプロレス修行を積んだヤマケンだって負けられない。これがヤマケンが自信を持ってお薦めする、VT（TV？）でも使えるプロレス技だ！

1 コブラツイスト

高田vsアレク戦でコブラの応酬がわずかながら見られたが結局未遂。ズバリ言って山喧のコブラはタップアウトも狙えます。

2 マッスルリベンジャー

この技さえ体得すればマウントを取られても安心。TKシザースから回転エビ固めにいくと見せかけ、相手が油断した隙に一気に極めろ。一度極まったら脱出不可能！　ちなみにキン肉マンスーパーフェニックスの技です。

別名・恥ずかし固めII

なにがなんでも借りを返さないといけない相手がいるから！

なくムーブメントを起こせると思うんですわ。

—話を聞いてると、優勝するのは当たり前のような口振りですけど、対戦相手とかはそんなに興味ないわけですか？

98・12・23福岡。田村潔司にＴＫＯ負けを喫した山喧は、翌年１月のビータース戦後「もうU系はプロレスなのか格闘技なのかハッキリさせたほうがいい」と言い残し、フリーの道を選択。U系の象徴的選手でもある田村も、山喧が借りを返さなければいけない相手の一人だろう。

ヤマケン　対戦相手ですか？　もちろん興味ありますよ。やっぱり研究はしてますよ。

—トーナメントの1回戦の相手は高瀬（大樹）さんっていう話を小耳にはさんだんですけど。

ヤマケン　高瀬選手は強敵ですよ。ただ、オレはいまは発言権がないから、試合が終わるまでは「謙虚イズ・ベスト」でいきたいんですよ。今回はオレがいままでやってきた技術を遺憾なく発揮するだけです。自分の持ってる技術をアルティメットの舞台で出せるかどうかっていうのを試したいっていうことだよね。

—今回はとことん勝敗にこだわるわけですか？

ヤマケン　今回はとにかく勝ちたいね。それしか考えてない。

—例えば桜庭さんのように、勝敗プラス、プロとして「魅せる」っていう部分を意識するところはあるわけですか？

ヤマケン　桜庭さんが魅せてる内容っていうのは桜庭さんにしかできないことだから。もちろんプロとして凄く尊敬できることだけど、プロっていうのはああいうことをやるのが普通なんですよ。あくまでも基本があって、その基本プラスアルファ、わざと基本から逸れたことをやるのがプロだと思ってるからね。

—その余裕があるかないかっていうのが、プロとアマチュアの差になるんでしょうね。

ヤマケン　そうだね。でもオレは、ずっと試合してなかったでしょ？　それにリングスでいい結果出してなかったでしょ？　だから今回に限って言えば、オレがどんだけスキルを持ってるかっていうのをみんなに見せつけたいんだよ。オレが持ってる基本っていうものが、どこまで通用するかっていうのを証明したい。

—ヤマケンさんの、強さの部分に対して疑問符を付けてる人達を納得させなきゃいけないわけですからね。

ヤマケン　基本で勝って結果を出す！（キッパリ）

—シンプル・イズ・ベストな意気込みですね。結果的に、ベルトと賞金１００万円、そして発言権を手に入れられれば言うことなしと（笑）。

ヤマケン　その賞金でジムの生徒と一緒にバーベキューするから。

—それは急いでパワーオブドリームに入会した方がいいですね（笑）。でもホントに、ヤマケンバッシングをしてる人にも見て欲しい試合ではありますよね。

ヤマケン　そうだね。今回の試合はステップとして、自分はやりたいことっていうのがあるから。「リングスで結果を出してない」って言うんなら、リングスで結果を出せなかった相手とやって倒したい。とにかく、今回は勝ったら言いたいことを言わしてもらう！

—そこで結果を出せなかったら、またいろいろと言われるでしょうから、ヤマケンさん自身もプレッシャーがかかると思いますが、それをいい意味でのプレッシャーに変えて頑張って下さい。

ヤマケン　そうだね。だってオレが勝たないと面白くなんないでしょ。オレが勝てば、リングスの選手も立ち上がるんじゃないかな。

—試合当日までは、「謙虚イズ・ベスト」っていうことでしたけど、高瀬さんに話を聞いたら「ヤマケンに勝つ自信はあります！」って言ってましたよ。

ヤマケン　いいじゃないですか。オレは高瀬選手っていい選手だと思うし、強い選手だと思いますよ。だけど、オレの中で、もっともっとやりたいことが他にいっぱいあるしね。オレはいままでU系の舞台に上がってきて、U系の人間にも実力のある人間はいっぱいいるから、そいつらを叩き潰したいっていうのが一番だよね。もう一回、なにがなんでも借りを返さないといけない相手がいるから！

—えっ！　いったい誰なんですか？

ヤマケン　いまはまだ言えないけど、心はそっちにあるからね。次の試合で勝ったら、そいつに向かって爆弾発言しますから。それも含めて楽しみにして下さい。

—それは俄然楽しみになってきました。でも、その相手が誰か気になるなぁ。

ヤマケン　そいつも何言われるかと思ってビクビクしてると思いますよ。（ニヤリ）まあ、高瀬選手には申し訳ないけど、今回はオレが勝たしてもらう！　それまでは「謙虚イズ・ベスト」でいきますわ。

【10月4日／東京・奥沢／そば織田にて収録】

KENICHI YAMAMOTO

【やまもと・けんいち】本名・山本健一。昭和51年7月11日生まれ。182cm、93kg。平成6年10月11日Uインター大阪大会での桜庭和志戦でデビュー。Uインター崩壊後、キングダムで理想の格闘技を追求するもまたもや崩壊。その後、リングスに入団するも約1年でフリー宣言。現在は自身のジム「パワーオブドリーム」で底辺拡大に力を注ぐ23歳。

POWER OF DREAM情報

山喧先生と一緒に楽しみながら強くなれ!

■入会金　一般10000円
学生（小～大学生）6000円
■月会費　一般男性　10000円
一般女性　8000円
大学・高校生　6000円
小中学生　4000円

まだまだ内弟子募集中

資格は中学卒業以上（山口日昇でも大丈夫！）、健康体であること。身長体重は問いません。ヤマケンと一緒に夢をつかもうや！
※見学・一日無料体験入学随時募集

【パワーオブドリームホームページ】
http://www.powerofdream.com/

【問い合わせ・パワーオブドリーム事務局】
東京都世田谷区奥沢3－29－4 B1F
03・5734・5354

和術慧舟會

路上で高瀬大樹暴れ!!

“やるだけやっちまえ!”

これが俺の生き方じゃ

DIRTY HEROISM宣言2000

11・14UFC-J 日本人トーナメントは俺がもらいます!

和術慧舟會の悪童、高瀬大樹。この男に理屈はいらない。闘う場を与えさえすれば、『PRIDE』だろうが、ヤーブローだろうが、アルティメットだろうが、ケガが完治してなかろうが、ブーイングを浴びようが、体重差があろうが、試合間隔が短かろうが、ところ構わず突撃する男なのだ。乱闘騒ぎを起こし、パンクラスマットを汚したと言われた男は、今回の取材時にも路上で殴り合いを始めてしまった。誰かこの男を止めてくれ!

聞き手／チョロ
interview Choro

撮影／NAHOMIX
photograraphs by NAHOMIX

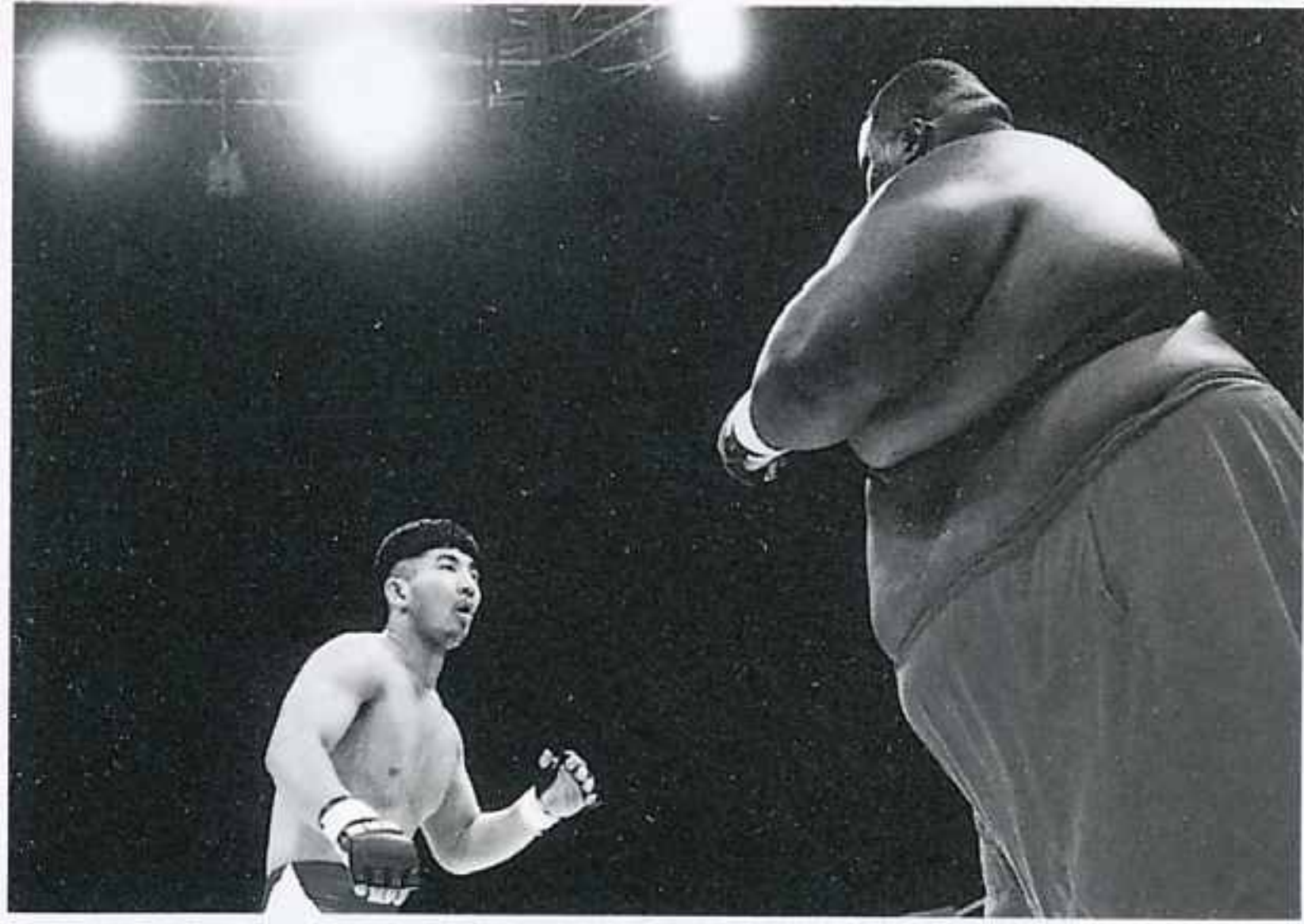
ハッキリ言って俺より強いヤツはいないって思ってましたから

高瀬　あのォ、今日ここ来る前に宇野（薫）さんから、「あまり暴言吐くなよ！」って注意を受けてきたんですよ（苦笑）。

――アハハハハ。気にせず行きます。高瀬さん、ハッキリ言って最近結果が出てないんですけど、一番最近の勝利っていうと、いつぐらいまで遡りますかね？（笑）。

高瀬　勘弁してくださいよ！　う～ん、最近の勝利って（エマニュエル・）ヤーブロー戦（98・6・24『PRIDE.3』）じゃないですか（苦笑）。でも、あの頃から見ると25キロぐらいは痩せましたからね。

――えっ、25キロも痩せたんですか？

高瀬　そうなんスよ（苦笑）。一番体重あった時で103キロですからね。菊田早苗を凌駕しかけてましたから（笑）。

【98・6・24『PRIDE.3』日本武道館／vsエマニュエル・ヤーブロー】体重差なんと215キロという『PRIDE』史上類を見ない超弩級対決は、2R3分過ぎ、高瀬が後頭部を殴り続けるとヤーブローは力なくタップ。

――凌駕しかけましたか（笑）。最近はその菊田さんもいるパンクラスに出てますけど、どうですか？

高瀬　そういえば、美濃輪（育久）（8・1後楽園大会）戦のあと、鈴木みのる選手が自分のとこに来てくれて「面白かったよ。また出てよ」って言ってくれたんですよ。「みのるさんカッケー！」って思って（笑）。

――アハハハハ！　惚れましたか（笑）。

高瀬　自分は、みのるさん派ッスから（笑）。宇野さんは、船木さん派じゃないですか？

――あぁ、宇野さんはそうですよね。

高瀬　自分はみのるさん派ッス！　あの目つきといい、いかにも悪そうな目つき。メチャクチャカッコいいッスよ！

――はい、わかりました（笑）。それで、高瀬さんといえば、ヤーブローの試合後、「ヘンゾ（・グレイシー）とやっても寝技だったら一本取る自信がある」って言ってみたり、強気な発言が多いですよね。

高瀬　言いましたよ（キッパリ）。あの時はホントに自信ありましたから。まさか、胃潰瘍でこんなに痩せるとは思わなかったんで（苦笑）。あの時は、まだ92～3キロあったし、放っておけば治るだろうって思ってたんで。その頃、新宿スポーツセンター（以下スポセン）とかでも、プロで実績のある選手から（一本）取ってたし、ハッキリ言って「俺より強い奴はいない」って思ってましたから。

――それは天狗になってたとかじゃなくて、実際スパーリングとかをして得た自信だったわけですか？

高瀬　ホントにそうッスよ。それはスポセンで練習してる人に聞いてくれればわかりますけど、自分はアマチュアの時から、マッハ（桜井速人）選手とか、（佐藤）ルミナさんともやってるし。

――スポセンに通い始めるようになったのは、何かキッカケがあったんですか？

高瀬　慧舟會では、どうしても小路（晃）さんに勝てないってわかったんで、勝つためにはどうすればいいかなって思った時に、スポセンの噂を聞いて、それで単身乗り込んだんですよ。やっぱり小路さんと同じ練習してたらダメだと思って。

――その当時は、菊田さんとかに練習を教えてもらう立場だったわけですか？

高瀬　いや普通にスパーリングしてましたね。やっぱり菊田さんと初めてスパーリングする時も、自分は多少自信あったんで、まあなんとかなるだろうって思ってたんですけど、ボロボロにやられたんですよ。「何でこんなに強いんだろう？」って。ここに通えば間違いないなって思ったんですよ。

――慧舟會とスポセンでの練習で、強さに対する自信を深めていったんですね。

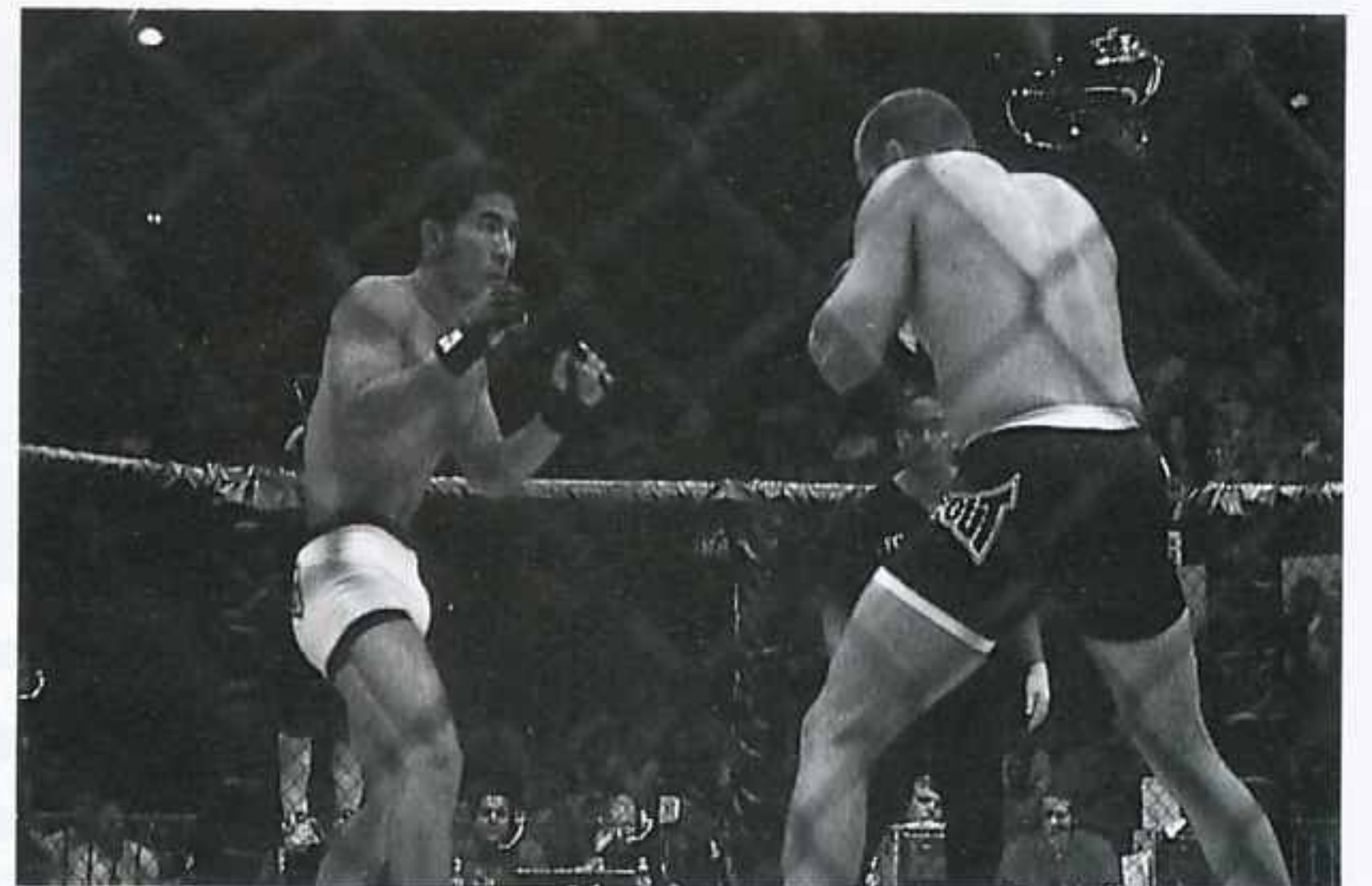
高瀬　だって、言っちゃ悪いですけど、アマチュア時代にプロの選手何人かとスパーリングしたんですけど「プロってこんなもんなの？」って思いましたから。その頃、俺のキャリアは1年半ぐらいですよ。

――はぁ。でも高瀬さんのことを、中井祐樹さんは「寝技においては才能の塊」とか言ってますし、本間聡さんも「20歳ちょっとで、あの強さは驚異的だ！」って言ってますからね。そんな高瀬さんが、一番闘いたい相手っていうと誰になるわけですか？

高瀬　やっぱり、ヘンゾ（・グレイシー）とはやってみたいですね。あとは、ヴァンダレイ・シウバともやりたいですね。

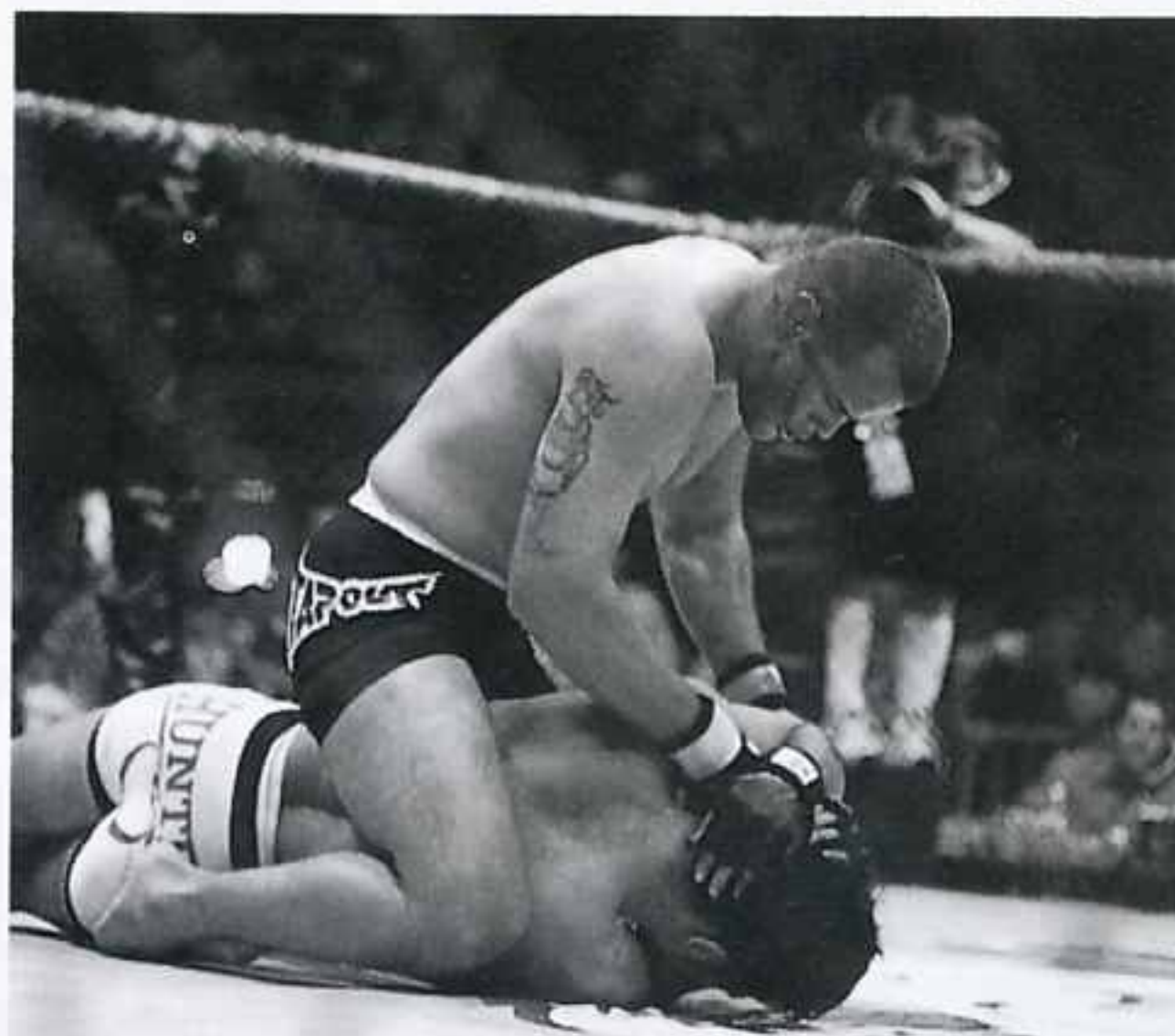
――柔術系の強い選手とやりたいと。

高瀬　そうッスね。あとは関係ないけど、宇野さんとマッハさんが、アブダビで完敗した（ジアン・）マチャド。あれと同じルールでやりたいですね。絶っ対、俺は寝技では負けないって気持ちありますよ！

――やっぱり、寝技には相当自信あるみたいですね。それで、何年か前の高瀬さんの記事を見てたら、「パンクラスと修斗は興味がない」って書いてありましたけど。いまはどうですか？

1999年7月16日、『UFC21』。鳴りやまないブーイングの中、悪Tシャツを着て堂々入場の高瀬。ジェレミー・ホーンと対戦するも13キロの体重差が響き、思うようなファイトが出来ずじまい。ホーンのヒジ攻撃＆マウントパンチの連打を受け右目尻をカット、凄惨なTKO負けを喫してしまった。

高瀬　あれはある人の命令なんですよ（苦笑）。まあでも、修斗は全く興味ないですね（キッパリ）。

――それはまたどうしてですか？

高瀬　修斗で連れて来てる外人って弱いですよねぇ。それで無敗だとか言われても、そりゃそうだろうなって思うし（笑）。総合格闘家の打撃よりも弱い打撃の選手とか呼んできてね。家でビデオで見てて「いつもこんな相手とやってんだ。いいなぁ」って感じですね。確かに自分は負けが続いてますけ

ど、胸張って強いヤツとやってるって言えますから。

——例えば、修斗に出てる選手で闘ってみたい選手って誰かいないんですか？

高瀬　あの、五味（隆典）とかっているじゃないですか？　アイツには腹が立ちますね。年上の宇野さんのことを「宇野君」って言ったり、「69キロだったら誰でも来い！」とか、そんなに自分が強いって言うんだったら無差別でやってみろって思いますよ！　自分より体重軽いヤツに噛みついてもしょうがないけど、自分はムカついてるんで、そんなに強いんだったら一度やってみたいッスね。五味選手、ゼヒ慧舟會に来て下さい！

これは必ず載っけてもらえますか。

【99・8・1パンクラス後楽園ホール／vs美濃輪育久】ジェレミー・ホーン戦から2週間後、右目尻のケガは完治には程遠い状態でリングに上がった高瀬。破れはしたが、あわやと思わせたアームロックと、負傷を感じさせない激しい打ち合いに、場内は終始どよめきっぱなしだった。ベストコンディションでの2人の再戦を見たいものだ。

——は、はい、わかりました。それで話を嫌な方に飛ばしますけど、高瀬さんの試合ってブーイングが多いですよね（笑）。

高瀬　もうバリバリですよ。毎回ブーイングですよ。ブーイングのない試合ってないッスよね。入場の時もそうだし、試合中も必ずブーイングですからね。

——それでマイクを握れば握ったで「ブーー！」ですからね（笑）。

高瀬　（呆れた顔で）マイクをやってもブーイング！　まあ、あれはブーイングだろうって思うんですけどね（笑）。

——ブーイングには割と快感を覚えるというか、楽しめてはいるんですか？

高瀬　もうブーイングなきゃやってけないッスよ（笑）。ヒールで結構じゃないですか！　プロレス界にはヒールはいるけど、格闘技界はどこ見渡しても本当の意味のヒールっていないじゃないですか？（笑）。

——試合内容は別にして、毎試合ブーイングを受ける格闘家ってなかなかいないですからね。でも、菊田さんなんかいいヒールになれたと思うんですけどね（笑）。

高瀬　もったいなかったですねぇ（笑）。そういえば、この間、菊田さんから電話が掛かってきて「いやぁ～、俺ねえ、ヒールっけ抜けてきたからね」って言ってましたよ（笑）。でも、電話での菊田さんは暴言吐きまくりですから（笑）。「表で言ってくださいよ」って言ったんですけどね。

——高瀬さんは「あと1、2年で日本のトップに立とうと思ってるし、自信もある」って、今年始めの『ゴン格』で宣言してましたけど、予定通り行ってます？

高瀬　ハイハイハイ、ありましたね。あれは訂正（笑）。アハハハハ！

——訂正ですか（笑）。でも、そういう発言って結果出せなかったら自分に跳ね返ってくるわけだから、相当な覚悟と自信がなきゃ言えないですよね。

高瀬　（ちょっと悩みながら）そうですねぇ。いまでも桜庭さんと菊田さん以外には負けないって思うんですよねぇ。

——えっ！　桜庭さんと菊田さん以外には負けない？　とにかく凄い自信ですね！

高瀬　エッヘッヘッ（照笑）。だから違うんスよ。アマチュアの時に強いと思ったのが菊田さんで、プロになってから強いと思ったのが桜庭さんだったんですよ。

——桜庭さんと菊田さんの強さって、何か質が違うわけなんですか？

高瀬　違いますねぇ。全然違いますよ。桜庭さんの強さは飛び抜けてますからね。グラウンド的にも剛の寝技と柔の寝技があるとすれば、菊田さんは剛の寝技なんですよ。宇野さんっていうのは柔の寝技なんですよ。それで桜庭さんは、剛も柔も両方ともあるんです。

——あぁ、それはわかる気がしますね。

高瀬　例えば、宇野さんが桜庭さんの真似をしても、練習で出来ても試合では使えないと思うし。ああいう動きは桜庭さんにしかできないんですよ。でもホント、誰とスパーリングしても桜庭さんほどビックリしたのはなかったなぁ。ボクも病気しなかったらなぁっていうのは、やっぱりありますよねぇ（タメ息）。

——そんなタメ息つかないで下さいよ！　まだ若いのに（笑）。だって高瀬さんは10年経っても31歳じゃないですか！　身体がもとに戻ればノー問題ですよ。

高瀬　そうッスね（苦笑）。あとはこれも書いておいてもらいたいんですけど、ボクは、どんなプロの選手よりも強いアマチュアの人に稽古つけてもらってるから、強くなってるんですよ。

——どんなプロの選手よりも強い選手？

高瀬　強さだけで言えば、桜庭さんとかよりも強い人と練習してるんで。それが凄い励みになってますね。

DIRTY HEROISM宣言 2000

——それは名前は出せない人ですか？

高瀬　ちょっと出せないッスね。柔道系の人なんですけど、もう格が違うというか。格が違うのも程があるくらいの（笑）。

——いったいどんなヤツですか（笑）。

高瀬　毎日、「ヒィ～ヒィ～」言ってますよ。おかげで耳もグチャグチャですよ。

——それだけ充実した練習をしてるんだったら、今度のUFC－Jの日本人トーナメントは、自信ありですか？

高瀬　もちろんありますよ！

——一回戦はヤマケンさんが相手じゃないかって一部では言われてますけど、ヤマケンさんにも自信はあるんですね？

高瀬　（力強く）あります！　ヤマケンさんって、タックルが巧いし速いですよね。あんまり打撃はやらないっていうイメージがありますけど。でも今度のトーナメントは優勝したら100万円ですから意気込みはハンパじゃないッスよ！　電車で終点まで行っちゃうくらい練習してますからね。

——疲れきって、気が付けば終点（笑）。

高瀬　はい。いままで俺、ナメてたんスよ。

桜庭さんと菊田さん以外には負けないって思うんですよねぇ

高瀬大樹【たかせ・だいじゅ】昭和53年3月20日、埼玉県北足立郡出身。身長182センチ、体重77キロ。『PRIDE.3』で霊長類最重量のバーリ・トゥーダー、エマニュエル・ヤーブローを破り一躍注目を浴びる。その後は、パンクラス、UFCと広範囲に渡って活躍する慧舟會の悪の王子さま(自称)。趣味はピアノを弾くこと。作曲すること。

気合いの入れ方が足りなかったッスから。

——心を入れ替えてやると。

高瀬　ウチのボスも泣いて喜んでますからね。「高瀬がやる気になった！」って。酒飲みながら（笑）。

——アハハハハ。やる気になった高瀬大樹に期待してます！　あとマイクも（笑）。

高瀬　期待してください！　UFC—Jで勝ったら、マイクやりますよ（笑）。

——もうネタは決まってるんですか？

高瀬　大仁田さんのマイクアピールなんてシビれますから（笑）。（佐々木）健介さんとの時の逆ギレマイクアピールとか。

——大仁田さんは、入場とマイクアピールだけで充分楽しめますからね。

高瀬　とにかく逆ギレ！（大仁田のモノマネで）「これがッ、俺のッ、生き方じゃあ〜ッ！」って。「カッケー！」って思って（笑）。「シビれたー！」って（笑）、ホント格好良かったッスからね。あれは絶対マネしようと思ってますよ。

——じゃあ、今度のUFC—Jでそれが見られるかもしれませんね（笑）。

高瀬　絶対にマネしますよ！　いっつも俺はブーイングとか起こるじゃないですか。だからちょうどいいんスよ。

——ブーイングに逆ギレして「これが俺の生き方じゃあ！」って（笑）。

高瀬　それ、最ッ高じゃないスか！　万引きして店員に捕まって「何だコノヤロー！」っ怒ってるようなもんですからね（笑）。ホント凄い逆ギレですよね。

——（早口で）それじゃあマイクアピールができるように、そして言ったことは自分にハネ返ってくることを肝に命じて、しかしそれをも逆にハネ返すヒール精神で頑張ってください。

高瀬　チョロさんって、しゃべりに句読点ないッスね。

【10月3日／東京・神宮前／SKYLARK GARDENSにて収録】

WK NETWORK からの PRESENTじゃあ！

「オイ、オイ、オイ！　これがッ、慧舟會のッ、Tシャツじゃあ！」というわけで、WK NETWORKさんのご厚意により、読者の皆様にプレゼントがあるんじゃあ！　まず宇野選手が持っている「慧舟會Tシャツ」（サイズS）、そして高瀬選手が持っている「高瀬大樹Tシャツ」（サイズL）を各1名様に。応募方法はP158を参照するんじゃあ！

INTERVIEW

平 直行

R to R

格闘家は誰もプロレスできないですよ！

プロレスラーは格闘技をできるけど、

聞き手／チョロ
interview Choro

撮影／森田友美
photographs by Tomomi Morita

その童顔ゆえ、若い若いと思われていた平直行も、気が付けば35歳。すっかり格闘界の大御所と呼ばれる存在となっていた。
大道塾、シューティング、シュートボクシング、K－1、そしてリングスマットでも活躍し、現在は、カーリー・グレイシーのもとで学んだ柔術を指導する日々を送っている。
立ち止まることなく流浪の格闘ロードを歩き続けてきた男が、現役生活最後の大勝負に討って出る。それは少年時代からの夢、そして憧れのプロレスラーになることであった。
平直行、遅ればせながらプロレスマット進出宣言！

──ある事情通に聞いた話だと、プロレスデビューを企んでるみたいですね？（笑）。

平 噂で終わってしまっては困るんですけど（苦笑）、デビューしようと思ってますんで、ゼヒ仕事をください（笑）。WWFでも新日本でも団体は選びませんので。

──WWFと新日本って、メチャメチャ団体選んでるじゃないですか（笑）。

平 選んでましたねぇ（笑）。いや、もうお金さえ頂ければどこでもいいですよ。

──平さんは、昔は「お金はどうでもいい」みたいなことは言ってましたよね。

平 （即座に）今はお金です（笑）。やっぱりプロの評価はお金なんで。それに格闘界の大御所的にはお金が必要ですから（笑）。

──大御所！（笑）。お金といえば、この間の本間（聡）さんの試合（9・15リングス後楽園）でセコンドにつきましたけど、前田社長から、「今度のトーナメントは優勝したら22万ドルやで！」って言われました？（笑）。

平 言われましたよぉ。「お前出ろよ」って（笑）。ボクは、その前の有明（5・22）で、前田さんに「プロレスをやることになりました」って挨拶したんですよ。そしたら「どこ上がるんや！」って聞かれて「みちのくになると思います」って言った途端、「なに ィ、み・ち・の・く・だあぁぁ!!」って。

──イエローカードが出ましたか（笑）。

平 「お前がみちのく行くとは、オレは悲しいよ」って言われましたから。よし、だったらもっと悲しませてやろうと思って（笑）。

──ヒャハハハハ！

平 前田さんは「ウチでやるのか？」って言いたかったみたいで（笑）。ボクも、またリングスに出たいっていう気持ちはあるんですよ。でも、いまリングスに出ると逆戻りするみたいで。だから一回プロレスやって、

その後にリングス出たらインパクトも全然違うじゃないですか。

——みちのくの片田舎で試合をして、次の日はリングスグルジア大会とか（笑）。

平　そうです！　メチャクチャ格好いいじゃないですか。どうせなら、そういうのをやりたいですね。そしてK－1にも出たり。そしたら凄いんじゃないかな。

——みちプロ、リングス、K－1三連戦！　それは前代未聞ですね。

平　ピーター・アーツも絶対出来ないですよ（笑）。ボクは、10年に1人とか100年に1人とかの選手じゃないですけど、そこそこ平均よりは上だと思ってますから。立ち技、総合、ルチャ、3つ同時期に出来るヤツは世界中どこにもいないから、それを全部やると凄い選手になるんじゃないかと思うんですよ。それをやったら、ボクは100年に1人の選手とかになるかもしれない（笑）。

——合わせて一本みたいな（笑）。

平　三本の矢とかね（笑）。そういえばこの間、佐山（聡）さんにも会って、その時「ボク、プロレスやるんですよ」って言ったら、あの人モノ凄い人だから（笑）「プロレスやるんだぁ。あっそ～う。ウチにも出なよぉ～」って。

——掣圏道からも誘われましたか（笑）。デビュー前から引っ張りだこですね。

平　そうなんですよ（笑）。そのとき佐山さんにプロレスの話を教えてもらったんですけど、「やっぱり、この人は天才だなぁ」って思いましたよ。プロレス語らせたらケタが違いますね。前田さんもそうですけど。

——2人揃ってケタ違い（笑）。

平　やっぱ話聞くと凄いですよ。前田さんからは、受け身の話とかいろいろしてもらいましたけど、「なあ平、口はばったいがな、俺はなイギリスでもWWFでもチャンピオンになったことあるんやからな」とか言ってましたから（笑）。

——ヒャハハハハ。「新日本の受け身は世界一なんや」とかですか（笑）。

平　そうそう。「俺に何でも聞け！」みたいな（笑）。なんだかんだ言っても、あの2人のプロレスの話はホント凄いですよ。ボクも状況が許せば、佐山さんや前田さんにプロレスの話とか聞いてプロレスを習いたいですよ。

——『前田日明の青空プロレス道場』ですか！　それはいいですねぇ（笑）。

平　でも高いでしょうね。1時間5万とか払わなきゃならないでしょう（笑）。

——たぶん「そんなもんで済むか！」って一喝されますよ（笑）。実際、プロレスの練習はどこでされてるんですか？

平　バトラーツさんとかで練習させてもらってます。知ってる方も多いんで。

——そっか、臼田（勝美）さんともアレク（サンダー大塚）さんとも試合してますからね。平さんは、「プロレスをやろう」っていう、何らかのキッカケはあったんですか？

平　そうですね、昔からプロレスラーになりたくて、レスラーになろうと思って入ったのが佐山さんのところで、『ケーフェイ』の世界だったんですけど（笑）。

——ヒャハハハハ。そこでプロレスに対する幻想が崩れちゃったんですか？

平　ボクは（プロレスは）やっちゃいけないんだと思っちゃって（苦笑）。

——佐山さんの影響でプロレスをナメてたっていう部分はあるんですか？

平　っていうか、ホントは好きだったんですけど、愛するが故に出来ないことのもどかしさで憎んでたんだと思います。

——それは、多くの格闘家が通る道なんでしょうね。でも、平さんはリングスで試合をしてますよね。まあリングスはプロレスじゃないですけど。

平　そうですね。ボクはリングスに出た時点で、UWFに出れたっていうことで、もういいかなと思ったんですけど。そしたらアルティメット大会とか引っかき回すのが出てきて（苦笑）。

——あ、そういえば平さんも本場ブラジルのバーリ・トゥード（95・10・13）に出てますからね。

平　ある意味アルティメットに出たことによって反対側の振り子までやってみようという気になったっていうか。だから明日もう世界がどうこうなるってなった時に、「プロレスやってれば良かった」って後悔しないように（笑）。

明日、世界が終わるってなったとき「プロレスやってれば良かった」って後悔しないように

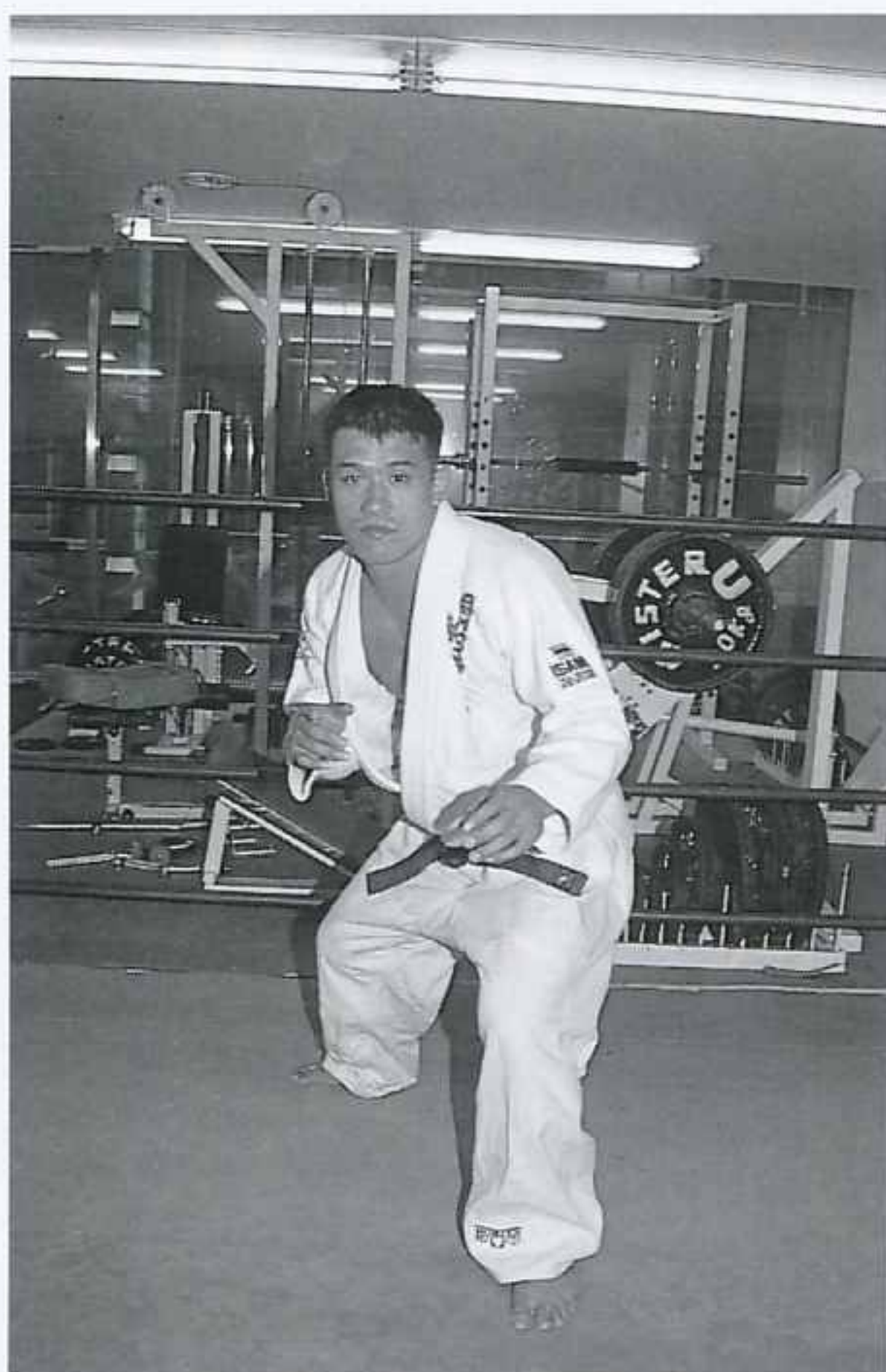
——平さんというと、アンディ（・フグ）のスパーリングパートナーも務めたり、サウスポーやれって言われれば出来るっていう器用さを持ってますけど、実際、練習してみてプロレスの方はどうですか？

平　やっぱり受け身がね……。ボク、受け身は得意だったんですけどね。でも今やってる柔術って、投げの攻防をしなくていいから「グチャ～」とか自分から汚く倒れたりするんで（苦笑）。でもそれってプロレス的には相手を殺してしまうじゃないですか。

——格闘家からプロレスに転身した人は、とりあえず受け身で苦労するって言いますからね。

平　だからボクが爆弾発言をするとすれば、格闘技とプロレスがあって、プロレスラーは格闘技できるじゃないですか、勝ち負けは別として。でも格闘家はプロレスを誰も出来ないですよ。いきなりプロレスが出来るなんて有り得ない。ましてや、いきなりシリーズ通して出られるヤツなんて絶対いない！　ある意味、馬場さんが格闘技をどうこうって言ってたのは当たってますよ。

——「シューティングを超えたものがプロレス」ってやつですね。

平　まあシュートが出来ないヤツがいるから問題なんですけどね（笑）。そういうのは話

92・6・25■宮城大会。リングス初登場は地元仙台でのエリック・エデレンボス戦。結果は反則勝ちだったが、飛びヒザ蹴りや、ハイキックでダウンを奪うなど終始圧倒。平は、試合後もバク宙を見せるなど、最後の最後まで場内を沸かせまくった。

98・10・28■K－1代々木大会。EXとして行われた平vsアレク戦。マルコを破り大波に乗るアレクと、ニック・サンゾーの代打として急遽出場の平。柔術マッチながら平はバックスピンキックなど派手な大技を繰り出した。

が違うってだけで。

——その辺は、格闘技側もプロレス側も声を大にしては言えないことだと思うんですけど、平さんは両方……。

平　片足突っ込んでますからね（笑）。

——それに、平さんて言うと格闘家時代からサービス精神は旺盛でしたよね。プロレスラー以上というか（笑）。

平　ボクは、こうしたらお客さんが喜ぶだろうなっていう練習ばっかりしてたんですよ（笑）。普通は理論的にこうきたらこれが有効とかあるじゃないですか。ボクはとりあえずよけて、そのあと、いかにカッコイイ技を出すかっていう。だから普通のことが出来ないんですよ（笑）。

——そういう意味では実にプロレスラー向きですね（笑）。スタイル的にはどんなプロレスをやろうと思ってるんですか?

平　ボクは、昔の藤波（辰爾）さんを、もうちょっとオチャメにしたようなのがやりたいですね（笑）。

——オチャメな藤波辰爾!!　全く想像がつきません（笑）。

平　昔は藤波さんを戦闘的にしたのをやりたかったんですけど、今はアルティメットを経過しちゃってるので、みんなそういうのはやってるから、オチャメな藤波辰爾ってどうだろうって思って（笑）。

——それは楽しみですけど、逆にマスクマン願望っていうのはないんですか?

平　願望はあったんですけど、っていうか今もあるんですけど、どっちでもいいかなって。まあボクの知名度とか使って出れるならそれも構わないし。別に生徒に隠してるわけじゃないしね（笑）。

——例えば、みちプロとかで、平さんがタイラーマスク、佐竹（雅昭）さんが、ザ・グレート・サタケとして覆面タッグでデビューしたら面白いと思うんですけどね。それで試合中にマスクを剥がされるっていうのがベストかなと（笑）。

平　それいいですね（笑）。でも、みちのくさんは、そんなのも考えてるらしいですよ。「お前は平だろ!」とかやりたいって（笑）。

——ヒャハハハ。「平田」ならぬ「平」バージョン。サスケさんならやりそうですね（笑）。ところで平さんは、最近プロレスとかご覧になってるんですか?

平　最近は意識してあんまり見ないようにしてるんですよ。「ボクが昔からやりたかったプロレスを今やったらどうなるんだろう」っていうのが逆にあるから。でも最近のプロレスって、ボクが見てた頃とは違うじゃないですか。昔はもっと殺伐としてたじゃないですか。ボクはどこでも合わせられると思うんですけど、いまのレスラーが受けきれるのかなっていう心配はありますね。

——それはまた、自信満々の発言ですね。

平　やるんだったら自分と試合をできる相手と会えないとしょうがないんで。プロレスは殺し合いをやるわけじゃないですから、相手は誰でも構わないですけど、やっぱり競い合いの同じフィールドに乗れない選手とかもいるじゃないですか。インディーとかだと、「お前らお遊戯やってんじゃねえんだぞ!」っていうのも見てて実際ありますから。デビュー前の人間がこんなこと言うのも失礼ですけど、それはプロレスとは思わないんで。プロレスって言うのは、格闘技が出来る強い人間が、もうワンランク上でやるためのものだと思うんで。

——いいこと言いますねぇ。ホントそうあるべきだし、その通りだと思いますね。

平　外人選手とか、ヘビー級の選手とも絡みたいですけどね。今の格闘技界と違って、ボクの頃のアルティメットは無差別でしたから。今の人はやってないかもしれないですけど、大きい人とやるときはこういう風に相手の力を殺すとか、ボクは教わってるんで。そういうのも見せたいなっていうのがありますね。

——なにかこう、自分だけのハードルをモノ凄く高く設定してるみたいですね。それで失敗したら叩かれるのも覚悟?

平　光らなかったら思い出作らせてもらってやめようかなと思って（笑）。

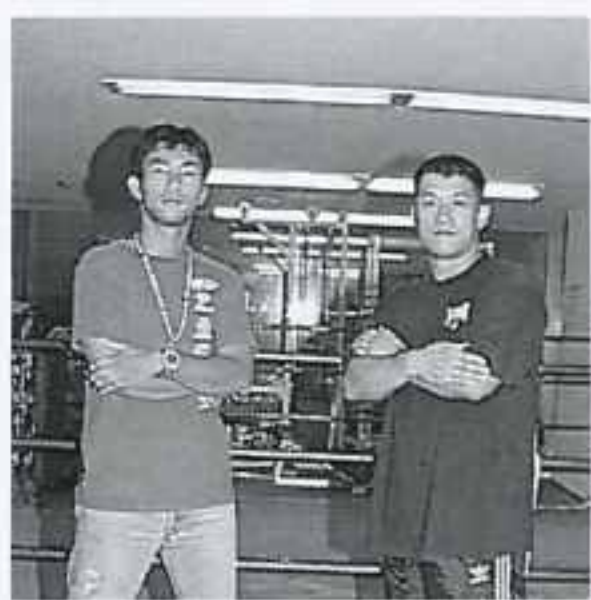
——平さんは、ヒールとベビーフェイスどちらが合ってると思いますか?

平　やっぱり格闘家って本質的にヒールですからね。ブーイングとかじゃなくて、技的にヒールなんですよ。「5カウント以内反則OK」とか、そんなの「やり〜!」って感じですよ（笑）。ボクは、自分がやられることなんて考えないし、ルールの中で裏をかくことばっかり考えてますから。「4秒まで何してもいいの?　じゃあスーパーヘビーとやってもいいよ」って思うんですよ。もしかしたら、凶器攻撃とかもメチャクチャやるかもしれませんよ（笑）。

——もしかしたら、マット上で〝キラー〟平が見られるかもしれないですね。

平　ムチャクチャやって、最後は笑って許してもらうっていう、新しいタイプのベビーフェースもいいですけどね（笑）。

——それは誰でもなりたいですよ（笑）。平さんは、いつの日かわからないけど、インベーダーのように突然現れ、マット界を引っかき回すというわけですね。

平　どこに上がるかも決まってないですけど（苦笑）、デビューの時は、お客さんを驚かせますので、よろしくお願いしま〜す。

【10・1／高田馬場・正道会館にて収録】

平　直行【たいら・なおゆき】■昭和38年12月15日、宮城県仙台市出身。175cm、90kg。豊富な格闘経験の最中には、藤原組長からUWFに誘われたり、ヤング・エグゼクティブファイターを名乗ってみたり『グラップラー刃牙』のモデルを務めたりと、格闘界の大御所たる経験を積み重ねている。50年後には柔術界の総裁と呼ばれることを目指している35歳。

プロレスって言うのは、格闘技ができる強い人間が、もうワンランク上でやるためのものだと思うんで

本誌ダメ編集者、水死!!

坂井ノブ

本誌・ヘッポコ編集者が溺死!! 本誌編集部の坂井ノブ（22）が、大阪南港から転落。増えすぎた体重が災いして、まもなく溺死した。数少ない本誌の編集部員の戦力として活躍していたが、晩年はみるみるうちに堕落してしまい、関係者の間では「最近、すっかりダメ人間だったから……自殺ですかね？」といった証言が多く寄せられている。

まず、最近『紙プロ』を読み始めた読者には信じられないと思うが、故・坂井ノブ（以前は結核と名乗っていた）は我が社に入社した当時は体重55キロだった。それがブクブクと太りはじめ、晩年は80キロに手が届こうかというブタ野郎になっていた。結核どころか、これではまるで糖尿だ。

最近は髪の毛まで抜け始め、弱冠22歳にしてデブ＆ハゲ＆バカという三重苦でオヤジのような風貌となっていた。こうなるまで、いくつかの兆候はあった。その具体例をいくつか検証してみよう。

■物忘れ

ノブは激しい物忘れでカメラやビデオカメラといった高額な備品を片っ端からなくしていった。オマケに借りた金は借りっぱなし。貸した金は取り立てるという、最悪の記憶回路が埋め込まれていたようだ。

■ガサつ

机の上は、まったく整理整頓をしないで散らかし放題。たとえばデカい段ボールに写真の束をブチ込んで写真整理だと言い張るなどガサツな上にそれを直す気もなかった。

■イビキ

寝たら寝たで80ホン以上のノイジーなイビキで5メートル離れた位置で寝ている吉田豪の安眠を妨げていた。「細かいこと気にするから寝れないんですよ」と本人には悪気なし！

■異臭

入稿間際には風呂の時間まで惜しんで働くのはいいのだが、かならず異臭騒動も巻き起こす迷惑なものだった。

■仕事のミス

担当したインタビュー記事でプロレスラー＆団体関係者の逆鱗に触れたことも数知れず、某超大物プロレスラーから編集長が呼び出されたこともあった。こんなヤツが進行管理を担当していたから、1ヶ月で出る雑誌が2ヶ月もかかるのだ。若手では、キャリアがいちばん長いくせに頼りにならない、じつに始末が悪い男だった。

■酒乱

バトラーツの忘年会で、酒に酔って『週プロ』の藤本かずまさ氏に殴りかかるなど、無意味な暴力沙汰でいつも墓穴を掘っていた。誰かれかまわずカラむので、しだいに周囲からは人が消えていった。

そんなノブの唯一の取り柄だったのがデブほど強くなる格闘技・相撲である。遊びで、相撲を取ってみたところ柔道黒帯の山口日昇に破れはしたものの、それ以外は無敗!! ようやく見つかった唯一の取り柄に気をよくしたのか、バカが珍しく名言を吐いた。

「自分から相撲を取ったら何も残らないですから」

余計なことを言ったもんだから、さらにツッコミの集中砲火を浴びる。「だったら相撲取りになれよ！」「何で、雑誌の編集やってんだ!?」「もっと太れ、ボケ!!」とボロクソにツッコまれ、あげ句の果てには本誌鬼畜編集長から「かいてかいて　恥かいて　裸になったら見えてきた　自分の脂肪」というポエムまで送られてしまったからたまらない。すると、ノブは「カイチョ〜ッ（山口日昇の愛称）、ありがとうございました〜っ!!」と絶叫、その翌日から会社を無断欠勤を始めた。

そしてある日、本誌編集部に対していきなりFAXを送りつけてきた。

「9月24日、午前0時、大阪南港にて待つ——坂井ノブ」

大仁田の完コピ!? 一体、何をしようというのだろうか？ っていうか、だいたい予想がつくのがバカのバカたる所以である。本誌編集部は、早速現場に松澤チョロを派遣した！

（つづく）

▲マスコミも、その死の模様を大々的に報じる!?（上）。

▲マット界では似たようなことが何度か起こるものだ（下の図版は本文と何ら関係はありません）。

そして一体何が起こったのか？　急いでP112をめくれ！

WWF
WORLD WRITING FEDERATION

♪READ IT〜(BEAT IT)
READ IT〜

コマイケルも愛読する？黒いものも白くなる超強力コラム!!

花くまゆうさく
『リングの汁』

ブナニ酒井
(エンセン井上マネージャー)
『もうひとつの大和魂』

梵婆家の店長
『魁! 裏ビデオ御開帳』

杉作J太郎
『プロレスを見て女にモテろ!!』

わかおはるか
『THE ジョージ秘宝館』

椎名基樹&せき詩郎
『ザ・検証』

マット界のV.I.P.シリーズ①
コマイケルさん

ケツの青い感想文

リングの汁 RADICAL

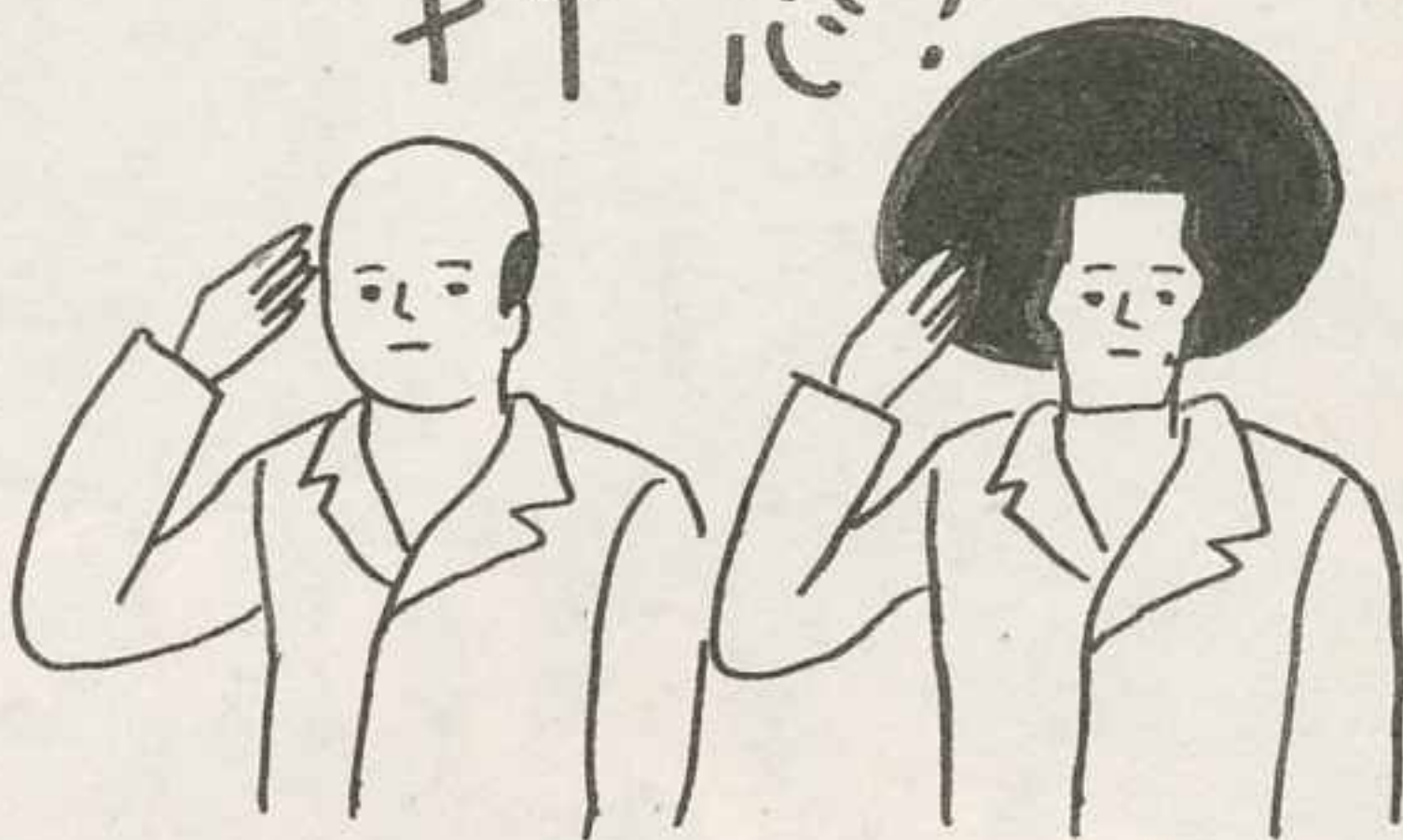
はなくまゆうさく

小川vsグッドリッジ、桜庭vsブラガのプライド6はあんなに面白かったのに、プライド7はどうしちゃったのよ……見ていて（PPV）悲しくなってきた。

あんなに熱狂してたタイマン場が、プロレスに堂々と占領されてしまった感じです。もともとプライドは高田の団体なんだよと判ってはいても、やっぱりプライドはプロレスラーや格闘家などいろんな人の公開タイマン場でいてほしいと青臭いこと夢見てたんだけど…メインの試合を歓迎し盛り上がる会場に、そんな思いは打ち砕かれました。

もういいよ、WWF呼ぼうが正式にプロレス団体になろうが好きにしてくれと、今回のプライド7見てあきらめましたが、次のプライド8はタイマン場復活！って感じなので目が離せません。なんだかんだ文句言っても結局プライドのトリコになっているのは事実なんですよね。来年はトーナメントやるようだし、やっぱ楽しみだ。プライドの良心（©ゴン格）の桜庭がいるしね。

その桜庭選手ですが、今回のマシアス戦は私はノレなかったです。なんかやりすぎな気がしました。もちろんいままで闘ってきた強い奴らにあーゆーことしたら凄いし、面白いと思いますけど、あんな実力差あって体重軽い人にやっても……。まあでも、いつもキツい相手ばかりだったので、たまにはこれでよかったのかもしれません。私には、ニュートン戦の方が面白く、ゴエス戦の方がコーフンし、ビクトー戦の方が脱帽し、ブラガ戦の方が素晴しかったということです。

今回ノレなかったのは、フジ系実況席のはしゃぎっぷりが原因だったかもしれません。奴らの頭の中にはダブルアームしかないのか、見事にフロントスープレックス炸裂させても「これはちょっと失敗しましたね」なんて言っている（一体なにが失敗なの？）。

K-1もそうですが、フジが乗り込みはしゃぎだすとメジャーにしてくれるが、なにか大事なもんを失してしまうような気がする。

ケアーvsボブチャンチンは、ビックらこきましたね。ケアーはどうしちゃったんでしょうか、アブダビで激ヤセと言われてからなんかおかしいのでしょうか。ボブチャンチンはこの勢いで勝ち進み、骨太牛乳のCMとれるぐらい出世してほしいですね。その成功ぶりを見て、骨太ロシアン野郎達が修斗やパンクラスとかにもどんどん来てくれたら面白くなりますよ（特に組み技系ロシア人希望）。彼らの本物のアキレス腱固めはモノ凄いっていいますからね。

ロシア人全員集合といえば掣圏道。こっちは打撃系中心なのがちと残念ですが、それでもロシア人をあんなに集めて（しかも北海道）やっているのが興味深い。これは、もともと佐山の頭にあったことなのか？　それともただ単に偶然にロシアとパイプもつ人に出合っただけなのか？　どっちにしろ興味深い。佐山のいくところ、いつも〝なぜ〟の嵐（by吉沢秋絵）だ。

だが、掣圏道でつながったことがある。1995年10月に青山学院で佐山さんのトークショー見に行ったんですが、そこで「ブラジルでは、こーゆーマウントもあるんですよウフフ」とうれしそうに紹介したのが、ニー・イン・ザ・ベリーでした。その頃はまだ柔術習ってなかったので、あんまりピンとこなかったのですが、その後柔術を習うようになってニー・イン・ザ・ベリーに出合い「ああ、あん時のだ」と思い出し、そして今回の掣圏道発足で「ウチではこれがすべてですよウフフ」とニープレス（＝ニー・イン・ザ・ベリー）をうれしそうにどこででも披露してる氏の姿を見て、4年前とつながりました。

八角形リングも後につながったし、ヒクソンをはじめて紹介した時だってその写真を見たとき「なんだか松崎しげるみたいだな、ホイスのがカッコいいじゃないの」と誰もがちょっと首を傾げたと思う。しかし、実際きたらあんな凄い人だった。

そうなのだ、佐山のすることいつも〝？〟と思うが後になってみると判ってくる時がある。

だから、掣圏道も今は私を含めみんな〝？〟と思ってるでしょうが、何年後には判るのかもしれない……かな。あのスーツ道衣だって、数年後には流行している……わけないか？

押忍！

本場のきびしさ

英語のできない高田が本場のWWFいってもむずかしいのでは

うんだったら

どんな時もアイアムプロレスラーしか言わないキャラにしたらうけるかもよ

WORLD WRITING FEDERATION

はなくまゆうさく■この秋の結果。全日本SAW大会で3回戦敗退。アマチュアコンプリート大会で2回戦敗退。そして最新単行本「東京ゾンビ」青林工藝舎より発売中♡　本格的格闘？マンガのつもり。

賢い野蛮人のマネージャー日記

もうひとつの大和魂

ブナニ酒井(E-FORCE JAPAN)

第7回　エンセンがキレるとき

エンセンがキレるとき、トラブルを起こすとき――それは必ず理由があります。たしかにエンセンは自分でも言っているように〝野蛮人〟ですが、少しずつ〝賢い野蛮人〟になっています。

今回は、エンセンがなぜキレるのかというようなことを書いてみたいと思います。

そもそも、エンセンがいまのようなアグレッシブな(たとえばレフェリーが全身でエンセンを止めないと闘いをやめないような)試合スタイルになったのは原因があります。

96年10月4日のvsムスタク・アブドゥーラ戦、この試合でエンセンは一方的に打撃で攻めて、アブドゥーラからダウンを奪いました。このときアブドゥーラはタップをしていたのですが、レフェリーはそれを見逃してしまいました。「レフェリーがタップを見逃したら、その後にワタシが逆転されて負ける可能性もあるヨ!」とエンセンは言っていました。もしも相手が強かったら、そんなことまで考えれば……。それ以降のエンセンはみんなが完全に勝ったと認めるまで、試合をストップすることはなくなりました。

全然知らない人が見れば、ただ単に野蛮人に見える行為かもしれませんが、エンセンにしてみれば「どうすればエンセンの勝ちを万人に認めさせるか」という、絶対に勝つための戦略なのです。

97年4月6日、vsズール戦の試合後は、向こうのセコンドに怒鳴ったりしてましたけど、あれにも理由があります。ズールはルタ・リーブリの選手だったのですが、なぜかセコンドに柔術の選手がついていたのです。普段なら絶対有り得ない組み合わせなんですが、ブラジルつながりで連れてきたようです。さらに柔術出身のエンセンに向かって「あいつのテーピングはルール違反じゃないのか?」などと、試合前にクレームを付けてきたのです。さすがにエンセンもズールをボコボコにした後、そのセコンドに怒鳴り散らしました。

ハワイの柔術大会でヘウソン・グレイシー軍団と大乱闘になったこともありました。あれだって、エンセンのお父さんが襲われたのが引き金になって、あそこまで大きなトラブルになってしまったのです。もし、家族が攻撃されたら、皆さんはどうしますか? そのことを専門誌に「エンセンの大和魂が空回り」と書かれてしまいましたが、エンセンはそこでもうったえました。「お父さんを守ってなんで悪いの?」ということです。

エンセンはプロとして、ジムの代表として、いつも真剣に考えています。本当に冗談なしで熱く語っています。

しかし、エンセンはその前に1人の人間です。エンセンは「試合前、こわいと思ったことはありませんか?」というファンの質問に「いつもこわいよ。こわいから本当に強い気持ちが出て来るんだよ。エンセンは特別な人間じゃないよ。みんなと同じ人間だよ」と答えました。そんな飾らないストレートなエンセンこそ、最大の魅力だと思います。

エンセンが怒るときは、それなりの理由があるのです。きっと、今日もファミレスで氷抜きのメロンソーダを頼み、コップ一杯にしてこなかった店員に対して、「何でこんなに少なくする?」と怒っているでしょう。

ぶなにさかい■前号で告知したエンセンの「車」が、売れました。興味を持って問い合わせてくれた皆さん、本当にありがとうございました。

魁!裏ビデオ御開帳

大庭敏幸(「梵婆家」店長)

第七回　'77年10月25日 日本武道館　坂口征二vsアレン・コウジ

決まりましたね、小川vs橋本! ウチの常連さんにも「再戦をやらなかったら、新日ファンを辞める!」という人が何人もいたのでひと安心です。これが出た頃には、結果も出ているわけですが、とにかく楽しみですね。

それにしても、『PRIDE.6』で見せた小川の強さは、柔道のトップクラスのレベルの高さを示すという意味では最高の試合だったと思います。小川の最近の風貌、誰かに似てると思いませんか? 柔道日本一→プロレス入りという小川とまったく同じ道を通ってきた坂口征二にそっくりでしょ?

というわけで、今回はボクが個人的に提唱している、「坂口征二最強論」を実証するビデオを紹介します。

ずいぶん前に、あるフリーライターの方が坂口さんに「なぜ試合で柔道の関節技を使わないんですか?」と聞いたそうです。そしたら、何て言ったと思いますか? 「だってオレが関節技を使ったら勝っちゃうじゃん」いともあっさり、坂口さんはそう答えたそうです。かっこいい! この発言って、小川っぽいですよね。結構、似た者同士なのかもしれません。同じタイプだったら、仲が悪くなるのも頷けます。実際、両者とも強いことは間違いないですからね。

実際、猪木さんがいちばん坂口さんの強さを知っていたと思うんですよ。だから、猪木さんと佐山さんが2人して小川を改造人間のように、本家・坂口にはない部分(特に打撃とか)をさらに強くしていったのでしょう。小川はスンナリとプロレスだけをやっていたら本家・坂口よりも弱い「メカ坂口」になってしったかもしれません。でも、結果的に、猪木さんが鍛え上げたお陰で、本家をも凌駕する「スーパーサイヤ坂口」になろうとしています。

というわけで、今回はルーツ・オブ・小川直也とも言える、坂口征二のパワーとグランド技術が最高に発揮された試合を紹介します。

坂口征二vsアレン・コウジ(=バッドニュース・アレン)の柔道ジャケット・マッチ(レフェリーはルスカ!)です。これはテレビ放映もしているので、特別に〝裏ビデオ〟というわけではないのですが、昭和の新日の中でもかなり重要な試合だと思うので、あえて紹介します。

伝説になっている「坂口の親指ペロリ」(「親指を舐めるのは坂口の本気サインだ」という言い伝えがあった)も、この試合で確認することが出来ます。さらに、アレンのノドに水平チョップをモロに打ち込むキラー・坂口も途中から出現します。そして、何よりも圧巻なのはフィニッシュ・シーンです。この試合は公式記録では「送り襟絞め」になっていますが、ホントは、かなり複雑な入り方の複合関節技です。

前転しながら、相手の襟を絞め、足をフックして、肩を極めるという文字で書いても何のことやらさっぱりわからない、ヴォルグ・ハンばりの複雑さです。この力強さと、技術ははっきり言って脅威です。

あのアンドレ・ザ・ジャイアントに、おそらく世界でただ1人「飛びつき腕十字」を成功させたのはダテじゃありません。絶対必見です。

ぽんばいえのてんちょう■新旧プロレス表&裏ビデオが何でも見れる居酒屋です。特製Tシャツも販売中! 気軽にリクエストしてみよう! 住所は東京都世田谷区松原1-39-16。問い合わせはTEL.03-3323-5629まで

エンターテイメント・レスリング・コラム

プロレスを見て女にモテろ!!

四十八手の七『肛門を爆破してこそ浮かぶ瀬もあり』の巻

文・杉作J太郎

俺がコメンテーターを担当しているFMWマットで発生した公開放尿事件!

そして次はH vsハヤブサの肛門爆破!下ネタ路線爆走かと誰もが思ったところへ今度はショーン・マイケルズの登場!

まさに次から次へと超ド級の出来事が起きてるわけですが、他にもドリー&テリーのファンクス兄弟来襲、AV王・チョコボール向井の参戦、ウィリー・ウィリアムスの殴り込み、我らが若菜瀬奈ちゃんのプロレスデビュー、レイヴェン&トミー・ドリーマーECWトップコンビの来日など秋のFMWマットは話題満載。楽しくなってきましたなあ!

ショーン・マイケルズ登場の横浜アリーナは11月23日午後3時スタート!

みなさん、よろしくお願いします。『HBK』って書いたでっかいボードを手に、みんなでショーン・マイケルズを歓迎しよう!

ま、ホント俺もコーフンしてますけどな。ショーン・マイケルズの登場シーンを実況できる喜びに、他の仕事が手につかない状態であります。バック・ステージでの突撃インタビューもぜひ敢行したいと思っとります。ショーン・マイケルズと絡むことになるHとハヤブサがうらやましいよ! 肛門爆破なんかやってる場合じゃないだろ! でも、これはこれ。やるべきことはやっておかねばなりません!

なにもそこまでしなくても……そう感じる人もきっといるかもしれんけどね。

でも、そこまでやらなければ伝わらないことがあるのもまた事実。これは男女関係にも言えることなんであります。

「好きだよ」

一回言ったぐらいでは気持ちは伝わりません。ま、言うのもホントはイヤだけどね。俺も若い頃には心の底からそー思ってた。一応、硬派が売りでしたんでな。女に好きだよなんて言うぐらいなら一生童貞で過ごしたほーがマシだ……なんて思ってたらホントに20代中盤まで童貞だった。

「なんで女に縁がないんだろ〜な?」

そう思ってましたが。やはり気持ちを伝える努力を怠っていたと言える。その後、心を鬼にして好きだよ程度のことは言えるよーになったがこれも一度や二度ではダメだよね。一度や二度では相手も冗談かと思います。事実、逆に俺が女から好きよと言われても、サービスで言ってんだろ〜なって思うもんね。ここで真に受けて、俺も好きですなんて言ったら恥かくんじゃないかと思うもんね。だからそれが本気であるということを伝えるためには繰り返し繰り返し、好きだ好きだと言わねばならない。言うだけでダメだったら物量作戦で高額商品をプレゼントして本気度を伝えたりしなければならない。そうこうしてるうちに、ホントに相手のことを好きなのかどうかがわからなくなったりすることも恋愛にはありますが、FMWの大攻勢の場合はそれと違うことを一応記しておかねば。

すぎさく・じぇいたろう■レギュラーの新番組『アイドル総研efe』がフジテレビ721で放送開始。俺の担当は予想通り、誰が呼んだんだこの親父キャラ。

ジョージ高野・復活への道!

わかおはるかの

THE・ジョージ秘宝館

Mulatto Arts H・I・T & F.S.R.

「ザ・コブラ現る!!」の巻

「誰にも言うなってェ!!」

原稿に集中しようと思ってもどうしても耳に入ってくる声…この、母音がやたら大きく聞こえる声の主はジョージ高野…。電話越しなのにハッキリ聞こえる。ウチのスタッフでジョージのイトコの高野十座とまたなんかモメている。内容と言えば、居酒屋を出すならコブラを〃ざ座・こ古ぶ武ら楽〃という当て字にするとかなんとかジョージが言うと、十座がわざと「え? ざこぶらぁ〜?」と、コギャル言葉みたいに語尾を上げて発音して怒らせるとか、ジムで使ってるサンドバッグの中身は絶対秘密だから言えない、小石とかではない何かだ! とか何とか…。

私にはゲームにしか思えない会話だけど、本人達は大真面目らしい。私はザ・コブラの大ファンだけど、コブラって確か謎の覆面レスラーだったよなぁ、コブラジムって九州だよなぁ、電話代コワイよなぁ…など考えていたら、十座が「代わる?」と合図したので、ジョージさんに挨拶だけする。「こんにちは、コブラさん。」「ア、アディオ〜スゥ、ア〜ミ〜ゴォ〜、アイアム、コブラ!!」皆さん周知の通り、ジョージ高野とコブラとは別人であって、ザ・コブラはコブラジムの所属選手であって…皆さん周知の通り…。ジョージさんはノリが良いだけだ…。「…。」スペイン語に詰まった様なので早々に電話を代わる(優しい私)。

何しろ、「コブラ」デビューのいきさつを聞いたら「会社(新日)に言われて」って言うし、カナダのカルガリーから凱旋した時の試合(vsデービー・ボーイ・スミス＝ザ・バンピート戦'83・11・3前国技館)も、〃カナダから遺恨のある相手との闘い〃と聞いてたのに、試合の前日、日本に着いてから2人で渋谷に焼き鳥食べに行ったって言うし…なんかワケわかんなくなって来ました。プロレスファンに言わせれば、「それがジョージだ」っていう事なんだろうけど…。「いやー、うまかったゾ焼き鳥! ホッピーも飲んだ!」とか何故か嬉しそうに言ってた…。ザ・コブラデビュー戦の事は、「ノータッチでトップロープ飛んだら場外に膝から落ちちゃって、その後もずーっとハイスパート。フィニッシュはフライング・ラリアット! いやー、まいった、シーンとしちゃって」と語っていた。私にしてみれば、ノータッチでトップロープから場外に飛ぶアンタにびっくりじゃい! とツッコミたかったが、聞いている十座もその辺は当たり前、という顔してたので、黙ってた。あれ、結構イイ試合だったと思うんだけど、なんで盛り上がらなかったんだろ? デビュー戦を終えての感想を聞いてみたら、「外人契約だったんで全部自腹で両膝の治療費払わなきゃなんなくて。保険きかないし…。結局ノーギャラで帰ったぞカナダまで、本当」だそうだ…。こんなオチ、イヤだよなぁ…踏んだり蹴ったりとはこのことだ……待てよ!? 飛んだり落ちたりか。でも、無責任な一ファンとしては、ザ・コブラにはこの位の伝説は欲しいよなぁとも思うのであった。「すみませーん、ザ・コブラことジョージさーん!」「バラすなよー!!」電話越しにハッキリと声が響いて来た。

ザ・コブラとしてはいま現在、最終試合マスク。〃ザ・サーベル〃vs初代タイガーマスク。アゴからコブラの毒牙が生えている。京都梅本製。オリジナルコブラタグ、シリアルナンバー入り。ご購入希望、お問い合わせは、ムラトー・アーツ・ヒット TEL 03-3559-3358まで

わかおはるか■ムラトー・アーツ・ヒットの命を受け、ジョージ高野のコラムを担当させられた漫画家。ザ・コブラの大ファン。F.S.R.は、ムラトー・アーツ・ヒットに東京での連絡先を置いている。

椎名基樹＆せきしろの

ザ・検証

この前街で永六輔を見ましたが、「STING」とロゴの入った帽子を被っていました STINGの意味するものは、レスラーなのかバンドなのか、それともどちらでもない永六輔からのメッセージなのか!? ともかくとのSTINGにせよセンスは抜群ですね 真似しようと思っても真似できませんし、真似をしたいとも思いません というわけで、「激辛プロレス評論家」菊池孝、「戦慄の個性派記者」宮本久夫、「ぼやき評論の第一人者」門馬忠雄の3名以外（椎名基樹とせきしろ）がお送りするザ・検証が今回も始まります

ザ・検証

【今月の検証】

越中語録カルタ（その1）

by せき詩郎

いわゆる「だって節」のブレイクにより、越中の発言が今脚光（水銀灯並の光）を浴びている。そこで越中語録を検証してみよう。が、どの発言もマット界を揺るがす発言でもなければ、我々の人生に影響を与えることもないような発言ばかりなので、越中フリーク以外興味のないものになる可能性大。そこで万人が楽しめるカルタにしてみました。今世紀最後のお正月に向けて完成させる予定なのでお楽しみに。また大会（自主興業）も行うかも!?

え

NWOも練習しろって！

天越同盟を結成後、多摩川の河川敷を天龍とジョギングしながら

け

けんすけに申し訳ないって……

犬軍団にベルトを奪われて。珍しくちょっとしょんぼりしてるだって節。

お

おてんとうさまはちゃんとみてる

「楽してるやつが勝てるわけない」と昔話の教訓のようなコメント

こ

ことがなっても維震軍は永遠に維震軍だよ。ずっと維震していくわけだよ

本隊をぶっ潰してしまったら維震軍ではないのでは、と聞かれて。

あ

あきとしだってね、体重落とさせてジュニアで暴れたっていいんじゃないかと思っている

維震軍でベルト総ナメ計画。せっかく体を大きくした彰俊の立場は!?

か

かんばん下ろすのは時間の問題。精神がね、外国人頼みだからね。やっぱり、ここは俺たちの団結力というのを見せつけるよ

サイパン合宿にて。団結力を強調するが、彰俊はパスポートの期限切れで不参加

さ

さいしょの「アイ・ウォント・トゥ・テル・ユー」、良かったですね。僕はもう本当に感激しましたよ。普段着でやってるじゃないですか。東京ドームであれだけのお客さんを前にすると、何かパフォーマンスとかアピールとかするじゃないですか。だけど、ジョージ、普段着でやってる。あれはもうシビレましたね

ジョージ・ハリスンのコンサートについて。ビートルズフリークぶりが最高。

い

いぬの頭はいカラッポだって！

蝶野よりは賢いけどと前置き。クレバーさが売りの蝶野、形無し

き

きむらさんには力を貸して欲しいと要請し、藤波さんにはリーダーになって旗を振ってほしいと要請しました

維震軍立てなおし案。が、藤波は旗を振るどころか、試合中道着を脱ぐ始末！

し

しり合いの床屋に頼んでスーッと良く切れる新品のハサミを手に入れる

長州との髪切りマッチ前に。最高のハサミを用意すると敬意を払った挑発。

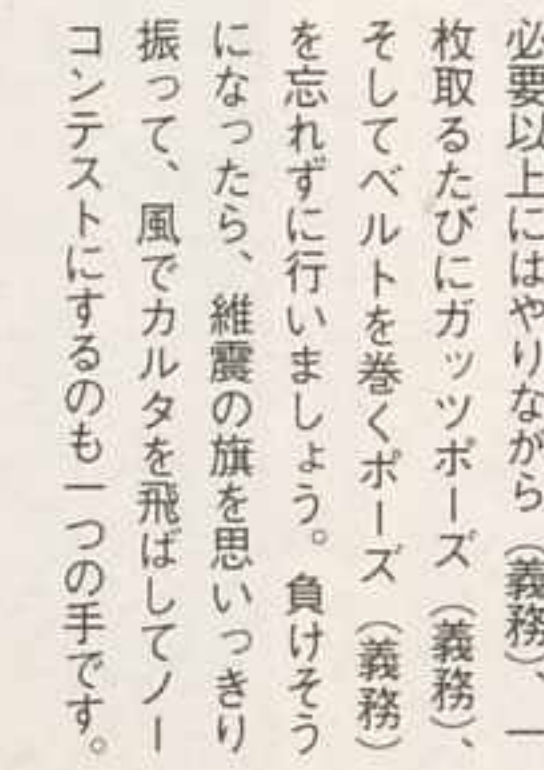
う

うちに帰って来て、いきなり電話しちゃって、ペラペラ喋ちゃったりなんかしてね。母親なんかに「何だ、お前、長電話なんかして。そういうのは、学校で会って話しなさい！」って怒られたりしましたけどね。学校じゃあ、話できなかったですよね。もう、何から何まで惚れちゃってる訳ですから、ガチガチなんですよ

中学生時代の恋話。一緒に行った映画は『レット・イット・ビー』！

く

くびが痛いとかかゆいとか言ってシリーズ参戦できないヤツが主役じゃないって

お得意の蝶野批判。痛烈に、かつユーモアを交えながら。

あそび方

直接、もしくはコピーしたものを切り取って使いましょう。遊び方は普通のカルタとだいたい同じですが、ハカマ着用（義務）で、気合いを前面に押し出せるだけ押し出し（義務）、必要以上にはやりながら（義務）、一枚取るたびにガッツポーズ（義務）、そしてベルトを巻くポーズ（義務）を忘れずに行いましょう。負けそうになったら、維震の旗を思いっきり振って、風でカルタを飛ばしてノーコンテストにするのも一つの手です。

本誌・ヘ
!!　本誌
（22）が、
増えすぎ
まもなく変
本誌の編集
躍していた
るうちに確
係者の間で
りダメ人間
ですかね
多く寄せら
まず、
み始めた読
と思うが、
前は結核と
が社に入社
キロだった
と太りはじ
に手が届
になってい
これではま
最近は髪
弱冠22歳
バカという
うな風貌
なるまで、
あった。
か検証して
■物忘
ノブは激
ビデオカメ
品をを片っ
た。オマ
っぱなし。
てるといえ
が埋め込ま
■ガサ
机の上は、
をしないで
とえばデ

ザ・検証

【今月の検証】藤波の手相

by 椎名基樹

10・11。小川vs橋本、究極のリベンジマッチ。結果は小川がTKOで勝ったようでありますが、俺はドームに足を運ぶことすらできず（貧乏で）、『ニュース・ステーション』も見逃してしまったので、10月12日現在それがどういった試合だったか、わかりません。

ただ、言えることは、この小川vs橋本という、新日本の切り札カードの真の主役は、我らが藤波辰っつぁん、マッチョ・ドラゴン社長だということです。レフェリー問題の発言。調印式で暴れる橋本を平手打ちで諌める辰っつぁん。しかもフレアーばりの、驚くほど似合わないタキシードを着て。僕が定期購読している『ニッカンスポーツ』で、小川vs橋本に関する記事で、もっとも大きく誌面を占領していたのは常に辰っつぁんでありました。

『ニュース・ステーション』で扱ったほど話題となった試合も、辰っつぁんの社長キャラのストーリーの一部でしかなかったのです（ニッカン的には）。嗚呼、素晴らしきかな辰っつぁん！ということで、吉田豪氏所蔵の『藤波戦争』というアバンギャルドな写真集に、辰っつぁんの実物大の手形があったので、これ幸いと勝手に手相を見てもらいました。

「この人は、強い人に頭を下げて、うまく立ち回って出世する人ですね」

いきなり、手相の先生は驚くべきことを言ってのけた。先生に藤波が所長、否、社長になったこと、日本一の猪木信者だと自分の著書の中で発言していることを伝える。

「親指も丸くて太いですね。こういう人は意志が強いですね。頭も下げるけど、我を通す人ですね。でも、この人は、強い人に頭を下げてうまく立ち回るんですけど、ある時溜まり過ぎちゃうと、キレちゃう人なのね。怒っちゃう人なの。女性的なデリケートな部分もあるのね。だから、上に立ったらキレないで、ちゃんと立ち回れるといいわね。でも、本当は会社でNO．2がベストね。トップに立つと苦労するわよ」

またまた驚いた。押し掛け入門からスターになり、数々のクーデターの際にも新日本に居続けた辰っつぁんの意志の強さ。「こんな会社辞めてやる！」と雪の札幌に裸のまま飛び出した、キレた辰っつぁん。文字どおり、突然前髪を切りだし、脈略なく世代交代を訴え、あの猪木をカメラの前でキョトンとさせた、キレて女性的な辰っつぁん。社長就任とともに目が死んでしまった辰っつぁん。どれもこれも当てはまり過ぎて怖いくらいである。

「人気線が出てるわね。あら、頭脳線が短いわね、この人」

おつむはチッとだが人気爆発。いいじゃないか。素晴らしいじゃないか、辰っつぁん。長嶋監督を見てみろ。

「健康面は、歳を取ると前立腺の病気に気を付けた方がいいわね。腰から下が弱いわね、この人は」

腰？　先生に辰っつぁんの腰のケガのこと、そして、そのケガを男性ファンの霊の仕業だと思い込んでいることを伝える。

「いいえ、そんなことないわよ。腰は生まれつき悪いわよ。骨の仙骨がズレてるんじゃないかしら？」

腰は生まれつき悪い！

「あとは50代で何か大きなことが起こるわね。とにかく社長になったのなら、キレずに周りの意見をよく聞いて、上手に立ち回った方がいいわね。奥さんの言うことを聞いてれば間違いないじゃないかしら」

やはり、かおり夫人！　でも、本当にかおり夫人のいうことを聞いていればいいのか？　辰っつぁんの住む家は、城じゃなくて、ヨーロッパ風のメルヘン御殿でいいのか!?　やっぱ、城よりはいいような気がする。そして、最後に先生は、最も驚くべきことを言ったのだった。

「生年月日から見ると、湖が出てるわね。やっぱりこの人はデリケートなんですよ。海とは違って湖の水面は、いつもチロチロと小さく細かく波立っているでしょ。そういう心の内面を持っているわね。あと、辰と牛と犬と羊が憑いてるわね、この人。牛が憑いてる人っていうのはお金に困らないの。あっ、やっぱり、こういうふうに小指が、薬指の第1関節より長い人もお、お金には困らないのよ」

辰と牛と犬と羊!?　名前である辰。子供の頃に代わりに耕耘機を轢いてあげた牛。そして大好物、否、大好きな犬。前3つはすべて当てはまるじゃないですか！　では、羊って何だ？　願わくば、おひつじ座の俺のことであって欲しいと、熱烈に思うのであった。以上。

ザ・検証コラム

遅ればせながら『PRIDE．7』ですよ。凄かったボブチャンチン。他の試合はちょっと退屈だったけど、あのケアーが死んだ瞬間が見れただけでも大満足。歴史的瞬間ですよ。結局、グランド状態での頭部への蹴りは反則ってことでノーコンテストになっちゃったワケだけど、だったら桜庭のサクラバード・キックってのも反則じゃないのか？　あとスライディング・キックも。修斗でもUFCでも、いつもわかりにくいのが、このグランド状態での頭部への蹴り。ヒザ立ちはグランドだとか、スリーポイント・スタンディング（身体の3点がマットについている）は立ち状態だとか、確かにわかりにくい。だから、いっそのこと『PRIDE』ではグランド状態での頭部への蹴りはありってことでどうでしょう？　ボブチャンチンのヒザだって、しっかりガブって、首相撲からヒザの角度でキレイに入れたキックボクシングの技術じゃないっスか？　VTはこれから、固めてからの打撃の打ち方のバリエーションが増えると思うのですが。ということで、『PRIDE．8』で桜庭、ホイラーの腕を伸ばしちゃってください。そしたら泣くね。ついにグレイシー姓を持つ男がタップですよ。何年越しの悲願だ、コンチクショー。あと、船木はヒクソンとやらないでください。UWFかUWFインターの選手が、ヒクソンをやるところが、俺は見たいのです。じゃなきゃ意味はないっス。他のヤツは関係ないじゃん。俺には船木がUWFだとは、とうてい思えません。

実物大 藤波の手相

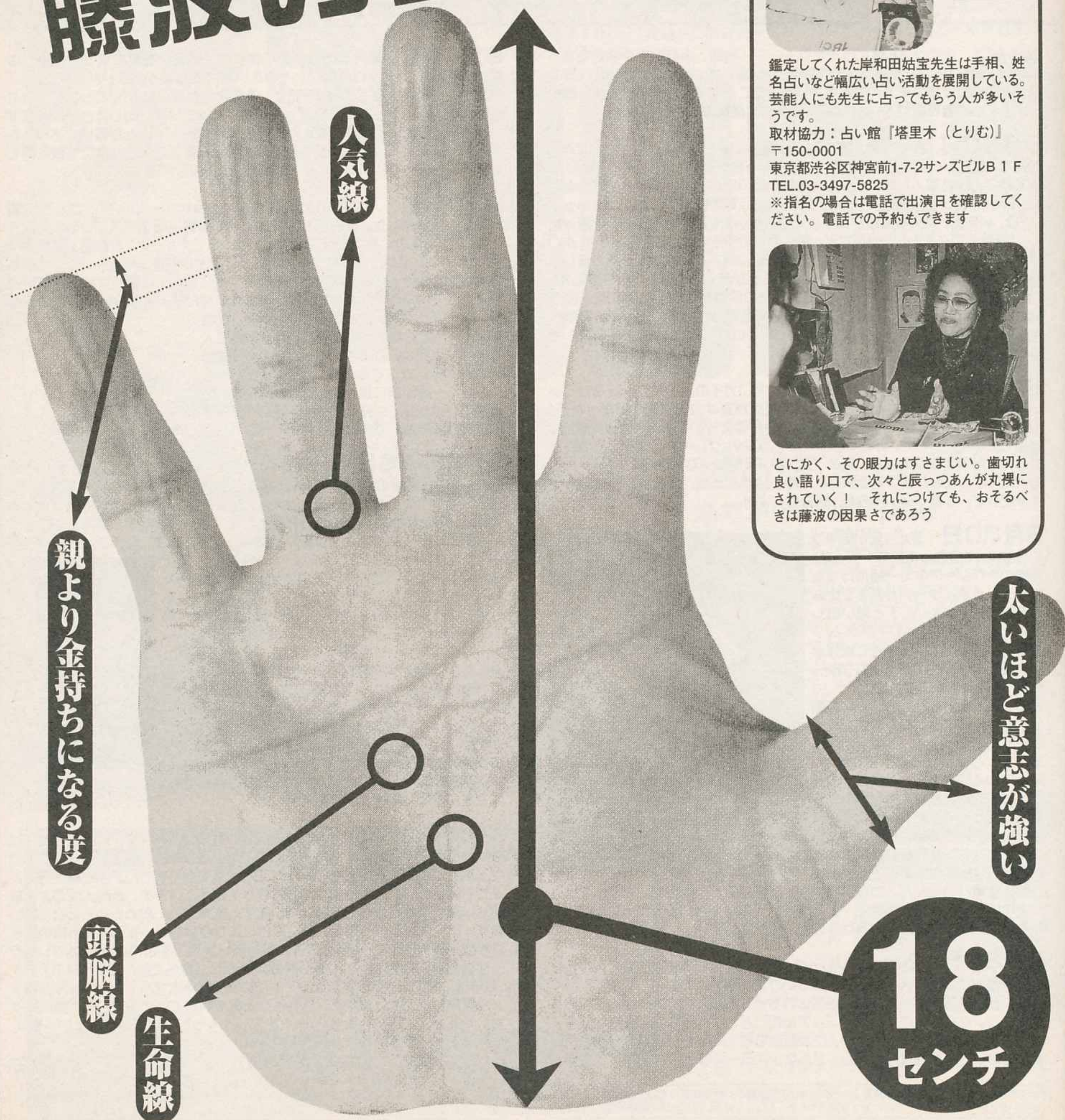
人気線

親より金持ちになる度

頭脳線

生命線

太いほど意志が強い

18センチ

鑑定人 岸和田姑宝先生

鑑定してくれた岸和田姑宝先生は手相、姓名占いなど幅広い占い活動を展開している。芸能人にも先生に占ってもらう人が多いそうです。
取材協力：占い館『塔里木（とりむ)』
〒150-0001
東京都渋谷区神宮前1-7-2サンズビルＢ１Ｆ
TEL.03-3497-5825
※指名の場合は電話で出演日を確認してください。電話での予約もできます

とにかく、その眼力はすさまじい。歯切れ良い語り口で、次々と辰っつあんが丸裸にされていく！　それにつけても、おそるべきは藤波の因果さであろう

『PRIDE.0』初代殿堂娘　武田いづみの

げんこつ山のパルチザン日記

『PRIDE.0』二代目殿堂夫人
（真下家の）キッチンナビゲーター
真下純子の

ちょっと、昼ごはん食べにこない？（残り物）

予想通りのジャイ子失脚に伴い、このページの新担当となったチョロです。「このデカ女、仕事が増えちゃったじゃねぇか！」と口から怒りがこぼれ落ちそうになりましたが、よくよく考えてみると、いづみちゃん＆マシジュンと話ができることに気付き、3分遅れでジャイ子に感謝！吉田豪の『ジャイジャイ日記』を期待していた読者の皆様、すんまそん。今回はナシよ！

懺悔

大モンゴル博に行きたい人一？　前回、中野選手の名前をうっかり改名以前の名前で書いちゃいました。不覚。そういえば改名したと聞いたときウチで大ニュースになったことをすっかり忘れてた。懺悔ということで書き取り！　巽耀巽耀巽耀巽耀龍耀龍雄……アッ！

8月20日

午前3時。家の近くの路上に寝ころがる。めざし状に4人並んで「星キレーイ♡」などと言ってみたり。言ってることはかわいいが、やってることは異常。しばらくして「あれ、動いてない!?」と1人が言い出した。確かに光る物体が動いている。飛行機にしてはもの凄く速い。「うわっ！UFO、UFO！」夜中で頭がおかしくなっていた私達はUFOに手を振ったり、「解剖してやる！」と叫ぶなど、思い思いのチャネリングを試みたがUFOは北の空へと消えた（目撃談風）。友達はみんなUFOをはじめて見たらしく興奮気味だったが、私は昔、昼間に見たことがあるので偉そうに発表した。「どこで？」と聞かれ、「ローソンの前」。「それは嘘だ」。ほんとなのに。夜が明けて、あまりに眠くて不愉快になったので解散した。家に帰って洗面所へ行き、ふと見た鏡には『目ヲ覚マシテクダサイ!!』Tシャツを着た自分。そりゃUFO呼ぶわ。

8月29日

「ブリッジしている時、キ○ガイの人が来て手首をカミソリで切られる」……これは「胚芽パンの胚芽が実は虫の羽根や卵だったら」と並んでイヤな妄想。この話をすると、みんな自分の手首をつかんで隠し、悶絶していた。それで、昨日のグレート・ムタvsグレート・ニタ。私の周りの人には地雷より電流より、あの“鎌”が「反則じゃないのよ！」「鎌ってさあ、あんなことしたら切れるよね？」等、話題だった。爆発より刃物の方がイヤだって。うまくいかんのぉ、新日さんよぉ。

8月30日

夏だ。思い出をつくらねば。そう思って旅行へ行った。途中のタクシーの中で一緒に行った友達（トゥナイター）が「マグナムTOKYOに会いたい♡」と言い出した。が、私以外は「マグナム？誰？」。友達はマグナムのどこが好きかを語りはじめ、しまいには「あー、もう！　マグナムに会いに行こう！」と私を誘った。友達からこんなに熱心にプロレスに誘われたのは初めてなので、私のテンションも上がる。そんなことを言ってるうちに到着。乗っている間ずっと、タクシーの運転手は地元の名所などを説明したそうだったが、マグナムの話でそのスキを与えず。ごめん、運ちゃん。宿泊するコンドミニアムの管理人のおばさんに「みんなは高校生？」と聞かれ、全員「いや～ん、ちがいますぅ」と嬉しそうに答えた。そういえばさっきの運ちゃんにも「高校生？」と聞かれてみんな嬉しそうだった。そして私も。喜んでること自体、負けなのか。負けないぞ。

9月27日

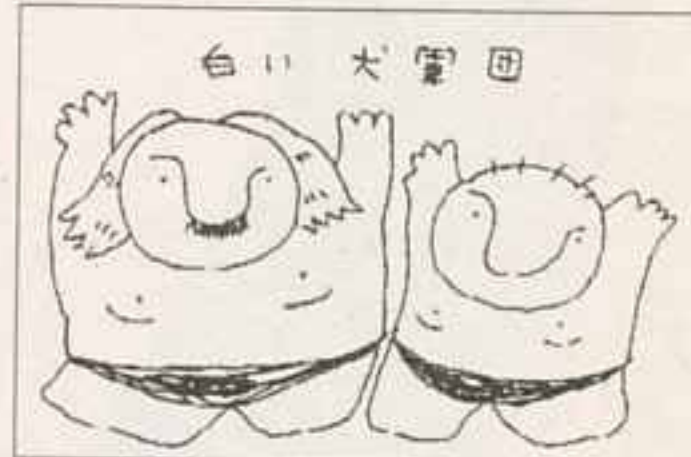
西村修はガンだった。どっかで人ごとだと思ってるからこんな鬼畜なことを言えるのかもしれないけど、西村、おもしろくなっていくなあ。うまい言い方ができないが選ばれちゃってる人のニオイがしてくるじゃないか。これ以上のギミック（リアルだけど）があろうか。西村ならギミックにできる。あ、すごいヒドイこと言ってる？　でもコレ本心なんで。同情はしないけど期待はふくらむ。どんなレスラーになっていくの？　注目。

いづみちゃんから『プリクラ、写真等よいものがないので友達がくれた似顔絵をできたら使っていただきたいなと思っております』とのFAXが届きました。しばらく見ない間になまずヒゲが！

9月12日

町内運動会がありました。運動会を見に来るお母様方の格好はなぜ皆女子プロゴルファーみたいなのでしょう。サンバイザーだし。夜はインターネットで『PRIDE.7』の結果を見ました。「どこかのパチンコ屋はよく出る」ってマイクで言ったとか、モンゴリアン出したとか、低空ヤクザキックだとか、炎のコマとか、目を覚ませ——！…とか書いてあっても実際見ていないので全然わかりません。試合を見る前にこんなに情報を得てしまうのはあんましいいことじゃないかもしれないです。

9月18日

「Be together、Be together、コ・シ・ナ・カ」。新日を見に行きました。開場前ヒマだったので蝶野選手のコスプレの人を数えたりしていました。彼らを「プリティ・リトル・チョーノ」と命名。開始早々蝶野選手の欠場が伝えられましたがプリティ・リトル・チョーノたちは取り立てて騒ぐわけでなし非常に紳士的です。そこらへんは普段は紳士な蝶野選手に通じているのでしょうか。よくわかりませんが。後藤達俊選手は地元なのでもう少し大声援かと思ったのですが、残念ながらそうでもなかったです。犬軍団のお二人は抜けるような肌の白さで美しいです。日に当たらずパチンコしてるのでしょうね、きっと。この日、一番印象に残ったのは、パートナーの破壊王がはかなげに見えてしまう程の「ミングのエラヅヨ加減」です。

9月25・26日

名古屋の中心地街・栄で「バイタル99」というお祭りがあり、みちのくプロレスのみなさんがいらっしゃいました。秋空の下、家族でみちプロ観戦です。そういえば、テッドさんの地元は名古屋なんですよね。公園での特設リングなので間近にレスラーのみなさんを拝めることができます。今年の私はカメラを片手に張り切っていました。フィルムの予備もぬかりありません。あわよくばサスケ選手と一緒にお写真を撮ろうと思っていたのです。試合後も多くの人がサインや写真撮影を目当てに残っており、私も待ちました。本当に待ちました。試合時間より多くの時間を待ったような気さえしました。そしてスーツに着替えたサスケ社長が出ていらっしゃいました。夫にカメラを渡し、撮影を託しました。あとは社長に声を掛ける勇気です。一歩足を踏み出したその時、夫が言いました。「カメラ、たった今電池切れたよ」……。あまりのことに声が出ませんでした。話は変わりますが、藤田穣選手の活躍は素晴らしく（眉毛の加工が行き過ぎなのが残念ですが）、2日間通してのMVPに選ばれました。プレゼンテーターは春一番さんです。前号に続き、また会えました。

ミドリマスクのサスケさんの右側に写っている白いのは私です。この直後電池切れました。

10月3日

今日は小学校の運動会でした。「ドキッ!!　運動会だらけの女」。この日は肌寒く、風も強かったです。座って風に吹かれるだけで体力が消耗されます。家族ごとに分かれてお弁当を食べました。ふと横を見るととても体格のいい児童が大きなおにぎりを食べています。新崎人生のような険しい顔で次から次へ口へ運んでいます。気持ちいい程わしわしと食べています。私は食べるのも忘れ、彼に釘付けになりました。もうお弁当箱の大きさが我が家の5倍くらいあります。お母様、大変ですよね。「やっぱりレスラーや格闘家になるような人は子供の頃から沢山食べてたんだろうなあ」とか「お母様、お宅のおぼっちゃまシアトルに預けてみません？　アニマル浜口ジムも素敵」とか思いながら、うっとりと彼を眺めていた私でした。彼は散々食べたあと、「ウィダーinゼリー」をズジューっと吸い込みました。…それ、デザート？　すごいねボク。

P.S.　和田良覚レフェリーの血液型がRhマイナスのAB型と知り驚きました。それと、いま『PRIDE.8』のためにへそくりを貯めています。『PRIDE.8』は行けるかもしれません（夜行バスで）。
先日、娘の部屋からかねてから行方不明だった『ジャイアント台風（最近出た豪華本）』の1巻が出てきました。迷いましたが2巻と3巻も置いておきました。

大変なことが起こったんだ～。
でもまあ気楽になっ。座布団1つ！

9・14■闘龍門を観戦する楽太郎師匠

News News Revolution

9月～10月のこれがマットの焦点 事件FILE

『2000年まであと2ヶ月ちょっと、だまってオレについてこ～い!!』と叫んでいたサスケ社長が死亡したというニュースが届きました（本誌P145参照）。『オイオイオイ、どーなってんだ！ こりゃ、ビックリだな。』という皆さんは、復習が必要！ ここを読んでこの1ヶ月ちょっとの間に起こった事件を振り返り、そして思い出すのだよ！　最後の合い言葉は、『社長！ 申し訳ございませんでした』これでどうだい！

9/15 なんと、賞金総額50万ドルのトーナメントを開催

リングス後楽園大会終了後の前田日明CEOが、32人参加、賞金総額50万ドルのオープントーナメント開催を発表した。50万ドルと言われてもピンと来ないかも知れないが、あの『K-1』の賞金総額が30万ドルと言えば、前田が『50万ドルやで』と自慢するのも納得せざるおえない。

エンセンや小川など他流派の大物が参戦するか否かに注目が集まっている。ただ、リングス・ネットワーク内でも、「オープンフィンガー・グローブ着用」「顔面パンチOK」「ダウン、ロープエスケープなし」という特別ルールで、田村らがどう闘うかも注目だし、オーフレイム、アイブルらの顔面パンチなど想像しただけで怖い。またキングダム出身の金原や『UFC』を主戦場とする高阪が本領を発揮する姿も見たい！　とにかく大注目の見逃せないトーナメントである。

9/7 天龍さん、ホラをブチかましていいですか！（by大仁田）

WAR興行にも関わらず、やはり主役は大仁田である。この日は、6人タッグ（天龍、ボーゴ、中牧vs大仁田、荒谷、菊澤）であったのだが、試合終了後天龍が『おい、大仁田。お前、いよいよおわりだな。俺とお前が組まなきゃお前は新日本で終わりだよ。お前と組んでやってもいいぞ！』とアピールしたのに答えるかのように、大仁田は見出しの言葉から口火を切り『邪道』の意を捨てて、2人で組み藤波・長州の首を狙うことを高らかに宣言した。

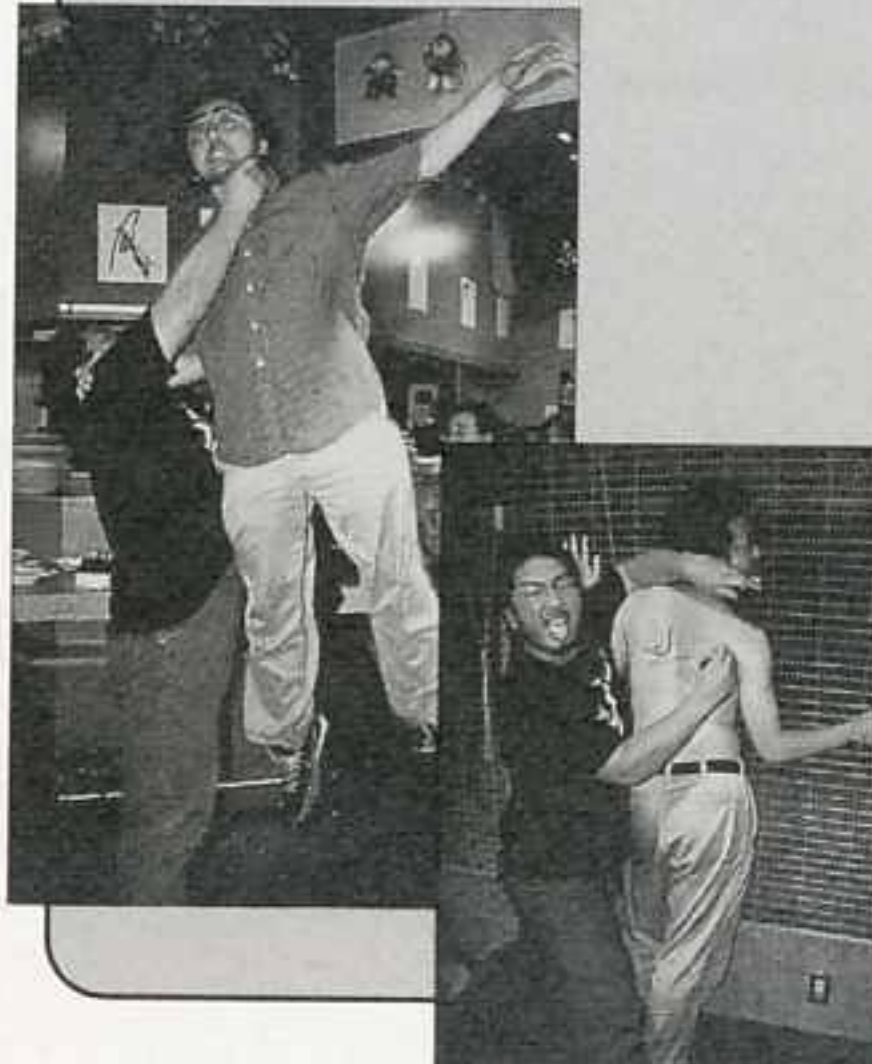
「蝶野に、大仁田は負けた」

「ニタは、ムタ.に負けた」

大仁田よ！　ニタが復活したように、長州力を蘇らせることができるのか？　これの答えを出すのは、高校のテストの数億倍難関であることだろう。

9/23 波乱の新日9月シリーズで武藤＆ノートン組がひっそり優勝！

開幕戦前日に、橋本vs小川戦が発表され大多数の注目は、橋本の言動に奪われるという、『G-1クライマックス・タッグリーグ戦』9月シリーズ。そんな中での決勝戦（武藤・ノートンvs中西・永田）は、かなりの盛り上がりを見せることとなったものの、こちらも、東京ドームへまっしぐらの闘いが繰り広げられることとなるとは、まさにこのリーグ戦の、もの悲しさ。しかし、さすが、天才、武藤敬司！　見せ場を作ってくれました。IWGPを意識しすぎている中西を手の上で転がせるような闘いをやってのけ、まだまだ第3世代には、負けられないプライドを存分に見せつけたのだ。（ちなみに、武藤は、タッグリーグ戦3連覇を成し遂げた）首の負傷でケガをしてしまい残念ながら蝶野は欠場してしまったが、闘魂3銃士の存在感はやはり、常に話題の中心なのを再確認させられてしまったのである。

9/13 スモーノブよ、これがスモウへの洗礼だ！

『スモウ・ダンディ・フジを囲む会』なるものが、居酒屋『梵婆家』にて開催された。闘龍門JAPANのホームページ内にある『ダンディー倶楽部』（ファンのエロ質問に、ダンディが真顔で答えるマット界に類を見ない奇特なコーナー）の集いなのだが、ホームページ同様、きわどい質問に答えるダンディの姿が凛々しく見えた。そこで、本誌編集者、坂井ノブこと『スモー・ノブ』が改名前に乱入！　だが、そこは坂井ノブ。せっかくダンディが喉輪＆張り手でスモウ道の厳しさを伝授してくれたというのに、変身前だからか（それに期待したい！）ぐったりで『痛いヨ～』と半泣き。あまりのへたれぶり満載にダンディも半ばアキレ気味でビールをガブ飲み（ダンディ、ありがとう）。とてもホンワカムードのイベント中にサム～イ空気が流れるという、ちっぽけな事件でした。
はぁ～、ドスコイ、ドスコイ。

9/25 なぜだ!? 長井満也が、掣圏道に入団決定！

リングス退団後、『K-1』のリングを主戦場としていた長井満也が掣圏道に入団した。かねてからプロレスへの復帰を噂されてはいたが、なぜ、プロレス界の極北・掣圏道なのか？　謎が膨らむばかりである。

入団発表記者会見では、SA（掣圏道アソシエーション）から『SWA（掣圏道ワールドアソシエーション）』に変更することと『SWAボクシング』、『SWAプロレス』、アブソリュートの3本を柱とし4階級にわたって掣圏道初のチャンピオンが10・2の有明大会で誕生することが発表された。そして長井の主戦場は、ビックリするような凄い大物選手が参加予定の『SWAプロレス』になる。そこには、もちろん佐山本人も登場し、『今度こそ痩せてみせます！』と気合いも十分。立ち技の『K-1』から学んだことと『リングス魂』を持ち、そして『佐山イズム』を継承しようとしている長井。なぜか犬猿の仲の団体をスイスイと渡り歩くこの男、かなりの勢いで要注目です！

9/15 クラッシュ対決終炎、そして再結成か？

女子プロはこのところ、観客動員的にはガイアの1人勝ちである。昭和新日やWWFばりに、ビッグマッチに向かって連続ドラマが展開されることがその要因であろう。

この日は4・4横浜で飛鳥に敗れガイアの全権を奪われた後、紆余曲折を経た長与のリベンジマッチである。長与が勝てばガイアの全権奪回、飛鳥が勝てば長与SSU入りの条件を懸けた試合は、長与がまさかの火炎噴射で勝利。

ここで単なるハッピーエンドで終わらないのがガイアである。北斗と尾崎の『チーム・ノストラダムス』とラスカチョが負けた飛鳥に反旗を翻して次々と今後の伏線が張られていく。そして長与はマイクで『トンちゃん、俺はお前でお前は俺なんだよ』と飛鳥にアピール。すわ、クラッシュ再結成かという所で『つづく』のテロップ。この興行上手！　憎いね！

9/24 フランク・シャムロック“UFC卒業マッチ”に劇勝!

前田日明スカウトが見守る中行われた『UFC・22』。メインはフランク・シャムロックvsティト・オーティズのUFCミドル級タイトルマッチ。ティトはフランクがUFCを留守にしている間にのし上がったスーパースター。アメリカのネット上では「フランクはティトから逃げている」という論調が広がっており、ティトもフランクを「口撃」したため、この“ミドル級頂上対決”は同時に大遺恨マッチとなっていた。試合は下馬評どおりティト有利で進むが、最後はスタミナが切れたティトをフランクがヒジとパンチでメッタ打ちにして逆転勝利。UFC史上に残る激戦を展開した二人、日本の各団体の獲得競争が激化するのは必至であろう。はたしてフランク、ティトが次に上がるのは『PRIDE』か、リングスか、『UFC-J』か。

また、この日は他にも好勝負が続出。佐藤ルミナ専務と1勝1敗の戦績を誇るジョン・ルイスは、ローウェル・アンダーソンにTKO勝ち。そしてそして前田スカウトの目に止まった2人、まずブラッド・コーラーはスティーブ・ジャドソンをわずか31秒、右フック一発でKO。敗れたジャドソンは血を吹き、首にコルセットをはめられ退場。コーラー恐るべし。もう1人、ジェレミー・ホーンはパンクラスの常連ジェイソン・ゴドシーにガード・ポジションからの十字で一本勝ち。「優勝賞金22万ドルやで」の殺し文句が功を奏したか、コーラー、ホーンの2人は揃ってリングスの50万ドル争奪オープントーナメントに出場が決定。コーラーは山本宜久とホーンは金原弘光とそれぞれ一回戦で激突。コーラーvsヤマヨシは壮絶なシバキ合い。ホーンvs金原はハイレベルなグランドの攻防が見られることは間違いないだろう。

さて11月はいよいよ『UFC-J』。是非ともこの日のような興奮を生で味わいたいものだ。ところで“消えたオクタゴン”は見つかったのだろうか。おしえて、坂田代表!

9/9▶10/11 これが小川VS橋本戦の10・11までの道のりだ!

思い起こせば、衝撃の1・4ドーム以来、『再戦は不可能だ』と誰もが疑わなかった小川vs橋本戦が、10・11東京ドームにて行われることが正式発表された。だが、橋本はこのことを何も聞かされてないという、とんでもない事態であることが発覚したものの、2人はもちろん最終決着へ向けて乗り出すことになった!

そして、9・14上越大会で小川が乱入。『なんなら、ここでやってやろうか』と小川が言えば『オレも男だ! こいっ!!』と橋本が答え、まさに一触即発のムードが漂った。

その後、小川はNWA防衛戦サーキットのため渡米。そこで次々と巻き起こる大事件が待ち受けていた。ゲイリー・スティール、ブライアン・アンソニーとの『トライアングルマッチ』で疑惑の高速カウントにより、なんと王座転落! なんとしてでも、ドームにベルトを持って上がりたい小川は、LAのジムにて猛特訓を開始。その時、橋本が練習中の小川をいきなり襲撃したのだ! 後ろから突然襲いかかり、小川は失神。橋本はそのまま失踪してしまう。残された藤波は、ひたすら謝罪し、猪木の要求を全て飲むこととなったのであった。さらに小川の帰国後、調印式で突然ボールペンを叩きつけて机を投げ飛ばした破壊王は、藤波社長のビンタ制裁ぐらいではビクともしないやる気がみなぎっており、ドン・フライにオープンフィンガーグローブを着用しての小川対策を教わってみたりと、この時点では、橋本の小川戦への情熱が1歩リードしているかのように見えた。

そして運命の日、アントニオ猪木リングアナウンサーの『元気ですかーッ!!』で場内もこの上ない盛り上がりを見せ、藤波社長レフリーが闘志みなぎる2人を裁くこととなった。その結果はみなさんご存じの通り、小川大勝利! で、『ニュースステーション&トゥナイト2』でも放送され、翌日のスポーツ新聞3紙も一面を獲得したほど、もの凄い試合で世間の注目度も非常に高かったのである。果たして、再戦はあるのか!? 今後も両者の動きに注目だ!(東京スポーツ)

9/19 バトラーツに入団した新入りとは?

『Mr.デンジャー』の大食いチャンピオンとしてプロレスファンにちょっぴり有名なお笑い芸人、東京ダイナマイツのハチミツ二郎がバトラーツ入りを表明。CS放送企画も兼ねて、という話だったものの、本人はいたってマジ。この日は芸人仲間やターザン山本も交えた送別会が盛大に行なわれた。しかし運動経験ナシの二郎、初日に30分のスパーリングに耐えて石川社長を喜ばせたものの、残念ながら現在入院中。お大事に。

9/11 大阪プロレスに覆面練習生がいる!?

大阪プロレスの会場に、覆面練習生が存在するというのをキャッチした。練習生で覆面を着用しているということで、『将来有名になるに違いない!』と先読むファンの中では、ひそかな人気をはくしているという。そして、ここで大ニュース!! 元シュートボクシング、フェザー級王者、村濱武洋選手の入団発表があり、1月4日なみはやドームで堂々デビューすることが決定! 次号、村濱インタビュー 決行予定だ!!

9/7 浅野社長の決意は半端じゃないぞ!

IWA社長、浅野紀州。このところ、『東スポ』紙上を賑やかすことNO.1である。行方不明になったと思えば、ターザン後藤に全裸で拉致され段ボールにつめられ宅配されてしまったり。そして今回挑んだのは、有刺鉄線十字架はりつけ電流爆破の刑であった。はりつけにされた社長に、爆破の炎が襲い右目失明の危機に陥ることとなった! 常に体を張ってIWA存続の危機を救う姿には、本当に脱帽である。

10/8 悲報、ゴリラモンスーン逝く。

日本プロレス時代、『ワールドリーグ』に初来日し、ジャイアント馬場のライバルとして日本のファンを魅了したゴリラモンスーンがこの世から去った。山本小鉄さんも実況中継で『私もゴリラモンスーンと闘いましたからね』とよく口にしていたことからご存じの方も多いはず。今ごろ、必殺技のジャイアントスイングを天国の馬場さん相手に、かけていることだろう。ご冥福をお祈りいたします。

10/7 昼の新橋SL広場にバト戦士現る!

みちプロ&バトの合同興行『兄弟愛』の記者会見が、新橋SL広場前にある大ビジョンを駆使し両社長がパンツ1丁にネクタイという出で立ちで行われた。会見終了後、新橋駅周辺にバト戦士達の姿を発見! なんと、自分達の手でチラシ配りをしていた。ちなみに1番優秀な配り手は、マッハ純二。ごくろうさまでした。新橋サラリーマン諸君! チラシをもらった人は会場に足を運んでくれましたか?

9/29 天国のジャッキーさんに大声援が送られた。

8月9日に他界したジャッキー佐藤さんの追悼興行は、ビューティ・ペアに敬意を表して全試合タッグマッチ。ジャッキーさんゆかりのOGも大勢集まった。セレモニーではジャッキーさんの軌跡をまとめたビデオが上映され、歌のシーンでは会場から声援が飛ぶ一幕も。セミのW井上vs豊田&堀田京子が堀田を押さえて勝利。貴子の豊田に対する「オマエが全女のトップなんだよ!」という堀田を無視したマイクアピールに今後の波乱を予測させた。

●11月4日に発売される『スコラ』誌上で、『正道会館』石井館長&『新日本プロレス』藤波社長の夢の対談が実現した! これは見逃しちゃいけないゾ!!

帰ってきた! 紙プロ流観戦記

BOUT REVIEW 2000

BOUT REVIEW

BOUT REVIEWRIST 紹介

- ●ぐらん……吉田豪の内弟子
- ●チビスケ……(大西タマリンの元職場同期)現役編集者
- ●キモ……大西タマリンの実妹
- ●ガンツ……紙プロ練習生
- ●ポッキー……紙プロ練習生
- ●エミ……本誌風雲広告嬢
- ●シボーノブ……脂肪まみれデブ
- ●ジャイ子……P128参照
- ●中村カタブツ君(36歳)……エロじじい

8/29 TOKYO FMホール
格闘探偵団バトラーツ

ヤングジェネレーションバトル99

第5回ヤングジェネレーションバトルの決勝戦、今回は、他団体からの参加はなく、バトラーツオリジナルメンバーだけで行われた。昼の大会(昼、夜興行であった)が始まる時点では全参加選手8人中6人に、優勝のチャンスがあるという大混戦となった。

その混戦の中を抜け出て決勝のリングで池田の大ちゃんと石川社長が相まみえ、激しいファイトを展開した。そして、大ちゃんが見事にヤンジェネ3度目の優勝を果たした! 全日本プロレス、アジアタッグ決定リーグ(垣原賢人とのタッグ)参戦に弾みをつけることとなった。この秋は、必ず大ちゃん旋風が吹き荒れるぞ!

ボクは個人的にTFMという会場が大好きである。300人という人数で超満員となるこの会場は、どこからでもリングの上はハッキリ見える(もちろん狭いから)。そして選手たちのバチバチファイトが会場の隅々まで届き渡り、観客の1人1人に『熱』と『情念』をうえつけられてしまう。

決勝戦が終わった後に石川社長が『今日は、みんなの声援が来たくても来れなかった外で待っている6万人の声に聞こえます!』とマイクアピール。東京ドームの前に6万人の行列を作るよりも、本当にこのホールの外で待つ『来たくても来れなかった人たち』の6万人の行列を見たい! と心の底から思うのである。

それではいきますか!

1、2、3、ナーシャ!

(ぐらん)

ミクロデータ

11月9日 後楽園ホール『B-TOGETHER東京墓情編』が行われる。村上一成(UFO)も参戦決定。メインはアレクサンダー大塚vs松永光弘が決定! 一体どんな闘いになるのか予想もつかないだけに要必見なのだ。

バチバチ度 15%
爽快度 15%
ファッション度 1%
情念度 69%

極私的ベストバウト

1位 石川雄規vs池田大輔
2位 アレクサンダー大塚vs小野武志
3位 臼田勝美vsモハメド・ヨネ

9/5 後楽園ホール
修斗

Shoot the RENAXIS 1999

なぜそんなに自分を責めるのか?

こんなことを思うなんて予想もしなかった。試合後、取材人に囲まれながらガックリとうな垂れ、腫らした顔で言葉少なめに受け答えする、そんな宇野薫に……。

王子様に一目会いたいという一心に駆けつけた私は、格闘技ファンの飛び交う批評、知識自慢のトークバトルに感心しつつ、場内に入るやいなや、ものすごい観客のうねりとどよめきに驚いた。

この日のセミファイナル、ディン・トーマスとの闘いで宇野は右ローキックを繰り返し、トーマスの左足にタックルをし続け、粘りに粘って最後はスリーパーを決めて1本勝ちを納めた。しかしその時、宇野薫は勝者であるはずなのに、苦い顔をしていた。

イグアナの娘は自分の姿を知っていただけに、いつも冷静であった。イグアナの息子はその上に自分に厳しく、忠実なファイターである。1試合ごとに自問自答を繰り返し、自らにそして彼を見守ってくれる人に応えたかったに違いない。だからこそ着実に勝利を獲得し、ついにはベルトを巻き天国のお父さんにも報告することができたのであろう。

決して、宇野薫にとって満足のいく試合ではなかったかもしれない。だが、その日会場にいた観客にとっては、(守るという意味での)王者を意識させることのない闘いっぷりに歓喜と興奮の時を与えられたのではないか。少なくとも私はそう思う。がんばれ王子! これからも王子には、各種各国、様々な勝利の味を堪能していただきたい。

満面の笑みを振るまう王子の顔を速く拝みたいものである。

(チビスケ)

ミクロデータ

今年も、バリジャパの季節がやってきた。12月11日東京ベイNKホール。現時点では、植松直哉vsジョン・ホーキしかカード発表されてはいないが、バリジャパ初メインの桜井マッハ速人、そして佐藤ルミナがどんな闘いをするのかが、大注目なのだ。

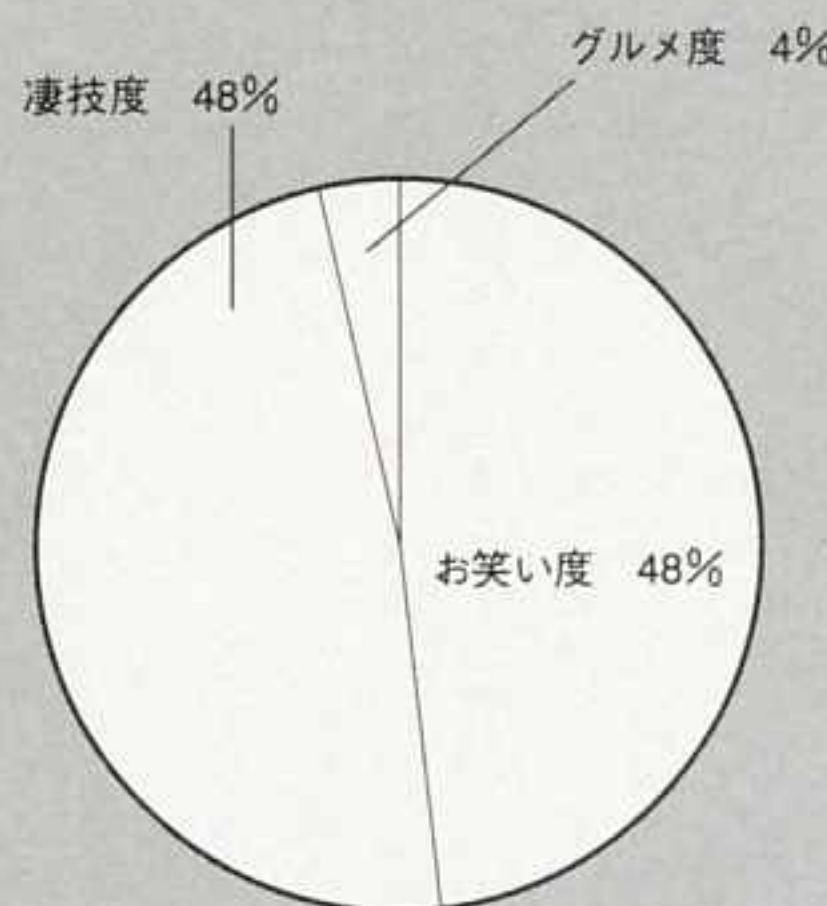
おしゃれ度 10%
カップル度 5%
ニューカマー度 10%
人口密度 60%
アグレッシブ度 10%
ファッション度 5%

極私的ベストバウト

1位 宇野薫vsディン・トーマス
2位 朝日昇vsアレクサンドラ・フランサ・ノゲーラ
3位 植松直哉vs野中公人

9/11 光明アムホール 大阪プロレス

大王生誕シリーズ

凄技度 48%
グルメ度 4%
お笑い度 48%

極私的ベストバウト

1位 LOV劇場
2位 サルセロダンシング
3位 情熱★熱風カレーにむしゃつくお客さん

大阪梅田花月シアター横にある、アムホール。もちろん、赤提灯ざわめく立地である。ここで行われる大阪プロレスは、親近感ありすぎでとってもいい感じなのだ。こんな味わい初めてのお客さんであったらやみつきになることは確か。いわば、三角座り、ビールがぶ飲みで、プロレスに気軽にのることができる。

選手紹介（くいしんぼうはゲップがおきまり）時に、スペシャルゲスト・ジョーダンズ登場！　ショッパナから客はバカチン連発で大興奮。『リングの魂』企画『幸せ団体家族計画』番組撮りであったのだが、1週間で指定されたマスクマンを暗記というお題の中にサスケ社長の顔があったのが涙を誘うところである。そこでデルフィンは、自信マンマンで「デキルイルカ」をアピールしたのであった。

デック東郷のテーマ曲がHipHop調になっており、『デック東郷・海援隊テーマ』を思い出しつつDJ節でのLOV紹介を『格好悪りぃープププ』と声を出して笑いそうになることを反省。しかし、プロレスをやらないBIG・DICK296（喋りご担当）、あんた1番強いよ！　もとい怖えーよ！　金属バットをあちこち転がし、そっと楽屋に帰ろうとしたBIGであったが、お客さんで通れず立ち往生するもすぐさま練習生を呼びつけ、罵倒し殴りまくるったらありゃしない。オイオイ、マイク離さないんだったらバットも離すなよ！

これがいわゆるVIVAってるルチャ試合（コテコテ劇場）であったら前進も後進もない。しかし「大阪プロレスLOVにはずれなし」これ常識!!

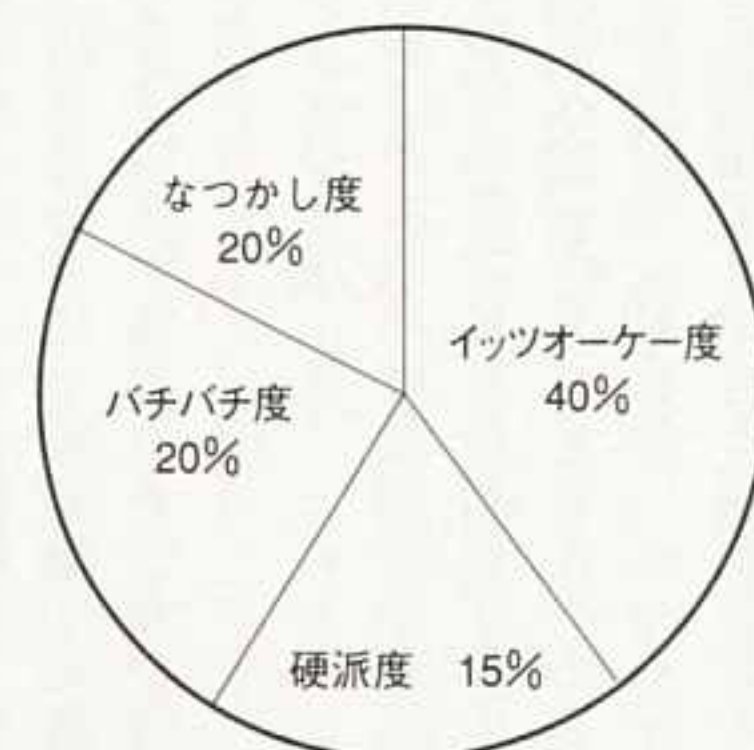
（キモ）

ミクロデータ

元シュートボクシング、フェザー級王者、村濱武洋が、星川尚浩との異種格闘技戦で来年1月4日大阪なみはやドームにて仰天、プロレスデビュー！　次号にて、村濱インタビューを決行します！

9/15 後楽園ホール RINGS

バトルジェネシス VOL5

なつかし度 20%
イッツオーケー度 40%
バチバチ度 20%
硬派度 15%

極私的ベストバウト

1位 本間聡vs リー・ハスデル
2位 山本宜久vs オーフレイム
3位 フィエートの全て

リングスは他流試合をしてナンボ。これがボクの持論である。田村、ヤマヨシ、TKが絡んだときの試合内容には定評があるリングスであるが、パンクラスと揉めたときにCEOが発した「対抗戦で負けたら、お前らリングス解散だよ」の言葉に象徴されるように、他流試合での緊張感は半端じゃないんである。

これは外国人にも波及しており、ザザやミーシャがVTで見事な前田イズムを発揮してきたが、この日は本間と対戦したリー・ハスデルが見せてくれた。

本間は成瀬を2度に渡って破り、佐野をVTで血の海に沈めた立ってよし寝て良しの強豪。ハスデルはこの本間を相手にグランドには行かずスタンド勝負の作戦で一歩も引かずにドロー。実験リーグの頃を思い起こさせる緊張感溢れる好勝負であった。

他の試合も、好勝負続出。前回の横浜文体で人気をさらったフィエートは、この日も一番人気で対戦相手のクータジャーが気の毒になるほどセオリー無視の大暴れ。最後は超高速ヤクザキックからブン殴りエルボーという、総合格闘技とは思えないフィニッシュで完勝し、もう最高。メインは注目の巨大化したヤマヨシ。U系の選手が小型化し、ミドル級が中心となる中でこのデカさ迫力は本当に貴重だ。

次回からはいよいよ「50万やで！」争奪のオープントーナメント。これを書いている時点で参加選手は発表になってないが、他流試合の緊張感に溢れる大会になることは間違いないだろう。リングスの本領を是非見て欲しい。

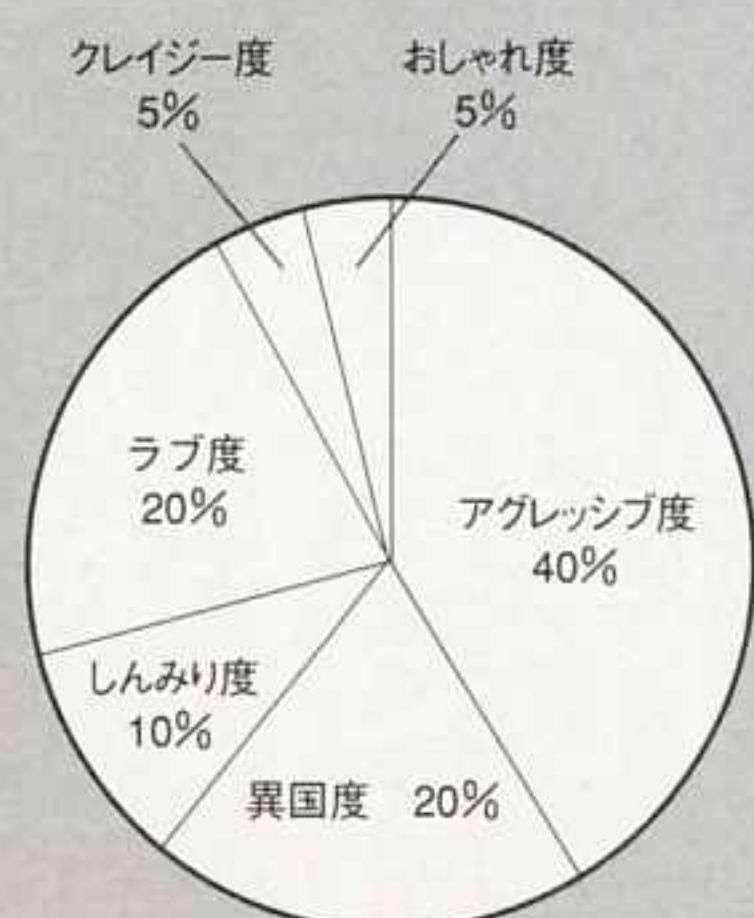
（ガンツ）

ミクロデータ

前田日明兄さんが、学園祭にやってくる！　11／1　京都産業大学【問い合わせ】075−705−1557　11／2　中央大学【問い合わせ】0426−74−2899　きっと、ナマ兄さんの大切なお言葉が聞けるはずだ！

9/18 ベイNKホール PANCRACE

BREAK THROUGH TOUR

クレイジー度 5%
おしゃれ度 5%
ラブ度 20%
アグレッシブ度 40%
しんみり度 10%
異国度 20%

極私的ベストバウト

1位 近藤有己vs 国奥麒樹真
2位 柳澤龍志vs小路晃
3位 船木誠勝vs トニー・ペテーラ

今大会は、お世辞抜きで揃いも揃ってナイスカード！　第1試合からメイン？　と見間違うほどです。『パンクラチオン』あり、『他流試合』ありで、これは『ボケボケしてらんないよ！』って感じになっちゃいました。

この日メインは、個人的に大注目の近藤有己vs国奥麒樹真の『キング・オブ・パンクラシスト・タイトルマッチ』。近藤は、掌打の応酬からの飛び膝蹴りを放ち、見事にヒットさせ国奥が崩れ落ちてしまった瞬間、鳥肌たっちゃいましたよ！　34秒で秒殺なんてここに初期パンクラスを見たぞ、というお得感。今まで、『いつも近藤ってなんで強いんだろう？』と思っていたけど、この試合を見て、ちょっとわかった気がしました。きっと、近藤の強さは打たれ強いことと頑丈な体、それと心と体の奥底に潜むお坊さんのような忍耐力にあるんだね（自己解釈）。

近藤は今『マトリックス』っていう映画にハマってるんだって（何回も映画館に行っているらしい）。若者ネオが知った現世の真実。それは仮想現実『マトリックス』に支配された偽りの世界でしかなく、ネオは人類の手に現実を取り戻すために、戦いに乗り出して行くっていう映画なんだけど、近藤も闘いに乗り出して行くネオって感じするもんね。

ところで、なんで『紙プロ』ってパンクラス載ってないんですか？　私は、『紙プロ』でパンクラスの記事が読みたい!!　どうか関係者のみなさま、なんとかお願いしま〜す（敬礼）。

（エミ）

ミクロデータ

11／28　大阪なみはやドームの興行では、近藤有己vsセームシュルトのキングオブ・パンクラスマッチ。そして、12／18　横浜文化体育館では、鈴木みのるの復帰戦と船木誠勝のパンクラチオンルールによる闘いが行われる。

9/18 後楽園ホール 全日本プロレス
ファン感謝デー

5月の『ジャイアント馬場引退興行』以降、全日を会場で取材させて頂けることとなった。まだまだ新参者の我々は会場と試合とコメントの中から、闘いのテーマを探さなければならない。

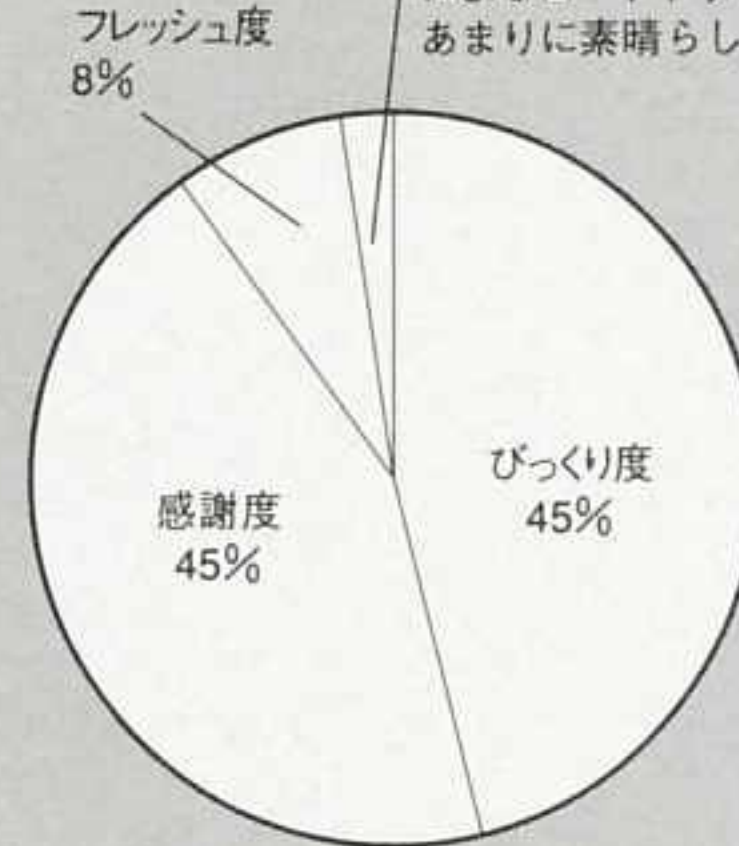
まず、いままでボクが取材してきた団体は、後楽園を満員にするのも苦戦していたところばかりだったので、カード発表していないにもかかわらず6時半に客席がギッチリ埋まっているのは新鮮な衝撃だった。メジャーといわれる所以が客席からも漂っている。

さらに、この日は年に一度の『ファン感謝デー』ということもあり、普段の対立構造やら格といったものをすっ飛ばして、すべての対戦カードを抽選で決めるというおそろしく画期的な企画が実施された。その結果、第1試合から小川vs高山という豪華な組み合わせが実現（15分時間切れ引き分け）。志賀vs渕という、往年の赤鬼マニア泣かせな試合もあった。そして、何と言っても素晴らしかったのは、秋山&多聞&永源vs馳&百田&泉田で行われたメイン・イベントである。秋山と百田が絡んだり、馳が永源をジャイアント・スイングでブン回したり、百田が場外に飛んだりと、かつてない光景が次から次へと飛び出した！　いつ、どんな相手でも、急に組まれたカードであっても素晴らしい試合をする全日本の選手の懐の深さが発揮されていた。この日の興行は『ファン感謝デー』であることを差し引いても、怖ろしく熱を発散していたと思う。いつものままの素材を抽選という形で、アッと驚く料理法をしてみせた。全日本からファンへ送られたプレゼント。最高に贅沢でジャイアントなサービスだ。

（シボーノブ）

ミクロデータ

毎週土曜日、FIGHTING TVサムライで全日本の『キングスロード』という番組が放映中。パーソナリティは、なべやかん。全日レスラー達のプライベート映像も満載。三沢社長の爆裂トークも必見だ！

WWF度　2%（木原リングアナによるロードドッグのモノマネが、あまりに素晴らしかったので）
フレッシュ度 8%
感謝度 45%
びっくり度 45%

極私的ベストバウト

1位　秋山準&本田多聞&永源遥vs馳浩&泉田純&百田光雄
2位　渕正信vs志賀賢太郎
3位　小橋健太&丸藤正道vs大森隆男&橋誠

9/24 有明コロシアム 掣圏道
「SAボクシング4階級王者決定戦」

「カレリンをプロレスラーにしま～す」発言、スーツ型の道着、押忍（敬礼）のポーズ、ロシア美女などなど、5・27設立記者会見以来、次々と我々の想像力を刺激してくれた掣圏道がいよいよ首都圏上陸である。はたして何を見せてくれるか楽しみだったが、肝心の有明大会についての情報は圧倒的に不足していた。そんな不確定要素が災いしてか客席は見事な不入り。そして客層は見るからに〝市街地での実戦〟の経験が豊富そうな、迫力あるルックスをした方々多く、リング上だけでなく客席にも緊張感が支配していた。

会場に入り対戦カードを見ると、H・ナイマン率いる〝はぐれリングスオランダ軍〟参戦中止のため、シュライバー以外は見事にお初にお目にかかる選手ばかりであった。選手の知名度はUFO旗揚げ戦のそれを更に下回るものの、試合は「掣圏道に膠着はありません」の言葉どおりやたらと積極的な試合展開でKO続出。試合のレベルも予想以上の高さだった。しかし、悲しいかな感情移入できる選手皆無のため、客席が熱くなる時は遂に訪れなかったのは非常に残念である。

タイムマシンで10年後の素晴らしいレベルの高い世界に連れていったことが、皮肉にも観客に時差ボケを起こさせてしまったようだが、僕は試合前の佐山の素晴らしい挨拶（今号のピンナップで完全再録）が聞けただけでもう既に大満足。これでもかと出てくるロシア美女ダンサー、敗者のための5カウントゴング、客だしに使われた素晴らしいエンディングテーマともう、おつりが来る位なのだ。

とりあえず掣圏道に栄光あれ！　そして次回また会う日まで、スィーユー。

（ポッキー）

ミクロデータ

な、なんと、ニセ加勢大周こと坂本一生が、掣圏道が掲載された新聞記事を読みいてもたってもいられなくなり、押し掛け入門を直訴するために、帯広大会に乱入し見事、入団することとなった。これからは、『虎の穴』での過酷な修行が待っているとか。

バチバチ度　20%
セクシー度 40%
佐山ワール度 40%

極私的ベストバウト

1位　スルタンマゴメフ・カフカズvsウイリアム・ヴァン・ローズ・マン
2位　佐山代表の素晴らしい挨拶。
3位　素晴らしいエンディングテーマ

9/26 クラブチッタ川崎 二瓶組
（旗揚げ興行）プロレス任侠伝 ～人斬り数え唄～

「喧嘩知っていますか？　喧嘩していますか？　二瓶組は知っています　二瓶組はしています」

なんだか物騒なコピー（しかし、ホントのことらしい）を引っ提げてインディー界に生息している二瓶組が、今年4月の二瓶組長逮捕ももろともせず、結成5年目にしてついに旗揚げしました！

会場に入ると、リングサイドにはダークレッドのソファーが。これが噂に聞いたキャバクラシート、2万円か。高け～っ！　試合前からバドガールのとなりでゴキゲンなオヤジが酒盛り。まだ昼の1時なのに。旗揚げってことでこれも愛敬か？

カード発表時に仰天したのが井上京子vs門田（もんでん）幸子の一戦。京子といえばWWWA世界チャンピオン、かたや門田は月に1試合あるかないかのドインディー。見る側としては「壊されないうちに終わって」と願うだけ。京子側のセコンドがひとりだったのに対して、門田側は二瓶組全員プラス他団体数名、って心配されすぎ。しかし、門田は持ち上げられるはずもない京子にブレーンバスターを試みた。見かねたセコンド総がかりで門田に協力、形はまるで崩れてたけど「門田が京子を投げた」ってことだけで大合格！　そんなレベルの選手が京子と組まれることに関しては賛否両論でしょうが、この試合は素直に感動できたし、うっかりもらい泣きまでしちゃいました。あとは門田に「またやろう」という京子の試合後の言葉を社交辞令で終わらせないように精進してもらいたいもんです。

この日はご祝儀ムード満載で興行は成功だったけど、今後はそんなに甘くない!!　みなさん、また外に出て磨いてください。

（ジャイ子）

ミクロデータ

全試合終了後、鴨居長太郎が失踪。心配した組長始め、組員ががが近所を駆けずり回って捜索したところ、呑気に食事してるところを発見された。原因は腹ペコ。

ご祝儀度 20%
極道度　10%
キャバクラ度 70%

極私的ベストバウト

1位　井上京子vs門田幸子
2位　門田のセコンド
3位　試合に興味がなさそうなバドガール

9/30 北沢タウンホール
DDT

DDTの証明

よく「DDTはアメプロ」って言われてるけど、そうか？　ジャイ子にとってDDTは『ASAYAN』。油断するとすぐに試練（裏切り）が待ってるし、DDTで「次回、衝撃の新展開!!」なんて予告されたとしてもしっくりくる。『ASAYAN』がアメプロを意識してんのか？

8月にはタウンホール2連戦、9月からは中野ケーブルテレビで試合放送開始と順調なDDTが、「そんなことでDDTに平和が来るか！」と言わんばかりに前回の興行でまた大波乱。エースの高木三四郎を筆頭に、エキサイティング吉田、ナオミ・スーザンの3名が追放を言い渡されるという、残酷かつ斬新な事件が勃発！

追放を言い渡した木村浩一郎側が用意したセキュリティがうろうろしてるせいで、ロビーにまで落ち着かない空気が漂うなか試合は始まり、恒例のネオDDTのコーナー（メンバーが好き勝手に悪態ついたりする時間）では安心しきった篠社長が会場裏口にカメラをセッティング、追放組が追い返される様子を会場に流そうとしたところ、スクリーンに映ったのは、ナオミ・スーザンが「いかにも」なボディコン姿でセキュリティを誘う姿。その隙に吉田が会場に潜入、篠社長があわてふためいたところでリング上のスーパー宇宙パワーがマスクを脱ぐと、そこには高木三四郎が。もちろん三四郎のテーマが鳴り響く。カンペキ！

更に、この日は折原昌夫が現れ、次回、実のの弟を参戦させることを表明（本人都合が悪いため）。なんだそれ、面白いじゃん!!

やっぱ「次回、衝撃の新展開!!」って感じでしょ？

（ジャイ子）

ミクロデータ

この日、篠社長が「ネオパラ」を結成発表。ロン毛のちゃん兄ちゃん5名をバックにパラパラを踊りまくる、目的不明のグループだが、社長はいたってゴキゲン。11月20日全町大会にも登場なるか？

セキュリティーにビビリ度　5%
ASAYAN度 25%
パラパラ度 30%
乱入度 40%

極私的ベストバウト

1位　篠社長のパラパラ
2位　タノムサク鳥羽&宇和野貴史vs大作&勇作
3位　木村浩一郎vsエキサイティング吉田

特別番外編

8/27 築地本願寺ブディストホール
北野チャンネルvol・5

『ガチンコトークバトル本願寺決戦』

スカパーの『北野チャンネル』は非常に身の毛のよだつ素晴らしいチャンネルである。

そのクオリティーの高さは当然のことながら、特筆すべきは『毒占・北野ワイドニュース』内の『ガチンコ人生相談』コーナーの暴走ぶりだ。酔っぱらったターザンをSM嬢の部屋に連れ込み、全裸にして責めに責めに上げる様子を実況したり、ターザンの120万円の入れ歯を大アップにしたりとごく一部の人間には実にたまらない番組を絶賛制作中であるからだ。気がつけば宇宙からターザンの醜悪な裸体と入れ歯が降ってくる、この現実。やはり世紀末である。

さて、そんな奇跡のチャンネル『北野チャンネル』主催のライブ『ガチンコトークバトル本願寺決戦』が8月27日、築地・本願寺で行われた。ホストはターザン、ゲストはサスケ社長とアレク選手、司会は浅草キッドというこのトークショーの模様はいくら2ヶ月遅れとはいえ、やはり紹介しておかなねばもったいない。「プロレスをダメにしたレスラーは誰だ！」をテーマにターザンの無責任な発言の数々を堪能していただきたい。

「誤解しないで欲しいんだけど、マイナスとプラスの影響力のないヤツはそれこそダメなんだから。例えば、飯塚とか田上を見ろ！　ダメなレスラーは批判する価値があるということ。一応一回はリスペクトしたってことだから！」と誤解のしようもない、フォローにもなんにもなってない前置きをしたターザンは最初から飛ばす、飛ばす。

アレク選手が『PRIDE7』で「高田をプロレスの世界に戻したい」と発言したのを受けて「その試合はVTとして見ていいのか！　プロレスなのか！」といきなり核心に迫り、「あんたね、〝Show〟大谷じゃないんだから」と玉袋さんからもっともなツッコミを入れられるターザン。だが、このぐらいで動じる男であるはずもなく、博士の「高田が健介とやらなかった真相はズバリなんですか？」との問いに「負けろといわれたんじゃないの？」と憶測ですらない妄想を無責任に言い切ってしまうのだ。さすが！　さらには「新日は独裁政権のエゴイズム丸だしだよな。でも、新日本は米（金）を出す。全日本は米を出さないから、しょうむない外人ばっかしだ！　スコーピオとか」と散々奢ってもらった全日にまで牙を剥き、しかも間違った外人批判まで言い放つのだから男らしい。博士&玉袋さんが同時にツッコんだようにスコーピオはプロレスセンス抜群のいい選手です。あなたは見ないでモノを言い過ぎる、最近！

続いて佐山聡については「佐山も猪木も性格破綻者。だから帰る家もないんですよォォ」と完全に自分のことは棚上げ発言。そして前田日明CEOに対しては「俺は、前田日明好きだよ。だって俺謝罪文書いて仲直りするもん」と断言したかと思えば「『拝啓、前田様。私は絶対にジャイアント馬場からマンションを買っていません』と、まず書いて、プロレスは格闘技と書いたのは、あなたのことはプロレスラーだと思っています。あなたはプロレスラーですよ！」と結局謝るそぶりも見せないわけである。しかも「ホントは自分でもプロレスラーって言いたいんですよ。でもスポンサーが付かないから言わないだけなんだから」と、恐ろしいことまで言い出す始末。この後も「藤波社長は完全なお人形さん」だとか、「長州から信頼されてる『ゴング』の金沢編集長を指して「俺のマネ」とか言いたい放題で元気抜群だ。

謝らない、自分を省みない、その場の流れだけで発言するターザンのバイタリティーはさすがは元週プロ編集長！　売り上げ部数40万部のバケモノ雑誌を作った昭和のモンスターの凄みをまざまざと見せつけられたわけだ。

また、サスケ社長はデルフィンについて「亡くなられた馬場さんが「人間は裏切るよりも裏切られる方がマシだよな」ってましたけど「それだ！」と思いましたよ。裏切る人間よりも裏切られた人間でいいじゃないですか」とウソ泣きしながら語り、アレク選手も、博士の「猪木さんのような個人の闘いが見たい」との言葉に「ボクも個人主義ですから。バトラーツに所属してますけど自分だけが良ければいい」と骨太に語ったりと文句なし。

こんな危険な会話&映像が流れる『北野チャンネル』はプロレス・ファンなら絶対要チェックだということなのだ。

（中村カタブツ君）

上記のような狂気のライブから「ビートたけし世紀末毒談映像版」「ビートニクラジオ映像版」「北野武監督作品最新情報」「カップルのための性の悩み相談Club．H」など刺激的なラインナップで送る『北野チャンネル』はスカイパーフェクTVに加入すれば存分に楽しむことができるのである。急いで入るべし。問い合わせは0570―037―816（スカイパーフェクTV）まで。

坂井ノブ、水死!!

スモーノブ誕生!!

痴呆、恥態は健在!!

岡本魂

指定された場所に行くと、坂井ノブがすでにいた。チョロの顔を見るやいなや「よく来たなぁ」とドスをきかせた声で迎える。

岡本魂

「お前はぁぁ！　スモー・ノブが見たいかっ!?」鬼の表情で迫るノブに、「ちっと、見たいです」とわけもわからず適当に答えるチョロ

「そうかぁ！（バチーン）」とビンタを食らわすと、ノブは祈り始める。すると、みるみるうちに肥大していくではないか!?　だがここで、日頃のノブへの恨みを込めた渾身のヤクザキックをチョロが放つ！　無防備のノブは勢いよく海へ転落！

これがノブの生まれ変わり、スモーノブである。たとえ、仕事が出来なくてもしょうがない。メシを食って相撲で勝つのが仕事だからだ

ドスン！　ドスン！（四股を踏む音）「は〜、ドスコ〜イ！　ドスコ〜イ！」勇ましい音と共に、チョロに喉輪＆マウントツッパリでリベンジ！

闇の中から溺死体が浮かんできた……すると引き込まれるように海中へ沈み、その次の瞬間、海の中から人影が現れた！

ノブ！　これからは力道山先生を生み出した相撲の道を行くんやで!!　タコ兄さんは大阪から見守っとるでぇ〜

『紙プロ』史上最大の人気者キャラクターノブの師匠・原タコヤキ君親方（タコ部屋）

結論から言おう！　坂井ノブは死んだ。というか、殺された。

しかし、その次の瞬間に我々は信じられない光景を目の当たりにすることになる。突然、現場周辺に相撲甚句と太鼓の音が鳴り響き、柵の向こうからマワシを締めた男が現れた。

これがスモーノブか!?　生まれ変わったノブの姿は想像を絶するものだった。「ドスコーイ！」という奇声を発しながら、すり足で移動。脂肪まみれの身体と高見山を彷彿とさせるモミアゲで、ムサ苦しさも2倍、2倍！　口を開いたので、何を言うかと思ったら、「腹減ったでごわす……」と言い残して、闇に消えた……。

ノブは死んだのか？　だが、翌日からは、ノブの席に何事もなかったようにスモーノブが座ってるじゃねえか！　結局、坂井ノブは死に、新たな力士編集者が誕生した。だが、この関取の目的は？　次号より衝撃のスモー初仕事、じゃなかった初土俵が始まる！

笑激の過去暴露写真公開！

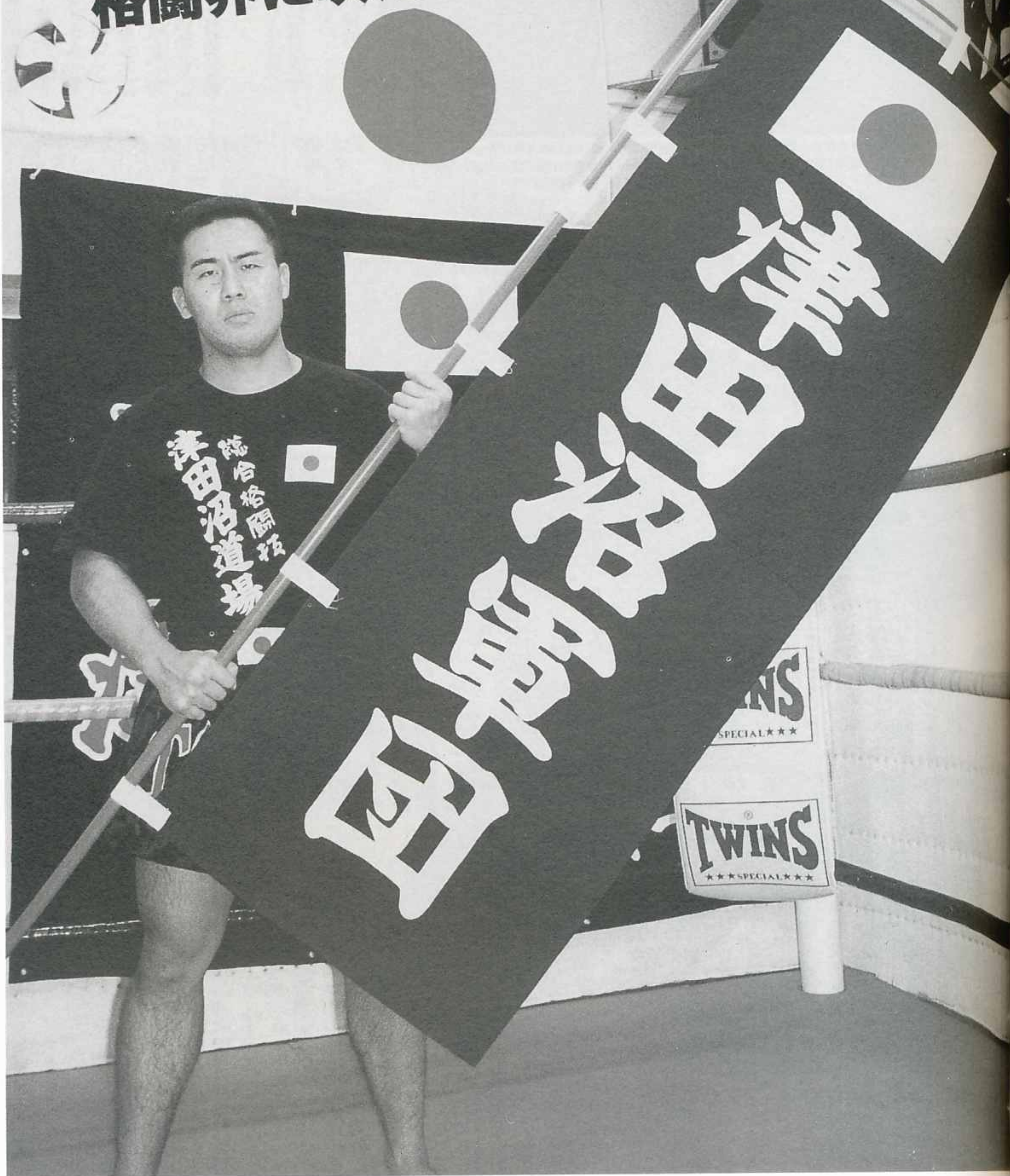
5年前はかなりのイケメンだが、いまや力士である。時のうつろいとは怖いものだ

5年前 → 3年前 → 現在

［前編］

田中健一

格闘結社田中塾代表師範

初期シューターにハズレなし！ 男・田中健一、格闘界に吠えまくる!!

格闘結社田中塾・代表師範田中健一。本誌連載中の「吉田豪の書評の星座」において、2号連続でその名前が登場していたのを覚えている方も多いだろう。「今の修斗は理想の格闘技からかけ離れた」などと、人気絶頂の修斗に対し吠えまくっているから穏やかではない。現在の修斗の躍進は坂本プロデューサーの手腕によるモノと評価している吉田豪も、この男にはただならぬ興味を引かれたという。いったい田中健一とはどんな男なのか。

聞き手／吉田豪
interview by Go Yoshida

撮影／チョロ
photographs by Choro

——田中さんは、長髪、金髪の男が嫌いだっていう話を聞いたんですけど（笑）。

田中 （聞き手の吉田豪の金髪に目をやり）あぁ、チャラチャラ髪の毛伸ばして染めてるヤツ見るとムカつきますね。

——ボクなんかも入りますか（笑）。

田中 まあ好きじゃないッスね。それで長髪だったら最悪ッスね。たぶん喋ってないでしょうね。

——ダハハハハ！（恐縮して）押忍！最近、雑誌などで田中さんの発言を読んでいてホントに面白いなと思ってたんですよ。例えば「いまの修斗は自分の理想の格闘技から離れてしまった」とのことですけど。

田中 そういうことは最近じゃなくて昔っから言ってますけどね。

——どの辺りが理想から離れたと思われてるんですか？

田中 まず一番の原因はヒクソン（・グレイシー）でしょうね。ヒクソンが来襲してきて、今のようなルールが出来たっていう。昔のシューティングは、まずスタンドで殴り合って蹴り合って掴んで投げて、寝技になって膠着状態になったらブレイク。それで、もう一回スタンドで殴り合い蹴り合いって感じでしたから。

——確かに昔は掣圏道ばりにブレイクが凄く早かったですよね。

田中 そうッスね。グルグルグルグル回ってましたよね。やっぱ、やってる方も楽しかったし、見てるお客さんも退屈しなかったし、一番実戦に近かったですよね。それがヒクソンが来襲したことによって、やっぱりマウントとかサイドポジションだの抑え込みのコントロールがだんだん評価されてきましたよね。

——ポジショニングが重要視されてきたわけですよね。

田中 知り合いのブラジル人から深く聞いたんですけど、ブラジル人のケンカっていうのは、「コノヤロー！」ってケンカになって、例えば5対5とか、10対10

とかどっかのグループとケンカになるとしますよね。お互いのグループから代表を1人づつ出して必ずタイマンなんスよ。他の仲間達はそれをずっと見てるだけ。例え自分達の代表が危なくなったからといって途中で手助けしたら男としてのメンツとかプライドが丸潰れなんスよ。

——ブラジルはそういう国柄なんですね。

田中　男としてそういうことはやっちゃいけないっていう暗黙の了解みたいなのがあるみたいで。そういう風に子供の時から親に教育されてるわけですよ。だから1対1でのガードポジションとかの技術が生まれたわけです。だからタイマンだったら、ヒクソンがやってるグレイシー柔術の技術はやっぱ最高ッスよ。何にもない大草原で1対1で「はい始め!」ってやったら、やっぱり寝技の技術を持ってるヤツが勝ちますよ。

——それはそうでしょうね。

田中　でも例えば、あなたに聞きますよ。名前なんていいましたっけ?

——あっ、吉田と申します。押忍!

【99・4・8／後楽園ホール『大道塾THE WARS5】キックルールの試合から2年、総合格闘技の試合は5年振りという状態で試合に挑んだ田中健一。試合の1週間前に肉離れを起こすという最悪の状態ながら、大道塾中量級王者の小川英樹と激しく熱い打撃戦を繰り広げた。

自分はタイマンだったら誰にも負けない強さになったんスよ!

田中　吉田さんがチンピラ5人に絡まれたとしますよね。そこに救援を1人出してやるっていったらヒクソンとK－1チャンピオン、どっち選びます?

——ケンカだったらやっぱり打撃の方がいいかなと思いますね。

田中　そうッスよね。わかりやすく説明するとすればそれなんスよ! もし俺だったらK－1チャンピオン、K－1チャンピオンよりはムエタイの選手を選びますよ。それで、もともと自分が格闘技を始めたキッカケは単純にケンカが強くなりたかったからなんスよ。自分が中学一年の時に二人組の不良にカツアゲされて、そっから俺の人生は変わったんスよ。

——カツアゲが人生を変えたと（笑）。

田中　カツアゲされて強さに憧れるようになったんスよ。それから悔しくて我流で毎日体を鍛え始めて、高校入って柔道をやって、芦原空手をやってる先輩に空手も教わって、三年後、自分はタイマンだったら誰にも負けない強さになったんスよ。自分が行ってた高校は千葉県では有名な不良校だったんスけど、ケンカやっても負けなかったし。それで三年後にカツアゲされた場所に行って通行人をずっと見てたんスよ。そん時やられたヤツの顔って忘れられないもんじゃないスか? 屈辱ですからね。ブッ飛ばされて金取られましたから!

——悔しいから、三年待ってカツアゲしたヤツを探しに行ったんですね（笑）。

田中　今考えたら三年後にそこを通るわけないんスけど、でもそいつらさえブッ殺せば、少年院だろうが網走刑務所だろうが、どこ行ってもいいと思ってたんスよ。それが俺の目標だったんですよ。

——シューティングに出会ったのはその頃になるわけですか?

田中　たまたま本屋でシューティングの特集してる雑誌を見たんですよ。それを見て、寝技もあって打撃もあって、「あこれはいいなぁ」って思って入ったのが津田沼道場だったんスよ。

——市街地で実戦を積みながらジム通いが始まるわけですね。

田中　いや、自分からはケンカは売ったことはないッスね。目つきが気に入らないとかいって因縁付けられたときだけッスね。それで津田沼道場ってホント狭くて、六畳一間ぐらいだったんですよ。それで、冬は寒いし、夏はサウナ状態、雨漏りはするわヒドイとこで。それに先輩も1人しかいなくて、ほとんど二人で練習やってましたね。

——普通なら他のジムに移りそうなもんですよね（笑）。

田中　いや、一回ここに入ったからには、意地っていうか、しみったれた自分の性分ですけど続けたんですよ。それに自分は東京のジムに対抗意識があって、「なにコノヤロー!」みたいなところがあったんスよ。それで先輩がやめちゃって練習相手がいなくなってからは、ひたすら基礎体力作りを黙々とやってたんスよ。寝技のシャドーなんてやってましたからね。

——寝技のシャドーですか（笑）。

田中　自分は全部我流なんスよ。佐山代表にもシューティングの技術を教わったっていうのはほとんどないですし。「何の格闘技やってんの?」って聞かれても「シューティング」って答えてなかったッスから。「我流で総合格闘技やってます」って答えてましたね。それでいろんな所に出稽古行って、強い人とスパーリングやって完成したのが、いま道場生に教えてるヤツなんです。

——「今のシューティングはグレーシーイングになってしまった」とも言われてましたよね。

田中　そうッスね。やっぱり男に生まれたからには多少なりともケンカに強くなりたいっていう気持ちは誰でもあるハズなんスよ。でももう俺に言わせると水臭いッスね。もういいんじゃないスか、シューティングはあのルールで。アレはアレでいいんじゃないスか。

——シューティングはスポーツとして勝手に高めていってくれと。

田中　そうッスね。

——修斗の創始者でもある佐山さんは、いまは掣圏道をやられてるわけですけど、それに対する考え方っていうのは実戦という意味でかなり近いわけなんですか?

田中　近いッスね。もともとウチでよく道場生に言ってるようなルールなんですよ。ポジショニング教えるときも、「いいかオマエら、これは実戦では使えないからな。シューティングの試合に出たいヤツだけ覚えろ!」って。（パチンと手を叩き）「はい、今からスポーツ始め!」ってやってますよ。

——ダハハハハハ! そこは一線引いて（笑）。

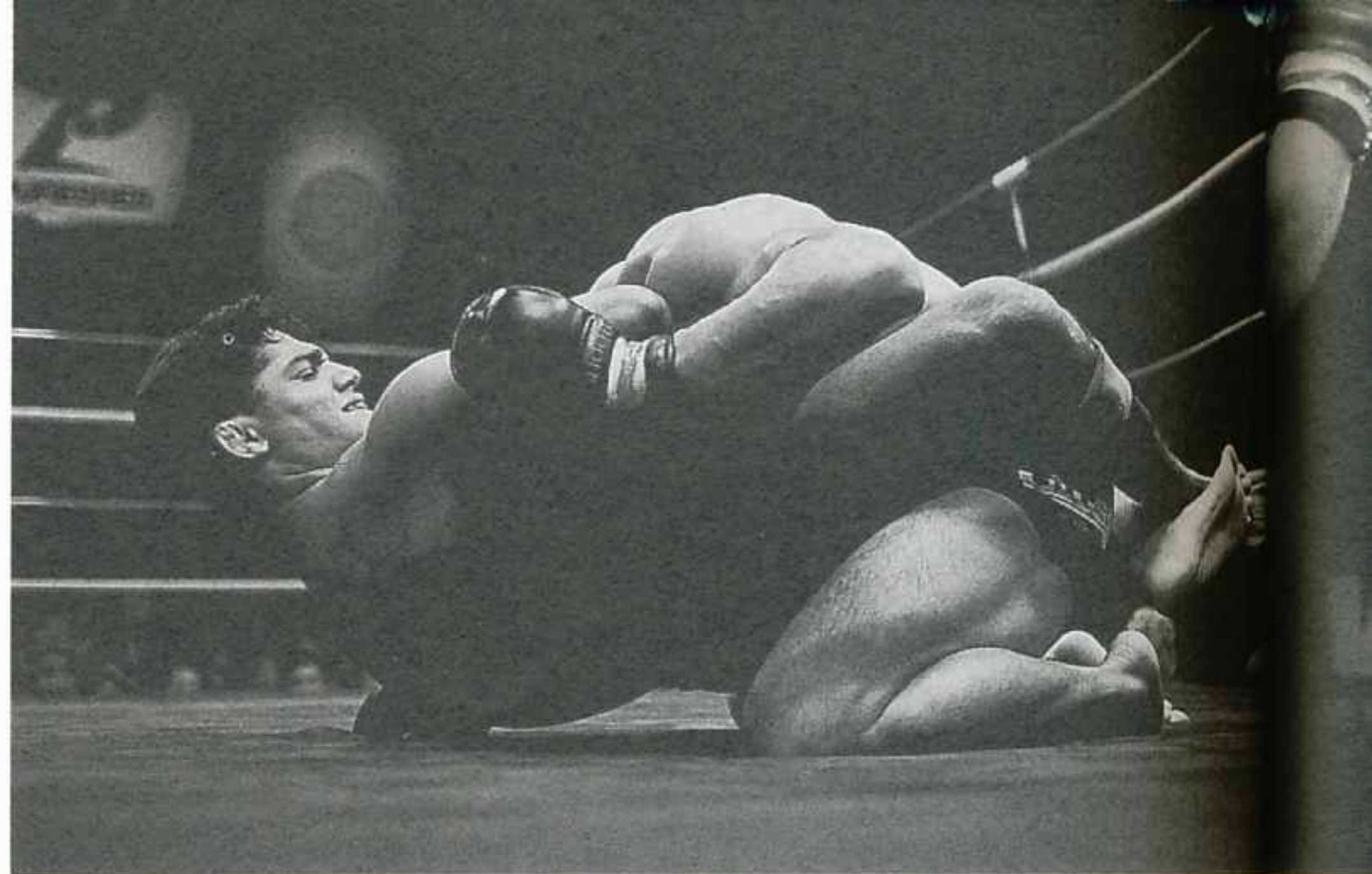
田中　「オマエら実戦だったらこんなのやってる暇はないからな」って言って。「はい、シューティング出たいヤツはこれ覚えろ!」って、「やりたくないヤツ、強くなりたいヤツはこっち来い!」って、別のこと教えるんですよ。でもいいんじゃないスか、掣圏道のルールは。自分好きッスよ。

——確かに盲点でしたよね。実戦性を求めると、ここに行き着くっていう。

格闘結社田中塾 道場チェック

押忍!

なんと田中健一は、あのヒクソン・グレイシーと初めてスパーリングをした日本人だった。ロスの道場で、田中がグレイシー道場生とケンカさながらのスパーリングを始めると、横で練習していたヒクソンも釘付けになったという。上はグレイシー勢との記念写真。

田中が我流で練習していた際のBGMはベニー・ユキーデのテーマだったという。道場には初期修斗のポスターが何枚も貼られていた。

スーパーシューティング

田中塾に足を踏み入れると、そこには興味深いポスターやら、記念写真がたくさん飾られていた。最高顧問は佐山聡だ。

プロレスはサーカスや、マジックショーを見るのと同じ感覚ですね

田中　そうッスね。やっぱり天才ですから、佐山代表は。いまシューティングが盛り上がってるじゃないですか？　佐山代表は、先のことを読んでやったと思うんスよね。やっぱ天才ですよ。

――佐山さんは何でも早すぎるところがありますよね。Uスタイルからなにから、先を読んでやってますからね。掣圏道がプロレスと一緒にやっているということに対しては何かあったりしますか？

田中　自分はプロレスは嫌いじゃないですもん。別に好きでもないけど。それに掣圏道では「プロレス」っていって「プロレス」やってるじゃないですか。だからいいんスよ。大いに結構ですよ。楽しいッスよ。この間も福島で、ＴＡＫＡみちのく＆タイガーマスク対田中稔＆日高郁人って見ましたけど、面白かったッスよ！　アレはいいッスよ。だから、サーカスやマジックショーを見るのと同じ感覚ですね。だからヘタクソなプロレス見るとムカつきますよ。

――ＳＡプロレスはいいッスか（笑）。

田中　でも、その中にリングスとかパンクラスが入っちゃったら、俺は関わらないッスけどね。あんまり見たこともないんですけど（苦笑）。

――グレーゾーンと呼ばれそうなものとは関わりたくないわけですね。

田中　アレはプロレスって言ってないですからね。紛らわしいのはムカつくんスよ！　自分はパンクラスって、なんかのテレビでたまたま深夜にやってたことがあって見たことあるんですけど、ロープブレイクがあるそうですね？

――来年からはなくしていく方向みたいですけど、今はまだありますね。

田中　いいッスよね、気楽で！

――ダハハハハハハ、気楽！

田中　でも、いま笑ってましたけどロープブレイクって修斗ルールの中にも1回は入れた方がいいと思うんスよ。1ラウンドに1回じゃなくて、1試合に1回！　それは何故か！

――はぁ、何故なんでしょう？

田中　俺の高校の時のケンカの話なんですけど、自分は柔道やってたんで簡単に相手を投げ飛ばしたんです。でも、そこから顔面攻撃しようとしたら、ワックスで滑ってスッポーンって転んじゃったんスよ（笑）。まあそん時は上履きもカカト踏んづけてましたから。

――田中さんらしいですね（笑）。

田中　それでグラウンドになったときに、相手が上に乗ってきて、それを返してマウントになって、ブレザーを使って送り襟絞めをやろうとしたんスけど、その時周りの机がガターンって落っこって、カンペンケースから消しゴムだの鉛筆だのバーッと散らばったんです。それで、相手がたまたまその中からボールペンを掴んで俺のモモを刺したんですよ。

――うわ～っ！　ボールペンで刺されちゃったんですか？

田中　さすがにそれで「ウッ！」って動きが止まりましたもん。シャーペンだったら「グサッ！」と刺さってましたよ。でも幸いなことにキャップがちゃんと締まってたんスよ。

――ダハハハハ！　キャップが締まって助かったと（笑）。

田中　まあ、そういうことがあったんです。それでロープブレイクの話に戻りますけど、例えば逆十字を極められてるとしますよね？（実演を交え）こう逆十字を極められて、足でブレイクはダメ！　何故だと思います？

――何故でしょう？

田中　足じゃ、シャーペンが掴めない！

――ダハハハハ！　わかりました（笑）。

田中　いや、笑わす意味で言ってるんじゃないッスよ！　マジメな話なんスよ！

――非常に良くわかります。押忍！

田中　例えばアキレス腱固めとかヒールホールドを掛けられて、手を伸ばしてロープを掴む。これはＯＫ！

――わかりますわかります。それならボールペンで反撃できますからね。

田中　足のロープブレイクっていうのは絶対ダメ！　それは認めない。掴むロープブレイクってのは俺はシューティングでも1試合で1回だけ入れた方がいいと思いますね。

――さすがに実戦的ですねぇ（笑）。

田中　いや、これはマジメな話。

――それは非常に説得力ありますよ。

田中　それで、自分はシューティングやってたときに他の格闘技に対してすっごいライバル意識があったんですよ！　同じ階級の格闘技チャンピオンも全部チェックしてましたもん。ライト級のボクシングの日本人チャンピオン、ライト級のサンボの日本人チャンピオン、キックボクシングの日本人チャンピオンとか全部名前覚えてますから。コイツと闘ったらどうなるかとか、やるなんてことないのにノートに書いてましたよ。

――1人で相手との闘いを想定して（笑）。

田中　いまでこそ、シューティングは外国人呼んだり、他流派との交流があったり、いいッスよね。自分達の頃はそういうのなかったッスからね。俺はそれがイヤで、「井の中の蛙ですよ、佐山先生。他の格闘技からもオープンにして公開してやったらどうですか？」って言ったんスよ。そん時、佐山先生はあんまりいい顔しなくって、「まだ、いまはシューティングは規模を固める段階だから、そういうのは無しに頑張っていこう」ということになったんですけどね。

――だから、いまの選手に「弱い外人倒して満足してないで、世界に出てけ！」みたいな話をしてたわけですね。

田中　そうッスね。な～んかその辺歩いてる通行人呼んで試合やらせてるような感じがありますからね。

――ダハハハ！　通行人ですか（笑）。

田中　キックボクシングの団体がたまにタイ人が呼べないとか、ケガしちゃったとかで、代打で呼ぶタイ人がいるじゃないですか。その中にタイ料理屋でフライパン振ってる人とかいるんですよ。

――そういうケースは多いみたいですね。

田中　でもタイ人は強いんスよ！　勝っちゃうんスよ。それと修斗で呼んでる外人は、また別モンですからね。なんか、ただ外国行って「気持ちよく試合やってくれ」って言って連れて来ちゃったような外人多いじゃないスか（キッパリ）。

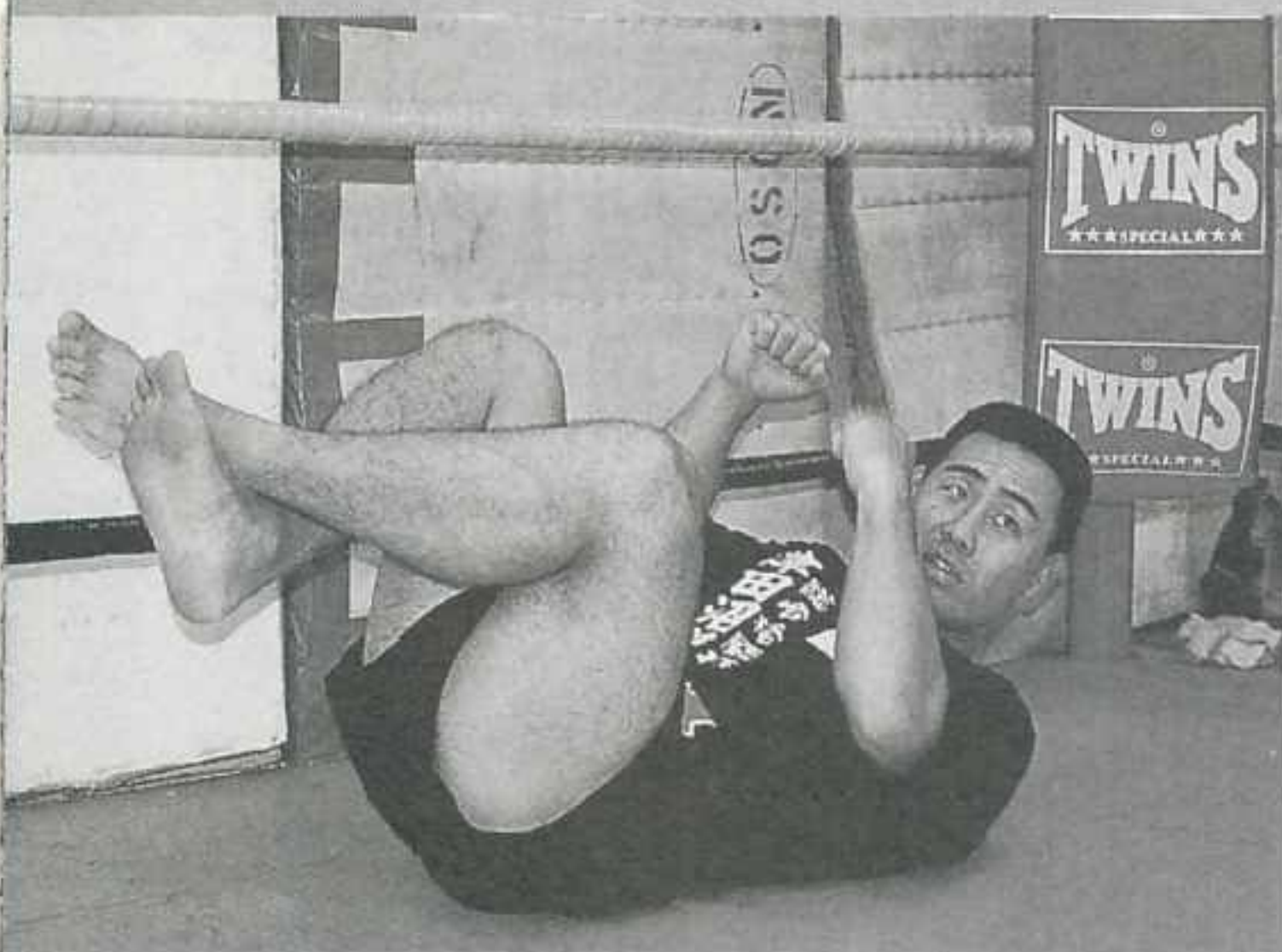
――確かにそういう選手も混ざってるような気はしますね。だから「弱い外人から一本取って喜んでる場合じゃない」と。

田中　まあプロの興行ですからね。適当に弱いのとやらせて、盛り上げてスター作るっていうのも確かに大事だとは思い

昨年4月に続き、修斗後楽園大会（9・5）で朝日昇から衝撃の一本勝ちを奪い、無敵の強さで修斗ライト級王者となったノゲーラ。あの船木を追い詰めたＥ・ブラガを練習で何度も極めているほどの実力者だという。そのノゲーラに対し「穴がある」と指摘するのが田中健一である。

田中は「ロープブレークを修斗ルールの中に1試合、1回は認めた方がいい」と、持論である1試合に1回のロープブレークの必要性を実技を交え説明しはじめた。その男っぷり全開のトークは説得力十分。

俺はノゲーラだったら勝てると思うんスよ！

ますけどね。

——それをやりながらビッグマッチで強い相手と対戦させるっていうのがベストだと思うんですよ。

田中　プロの興行だからしょうがないのもわかるんですけど、俺はそっちは好きじゃないッスね。実力しか信じないですから。確かにシューティングの試合内容は純粋な100％真剣勝負で、もちろん今でもそれがウリですけど、でもやっぱりマッチメークとか、それはボクシングでもそうですけど、やっぱりスター性っていうか、スター育てるっていうようなことを重点的に置いてますよね。

——K－1でも何でもそうですけど、そういうふうにならざるを得ない部分っていうのがありますよね。

田中　そうですね。いまは自分も割り切ってますけどね。やっぱり、実力はあるけどスター性がない選手がスター性がある選手に勝つには、たぶん2倍強くなきゃチャンピオンになれないんスよ。いや3倍かもしれない。例えばA選手はルックスはいいけど実力はそこそこ。B選手は実力はAよりあるけどルックスは良くないと。そうするとB選手がA選手に勝つには、倍の実力がないと勝てないです。

——それは例えば田中さんと坂本（一弘・現・修斗プロデューサー）さんとのライバル関係も当てはまるわけですか？

田中　（悔しそうに）いま、それを言おうと思ってたんスよ！

——ダハハハハハ！　すいません！

田中　例えればそうです。3倍実力がないと勝てないッスよ。2倍あって五分ですね。3倍ないと勝てないです（キッパリ）。でもそういう話は抜きにして、真剣勝負のリングでは一つなにかないとチャンピオンにはなれない。例えば、ライト級でベンチプレス140キロ上げるとか、後は当たれば必ず倒すパンチを持ってるとか、寝技で必ずその状態になれば一本取れるとか、あとフルラウンド全力で動けるスタミナを持ってるとか、とにかく他のヤツよりも飛び抜けたモノを持ってないと試合には勝てない。ましてやチャンピオンには絶対なれない！

——ある意味、初期の修斗では、坂本さんを売り出しにかかったというか、そういうムードはありましたよね。

田中　いや～もう、モロそれでしたから。いまだから言いますけど、あん時、自分が勝って、佐山先生が予定が狂っちゃったような顔をしてたんですけど、自分は見てて嬉しかったですねぇ（笑）。だって、その頃って、リングアナウンサーに「田中健一～ッ！」ってコールされても、拍手は「パチパチパチ」（小声）って感じだったんスよ。

——拍手は少ないし、声援も数えられる程度だったわけですね。

田中　そうなんです（笑）。でも「坂本一弘～ッ!!」って言ったら「ウワ～ッ！」（大声）ってなってたから、「この野郎！見てろ!!」って思って。それで王座決定戦が組まれたんスけど、ここで勝たなければ彼のためにもならないと思ったんスよ。これは社会の厳しさを教えなきゃいけないなと思って（笑）。

——社会勉強のためにも（笑）。

田中　ええ（笑）。そこまで考えちゃいましたよね。で～も、あん時は自分もスパーリング相手も誰もいなくて、ハッキリ言って基礎体力作りと綱昇りでチャンピオンになったようなもんですよ。その代わりハードトレーニングで自分を極限まで追い込みましたけどね。

——綱昇りでチャンプ（笑）。それで、その坂本さんが先日行われた修斗のパンフレット（9・5後楽園大会）で「田中健一選手に修斗に出てきて欲しい」って書いてましたけど。

田中　アレね。会場行ったらみんなが「パンフ見てみろ！」って言って。何かと思って見たらそんなのが載ってて。心にもないようなこと書いてあるんスよ。

——ダハハハ！　そんなことないですって（笑）。ボクも、いまのシューティングに出て欲しいと思いますから。

田中　いや、俺は出ちゃいけないと思いますよ。初代チャンピオンがもう一回ベルトを巻いたらおかしいッスよ。やっぱ活性化しなきゃいけないんスよ。

——いまの修斗には、あまり上がりたくはないってわけなんですか？

田中　ただ本音を言えば、練習だけは毎日やってますから、もう一回やりたいというのもあるんスよね。

——いまの修斗に田中さんみたいな人が出たら際立ちますよね。坂本プロデューサーはやっぱりセンス抜群ですよ。

田中　でもやっぱり、いまのルールで勝つのは自分も苦しいと思いますよ。同じライト級のヤツに一本取られたり、KO負けするってことはたぶん有り得ないと思いますけどね。負けるとしたら判定負けでしょう。（声を大にして）でも俺は（アレクサンドレ・フランサ・）ノゲーラだったら勝てると思うんスよ。

——「ノゲーラには穴がある」って言ってましたよね。

田中　いや、シューティングのライト級をけなしてるんじゃなくて、ノゲーラと試合やるより、ライト級の下のランキングの連中と試合やった方が苦しい試合になると思うんスよ。でもノゲーラだったら勝てますよ（キッパリ）。ただ、なんであんなのに負けちゃうのかなぁ。

——その「あんなの」と、ぜひワンマッチでやって欲しいですねぇ。

田中　いや、自分はだいぶ前から「ノゲーラとやらせろ！」って言ってたんスよ！　もうチャンピオンになっちゃったから簡単にやることできないじゃないスか？　だから俺は「先にやらせろ！」って言ってたんスよ！　俺は先を読んで言ってたんだから！

——ダハハハハ！　佐山さんばりに（笑）。

田中　俺も佐山先生ほど天才じゃないけど、先を読んで言ってんだから！「ほら見ろ、チャンピオンになっちゃったじゃねえか！」って!!

※当初、一回きりの予定だった田中健一インタビューだが、語りだしたら止まらないタナケンに敬意を表し、急遽次号で後編をお届けすることに決定！　波乱必死の後編では、「ヒクソンの真実」「誰も知らない佐山聡」さらには「戦争論」まで、余すところなく大公開！

金髪の若者も黒く染め直し、心して次号を待つべし。押忍！（敬礼）

【99年9月27日、格闘結社田中塾にて収録】

田中健一【たなか・けんいち】昭和44年7月7日、千葉県出身。中学1年の頃、カツアゲされたのをキッカケに強くなろうと決意。高校卒業後、津田沼道場に入門。佐山の指導は年に1度しか受けないという苛酷な土壌で、我流で強くなった男。ちなみに佐山から付けられたアダ名はサボテン。現在は、後進の指導に当たりながら自身の闘いの場を求め練習を欠かさない毎日。掣圏道ではジャッジを務める。修斗初代ライト級王者。

桜井速人 "マッハ" への道

サスティン入社記念!? たとえ新入社員になろうが、なんでもOKッス！　とにかく君の登場を心から望むのだ!!

強い！　凄い！　面白い!! と3拍子どころの騒ぎではない格好良さのマッハが誌面を飾るまでの、今号からもしかして一生続くかもしれないマッハの凄さを伝えるコーナー（本人不在）だ!!

構成／大西タマリン
text by Tamarin

マッハ頭脳は、恐ろしい。『マッハ伝説』などというマッハの珍エピソードが出回り、『マッハって面白～い!!』と言ってては、ダメ。それは、マッハ催眠に操られています。そんなあなたは操り人形よろしく1本決められているのだ。でもこの手の催眠に掛けられている人は、ワンサカいます（というワタシも思いっきりバックスピンブロー入れられっぱなし）。

例えば、ある日のマッハは、『(頭にキラリッ) リ、リングが欲しい!!』とひらめき、早速注文。どうやら自分専用のリングがどうしても欲しくなったご様子。でも、マッハ部屋（推定8畳）には、そんなものが入るわけなどなく、店主は大困惑するも『リングの上で寝たり、食べたりしたらいいんでしょ』と、言い張りOKの返事をもらった。が、注文したことなどすぐ忘れ、近しい人が断る始末。このように、よく考えるとマッハは全てにおいて闘う男らしく、リングの上で輝けることを自然に認識しているのである。これがプロ。

海外でのマッハも世界に股をかける、『さすが、バウンティーハンター！』と思わせる行動をとる。

例えば、往々にしてマッハ海外旅行といえば、修斗勢（佐藤ルミナと行動することが多いらしい）と一緒にハワイ（スーパーブロウル）に行くことを指すのだが、今回マッハは、『チケット拝見します』といわれ『ハイ』と差し出したものは、なんと『シュートボクシング』のチケット（しかも半券）であった！　彼の頭では、券は全て同じらしい。そして、海外に行こうが、どこへ行こうが共通語は日本語である。『100％フレッシュジュースが飲みたい！』と、スーパーへ直行。そこでも、ちゃんと『ひゃくぱーせんと下さい』（外人店員は頭に？？？）と発音し、『眠たい』と思えば、ところかまわずスヤスヤし、お腹がすいたら（これは、マッハのバッテリー切れを示すのだが、約2時間に1回補給が目安）ムシャムシャを連発。と、常に変わらぬ姿勢をとにかく貫き通す姿が、フランス『ゴールデントロフィー』優勝と『アブダビコンバット』無差別級準優勝へ結びついたにちがいない。

その闘いブリは、『【打・投・極】すべてにおいて100を目指している！』と本人が言うように、まさにマッハな極上フルコース!! だが、リング上では無敗を誇るアグレッシブな姿と、ファッション誌でも引っ張りダコの容姿からは、到底、想像などつかない脳みそを持ち合わせているのだ。やはり、マッハの魅力は極端なギャップにある。ファイティングスタイルに見る無限大の強さ。実生活に見る豪快なはずしっぷり。その2つをミックスして桜井マッハ速人という人間が存在しているのだ。

■桜井マッハ速人。修斗ミドル級チャンピオン。総合格闘技木口道場。1975・8・24生まれ。O型。173センチ、78キロ（現在、推測84キロ）。好きな食べ物・バナナ、ネギ（ネギって生？）。そして、ここ2ヶ月『放射能って恐いんだって』と茨城の実家には帰っていない。

※この 例えばエピソード には、シチュエーション等にちょっぴりフィクションが入ってますが、豪快に笑い飛ばして下さいませ！

新連載　「強くて、凄くて、面白い人」になりたいあなたにお送りする

紙のプロレス RADICAL 特選

マメに行くならこんな道場(ジム)!!

構成／チョロ&タマリン
text by Choro & Tamarin
撮影／NAHOMIX
photographs by NAHOMIX

迷わずゆけよ！ゆけばわかるさ

「なぁ～、みんなぁ～？　夢はあるか～い？　ホントは強くなりたいんじゃないのか～い？」というわけで、いきなり始まった道場紹介ページ。いわゆる「やる側」のスタンスとは一線を画してきた本誌。かつて道場といえば神聖な場所として、素人は近寄れるようなものではなかったが、時は流れプロの選手が指導するジムがウゴの筍の如く増殖中である。ならば、本誌もその道場開放の時流に本誌も乗ってみよう（あくまでも立場は見学者）。ガンガン行くぞ、ガンガン！　これが夜明けじゃ～！

第1會　FIGHTING STUDIO A³-Gym ITABASHI.

Produced by W.K

こんなアットホームな道場があってもいいじゃないか！

　ここは、成増地下秘密基地『A³-Gym』。平穏な住宅街の中に、ぽつりといきなり現れるコンクリート打ちっ放しのチョイとオシャレな不思議空間なのだ。去年の10月11日、小路晃兄さんが、ヴァリッジ・イズマイウに勝利した次の日に生まれたこのジムは、1A『飽きない』、2A『諦めない』、3A『明るく』とアキラ兄さんのAにもかかり『A3』という。もちろん、和術慧舟會、RJWとは兄弟道場で、各所に出稽古に行くこともあり、逆パターンもありと近い将来には3道場対抗戦の開催があるかもしれない!!　というから夢もふくらむばかりである。

　さて、道場内はというとBGMには、ダンスミュージック（アキラ兄さん選曲？）がかかり、とにかく本当に明るく、アキラ兄さんのホノボノとした雰囲気からなのか？　とても心地いい空間である。ここでジム生たち（ジムに泊まり込んでる人もいる）は、ノビノビと練習にはげむのだが、各々独自の練習法を考えて情報交換をしていたり、通信販売で購入したアブトレーナー（仮）を持ち込んでみたり、とにかく本当にみんなとても楽しそうに汗を流している。そして、今年中にはプロ選手がここから生まれる可能性もある!!　というビックニュースも飛び込んできた。後はチャンスを待つばかりだという。

　本日、アキラ兄さんの最後のお言葉を神妙に正座しながら一言一句聞き逃さすまいとしているジム生たちからは、この『A³-Gym』での練習への情熱とアキラ兄さんへの多大なる信頼がよく伝わってきたのであった。

　ここのジム生は、とても純粋な目をしている。もちろん、教えているアキラ兄さんもそうなのだが格闘技を体験することが面白くて面白くてしょうがない!!　という感じである。そして、この地下にある秘密基地から、どんな凄い大物が発信するのか楽しみでしょうがない。ガンガン行こうぜ！　ガンガン!!

➡『PRIDE．7』でラリー・パーカーと対戦。試合は延長までもつれたが、いなしての打撃（パンチ）で判定勝利。試合後、「『PRIDE』を代表して殴り込みに行ってきます」と宣言！

⬅6日後のパンクラスNKホール大会に出場したアキラ兄さん。柳沢龍志と対戦。パンクラス初参戦&パンクラチオン・ルール初体験のプレッシャーなど感じさせず、すさまじい気迫で『PRIDE』での負傷を感じさせないアグレッシブ

「ミスターPRIDE.0」村田卓実君を直撃インタビュー

取材の3日前、大宮フリーファイトで勝利を挙げた、「ミスターPRIDE．0」こと村田卓実クン。道場生の前で、その勝利を称える心優しいアキラ兄さん。だが、卓実くんは恐縮してしまって、あまりしゃべれず。何をしゃべったのかは、各自調査！

本誌『PRIDE．0』ライセンスナンバー18の村田卓実くんを発見！　もちろん直撃してみるも、彼の口からでてくる言葉といえば『ほんとボク弱いんですぅ～』とか『なんでボクに聞くんですか～？　写真はイヤですぅ～』などやる気は全く見せてくれず。そんなことはもろともせずガンガン行くぜ！　ガンガン！

『このジムを選んだきっかけは、たまたまボクが通える曜日がピッタリでぇ～。あの～小路選手は、まぁ、好きな選手ですぅ～。みんな練習時間が終わっても自主練習してて、それも楽しいです～。プロにはなってみたいけど、ムリじゃないですか～？　もういいですかぁ～』と逃げられてしまった。この後、別人のようにスパーリングする姿に、『A3魂』を見せつけられることになるとは。そしてアキラ兄さんから『気の利いたこと言わなくちゃ』とのことです。

ここは明るく、楽しく、きつくがモットーです!!

『ここに来る子は、ほとんど未経験者ばかりなんで、最近、徐々に試合でも勝つ生徒がでてきたんで、ホッとしてるんですよ！』というアキラ兄さんは終始ニコニコ顔で、全然怒鳴ったりすることなどない優しい先生である。そして試合間近以外ほとんど毎日、ジム生たちが少しでも強くなるように、『明るく、楽しく、きつく』指導する。ジムのモットーは、『きつく』の所は、『諦めず』なのだが、『きつく』は指導する上のアキラ兄さんの体験に基づいた指導哲学である。『最初に「きつい」ことをしておくと後が楽だから』というやさしさなのだ。『修斗さんだけじゃなくて、柔術だけとか打撃だけとかの大会にも出たい生徒がたくさんいるので、いろんなところにボクの遺伝子が飛んでいってくれたら嬉しいです!!』とアキラ兄さん直伝の秘密技をガンガン出しまくる生徒たちの姿が各地で見れる日も目前に迫っている様子である。

この日は、指のケガで練習に参加できなかったアキラ兄さん。だが、常にジム生の練習に目と気配りを行き届かせている。「明るく、飽きず、諦めず」がモットーだけに、初心者も安心して参加できるのだ

一番えらい人に聞け！

ここに通う生徒たちは、もちろんプロを目指す人もいるが、大半はアキラ兄さんが言うように、『ちょっと格闘技を習ってみたい！』という学生や会社帰りのサラリーマン、女の子、チビッコたちと格闘技初心者がたくさん所属している。『チビッコたちにも全部ボクが教えてますよ（ニコニコ）』と言うように、この取材当日にも、チビッコたちがバシバシスパーリングする姿を目撃した。そして『最近、女の子が少ないんですよ。慧舟會本部にはたくさんいるのになぁ』とチョイ淋しそうであった。格闘技を習いたい女の子諸君は、アキラ兄さんの元へ通うべし。女の子でも気軽に通えるいいムードが漂ってるよ！　これ本当ッス。

そしてなんと『A3』が格闘界だけにとどまらない事実も発覚！『プロレスやりたい子もいるんですよ。「A3」を卒業して闘龍門に入った子がいるんです（ニコニコ）』とプロレスに寛大な心を持つ格闘家のアキラ兄さんは嬉しそうに『照井くんがんばって、デビューしたら試合見に行くよ！』とエールを送っていた。照井くん、デビューが決まったら本誌も応援するよ！

あと、元藤原組の人もいたりしてアキラ遺伝子がプロレスと格闘技の垣根を超えて飛んでいってることも確かなのだ。

ちょっと話は脱線して、『PRIDE．7』と『パンクラス』に出場したことを聞いてみると、『もっと強い人とやりたいです！』と、闘志がメラメラみなぎっていた。だが、ケガの為しばらく療養をとらなければいけなくなってしまい残念である。ちなみに、『バーリー・トゥードで使えるプロレス技ってありますかね？』と訪ねると即座に『かまがため』という答えがかえってきた。さては、アキラ兄さんも『PRIDE』でプロレス技を狙っていたりして。

では最後にマイクアピールを『ボクが言わなくても、みんなやってくれるので、そこでちょっとでもわからないことが出てきたらボクが手を差し伸べますよ。ってことです。それで、もうちょっとみんなが伸びてきたら、お互いライバル心が出てきてだんだん強くなってくるんですよ。本当に素人の人のための道場なんでボクはなんでもやりますよ！　だから1回でも遊びにくる感覚で来てみてください。楽しくやりましょう。』ということです。格闘技を習いたい初心者のキミ、今すぐ『A^{3}－Gym』に行くことをお薦めします!!　もし、ちょうど飲み会の最中でアキラ兄さんが尾崎豊を大熱唱していても、そこは、ガンガン行こうぜ！　ガンガン!!

格闘技は個人競技だが、練習はチーム・ワークを重んじて、楽しく続けられるようにするのがアキラ兄さん流。この写真の練習は……スクラム？　円陣？　なんか楽しそう！　いったいこれは何の練習なんだ？　知りたかったらキミも参加してみよう！

気が向いたときには、道場の中で飲み会が行われている。他に類を見ないフランクさだ。そのままカラオケになだれ込み、アキラ兄さんが得意のマイクを握り、崇拝する尾崎を熱唱することもある。道場には、そんな写真がところ狭しと貼ってある

サプリメントや身体のケアもバッチリ！　カイロプラクティックのマシンが道場内にあり、道場生は割引価格で受けられる。カイロといっても、骨をバキバキっとやるものではなく、吸引式。また、慧舟會東京本部道場に身体のことを相談することもできる。さすが、連携のよさはWKネットワークならではだ

A^{3}-Gym Tシャツプレゼント

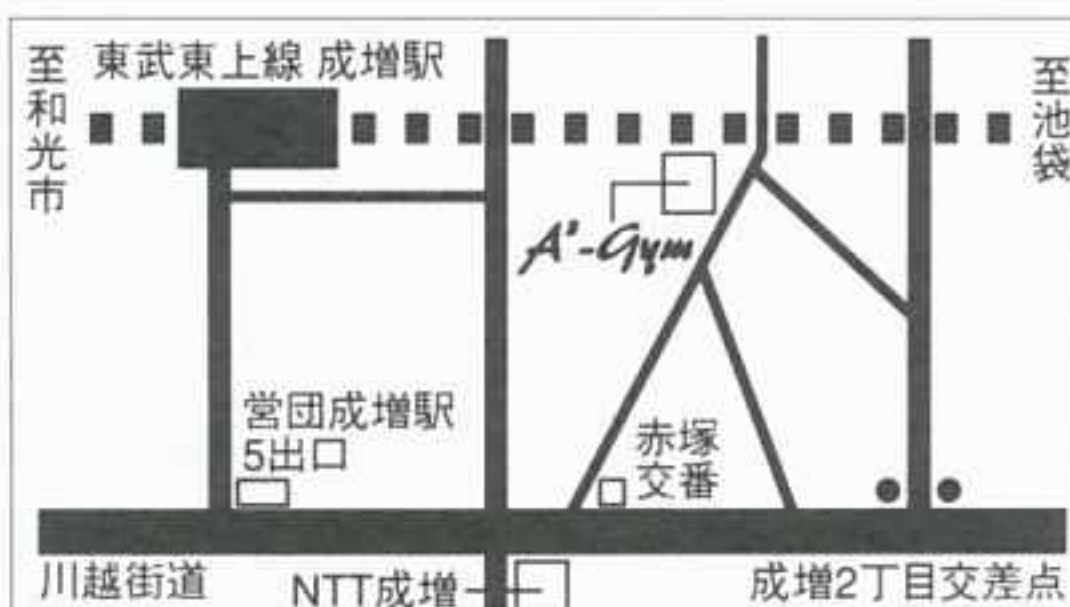
アキラ兄さんのご厚意によりA^{3}－GymのTシャツを２名様にプレゼント！　サイズはMとL、色は黒のみ。アキラ兄さんが「ガンガンいくぞぉ」と絶叫するイラストがかわいいぞ！「いちずに武道」そんな覚悟を背負ってみよう！　応募方法はP158ページを参照！

A^{3}-Gym DATE

ジムの内での飲み会もガンガン行われる『A^{3}-Gym』ですが、格闘技だけにはとどまらず、アキラ兄さんの尾崎熱唱も聞けることは間違いないぞ。

【住所】東京都板橋区成増2−4−1　リディアB1F
【TEL&FAX】　03（3939）2509
【料金システム】
入会金　￥10000
月会費　一般人　￥10000
学生　￥9000
高校生　￥8000
スポーツ安全保険加入金　￥1500
【用意するもの】
●写真2枚●履歴書、会費、練習衣
●銀行口座と届け印●保健証の写し

取りあえずガンガン体験してみよう！
何はともあれガンガン見学しよう！
そうすればキミにもやる側の格闘技が見えてくるぞ！

至和光市　東武東上線 成増駅　至池袋
A^{3}-Gym
営団成増駅5出口
赤塚交番
川越街道　NTT成増　成増2丁目交差点

道場までの交通アクセス
東武東上線　成増駅より徒歩6分
地下鉄有楽町線　成増駅より徒歩6分

書評は平和ではない
書評は戦いである
武器のかわりが毒舌であるだけで
それは地上における最も激しい厳しい
自らを捨ててかからねばならない
戦いである――（ネール元インド首相の娘への手紙）

吉田文豪人生劇場

書評の星座 PART2

『書評の星座・芸能編』『男の書評』『アイドル本殺しアム!! 〜牙〜』などなど、他誌の書評連載も絶賛急増中！ さらに今回はネタが多いので、『紙プロ』用にも3ページ分の原稿を執筆！ すると原稿執筆後、坂井デブの手違いで2ページしか取ってないことも発覚！ さらに『書評の星座』嫌いの和泉弘昌君（44歳）にも、またもや「好きじゃない」とあっさり一言で流されてしまった、悲しき書評家の書評コーナー。

光を掴め！

（佐々木健介／メディアワークス）

妊娠時の恥ずかしい話を女房が著書で赤裸々に告白したことに続いて、なぜか健介も衝撃告白！ これは刺激的な言葉ばかりが並ぶ目次だけでも巨大な奇跡を感じさせる、全人類必携の一冊である。

まずはプロレスラーの定石通り、**「オヤジの暴力と家族の我慢」「オフクロが安心できるのは便所だけ」「オヤジへの鬱憤をケンカで晴らす」**（目次より）などと幼い頃に味わった父親の暴力についてたっぷりアピールするが、この関係がレスラーになっても続いていたという辺りから予想も付かない展開へと一気に突入していくわけなのだ。

つまり、健介はプロになっても父親に**「俺が観に来ているのに、なんで負けるんだ」**と怒られたり、馳が臨死状態になったときにも**「今日のお前の試合はなってない」「お前はダメだからプロレスは辞めろ」**などと、いちいちアドバイスや説教ばかりされていたのだという。

それだけではなく、当時付き合っていた彼女を実家に連れていけば**「帰れ！」**と一喝され、強引に彼女と別れさせられたりで、挙げ句の果てには弟の結婚にも強硬に反対されてしまう始末。

健介のアドバイスもあって、これがやがて両親の離婚話へと発展していくわけなのである。

予想もしなかった離婚話にすっかりパニックとなった父親は、なぜか警察署で**「息子に脅されている」**と訴えた後、健介の留守電に自殺をほのめかす謎めいた言葉を残したまま首吊り自殺……。

こうして**「家族の離散――オヤジの死の真相」「オレが殺したんだ！」「ノイローゼ」**（目次より）と落ち込む健介の前に、Kというあからさまに怪しげな男（自称・占い師）が登場し、Kに誘われた健介が母の生き甲斐にすべくプロレスショップやらプロレス茶屋やらを開店させたため、不幸はまだ終わらなかったのである。

Kが父親の遺体を運んでくれただけで全面的に信頼しきった健介は、父親の保険金を1億近く着服されたり、結婚式の祝儀を盗まれそうになったり、母親も100万円の水晶玉や観音様の彫り物を売りつけられたりで家族ぐるみでカモにされ、**「Kの悪事――煙と化したオヤジの保険金」**（目次より）という状態へと突入してしまうのであった。

どうなる、健介!? ……と読者をハラハラさせたところで、**「私の直感が働かずに騙されてしまったのは全日本女子プロレスの松永会長だけ」**というチャコ（北斗晶）のズバ抜けた勘の良さのおかげで、いまさらながらKの疑惑が急浮上。

どうにかKと絶縁し、副業のせいですっかり失われていた新日内部での信用も、チャコの助言によって順調に修復されていくわけなのである。

これにて一件落着。……するのかと思えば、ここまでされても健介はなぜか**「泣き寝入り」**。

それどころか、Kが健介の父親に**「死んだ保険金で家族に償ったらどうだ」**とそそのかして金を奪ったのではないか?というリアルすぎて寒気がしてくる推理まで披露し、読者の心に巨大なモヤモヤを残して消化不良のまま終了するのであった。健介、お前噛み付かないのか！

かくも凄惨な内容なので、最後にマサ斎藤のちょっといい話を公開して終わるとしよう。

イビキが異常にノイズ・アバンギャルドなことで有名なマサは、寝ながら大声で**「ガッ・デェーム（チクショー）！」「サ・ノ・バ・ヴィッチ（このヤロウ）！」**となぜか英語で叫んだり、他にも**「寝ているのに歌を歌ったり、ヤクザ映画のビデオを観た日は、そのヤクザのセリフを言ったり」**と、寝言でもいちいち男の憧れぶりを発揮しまくっていたというのだ！

やっぱり父親を殺されて1億着服されても全然噛み付かない健介より、寝ながらでもガンガン噛み付きまくるマサの方が魅力的なのである。

SWSの幻想と実像

（小佐野景浩／日本スポーツ出版社）

いきなりだが、国会図書館でこの本の資料調べをしていた小佐野・元ゴング編集長を、中村カタブツ君が目撃したときのことである。いきなり無意識のまま「あっ、熊久保さん！」と人違いした上、いまでも現役編集長だと思い込んでいたばかりに「最近のゴング、面白いですねえ」と余計なフォローを入れたりと失礼なトークを繰り広げたそうなのだが、この本は果たして面白いのだろうか?

個人的には『S多重アリバイ』の単行本用に軽く資料調べをしていたためか、これといった目新しいネタは正直さほどなかった。

藤波の**「私の提唱した部屋制度が逆利用された」**というSWS批判が実は的外れ（SWSの方が先にプランニングしていた）だったと発覚したり、**「新日本は平成11年6月まで続いた坂口体制の中で、ひとりも離脱者を出さなかった」**と小佐野イズムで青柳や彰俊の存在も無視してズバリ言い切ってたり、天龍が**「日本マット界にとって、SWSは力道山の次にインパクトがあった！」**と男らしく断言したりするのが、ちょっとツボに入ったぐらいのもの。

そう思い込んでいたら、久々に正式な取材を受けたメガネスーパー・田中八郎社長の発言が、予想通りの見事な爆発力だったわけなのである。

もともと**「会社（メガネスーパー）は〝いきなり変なことを言い出した〟と思ったでしょう。だけど、私はワンマンですから、私が〝やれ！〟と言ったら、やらざるを得ないんです」**という見事なワンマンぶりと、**「どこかの企業を欲しいというなら買いに行けばいい。UWFでも新日本でもね。それこそ当時、ゴングを買いに行こうかと思いましたよ（笑）」**という、これまでに調べた通りの強気さでスタートしていったSWS。

まずは武藤をエースにして**「若さがあって、将来を担うようなプロレスラーを作っていこうと。キャラクター作りから始まって、グッズを含めて全部を作って、CMとかにもドンドン出して、WWFがホーガンを作り上げたように売り出して、プロレス界に新しいヒーローを作ろうと」**したのだが、この予定がスタート直後に崩れたことから、すぐさま失速。

予定にはない選手が次々と入り、**「それぞれの思惑で一部の選手が仲間の選手に声をかけて引き抜いちゃって、あたかも会社がやっているかのようにしてしまった」**結果、**「自分たちのギャラも含めて言いたいことだけ言ってくると。で、やることは自分たちで勝手にやっちゃう」**という、**「もう会社としては抑えきれない」**悲惨な状態になったのだという。

そこまでは正直言って想像通りだったが、**「同時にある週刊誌に叩かれに叩かれちゃったから会社側に妨害とか、いろいろ嫌なことがあって、ウチも客商売ですから、会社の幹部自体が引いちゃってきて、最終的には私自身が会社内で突き上げを食い、孤立してきた」**ことも発覚。

要するに『週プロ』（というかターザン山本）の弊害により、**「私自身も流れの本流から外れた形になって、今、社長は女房がなって、専務も息子がなっているから。本流を外れた基本はこれ（SWS崩壊）があるんですよ。この40億円（の負債）の流れっていうのは、幹部も含めて社員たちに責任を取った形になった」**という、悲しいドラマまでもが誕生してしまったわけなのだ。

そもそも猪木のアントンハイセル構想ばりにレスラーの老後を考えて、**「将来的には予備軍としていい人材を集めてきて底辺の層を厚くして、同時に卒業した人たちを受け入れ、収益を年金のような形で配当できるようにするというのが本当の目的」**でSWSを設立したほど偉大な男にそこまで洒落にならないリスクを背負わせてしまったのは誰なのか? 言うまでもなく当時の『週プロ』ファンに決まってる。

ちょっと問題ありますよ！ と、当時は全く『週プロ』を読んでなかったボクは思わず無責任に言い放ちたくなった次第なのである。

チャンピオン・三沢光晴外伝

（長谷川博一／主婦の友社）

全日四天王のインタビュー集『これがプロレス』の聞き手であり、**「大きくなったらロックンロールの曲と同じような暮らしがしたかった」**とロック魂全開で語る38歳の著者が、**「三沢革命」**や**「プロレスとロックンロールの相似性」**についてじっくり描いたルポルタージュ。

三沢の**「こんな試合してたら、俺たち本当に死ぬな」「試合中のダメージで、死んじゃったら死んじゃったでいいやと今は思ってますね」**などのスーサイダル・テンデンシーズな覚悟や、**「思った通りに言葉がでない」「日中でも立ちくらみがする」「視力低下」**などの深刻極まりない危険な受け身のダメージ告白なども含めて、予想以上にヘヴィな一冊である。

なにしろ三沢の母親が**「普通の家庭よりもずっと惨めだった」**としんみり語る旦那の酒乱&暴力カミングアウトがまた、本当に衝撃的すぎなのだ。

自分が浮気したくせして嫁に離婚を迫ったり、離婚を断られるとナイフで刺して長期入院させたり、退院すれば浮気相手を連れて来て一緒に住もうとしたりと、その健介の父親すらもあっさり超越した見事な極悪ぶりは、まさに鬼畜！

温和な三沢が**「絶対に許さないですからね。たとえ年を取って死にかけていても、相手のことを哀れには思わないでしょうね」**と父親に対して言い切る気持ちも頷ける次第なのである。

意外なほど気の強い彼氏。そんな三沢の気の強さは、某選手（明らかに谷津）が試合前に**「田舎の試合だから手を抜いていいよな」**と言っていたのを耳にしたときにも発揮された様子である。

なんと三沢は**「川田やるぞ」**と告げるなり、谷津を**「プロレスのよほど通じゃないと何が起きているのかわからない範囲で、試合中、いじめぬいた」**ため、その結果として**「間もなくして某選手は全日を退団することになった」**というわけなのだ！ 衝撃の団体理由発覚であろう。

もしかして、これは「三沢、川田ともう1回ガチンコでやっても、目ぇつぶって30秒で勝てるよ！」と『紙プロ』誌上で何度も断言してきた谷

津へのメッセージなのだろうか?

とにかく、こうして三沢のガチンコ幻想を膨らませた著者は、さらにロック魂で八百長論を直撃開始。三沢も「プロレスが八百長じゃないと証明する機会があるなら、ぼくは『朝まで生テレビ』に出てもいいですよ」との思いで、素朴ながら危なっかしい質問に逐一反論していくのだ!

三沢革命万歳! 星の貸し借りは「少なくともぼくにはなかった」だの、「もちろん、事前の取り決めはないですよ」だの、『Tarzan』誌上でルー・テーズが指摘した「試合中にタイツを直すな!」問題も「こっちのはこれだけの余裕があるぜ、まだタイツのことを気にしてられるぜ」という駆け引きだったただのといちいちキッパリ言い切ってみせる三沢の姿勢を、ボクは断固として支持するのである!

なお、もし三沢がヒクソンと闘ったなら、対抗手段は「チョーク・スリーパーを食らうとする。そしたらヒクソンを持ち上げて、そのまま後ろに落とせばいいんじゃないか」とのこと。

ヒクソン戦でやっぱりタイツを直して汗を飛ばす三沢を、ボクはちょっとだけ見たいと思う。

ザ・格闘家

(山崎淳&木村光一/光文社)

雑誌『週刊宝石』掲載の記事をまとめたためか、下ネタが異常に豊富な格闘家インタビュー集。

ゆえに、蝶野が「手っ取り早いのは、風俗なんだよな。自分で言うのも変だけど、20代前半の若手のころは大好きだったよなあ。道場から近いんで、もっぱら川崎のお風呂(ソープランド)だった。佐野なおきさんも好きで、しょっちゅう一緒に行ってた」と佐野の分まで告白してたりするんだが、やっぱり下ネタに関してはここでも三沢が五冠王なのである。

たとえば、左膝の負傷ゆえ医者に「安静が必要」と言われれば「膝を使わないと正常位ができませんよ」と切り返すし、「自慢じゃないけど」と言いながら「中学2年で初めて女と付き合ってから彼女を切らしたことがないんです」「ある女とホテルに泊まってたら別の女に乗り込まれたとか、それなりの修羅場もくぐってきた」と自慢しまくる彼氏。

そして、「いい意味で遊ぶことができるようになれば、それが試合にも出ますからね(笑)。たとえば、浮気がばれたときにどう対応するか。2人の女に迫られたとき、どっちを捨てるか。そういう咄嗟の判断力は、プロレスにおいて必要不可欠ですから(笑)」と、英雄らしく色好みな自分をキッチリ正当化してみせるのだ。

そんな下ネタのみならず、武藤の「膝ボロボロだけど、足の一本ぐらいプロレスにくれてやる覚悟はあるんだよな」発言や、天龍の「最近は『格闘技』が人気らしいけど、俺はあんまり興味ないんだ。ガチンコは、相撲で腹一杯やってきたからね。俺はね……プロレスの"いかがわしさ"や"いいかげんさ"が好きなんだ。でもね、土俵の丸さといっしょで"いかがわしさ""いいかげんさ"は無限大なんだ」発言などのように、シビレを感じさせるネタも多数収録。

しかし、やっぱり最も印象に残ったのは詩人としても活躍する猪木の言葉なのであった。

「サンタモニカの自宅でテレビから流れてくるアメリカン・プロレスを、最初のうちは『こんなもの!』と馬鹿にしてました。ところが、少しずつ『なるほど……』と感心する部分があることに気づいてね……。結局、そのコミカルな"勝ちっぷりや負けっぷり"のパフォーマンス、そして肉体美の醸し出すエロティシズムというのは、日本のレスラーが真似しようとしても真似できない、表現力の賜物なんですよ。だから、もし日本のプロレスがこのままアメリカのスタイルに近付いていったら、それは非常に危険な傾向と言わざるをえない。同じ土俵に立ってパフォーマンスを競っても、日本人はアメリカ人に勝てっこないんだから」

この発言は、明らかに新日のフロントに向けて発せられているはずなのである。

風雲プロレス=格闘技読本 クロスゲーム

("Show"大谷泰顕/メディアワークス)

自称・大衆芸術家などと寝ぼけたことを公言するShow氏が定期刊行を目指したら、プライド7同様にすっかりテーマ不在となった一冊。

「本書は『なんちゃって紙プロ』ではありません」との一文や、「専門誌は、もはやプロレスを違うものにしようとしている気がして買う気が起きないので、Showさんの本や『紙プロ』に頼るしかないのです」なる読者ページの意見などに嫌な電波を感じるんだが、ズバリ言って一緒にされたくねえんですよ、正味の話。

なにしろ、この本。最も肝となるはずの巻頭ページに登場する武藤インタビューの掴みを得意の初恋話にしたため、すっかり掴み損なったまま最後まで突き進む、迷走機関車のような一冊である。

田上、多聞、安田など人選は文句なしなだけに「こうじゃないだろう」と思うこと山の如し。

それでも、さすがに田上と安田の呑気な魅力だけは黙っていても滲み出てくるのであった。

バリー・トゥードについて聞かれて、「なんだ、なに? バ、バリー、なに?」「なんだよ、そのアルティメットって」「ケンカか」「ヒクソン? 強そうに見えないんだけど、それに負ける高田は、もっと弱いということか?」などと、相撲イズムであっさり結論づける田上。

Uインターとの対抗戦を「調子こいて、弱い桜庭とか金城でしたっけ? そうそう、金原。その辺とやってた記憶はありますけどね。見る人が見れば、自分が(金原&桜庭を)オモチャにしてたのはわかってもらえると思いますよ」と切り捨て、1・4の乱闘を「あの村上(一成)っていう弱い選手が意気がってたでしょう? それで、やっちゃったらあんなん(負傷)なるし……」と振り返る安田(ちなみにプロレス入りの理由は「相撲時代に博打の借金」。さすが!)。

そして、どんな話題でも強引に下ネタへと引きずり込み、いつ何時でも下ネタに臨む覚悟を客前のトークでもアピールする三沢の魅力は、やっぱり爆発していたわけなのである。

そんな調子で下ネタが炸裂しまくった三沢トークショーでも、司会のShow氏は何度も観客を引かせたり反論されたりブーイングされたりする不快なキャラクター通りのトークを見事発揮。

山口昇&柳沢忠之のYY砲がBI砲を語る対談も、仕切りのShowが「猪木さんはつまんない。何が面白いんですかね」と言ってただけあって、両者の光を消すような出来。結局、読者の「Show氏はつまんないが、読者に"たまごっち"的な感情を抱かせる」との意見も、ボクにとって「ダメならリセットしたい」という意味でしかなかったのである。

なお、蝶野は「『週プロ』にしろ、『紙のプロレス』なんかを見ていても思うけど、たとえば個人として見た時に、俺がもし中学とか高校の時だったら、こいつら単にイジメてるだけの人間だろうなって(笑)。とても、いっしょに群れをなして遊べる人間じゃないなと。コイツらに俺のことをとやかく言われたくないっていうのはありますよ(苦笑)」と発言しているが、よく考えてみればこれが収録されたのは97年6月。つまり『紙プロRADICAL』表紙奪取以前であり、ボクらは会ってもいない時期だったのであった。

格闘技BOOK 闘うココロ闘うカラダ

(Tarzan特別編集/マガジンハウス)

幻の名雑誌『relax』(復刊の噂あり)の女子編集者(空手家)や自腹を切ってアブダビまで行った『Tarzan』の編集者たちが過剰なまでの思い入れをブチ込んだ濃密な一冊。

ゆえに、菊田軍団、中山先生、スナックぶすなどの項目にページを割いたり、フィリオから「最近はなんとメタリカがお気に入り」という情報を引き出したり、リングス東大出身者の宇野薫が海外旅行に行った母親が勘違いで買ってきた土産のエアジョーダンでファッション開眼したことを公開したりと、やっぱりいい情報満載なのだ。

船木の自己分析が「自分の気持ちとは裏腹に周囲から期待されてしまう選手」という「俺に打倒ヒクソンは期待するな。ほっといてくれ」とでも言いたげな代物だったのにもシビレたんだが、最もシビレたのがbisのヴォーカルを思わせる短髪&金髪姿が専門学校生チックなPURE BRED大宮ジム所属の「国内敵なしの女柔術家」こと、渡辺千景の紹介記事だったのである。

ここで彼女は、何の根拠もない『自分最強説』を確かめるべくLLPWへと入門しただの、「まだレフェリーやらされてるような時期に、場外カウントで『ファイブ! シックス! セブン! イレブン!』ってついつい数えちゃって(笑)」だの、そのためか「夜逃げ」したただのという知られざる過去をズバリ告白!

そう、これは95年の『週プロ』選手名鑑で「とりあえず、場外カウントはもう間違えません!」と答え、「セブンイレブン前田」と呼ばれていた巨乳レフェリー・前田絵美に他ならないのだ。「女子プロでは実践的な技はほとんど教えてもらえなかった」彼女が、やがて修斗で敵なしとなり女柔術家となっていたわけなのである。おめでとう!

なお、純粋なプロレス団体では闘龍門だけが登場し、「選手のリングネームは単純に思い付き。ランパブにマグナム(TOKYO)を連れてった時、茶髪で真っ黒だったから"AVやっててスカウトに来たのよ"って言ったら女の子に大ウケしちゃってね。当時マグナム北斗しか知らなかったから、じゃおまえ、マグナムなって」(ウルティモ・ドラゴン)との発言で、ボクがかねてから編集部内で提唱していた「マグナムのAV男優という過去はギミック」という仮説が証明されたのも、個人的には非常に嬉しい限りなのであった。

大仁田厚のこれが邪道プロレスじゃ〜!

(双葉社)

これまでのタレント本チックな大仁田本とは違い、意外なほど本音の詰まった一冊。

この本音がまた、大仁田嫌いの多い『紙プロ』読者でも無条件で頷きそうな「いまの『週刊プロレス』はつまらなくなっちゃったよな。読んでいて引っかかってくるものがないんだよ」「パンクラスは面白くないんじゃ!」などのものばかりなので、不思議と説得力があるのだった。

なにしろ、「俺と天龍さんが寿司屋で会談したとかいう話があったよな。過去の因縁を清算するための会談だとか言われてたけど、あれは『週刊ゴング』があの写真を撮りたいって言うから、それに応えてあの寿司屋に行っただけ」と、たとえプロレス的な裏側だろうともあっさり暴露。

そのため、「悪いけどバトラーツはあそこまでだな」「俺だったら大塚をもっと別のやり方で売り出したね。もっと大塚を大事にしなきゃ」「高田が弱すぎるんだ」などの発言にも、色々と考えさせられた次第なのだ。

そんな大仁田が最も本音(シュート)で牙を剥きまくっていく相手は、やっぱり古巣のFMWであり、そして荒井社長だったのであった。

「(大日本の)蛍光灯デスマッチには気持ちがこもってる。ハッキリ言う、いまの中途半端なFMWよりは断然いいよ!」

「いまのFMWをダメにした一番の責任者は誰なのか。おい、おい、おい、荒井昌一、お前だよ。お前が一番悪いんだよ」

「いまのFMWって、プロレスはやらせですって言ってるようなもんじゃないか!」

「荒井よ、目を覚ましてくださーい」

そう、「小川は強い、大仁田は弱いという違いはあるけど、目指すところはいっしょのはずだよ」という不可解な発言の真意は、きっとこの姿勢にあったわけなのである。ちょっと対象はピンポイントすぎるんだが、それもシュートの証明。

必読連載

石川雄規の 闘いの美術館

あるいは『潮の香り舞う鴎』

惜しまれつつも **最終回**

卒業文集を見ると、私の「将来の夢」の欄には、「プロレスラーになること」そして「松田聖子と結婚すること」、以上2点が書かれてあった。

昭和54年、小田原市立白鴎中学校に入学。酒匂川が海へ流れ込む河口に建つ校舎は、緩やかな川の流れと海岸沿いの松並木に囲まれ、グランドにはいつでも潮風が穏やかに吹いていた。

入学式当日、新入生達の親子連れの中を着物姿の母親に連れられて往く道は、私にとって初めて歩く長い道程だった。そしてそれは大人の世界へと向かう第一歩でもあった。

中学生になると放課後の部活動に入らねばならなく、私は野球部を希望したのだが、それが原因でわが家ではひと悶着あった。『野球部は練習がきついから勉強の時間がなくなり成績が悪くなる』という父兄衆の愚かな噂話を心配した両親が、私の野球部入部希望に対して狂ったように反対を始めたのだ。連日親子で口論が続いた。なんでこんなことでここまで反対されるのか、なぜこれほどまでに傷つかねばならないのか。たかだか12歳、仕方がないとはいえ、自分の無力さが悔しくて悔しくて何度涙を流したかわからない。それでも負けたくなかった。絶対にこんなことで自分を曲げたくはなかった。私は挫けそうになると、心の中でイノキコールを叫び、愚かな大人達に再び立ち向かった。

試験の結果が出る度に憂鬱であった。決して成績が悪かったわけではない。声を大にして言うが良くできたほうだ。というよりはっきり言って優等生であった。

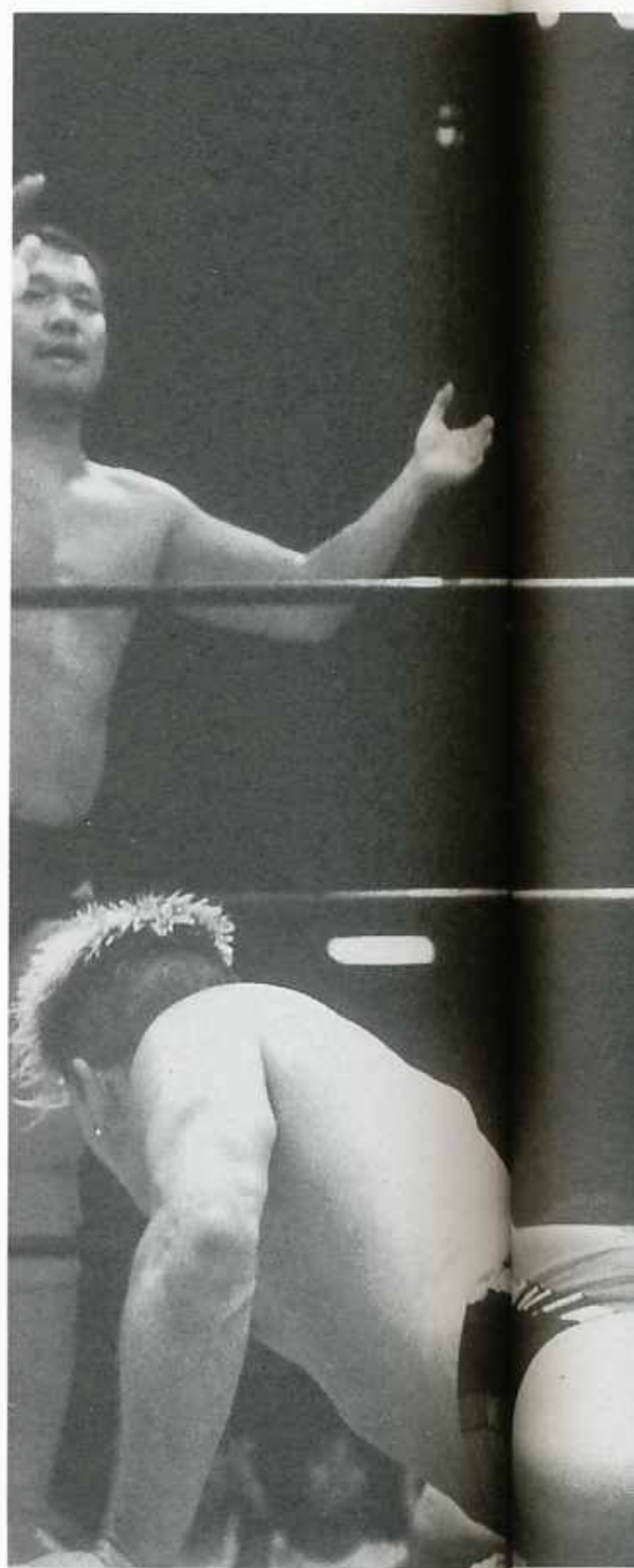
家に帰ると必ず何だかんだと試験の結果について言及され、いつもいつも嫌な気持ちになった。ことあるごとに『勉強しろ、勉強しろ』の発言に、よくぞグレなかったものだと我ながら感心するが、現在母にそのことを言うと『そんなに言ってないわよ。あなたは感受性が鋭いから、一回言われたことを10回も20回も言われたように感じたんじゃないの』。そう答えが返ってきた。私は相

当しつこい性格なので、確かにそうかもしれない。でも5万回くらい言われた記憶があるので、少なくとも5千回は言われていたはずである。

ともあれ、何不自由ない家庭、良き教師、良き友に恵まれた私は幸せだった。

当時目立って大きいわけではなく標準の体格であった私は、スタン・ハンセンのような同級生とプロレスごっこをする際、いつも防戦一方であった。というよりもむしろ技の実験台であった。それほど彼は強かった。現在の私の驚異的な打たれ強さは、おそらくその時培われたものであると思う。

また、この頃からである。私は部活とは別に腕立て伏せやスクワットに凝りはじめた。おぼろげながらプロレスラーになることを夢見ていたのであろうか。それともただ単に強さへの憧れであったのか、それは謎である。腕立て伏せは、当初10回連続がやっとであったが、それでも300回をノルマにしていた記憶があるので、おそらく10回×30セットをやっていたのであろう。日に日に筋肉が発達していく手応えが感じられ、鏡を見るのが楽しみだった。

高校受験を控えた3年の冬、校内クラス対抗のハンドボール大会の時その事件は起こった。右足の下腿部骨折。ジャンプシュートの着地の際、「バキッ!」っという恐ろしい音と同時に右臑に激痛が走った。そして救急車で病院にかつぎ込まれ、そのまま入院。重傷は重傷であるが、見事なまでに真っ二つに折れた骨は超単純骨折であった。本来であれば数日の入院の後、松葉杖で済む怪我であった。しかし、しかしである。そのヤブ医者の診断は真っ青な顔をして3ヶ月の絶対安静。高校受験は絶望的となった。しかし、周囲の心配をよそに私は1ヶ月で退院（それでも必要以上に長い入院であったが）、松葉杖で学校に復活し、昔からお世話になっている接骨院に通うことにした。思えば、その大怪我をしたのは12月15日。奇遇にもその日は力道山先生の命日であった。

いろいろあった3年間。学級委員を務め、野球部ではなぜかキャプテンをやらされ、さらには生徒会の副会長を務めるはめになった。当時の私にとって波瀾万丈の中学生生活も無事卒業を迎えることができた。

卒業文集を見ると、私の「将来の夢」の欄には、「プロレスラーになること」、そして「松田聖子と結婚すること」、以上2点が書かれてあった。

さて、突然ですが、

ただ今をもちまして『闘いの美術館』の連載を終了させていただきます。

なんとも中途半端なところで終わってしまったので気になる方もたくさんいらっしゃると思いますが、いつもの気まぐれです。お許しください。

ただし、原稿が行き詰まったわけではないのですよ。名誉のために言っておきますけど……。と、いうことはどういうことなのか？ 勘のいい皆様ならもうお気づきかと思いますが、そう、そうです。かねてから噂になっていた「闘いの美術館は単行本にならないのか?」というリクエストにお答えして、身の程も考えずに、本当に一冊の本にしてしまうことにしたのです。

3年間の連載、思いつくまま書き綴りました。そのため、年代が前後したり、出来事があっちこっち飛び交っていたりしたと思います。山のようにたまった原稿をまずは年代順に、そして出来事順に整理をし、抜けてるところは単行本用に改めて書き下ろしました。おのずと自叙伝風にはなりましたが、既存のプロレスラーの本とはまったく違ったタイプの本になることは連載愛読者の皆様のご想像通りだと思います。

「プロレスラーは、いついかなる時も表現者でなければならない」というのは私が常日頃感じていることであります。それが体育会系か、エンターテイメント系か、あるいはまた別のタイプか。人それぞれのタイプがありますが、自分はいったいどのタイプなのだろうかと思うと、実はあまりいない文学系の表現者であるような気がします。

肉体を通して送るメッセージは、実は文学的である。というなんとも不可解な表現になるけれど、解る人には解ってもらえると思います。この〝微妙な感触〟が。そもそもプロレスというのは、この〝微妙な感触〟を捜し当てる宝探しのような楽しみがあったはずなのだけれど、どうも最近それが見あたりません。あまりにもわかりやすく爽やかなスポーツ的なプロレスばかりになってしまった気がします。それがいけないわけではないのですが、ただ、文学的なプロレスがなさすぎるのが残念なのです。

誰もやらないのなら、俺がやりましょう。類い稀なる〝文学的プロレス〟を。そして、何ゆえ石川雄規が文学的レスラーなのか、この本を読んで答えを探してみて下さい。

タイトルは

『情念 ～夢一途なり～』

（制作／ダブルクロス）

バトラーツの大会にて先行発売をします。

この連載のファンの方もそうでない方も、プロレスファンもそうでない人も、全ての人に読んでいただきたい一冊です。

長い間ご愛読ありがとうございました。気が向いたらまた連載を再開するかもしれません。

その時まで、さようなら。

石川雄規

最強最後のレスラー降臨!!

本格格闘プロレス小説

無比人

虚構と現実が交錯する

壮大な格闘ロマン

Muhito

Illustration/中川雅博

天性の格闘センスを持つ男、万無比人。その素質を見抜き、プロレスラーに仕立て上げたのがプロレス専門誌発行人の千堂であった。プロレスそして異種格闘技戦でもある程度の成果を残した無比人が、次なる標的と定めたのがヒクソン・グレイシー。来るべきヒクソン戦を前に、無比人はA・カレリンと実戦さながらの壮絶なスパーリングを繰り広げた。さらに、「プライド6」のリング上に現れた無比人は、G・グッドリッジを破り勝ち名乗りを上げる小川直也に対し「ベルトを賭けて俺と戦え」と対戦表明をブチ上げた——。

（40）

未明の路上で銃撃戦の末に——

暴力団組長ら射殺さる！

九月の第二金曜、センセーショナルな見出しの活字が朝刊の三面に躍った。殺されたのは都内城南地区一帯を縄張りとする神州組組長梶省三(44)と、同組代貸井出本康太郎(45)。

各紙の記事の内容を総合すると、およそ以下のようなことになる。

梶が井出本一人を連れただけで蒲田の組事務所を出、タクシーで銀座へ向かったのは前日九日の午後八時過ぎ。界隈の馴染みのクラブなどを数軒梯子し、二人して事務所へ帰り着いたのは日付が変わった少し後だ。

タクシーを降りて玄関へ近づいたところ、物陰に潜んでいた男三人が飛び出してきて、いきなり短銃を乱射。井出本も梶を庇う格好で携行していた銃を抜いて応戦したが、頭部、胸などにそれぞれ数発被弾し井出本はほぼ即死状態、梶も救急車で病院へ搬ばれる途中に絶命した。

救急車を呼んだ付近の飲食店の従業員によると、梶らが戻る二時間ほども前から通りの向かいにライトを消した不審なセダンが停まっており、犯行後、三人はこの車で逃走したという。

神州組は最近、関西系の暴力団が元締めと視られる赤坂六本木周辺の秘密カジノで、賭け金を巡って店側と度々衝突を繰り返していたなどの噂があり、そんなことから対立の根が深まったのではないかとの見方も一部にはあるようだ——。

電話が鳴った。

千堂は、右手に持った鉛筆はそのままに左手で受話器を取った。昼の休憩時間を迎えたばかりで、『四角いジャングル』編集部では徳永以下全員が席を外しているようだ。

「もしもし」

氷見子だった。

「早くから携帯に何度メッセージを入れても——」

「社にいるときは携帯は切ってる、と言わなかったかね」

また梶の件では、と当たりをつけながら千堂は言いかぶせた。事件から三日が過ぎ、そのことでは氷見子とも無比人ともすでに直接顔を合わせ、あれこれ憶測し合っていた。

「梶の件で思いがけないというか、新事実が判明したの。ねえ、お昼休みでしょ。日本橋なの。十分で行くから時間を空けて」

「悪いけど、夜にしてくれんか。昼休みでも飯を食いにも出られないありさまで、ライティングマシーンだね、こうなるてえと」

誇張でもなんでもなく、前日の十二日、横浜アリーナで行われた〝プライド7〟の全試合を網羅した臨時増刊号を出す予定が組まれていて、日曜であるにもかかわらずアリーナを出たその足で千堂は単身社へ回るとすぐに署名原稿の筆を執り、ほとんど寝食も忘れて没頭していたのである。

〝プライド7〟ではアレクサンダー大塚が高田延彦の裸絞めに沈み、マーク・ケアーがイゴール・ボブチャンチンの膝蹴りの猛攻に一瞬失神させられるというまさかの大失態を演じ、そして前の年にマルコ・ファスに黒星をつけた大塚の後を追うかのように目ざましい活躍を続ける桜庭和志がアンソニー・マシアスをいいように翻弄、横綱相撲ともいうべき圧倒的な強さを見せつけた。観戦記の執筆にもおのずと熱が入り、気がついたら朝になり昼がきていた、というのが実のところかとも思われた。

「お昼を抜くなんて躰に毒よ。あたしが奢るから、どこか近くで一緒に摂ろう」

Sの女王さまらしからぬ気遣いを氷見子は示し、

「ね、本当にもう凄いんだから」

「凄いって、なにが」

「新事実がよ。電話じゃ言えなーい」

変に自信ありげな、それでいてどことなく甘えてかかるようなその物言いに接して心が動いた。千堂の裡に漠としたかたちながら、予感されるものがあった。

「わかった。それじゃ大至急」

「待ってて」

本当に十分をほんの少しオーバーしただけで、氷見子は社長室入口に姿を見せた。千堂が起って行き、肩を並べて編集部を出るとエレベーターは五階に停まったままだった。

通りの斜め向かいにランチタイムのみと時間を切って、昼間も営業しているイタリアンレス

巨匠入魂 第18回

真樹日佐夫

本格格闘プロレス小説

無比人

トランがある。そこのテーブルに席を占め、オーダーを通したところで、

「神州組の顧問弁護士をしているっていう先生から昨日電話があって、それで今日、日本橋にある先生の事務所へ行ったわけなんだけれども、向かう途中に組の顧問弁護士があたしになんの用なのかと急に不安になってきちゃって、随いてきてもらえたらなあと思って何回も電話を」

あえて口を閉ざしてきたが最早限界、と言わんばかりに堰を切った如くに氷見子は喋りだした。声が弾んでいた。

「でも、それは取り越し苦労でね。ねえ、どんな用だったと思う?」

「だから凄い新事実が明らかにされたんだろう、弁護士先生の口から」

「そう、それ!」

この時点で、すでにして金銭面でのことと千堂には確信されるものがあったが、ここまで気を持たせた氷見子に一矢を報いるか、といった気持ちが働いて先を促すことはせずにいた。すると覿面に焦れた表情を見せたものの、

「保険よ。梶はねえ、あたしを受取人にして生命保険に加入していたの」

と、じきに改まった表情で語を継いだ。

「額面は一億円――と思うでしょ。ところが、これが三億。三億円よ、どう、凄いでしょう!」

「なるほど……いや、凄い」

生命保険とは少なからず意外だったが、一億円の工面がなかなかつきかねる梶が切羽詰まり、同時にまた女王さまである氷見子に対する申し訳のなさから加入するに到った内面は、M男という立場を踏まえて考えると千堂にもわからないではない気もした。

「でしょう。先生が梶に頼まれて保管していた証書を保険会社の方へ回してくれさえしたら、それですんなり三億円が支払われるのよ。ヒクソンのファイトマネーなんて、軽い、軽い――だわよねえ。無比人にもまだなんにも話してないけれど!」

言いながら氷見子は、窺うかのような目色を覗かせた。千堂とのプレーでM女に堕とされた挙句、一億を梶に出させる役を振られた身としては、かたちこそ違えその何倍もの額を得ることになるのを誇示したくて当然だろう、と忖度しつつも目色の底に見え隠れする媚を彼は冷徹に感じ取っていた。

一億の件を氷見子に言い渡したのが春先で、梶に当たらせたところ二、三ヵ月の猶予があればということだったが四ヵ月経ち五ヵ月が過ぎても吉報はもたらされず、千堂としても諦めかけていたのだが、それとは別に気が向くと氷見子をマンションへ呼んでプレーする、その習慣は続いていて、そんな折、

――ご主人さま、後生ですからこのことは無比人には仰有らないで下さいませ。

SとMと双方の立場が逆転した当初は二人きりになるのを避けているふうだったのが、追い追い深みに嵌まった様子で、いつの頃からか彼女は決まって同じ台詞を口にするようになった。千堂がわざと意地悪をし、

――万に知れたらどうなるというんだ。

と突っ込んで訊くと、

――殺されます。

と、これまた常に同じ答えが返ってき、単にM男である無比人の逆上した場合の狂暴性を懼れてのことかと思ったら、そうしたイメージを起爆剤として一層深く逆転プレーへと自身を追い込もうとしているのだと、日を経るにつれてなんとなくわかってき、隠れM女として完全に屈服した事実が改めて確認された次第。保険の件を得々として打ち明け、一方で目に媚を滲ませなどしているのもその証拠では、といままた意を強くしながら千堂は、向かい合って坐る氷見子の方へテーブルの下で靴を脱いだ片足を伸ばし、

「かたちがどうあれ、これまでの労苦が報われたことに変わりはない。――どれ、褒美を遣わすとしよう。パンティーを膝小僧のところまでずり下げろ」

と声の調子を落として言った。

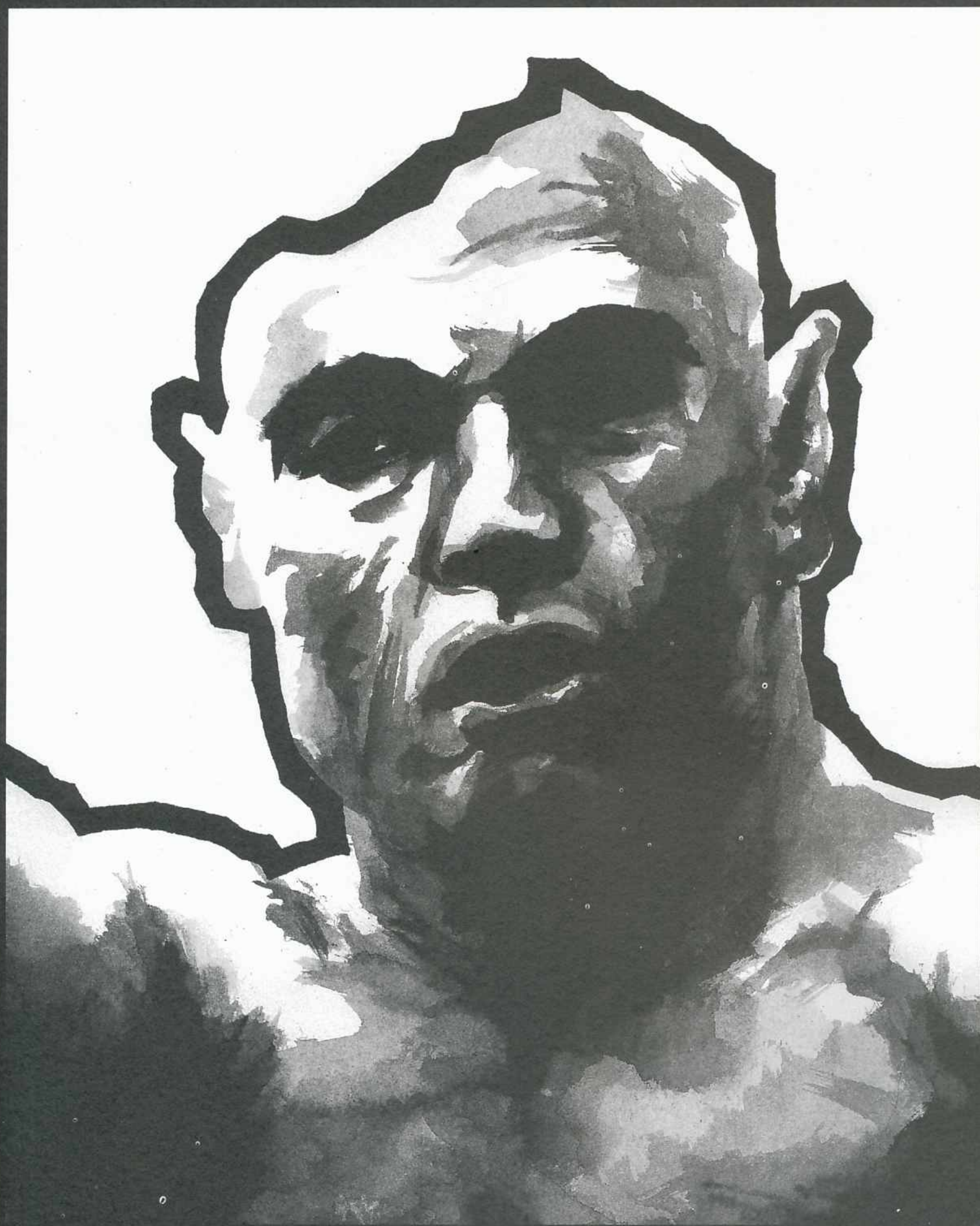
途端に氷見子の目頭が寄り、表情もいびつに感じられた。パスタにサラダ、スープのセットが運ばれてきたが、構わず千堂は伸ばした足の先で股座の辺りをまさぐりだした。

氷見子は命に服したものとみえて、靴下を隔て柔らかな肉の感触を親指が捉えた。立場が逆転してからというもの、千堂はプレーに剃毛をも加えていた。
「感じるだろうが。あーん」
「はい、ご主人さま」
「遠慮なく頂くがいい」
「嬉しゅう存じます」
氷見子は、いびつな顔のまま一方の手をテーブルの下へやり、千堂の足首をやんわり掴むと親指を肉の裂け目に取り込もうとした。
「馬鹿、そっちの口じゃない。上の口のことを言ってるんだ」
「あら……。失礼をお赦し下さいませ」
店内は立て込んでいたが、声を潜めていることでもあり、二人の席へ注意を向ける者もないようだった。
千堂が足先による愛撫を止めぬまま、ナイフとフォークを手に取ると氷見子も倣い、いっとき静けさのなかでの食事が続いた。
沖縄での″ザ・カキダミシ″からかぞえてもすでに丸二ヵ月。長いトンネルを無比人ともどもようやく抜け出した気がし、千堂としては感慨ひとかたならぬものがあった。
″ザ・カキダミシ″のさらに一週間前、″プライド6″のリングで無比人はムヒトコールに後押しされて小川へ詰め寄り、あわやと思わせたが、そこへ巻が上がってきて割って入った。千堂はそれまで気づかずにいたのだが、同じ側のSRS席で観戦していたようだ。
ブーイングをよそに巻は、本部席で調達したとおぼしいハンドマイクを通じ、
――なにゆえ無粋な止め役を買って出たかというと、只今のグッドリッジ戦で小川選手は拳を骨折したと視るから！　負傷した彼をここで番外戦に引張り込み、よしんば勝利したとしても万無比人君の勲章たり得ぬから！
と満場に語りかけ、ドクターをリングへ上げて小川を診させたところ骨折は事実と判明。ここに無比人も客たちも強行を諦めざるを得なかったのであった。
″ザ・カキダミシ″への参戦は巻の仲立ちがあって実現したもので、バス・ルッテンのゲストとしての来沖が決定している。当興行は巻道場沖縄支部の主催だし、よかったら番外戦を阻止した穴埋めに無比人vsルッテン戦をスペシャルマッチとして急遽組ませるが、と声をかけられて本人、千堂ともに応諾。UFC元世界ヘビー級チャンピオンと熱戦を展開するがしかし時間切れで引き分け、その後にも色々とあったも

本格格闘プロレス小説

無比人

巨匠入魂 第18回

真樹日佐夫

のトンネルを抜けたら、いきなりこよなく明るい展望が……。笑いを堪えるのに千堂は苦労を強いられた。

食事も終わり近く、あ、と氷見子が声にならぬ声を発してフォークを手から滑らせた。靴下の先に生暖かいものが拡がった。

（41）

九月十八日。船木誠勝率いるパンクラスが、千葉・東京ベイＮＫホールでキング・オブ・パンクラスタイトルマッチを開催。

九月二十五日。米国・シャーロット大会で、小川直也がＮＷＡ王座を奪取さる。

十月二日。ＵＦＯと袂別した佐山聡の立ち上げた掣圏道が、有明コロシアムでＳＡボクシング初代王者決定トーナメントを行い、東京初進出を果たす。

二日の掣圏道のトーナメントに出場予定の選手たちとは、千堂の構想からすると当面無比人に絡むことはあるまいと思われたが、佐山とのこれまでの付き合いの手前もあり祝儀を用意してつるんで会場へ足を運んだ。その時点でエンセン井上がマーク・ケアーと〝プライド8〟のリングで激突することが決定しており、これに井上がもし勝てば彼と船木、桜庭、大塚を降した高田とこの四人に狙いを絞ってマッチメイクの交渉を進め、一人乃至二人と対戦したところで――勿論無比人が勝利するとして――年内実現を一応の目途としヒクソンに挑戦させるというのが、即ち千堂が温めてきた構想であった。

最早〝ヒクソントーナメント〟を待っていなくてはならぬいわれはない、というのも氷見子が社へ現れて十日とせぬうちに三億の保険金の支払いが実行され、それをそっくり託されていたからだ。機会がなかなか訪れないなら金の力で機会をつくればいいと、そう考えたのが構想の出発点で、いきなりヒクソンのところへ話を持って行ってもよかったが、あえて回り道を択ぶことにしたのは、彼は金だけでは動くまいと思われたせいにほかならない。

金といえば、かつて氷見子はなにかというとそのことばかり口にしていたのが嘘のように恬淡として、

――三億全部を受け取るわけにはいかんよ。一億だけあればなんとかなるので。

千堂が言ったのへ、いとも自然な表情のうちに、

――資金は潤沢であるに越したことはない。違いますぅ？

と八重歯を覗かせた。

――それはまあ……。しかしだねぇ。

――いいの。儲かったら利息を付けて返してもらうから。

俗にいうどんでんがきて価値観をも変えた、ということか。結局、千堂は全額を借り受けることにしたが、とはいえ真澄ばかりか氷見子にも、と思うにつけても不甲斐なさを拭えなかった。

もう一人、〝ヒクソントーナメント〟の有力メンバーに擬せられていた小川だが、ＮＷＡのベルトを失ったのを境に憑き物が落ちたように無比人が興味を示さなくなり、じきに王座には返り咲いたものの外してかかることにしたのである。有明コロシアムで顔を合わせた序でに、佐山にも凡そのところを話して援護射撃を頼み、その翌日から交渉を開始した。

無比人は、三億の金の件を知らされて単純に喜んだだけだったが、この業界でも他の世界同様に〝実弾〟がなにより物を言う事実を厭というほど知る千堂としては選手との交渉はこれでスムーズに運ぶもの、と楽観していた。

十月も旬日を経た連休二日目の夜、東京ドームでの橋本と小川の遺恨マッチを真澄と一緒に観たあと彼女のマンションで寝室の床に這わせ、その尻に赤い蝋燭をしたたらせて苛めていると、千堂の携帯電話が鳴った。無比人からで、

「社長かい。今月中にヒクソンと闘わせてよ、頼む」

「急にまたどうした。なにかあったのかね、え？」

「今日道場で小耳に挟んだんだけど、奴さん、十一月がくりゃ四十だって？　四十男に勝ったって自慢にもならない。違うかい、社長」

と聞いて千堂の心は定まってくるものがあった。

〈以下次号〉

前号で突如、勃発!ジャイ子VSトイレの大西さん（仮）改め、大西タマリン

「敗者『紙プロ』追放試合!」の結果は下記の通り。以上!

大西タマリン	～タマリンに1票入れた人の感想（☆はジャイ子からのコメント）～　●自己PRでジャイ子はライバルにオレを指名していた。フザけるな!（みちのく／テッド・タナベ）☆いま、ちょうどテッドから電話が……ホントはジャイ子のこと好きなんでしょ?　●ジャイ子の写真にひいた（広島県／中村悌二郎）☆あの写真は踏絵だと思ってください。　●ドロドロしててよい（京都府／杉本晃彦）☆だろ?　●ジャイ子に1票、と思いきや、なんぞ!　あの自己PRファッション「オーバーオール」コレ着て得するコトでもあんの!（大阪府／大西妹・キモ）☆うるせんだよ!　重労働だからラクな格好してんだよ!　しかもあの服高けーんだよ!　ボーナス（出ないけど）一括払いで買ったんだよ!!　黙ってろ、ボケ!　●大西さんはカワイイ。（東京都／小西浩史）☆じゃ、しょうがないです。　●ジャイ子ファンの僕は、もっとがんばってほしいから、あえて!（東京都／小椋健）☆気持ちはありがたいが、もう次はないんだよ!　●もうジャイ子は要らないっしょ。（北海道／藤原章男）☆あぁ、そうですか。　●大西さんの方が取材に入りこんでいるような気がします（山口県／高田秀明）☆気のせいじゃないのぉ?　●ジャイ子よりキショイかもしれない大西さん。（青森県／赤松亮）☆「キショイ」っていうのは方言ですか?　初めて聞きました。どういう意味なんでしょう?　あ、「気色悪い」の略なんだ（調べた）。なるほどね。
ジャイ子	～ジャイ子に1票入れた人の感想（☆はジャイ子からのコメント）～　●たぶん、こっちが票が少ないと思うのでジャイ子に1票（東京都／川村剛）☆こういう人がもうちょっと多かったら勝てたのにぃ。　●I gonna miss her,I guess you also（ DDT／ナオミ・スーザン）☆意味わかんないけど、サンキュー、ナオミちゃん。　●ジャイ子にきまってんだろ!!（愛知県／キャプテン名倉ちんぽ）☆サヨナラ、キャプテン。横浜アリーナで握手したことは一生忘れないよ。　●ジャイ子、でっかくなって帰ってこい!（つぼプロ／小坪弘良）☆お友だちのツボ原人さんにもよろしくお伝えください。　●大きい女が好きだから（青森県／秋元清志）☆なんなら結婚してあげましょうか?　とりあえず東京に出てきてください。　●ダブルクロスに電話したらジャイ子が出て、すごく応対が丁寧だったから（東京都／高島有治）☆社内で喋ってくれる人がいないから、電話かかってくると嬉しいの。　●アレクインタビューは安田デビュー戦以来の感動を覚えた（静岡県／横田賢）☆大好きなヤスと並べていただいて光栄です。　●本当は恵美さんがいいけど。（埼玉県／リングスタッフ山口）☆ダーリン、恵美ちゃんが好きでもいいけど、奢ってくれる約束は忘れないでね。　●ギャグのセンスが自分に似ている（埼玉県／長根和男）☆ホントに似てるとしたら致命傷です。生まれ変わってください。
その他	●レフェリー、ジョー樋口失神のためノー・コンテスト（東京都／小林晃）☆そんな大物が裁いてたなんて……。　●結婚退職を先に決めた方が勝ち!　というのはどうでしょうか?（愛知県／真下純子）☆ジャイ子、こないだプロポーズされるとこまでは行ったんだけど（その後、破談）。惜しい!!　●優勝はナオミ・スーザン（奈良県／石井孝彦）☆ナオミちゃんはジャイ子のマブダチなんだよ。こないだジャイ子のうちに泊りに来たの。羨ましい?

む～!!　ジャイ子負けちゃいましたぁ。みんなぁ、淋しいでしょ?　それにしても、ひどいよチョロメ～ン!
いくら自分の仕事がいっぱいいっぱいだからって、このページの原稿ジャイ子に書かせることないじゃん!　ただでさえ最近ロクなことないんだからぁ!!　彼氏とは別れるし、酒飲まないと眠れなくなるし、強姦されそうになるし（マジで）。どう?
他人の不幸って楽しいでしょ。それぐらいしか楽しみのないみなさん、サヨナラ。ジャイジャイ。（ジャイ子）

LOSER!!

ジャイ子

WINNER!!

大西タマリン

紙プロ追放決定

みちのく&バト両社長より勝利着賞♥

「君たちが1人でもいる限り、みちのくプロレスは永遠に不滅です!!」まさに、この通り　みちプロが不滅なら、みちプロページを担当したアタシも不滅です!!　両社長に乾杯!（タマリン）

ヅラ被れば済むんでしょ!!（逆ギレ）

だいたい、アフロになんかするわけないじゃん!　これから普通の会社で仕事すんだから、そんなの信用する方がおかしいんだよ!　ヅラぐらいなら被ってあげるけどね

今週撮影終わったよん。デートしよデート♥

イェーイ、これからは毎日家に帰れるし、デートもできる♥　会社で暴力を振るわれることもない生活が待ってるわ。キャー、さっそく男子から電話が掛かってきちゃったぁ。

さよならジャイ子…

本当に追放?　次号に注目!!『誰も喜ばないこと、誰もやらないことを夢としてそれに挑戦する、それがこの企画のロマンである』（編集部）

♪悔しいけれど お前に夢中、セイケンドゥ～! セイケンドゥ～!! (弱火ギャグ)

グレート・チョロの ハガキ劇場

押忍(敬礼)

前号で、「グレート・ニタがムタに負けたら、コーナー名を『ハマキ劇場』にかえます!」と、力強く断言したため、気を利かせて『ハマキ劇場』宛で投稿をしてきてくれた人たちも何人かいた。だがしかし、グレート・チョロの心の師匠である、大仁田厚アニキから邪道魂を注入されたため、これからも『ハガキ劇場』で行くことに決めたんじゃあ!! 嘘つきで何が悪い? これが俺の生き方じゃあ!!

え～ 突然ですが、
多大なる読者のご要望に
お応えして "掣圏道スーツ型道衣"
を 1名様にプレゼントしま～す。
押忍(敬礼)。

フォーマルに
着こなすもよし。
ラフに着こなすもよし。
これを着て
市街地へ出よ!

限定1着限り

セットで
5名様

押忍押忍押忍! 業界初の試み、衝撃の「掣圏道スーツ型道衣(ちなみに帯は各自用意!)」を1名様にプレゼントしま～す。さらに、「掣圏道キーホルダー(2種類)」「掣圏道携帯ストラップ(イエロー&ホワイト)」「掣圏道リストバンド」をセットで5名の方にあげちゃいま～す(手違いで『紙プロ特製リングおじさん携帯ストラップ』が入ってますが、これはあげません)。応募方法はP158の読者プレゼントコーナーを参照。押忍!(敬礼)

スーパー(タイガー)モデル 神子佳世 "ちんこ姫"

『ハガキ道場』のSEXシンボとして活躍していた神子佳世ちゃんから、右のようなハガキが届きました。あっさり『ハガキ道場』から『ハガキ劇場』への金銭トレード(たばこ2箱分)が成立。ありがとう佳世どん(※ちんこに続き、学校では名前のうしろに「どん」をつけるのが流行中。例「ドン荒川どん」「菅井きんどん」「高島親子どん」)。佳世どんには、『チョロッ娘クラブ』会員ナンバー11としてモデルに挑戦してもらいました。佳世どんには特別に50点差し上げます。これからもよろしくお願いしま～す。押忍!(敬礼)。ということで、掣圏道スーツが着たい方、「モデルなら私に任せて」という女性読者の皆さん『チョロッ娘クラブ』は永遠に会員を募集中です。

とうとうハガキ道場は終わりました。「セクシャル女子高生の肩書きを「ちんこ」の一言で得て、育てて貰ったハガキ道場」が終わりました。小学校を卒業した子供は中学生になります。ということで勝手ではありますが、私は「ハガキ道場」を卒業して、「ハガキ劇場」に入ります!! この前「3年B組金八先生」の再放送を見て決めました。ノブさんすいません。女子高生の心は移り変わるものなのです。それでは劇場の皆さん、よろしくお願いしまーす。小路晃兄さんTシャツ希望。
それでは業務連絡を。
①最近驚いたこと。友達(17歳、ヤンキー男)がまじなパーティーを体験して、そのやり方を教えてくれた。あと父でワールドプロレスリングを見ていたら、「何だかんだ言っても健介が最強なんじゃねえかなあ?」と言われた。そうなの? マジで?
②「トゥナイト2」みました。「チョロッ娘クラブ」(ちなみに会員番号11希望。現在の学校での出席番号だから)があるなら、私も軍団を作りたいです。名前はデキトーにつけといて下さい。
当方もうすぐ17歳。招かれたい有名人は大川総裁とボブ・ディランです。会員大募集です。すいませーん。

ちなみに今回提供の掣圏道スーツ型道衣(&掣圏道グッズ詰め合わせ)は、仮面シューター・スーパーライダー選手がDDTでの試合で実際に着用したスーツです。この逸品を何故か所有していたのが掣圏道大佐の渡部優一氏。渡部大佐に「スーツを下さい!」と、お願いすると「山口編集長に脅されるのが怖いので差し上げま～す。押忍!(敬礼)」と快く(?)提供してくれました。渡部大佐ありがとうございま～す。みなさん一緒に、渡部大佐に向かって、押忍!(敬礼)。

グレート・チョロのハガキ劇場

またもや発売延期の危機に見舞われている現在10月18日午後10時！ 今回は一言コメント満載でお届けする『ハガキ劇場』じゃあ！

祝！ ハガキ劇場勝利&トゥナイト2出演

次はワンダフルに出てワンギャルと乱行パーティーだ！

キサマのせいで最近インポなんじゃあ

ジャイイ

（青森県／青木雄大）10点★先日、会社でスヤスヤ寝ていた大西タマリンが敢行した1人ストリップ（寝ながら、自ら着ている服をまくし上げていた）のおかげで、愛のインポー救出大作戦は成功したんじゃあ！（意味不明）

最近おこったオモロイ出来事

今号のオーちゃんの取材時、インタビューを終え駐車場から出ようとした本誌編集長ノビー。勢い余って、なんとポルシェに追突！ なんと損害賠償として27万円も請求されてしまったのだ。当然、貧乏会社の社長には非常に頭の痛い金額である（本人は「俺は金に困ったことはない」と言い張るが）。

編集部に戻ってきてからも頭を抱えっぱなしのノビーは、恐る恐る自宅で待つ妻に電話を入れた。なんとか状況を伝えたものの、とんだ無駄金の請求に、妻は少々怒り気味で受話器を置いたという。不安げな表情のノビーは、すぐさま「エー、どうもスミマセン。あの一、運が落ち気味の時こそ頑張る！ 最大のピンチは最大のチャンスなり!! 猪木さんが、小川に負けた橋本に送った詩『かいて かいて 恥かいて 裸になったら見えてきた自分の姿』を肝に銘じて精進いたします。ではまた 昇」（原文ママ）というFAXを送信。

30分後、編集部に一枚のFAXが流れてきた。「山口ライジングサン様 一句川柳などを披露します。

★キャバクラに 行かず彼氏に ホットして 無駄金払う なげき妻

★『かいて かいて 腹かいて 裸になったら見えてきた 自分の脂肪』

エー今年もあとわずか……1999年も終わります。残り少ない1999年 期待しています。2000年に向かってライジングサンしましょう。かしこ」（原文ママ）。

どーですか、お客さん？ 一本どころか十本は軽～く取られてしまってるんじゃあ！

素晴らしき夫婦愛。

サック・イット!!

軍門ニ降ルノ図。

（愛知県／キャプテン"負け犬"ちんぽ）5点★こちらこそヨロシク頼んだぜよ！ 右のハゲ坊主は俺。ガキの頃から「サック・イット!!」してたんじゃあ！ それと『レディゴン』に載ったんじゃ！ 仲山さん、ありがとよ！ 以上、「俺が俺が」のオレモリでした。

今号のグレートな感想

面白かったのは、前田日明インタビュー。小川へ対する不満とニタについての意けんがよかった。（広島市／友田和徳／15歳）5点

★そりゃ良かったな。ただし、オレの生き方も否定するなよ。

面白かったのは、小川直也インタビュー。たけしさんの「振り子の理論」に感心した。（愛知県／後藤幸雄／32歳）2点

★それも良かったな。たけしさんの息子あっちゃんはDDTが好きなんじゃあ！

編集後記 Editin

▼泉井さんが、『トゥナイト2』（松澤チョロ記者がステキだった）に続いて、またもテレビ朝日『G-SPORTS』に出演。私は『ワールドプロレスリング』でケロちゃんかマサさんの後ろあたりで、テレビ朝日にそわそわ出るのが夢です。あと今年中にドイツに行きたいで～す。（仲山）

面白かったのは、ドン荒川インタビュー。『紙プロ』のイイところは、こんなインタビューが多いところだと思います。プロレスラーの強さに夢が広がります。（秋田県／渡辺卓也／31歳）3点

★これからも、この調子で突き進むんじゃあ！ 俺は弱いんじゃあ！

面白かったのは、滑川康仁インタビュー。いい。だって「暗いあんちゃんだなぁ」って思ってたんだもの。顔でいえば上山選手の方がいいけどね。私的に。（宮城県／千葉裕美／15歳）4点

★オイ、オイ、オイ、滑川選手は、『世界のプロレス』からの刺客ブラッド・コーラーと並んでオープントーナメントの台風の目なんじゃあ！（出場できなかったらすんまそん）

面白かったのは、滑川康仁インタビュー。私服姿がとってもイケてます！（山口県／河杉けい子／20歳）4点

★さすがリングスジャパンのファッションリーダーだけあるんじゃあ！ ナメナメ。

イッツ・オッケー!!

素敵♥

（千葉県／石毛誠）10点★前号でお届けした『ケビン・ヤマザキとは何者か？』。たったの1頁ながら大反響だったんじゃあ！ オイ、オイ、オイ、破壊王もジャイ子も岸部四郎も羽賀研二も槙原敬之もブリグリのトミーも、みんなケビンさんのもとでトレーニングするんじゃあ！ イッツ、オッケー？

面白かったのは、『語ろう！ 藤波辰爾』。椎名基樹さんがドラゴン仮病説を出した時、いつもは悪ノリするはずの吉田豪さんがあわてて否定しているところが妙に笑えました。（青森県／青木雄大／24歳）3点

★オイ、オイ、オイ、俺も笑ったぞ！

面白かったのは、『語ろう！ 藤波辰爾』。今まで全然、藤波社長には興味がなかったのに、ものすごい魅力的な人であることを気付かせてくれたから。（東京都／仲山忍）5点

★大反響の『語ろう！ 藤波辰爾』。オチャメな藤波社長に興味ないなんて、もしかして、吉江選手、中西選手のファンだな（意識不明）。

面白かったのは、『語ろう！ 藤波辰爾』。藤波の顔に死相が出ているのは、私も前から思っていた。（大阪府／東山和美／31歳）2点

★ヒドイこと言うなぁ。藤波社長にはプロレス用語は通じないんだぞ。ファイヤー！

面白かったのは、バス・ルッテンインタビュー。バスは面白いこと言うね！ 俺も男だ！ わかった！ 俺も腹減ったァ～！ 俺も坊主だ！ ノーフィアー!!（栃木県／伊藤正規／26歳）3点

★言葉の意味はわからんが、とにかく凄い自信よのぉ。俺は邪道邪！ ファイヤー！

面白かったのは、バス・ルッテンインタビュー。いちいちその通りだと思いました。カタブツさんのインタビューとしては（というと失礼ですが）非常に素晴らしい。ハートだよな。（佐倉市／本多正人／34歳）2点

★なんつったってカタブツ君はもてる要素満載なんだからな。侮っちゃいかんのじゃあ！

今回、名前がのって嬉しはずかし☆でした。次は勝てるようにがんばります。ちなみに内弟子さんの家は自由が丘に近いです。（神奈川県／諸星和奈／21歳）4点

★担当のカタブツ君にとっては、自由が丘も代官山も一緒なんじゃあ！ ごめんよ！

つまらなかったのは、『ザ・検証』。ドラゴンを悪く言わないでほしい。（兵庫県／黒石智之／18歳）2点

★ウルティモか？ キッドか？ それともマスターか？ それが問題だ！

面白かったのは、内藤常仁インタビュー。常仁最高！（山口県／吉田賢司／22歳）3点

★いつも笑顔を絶やさない内藤選手。ちなみに本職のセブンイレブン店長時の笑顔は営業用スマイルらしいんじゃあ！ ニコニコ。

（愛知県／キャプテン"負け戦"ちんぽ）5点★今回のイラストモデリストNO.1に輝いたのが、リカルド・フィエート。久々に登場した描きがいのあるファイターなんじゃあ！

（愛知県／ホタルイカ）5点★これが噂のドナルド・フィエートじゃあ！ 商品化に向けマック本社まで交渉に行ってくるんじゃあ！（フィエート同伴）。ノー問題!!

コジMAX

（愛知県／たっつあん）5点★オマエら『ケンファー』の「徹底討論!! 小島聡」は読んだか？ いつ何時、誰の質問にもうなずきっぱなしなんじゃあ！ コジコジ。

「トイレ&ジャイ子」（香川県／正木浩二）4点「大西キモ」（東京都／長坂恵）4点★「少女漫画のような私の顔に対し、キモったらブサイク！ ジャイ子の顔は新宿2丁目風」（タマリン談）。ちなみにキモの最近気がかりなことは「山口会長&将軍顔吉田、両氏のプリントTシャツを着ていると、若者に右乳（会長の方）を押し逃げされること」らしい。

（埼玉県／アントニオ文朱／100歳）各3点・計9点★相変わらずブレーキの壊れた三輪車っぷりを発揮しているアントニオ文朱。上田勝次、滑川康仁、デストロイヤーと人選も完璧！ しか～し、今回の君の俳句は、誌面に載せられないものばかりなんじゃあ！

面白かったんは、宇野さん、小路さんのインタビュー。そんな私ももちろんカオルコ。カオカオ。
（兵庫県／荒木奈那恵／20歳／高校4年生）3点
★オイ、オイ、荒木さんよぉ、高校4年ってどういうことじゃあ？　カオカオ。

つまんないのはハガキ劇場。オレのが全然のらねーから
（東京都／飛べ!!　バージル山崎雅幸／19歳／芸人）2点
★オイ、オイ、飛べ!!　バージル山崎雅幸さんよぉ、それはな、ペンネームが必要以上に長いからなんじゃあ！

つまらないのは、『紙プロ』vs『激本』リポート。話には聞いていたけれど読んで背筋の凍る思いがした。私が殺されたら吉田さんのせいになるらしい。
（千葉県／宮川美香／28歳）5点
★オイ、オイ、責任は全て吉田豪の口ひとつ！　胸いっぱいで生きるんじゃあ！

秋にちなんだ都々逸をひとつ…。「松茸は焼いて食おうか、煮て食いましょうか、ナマじゃお腹がふくれます（©談志）」。という訳で、20号での青木雄大さん、おほめの言葉ありがとうございました。共に名前に〝U〟が付く田舎者同士、長州のダンナを「Uはおまえらだ、ダッフンだ」とギブアップさせるまで突っ走りましょう。PS・㊗じゃがたらCD9タイトル発売!!　女房を吉原に売りとばしてでも買え、の一枚は『南蛮渡来』。
（熊本県／塩本祐介／33歳）5点
★田舎者万歳！　じゃがたら万歳！　『それから』もよろしく。オイ、オイ、オイ、俺は、売り飛ばした女房が欲しいんじゃあ！

荷物の宛名にペンネームで書くのはやめて下さい。キツイです。大家さんに追い出されてしまいます。でもプレゼント下さい。
（埼玉県／アントニオ文朱／100歳）1点
★オイ、オイ、いい年こいて、そんな恥ずかしいペンネーム付けてるお前が悪いんじゃあ！　だが文朱、よ～く考えてみろ、アントニオも文朱も恥じることない。いい名前だろ！　それがお前の生き方じゃろがぁあ！

今年、一番後悔しているのは5・30の大日本に行かなかったことです。山川竜司選手は、剛竜馬選手の試合が少なくなった今、私のハートをつかんだ選手です。『週プロ』でおもしろいと思ったのも、山川選手の「ビールはサッポロ！」「臼田、よ～く聞け。ジャックダニエル！」という記事くらいです。次は行くぞ大日本！
（東京都／怪覆面SM）3点
★後悔先に立たず。スモー・ノブはいつも朝立ち！　もう誰にも止められないんじゃあ！

チョロ殿にご連絡。処分したいエロビデオが何本かあるのですが、チョロさん宛に送ってもよいでしょうか？
（東京都／高島有治／29歳／キクター）5点
★ノー問題、ノー問題！　勝手に送っちゃっていいですよ（高田調）。ん？　オイ、オイ、オイ、なんで俺が高田調で喋ってんじゃあ！（逆ギレ）。ファイヤー!!

『紙プロ』ハガキ職人の中川雅博さんて、爆笑問題のラジオによく送ってくる、イラストレーター中川と同一人物ですよねぇ。爆笑が毎回すごく褒めるのを聞いて一度絵を見てみたいと思っていたら、こんな所で拝見できてすごく嬉しかったです。あと、吉田豪はリリー・フランキーの本に初対面の人の話に「ちっぽけ」という人として書かれてた人で、椎名基樹は電気の龍の後輩の人だ。み～んなプロレス好きだったんですね。最近、『紙プロ』買い始めたので色々つながった、今日この頃です。
（東京都／梨C／22歳）5点
★オイ、オイ、オイ、ジャイ子はイーグル沢井の高校の後輩なんじゃあ！　あばよ!!

UFO.Tシャツ

（千葉県／武田いづみ／19歳）10点

読者ハガキのお手本
（高レベル）

CIMAこと大島伸彦先生の
お笑いマンガ劇場
新連載!?

右上がりの道①

「クレイジ～、ファッキン、ファッキン、ファッキン!!」CIMA先生の4コマ漫画をハガキ劇場が買収したんや！（『右上がりの道①』となってるが、実は完結）「俺が書いた方が面白いって！（越中調）」というプロレスラー＆格闘家の皆さん、ドシドシ送って来いっちゅうねん！

上杉太郎「新たなる挑戦者」

新たなる挑戦者

「はじめまして。山口編集長にお願いがあります。私を漫画家として『紙プロ』で使って下さい。私は28歳で校正のアルバイトをしています。バイトだけしててもしょうがないし、何か始めないと、と焦っています。気が向いたら、吉田豪さんと相談して下さい（気が向くよう願ってます）」（神奈川県／上杉太郎）9点★読者の反応を待つ！

ボブチャンチン戦は
負～けや～
（マーク・ケアー）
カミサマは何処に？

ちっちゃな頃からボブチャンチン派のボクは、チャンチンの勝利の瞬間、飛び上がって喜んだが、一転、無効試合との判定にすっかり意気消沈したんじゃあ！　ゝちゃんちん

（三重県／エル・ナチョス）4点★ページを飛び越え、どこかへ知らない国へ行ってしまいそうなクラッシャー前泊。ヘルメットを被ってるところがラブリーなんじゃ！

★今号の最多投稿キング★青木雄大じゃあ！

ムラカミ　ショージ

村上ショージは『PRIDE.1』のリングアナを務めたんじゃ！　ムラカミ＆ショージとニアミスしてるんじゃあ！

グレート タム vs グレート タニ

まず一発目は、タム対タニの夢の対決！『リン魂』の「ファイティングカジノ」での相撲対決が見たいんじゃあ？

（青森県／青木雄大）各5点・計25点★牡、牡、牡！　今回もスペースの関係上使えなかった作品がたくさんあったんじゃあ！　次号もよろしく頼んだぜよ!!

ターザン性慾道設立

それにつけても男はカール

アレクが編集部に遊びに来た際、このイラストを見て「あっ、カールだぁ。んむはぁ～（笑）」と喜んでたんじゃあ！　それにつけても『PRIDE 8』は2人とも頑張れ！

（三重県／エル・ナチョス）4点★この格好で市街地をウロウロされたら、怖すぎて誰も手を出せないんじゃあ！

児童向け　天下取り記念　平成ドラゴン体操（所用で欠場編）

（熊本県／塩本祐介）4点★10・11「小川vs橋本戦」では、想像を上回るレフェリングを見せてくれた藤波社長邪。

（熊本県／塩本祐介）5点★ドラゴンフィーバー！　今回はたっつあんネタ2連発邪！

グレート・チョロのハガキ劇場

投稿写真 デラックス

どもども、チョロです。山梨県にお住まいの嶋田繁さんから「『PRIDE6』全試合終了後、デジカメでミニスカポリスを撮りまくるチョロを目撃。声をかけようかと思ったが余りの仕事？　熱心さに声もかけられず。なお返答は大仁田調でお願いします」とのハガキが届いた。オイ、オイ、オイ、嶋田さんよぉ、俺は『PRIDE6』には行ってないんじゃあ!!

パパの趣味

OFFのパパの象徴、趣味。
みんなイキイキしているね。

筋トレ好き

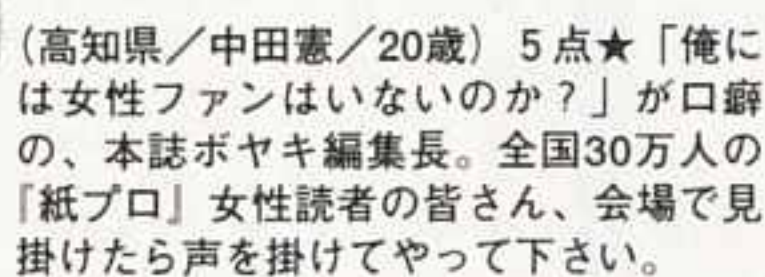
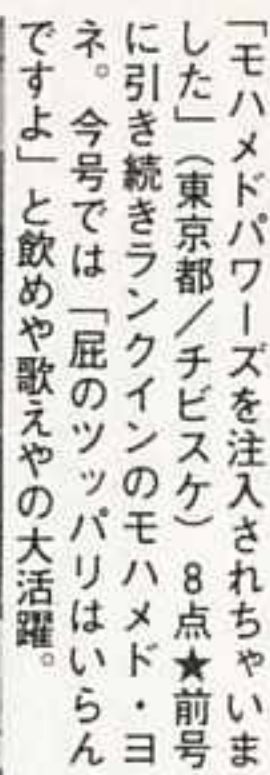
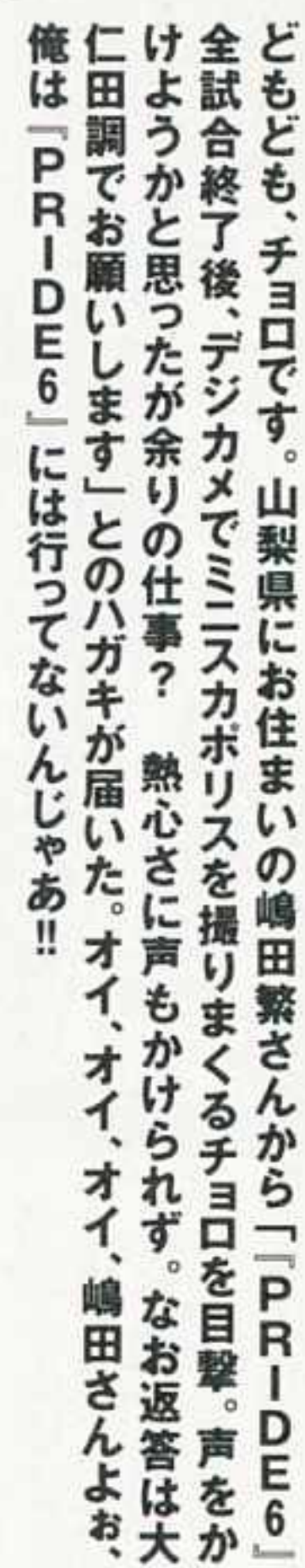
↑うちのお父さんはトレーニングおたくで、暇さえあればジムに通って体を鍛えています。だからこの力こぶ！　正確には上腕二頭筋っていうんだけれど、スゴイでしょ。（東京都／戸井玲子ママ35才・勝パパ36才・妃名子ちゃん5カ月）

（越谷市／大塚真貴子）と20点★元『紙プロ』編集者＆アレクの妻＆愛ちゃんのママこと、のも姉さんが「チョロ〜、これ載っけて」と持ってきてくれたのが、子育てマガジン『ひよこクラブ』。その中の「パパの趣味」コーナーに、なんと、インディーファンには懐かしの戸井勝選手の姿が。トレーニングおたくで暇さえあれば体を鍛えているという勝パパは、最近、某団体で覆面を被ってるとの噂も。

「モハメドパワーズを注入されちゃいました」（東京都／チビスケ）8点★前号に引き続きランクインのモハメド・ヨネ。今号では「屁のツッパリはいらんですよ」と飲めや歌えやの大活躍。

「水道橋で、オランダの最終兵器、オーフレイム＆フィエートを発見。なにやら口論していた様子でしたが、あまりのフィエートの怖さにワケもわからず謝ってしまいました。最後は先輩らしくオーフレイムがマシンガンでフィエートをブッ飛ばしました」（埼玉県／でるでるの魂）10点

（高知県／中田憲／20歳）5点★「俺には女性ファンはいないのか？」が口癖の、本誌ボヤキ編集長。全国30万人の『紙プロ』女性読者の皆さん、会場で見掛けたら声を掛けてやって下さい。

（スペル・テポドン2号）10点★大日本で大暴れ、クマさんことテリブルテッド・ブラックベアー。こなれた手つきでクマさんを誘導する男に注目！　そこには、死んだはずの坂井ノブの姿が!?　どすこい、もとい、どっこい大日魂で生きていた。

（星野王子様）10点★9・18パンクラスNK大会。控室前をウロウロしてると「ガンガンいくぜぇ〜、ガンガン！」という怒声が！　すわ、すわ、すわ、ジュードー・すわと現場に直行すると、柔道出身の二人が乱闘騒ぎ!?

スモー・ノブ部屋

ノブ・ハヤシです

自分は10月3日の大阪での試合ができなくなりました。なぜなら、アンディ戦に向けハードなトレーニングをしてきましたが、スパーリングの時、ワキ腹を痛めてしまい、ドクターストップがかかりました。自分は、トム・ハーリック先生にも、試合がしたいということを伝えましたが、トム先生にも「だめだ」といわれたので、しかたがなく思っています。

日本のファンのみなさんには申し訳なく思います。

しかし、自分はチャクリキの選手ですが、日本人ファイターとして12月、日本で試合できるよう、ケガも完治して、いままで以上のハードなトレーニングをつづけていきたいと思います。

日本のファンのみなさん、次回のファイト期待していてください。

1999.9.24.　ノブ・ハヤシ.

左は、K-1GP一回戦を、ケガのため出場中止となったノブ・ハヤシからの直筆お詫びFAXです。トム先生に「だめだ」と言われたら、しゃあないな、と。

ノブ・サカイです。

自分は10月27日発売『紙プロ』での仕事ができなくなりました。なぜなら、校了に向け、ハードなワークをしてきましたが、仕事の時、ワキ腹にゼイ肉がつきすぎおまけに脳を痛めてしまい、ドクターストップがかかりました。自分は山口昇先生にも仕事がしたいということを伝えましたが山口先生にも「だめだ」といわれたので、しかたがなく思っています。

『紙プロ』のファンのみなさんには申し訳なく思います。

しかし、自分は(株)ダブルクロスの社員ですが、日本人力士として、12月、日本で試合できるよう、体重を増やして、いままで以上のハードな仕事をつづけていきたいと思います。

『紙プロ』ファンのみなさん、次回の仕事期待していてください。

1999.9.24　ノブ・サカイ

右は、ノブ・ハヤシと同日に送られてきたノブ・サカイからのFAXです。山口先生に「だめだ」と言われたら、しゃあないな、と。同じノブでもサカイの方は取り返しのつかない重傷の様子。まわしを締めて出直してこ〜ひ！

前号で消滅した『ハガキ道場』。道場長の坂井ノブは南港に突き落としました。ノー問題！　ところが不敵の笑みを浮かべ、なぜかピースサインでスモー・ノブとなり復活してきやがったのです。さては『どすこいハガキ部屋』設立を企んでいるのか……。おそるべし、デブ＆くわえタバコのジャイ子（スモー・ノブ誕生の経緯はP96＆112参照）。

はぁあぁ〜、ドスコイ！　懸賞の募集でごわす！

ごっつあんです！　ドスコイ！　ドスコイ！　スモーノブでごわす！　ワシは、いま金がないでごわす！　でも、腹が減っては戦が出来ぬ！　というわけでタニマチを募集するでごわす！　スモーノブのページのタテ帯（『週プロ』でいうところのプレッシャーの位置）のスペースをあげるので、懸賞をかけてくだしゃい。米でも金でもAVでもプラモデルでも何でもいいでごわす！　待っとるばい！　ゴンゴン、送りんしゃい！

中川雅博画伯に似顔絵を描いてもらおう！

NO BEER ノービアー

ビール持ってこいコノヤロー！

ビールがねえぞバカヤロー！

『11月1日（月）と2日（火）に『多摩美術大学上野毛芸術祭』が多摩美術大学上野毛校舎（東急大井町線上野毛駅下車徒歩3分）であって、自分は似顔絵屋とTシャツ屋をやるので、もし良かったら宣伝を載せて頂けませんでしょうか？　無理ならいいです』とのFAXが中川画伯から届きました。「俺たち、俺たち、ノービアー！」ってことで、どーですか、お客さん？　あの伝説の中川画伯Tシャツの購入の絶好のチャンスがやってきた！　しかも新作もあるぜよ！　似顔絵も描いてもらって言うことなしじゃあ!!

似顔絵（鉛筆描き）200円
Tシャツリスト（サイズS・M・L・XL）
●金原魚　●ベンガルタイガー　●ブルーザー・ブロディ　●メスブタちゃん（オリジナルキャラ）●はろーにゃんまげ　●昭和こいる　各1800円

『就職できなさそうなので稼ぎたいです』（中川画伯談）。ということなので、今度の1日、2日は上野毛にGO!
ついでに新日道場も行くんじゃあ!!
中川画伯には20点差し上げます。

カズミ

編集部 世紀末珍獣絵巻地獄観察日記

ジャイ子に勝利した大西タマリンの

珍獣名鑑

イラスト／BV22・BORI

珍獣一筋25年。ワタシは今まで数多くの珍獣達を追い求めて来たが、こんなところに宝の山があるとは……。

人間名　坂井ノブ?

デブデブデブデブデブデブ獣は、なんと! 死にました。というより、殺されました。さよなら。と、思いきやズウズウしくも『すもうとり』になりやがり復活? メシ食うことを仕事にするもダメダメノブのダメ影が見え隠れし、メシ食う前から『ハァ～』だの『フゥ～』だの言う始末。お前食えよ! もっと食え! その辺で見かけた皆様は、腐ってようが何であろうがガンガン食べ物を与えてください。ごっちゃんお礼はお得意のジュリーをマジで熱唱させます。

人間名　ジャイ子

なんてったって、女臭プンプンさせている巨女獣は、実は内面に秘めた可愛い乙女心を持つコスプレ好き。二瓶組の旗揚げ興行ではバドガールに大変身して見せるも、全裸のエキサイティング吉田に追いかけ回され「生チンマゲ」をくらい、挙げ句の果てには、『勝手に着ないでください!』とバドガール管理人に怒られても、『1回着てみると楽しいよぉ～、また着た～い!!』と全く懲りてない様子。

人間名　松澤チョロ記者

チョロ獣は、チチが大好物。お酒を与えると急にペ～ラペラ語りだし、女だけならまだしも、男のチチもナメまわす無差別級王者。でもどうも、うすら笑いで『カワイコちゃん』アピールを激しくとりつつも、毒舌&弱火ギャグをガンガン吐きまくるのが納得できず。こそこそ何やら悪だくみをいつも考え、本人は完全犯罪きどるもバレバレ。最近は、男食家であることも発覚し、闘龍門のC-MAをおかずにどんぶりメシ（白メシオンリー）をたいらげる日々。

人間名　吉田豪

先日、我が珍友ミアケ（バカ清楚高校生向け雑誌編集者）に初対面で（その間2秒）『肌きれいですけど、顔デカイですねぇ～』と言われるも改造笑顔を見せ続ける素晴らしき金髪獣には、カッチョイーッス! と言わずにはいれない。パソコンともお話が出来るらしく、マイパソに向けても熱烈笑顔（なぜか顔面下半分しか動かず）をおくるオモロ獣は言語を発するとテキパキ明確優れモノナイフでミニ獣達をグサグサ切り倒す脳ミソも兼ね備えている。

人間名　山口日昇

ラジカセに向かい、覚えてのシャ乱Qを踊りながら高らかに歌い狂う単独ゲリラライブを決行!（誰もいないと思うなかれコッソリ目撃者アリ）してみたりとにかく武勇伝は尽きることなどな～い本誌編集長コトのびぃ～獣は、天然記念物申請中。女獣の中で1番のオットコ前を誇る林ヘクション獣（バービー収集家。そして、知らぬお人もいるかもしれませんが二人はメオト珍獣）と自宅で酒盛りをし、『社会の窓から武器を出して暴れてる!』（ヘクション獣談）と叫ばせ、世界各国にイタ電をしまくるのびぃ～獣、マジ凄いッス。これは研究する必要あり。絶対必見! これホント。

今回は主要獣をバラバラに紹介したが、次回からは珍獣達（ゲスト珍獣含む）の、毎日、巻き起こす事件を勝手に日記風に綴ることにします。あしからず。

オイ、オイ、オイ、お前らもっとハガキ書いて送ってくるんじゃあ!!

「ハガキ劇場」では、皆様のご意見、ご感想、イラスト、投稿写真DX、俳句劇場等々、とにかく読者投稿を待ってるんじゃあ! 宛先は……

〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷
3-11-3-702（株）ダブルクロス
地球に優しい「ハガキ劇場」係まで。
合言葉は、「弱火でシュボッ!」邪!!

☆ハガキ劇場☆ オフィシャルランキング

順位	名前	点数
1位	中川雅博	259点
2位	塩本祐介	147点
3位	ブルドッグ	139点
4位	キャプテン名倉	117点
5位	青木雄大	108点
6位	神子佳世	90点
7位	まっき	85点
8位	ホタルイカ	80点
9位	アントニオ文朱	71点
9位	またあうヒマで	71点

シロウト勝ち抜き筆自慢！

PRIDE.0（ゼロ）

前号は『PRIDE.0』初の試みとして、4選手参加による4WAYコーナーマッチ（なんちゃってNWA公認ルール）を行ったわけだが、実力が均衡していたせいか、飛び抜けた評価を得る選手はいなかった。そんな中、4選手による混戦を制したのは「光ゲンジ好きの姉」をセコンドに付けた森下潤一選手。さて、森下選手は初防衛戦でタイトルを守ることはできるか？　それともリベンジを狙う木村繁選手が『PRIDE.0』初勝利をあげるのか？　ノーマークのベンベン・ダヨト選手が思わぬ好勝負を繰り広げるか？　乞うご期待！　最後に一言、勝手に書いちゃっていいですか？　何度も言いますけど、女性読者の皆さん、『PRIDE.0』のリングで待ってます。書いて書いて、カモン！

前号の結果発表！	感想
ライセンスナンバー18 森下潤一さん 『木戸修真理教』 105票	●「宗教の大切さを知った」（神奈川県／小川英美／26歳）●「『ゴッチの息子よォ！』がとてもよい」（長崎県／川上秀明／20歳）●「出戻りのお姉さんの光ゲンジネタが最高です」（千葉県／本多正人／34歳）●「木戸さんでアツくなれる谷君が凄いと思う」（岩手県／田代洋一／１５歳）●「彼の姉さんの心意気がよい」（神奈川県／諸星和奈／21歳）●「木戸修真理教に入りたいから」（東京都／川村剛／21歳）●「オウムへの偏見がなくなりました」（神奈川県／宮川美香／28歳）
ライセンスナンバー19 井渕レイザーラモン誠さん 『夜のプロレスラー』 87票	●「熱いものが伝わってくる文章のうまさだわん」（京都府／近藤加奈子／21歳）●「キヨマはすごいよ」（北海道／藤原彰男／26歳）●「これが正しいレスラーです」（愛知県／今村龍彦／32歳）●「西村修の名前に負けました」（大阪府／村上宜之／24歳）●「清原にはまず野球を頑張ってほしいっす！」（大阪府／村田忠陽／19歳）●「キヨマは最高です。カリスマ美容師に『イタリアンマフィアみたいにしてくれ』って言ってみたい」（神奈川県／笹原晋／23歳）
ライセンスナンバー14 マウンテンバイク田上さん 『恐怖！ロープエスケープ』 78票	●「５歳でどうだ！」（北海道／佐藤稔／33歳）●「ロープエスケイプで、チャラになるって最初に考えた人の根拠って何だったんだろう？」（長野県／倉品正己／30歳）●「ヤマケン必読！」（埼玉県／福原統／20歳）●「『爽やかＴＶ』新しいフレーズが出ましたね。これ気に入りました」（東京都／五十嵐俊也／36歳）●「説得力のある文章だった」（東京都／小椋健／25歳）●「私も共感！」（東京都／富樫和史／32歳）
ライセンスナンバー15 村田卓実さん 『無我』 69票	●「短い文章の中に今のマット界に漂う空気を的確に表現している。恐るべき才能である」（福岡市／西尾徳博／34歳）●「真樹先生最高!!」（兵庫県／津崎貴光／20歳）●「僕も最近、興味がなくなっています」（北海道／大森伸也／25歳）●「『無我』という題名と合った文で気に入りました」（千葉県／神子佳世／16歳）●「ちょっと同感」（福島県／森祐介／33歳）●「僕も最近、興味がなくなっています。紙プロとたまにSRS・DXを買うくらいだし」（北海道／大森伸也／25歳）

1戦勝ち抜き

ライセンスナンバー18

『姉と高田とキラー・カーン』

森下潤一（26歳）

先日の『プライド7』で、桜庭さんがマシアスにまさかのモンゴリアンチョップをかましました。

緊張感たっぷりのバーリ・トゥードで、こんなハイホーな技をやってしまう桜庭さんは「なんてプロレスファン思いのサービス精神旺盛な人なんだ」と僕はすごく感心しました。

しかし、僕の姉はご立腹でした。

といっても別に「ふざけてる」とか、そういうコトで怒ったのでなく、「なんでキラー・カーンみたいに打つ時に奇声を発せへんねん！」ということでキレたのです。

姉いわく「モンゴリアンチョップのメインは奇声や！　チョップはあくまでデザートなんや！　1に奇声、2に奇声、3、4がなくて5に口ひげや！」だそうです。

なんか違うこだわり持つ姉。そんな姉はキラーカーンさんのことを本物のモンゴル人だと信じて疑ってません。

さて、『プライド7』のメインの方は高田さんとアレクさんの一戦でした。プロレスラー同士のバーリ・トゥード。1・4の小川さんと橋本さんみたいに荒れなきゃいいが…。そんな僕の不安をよそに、両者は入場してきました。

対峙し、にらみ合う二人。火花バチバチ。ちなみに姉くらい、「通」（?）になるとこの試合にかける、それぞれの思いがひしひしと伝わってくるそうです。

「高田はきっと『この野郎。俺が師事を受けたマルコ・ファスを生意気にも破りやがって！　目にモノ見せたる！　このハゲ！』くらいの気持ちでおるわ。間違いない」

「アレクは『ふん。俺は〃ヒクソンが最も対戦を恐れる男〃を破ったんじゃ！　お前も倒してもっともっと知名度をあげたるんじゃ！　それに俺は学生時代から向井亜紀のファンやったんじゃ！　写真集かて未だに持っとんじゃ！　寂しい夜はヨメに隠れて…はっ、何ゆわすんじゃあ！　んむはあ～！』と、心の中で絶叫しとるわ。ウチにはようわかる」

勝手な熱を吹いている姉をよそに、開始のゴングが鳴りました。

「カーン！」

いきなり低空ドロップキックをかますアレクさん。さらにブレーンバスターやストンピングなどプロレス技を連発するアレクさん。

それに対し、サッパリ冷めてる高田さん。ノッてこない高田さんにシビレを切らし「目を覚ませ！」と一喝するアレクさん。これに呼応してか、2R開始直後、ローリングソバットを披露する高田さん。

「佐山のと比べると、佐山や。だけど人間的には高田が上や。前田がゆうとった」と姉。

閑話休題。ジャイアントスイングをかけようとするアレクさん。それを顔面キックで阻止した高田さん。うずくまるアレクさん。すかさず、キックとパンチの猛ラッシュをする高田さん。失神寸前のアレクさん。とどめのスリーパーをきめる高田さん。レフェリーストップ。「カンカンカン！」

まあ、途中、いらん解説も入りましたが、以上が大体の試合内容でした。

いや～、すごかったです。なぐる、ける、首しめる。往年の梶原一騎先生を彷彿させる乱暴ぶりで試合をきめた高田さんに、僕は驚きを感じずにはいられませんでした。

ヒクソンに破れ、ケアーにも破れ、プロレスファンの心を壊しまくった、この2年。先日は神宮大会を欠場し、新日との関係も破壊した、クラッシャー・バンバン・高田さん。

そんな高田さんの、この日のファイトは、なんだかプロレスを背負わされる重圧から解放されたかのような爽快感で満ちあふれていました。まるで、最強神話時代が甦ったかのような勝ちっぷりに僕は非常に満足しました。

高田さん、がんばってください。僕は温かく見守りつづけます。あなたのファイトを。

そして、キラー・カーンさん。折っちゃってください。姉の足。アンドレと同じように。

ライセンスナンバー17

『コビーにくびったけ』〜あるいは「真樹が梶原を越えた日」〜

木村繁（25歳）

いきなり唐突だが、男子たるもの誰しも「陵辱願望」というものをお持ちだろう。

いやそんなこと急に断言されても困ると思うが、しかしながら肉食獣が草食動物を捕獲し躊躇するが如く、男子が嫌がる女子を手込めにし、征服欲を満たしたいという本能は、いつなんどきでも男の遺伝子に必ずやインストールされている筈なのだ絶対に！　根拠は無いが。

危険思想かもしれないが、それも男の持つ正直な一面だと思う。

でもそんな姿に憧れつつも、一歩踏み出す勇気の無い、意気地なしボクらＢｏｙｓａｒｅｂｏｙｓ（ボーイズはボーイズ）…。

まぁ、一歩踏み出したところで刑務所行きは確実なんですけどね。

てなわけで、そんな願望も含め、自分ではしたくても出来ない非常識な行為をリング内外で堂々と体現してくれるレスラーこそ、プロレスを観る上で格好の感情移入の対象となるのは当然のこと。

だが最近は肝心のレスラーも御行儀良くなってしまい、いい意味での不謹慎ぶりが鳴りを潜めている今日この頃……。誰に期待すればいいのか。今こそ誰か感動させてよ99！

破廉恥志向のレスラー、デテコーヒ！

そんな訳で俺は今日も今日とて昔のレスラーに想いを馳せる。横紙破りの破廉恥さで他の追随を許さなかった男……。それは他ならぬ小林邦昭なのだ！

コバクニが相手の大事な部分を覆う布をビリビリと引き裂く。悲鳴と怒号が渦巻く観客席。一部喜ぶマニア層。どこかで見た光景…、そう、まさにこの雰囲気は地下プロレスのノリだ。真樹イズム爆発！

とはいっても、コバクニが執拗に狙っているのは別に婦女子の下着をひっぺがしての御開帳ではなく、単に初代タイガーのマスク剥ぎなのだが。

栗栖でもジョージでも斎藤弘幸でも有り得ない、正体バレバレの佐山タイガーのマスクを剥ぐことにさほどインパクトは無い。

しかしあれ程の観客のヒートを誘ったのは、ひとえにコバクニの放つ淫猥なまでの無頼な佇まいが、観る側の潜在的に持つ興味、即ち冒頭に挙げた「陵辱願望」に絶妙にシンクロしたからだと思うのだ。

考えてもみよう。凱旋した当初のコバクニといえば白と黒のツートンカラーのショートタイツという、いやらしさ抜群の出で立ち。もはや試合用タイツというより勝負パンツといった趣。

そんな欲望全開のはしたないビジュアルで文字通り勝負に出るコバクニ。

嫌がるタイガーを押さえつけ無理矢理マスクを剥ごうとする、闘いというより嬲りに近いファイトぶりは、安手のエロ小説など歯牙にもかけぬ陵辱の醍醐味に溢れ、観る者全てに忘れかけていた男の本能を一気に覚醒させたのである。

それゆえ、理性のある奴は「やめろ！」と叫び、そうでない奴は「やっちゃえ！」と狂喜するのも仕方のないことなのだ。

男達の煩悩の権化と化したコバクニは委細構わずマスクに手をかける。

時には背後から、時には馬乗りに、時にはコーナーに逆さ吊りにし……。

この脱がせ上手！

そして極めつけは、これまたブリーフ然とした舎弟の寺西に手足を押さえつけさせ強姦チックに！　もうやめて！

男相手ですらこれ程の陵辱っぷりを見せるコバクニなのだから、もしミックストマッチをやったら……、なんて不純な妄想も無限に広がってしまう。

というわけで、なんとしても俺は小林邦昭vsタイガードリーム希望！　ダメなら雑誌代返して欲しいくらいです（チト古いか？）

思えば梶原一騎の生んだヒーローを、真樹日佐夫ばりの手法で嬲りまくり、観る者を血湧き肉躍らせたコバクニ。

つまりはこの時こそ、真樹が梶原を凌駕した瞬間だったのかもしれない。

間接的どころか全く無関係なところで梶原越えを果たした真樹先生。

先生、最大の貢献者のコバクニを今こそリスペクトせよ！

では最後に一言。

失礼しました、しませんか？

今頃サンペイちゃんは食堂車のメニューを片っ端から平らげてるんだろうな。でもな、俺はそんな破廉恥な虎ハンターが好きなんじゃ!!

そうだろ金沢!!

ライセンスナンバー20

『KING』001「ヒーローリボーン」

ベンベン・ダヨト（28歳）

「グレーシー信者の皆様!!　目を……」定番ムーブと小川コール。場所は『PRIDE』大阪ドーム。足元に失禁処理中のホイスが目を覚まし、ホリオンが何やら叫びつつ、完全無視の小川のアジテーションは続いている。

「いい加減にしないと殺すヨ」。

本日のメイン、エンセン井上vsマーク・ケアー。

控室でいつになったら入場かとイラつきの頂点を越えていた。血管ピクッとパンプアップ。ケアーの後にエンセン入場。目はやはり飛んでいる。小川は控室に戻らず猪木とともに最前列に陣取った。もちろんファンは知っている。興味は既にメインの勝敗から試合後に向いていた。エンセンはそんな状況に察して、

「ホント、ヤツ殺す。いくヨ」。

セコンドにつく朝日昇は張り手をかまし、「テメェが殺されるぞ!!　敵は小川じゃねぇ、ケアーだろ!!　こっちに集中しろ!!」

もう一発張り手をかまし、小川に余計なことをしてくれたなと、鬼の形相で目線をくれた。

格闘技マニアには陰悪な、プロレスマニアにはたまらないシチュエーションの中、エンセンがリングイン。その瞬間、なんとケアーが襲撃した。パンチ2発、ストンピング5発、レフェリー島田が7回の攻撃を許し、やっとケアーを止められた。レッドカードが飛び出した。

「これはプロレスかーッ!!」

一人の叫びから、ケアーコールとブーイングの嵐につつまれた。

ストンピングがまずかった。この試合後にWWF入りのケアーにとって、この行為をワークと見られたのである。

だが事実は違っていた。イメージトレーニングでWWFの試合には備えていたが、これは演出ではなかった。ただ両者入場後すぐに試合の始まるWWF方式の入場と勘違いしていただけであったのだ。

オーバーなゴメンなさいポーズをとるケアー。多少の協議の後に闘いのゴングが鳴った。

観客の予想にはずれエンセンは多少首をかかげゆっくりゆっくりケアーに向かった。一方ケアーはさっきは申し訳ないと握手でもするがごとくノーガードで近づいていく。

「ピキュッ！」

エンセンの右ストレートがケアーをかすった。しっかり避けたように見えたケアーが魂の抜け殻の様にダウン。エンセンがガッツポーズ!!　アーンド小川に振り向く!!

「おいおい本当にプロレスやっちまったヨ」

格闘技マニアと思われる者から怒りの声があがっている。しかし、これまた事実は違っていた。ケアーはパンチをかわしていた。見る角度によっては当たってないのに倒れたように映った。だがスローで見るとアゴの先端の割れ目の片方にしっかりフックしていたのだ。

小川が立った瞬間である。実はケアーのストンピングで冷静になっていたエンセンがブチ切れた。

リング上の朝日らシュート勢というバリケードにはまったゴリラの様なエンセン。静まり返った湖の様な小川。腕組みをして腹の具合が悪いのかの様なしかめっつらした猪木。

全ての目は三者に集中している。その時、人知れぬ間に事件が起きた。

関係者以外の者がリングに上がったのである。グッドリッジとイザコザが静かに始まり、両者が殴り合いに発展すると、やっと目線がそちらに集まり始めた。

「ウォ〜！　プライド最高ォ!!　いったいアレは誰だ!!　シュート連中じゃねーぞ!!」

確かにシュート勢ではなかった。いかなる格闘技マニアにも誰だか判別できなかった。そんななか超マニアックプロレス者が少し不安気に叫ぶ、

「アメリカインディ日系レスラー、ホースフィールドだ!!」

謎の格闘家はグッドリッジより体の線は細いが頭は一つ高かった。その闘いっぷりは空手に近いが、言われてみるとプロレスラーそのものである。事実、ゲーム『Vファイター』（バーチャ）、つまりウルフ・ホークフィールドのパクリレスラー。しかもノーペイントだったのである。

そんなマイナーレスラーを知ってるのも凄いが、その素顔まで知ってるとは恐れいった。この鬼畜オタクのおかげで場内は大ホースコール。その声に応え、ホースの動きはますます絶好調。剛腕のうねりも増してきた。

ブチ切れエンセンもあっけにとられ、セコンド陣達がやっと両者に割って入る。

「ここはオレにまかせてくれーッ!!」

マイクを持って猪木が叫ぶ。こうゆうところは抜け目ない。いつの間にかリング中央に立っていた。

「きみはもしかして……」

猪木はホースの耳元でささやいた。キツネにつままれた表情のホークはゆっくりうなづき、試合がなくセコンドに付いたグッドリッジとの闘いが第0試合として強引に決定した。

レフェリー、アントニオ猪木。

会場片隅で中年貴婦人のメガネが光った。

〈つづきたい〉

ここはオレにまかせてくれ!!

いったい何だったんだ!?　またもや 男だらけとなってしまった『PRIDE.0』。飛び出せ乙女！　というわけで、今号参戦の3選手の中から一番良かったと思う作品と簡単な理由を書いて投票してください（応募方法はP158参照）。一番得票数を集めた選手は有無を言わさず次号も参戦してもらいます。『PRIDE.0』では、読者のみなさんからの投稿をひたすらお待ちしています。内容は、マット界にまつわることならなんでもイッツ、オッケー！なお掲載者全員に『紙プロ』特製グッズをお送りします。
参戦希望選手は、400字詰原稿用紙に一言〜5枚程度、住所、氏名、年齢、電話番号を明記し、ついでに顔写真（イラスト、デスマスクでも可）を同封の上、

〒151―0051
東京都渋谷区千駄ヶ谷3―11―3―702
（株）ダブルクロス『紙プロ』編集部
「眠気ぶっとびダイナマイツ！」係まで。

ただし、ページの都合上、文章を一部変更、割愛することもありますので各自注意！●締切は特になし（松澤チョロ記者）

オイ、オイ、オイ、俺も書くからお前らも書くんじゃあ!!

メールでも原稿&お便りを24時間年中無休で受け付けています。メールアドレスはE―Mailkamipro@mail4.aipha―net.ne.jpまで。

おい！　お前ら!!
『紙プロ』本誌の刺激は
こんなもんじゃねえぞ!!
よく読んどけ!!

いや～ん

モデル／プロレス史に新たな1ページを刻んだハヤブサ選手（FMW）とAV女優の桜井舞さん

寂しい夜のお供に…

紙のプロレス

本誌バックナンバーのお知らせ

B・A・C・K N・U・M・B・E・R L・I・S・T

第5号
特集「たたかいグランプリ」
特別寄稿鈴木邦男、杉作J太郎、竹本幹男／ロングインタビュー馳浩／デビル雅美vs氏神一番／脅威の連載陣！　高田文夫、ナンシー関、浅草キッド

第8号
特集「さらば新日本プロレス」
ワイド座談会／初登場ザ・グレート・サスケにロングインタビュー／セメントインタビュー関根勤／恐山でジンギスカンを食い、八戸で仮面貴族を見た

第11号
特集「狂気とは何か？」
怒涛の6人インタビュー堀辺正史、T・J・シン、西村知美、佐野量子、ガッツ石松、糸井重里／プチ特集「『週刊プロレス』とは何か?」初代編集長独占手記

第12号
♥特集「色気とは何か？」
村松友視が前田日明を語る！／「前田日明が某格闘技雑誌編集長を女子便所説教」事件勃発記念座談会／蝶野正洋も登場！／色気王A・猪木も登場

第13号
♥特集「道場破りとは何か？」
安生グレイシー道場破り失敗事件記念企画山本小鉄＆上田馬之助に緊急インタビュー／サブ特集「ファミコンプロレスとは何か?」デルフィン登場

第14号
♥特集「神秘とは何か？」
佐山聡、大槻ケンヂ、プロボディーガード・清水伯鳳、鈴木みのるが神秘を語る！／遠藤幸吉、高田文夫にロングインタビューを敢行！

第15号
♥特集「インディペンデントの逆襲」
インディーレスラー10人斬り＋大物インディー3人　高野拳磁、ポイズン澤田、中牧昭二／巻末特集「K-1とは何か?」石井館長インタビュー

第16号
♥特集「新日本凸凹大学校」
『紙プロ』的昭和新日総力検証　マサ斉藤、キラー・カン、田中ケロ、破壊王、後藤達俊インタビュー／ユセフ・トルコvs由利徹対談

第17号
♥特集「実況パワフル北朝鮮」
猪木×永島のナマハゲ対談（© 大仁田）、村松友視がミーハーヒロイズム宣言!?　ブル中野、破壊王も登場／巻末特集「藤原組の逆襲」

第18号
♥特集「高田延彦さんへ愛をこめて」
引退宣言の読み方座談会／サブ特集「すてきな奥さん」大山倍達、サスケ、ライガー、石川雄規の嫁が登場！／新間寿恒ヒザ蹴り事件勃発！

第19号
♥特集「さようなら紙のプロレス」
『紙プロ』の廃刊騒動の顛末。新編集長誕生！／サスケ×高野拳磁『紙プロ』を偲ぶ座談会ミスター・ポーゴ、山崎一夫インタビュー

第20号
♥特集「劇的格闘技」
真樹日佐夫、角田信朗、大槻ケンヂ、村松友視の四大インタビュー／山口昇と東京シュガーベイブ結成記念　ユセフ・トルコ、上田馬之助、遠藤幸吉が登場

第21号
♥特集「幻的格闘技」
古武道を通じてプロレスを考えよう！　前田日明も登場！　スクープ・寛水流空手二代目会長の世古典代氏登場！／高田文夫、ユセフ・トルコが登場

第22号
♥特集「この人が喝っ!!」
巻頭インタビュー・ジョージ高野／プロレス雑誌を斬る!!／高阪剛、セッド・ジニアス、小佐野景浩、熊久保英幸インタビュー／M・マスカラス宣言号

♥猪木とは何か？
スキャンダルにまみれていた時期の猪木を直撃！　どうってことねえよ！／村松友視、立川談志、告発仕掛人・仙波記者が登場！　新間のPKO発言を誌上再録

♥パンクラス公式読本 ～矛～
97年夏当時、横浜道場にいたパンクラシストたちを中心に構成！／なぜか突然、佐山聡が登場！／故・長谷川悟史選手のロングインタビューも掲載

♥パンクラス公式読本 ～盾～
97年夏当時、東京道場にいたパンクラシストたちを中心に構成！偶然か、必然か?／故・ジャイアント馬場がパンクラスを語った衝撃のインタビューも掲載!!

♥極真とは何か？
不撓不屈の極真魂が溢れる16人を直撃！／松井章圭館長、磯部清次南米支部長、F・フィリョ、黒澤、ニコラス・ペタス、某格闘技雑誌編集長らインタビュー

♥紙の前田日明
～インタビューという名のエネルギー史～
『紙プロ』、『リンタマ』、『紙プロRADICAL』誌上で掲載した前田インタビューを再構成してディレクターズ・カットで再録！／引退直前の覚悟のインタビューも新規収録！／完全保存版

申込み方法

●現在は1号～4号、6号、7号、9号、10号、『大山倍達とは何か?』『猪木とは何か？　キラー編』は完売しました。ノーダウト!!●定価は『紙のプロレス』5、8号は700円、11号～22号は780円となります。●『猪木とは何か?』は1320円、『極真とは何か?』は1530円、パンクラス公式読本『矛』『盾』は1260円、『紙の前田日明』は送料込みで、サービス価格の2000円となります。●送料は1冊＝310円、2冊＝340円、3冊～4冊＝450円、5冊＝520円、6冊以上＝700円となります。●10号、『大山倍達とは何か?』は書店やプロレスショップで探せば若干残っているはずです。頑張りましょう。

【現金書留】
〒151-0051　東京都渋谷区千駄ヶ谷3-11-3-702
（株）ダブルクロス「本誌バックナンバー係」まで

【郵便振替】
00130-3-769154　（株）ダブルクロス
※どちらの方法にしても、必ず希望の号数を明記してください。

FMWがリング上で放尿するなら

本誌は誌面で尿プレします!!

9・24FMWで日本初のリング上放尿事件発生!!

FMWなら何をやっても許されるのか!?

ファン、マスコミ、インターネットで大ブーイングが巻きおこった事件を本誌なりにブッタ斬る!!

現在のFMWは、無人の荒野をいくコンボイのようなものすごい勢いで暴走している！「人は歩みを止めたときに老いていく」と猪木さんが言っていたが、FMWは歩みを止めるどころか暴走しすぎて逆に若返っているぞ！　その下ネタは小学生が喜びそうなレベルだ。FMWがプロレス界初のことをするなら、本誌はプロレス雑誌初のことをやります！マスコミのメンツを勝手に背負って、この暴走エンターテイメント団体の〝生ネタ〟をお届けします！　というわけで、史上初のオゲレツ読者プレゼント企画、発進!!

構成／坂井ノブ
text by Nobu Sakai

試合写真／平工幸雄
photographs by Yukio Hiraku

冬木弘道選手
（FMWコミッショナー）の
オシッコを
5名様に
プレゼントします!!

←応募要項は次のページで

笑うなら笑え!! 怒るなら怒れ!! 誰が何と言おうとやるゾ!!

FMWがそこまでやる気なら本誌も負けちゃいられねえ!!

いま、FMWのリングで、日本マット界始まって以来のオゲレツ・シーンが次々と飛び出している。肛門爆破、全裸、ブリーフ、AV、水着ギャルなどなど…オゲレツ、オゲレツ、オゲレツ三昧だ。FMWに特別興味のない人も、必ずや目を引かれたことだろう。元AVクイーン・若菜瀬奈ちゃんの水着姿にはエッチ大好きな本誌・松澤チヨロや中村カタブツ君（36歳）も敏感に反応！ 専門誌の試合レポートを眺めているだけで興味の（あるいは股間の）アンテナがムクムクと頭をもたげてきたようだ。こういった人たちは少なからずいるはず。恥ずかしながら、ボクもその1人だ。

だが一方で、従来のFMWの熱心なファンや良識あるプロレスファンの方々からは非難轟々！という側面もある。でも、なんとマスコミ陣から「ちゃんと報道できるようなことをやってくれないと困るよ」という声があがったほど。記者会見の席のオゲレツ路線はマスコミさえも二の足を踏む強烈無比のネタばかりなのだ。FMW

だが、そういう人たちがいちばんイヤがりそうなエクストリームなシーンが飛び出した！

なんと、9月24日の後楽園大会で、冬木が荒井社長に向かって放尿したのだ！

アメプロ大好きなミーとしては、何事もやり過ぎるぐらいがちょうどよく感じるので仰天&感心して見ていたのだが、評判は思ったより上がらなかったようだ。

リング上であそこまでやる必要があるかどうかという議論はひとまず置いておこう。

ただ、本誌はこの新しいプロレスを伝えるのは、まったく新しいやり方でなければならないと思う。ズバリ言って、自主規制などしてるようではFMWに置いていかれてしまう！このイヤ～な気分をライブで味わえなかった多くの人たちに対して、伝える方法はないものだろうか？

つまるところ、そこまでFMWがオゲレツに突っ走るなら、それを伝える立場のマスコミもオゲレツに突っ走らねばなるまい！

ニック・ボックウィンクルの「相手がジルバで来たら、ジルバを踊る。ワルツで来たら、ワルツで返す」という、あのプロレスの極意を胸に、本誌はFMWとプロレスします！

というわけで、本誌はおそらくプロレスマスコミ史上初の要求をFMWに突きつけた！ それは……「お弁当のしょう油入れに詰めた、冬木のオシッコを読者プレゼントに出してもらえませんか!?」というものだ！ ウチがやらねばどこがやる!? どーですかっ、お客さん!?

これを聞いた瞬間、さすがに荒井社長も面食らって「それは勘弁してください……」と言うのが精一杯だった。無理もない、自分が味わった屈辱を思い出していたのだろう。こんなことは前例もないだろうし、たぶん今後もないだろう。

それを伝え聞いた冬木コミッショナーも、「えっ？そんなことすんの？」と顔をしかめていたらしい。だが、最終的には『紙プロ』を読んで、そんなものを欲しがるのは、オレが大嫌いなプロレスマニアみたいな連中だろ？ オシッコぐらいならあげてもいいけど、チケット買えよ！ もし横浜大会がコケたら、オレが社長になってもオシッコの価値はさがるからな」という条件つきで「OK」の返事をもらうことが出来た！

まあ、自分で頭から浴びて、荒井社長と同じ屈辱を味わってみるぐらいしか使い道はないと思うのだが、いかがなものか？ あとはオークションで高値がつくということも期待できるだろう（つくか？）。

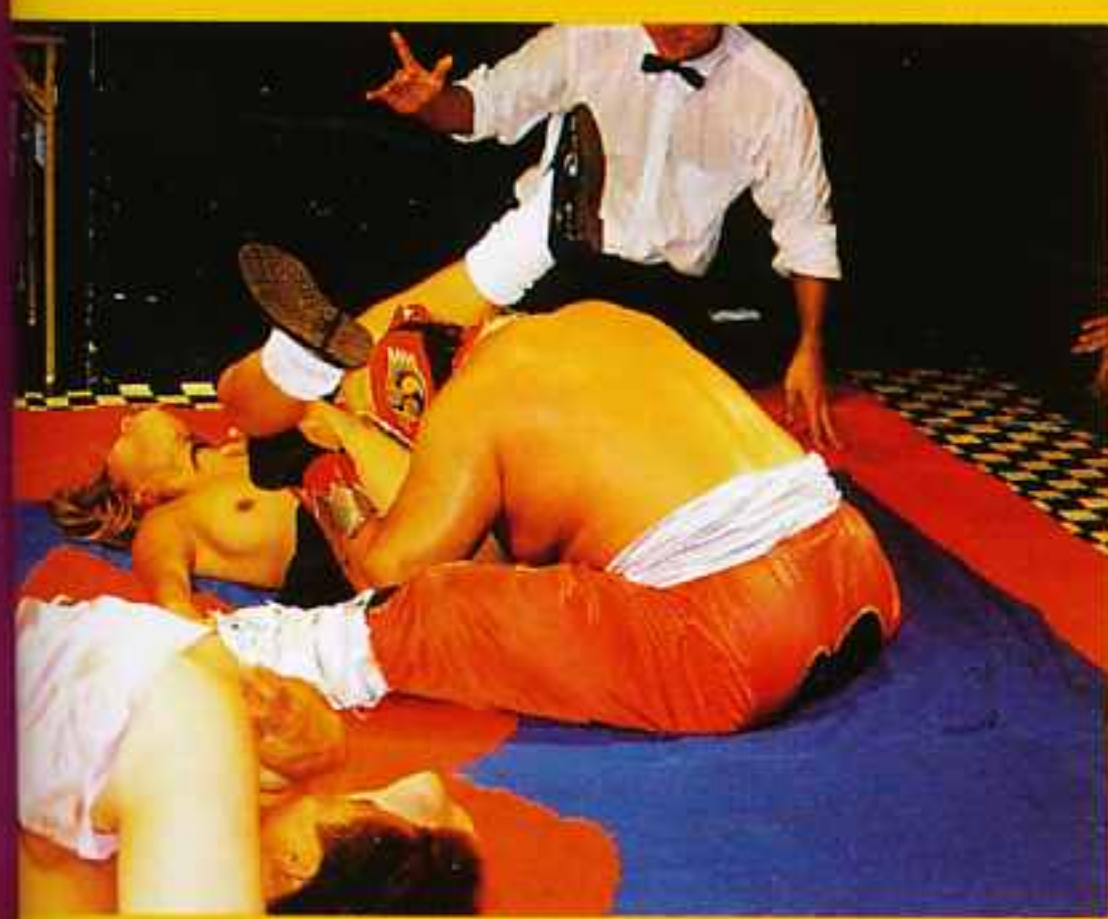
さて、読者プレゼント用のオシッコをもらったはいいが、オシッコだけもらうという読者ばかりだと、あまりにデンジャーな路線に突っ走てしまう恐れがあるので、荒井社長のご厚意によって、ゴージャスな特典をつけてもらった。

なんと！ 11月23日の横浜アリーナ大会のチケットを大放尿、じゃなかった大放出！ さすがにあれだけの屈辱を味わった男だけにキ●タマ、じゃなくて肝っ玉が座っている！ ボケ倒しで申し訳ないが、とにかくありがとう、荒井社長！

こうなったらオシッコ目当てだろうと、チケット目当てだろうと構わない！ FMWと本誌の大噴射企画なので、いますぐジョワジョワジョワ～ッとハガキを出そう！ 当日、試合でビックリしてもオモラシするなヨ!!

背中に「バカ」と書かれて、オシッコをかけられても荒井社長の闘いは終わらない。理不尽な暴力に虐げられるとき、この人は最高に輝く！

たとえ、プロレス界きってのスーパースターであろうとも、身ぐるみを剥いでしまう怖ろしさが冬木にはある！ ハヤブサも最後は全裸だぞ、全裸！

セクシー・マネージャーもFMWの楽しみのひとつ。それが試合までしてしまうのだから、見ずにいられるか!?

ニセ・ハヤブサはAVでも大活躍！ ここまでのカラミを客前で堂々とやってのけたのだから、拍手を送るしかあるまい。

やるゾ、コノヤロー！

FMW11・23横浜アリーナ大会のチケット付冬木弘道選手のオシッコを5組10名様にプレゼントします！

応募方法は、
1.住所 2.氏名 3.年齢 4.性別
5.最近のFMWについての感想
6.『紙プロ』で取りあげて欲しいFMWの選手1名
を明記して、
〒151-0051
東京都渋谷区千駄ヶ谷3-11-3-702
(株) ダブルクロス
「(ハガキを) 出せば命の泉湧く」係
※締切は11月13日必着とします！

FMW10周年記念興行
『エンターテイメントレスリングスペシャルライブ』
11月23日（祝・火）神奈川・横浜アリーナ
13:30開場 15:00開始

【チケット価格】
アリーナS席 ¥10000 アリーナA席 ¥7000
アリーナB席 ¥5000 スタンド指定席 ¥3000
お問い合せはFMWまで **TEL.03—5496—0671**

■総経費5000万円をかける超ゴージャスな興行となった、FMWのビッグマッチ！ 400インチ（9×7メートル）のスクリーン2機を導入して、日本最高峰のエンターテイメント・プロレスに挑む！ 冬木コミッショナーは「エログロとか言われてるけど、この日のこの日からすべてが始まるから！」と、大勝負の場であることを強調していたので、期待は膨らむ！ さあ、日本の新しいプロレスの夜明けを見に行こう！

杉作J太郎先生が紙プロ読者だけにこっそり教える

11・23横浜アリーナ大会の見逃せNIGHT FEVER

第1試合 中川浩二&邪道&外道with荒井薫子vsリッキー・フジ&フライングキッド市原&チョコボール向井with若菜瀬奈

6人タッグマッチ

杉J「瀬奈ちゃんは10月29日の後楽園大会でレスラーデビューしますけど、何をしてくれるのか期待してしまいますね（笑）。あと、じつは向井君が大矢さんと新日本で同期だったんですよ。奇遇でしょ？　一緒にエロ本を見てたりしたらしいんだけど、向井君はが１週間で逃げだしたんです。そのときに、荷物を一個忘れて帰ったんですよ。それを送ってもらおうと道場に電話したら、たまたま出たのが大矢さんだったんですよ！で、「荷物送ってください。着払いでいいから」って言ったけど、大矢さんはお金払って送ってきたらしいんですよ。そのまま「お金返さなきゃ」って思いながら10数年経ってＦＭＷのリングで再会したわけですよ……金を返すかどうか、そこに興味が集中しますね、ボクは（笑）。でも、ここでは金を返すよりも、白星で正規軍に勝利をもたらすことが何よりの恩返しになると思います！」

第2試合 （中山香里、元川恵美が出場。カード未定）

女子プロレス

杉J「やるからには凄いモンになると思いますね。え？　ミルキー香里ですか？　それは出てこないでしょう（笑）。あの露出度は不満でしたからねえ。あれをやるならボク的にはスッポンポンがいいですなあ」

第4試合 佐々木嘉則&山崎直彦vsザ・ファンクス

レスリング伝承スペシャルタッグマッチ

杉J「佐々木、山崎には大きくなってもらいたいですね。どう考えても、10年後のＦＭＷを考えた場合、この２人がメインでしょうから。ファンクスの揃い踏みを日本で見られるのも最後かもしれないですよ！」

第3試合 非道vsウィリー・ウィリアムス

格闘技空手ジャケットマッチ

杉J「異色のマッチメイクですけど、非道はプロレスラーとしての価値が落ちるとこまで落ちてますからね。彼が新しく旅立つには、打倒ウイリーぐらいしかないでしょう。まあ彼はエンターテイメント路線というより、格闘技系でしょ？　新格闘プロレスにいたぐらいですからね。だから『それがやりたいんならウイリーに勝ってみろ』ってとこです。負けたらクビでしょう。非道にとっては笑いごとじゃ済まない試合ですね。当日は逃げ出さないことを期待してますよ」

第5試合 金村キンタローvsボールズ・マホーニー

WEWハードコア選手権

杉J「マホーニーはＥＣＷで一番メチャクチャなヤツですね。最近の金村はセーブしてる部分もあると思うんで爆発してほしいね。エニィウェアマッチなんで、会場外に行ってしまう可能性もあります！　目が離せませんな」

第6試合 黒田哲広&大矢剛功with谷本知美vsレイヴェン&トミー・ドリーマーwithフランシーン

WEWタッグ選手権

杉J「フランシーンは、日本におけるマ●コ掴みの犠牲者第１号ですよ！　その第２弾が見られるかもしれない（笑）。それを硬派の大矢と黒田がどう止めるか、見物ですね！」

第7試合 冬木弘道vs田中将人

WEW選手権敗者追放試合

杉J「この試合は『13000Ｖ放電金網サンダーボルトデスマッチ』といいまして、実際に金網に13000Ｖの電流が流れてます。この装置は２千万円もするんですよ！　それだけ払っても荒井さんは冬木に出てってもらいたいんでしょう。で、じつは両者に保険が掛かってて、最悪の場合で１億円出るらしいんですよ。十分元を取ってアシが出る計算ですね（笑）。荒井さんは、ひょっとしたらどっちかを殺す腹かもしれないですねぇ。怖ろしい男ですよ」

第8試合 H（エイチ）vsハヤブサ

シングルマッチ

（スペシャル・レフェリー：ショーン・マイケルズ）

杉J「Hvsハヤブサといっても、結局のところは江崎vs雁之助なんだと思いますよ。大学の同級生ですから、それこそ女を取り合ったりとか、そういう小さな因縁が積み重なった壮絶な試合になりますよ。実際に仲が悪いみたいですからね。肛門の次はタマキンを爆破するしかないでしょう。まあ、ショーンの目にかなえばＷＷＦ出場もあり得ると思って、いい試合をしてほしいですね！」

クレイジーMAXの
"Cuteな悪の華"
紙プロ初登場!
大阪弁インタビューだ!!

CIMAN覚醒!!

伝説上の生物とされていた、会話をする謎の知的生命体シーマンと同様に、闘龍門JAPANで若干21歳ながら数々の伝説を築き上げているCIMA。CIMAという存在は、着実にプロレス界で大きくなっている。そこで、CIMAは、どうしてここまで急速に成長してきたのだろうか? そのキュートなフェイスとは、うらはらなヤンチャな行動と天性の才能の真意を知るべく、『世紀末の特急列車』ならぬみちのくを突っ走る『東北新幹線MAX』の車中で、掴まえることに成功した。だが、CIMAも聞き手も大阪人ということで、かなり軽いトークになってしまったが、禁断の魅力にとり憑かれることは間違いなしである。

聞き手/大西タマリン
interview by Tamarin

撮影/NAHOMIX
photographs by NAHOMIX

[闘龍門JAPAN]

CIMA

リング上での可憐な技の数々と、可愛い顔から想像できないキュートな悪ぶりは、どれをとってもデビュー2年足らずとは思えない。闘龍門1期生の中で、ズバ抜けて飛び出る才能の根元をのぞき見するべく、世紀末の特急列車へ、いざ、出発！

——うわっ、私達以外の席って外人さんばっかりやん（車両内、アメリカ人のツアー客でいっぱい）！

C－MA そやろ！　あれ、大阪のヒト？

——CIMAさんと同じ大阪人（笑）。

C－MA ここに乗ってる2人しかおらん日本人が大阪人？　変な運命（笑）。

——運命かあ（笑）。そういえば、凄い運命って感じたことあります？

C－MA 中学の時、ユニバーサルで浅井（嘉浩）さんを見た時かなぁ～。『ドカーン！』って木にカミナリが落ちるような衝撃ですか？

C－MA ホンマそう、だって『この人になりたい！』と思ってん。プロレスラーになりたいっていうよりは、仮にその時サーカスで浅井さん見てもサーカス団に入りたいと思ったはずやし。それが、たまたまプロレスやったっていうだけやな。

——人生に衝撃って何回も無いから「もうそりゃ一直線！」って感じでしょ！

C－MA 決心したのは、浅井さんが『何をやってるのか』って考えた時に、プロレスやってる、それもメキシコで。『ほんならオレもメキシコ行ってやろう！』って。

——それだけ刺激的な人に会ったら、物怖じせんとガンガン喋るイメージですけど。

C－MA （ボソッと）今でも面と向かってはあんまりしゃべられへん（笑）。

——なんかカワイイ（笑）。で、『オレはこんなプロレスラーになりたいんや！』っていう理想はどんなんですか？

C－MA プロレスラーになるんやったら、ごく一般的な仕事してる奴らとは違う生き方をしたろう！って、『お金も女遊びもギャンブルも仕事も朝起きるんにしても、ぜーんぶ普通の奴らとは違うような、スペシャルな生活をおくったる！』と思とった。

——スペシャルな朝の起き方はメッチャ気になるけど、全てが豪快かつスペシャルって、ステキですわぁ。

C－MA そやろ！　それでな、高校生の時に同盟作ってん。女に又と書いて『奴（やっこ）』。ちゃんと看板立てて道場にしててんで。

——えらい本格的ですやん。

C－MA そうでもないけどな（笑）。ほんでな、そのメンバーといつも地元帰ったら、ファミレスで集まって12時間とか喋りまくってて、クレイジーMAX（以下C－MAX）コーナー（試合前にCIMAの独壇場で、行われるトーク劇場）は、そのノリで喋ってるねん。オレのトークは全部、地元ファミレスで培われたものやな。

——アハハハ。ファミレストーク！

C－MA 『GUST』トークや！（笑）。

——同盟とかC－MAXとか、仲間でなんかやるってゆうのじゃなくて、1人飛び抜けたろう！って、気はないんですか？

C－MA 1人にはなりたない（キッパリ）。C－MAXに愛着もっとるから。オレらは、なるべくしてなった集団。だから自分達のやりたいことをやって、ほんで、アメリカに行きたいなぁ（遠い目をする）。

——凄い魅了されてる顔を（笑）。

C－MA うん。でも、日本でも個人的にやりたいことは、い～っぱいあるねんけど、まだ土台作りの途中やから。プロレスで大成功をおさめることしか考えてへん。寝てる時も道歩いてる時も音楽聞く時もプロレスのこと考えてるねん。

——それは、C－MAXで『世界に向けて羽ばたいてやる！』ってことですか？

C－MA でもあくまでも、どこにいっても闘龍門JAPANのC－MAXや。そうじゃないと納まりがつけへんし、バラバラになるからな。それができなかったらC－MAXは解散や（キッパリ）。

これが、CIMAの必殺技『アイコノクラズム』だ！　ちなみに、決められてるのは、NANIWA（ニセモノ軍団所属）。

うなビックウエ～ブつくるんや!!

クレイジーMAX覚醒

現在、C－MAXは5人組である。CIMA、スモウ・ダンディ・フジ、SUWA、TARUそして、チョコボールKOBEであったが、突然の反乱によりMAKOTOがC－MAXとがっちり握手を交わした！　増殖し続けるC－MAXの今昔物語をいざ、追跡！

日本初上陸！（98・7・18■みちのくプロレス）

これがデビュー1年足らずの新人なのだろうか？　と、誰もが目を疑ったC－MAX日本初上陸！　ここから、驚異としか言いようのない大活躍が始まった！

涙・涙の卒業式！（99・4・22■闘龍門）

闘龍門が日本で初興行を行った。U・ドラゴンから卒業証書代わりの張り手を受け取った1期生達は、歓喜極まり涙の嵐であった。

これがSASUKE組だ！（99・1・31■みちのくプロレス）

当時、みちプロの悪の華になたサスケは、メキシコまで出向きカレールウでC－MAXを見事、勧誘することに大成功！　だが現在、サスケが更生したため自然消滅か？

神戸に黒い華が咲く！（99・8・8■闘龍門JAPAN）

メキシコを拠点としていた闘龍門が日本校を設立し、神戸チキンジョージで月イチのプレミアムマッチを開催。当然、C－MAX達も神戸に腰を据えることとなり大暴れを決め込んだ。

C-MAX加速中。（99・9・14■闘龍門JAPAN）

チョコボの裏切りにより、ビジュアルファイターMAKOTOがC－MAX入り！　だが、スモウダンディフジの付き人からの修行らしい。どうなるのか？　チョコボ（現在、骨折欠場中）！

シーマ☆画太郎先生の 4コマ地獄甲子園じゃ！

ビッグ テロリスト

お前ら〜!! 動くんじゃネ〜ッ ダイナマイトぶち込むぞ コーヤロ〜!!

シューーッ

ヤ〜ッ!!

ドカーーン!!

ポソ

突然、「オレ、四コマ書けるんや。連載してくれ！」と豪語。「それって面白いんですか？」の問いもブッ飛ばして「おもしろいんや！」とのこと。みなさんどうですか？　そして気合いもたっぷりで2作品を送ってくれた先生。これは、かなり深読みすべし！　そして、もう1作品は読者ページにあるからそっちも見てな〜。

オレや、オレ。野村沙知代ちゃうぞぉ〜。

しーま■本名大島伸彦。１９７７年11月15日、大阪府出身。１９９７年４月闘龍門に入学し、わずか１ヶ月後にシーマ・ノブナガとしてデビュー。その後、みちのくプロレスで大活躍し、闘龍門自主興行にて逆輸入旋風を巻き起こした。今年４月に闘龍門日本校が開校し、闘龍門ＪＡＰＡＮ所属となる。その記念興行にて、ＣＩＭＡと改名。休みの日には、車の免許を取得するべく教官と闘う日々を送る。現在、みちのくプロレスタッグリーグ戦に参戦中。

——ＣＩＭＡさんの口から解散って言葉が出てくるとは思いませんでしたわ。

ＣＩＭＡ　今は、絶対ない！（得意気な顔で）なによりまずは、大きい波を起こしたいからな!!

——また大きく出ましたね（笑）。

ＣＩＭＡ　ちゃうねん、ちゃうねん（笑）。オレはな、もっとプロレス界を変えるようなビッグウェ〜ブつくるんや!!

——ビックウェ〜ブ!?　といえばＴＡＫＡみちのく選手との闘い（9・19みちのく福島大会にて急遽シングルマッチが組まれ、ＳＵＷＡ＆スモウ・ダンディ・フジの力を借りるも、見事ピンフォール勝ちを納めた！）は、ＣＩＭＡさん自身のウェ〜ブに入ったんじゃないですか。

ＣＩＭＡ　ＣＩＭＡウェ〜ブ（笑）。とりあえず1番やりたい相手は、ＴＡＫＡみちのくやってん。あんな形で、シングルマッチになったけど、ヤツに昔の心を呼びさまされた部分ゆうのがあって、オレ達にしかできない闘いになったと思うんや。

——1番やったってことは、目下敵なし！

ＣＩＭＡ　そやな、突っ走るオレに通せんぼするヤツが現れるまでやな！

——いやぁ、その若さで頼もしすぎです。

ＣＩＭＡ　でも、校長（ウルティモ・ドラゴン）とはやりたい。今のオレの力を知ってもろてブチ破りたい！

——ゴーフォーブロックってやつですね。

ＣＩＭＡ　当たって砕けてどうすんねん（笑）。メキシコから始まって今、日本で勝負かけてる段階やから。

——校長先生も通られた道ですしね。

ＣＩＭＡ　何度も言うけど、レスラーになった以上、やっぱりアメリカで勝負かけるんが最終目標や。なんかな、絶対日本にもええ風持って帰れる自信があるんや！　これからの時代のニーズってもんをアメリカのプロレスは持ってるからな。

——夜な夜な行われてるというＣ—ＭＡＸ会議で、そういう展望も話し合うと。

ＣＩＭＡ　うん。でもプロレス以外のことって考え方がオレはムチャクチャやから、1人でおる時間が多いで。本読んだり、音楽聞いたり、1人で出かけたりするし。

——どんな本とか読むんですか？

ＣＩＭＡ　（即座に）『こち亀』（笑）。

——ワハハハッ。マンガ？

ＣＩＭＡ　（嬉しそうに）マンガ大好き！

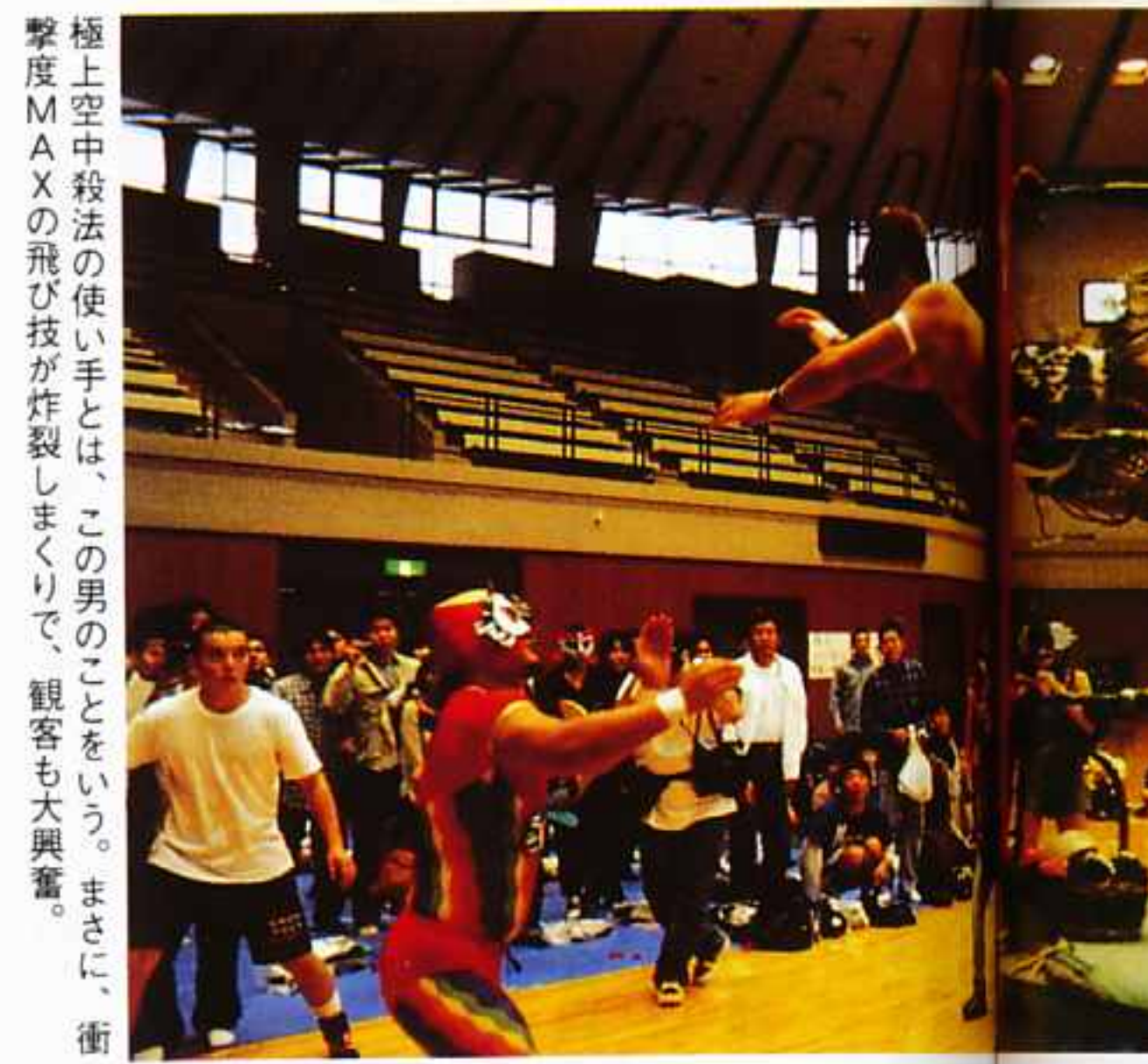
オレはな、プロレス界を変えるよ

極上空中殺法の使い手とは、この男のことをいう。まさに、衝撃度ＭＡＸの飛び技が炸裂しまくりで、観客も大興奮。

マンガ喫茶とかメチャ行くもん！

——ＣＩＭＡ、マンガ喫茶に現れる！

ＣＩＭＡ　最初『クローズ』って本読んどって、それ読み終わったから『（工業哀歌）バレーボーイズ』ゆうの読んでる（笑）。おもろいねんで！　なんかエロっぽいアホな学生のことを書いてるようなやつで、そんなん見て、エビフライ食べながらニヤニヤ笑ろてるから。

——ヒャハハハ。音楽ってビジュアル系が好きなんですよね。『アイコノクラズム』（ＣＩＭＡの得意技）ってＢＵＣＫ—ＴＩＣＫの曲名から取るくらいですもんね。

ＣＩＭＡ　好きやけど、音楽自体あんまり聞かへんねん。しいて言えば『愛する2人別れる2人』のテーマソングやな（笑）。

——プププッ、それ好きッスネ！（笑）。

ＣＩＭＡ　テレサ・テンやで（笑）。ほんでな、ワイドショーとかも好きやねん（笑）。それで思いついたんが野村沙知代マスクやったんや（9・14後楽園ホールで登場）。人がもめてるのん見るの好きやな（笑）。

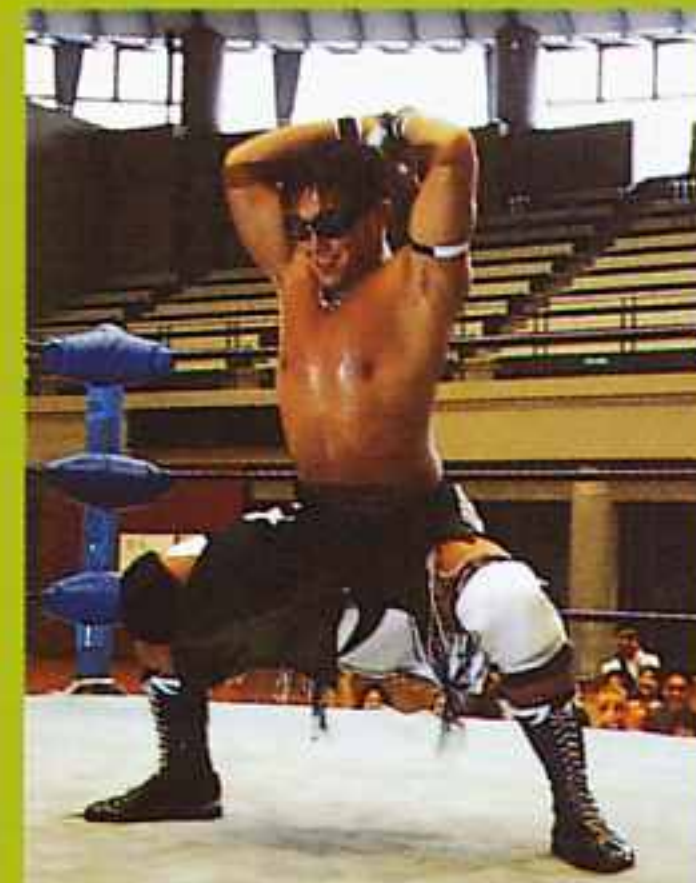
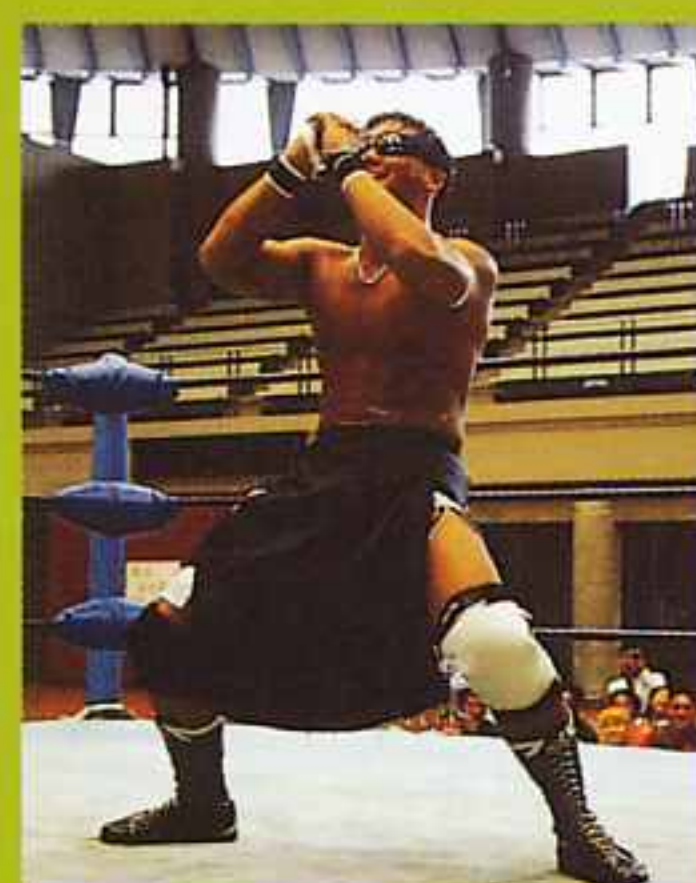
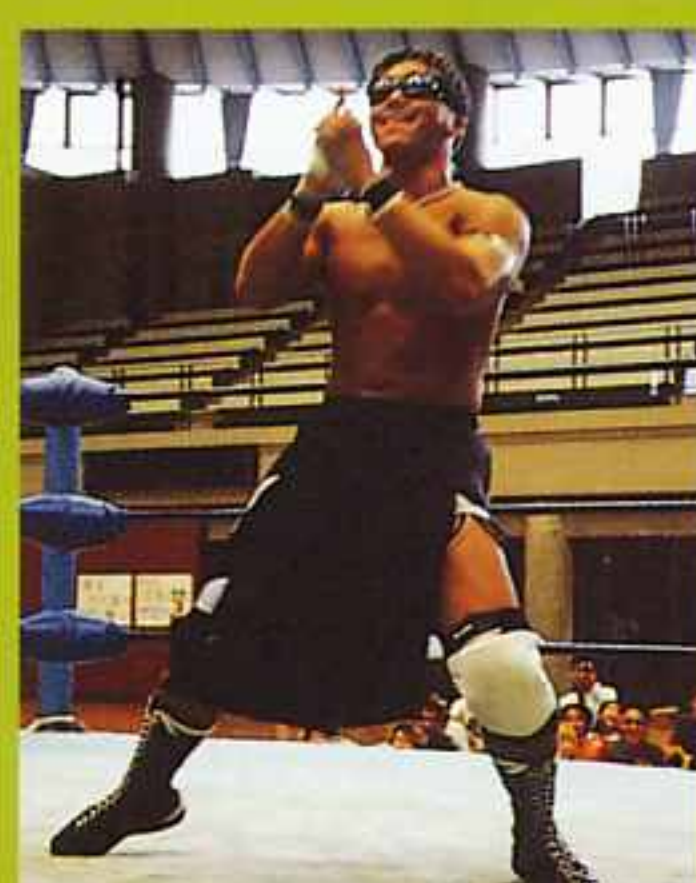
——ホンマ、カワイイ悪ガキ要素がさらにニョキニョキ出てきてます（笑）。

ＣＩＭＡ　でも、ドラえもん好きっていう純粋な所もあるねん（笑）。ホンマにドラえもんおったなって、思うと夢あるやん。

——『四次元ポケット』でしょ（笑）。

ＣＩＭＡ　（すごい勢いで）『どこでもドア』使ったら、ちょっと息『すぅ〜っ』て止めて、月に行きたい思たら、息が持つ間、月におれんねんでぇ。ほんでまた『すぅ〜っ』て息吸って行き来できるんやで！

——メチャ、夢見がちなことを（笑）。なんかリング上のＣＩＭＡさんとは別人にお話を聞いてるみたいです。

ＣＩＭＡ　リングに上がらんと出ないリングの魔力ちゅうものがあるやん。普段は冷静に語るから、リング上でテンション上が

今のうちから、目くそかっぽじって見に来とったほうがええぞ！

ってもうて『わわわ〜』ってなるんやな。

——C—MAXって全員そうなんですか？

CIMA　SUWAは『リング上でも下でもいつでもブチ切れてたい！』ちゅう人。ほんでスモウは『いつもどんくさ〜い人』。オレは『リング上ではメチャクチャやけど普段は冷静』や。TARUさんは、『メチャクチャ怖いイメージやけど実はやさしかった』、ちゅうのをみんな含めてC—MAX。ヒールやからって普段から怒鳴り散らすのは、これからはアカンで。

——ホントに、みなさん普段は好青年って感じですもん、TARUさんは抜いて（笑）。

CIMA　キャハハハ、まぁな。そうゆうメリハリが校長の教えとゆうか、自分なりにキャッチしたこと。やってることは、ムチャクチャで適当やけど適当とムチャクチャを極めると、わかり安いことにチェンジするんちゃうかなぁと思うんやけど。

——それが浅井イズム。

CIMA　天然１００％やねん。自由の中で自然にしつけられてきた。そうゆう育てられ方したからなぁ〜。

——お互いのPRIDEがルールやね。

CIMA　そやなぁ〜。なんもかんも縛り付けてやるやり方もあるけどオレはアカン。自由やぁ〜、ゆうて警察捕まったり、SUWAは捕まったけど（笑）。アメリカとか行っても、『連れては行くけど後はお前ら好きにしろ』って言われるし、自分なりに盗まなアカンねん。それが浅井イズムのええとこでもあり、悪いところでもあるんちゃうかな。「ホンマ感謝してる」そういう気持ちでいっぱいやな。

——だってCIMAさん、デビューしてまだ2年ちょっとですよ！　それであんな芸術的なルチャを披露できるんやから、ごっつい感謝ですよ！

CIMA　（ニコッとした顔で）やろ！　日本のプロレスになかった選手が出てくると思うんやけど、闘龍門って。

——たしかに1期生を見たときはド肝抜かれましたもん。

CIMA　個性は強いなぁ〜。C—MAXは仲ええけど、マグナム（TOKYO）とはメチャ仲悪い。特に1番危ないラインがSUWA・マグナムのSMライン。

——そりゃ、仲悪そうなラインやわ。

CIMA　これは危ない！　オレも嫌い！　みんな嫌い!!　オレは曲がったことは言わない（キッパリ）。ホンマに仲悪いんや。ちゅうか、絶対上回ってるしな。将来のビジョンを立てて、今オレらは動いてるんやけど、自由奔放にやるのはオレはそれからや。『今がよければそれでいい』って人間やないしな、オレ自身。爆発するときは爆発するで！　それは将来わかることや。

——『お前ら今に見とけよ！』って感じですね。

CIMA　闘龍門が日本に初めて上陸してきた時から、C—MAX、CIMAなりを見れば、ぜーったいわかることや！　その場しのぎの太く短く生きていくんはイヤや。太くなが〜く生きる。それだけ勝負かけてるんや。まぁ、マグナム、C—MAX、２期生以下にしても浅井イズムを注入されてるからな。

——ほな、最後に読者にメッセージを。

CIMA　ここはすべれんなぁ〜。１９９９年世紀末（頭を抱えて考える）あー、違うなぁ（笑）。うわぁ、どうしよ。まぁ、とりあえず、これから闘龍門JAPAN、C—MAXがお前らのプロレスゆうもんの考え方を１８０度ひっくり返したるから今のうちに、しっぽでも、足の爪の先でもえーから食らいついて目くそかっぽじって見に来とった方がええぞ！

——言い残したことはないやんな？

CIMA　な、なんかかっこわるぅ〜（笑）。気を取り直して、今からマンガ喫茶行ってくるわ！

【9月23日東北新幹線MAXにて収録】

CIMA トークショウ決定！

11月26日　19時から、渋谷ロックウエストにてCIMAトークショウが決定！　必ずやここで、ファミレスで培われたトークが聞けること間違いナシ。そして愛用品オークションもアリ（コスチュームや指輪などを出品予定）。これは行くしかない！　お問い合わせは、渋谷ロックウエスト（03—3221—6237）まで。生CIMAを体感できる絶好のチャンスだ！

恥ずかしがらんと、やらんかい！

クレイジーファッキン講座

1　クレイジ〜

まずは、両手を上げて手をがっちり組むけど人差し指は立ててるんや。その時は腰を落として踏ん張るんやで。

2　ファッキン！

ほんで、頭の上にあった両手をそのまま下にもってきて、勢いよく振り下ろす。ここまでは、できてるか？

3　ファッキン!!

次は、下に振りおろした両手を、頭のとこまで持ってくるんや。その時、腰は前に突き出すんやぞ！

4　ファッキン!!!

それを３回繰り返した後に、２のポーズで手を小刻みに動かして完成や！　みんなちゃんとできたか？

サスケ死す??

号外

紙プロスポーツ

紙プロスポーツ新聞社
東京都力道山猪木2丁目50号
10月27日(水曜日)

10月11日、東京ドームでオーちゃんvs破壊王の世紀の一戦が行われていたほぼ同時刻。みちプロ社長である、あのザ・グレート・サスケが何者かに銃撃された! 再び起こったみちプロ内紛説、様々な陰謀説、宇宙に連れ去られた説など謎が謎を呼んだが、翌々日の13日には早くも葬儀が執り行われた。一体これはどういうことなのだろうか?

何者かに銃弾浴びる! 謎が謎を呼ぶ事件

死亡した10月11日、サスケ社長は、浅草キッドと一緒だったという。話によると、3人は都内の学校の校庭にいた。水道橋博士が漕ぐチャリンコの後部座席(仮)にサスケは座り、玉袋筋太郎が伴走する形で、グルグル校庭を回っていたという。

サスケ社長が、何か大声で叫んだ瞬間、何者かによって放たれた銃弾が胸部を貫いた。血塗れで倒れ込んだサスケ社長の目はズコッと開かれたままだったという。

銃撃にあった翌々日の13日には社葬が執り行われた。

祭壇には大きなサスケ社長の遺影が飾られている。

篠塚リングアナが司会を務め、式はしめやかに進行していく。

この日は、生前のサスケ社長の人柄を物語るかのように、団体の垣根を超えてレスラー&団体関係者が集まった。次々にお焼香を上げ、祭壇に向かって手を合わせるレスラーたち……。

参列したレスラーを焼香順に列記してみると、マグナムTOKYO、H(エイチ)、愚乱浪花、アレクサンダー大塚、グラン浜田、藤田穣、望月成晃、石川雄規、CIMA、邪道、外道、サスケ・ザ・グレート、藤田愛、府川唯未、浜田文子、リッキー・フジ。

フリーメーソンの陰謀か?

団体関係者はアルシオンのロッシー小川氏、バトラーツの島田裕二氏、身内のみちプロからは滝沢専務、テッド・タナベ、宇田川氏の姿があった。

そしてアントニオ猪木の代わりというわけではないだろうが、春一番の姿も見えた。

葬儀には参列しなかったが、山本小鉄氏、そしてなぜか、『俺たちひょうきん族』の懺悔のシーンで一世を風靡したブッチー武者の姿も同じ葬儀場内で目撃されている。

弔電も獣神サンダー・ライガー、TAKAみちのく、ハリウッド・トロピカーナ(ロスの泥レスパブ)の女性ダンサーたちなど、錚々たるメンバーから届いていた。

さて、肝心の射殺された動機だが、この日のみちプロ関係者の数の少なさから、みちプロ内での新たな造反劇が遺恨を生んだ説、フリーメーソンの陰謀説、プロレスをやるために火星に視察に行った際の火星人との軋轢説、UFOに連れ去られたカモフラージュ説、かつて出来心で覗きをしてしまったガイジン女性の恨み説などが上がっている。

サスケ社長は今年がデビュー10周年。来年3月には村川政徳名でデビューしてから満10年を迎えるはずだった。

新弟子時代、先輩たちに拷問のようなシゴキ&イジメにあいながらも、90年3月にユニバーサルでデビュー。同年、MASAみちのくと改名してからは、驚異的な空中殺法を使う若手として一部で脚光を浴びた(一番注目していたのはマグナム北斗という説もある)。

92年にサスケとしてさらに華麗なる転身をしてからは徐々に表舞台へと飛び出した。93年には、出身の東北を拠点としたみちのくプロレスを旗揚げ。「すぐに潰れる」という声を尻目に、みちプロは少ない観客数ながら地道に東北をサーキットし、売り上げ金を持ち逃げされたりする間抜けな事件を克服しながら、着実に全国にファンの数を増やしていった。

96年には頭蓋骨骨折&脳挫傷という再起不能級の大怪我を追いながらも、サスケの名は世間に轟いていく。

獲得したベルトはIWGPジュニア、8冠統一など世界に名だたるビッグタイトルを手にしたこともある。

この偉大なるサスケ社長が死んだとなると、12月21日に行われる、本年度最後のみちプロ興行、後楽園ホール大会(試合開始PM6:30/問い合わせはみちのくプロレスまで)は一体どうなるのだろうか。

サスケ社長は、10月17日の横浜大会(みちバト合同興行)では、もうひとりのイカレ社長、バトラーツの石川雄規と"チームOVNI"を結成し、新崎人生&アレクサンダー大塚という徳島タッグを迎えうったが、人生&アレクの超絶合体技の「眉山」に沈んだ。

続いて2日後の10月19日の大田区大会では、タイガーマスクにシングルでフォールを許してしまった。そのタイガーに向かい「次のエースはお前だ!」と叫んだサスケ社長。ん? サスケって誰さ? サスケ社長は11日に死んだんじゃなかったのか?(かなり強引)。ん? ん? どーなるどーなる? 世の中どーなるばかりだぁぁぁ(懐かしの高野拳磁調)。

このサスケ死亡&葬儀の真相は、11月下旬に発売予定のサスケデビュー10周年記念ビデオ『ザ・グレート・サスケ エピソード3』(なぜ、3?)を見ればわかるさ。ちなみに発売は東芝EMIです。

これって、そのビデオと12月のみちプロ後楽園大会のパブかって? 人は歩みを止め、スーダラを忘れたときに老いてゆく。いまこそッ、スーダラロマンを思い出せッ!

サスケーッ!!

(こりゃまた失礼いたしましたっと)

都内某所で行われた葬儀には、団体の垣根を超えて続々とレスラー陣が詰めかけてきた。アレクは坊主の袈裟姿も謎っちゃー謎だし、浜田文子、藤田愛ちゃんと写真に収まる府川唯未のアイドル写真的な笑顔も、ズバリ言って非常に謎だ。これは葬儀じゃないのか?

サスケ社長の人脈と交遊の広さを物語る面子が詰めかけた葬儀だが、前列左のHがなぜか機関銃を手にして笑顔だったり、その後ろからプクッと顔を出すテッド・タナベがほんわかムードだったりする。謎が謎を呼ぶが、それよりも一番大きな謎は、棺桶の中から死んだはずのサスケ社長がひょっこり顔を出していることである。ジュードースワッ、心霊写真か??

全面解禁に挑む連続企画

全日本プロレスの会場で見つけた豪傑FILE

COUNT DOWN TO 全日 001

紙プロ読者に贈る あなたの知らない 全日本プロレス

いきなりだが本誌の連中は全日本プロレスが好きだ!

たしかに、過去の誌面を見る限り、本誌は新日寄り&格闘技寄りと思われても致し方ない部分はある。

実際、過去に取材申請したとき「『紙プロ』さんって新日本さん寄りですよね」と言われたことがあったらしい(言われたのは中村カタブツ君)である。しかし、そんなことは決してない。じつはほとんど全員が全日本プロレスから、プロレスファンとしてのキャリアをスタートさせているという事実をここでカミングアウトしよう。

編集長の山口日昇は私設マスカラス・ファンクラブを結成していたほどのマスカラス・フリークだったのを筆頭に、吉田豪はロード・ウォリアーズの直撃世代だし、松澤チョロも昭和・全日の外人レスラーに胸をときめかせ、ボクは圧倒的な鶴田vs三沢から始まった平成の全日本プロレスにハマった。

全日本プロレスには、どんな時代にも、心を鷲掴みにされる素敵なプロレスラーがいた。そしていまも全日本には本誌が一貫して応援している「強くて、凄くて、面白い」人間たちがワンサカいるのだ。それはいまも変わらないと思う。実際にロングインタビューをやらせていただきたいレスラーが、いま現在で何人もいる。本誌は全日本に何度かお願いにうかがった。

現在はいつの日か取材が全面解禁になることを信じて、お願いしている真っ最中なのだ。ただ、会場での取材は出来るので、そこで拾ってきた何かしら魅力的な人物をを紹介していこうと思っている。ではどうぞ。

構成/坂井ノブ
interview by Nobu Sakai

撮影/NAHOMIX
photographs by NAHOMIX

試合写真/平工幸雄
photographs by Yukio Hiraku

豪傑No.001
秋山準

「大森のヘア・スタイル? パーマを失敗したのかな? さすがワイルド・ハート(大森のキャッチコピー)だね」

話題のノー・フィアーの大森隆男をバッサリと斬って捨てたのは、全日の若大将・秋山準。コメントを聞いてるだけで、非常にクールなのがわかるだろう。これがかなりぶっきらぼうな口調なので輪をかけて冷たく感じられて、非常に面白い。ノーフィアーとはベクトルは違うが、発言は凄い。

「まあ、あいつらは吼えてナンボ、だからね」とマイクを気にすることもなく、全日に革命をもたらしたといわれるノーフィアーに対して、徹底的に水をブッかけるような発言を繰り返す。

これは10・9後楽園大会のコメントだったのだが、この日は秋山の30歳の誕生日でもあった。「誕生日ぐらい静かに終わりたかった」と言っていたが、老け込むような歳でもないと思うので、このタチの悪い発言がもっと表に出てくるようになれば面白いと思うのだが。そうつくづく思ってしまう。

試合前に行われた秋山の誕生日会(ケーキがプレゼントされた)でも秋山のクールっぷりは光っていた。勝手にロウソクの火を吹き消した若手の突撃戦士・橋誠を激しく(笑いながら)突っ込む小橋と、クールに見やる秋山。左下の写真はバーニングの人間関係が非常によく見える。なかなかいい写真である。

最近の全日本プロレスでは道場での練習の模様を公開したり、ちょっとした場面も見られるようになったのと比例して、選手の発言も以前に比べてきわどいものになってきたように思う。もちろん、ファン的には大歓迎だろう。

これは昨年の三沢革命以降のことなのだが、状況的には毒舌家の秋山にとって、追い風なのではないのか? そんな秋山が、小橋とのタッグ解消を匂わせ始めた。

この秋山が、独立して光を放ち始めたら全日がますます面白くなるだろう。

いま現在も「頭いいでしょ?」と突っ込みたくなるぐらい、いい位置にいる。

熱血漢・小橋と、このクール・秋山がチームを組めば、お互いが光る。

支離滅裂な爆発トークのノーフィアーに対しては、チクチクと本音を交えた説得力のあるトークで論理的に返す。

相撲チックな体型の選手が多い全日本の中で、秋山はスマートな体型。

後ろ髪を伸ばす選手が多ければ、秋山は刈り上げ。といった具合で、見れば見るほど、全日本の中で秋山が浮いて見えてくる。

ボクらが子供の頃に求めたような、「プロレスラー=超人」という思想からは遠く離れたところにいる秋山だが、そんな怪物ぞろいの全日本で第一線を張っているのだ。ただゴトではない。そんなクールな皮を被って、じつはこの男が一番怪物だったりして、という秋山幻想がボクの中に出てきた。

秋山の試合は非常にアグレッシブ! しかも非常に柔らかい。リング上では、すでに四天王と負けず劣らず風格を身につけてきている

あきやま・じゅん■69年10月9日生まれ。専修大学ではレスリング部の主将として卒業後に全日本入り。世界タッグ、アジア・タッグなどを獲得。三冠王座にも挑んだが、あと一歩及ばず。ジャンボ鶴田直伝のジャンピングニーを使いこなす。必殺技はエクスプロイダー(変形裏投げ)

若手の兄貴分・小橋がムードメーカーとなって、雰囲気を明るくする。

豪傑No.002 井上雅央＆本田多聞

全日本のプロレスラーを見るたびに感じることなのだが、間近で見ると本当にみんな身体がデカい＆厚い。特に本田多聞選手のデカさは尋常じゃない。

「うわぁ」と思って控室の通路付近からリング上の多聞選手を眺めていると、横で百田選手と小橋選手が話しているのが聞こえてきた。

「多聞、デカくなったなぁ」と小橋選手がまずビックリ。すると「15キロ体重が増えたらしいぞ。ヒザのサポーターはそれ（が原因）だよ」と百田選手。オフの間に15キロ増えてしまったのか？　アジアタッグ選手権決定リーグ戦対策なのだろうか？　対戦相手に軽量の選手が多いのを見越しての肉体改造だろか。

一方、パートナーの井上雅央選手は、黒タイツ＆黒のリストバンドで、かなりヒールっぽい。

その体型や、リング上での動きを見る限り、何というか非常に昭和の全日チックな雰囲気を醸し出しているように思える。何しろ試合タイツは、初期ジャンボ鶴田が愛用していたお尻の部分に星が3つ並んでいる、おなじみデザインなのだ。同じ故郷の出身で、憧れのジャンボ鶴田のようにスケールの大きなプロレスラーになってくれることだろう。

ちなみに、以前は3つだったパンツの星が、なぜか2つになっていた。

どうしても気になったので試合後、雅央選手に直接聞いてみたところ、「タイツの星がここに来たんです」と、耳に付いた星形のピアスを見せてくれた。な、なんとロマンチックな！

「冗談ですよ（笑）」と雅央選手は笑って否定はするが、これが似合っている。

全日本には、一見ミスマッチと思わせておいてじつはメチャクチャ格好よかったりする奇跡のような瞬間が多々ある。その一例が、『ケンファー第2号』でハーレーダビッドソンにまたがっていた田上明選手だろう。そんな全日本のプロレスラーの方々のギンギラギンだけどさりげない素敵さがボクは好きです。

（写真・右）ほんだ・たもん■63年8月15日生まれ。ロス、ソウル、バルセロナ五輪でレスリング日本代表だった。得意技はヘッドバット！（写真・左）いのうえ・まさお70年3月6日生まれ。ジャンボ鶴田と同じ山梨県出身。試合タイツもそっくりだ！

ビジュアル＆実力ともに強力なチームだ

豪傑No.003 垣原賢人＆池田大輔

アジアタッグ王者決定リーグ戦の開催を聞きつけた大ちゃんは自ら志願して、このリーグ戦に飛び込んでいった。ここ最近はバトラーツでの闘いに専念していた感があったが、やはり成長するためには大きな舞台も必要なのだろう。

久々の参戦となった10・10では、じつに厳しい洗礼を受けた。バトラーツに上がっていたビクター・クルーガー級の超大型ガイジンに思いっきりブチ当たって行ったのだ。案の定、ローンバトルを強いられたが、エースにエースクラッシャーを食らわせるなど、やられながらも大健闘を見せ、超満員のファンもその健闘を称えていた。

そして、試合後の控室で唇の傷から血を吹き出しながら、「リベンジ」を誓った。「パートナーの前で、恥ずかしいところを見せちゃいましたね」と大ちゃんが謝れば、「リーグ戦で返しましょう！」とカッキー。そしてガッチリ握手！　連携もバッチリだ。『紙プロ』読者に向けてコメントを取ってきたのでそれも放出しよう。とにかくボロボロだったので、身体の心配をすると、しんどそうながらも覇気のある声で「今日は散々な目に遭わされたんで、今度は倍にして返してやりますよ！」と頼もしい答えが返ってきた。

一方、パートナーであるカッキーは、現在でも「UWF」のレガースを着用して、試合もUっぽいスタイルを貫いている。だが、一方で徐々に純プロレス的な技も終盤で使い始めている。勉強熱心なカッキーは自分の試合が終わると、ずっと通路の奥からリング上の闘い模様をしっかりと見ていた。

大ちゃんの試合のときも、ずっとセコンドについていたカッキー。この2人の凄いところは、他団体（しかもU系）出身ながら、観客の支持がかなり熱いということだ。写真を見てもらえばわかるように2人ともいい笑顔をしている。リング上ではゲスト扱いはなし！　2人は、暮れの世界最強タッグ出場を目指しているが、果たしてどうなる？

いけだ・だいすけ■68年2月13日生まれ。一昨年、初めて全日に参戦。水が合ったのか、度々出場している
かきはら・まさひと■72年４月29日生まれ。ＵＷＦ、Ｕインターを経て、全日本に入団。その闘志は凄いぞ！

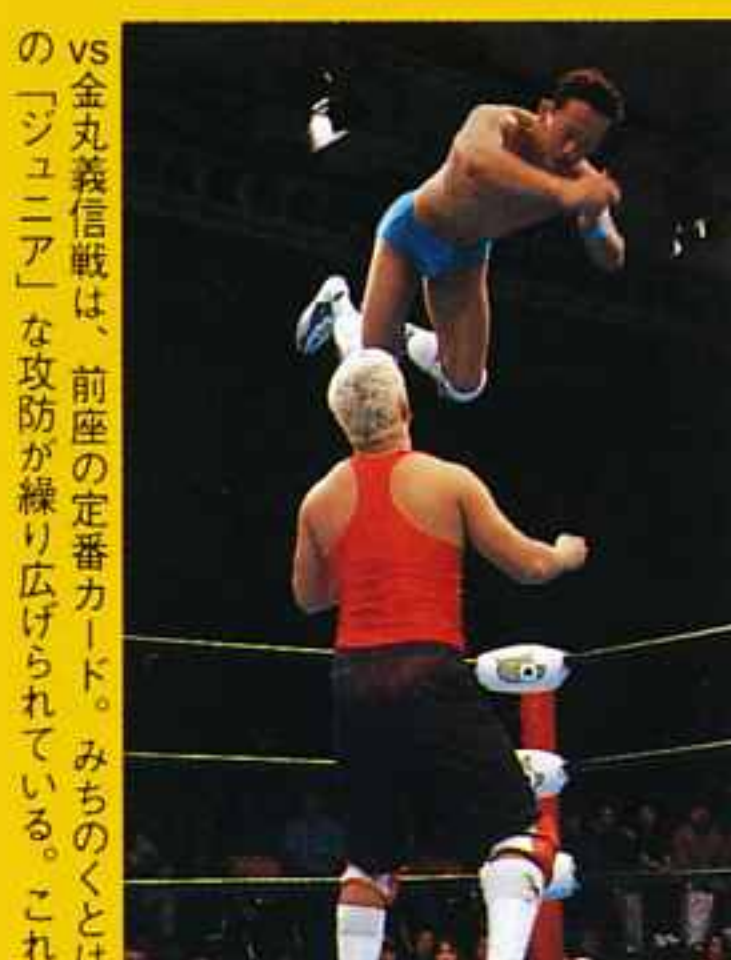
初めてのメイン登場の重責を果たしたからか、大ちゃんの表情も晴れやかだった。この大舞台をどう乗りきる？

豪傑No.004 丸藤正道

会場の隅っこの方でまだまだ雰囲気に慣れない我々が小さくなっていると、声をかけてくれた丸藤選手。

「どこの（媒体の）方ですか？『紙プロ』さんですか？

ボクらのことも取材に来てくださいよ」と声をかけてくる。まさか、全日でそんなことを言われるとは思っていなかったので、かなり嬉しかった。人なつっこい感じが、人気の秘訣だろうか？　丸藤の試合は非常に受けっぷりも飛びっぷりも良いので、ズバリ言って人気は非常に高い！　撮影＆コメント取りとして同行してくれた大西タマリン（仮）が会場で、みちのく追っかけ仲間と遭遇したらしいのだが、その子たちが誰を目当てに来たかといえば、この丸藤選手だった。

たしかに、飛び技や打撃技には、とてつもない才能を感じさせてくれる。ファン感謝デー（9・18）ではファイヤーバード・スプラッシュまで披露していた。かなりの勢いで成長中である。いずれ、取材が全面解禁になった暁には、リクエストに応えて丸藤の独占インタビューもやってみたい。

vs金丸義信戦は、前座の定番カード。みちのくとはまた違った形の「ジュニア」な攻防が繰り広げられている。これは必見だ！

まるふじ・なおみち■79年９月26日生まれ。高校時代にレスリングでインターハイに出場経験もある。華麗な空中殺法は必見！

【今後のスケジュール】

『99ジャイアントシリーズ』【最終戦】

10月30日（土）東京　日本武道館（18：00）

『99世界最強タッグ決定リーグ戦』　日程

日付	都市	会場
11月13日（土）	東京	後楽園ホール
14日（日）	東京	後楽園ホール（12：30）
17日（水）	千葉	銚子市体育館
19日（金）	岡山	岡山武道館
20日（土）	京都	ＫＢＳホール
21日（日）	静岡	静岡グランシップ（17：00）
23日（祝）	岩手	岩手県営体育館（15：00）
24日（水）	秋田	秋田県立体育館
26日（金）	新潟	新潟市体育館
27日（土）	宮城	宮城スポーツセンター（18：00）
28日（日）	埼玉	戸田市スポーツセンター（17：00）
30日（火）	大阪	大阪府立体育館
12月１日（水）	岐阜	岐阜産業会館
３日（金）	東京	日本武道館

※特に記載のないものは18：30開始

猪木さぁ～ん、『コーラ・パワーズ』を北朝鮮に呼んでくださ～い!!

勇気を出して初めての告白。

・パワーズ

そのドリンクにかけた名前は、一服の清涼飲料なのか？　はたまた水ものなのか？　とにかくとにかくコーラパワーズ!!　本誌でしか見ることのできない？　大推薦の『世界のプロレス』。その中でも、もっとも注目すべき『コーラ・キッド&ペプシ・ボーイ』という2人のマスクマンなのである。ちなみに、日本語はカタコトであるゆえにコーラ語の通訳を必要とした。まさに前代未聞！　世界初の独占インタビューだ!!　コーラとペプシを買ってこれを読むべし！　プッシュゥ～～～!!

聞き手&撮影／チョロ
interview & photographs by Choro

コーラ語通訳／ドクターペッパーズ1号
interpretation by Dr.peppers no.1

構成／大西タマリン
text by Tamarin

世界各国どこへ行こうが愛して止まれないコーラという飲み物ではあるが、『コカ・コーラ』と『ペプシ・コーラ』は、飲み物界最大のライバル会社である。さて、その両会社の名を持つ2人のレスラー『コーラ・キッド&ペプシ・ボーイ』まったくもって、なんて名前の2人なんだ！　とお思いのみなさん&コーラパワーズ大好き！　というもの凄いレアなみなさんに贈るコーラパワーズの謎にせまる（語学がコーラ語であるため通訳をつけての）インタビューを決行した！　シュワァ～～～、プッシュゥ～～～!!

【コーラとペプシの関係】

何しろ2人の名前だけとってみると微妙な関係あるに違いないのでは？　まずは、2人はどんな関係なのか聞いてみた！

コーラ　2人が揃えば、シェアー90%を占めちゃうよ。ヴァージンだろうが、ロイヤルだろうが何が来ても問題ないよな、ペプシ君。

ペプシ　ちょっと、ジョルトコーラだけが恐くないかい？　コーラ君。

コーラ　コマーシャル流れてたもんね。

コーラ&ペプシ　でも2人揃えば、大丈夫さ!!

【一体キミたちは何者なんだ！】

見かけの通り年齢性別、話す言葉までさっぱり分からない2人に素性をあかしてもらおうではないか！

――2人はおいくつなんですか？

コーラ　それは、ボクたちも分からないんだ。ちなみに、どこで生まれたかも分からないんだよ！　誰か教えて欲しいぐらいさ。だから今一生懸命日本語を訓練しているところなんだよ。

ペプシ　コーラ語しか話せなかったですもん（笑）。だって『シュワァ～～～』とか『プシュゥ～～～』ですよ（笑）。

――キャハハハ、まだデビューして1年も経ってないんですよね。

コーラ　今年の1月にデビューしたばっかりなので、新人ということだな。

ペプシ　まぁ、新人らしい試合運びをしています（笑）。

コーラ　そうだな（笑）。みんなから「ショッパイ、ショッパイ」って言われるもんな（笑）。

【理想のプロレスラー像】

その容姿からは想像もできないプロレスを展開するこの2人の理想のプロレスラー像って一体なんなんだ？

――コーラパワーズさんの理想のプロレスラーって誰ですか？

コーラ　プレ日本選手権のマツダ選手だ!!

――キャハハハ！　コーラキッドさんの好きなレスラーってヒロ・マツダさんなんですか!!

コーラ　そうだよ！　あとは、狼軍団だ。

ペプシ　ボクは、もちろんミルマスカラスさ。

――ペプシさんの得意技って確か、フライング・クロスチョップとダイビングボディプレスですもんね。

ペプシ　実は、マスカラスとはとぉ～いとぉ～い親族の友達かもしれないんだ。

【好物ってナニ？】

コーラパワーズの2人は、やはりコーラしか口にしないんだろうか？　そんな謎を解明するべく、単刀直入に聞いてみた！

コーラ　ムフフフフッ。『クラブレディ（オネェチャンがいっぱいいるところらしい）』のウーロン茶だな（笑）。

ペプシ　ずるいぞぉ～！　ボクはペプシしか飲みません、プシュゥ～～～!!

【2人のテリトリー】

日本にいる間、2人はどんなところに生息し出没するのだろうか？

――いつもどういう所に遊びに行くんですか？

コーラ　ボクは、東西南北の西の西、中州だ（笑）。西中州で切符売ってるぞ。

ペプシ　ワハハハハ！　ボクは、渋谷マルキュウ（109）の『ラブ・ボート』に出没します（笑）！

コーラ　ペプシ君は、本当にコギャルが好きだなぁ。女の子にもてようと思ってボトルキャップを集めてるくらいだもんな。

ペプシ　いやいやコーラ君が真面目すぎるんだ！　最近チョット練習のしすぎなんじゃないかい？

コーラ　毎日、腹筋2000回はかかすことはないぞ！

ペプシ　ワハハハハ、やりすぎ（笑）！　本当にコーラ君は、

COLA KID
［コーラ・キッド］

PEPSI BOY
［ペプシ・ボーイ］

コーラ・パ

練習の賜物のような体つきをしているから。

コーラ そうだよ。ボクは練習が趣味なんだ！

ペプシ （小声で）誰が着ても……。

コーラ な、なにを言ってるんだ、ペプシ君!!

ペプシ ……。（突然大声で）ボクたちはチビッコに夢を与えているんだ!! プッシュッ〜〜〜。

【好きな音楽】

2人の入場テーマソングは、もちろん♪ペプシマ〜ン〜 なのだが、普段2人はどんな音楽をたしなむのであろうか？

コーラ （まじめに）ＡＲＢだ。（聞き手もペプシも大爆笑!!）

ペプシ ワハハハハ！ ボクは、アラジンです（大爆笑）完全無欠のロックンローラーですよ（笑）。

コーラ&ペプシ 2人が揃えば、川村結花（コーラのCMソングを歌っている）だ！ プッシュッ〜〜〜!!

【子供の頃の夢は？】

どうやら2人にも幼少の頃はあったようだ。そこで、小さい頃に思い描いた夢ってなんだい！

ペプシ ボクは、小さい頃彼女との交換日記に「ドラえもん」と書いた記憶があるような……。

コーラ ペ、ペプシ君！ かのじょぉ〜だとぉ〜！ 誰なんだ（怒）!! オットトト取り乱してしまった、スイマセン（紳士的なところを見せる）。ボクは、山師だ！

ペプシ 本当に、怪しい人だなぁ〜（笑）。

【2人の使命】

この先、2人がやらなければいけない使命っていうのは、あるのだろうか？

ペプシ 使命？（勢いよく）北朝鮮！

——それは、マット界のことですか？ それとも国際情勢ですか？

ペプシ まぁ、全部含めて北朝鮮上陸を狙っています（キッパリ）。猪木さ〜ん、元気ですかぁ〜っ！ ペプシを北朝鮮に呼んでくださ〜い!!

コーラ 猪木さ〜ん、コーラパワーズで呼んでくださ〜い!! でもペプシ君、ボクたちは、この『世界のプロレス』を大きくする使命を背負ってるんじゃないのかい？

ペプシ えぇ！ それは、そうですけど……。まぁ、ボクたちボクたちコーラパワーズ（ノーフィアーポーズを決める）！ のおかげで今まで九州でしか見れなかった『世界のプロレス』が、今回は、神戸まで来れたんですよ！

コーラ まぁ、今日は、東京から見に来てくれてるファンもたくさんいたからな。次は、日本各地を縦断するのが目標だ。

——『世界のプロレス』で闘っていて楽しいなってところはどういうところですか？

コーラ 『世界のプロレス』は、何が飛び出すかわからないところが魅力なんだ。

ペプシ まぁ、わかっていてもまた、たのしいですけどね。

コーラ お客さんが想像しているちょっと上を行ってるんだな。

ペプシ 微妙な上だよ（笑）。でもたまに先の方に行くこともあると、お客さんは難しいのかなと思うことはないかい？

コーラ でも、その辺を感じてもらえたら最高に面白い、『世界のプロレス』は！

（ここで突然声を揃えて）

コーラ&ペプシ 外人あり、日本人あり？ ボクたちは、外人とやっているとレスリングやってるって感じがするんだ！ そんな泡の利いたレスリングを心掛けてるので、一気に飲み込んだらノドが火傷するぜ！ プッシュゥ、シュユワ〜〜ァ!!

【9月30日、神戸サンボーホールにて収録】

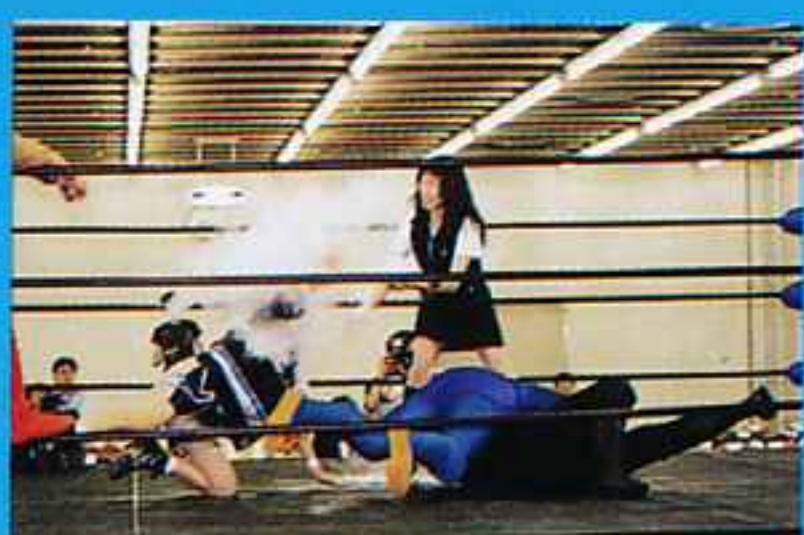
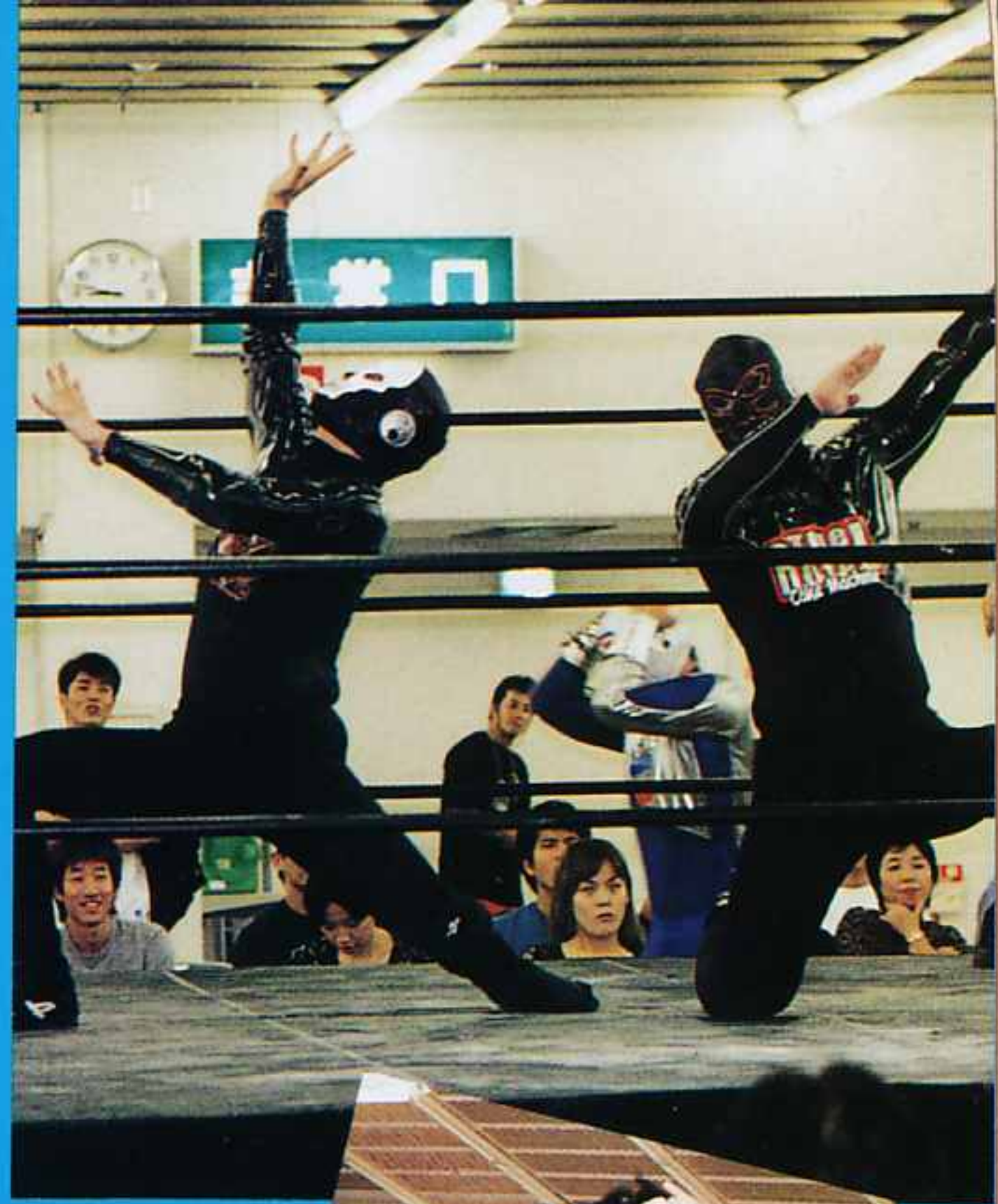
ちょっとは、摩訶不思議な2人組コーラ・キッド&ペプシ・ボーイのボクたちボクたちコーラパワーズ！（このノーフィアー語録が大のお気に入りであった）のことがわかってもらえたはずである。ちなみに取材中、白いごはんの上に、コーラを1缶全部かけて豪快に食べる姿には、度肝を抜かれたが、お風呂もコーラだと聞き納得。こんな激レア『コーラパワーズ』、要必見！ マジであなどれないぞ！ プッシュゥ〜〜〜シュワァ〜〜〜！

肖像権のことはフロントに言ってください！ プッシュウ〜〜〜!!

こーらぱわーず■こーら・きっど・【身長】185cm【体重】115kg。ぺぷし・ぼーい【身長】185cm【体重】108kg。その他年齢、性別全てにおいて謎の2人組である。今年1月『世界のプロレス』旗揚げのニュースを聞きつけたペプシが相方のコーラを呼びつけ参戦してからというもの肖像権の問題など、どこ吹く風で一気に団体エースへと上り詰めた。ちなみに、コーラの好きなテレビは『バラ珍（嗚呼バラ色の人生）』、ペプシは『笑う犬の生活』らしい。

世界のプロレス 9・30神戸サンボーホール大会

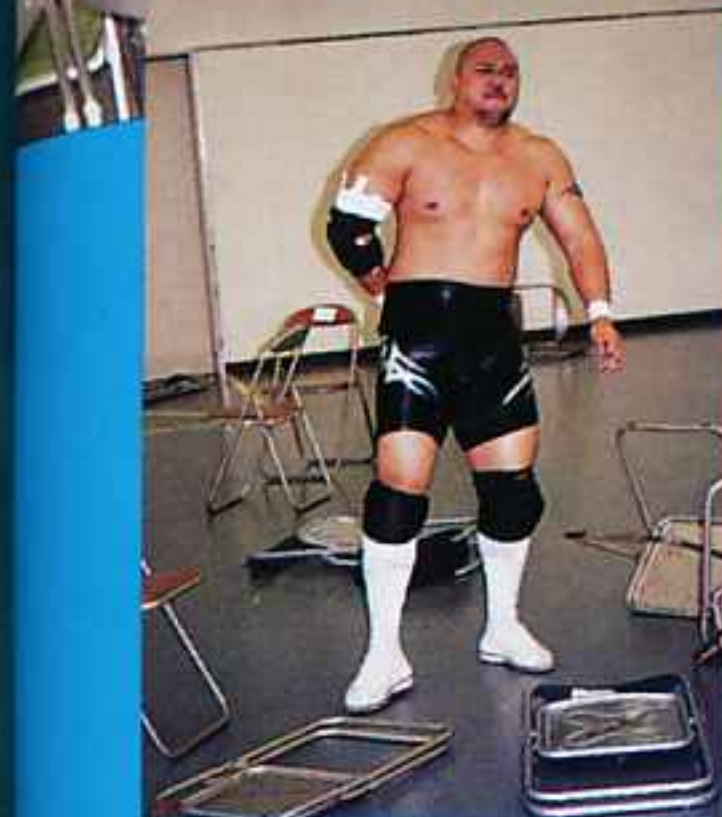
『RADICAL.NO19』での『世界のプロレス』特集は、良くも悪くも大反響であった。今回『世界のプロレス』は慣れ親しんだ九州を離れ、神戸での開催となった。編集部に送られてきた対戦表を見てビックリ。『世界のプロレス』一番の売りでもある無駄に豪華な外人選手がトリプルK3&4号の2人だけだったのだ。大丈夫か?

約4ヶ月振りに日本マット登場のロッテリアン。とても韓国暗殺軍団のマネージャーとは思えないその可憐な笑顔は『世界のプロレス』マットの一服の清涼剤となっている。ただし、その気になって近づくと火傷するぜ!

メイン終了後、どこからともなく聞こえてきたのが、ドクタータンサンを名乗る男による、コーラ・パワーズへの犯行声明?だった。タンサンが招き入れたのが全身黒ずくめのブラック・コークス。1人はロイヤル・コーク・マシン。もう1人はバージン・コークス。ブラック・コークスはひーちゃんSも真っ青なキメポーズを持ちマイクアピールまで行った。

ロッテリアン 君の笑顔は百万ウォン!

格闘技ファンと謳っている人、
出ていってもらえますか!
ここは**世界のプロレス**なんで。
プロレスが好きな人だけ、
愛している人だけ来て下さい。

メインでは勝利を上げたものの、その後ブラックコークスの乱入で消化不良となったペプシ・ボーイ。エプロンでペプシを一気飲みすると、お腹の中から魂のこもった「プッシュワ〜〜!」が聞かれた。

緊急事態発生!!

「バツッ」と鈍い音とともにサードロープが外れてしまった。緊急事態にレスラー&関係者がリングを囲み懸命に修復作業に取り組んだ。セカプロのファンはそれすらも楽しむ器量がある。

なんといってもこの日のMVPは、和製ストーン・コールドこと相島勇人。その命がけのバンプは、椅子の5列、6列は当たり前、さらには体育館の隅から隅まで気持ちよくブッ飛んでいくのだ。

急遽実現!? すわ! つぼvsダンディ

闘龍門の地元、神戸ということでスモー“ダンディ”フジが観戦に訪れていた。入場&退場時に、スモー相手に、つぼの突っ張り&四股攻撃が炸裂!

松澤チョロ記者断言!

『世界のプロレス』となら心中できる!!

世界のプロレスビデオプレゼント!

『世界のプロレス黒船来襲Ⅱ』のビデオを1名様に。通販も行ってます。4800円(送料込み)
問い合せ「世界のプロレス」福岡遠賀郡水巻町二東2・8・6
TEL 093・203・5170

申し訳ありません。原稿を落としてしまいました。

次の興行日程 12月8日(水)アクシオン福岡、12月9日(木)中間体育センター
■問い合わせ(株)世界のプロレス 093-203-5170

BRAD KOOLER
ブラッド・コーラー

あぁ〜世界は広いッ！　海外にはいろんな種類の強豪がいるのである。プロレスだとか、格闘技だとか、ゴチャゴチャわずらわしいことにはまったく無頓着に己の"闘い"に突き進む、気持ちのいい男がいるわけだ。
ブラッド・コーラー。こいつの闘う姿は熱くて、バカで、底抜けなのだ！

文／中村カタブツ君
text by Katabutsukun Nakamura
UFC写真／長尾迪
text by Susumu Nagao

©スペル・デルフォン2号

紙のプロレス RADICAL
怪物通信
K-通 MAGAZINE

1964年5月26日、オハイオ州デイトン生まれ。子供時代から腕っ節が強く、中学生にして100キロの丸太をかつぐことができたという強者。ハイスクール時代にはオハイオ、アイオワ、ウィスコンシン各州でアマレスのチャンピオンとなる。当時からプロレス入りを念願していた彼は大学卒業後にノールール系の試合をこなして着実に実績を積み、『世界のプロレス』でプロレスラーとして初来日。得意技はガブリ四つからのフロントスープレックスなのである。(『世界のプロレス』パンフレットより一部抜粋)

アニマル・ウォリアーを練習相手にして、『UFC』で勝利をもぎ取った、非常に痛快な男がいる。

ブラッド・コーラー、35歳。

本人にはまったくその気はないのだろうが、身体を張って"プロレス=格闘技論"を証明してしまう、コーラーの闘いはやっぱりメチャクチャ熱いのである。

9月22日『UFC22』に出場したコーラーは試合開始わずか30秒、豪快な右フック一発でブラジリアン柔術の紫帯スティーブ・ジャドソンをあっさりKOしている。しかも、たかだか30秒の間にアマレス仕込みのタックルを一度決め、二度目のタックルはフェイントにしてパンチを放ち、勝利をもぎ取ってしまったのだから、もう完璧！　当日視察した日明兄さんが注目選手としてティト・オーティスとともに、このコーラーの名を上げ、「あれ上手だよ。あいつは面白くなるよ」(『SRS・DX』8号参照）とベタほめするのも当然のことなのだ。

ちなみにジャドソンは口から血を吹き出して完全に失神し、目覚めたあともあまりの衝撃のために首にコルセットを巻かねば退場できないほど深いダメージだったのだから、コーラーの腕力（コーラーパワー）はもの凄ぇぜ！

それまでも『UFC－J』のほか、『エクストリーム・チャレンジ』などノールール系の大会に出場し、アマレスではオハイオ州チャンピオンにも輝いているコーラー。だが、注目すべきはそれだけではない。

憧れの人としてスタイナー・ブラザースを挙げる彼は一部マニアには圧倒的に支持される『世界のプロレス』にプロレスラーとして来日しているのだ。

しかも彼の理想のプロレスはズバリ言ってアルシオン・スタイル！　35歳にしてルチャと関節技の融合に暴走する分別のなさは、抱きしめたくなるほど素晴らしい。

『UFC』で戦慄のKO劇を演じる一方で、青柳館長を相手に未熟な飛び技を披露してニールキックからの片エビ固めで抑え込まれる彼こそ、"プロレス=格闘技論"に身体を張ってる男ってわけなのだ。

そんな最中、コーラーの来日決定！　賞金総額50万ドルのあの10・28『リングス・ワールド・メガバトル・オープントーナメント』に出場するのだ。そして驚くことにセコンドには盟友アニマル・ウォリアーもペイントして登場する予定というからもうたまらない。しかも対戦相手は山本宜久と贅沢三昧！　本誌発売日翌日と慌ただしいが、ともに"闘い"を背負った日米のトンパチ決戦は面白くなること間違いなし。勢いよくバカ丸出しで言わせてもらえばぜひともマスト必見！　なのである！

バトラーツのトップ強奪作戦、開始！

モハメド・ヨネの宣戦布告!!

聞き手／坂井ノブ
interview by Nobu Sakai
撮影／斉藤ユーリ
photographs by Yuri Saito

アレクサンダー大塚の会社批判はバトラーツに大きな波紋を呼んだ。その辛辣な発言に対して、最も怒りをあらわにしたのがこの男、モハメド・ヨネである！　いままでは“お笑い担当”のイメージが強かったが、最近のヨネは何かが違う！　先輩からは次々と勝利を奪い、勝利の後のマイク・アピールも絶好調！　今回、久しぶりのインタビューでは蓄積された怒りのバズーカ砲が爆裂!!　これからのバトラーツは間違いなくヨネが変える！　いますぐヨネの豪快な一発に撃たれてしまえ！

——今日は、ご本人から直々にリクエストもあったので、ヨネさんの取材に来ました。

ヨネ　あれぇ？　何の用？『紙プロ』ってアレクの雑誌じゃなかったの？

——キッいですね（笑）。まあ、たしかに『紙プロ』はアレクと山口日昇と読者を結ぶ雑誌ですから。

ヨネ　ハハハ、凄い雑誌ですね……『紙プロ』のバカーッ!!

——す、すいません。でも、そういうマンネリをボクとヨネさんで崩していきましょう。ボクはいまいちばん発言の場が必要なのはヨネさんだと思うんですよ。アレクさんのバト批判とかにもいちばん言いたいことがあるんだろうし、女子人気も高いし（笑）。うちの雑誌でやってるアレクさんのインタビューとか読みましたか？

ヨネ　前号の小川（直也）選手のインタビューは、「この人、おもしれえ！」って、ゲラゲラ笑いながら読んでたんですけどね。アレクのインタビューは読んでるうちに眠くなってきちゃいましたね（笑）。「バトラーツ」の「バ」の字だけを拾いながら読んでたんですけど、「バーリ・トゥード？　関係ねえや」って感じで（笑）。

——その中で、いろいろアレクさんはバト批判をしているわけですけど。

ヨネ　「何それ？」って感じですね。

——ヨネさんは、かなりカチンと来てるんじゃないかと思うんですよ。「ボクがいな

MAD YONE

い間に『アレクがいなくても大丈夫』というぐらい頑張らないとダメだ」とか「いまのバトラーツに元気がない」とずっと発言してましたけど。

ヨネ　だったら、アレクがいない間に、どれだけの客が減ったの？

――実際のところ、どうでした？

ヨネ　減ってないですよ！　池田（大輔）さんがいなかった頃の方が減ってますって。そういうのが数字に出ちゃってるんだもん。

――つまり、アレクがいない間もバトラーツは頑張っていたと。

ヨネ　（呆れ返った表情で）だからね、アレクはしゃべったらダメなキャラだと思うんですよ！

――ゲッ!?　『1、2の三四郎』でいうところの東三四郎じゃなくて、成海頁二ですか？

ヨネ　だって、余計なことばっか言ってんだもん（笑）。

――その他に気にくわないところがあるわけですか？

ヨネ　う～ん、ラヴ・ウォリアーズ（アレク＆ヨネのチーム名）に関してですかね。ボクの解釈では、あれは両国というお祭り用チームだったんですよ。あのときも、たしかにオレはアレクに選ばれましたよ。オレも憧れてたロード・ウォリアーズと闘ってみたかったから、それはよかったんですけどね。それを、会社的にも、アレク的にも続けていきたかったらしいんです。でも、オレはアレクとのチームに意味がないと感じてやめました。

――い、意味がない!?

ヨネ　上り調子のアレクと組んでれば簡単に注目を集めることも出来たと思うんですけど、いつまでもアレクのオマケじゃないから。そんなので注目を集めるんだったら、注目されなくてもコツコツやった方がいいですよ。

――もったいないという感情もなかったんですね。

ヨネ　そういうとこからギクシャクしていきましたよ。結局はオレが面白くないから別れたんです（キッパリ）。

――闘い方を見てると、ヨネさんは池田さんと方向性は同じみたいですね。

ヨネ　それがアレク的には「バトラーツの方向性が変わってきてる」って言ってるうちのひとつかもしれないですけどね（笑）。でも、変わらない人なんかいないですよ！　みんな現状から少しでも良くしようとしてんだから。

――そうですね。バトラーツの中で、純プロレス担当に見られてしまう池田さんとヨネさんの方向性が、アレクさん的には「旗揚げの頃の芯の部分と違うよ」って発言につながってるんだとボクは勝手に推測してるんですけどね。アレクさんがそういう批判をし始めたことで、対立構造がハッキリとしましたよね。これがリング上でぶつかれば絶対に面白くなりますよ！

ヨネ　そうですね。衝突せざるを得ないと思いますよ。結局、すべての問題の答えはリングで出すべきだから。でも、実際に闘っても何も生まれないんじゃないかな。今度、大阪大会（10・8）でアレクとシングルマッチをやりますけど、これは、「闘い終わってノーサイド」って闘いにはなりませんよ。

――ゲッ!!　物騒ですね。

ヨネ　正直言って、勝っても負けても、オレには関係ないですから。

アレクとは衝突せざるを得ない!!
すべての問題の答えはリングで出すべきだから

——ゲッ、どういうことですか？

ヨネ　たとえ負けてもボコボコにしてやりますよ！

——うわっ、ボコボコ宣言!!　これが出てる頃は結果が出てますけど……。（10・9大阪大会のvsアレク戦はグーパンチまで繰り出したが、アレクの粘りの前に無念のギブアップ負け）

ヨネ　何と言ったらいいのか……アレクとは手が合わないですね。

——わかりやすく言うと、闘っててしっくり来るか、どうかってことですか？

ヨネ　闘いのリズムの問題ですね。まだ昔は合わせようとしてたかもしれないけど、いまはハッキリと合わない！

——石川（雄規）社長とアレクは似てますよね。２人とも闘い方が粘着質で。

ヨネ　うん、オレは社長とも合わない！まだ、池田さんの方が手は合うんですよ。

——なるほど。ヨネさんから見た社長はどんな感じですか？

ヨネ　う〜ん、一言で言うとわかりにくいですよね。内にこもったような感じがするじゃないですか？

——たしかに社長のプロレスは〝陰〟か〝陽〟かでいったら〝陰〟ですね。

ヨネ　謎かけのプロレス？　オレはあんまりそういうの好きじゃないから!!

——社長の場合は、猪木さんに影響を受けたのが大きいんでしょうけどね。ちなみに、ヨネさんが影響を受けたプロレスラーって誰ですか？

ヨネ　ハルク・ホーガン！　ロード・ウォリアーズ！

——おお、思いっきり80年代のアメリカン・プロレスですね。

ヨネ　わかりやすいですからね。オレはドンドン自分が目立ちたいし、そういうものを全面に押し出していく方だから。その方が、見てる人も入り込みやすいと思うんですよ。

——そのへんの欲は、試合後のリング上でのマイクにも出てますよね（笑）。

ヨネ　マイク、好きなんですよ（笑）。おいしいところは全部もっていきますから。

——ヨネさんが自己主張をガンガンし始めたように、選手がそれぞれ自己主張し始めましたよね。それで以前は交われたものも、段々と交われなくなってきちゃってるんですかね？

ヨネ　それはしょうがない。もう、石川、池田の２本柱の時代じゃないですから。

——２本柱とアレクをひっかき回すだけじゃなくて、トップに立つつもりなんですよね？

ヨネ　そりゃそうですよ！　ウチみたいな小さい団体でトップを狙わなかったら終わりですよ。そろそろ、新しいものを作らないといけないでしょ？　闘いがパターン化してると、お客さんも飽きますから。

——以前、石川孝志さんが「いくら天龍同盟とか維新軍と抗争しても、毎日同じカードをやってたら半年で飽きてくる」って言ってたんですよ。

ヨネ　そりゃそうですよ。やってる人たちのテンションが低かったら、伝わるものも伝わらないですから。

——そんな中で、これが出る頃には初一騎打ち（10・17）も終わってますけど、UFOの村上（一成）選手の参戦は全体的にも刺激になったんじゃないですか？

ヨネ　オレがガンガン刺激受けちゃってますけどね、ハハハハ！　あの人は、しゃべりもかなりいけてましたよ（笑）。

——しゃべりでも刺激を受けた（笑）。

ヨネ　試合後のマイクで「帰りのキップはねえと思えよ！」って言われちゃいましたからね。

——カッコいいですね。

ヨネ　ヤクザ映画の見過ぎですよ。いやあ、あそこまでマイクがイケてるとは思わなかった（笑）。

——村上選手は他の格闘技からプロレスに来たわけですけど、ヨネさんも『PRIDE．5』に出る寸前だったんですよね。

ヨネ　結局、流れちゃいましたけどね。

——そっち方面の闘いにも出ていく可能性はあるんですか？

ヨネ　そのときに自分が「やってもいいかな」と思えば、出ちゃうのかもしれないですけどね。

——そうかと思えば、『週プロ』のインタビューでは全日本に上がりたいって言ってましたよね。

ヨネ　意外ですか？

——まあ、『PRIDE』とはスタイルが全然違うじゃないですか。全日本流の「受けのプロレス」を学んでみたいということなんでしょうか？

ヨネ　そうですね。いままでは「受けのプロレス」というか、馬場さんのプロレス哲学にあったプロレスをオレが出来なかったんですよ。

——そういえば去年は全日本に何度か参戦しましたよね。

ヨネ　そのときは全然ダメだったんですよ。でも、それを「だって、出来ないも〜ん」って感じで開き直ってたんですよ。藤原組に入門して以来、それこそ受け身の練習とかは「やらなくていいや」って感じで逃げてて。でも、段々と考え方が変わっていきましたね。「何でも出来るのがプロレスラーだ」って思い始めたんです。

——そのキッカケは何ですか？

ヨネ　今年はFMWに出たり、つい最近も某所でマスク被ってたんですけど、バトラーツ以外の舞台で普段出来ないことをいろいろとやってきたからですね。

——そういうことも自分で肥やしになっていくわけですね。いろいろと活動をしてるみたいですけど、そういうマスクでの試合も含めると何団体に上がってるんですか？

ヨネ　20団体以上ですね。いまは来た仕事を選ばずにやってますけど、それでいいと思うんです。池田さんなんか、４年ぐらい前に南アフリカで試合に出てますから。

プロレスラー＝超人ですよ！　だからこそオレは暴飲暴食なんだ！

昨年の両国大会で結成された「ラヴ・ウォリアーズ」だが、翌年の３月には発展的解消する。この決裂も、先を走るアレクと追い込みをかけるヨネの熾烈なデッドヒートなのだ

衣装協力■株式会社東京ファントム　M-1プラヘルメット¥5800、ピストルベルト¥3500、グレネードベスト¥14800
お問い合わせ：［東京ファントム渋谷店］TEL.03-3486-3627　［通信販売部］TEL.0424-72-6411

——ああ、そんなこともありましたね。

ヨネ　そういう商売なんですよ。

——いろんなことに対応できないといけない、と。

ヨネ　そう。昔のプロレスラーは「コスチュームとシューズだけあれば、世界中どこでも金を稼げる」って言ってましたよね。オレはレガースもないとつらいけど（笑）。

——そういう「プロレスラー＝旅芸人」みたいな部分って、池田さんと共通のものを感じますね。

ヨネ　というよりも、ボクは「プロレスラー＝超人」だと思ってますから。

——いいですねえ！　『キン肉マン』イズムだ。

ヨネ　「プロレスラーはデカくて、強くて、カッコよくて、メチャクチャ食って、いくらでも酒飲んで、全然疲れなくて……」っていうファンの頃に抱いていたイメージがそのまま当てはまったのが藤原組長だったんですよ。実際、それで藤原組に入りましたから。

——組長の下だと、そういう部分は徹底的に叩き込まれるんでしょうね。

ヨネ　メシは腹がハチ切れるまで食わないと怒られるんですから（笑）。

——たしかに、いまの時代はそういうプロレスラーって減ってますよね。

ヨネ　だからオレ、一時期は色紙に「暴飲暴食」って書いてたんですよ。「プロレスラー＝超人説」を自分なりに追求して（笑）。

——アハハハ、何を書いてるんですか（笑）。そういう昔ながらのプロレスラー気質は、いまのプロレスラーも持っていてほしいですよね。

ヨネ　昔のプロレスラーって超人ばっかりでしょ。特に藤原さんとか荒川さんとかは、ムチャクチャしてますからね！　荒川さんなんか、胸の筋肉が切れてもメチャクチャ重いベンチ・プレスを上げちゃうとかね。それでヘーキな顔して「いやぁ切れちゃったよ、ワハハハ！」とか笑ってる。そういうのは憧れますよ。

——カッコいいですよね。

「プロレス」とはオレにとっての「生き方」なんですよ!!

今年のヤンジェネ、下馬評では圧倒的に優勝候補NO．1だったヨネだが、結果は3位。ヨネにかかる期待の大きさはハンパじゃない！　石川雄規からKO勝ちを奪うなど、収穫は非常に大きかった

ヨネ　そういうムチャクチャするパワーの源はだいたい「金稼ぎたい！」「モテたい！」「強くなりたい！」っていう単純な動機なんですけどね（笑）。

——プロレスって、それがいっぺんに実現できますよね。ちなみにヨネさん自身は最近、モテてるんですか？

ヨネ　いやぁ、モテるのは荷物ばっかりです（笑）。

——荒川さんも同じネタ言ってましたよ（笑）。

ヨネ　ヤベえ（笑）。

——モテの極意ってあるんですか？

ヨネ　そんな偉そうなことを言うほどのものじゃないんですけど……敢えて言うとすると、蝶のように舞い、ハチのように刺す！　そうすると自然と「ヨネも刺すぅ？」って、寄って来るんですよ（笑）。

——アハハハ！　夜のバズーカ砲も爆裂してそうですね。

ヨネ　オレは弾切れの心配はないですから（笑）。まあ、いろいろバカなことばっかり言ってますけど、こういう発言ひとつ取ってもプロレスラーはすげえなって思わせないといけないんですよ。オレにとってのプロレスは生き方ですから。

——生き方ですか!?

ヨネ　どっかのアンケートで「プロレスとは？」っていう、すごく答えづらい質問があったんですよ。他の選手は「自分が有名になる手段」とか「金を稼ぐため」って書いてたんですけど、オレにとっての「プロレス」って「生き方」なんですよ。オレは死ぬまでムチャクチャやって生きていたいから。

——死ぬまで（笑）。いや〜、今日はいままでにないヨネさんの厳しい部分も見えたんで、今後のバトラーツが面白く見れますよ。

ヨネ　こんな感じでいいんですか？　前回のインタビュー（本誌7号）ではファンから「誠実な人ですね」って手紙が来たんですけどね（笑）。

——今回は牙剥きまくりでしたね。

ヨネ　ま、いいや。今回は全部、本音トークですからね（笑）。死ぬまで暴飲暴食してやりますよ！

【10月2日埼玉・バト道場近くのフレッシュネス・バーガーにて収録】

もはめど・よね■本名・米山聡。昭和51年2月23日、出身地不明。平成7年藤原組に入門。平成7年8月18日、神奈川・南足柄市体育館大会vsアレクサンダー大塚戦で、アレクと同日デビュー。当時は同期のアレクと非常に仲が良かったことで、「恋人同士」とまで言われていた。そのままバトラーツに移ったが、腰の負傷で長期欠場。復帰後はリングネームを「モハメド・ヨネ」にかえ、そのままリングスに出場するという快挙も果たす。マスクを被って某団体で活躍しているらしいが……。アレクとの「恋人関係」も解消して、ひとりで天下取りを目指す！　座右の銘は「暴飲暴食」。独特のこのポーズは、非常におなじみだが、誰もマネする人はいないヨネのオリジナル。184センチ、100キロ。

※10・17横浜大会のvs村上一成戦は白熱したドツキあいの末、9分34秒TKOで村上の勝利!!　惜しくも敗れたヨネだが試合自体への評価は高かった

さようならアナタに贈る SA PRESENT

押忍！（敬礼）。今回から、読者プレゼントも市街地を意識しなければ、という思いに至りまして、プレゼントを集めてみました〜。なぜかと言うと、今回の目玉商品が撃圏道スーツだったから、でもね、ほかにも豪華グッズをいっぱい貰ったので撃圏道スーツ＆グッズはチョロメ〜ンのページに持ってかれちゃいましたぁ。ジャイ子、最後までついてなかったね、みなさんサヨナラ、ジャイジャイ。押忍！（敬礼）。

押忍！（敬礼）マグナムさんの落し物コーナー

1名様

マグナムTOKYOさんの落とし物オーバーマスク

9月14日の闘龍門後楽園大会でマグナムさんが入場時に着用してたマスクです。チョロが拾ってきました。マグナムさんも探してたようなので、本人から応募があった場合のみ無条件で当選とさせていただきます。

【チョロ提供】

押忍！（敬礼）1、2の三四郎コーナー

各1名様

Tシャツ、応援用マスク

左から、ザ・スノーマンマスク（サイン入り、3800円）、スノーマンTシャツ、ザ・オコノミマンマスク（5800円）、オコノミマンTシャツ、赤城欣一Tシャツ。Tシャツは各3000円です。さて、ここでクイズです。モデルを務めたのは誰でしょう？　正解の方にはオマケもつけちゃいます。

各3名様

BACK

東三四郎Tシャツ、ドリームチームTシャツ

アントンでお馴染みの三四郎と、三四郎率いるドリームチームもTシャツになりましたぁ。バックプリントはどっちも同じです。各3000円。

押忍！（敬礼）PRIDE.関連グッズコーナー

BACK　FRONT

2名様

超豪華サインづくしTシャツ

『PRIDE.7』の会場内にいた選手、片っ端からサインを貰ってみましたぁ（出場選手にはあんまり近づけなかったよ）。マーク・コールマン、アラン・ゴエス、桜庭和志、TK、桜井速人、石川雄規、カール・マレンコ、日高郁人……以上。よくわかんないラインナップだけど、豪華なのは確かです！

5名様

桜庭和志応援バンダナ

応援ハチマキに続く桜庭応援グッズは、こんなにラブリーなバンダナ。首に巻いてもよし、ターバンにしてもよし、お弁当包んでもよし、と使い勝手もバツグンです。

【ドリームステージエンターテインメント提供】

FRONT　BACK

5名様

PRIDE.7大会記念Tシャツ

三代目魚武濱田成夫シリーズ第二弾！　バックプリントにはステキな詩が入ってます。

【ドリームステージエンターテインメント提供】

3名様

PRIDEスタッフTシャツ

スタッフしかもらえない鬼レアアイテムを特別にあげちゃいま〜す。サダハルンバ谷川氏も試合後に着てました。

【ドリームステージエンターテインメント提供】

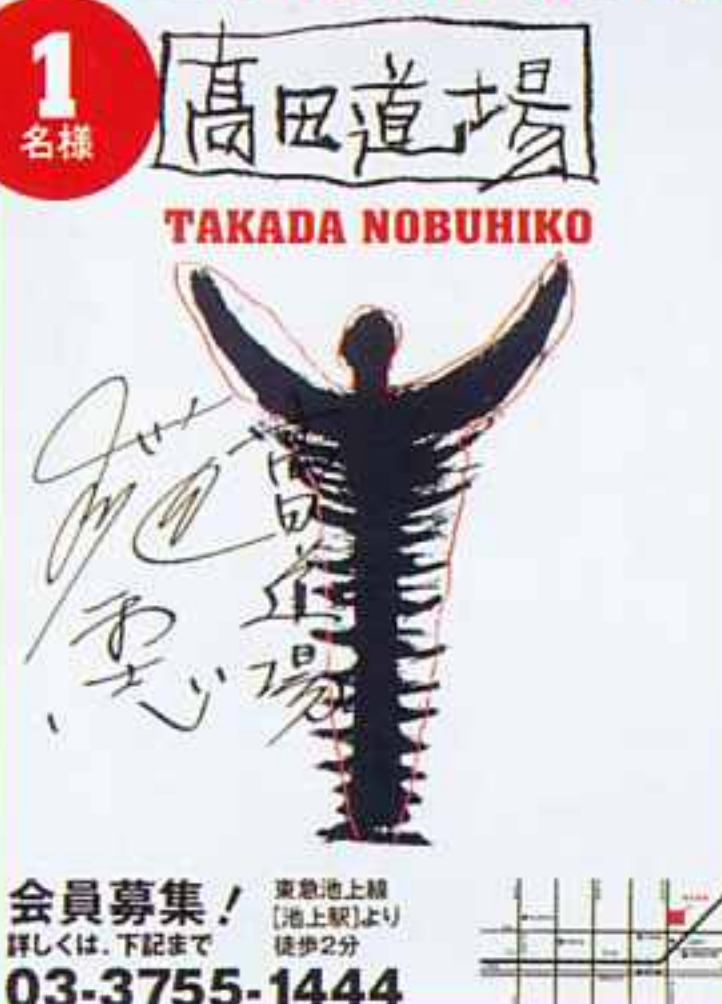
5名様

PRIDE.7パンフレット

毎回好評のパンフで〜す。今回も本誌鬼畜編集長・山口日昇が原稿書いてますのでみなさん読んでね。

【ドリームステージエンターテインメント提供】

1名様

高田道場ポスター

なんと桜庭和志直筆サイン入り！　販売してない貴重なポスターです。

【桜庭和志選手提供】

マスカラスグッズ、『1、2の三四郎』グッズはCACAOプランニングで通販受付中！　お問合せは☎075-601-7816CACAOプランニングまで。

押忍！(敬礼) Tシャツコーナー

各3名様

GROUND COBRA　Tシャツ

福岡の天神VIVRE5F、GROUND COBRAのオリジナルTシャツです『I'm the GREATEST』『Mr.Prowrestling』『パソコンの中からコンニチハ』の3種類。各2900円で通販もやってますのでどうしても欲しい人はそちらでどうぞ。問合せは☎092-7711-1021GROUND COBRAまで。【GROUND COBRA提供】

各3名様

バンバンビガロTシャツ

ビガロの新作は、メンバーも絶賛着用中のC-MAXオフィシャルTシャツ（4000円）とアンドレTシャツ（3800円）です。アンドレTシャツは他に白、黒、チャコールグレー、ベージュがありま～す。マグナムTOKYO Tシャツも近日発売予定。お楽しみに。通販のお申し込みは☎03-3460-1145またはホームページhttp://www.bambam88.comまで。

【バンバンビガロ提供】

各3名様

エンセンCD発売記念Tシャツ、P.S.S.DTシャツ

CD発売記念Tシャツはフロントに歌詞、バックにはレコーディング参加者の名前（例・サダハルンバ谷川）が入ってます。P.S.S.DとはPOWER,SPEED,STAMINA,DETERMINATIONのこと。よくわかんないけどエンセンの筋肉が凄いぞ！　各4000円【イーフォース・ジャパン提供】

各3名様

パンクラスTシャツ、春一番Tシャツ

バッテンマークが発砲プリントのオシャレなパンクラスTシャツ&春一番ハイビスカスTシャツ、闘魂伝承Tシャツで～す。なぜハイビスカス？　通販希望のかたは☎0568-31-0727 I・V・Yブックスまで。

【I・V・Yブックス提供】

各2名様

格闘アストラルTシャツ

バトラーツ石川雄規社長も愛用の格闘アストラルから新作のまだ見ぬ強豪Tシャツ、男魂Tシャツで～す。通販もやってます。お申し込みは☎03-3221-6237チャンピオンまで。

【チャンピオン提供】

3名様

奇人Tシャツ

夏が恋しいあなたにぴったりな、ビタミンカラーがステキなTシャツ。袖口のプリントもイカしてます。4000円

【イーフォース・ジャパン提供】

3名様

ブルース・リーTシャツ

ジークンドーTシャツのニューヴァージョン。粘土細工のようなブルース・リーがステキです。4000円

【イーフォース・ジャパン提供】

●イーフォース・ジャパンの商品は通販受付中です。お問合せは☎047-378-6403イーフォース・ジャパンまで。

押忍！(敬礼) フィギュアコーナー

5名様

大仁田フィギュア

『紙プロ』初登場の大仁田フィギュア邪！記念にデカく載せたん邪！皮ジャン着用邪！もちろん喫煙中邪！

【キャラプロ提供】

5名様

前田日明フィギュア

クリアタイプ、ブロンズタイプの限定版も出てましたが、通常タイプがやっと発売されましたぁ。パッケージの写真もステキです。

【キャラプロ提供】

3名様

タイガーマスク・バイオレンス・アクションフィギュア『ゴールデン・マスク』

バンバン出ます、タイガーマスクシリーズ。このゴールデンマスクはコスチューム着脱OKなスグレモノ。2600円で絶賛発売中。お問合せはレッズ☎03-3863-0576まで。

押忍！(敬礼) マスカラスコーナー

各3名様

マスカラスTシャツ

ロッキンジェリービーンデザインのメチャメチャカッコいいTシャツ。本人も愛用してま～す。色は黒とマスカラスが着てるブルーの2色です。4800円。

各5名様

カン・バッジ・コレクション

こんなオシャレなバッジセット、見たことある？　オシャレさんは迷わず両方ゲットだ！　各1000円。

ソフビ人形

CACAOオリジナルの青メタリック限定ヴァージョン！　他にも銀が出てま～す。4000円。

CACAO マスカラスTシャツ

プチマスカラスがズラっと並んだラブリーTシャツ。他に袖が水色、全体が黒ヴァージョンもプレゼント。欲しい色を明記してね。各3000円。

押忍!（敬礼）ビデオコーナー

3名様
『Let's! モーレツ! バトラーツ』
バトラーツの99年上半期名勝負集に全選手（営業中だった土方を除く）のインタビューも入った豪華版。下半期もバトバトマットで活躍しそうな佐野なおきの試合も、もちろん収録!
【QUEST提供】

3名様
『修斗10周年記念大会』
「歴史的名勝負」との呼び声も高い5・29横浜文化体育館での佐藤ルミナvs宇野薫はもちろんのこと、この日の試合を全試合収録。宇野の試合後のマイクアッピールも見逃せないネ!
【QUEST提供】

3名様
『Hystory of Jd'』
95年12月のプレ旗揚げ戦から99年4月の3周年記念大会までの、Jd'の3年間がバッチリわかるお役立ちビデオ。なんと50試合収録です。いまではエースとなった小杉の新人時代や、引退したバイソン、ジャガー、くどめのファイトも見れちゃいます。
【QUEST提供】

3名様
『TOURNAMENT SKY』
空中技の使い手ナンバーワンを決めるトーナメント、『TOURNAMENT SKY』の第1回大会を完全収録。特別参戦のラスカチョも流行りの第0試合で暴れてます。
【QUEST提供】

3名様
『ZION '99 TOURNAMENT』
8月22日のZepp Tokyo大会。年に2回のワンデー・トーナメント、今回は因縁深い下田美馬が参戦。場外乱闘ナシのアルシオンマットでどう暴れるかが見モノです。
【QUEST提供】

3名様
修斗ライト級選手権試合
『朝日昇vs巽宇宙』
5月27日、北沢タウンホール大会、大注目の朝日昇vs巽宇宙以外にも、当日の試合がみんな収録されてます。
【QUEST提供】

3名様
『I''m Chono!!』
毎回大人気の蝶野ビデオの新作。蝶野が語り倒します。N.Yでのプライベート映像も収録、もちろん試合も収録のたまらない90分。
【VALiS提供】

3名様
『ザ・ベスト・オブ G1クライマックス』
91年の『第1回G1クライマックス』を全試合収録。闘魂三銃士、大活躍です。ところで『G1』って『グレード1』って意味なのはみなさん知ってましたか?
【東芝EMI提供】

3名様
『NWO JAPAN V スペシャル3』
目玉企画は「武藤敬司を徹底解剖」と銘打って、『週刊ゴング』の金沢編集長＆『週刊プロレス』の佐藤次長＆武藤の討論会。見たいでしょ? 今度は本誌バカ軍団も参加させていただきたいものです。どうですか、VALiSさん?
【VALiS提供】

セットで3名様
『1999 G1 CLIMAX BATTLE ON AND ON』PART1.2
ヒャッホー! 決勝の生中継、辻アナウンサーの大興奮っぷりも記憶に新しいの今年のG1がビデオになりました。公式戦全試合収録で～す。
【東芝EMI提供】

3名様
『FMWリストラ大作戦』
～興奮の後楽園3DAYS～
若菜瀬奈のマネージャー就任、大矢の植毛計画、そしてハヤブサ終了と、なにかとお騒がせなFMWのお騒がせヒストリー（3ヶ月だけど）が一目でわかるステキなビデオ。荒井社長の悪っぷりが、いまでは涙を誘います。合掌。
【東芝EMI提供】

押忍!（敬礼）SHOW氏提供グッズコーナー

3名様
『凄技』
話題騒然、売れ行き絶好調（多分）の『凄技』、桜庭選手がとってもわかりやすく解説してるので、弱っちいキミも強くなれるかも! これ見たバカ編集部員は会社でグラップリング大会を開催、吐くまでやってました。
【Show氏提供】

1名様
UFCTシャツ
毎回大人気のUFC Tシャツで～す。今回はShow氏のおみやげ。気がきいてるね。
【Show氏提供】

5名様
『クロスゲーム』
「本書はなんちゃって紙プロではありません」という注意書きがありますが、とんでもない! 『紙プロ』なんかは足元にも及びません。武藤、川田、小橋、田上、健介、三沢、などなど、『紙プロ』ではとてもじゃないけど読めない方々のロングインタビュー満載。ついでと言っちゃあなんですが、旧『紙プロ』読者には懐かしいY1号&2号の対談も小っちゃい字で載ってます。
【Show氏提供】

押忍!（敬礼）その他のグッズコーナー

1名様
マスカラスポスター
アメリカでも大人気の「スマッシュ・ユア・フェイス」というバンドのポスターはマスカラスを大フューチャー。デザインは『悶プロ』でもお馴染みの植地毅さんで～す。
【吉田豪提供】

3名様
『BURNING』
小橋、秋山、志賀、金丸のテーマ＆『全日本プロレス中継』のBGM2曲と『バーニングのテーマ』を収録。ライナーは小橋が書いてます。2200円で絶賛発売中。中ジャケもカッコいいよ。
【バップ提供】

3名様
中央競馬イヤーファイル'99前半戦
『紙プロ』本誌お目付役・斉藤雄一さんが『大臣』に昇格して参加してる、とってもためになる競馬本です。
【アスペクト提供】

5名様
『大和魂』CD
みなさんお待ちかね! エンセンのテーマがCDになりました。エンセンのマイクアピールや、エンセン&修斗君のメッセージも入ったアルバム、なんとエンセンのサイン入りであげちゃいま～す。1800円。
【イーフォース・ジャパン提供】

1名様
『ビューティ・ペア フォーエヴァー』
9・29大田区体育館の追悼興行で1000枚限定で発売されたCD.4曲入りで曲はイマイチだけどピクチャーディスク&裏ジャケもグーです。当日買えなかった方、ラストチャンスです。
【ジャイ子提供】

セットで3名様
ビューティ・ペアCD発売記念ポストカード
10月21日に発売となったビューティのメモリアルCDは全19曲収録で聞き応えバッチリです。長与千種と神取忍のコメントも入ってます。今回は通販購入者のみの特典、スペシャルポストカードを特別にプレゼント。通販の問合せはウルトラ通販☎03-3461-6805まで。
【SFC音楽出版提供】

応募要項

押忍!（敬礼）。希望商品が決まった方は、直ちにハガキに下記の要領で記入の上、送ってくださ～い。じゃ、ジャイ子は消えま～す。アディ押忍!（敬礼）。

【宛 先】
〒151-0051
東京都渋谷区千駄ヶ谷3-11-3-702
（株）ダブルクロス
『紙プロRADICAL』編集部
「普通の女の子にもどりま～す」係 まで

応募券

❶郵便番号・住所・電話番号
❷氏名 ❸年齢・職業
❹希望商品
❺面白かった記事&その理由
❻つまらなかった記事&その理由
❼『PRIDE.0』（P134～）の勝者は誰?
❽『紙プロ』に載せてほしい団体or選手は?

★『ジャイジャイショッピング』のアンドレTシャツは好評につき完売となりました。お買い上げのみなさん、ありがとうございましたぁ。ジャイジャイ。

10・2有明コロシアムでのSAボクシングで我々を「10年後の素晴らしい世界」に連れ去ってくれた掣圏道が、11月5日横浜文化体育館にて掣圏道アンリミテッド(プロ部門)の柱、「SAプロレス」を満を持して旗揚げする。

SAボクシングは、ズバリ言って試合内容はよかったものの、選手の知名度の無さが災いし観客がなかなか感情移入できなかったが、今回のSAプロレスは知名度、期待度が共に高い選手がズラリと顔を揃えたのでノー問題！

中でも特に注目すべきなのは、まずは長井満也。前田道場で育った長井が、前田日明とは犬猿の仲ながら表裏一体の似たもの同士と言われる佐山のリングで、一体なにを見せてくれるか興味深い。

そして次はカート・アングル。詳しくは下記の囲み記事を参照して欲しいが、とにかく掣圏道とWWFが繋がっているというだけで夢が広がるではないか。

また、掣圏道と太いパイプを持つロシアルートからもヘビー級の強豪格闘家が数名参戦。中でもラトブ・ヴゥラディスラブ・イゴールビッチは、佐山代表が「デカい、強い、そして名前が長い」というだけの理由で『ロシアン・ベイダー』というリングネームを付けてしまったほどの強豪。

さらにドラゴン(藤波社長)とMSGで激闘を繰り広げた往年の強豪・カルロス・ホセ・エストラーダの息子、ホセ・エストラーダJRをはじめとするメキシコ勢。元全日本のダニー・クロファット。日本側もバトからアレクと田中、みちプロからタイガーとTAKAが参戦。オマケにロシアン・アブソリュートの王座決定戦まで組まれており、尋常ではないバラエティーの豊富さだ。

これだけのメンバーがひとつの枠にブチ込まれるのだから、まさに格闘闇鍋。一体どんな料理が提供されるのか、ひとつ間違いなく言えることは、我々が味わったことのない味であるということだ。格闘料理人・佐山聡(甘党)の腕の見せ所である。ウマイかマズイか甘いか、まずは食ってみろ！　よろしくお願いしま〜す。

11・5横浜では佐山自身も初代タイガーマスクとして、2度敗れているアレクとメインで対戦。佐山は対戦を前にして「マスクマンの常識を打ち破る覆面で登場しま〜す」「プロレスをアクションシーンに例えた、革命的なプロレスを見せま〜す」という謎のコメントを残しており、スーツ型の道衣につづく衝撃を今回も我々に与えてくれることだろう。

とにかく、何かがうごめいている掣圏道「SAプロレス」旗揚げ戦。はたしてどんな闘いを見せてくれるのか、そして今回もまたロシアン美女ダンサーは来るのか、もうこれは確かめずにはいられないのである。

押忍!!(敬礼)。

長井満也！　カート・アングル！　ロシアン・ベイダー！　ダニー・クロファット！　素材充実!!
2009年からやって来た"格闘料理人"佐山聡は我々に何を提供してくれるのか!?

格闘闇鍋SAプロレス。まずは食ってみろ!!

押忍(敬礼)。坂本一世、佐山に「虎の穴」入門を直訴！

10月13日"肉体派タレント"、新加勢大周こと坂本一生こと坂本一世(入門前から改名の嵐)が「虎の穴」入門を佐山代表に直訴するため、SAプロレスプレ旗揚げ戦が行われている北海道帯広へ向かった。

「虎の穴」の入門者募集の新聞記事を読んで「いてもたってもいられなくなった」という彼氏。羽田で報道陣に囲まれ「なぜプロレスラーに？」と問われると「男になりたいから」と大和魂溢れるコメントを残しヤル気をアピールした。

格闘技経験こそ少ないものの、水泳歴18年という特技を活かし(門馬忠雄先生曰く、「水泳をやってる奴は強い！」とのこと)、ここは是非「虎の穴」でコールタールのプール(あるのか？)を泳ぎ切ってデビューにこぎつけてほしいものだ。

ワイドショーでも取り上げられたこのニュース。スーツ型道衣を着た一世が見たい!!

「俺はヒクソンに1分で勝てる！」アングルですよ！アングル!!

『週刊ファイト』10月7日号で「11月某格闘技団体に来日」と報じられ注目されていた"WWFの隠し玉"カート・アングルが上がるリングは、なんと掣圏道であった。

アトランタ五輪のレスリング100kg級金メダリストでありながら、プロレスの基礎をドリー・ファンク・JRに叩き込まれたという、昭和全日のエリートコースのような経歴を持つアングル。マット界関係者の一部には「カール・ゴッチの再来」と言われ、本誌・吉田豪には「ジャンボ鶴田の再来」と言われるこの男こそ、21世紀の「強くて凄くて面白いプロレスラー」の最右翼と言っていいだろう。

またアングルは「ヒクソンには1分で勝てる」と豪語し(ちなみに佐山曰く「ヒクソンには負けてほしくないのでやらせたくありませ〜ん」とのこと)、「カレリンを倒すために掣圏道にやってきた」と言うのだから最高だ。と思ったら21日には来日中止の発表！　これもアングル？

ファイト 10.7
WWFの超新星カート・アングル
ゴッチ2世11月来日!!
ヒクソンを1分で倒せる!?
格闘技団体に参戦

11・5横浜ではロシアン・ベイダー戦が噂されるアングル。必見だ。

SAプロレス・HARD BATTLE「蘇る虎伝説」

[日時]1999年11月5日(金)開場18:00　試合開始19:00　[会場]横浜文化体育館
[入場料]SRS——10,000円　RS——7,000円　SS——5,000円　2F自由席——4,000円
[発売場所]チケットぴあ——03・5237・9999　ローソンチケット——03・3573・1015
[問い合わせ]掣圏道協会　03・5456・7333

紙のプロレス RADICAL

No.21

1999年12月1日発行

STAFF

編集兼発行人
山口日昇

編集スタッフ
坂井ノブ
松澤チョロ
大西タマリン（仮）
八木賢太郎（ラーメンに酢を入れすぎたため非番）

スーパーバイザー
吉田豪

広告営業
佐藤恵美

助っ人
堀江ガンツ
恒遠バカツネ
中村愚乱
青柳スコラ氏（スコラ復刊につき非番）
松浦大輔
金田謙太郎
村田英之

アートディレクター
出田さん（TwoThree）

デザイン
ヒサくん
マツ
村松さん
セッキー
グッチー（以上TwoThree）
トメさん
はなえちゃん（以上早乙女の事務所）

出前
出前持ち入江（TwoThree）

カメラマン
斉藤ユーリ
遠藤政文
森鷹博
黒田史夫
愛甲タケシ
森田友美

試合写真
平工幸雄
長尾迪
乾晋也
スペル・テポドン2号

お勘定
林ヘックション一枝

40(しじゅう)に見える！ byウメちゃん
中村カタブツ君（36歳）

フィニッシュ
ツー・スリー／早乙女の事務所

印刷
図書印刷株式会社

印刷人
大杉すぎすぎ昌也

シロナガス人間
ジャイ子

発売元
株式会社ワニマガジン社
〒160-0014　東京都新宿区内藤町一番地
TEL.03-3357-2911（販売・営業）

発行元
株式会社ダブルクロス
〒151-0051　東京都渋谷区千駄ヶ谷3-11-3-702
TEL.03-3403-5188（編集・制作）

オイ、ホントかよ!?

No.22は12月上旬～中旬発売予定!! あとは各自調査!!

※地域によっては3～4日発売日が異なります

紙のプロレス WANIMAGAZIN MOOK 121 RADICAL 1999 NO.21
10・11小川vs橋本大総括! 桜庭、アレクグレイシー狩りへ!!
平成11年12月1日発行　編集発行人／山口日昇
発売元：(株)ワニマガジン社　〒160-8580 東京都新宿区内藤町1番地　電話／03-3357-2911
発行元：(株)ダブルクロス　〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷3-11-3-702　電話／03-3403-5188
ワニマガジン社　定価：本体800円＋税

雑誌 69862-21
ISBN4-89829-602-5
C9476 ¥800E
9784898296028
1929476008008
印刷：図書印刷株式会社

Lets! 問い合わせ♥
インフォメーションコーナー

全日本プロレス **03-3403-7344** 〒106-0032東京都港区六本木7-3-12	**UFO** **03-5447-2121** 〒108-0071東京都港区白金台3-19-5O K白金台ビル7F	**バトラーツ** **0489-63-0005** 〒343-0807埼玉県越谷市赤山町2-158-1
新日本プロレス **03-5468-3111** 〒150-0011東京都渋谷区東2-1-11	**掣圏道** **03-5456-7333** 〒150-0021東京都渋谷区恵比寿西2-6-14 恵比寿スカイハイツ607	**ダイプロデュース（大仁田興行）** **03-5496-4900** 〒141-0031東京都品川区西五反田1-28-3 ハイラーク五反田505
FMW **03-5496-0671** 〒153-0064東京都目黒区下目黒2-23-15 ダヴィンチ下目黒6F	**DDT** **03-3356-8493** 〒151-0051東京都渋谷区千駄ヶ谷5-17-18 オリエンタル千駄ヶ谷102プリントオフィス内	**栗栖ジム** **06-6790-8896** 〒547-0014大阪府大阪市 平野区長吉川辺3-1-7
リングス **03-3461-0257** 〒150-0036東京都渋谷区南平台13-1 サトウビル202	**大阪プロレス** **06-6243-5131** 〒542-0081大阪府大阪市中央区 南船場3-1-7　日宝東心斎橋ビル301	**UFCJ事務局** **03-3343-2444** 〒163-0430東京都新宿区西新宿2-1-1 新宿三井ビル30F
WAR **03-5477-0461** 〒154-0015東京都世田谷区桜新町1-14-23 萬豊ビル2F	**闘龍門JAPAN** **078-362-0707** 〒650-0022兵庫県神戸市中央区 元町通り5-3-18	**全日本女子プロレス** **03-3493-6541** 〒153-0064東京都目黒区下目黒2-17-17
みちのくプロレス **019-626-1333** 〒020-0063岩手県盛岡市材木町9-8	**キャプチャー** **044-959-3333** 〒215-0011神奈川県川崎市 麻生区百合丘2-2-1　横山ビルB1	**JWP** **03-3839-4161** 〒110-0005東京都台東区上野1-15-10 大秀ビル502
SPWF **03-3814-6371** 〒113-0001東京都文京区白山1-17-4 クロサキビル	**つぼプロモーション** **03-3498-4710** 〒107-0062東京都港区南青山6-15-1 アパルトマン青山2F－E	**LLPW** **03-3495-7926** 〒112-0005東京都文京区水道2-13-4 ビクセル文京105
パンクラス **03-5792-0815** 〒106-0047東京都港区南麻布4-2-25	**キングダム** **0423-31-2797** 〒東京都稲城市坂浜2305	**GAEA JAPAN** **03-3795-2555** 〒154-0004東京都世田谷区太子堂5-15-3 COVAMOC BUILDING2F
IWAジャパン **03-3352-3366** 〒160-0004東京都新宿区四谷4-6-1 四谷サンハイツ401	**世界のプロレス** **093-203-5170** 〒807-0054福岡県遠賀郡水巻町二東2-8-6	**Jd'** **03-5561-0522** 〒107-0052東京都港区赤坂2-12-10 国際溜池ビル7F
大日本プロレス **045-937-0811** 〒224-0053神奈川県横浜市 都築区池辺町4347	**K-1事務局** **03-3796-2977** 〒150-0001東京都渋谷区神宮前3-31-14	**アルシオン** **03-5720-5217** 〒150-0022東京都渋谷区恵比寿南3-7-1 代官山島田ビル3F
T.A.M.A **042-572-6795** 〒185-0031東京都国分寺市富士本1-23-5	**喧嘩プロレス二瓶組** **044-244-8942** 〒212-0055神奈川県川崎市 川崎区南町18-17　第5大昭ビル502	**ネオ・レディース** **03-3227-8144** 〒160-0023東京都新宿区西新宿7-22-43 新宿JECビル5F
高田道場 **03-3755-1444** 〒146-0082東京都大田区池上4-27-13 トウセン池上ビル	**シュートボクシング協会** **03-3843-1212** 〒111-0033東京都台東区花川戸2-2-8 ワコー花川戸ハイツ1～3F	**WK/Network**（A³GYM、和術慧舟会、RJW） **03-5200-3546** 〒103-0021東京都中央区日本橋 石町3-3-11　山田ビル5F
国際プロレス **0467-86-0197** 〒253-0052神奈川県茅ヶ崎市幸町20-14	**修斗コミッション** **03-3961-2704** 〒173-0001東京都板橋区本町34-4 石田コーポラス501	**ドリームステージエンターテインメント** **03-3552-6300** 〒104-0033東京都中央区新川2-3-9 新川第二ビル

●「ウチの団体が載ってねぇじゃねえか!」とお怒りのかた、いらっしゃいましたらご一報ください。次号から載せるかもしれません。

ラディカル20号を見て唯一抗議をしてきたレスラー、スペルデルフィンさん並びに大阪プロレス関係者、ファンのみな様に捧げます。

大阪プロレス OSAKA

これでどやっ!

次号、大阪プロレス大・大・大特集予定!? 記念ポートレートなんや!

スマヌ師匠、忘れとったわぁ〜。

〒530-0041
大阪市中央区南船場3-1-7
東心斎橋ビル301
大阪プロレス
06-6243-5131

デルフィン直筆

大仁田と天龍が世紀の握手を交わした日（WAR9・7後楽園ホール）、大阪プロレス勢もこの大会に参加していた。そこには、スペル・デルフィンというカタカナ名が……。みちプロを愛して止まない大西兄弟は、キモ友人の『幼なじみの兄ちゃん、覆面レスラーやねん。』の言葉につられ、ノコノコついていくとそこは、脇田御殿がそびえたっていた! そこで、デルー家（デル父&母はメチャいい人です。）に快く出迎えてもらって以来、デルフィンとは顔見知り。う〜む、ここはいっちょ、みちプロ新年会ブリっちゅうことで、ご挨拶を決め込むことにするか。と首からいつも下げているサスケロケットをパタンとしめた瞬間、『あっ、姉ちゃん何してんねん! 大阪プロレス全然見にこーへんやん。えっ、紙プロ?最悪や。来るな来るな。中傷をするような雑誌はアカン!』と言われ、アタシは久しく耳にしていなかったデルフィン喋りに『ククク ッ』とへそで茶が沸きっぱなし。すると突然『なんやこれ（チョイ怒）! （ここの裏にあるラディカル20号のテレフォンナンバーリストを見て）大阪プロレスは無視かぁ〜?つ、つぼなんて1人でやってんねんぞ〜!』とプンプン度MAX。もう、全ては愛情の裏の裏までよんでくれよ。『でも、兄弟とワイの中やし、大阪プロレス見に来たら許したるわ』とやさしさライセンスをちらつかせてくれる一面もアリ。そして、キモを大阪プロレスに潜入させると『結構、面白かったで〜、ほんで、これ姉ちゃんに渡しとけって』とのこと。そして送られてきたものか、上のデルフィン直筆の1枚の紙キレであった! よっしゃ、師匠! 断言します。次号は必ず行くからな! まぁ、今日はこの辺で勘弁しといたるわ（池野めだか風）! かしこ 大西姉

撮影／スペルテポドン2号

SA BOXING

掣圏道

10・2有明コロシアム大会

世界でいちばん簡潔な

観戦記

押忍！（敬礼）。今回のピンナップでは“格闘マッドサイエンティスト”佐山聡氏が開発した新格闘技『掣圏道』の10月2日有明コロシアム大会を、と思っていたのですが、本誌は創師である佐山氏の挨拶ですべてが語られていたように思います。というわけで、冴え渡る佐山節の完全再録をロシア人美女とともに、思う存分お楽しみください。押忍！（敬礼）

押忍！（敬礼）。

掣圏道……掣圏とは、決闘の場におき速やかに決着をつけるものです。すねわち市街地での実戦で、敵を制圧するという意味です。「掣」と「圏」は私がこの格闘技を創始するにあたり常に描いてきた、人を守るということです。荊棘（けんきょく）のもの、ボディーガード、その人を守るという字はウかんむりを屋根にたとえ、「寸」という字を書きます。人を守るにあたり、寸分の余裕もないということです。したがって掣圏道、本日のリングもそうです。掣圏道に膠着状態はありえません。掣圏道の「道」とは、掣圏を鍛え、修行し、そのことを守っていく道です。掣圏道は…**愛の格闘技であります。**

す。人を守るにあたり、寸分の余裕もないということです。したがって掣圏道、本日のリングもそうです。掣圏道に膠着状態はありえません。掣圏道の「道」とは、掣圏を鍛え、修行し、そのことを守っていく道です。掣圏道は…**愛の格闘技であります。「男のロマン」**、これを求めていきたいと思います。**佐山**弱いもののために命を懸けて守る**格闘技は愛です。**よく常より私は10年早いと皆様に言われます。私が10年早いのなら、この有明コロシアムのこの場所は、**現在2009年10月2日だと思って下さい。**皆様をタイムマシンで10年先の素晴らしいレベルの高い世界へお導きしたと私は自負しております。今日この先見を開く、**掣圏道SAボクシングの戦士達に、栄光あれっ！**（とベルトを高々と掲げる!!）

【試合前に行われた創帥・佐山聡氏のごあいさつ】

AL CALENDAR

15:30) (問)日本大
:00) ゲスト・森下
谷川（『SRS.DX』
ク代のみ）
発売予定!
(18:30)
0)
号館1102教室

16 TUE.

バトラーツ■長野・長野市運動公園総合体育館（19:00）
みちのく■長崎・nccスタジオ（19:00）
闘龍門■兵庫・神戸チキンジョージ（18:30）

17 WED.

全日本■千葉・銚子市体育館（18:30）
みちのく■アクロス福岡（19:00）
ネオ・レディース■埼玉・草加市スポーツ健康都市記念体育館（18:30）
闘龍門■岡山卸センターオレンジホール（18:30）

18 THU.

みちのく■熊本・益城町総合体育館（18:30）

19 FRI.

全日本■岡山武道館（18:30）
みちのく■大分県立荷揚町体育館（18:30）
●島田裕二プロデュースイベント　『レフェリーとは何か？（仮）』（19:00）ゲスト・豪華レフェリー陣（未定）(問)ロックウエスト03-5459-7988

20 SAT.

新日本■東京・後楽園ホール（18:30）
全日本■京都・KBSホール（18:30）
みちのく■大分・日田市総合体育館（18:30）
大阪■大阪・なんばグランド花月TVスタジオ（19:00）

21 SUN.

PRIDE.8■東京・有明コロシアム（17:00）　★
新日本■東京・後楽園ホール（18:30）
全日本■静岡・コンベンションセンター・グランシップ（18:30）
バトラーツ■京都KBSホール（18:30）
みちのく■大分・三重町大原総合体育館（18:00）
CMLL■京都・KBSホール（13:30）
大阪■大阪・なんばグランド花月TVスタジオ（15:00）

22 MON.

新日本■長野・駒ヶ根市民体育館（18:30）
バトラーツ■三重・四日市オーストラリア記念館（19:00）
みちのく■熊本・一の宮勤労者体育センター（18:30）

23 TUE.

Jd'■山形・山形総合スポーツセンター（18:30）
FMW■神奈川・横浜アリーナ（17:00）　◎
大阪&白鳥合同興行■香川・高松市市民文化センター別館アリーナ（13:00）
新日本■東京・昭島メッセ（15:00）
全日本■岩手県営体育館（15:00）
GAEA JAPAN■東京・後楽園ホール（18:30）
バトラーツ■三重・四日市オーストラリア記念館（16:30）
みちのく■福岡・北九州市立小倉北体育館（15:00）
CMLL■三重・四日市オーストラリア記念館（13:00）
IWA■東京・後楽園ホール（18:30）

24 WED.

Jd'■秋田・本荘市民体育館（18:30）
新日本■栃木・宇都宮市体育館（18:30）
アルシオン■東京・後楽園ホール（19:00）
みちのく■鹿児島アリーナ（18:30）

25 THU.

Jd'■岩手・釜石市民体育館（18:30）
DDT■東京・北沢タウンホール（18:30）
みちのく■鹿児島・出水市総合体育館（18:30）
CMLL■東京・後楽園ホール（18:30）

26 FRI.

アルシオン■愛知・豊田市体育館（18:30）
Jd'■岩手・北上市多目的催事場（18:30）
全日本■新潟市体育館（18:30）
キングダム■東京・北沢タウンホール（18:30）　♠
●CIMAトークショー　東京・渋谷ロックウエスト（19:00）
(問)渋谷ロックウエスト03-5459-7988

『紙プロ』編集部
おススメ興行

★ 山口日昇
◎ 坂井ノブ
♠ 松澤チョロ記者
◆ 原タコヤキ君
🌀 大西タマリン
♥ ジャイ子
△ ガンツ堀江

27 SAT.

Jd'■北海道・函館市民体育館（18:00）
バトラーツ■静岡・ピアオオトミイベントホール（18:00）
大阪■梅田・光明アムホール（19:00）

28 SUN.

パンクラス■大阪・なみはやドーム（17:00）
バトラーツ■新潟フェイズ（15:00）
大阪■梅田・光明アムホール（15:00）

29 MON.

WAR■神奈川・パシフィコ横浜（18:30）　←諸事情により開催延期!!

12 December

1 WED.

シュートボクシング■東京・後楽園ホール（18:30）
全日本■岐阜産業会館（18:30）

2 THU.

ネオ・レディース■東京・後楽園ホール（18:30）

3 FRI.

全日本■東京・日本武道館（18:30）

4 SAT.

大日本■神奈川・横浜文化体育館（18:00）
バトラーツ■千葉・船橋アリーナ・サブアリーナ（18:00）

5 SUN.

K−1■東京ドーム（17:00）
みちのく■京都・KBSホール（18:30）
バトラーツ■埼玉・本川越ペペホールアトラス（17:00）
JWP■岐阜・古川町民会館（14:00）

7 TUE.

栗栖ジム■大阪・IMPホール（18:00）

8 WED.

JWP■大阪府立体育館第二競技場（18:30）

10 FRI.

みちのく■愛知・中村スポーツセンター（18:00）
JWP　東京・北沢タウンホール（18:30）

11 SAT.

VALE TUDO JAPAN'99■千葉・東京ベイNKホール（16:00）　🌀
アルシオン■神奈川・横浜文化体育館（17:00）

14 TUE.

つぼプロモーション■東京・北沢タウンホール

17 FRI.

キャプチャー■東京・北沢タウンホール（19:30）　♥

19 SUN.

アルシオン■京都・KBSホール

22 WED.

リングス■大阪府立体育会館（18:30）　★◆

RADICAL CA

●はイベント情報です。

10 October

27 WED.
全日本■福島・福島市国体記念体育館(18:30)
大日本■愛知・豊橋市体育館(18:30)
DDT■東京・北沢タウンホール(18:30)
みちのく■福島・郡山市総合体育館小体育館(18:30)
全日本女子■東京・府中競馬場駐車場(18:30)
●青空プロレス道場　東京・池袋コミュニティ・カレッジ(18:30)ゲスト・小川直也
㊐池袋コミュニティ・カレッジ03-3988-9281　★◎♠◆♋♥△

28 THU.
リングス■東京・国立代々木第2体育館(19:00)
全日本女子■金沢・石川県産業展示館1号館(18:30)
大日本■静岡・キラメッセぬまづ(18:30)
新日本■鳥取・鳥取産業体育館(18:30)
みちのく■山形・米沢市営体育館(19:00)

29 FRI.
FMW■東京・後楽園ホール(18:30)
Jd’■長野・飯田市勤労者体育センター(18:30)
全日本■茨城・つくばカピオ(18:30)
大日本■茨城・ひたちなか市松戸体育館(18:30)
新日本■岡山・岡山県体育館(18:30)
みちのく■秋田・秋田市立茨島体育館(18:30)

30 SAT.
JWP■静岡・清水市営体育館(18:30)
全日本■東京・日本武道館(18:00)
大日本■滋賀・長浜市民体育館(18:30)
新日本■愛媛・今治市公会堂(18:30)
みちのく■宮城・白石市勤労者体育センター(18:30)
全日本女子■埼玉・川口オートレース場横駐車場(18:30)

31 SUN.
アルシオン■三重・朝日町田舎茶屋駐車場特設リング(13:30)
Jd’■岡山・倉敷山陽ハイツ(16:00)
みちのく■青森・はちのへハイツ(15:00)
●三沢光晴講演会『王道継承』　東京・神田パンセホール(14:00)㊐早稲田大学公認プロレス研究会『爆裂』小坂090-4000-0419
●小川直也講演会　石川・金沢大学角間キャンパス(15:00)ゲスト・馳浩
㊐金大祭本部実行委員会076-232-1487

11 November

1 MON.
Jd’■東京・後楽園ホール(18:30)
新日本■広島・広島サンプラザ(18:30)

2 TUE.
大日本■山形・東根市民体育館(18:30)
LLPW■広島・尾道市公会堂(18:30)
JWP■東京・JWPホール(19:00)

3 WED.
アルシオン■東京・Zepp Tokyo(16:00)
Jd’■三重・サンアリーナ(18:30)
大日本■北茨城市民体育館(14:00)
バトラーツ■東京・TOKYO FMホール(13:00)
LLPW■福岡・大川市産業会館1階展示ホール(15:00)
T.A.M.A■東京・都立玉スポーツ会館柔道場(11:00)
●小橋健太講演会『小橋健太in三島』静岡・日本大学三島キャンパス7号館(13:00)
問プロレス研究会0559-87-4221(月～金16:30～18:00のみ)

●アレクサンダー大塚講演会　東京・亜細亜大学7200教室(13:00)
㊐バトラーツ

4 THU.
アルシオン■宮城・仙台市体育館(18:30)
大日本■青森・弘前市河西体育センター(18:30)
●三沢光晴講演会　東京・日本大学芸術学部江古田校舎大講堂(15:30)㊐日本大学芸術学部・鈴木090-4912-3542
●島田裕二プロデュースイベント　『PRIDEとは何か?』Part2(19:00)ゲスト・森下直人(ドリーム・ステージ・エンターテインメント社長)、サダハルンバ谷川(『SRS.DX』編集長)、山口日昇(『紙のプロレス』ボディガード)入場無料(ドリンク代のみ)
㊐ロックウエスト03-5459-7988

5 FRI.
アルシオン■岩手久慈市体育館(18:30)
大日本■青森・青森県民体育館サブアリーナ(18:30)
LLPW■宮崎県武道館(18:30)
掣圏道■神奈川・横浜文化体育館(19:00)　△
●佐山聡サイン会　東京・水道橋チケット&トラベルT1(15:30)
㊐チケット&トラベルT1 03-5275-2778

6 SAT.
アルシオン■山形・酒田市体育館(18:30)
大日本■北海道・函館市民体育館(18:30)
大阪■梅田・光明アムホール(19:00)

7 SUN.
大阪■梅田・光明アムホール(15:00)

8 MON.
大日本■北海道・札幌テイセンホール(18:30)

9 TUE.
バトラーツ■東京・後楽園ホール(18:30)石川雄規単行本先行発売予定!
大日本■北海道・三笠スポーツセンター(18:30)

10 WED.
大日本■北海道・弟子屈摩周湖文化センター(18:30)
FMW■福岡・博多スターレーン(18:30)
LLPW■鹿児島アリーナ(18:30)

11 THU.
大日本■北海道・中標津体育館(18:30)

12 FRI.
アルシオン■長野・諏訪湖スポーツセンター(18:30)
Jd’■愛知・名古屋市総合体育館第三競技場(18:30)
バトラーツ■兵庫・神戸サンボーホール(18:30)
大仁田興行■東京・後楽園ホール(19:00)
●川田利明講演会　埼玉・東洋大学朝霞キャンパス3号館339教室(18:30)
㊐東洋大学プロレス観戦同好会・稲川048-487-2950
●ウルティモ・ドラゴン・トークショー　東京・渋谷ロックウエスト(19:00)
㊐渋谷ロックウエスト03-5459-7988

13 SAT.
アルシオン■愛知・名古屋レインボーホール(18:30)
バトラーツ■徳島・徳島市立体育館(18:00)
JWP■静岡・アクトシティ浜松(18:30)
GAEA JAPAN■埼玉・本川越ペペホール・アトラス(17:00)
全日本■東京・後楽園ホール(18:30)
●石川雄規講演会『波乱の白山!』東京・東洋大学白山校舎・新1号館1102教室(15:00)㊐バトラーツ

14 SUN.
UFCJ■千葉・東京ベイNKホール(15:00)
みちのく■大阪・IMPホール(13:00)
全日本■東京・後楽園ホール(12:30)
JWP■大阪・IMPホール(17:00)

15 MON.
みちのく■山口・柳井市体育館(19:00)

16 TUE
バトラーツ
みちのく■
闘龍門■

17 WED
全日本■
みちのく■
ネオ・レディ
闘龍門■

18 THU
みちのく■

19 FRI.
全日本■
みちのく■
●島田裕
レフェリー

20 SAT.
新日本■東
全日本■京
みちのく■
大阪■大阪

21 SUN.
PRIDE.8■
新日本■東
全日本■静
バトラーツ■
みちのく■
CMLL■京
大阪■大阪

22 MON
新日本■長
バトラーツ■
みちのく■

23 TUE
Jd’■山形
FMW■神
大阪&白鳥
新日本■東
全日本■岩
GAEA JAP
バトラーツ■
みちのく■
CMLL■三
IWA■東京

24 WED
Jd’■秋田
新日本■
アルシオン
みちのく■

25 THU
Jd’■岩手
DDT■東京
みちのく■
CMLL■東

26 FRI.
アルシオン
Jd’■岩手
全日本■
キングダム■
●CIMAト
㊐渋谷ロ